茨城県教育財団文化財調査報告第380集

島名熊の山遺跡

（しまなくまやま）

島名・福田坪一体型特定土地区画整理
事業地内埋蔵文化財調査報告書XIX

平成25年3月

茨城県
公益財団法人茨城県教育財団

第204号井戸跡完掘状況（北から）

墨書土器集合

序

茨城県は，つくば市を世界的な科学技術研究の中核都市と位置づけ，さらには，国際交流の拠点にふさわしい都市としての整備を推進しています。

その一環である「つくばエクスプレス」の整備も平成17年に完了し，沿線開発としての土地区画整理事業が継続して進められています。

しかしながら，この事業地内には，埋蔵文化財包蔵地である島名熊の山遺跡が所在することから，これを記録保存の措置を講ずる必要があるため，当財団が茨城県から委託を受け，平成７年４月から平成23年８月までの17年間にわたって開発区域内における埋蔵文化財発掘調査を実施しました。

その成果については，既に『茨城県教育財団文化財調査報告第120集』『同第133集』『同第149集』『同第166集』『同第174集』『同第190集』『同第214集』『同第236集』『同第264集』『同第280集』『同第291集』『同第322集』『同第328集』『同第360集』として順次刊行したところです。

本書は，島名熊の山遺跡の平成22・23年度の調査の成果を収録したものです。学術的な研究資料としてはもとより，郷土の歴史に対する理解を深め，教育・文化の向上の一助として御活用いただければ幸いです。

最後になりますが，発掘調査から本書の刊行に至るまで，委託者である茨城県から多大な御協力を賜りましたことに対し，厚く御礼申し上げますとともに，茨城県教育委員会，つくば市教育委員会をはじめ，関係各位からいただいた御指導，御協力に対し，深く感謝申し上げます。

平成25年 ３月

公益財団法人茨城県教育財団

理 事 長　鈴 木 欣 一

例　　言

1　本書は，茨城県の委託により，公益財団法人茨城県教育財団が平成22・23年度に発掘調査を実施した，茨城県つくば市島名字香取前1894番地の1ほかに所在する島名熊(しまなくま)の山(やま)遺跡の一部である12区の発掘調査報告書である。

2　発掘調査期間及び整理期間は以下のとおりである。

調査　平成22年4月1日～6月30日，平成23年1月1日～3月31日
　　平成23年4月1日～8月31日
整理　平成24年4月1日～平成25年3月31日

3　発掘調査は，平成22年度が調査課長池田晃一，平成23年度が調査課長樫村宣行のもと，以下の者が担当した。

平成22年度

首席調査員兼班長	仲村浩一郎	平成22年4月1日～6月30日，平成23年1月1日～3月31日
首席調査員	小澤重雄	平成22年4月1日～5月31日
首席調査員	酒井雄一	平成22年4月1日～6月31日
主任調査員	本橋弘巳	平成23年1月1日～3月31日
主任調査員	大関　隆	平成22年4月1日～5月31日
調査員	鹿島直樹	平成23年1月1日～3月31日
調査員	宮崎　剛	平成22年4月1日～6月30日

平成23年度

首席調査員兼班長	稲田義弘	平成23年4月1日～8月31日
首席調査員	綿引英樹	平成23年4月1日～6月30日
首席調査員	荒蒔克一郎	平成23年7月1日～8月31日
調査員	清水　哲	平成23年4月1日～8月31日

4　整理及び本書の執筆・編集は，整理課長原信田正夫のもと，調査員（主任）清水哲が担当した。

5　本書の作成にあたり，墨書土器の鑑定については大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館館長平川南氏にご教示をいただいた。獣骨の同定については大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館教授西本豊弘氏にご教示をいただいた。木製品の取り上げ及び保存処理については，筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授松井敏也氏にご教示をいただき，公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団と株式会社吉田生物研究所に委託した。また，木製品の樹種同定については株式会社吉田生物研究所に委託し，考察は付章として掲載した。

凡　　例

1　当遺跡の地区設定は，日本平面直角座標第Ⅸ系座標に準拠し，X＝＋7,320 m，Y＝＋20,200 mの交点を基準点（Ａ１a1）とした。なお，この原点は，日本測地系による基準点である。

この基準点を基に遺跡範囲内を東西・南北各々40 m四方の大調査区に分割し，さらに，この大調査区を東西・南北に各々10等分し，４m四方の小調査区を設定した。

大調査区の名称は，アルファベットと算用数字を用い，北から南へA，B，C…，西から東へ１，２，３…とし，「Ａ１区」のように呼称した。さらに小調査区は，北から南へa，b，c…j，西から東へ1，2，3，…0と小文字を付し，名称は，大調査区の名称を冠して「Ａ１a1区」のように呼称した。

2　抄録の北緯及び東経の欄には，世界測地系に基づく緯度・経度を（　）を付けて併記した。

3　実測図・一覧表・遺物観察表等で使用した記号は次のとおりである。

遺構　HG－遺物包含層　P－ピット　PG－ピット群　SB－掘立柱建物跡　SD－溝跡　SE－井戸跡
SF－道路跡　SI－竪穴住居跡　SK－土坑　SX－遺物集中地点

遺物　DP－土製品　M－金属製品　N－自然遺物　Q－石器・石製品　TP－拓本記録土器
W－木器・木製品

土層　K－撹乱

4　遺構・遺物実測図の作成方法については，次のとおりである。

(1) 遺構全体図は300分の１，各遺構の実測図は原則として60分の１の縮尺とした。種類や大きさにより異なる場合は，個々に縮尺をスケールで表示した。

(2) 遺物実測図は，原則として３分の１の縮尺とした。種類や大きさにより異なる場合は，個々に縮尺をスケールで表示した。

(3) 遺構・遺物実測図中の表示は，次のとおりである。種類や時期で細分した場合は，個々に凡例を表示した。

赤彩・施釉・朱墨　竈部材・黒色処理

●土器　○土製品　□石器・石製品　△金属製品　▲木器・木製品　■自然遺物　硬化面

5　土層観察と遺物における色調の判定は，『新版標準土色帖』（小山正忠・竹原秀雄編著　日本色研事業株式会社）を使用した。また，土層解説中の含有物については，各々総量を記述した。

6　遺構一覧表・遺物観察表の表記は，次のとおりである。

(1) 計測値の単位はm，cm，gで示した。なお，現存値は（　）を，推定値は［　］を付して示した。

(2) 遺物観察表の備考の欄は，残存率，写真図版番号及びその他必要と思われる事項を記した。

(3) 遺物番号は通し番号とし，本文，挿図，観察表，写真図版に記した番号と同一とした。

7　竪穴住居跡の「主軸」は，炉・竈を通る軸線とし，主軸方向は，その他の遺構の長軸（径）方向と共に，座標北からみて，どの方向にどれだけ振れているかを角度で表示した（例　N－10°－E）。

8　今回の報告分で，調査段階での遺構名を変更したもの及び欠番にしたものは以下のとおりである。

変更　SK7059・7060・7063・7067・7069・7072・7074・7075・Ｐ18→SB583　SK7054・7056・7061・7062・7064・7068・7080・7082→SB584　２次面→第１・２号遺物集中地点　SK7057・7058→SD556 Ｐ１・Ｐ２
仮SF １・２・８・９→SF21～24　SK6881～6884→PG61 Ｐ１～Ｐ４　SK7052・7053・7055・7066・7070・7071・7076～7078・7084～7087・7089・7090・7092～7104・Ｐ１～Ｐ17・Ｐ19→PG62 Ｐ１～Ｐ46

欠番　SI3115　SE202　仮SF ３・４

目　　次

序
例　言
凡　例
目　次
島名熊の山遺跡の概要 …… 1
第１章　調査経緯 …… 3
　第１節　調査に至る経緯 …… 3
　第２節　調査経過 …… 3
第２章　位置と環境 …… 4
　第１節　地理的環境 …… 4
　第２節　歴史的環境 …… 4
第３章　調査の成果 …… 13
　第１節　調査の概要 …… 13
　第２節　基本層序 …… 13
　第３節　遺構と遺物 …… 18
　　１　古墳時代の遺構と遺物 …… 18
　　(1) 井戸跡 …… 18
　　(2) 遺物包含層 …… 23
　　２　奈良時代の遺構と遺物 …… 24
　　(1) 掘立柱建物跡 …… 24
　　(2) 井戸跡 …… 28
　　(3) 溝跡 …… 39
　　３　平安時代の遺構と遺物 …… 41
　　(1) 竪穴住居跡 …… 41
　　(2) 井戸跡 …… 44
　　(3) 土坑 …… 89
　　(4) 遺物集中地点 …… 90
　　４　室町時代の遺構と遺物 …… 176
　　(1) 堀跡 …… 176
　　(2) 溝跡 …… 176
　　５　その他の遺構と遺物 …… 180
　　(1) 井戸跡 …… 180
　　(2) 土坑 …… 181
　　(3) 道路跡 …… 184
　　(4) 溝跡 …… 185

(5) ピット群 …… 187
(6) 遺構外出土遺物 …… 193
第４節　まとめ …… 198
付　章 …… 229
写真図版 …… PL 1 ～ PL78
抄　録

島名熊の山遺跡の概要

遺跡の位置と調査の目的

島名熊の山遺跡は，つくば市の南西部に位置し，東谷田川右岸の台地上から低地部にかけて立地しています。今回の調査は，つくばエクスプレス沿線の島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業に伴うものです。調査期間は平成 22 年 4 月～6 月と平成 23 年 1 月～8 月の延べ 11 か月間で，調査面積は 2,154㎡です。

調査の内容

遺跡南東部の谷部を調査し，古墳時代後期から平安時代初頭（約 1,400 ～ 1,100 年前）の水場の跡を確認しました。水場は，水が湧き出す井戸とその水が流れていく凹地とで構成されています。水場からは 852 点の墨書土器や布の長さと人名が記された木簡，鍬や杵などの農工具，漆器や曲物などの容器，櫛や刀形の祭祀具などの木製品，1,000 点以上のモモの種やクリが出土しました。

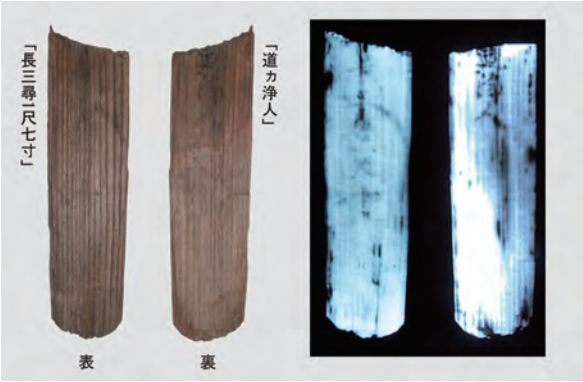
奈良時代の水場の跡

土器が投げ込まれている古墳時代の井戸

多量の土器が出土している水場

板材で組まれている平安時代の井戸

井戸から７枚重ねの状態で出土している土器



布の長さと人名が記されている木簡

当時の地名が記されている土器

調査の結果

今回確認した水場は，「嶋名（しまな）」の集落に暮らす人々が季節に応じて祭りを行った神聖な場所であり，出土した多量の土器や木製品は，神との飲食に用いられた祭りの道具と考えられます。『常陸國風土記（ひたちのくにふどき）』には清らかな水が湧く場所に人々が集まり，宴げや祭りを行う様子が数多く記されています。今回の成果は，そうした古代の人々と水との関わりが具体的にわかる貴重な例といえます。

第１章　調　査　経　緯

第１節　調査に至る経緯

平成６年８月 18 日，茨城県知事は茨城県教育委員会教育長あてに，島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内（つくば市島名）における埋蔵文化財の所在の有無及びその取扱いについて照会した。これを受けて，平成６年９月19日～27日，茨城県教育委員会は現地踏査を実施し，遺跡の所在を確認した。平成６年９月22日，平成 22 年５月 14 日・21 日，茨城県教育委員会は試掘調査を実施した。平成７年３月８日，平成 22 年５月 26 日，茨城県教育委員会教育長は茨城県知事あてに，事業地内に島名熊の山遺跡が所在すること，及びその取扱いについて別途協議が必要であることを回答した。

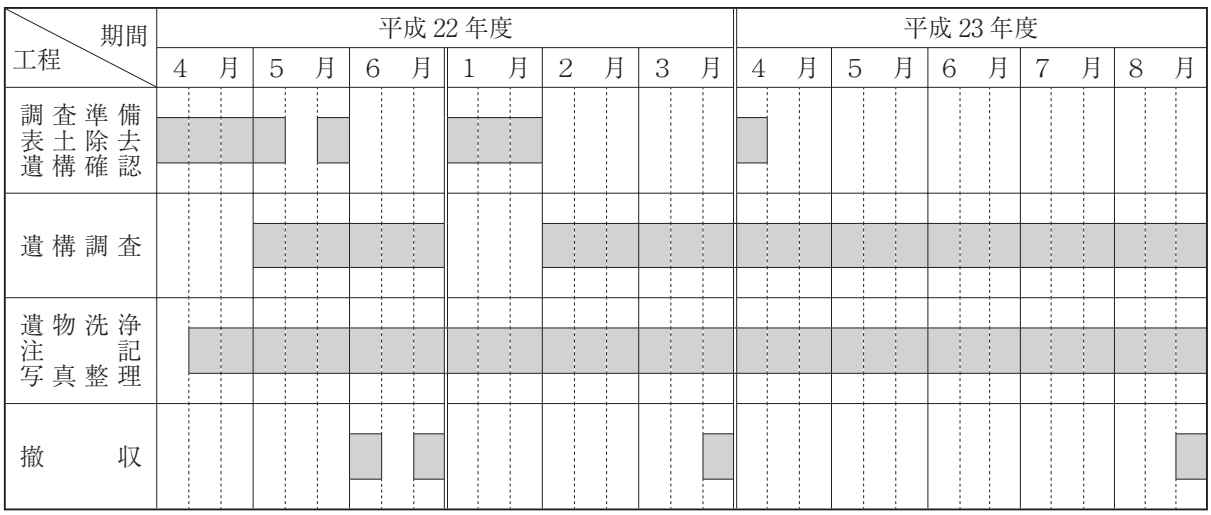
平成７年３月 14 日，茨城県知事は茨城県教育委員会教育長あてに，文化財保護法第 57 条の３第１項（現第 94 条）に基づき，土木工事のための埋蔵文化財包蔵地の発掘について通知した。茨城県教育委員会教育長は，現状保存が困難であることから，記録保存のための発掘調査が必要であると判断し，平成７年３月 16 日，茨城県知事あてに，工事着手前に発掘調査を実施するよう通知した。

平成 22 年２月 10 日，茨城県知事は茨城県教育委員会教育長あてに，島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査の実施についての協議書を提出した。平成 22 年２月 24 日，茨城県教育委員会教育長は茨城県知事あてに，島名熊の山遺跡について発掘調査の範囲及び面積等について回答し，併せて埋蔵文化財の調査機関として，財団法人茨城県教育財団（現 公益財団法人茨城県教育財団）を紹介した。

財団法人茨城県教育財団は，茨城県知事から埋蔵文化財発掘調査事業について委託を受け，平成 22 年４月１日から６月 30 日までと平成 23 年１月１日から８月 31 日まで，発掘調査を実施した。

第２節　調　査　経　過

島名熊の山遺跡の一部である 12 区の調査は，平成 22 年４月１日から６月 30 日までと平成 23 年１月１日から８月 31 日までの 11 か月間にわたって実施した。以下，その概要を表で記載する。



第2章　位　置　と　環　境

第1節　地 理 的 環 境

島名熊の山遺跡 12 区は，茨城県つくば市島名字香取前 1894 番地の 1 ほかに所在している。

つくば市は，筑波山を北端として，その南東側に広がる標高 20 ～ 25 mの平坦な台地上に位置している。この台地は，筑波・稲敷台地と呼ばれ，東を霞ヶ浦に流入する桜川，西を利根川に合流する小貝川によって区切られており，東から花室川，蓮沼川，小野川，東谷田川，西谷田川などの中小河川がほぼ北から南に向かって流れている。台地の地質は，海成砂層の成田層を基盤として，その上に砂層・砂礫層の竜ヶ崎層，さらに泥質粘土層の常総粘土層，関東ローム層が連続して堆積し，最上部は腐植土層となっている[1)]。

つくば市南西部の島名地区は，東谷田川と西谷田川によって開析された狭長な台地の中央部に位置している。両河川流域の地形は，当地区から上流域で平坦な台地面が残っている一方，下流域では支谷が樹枝状に発達し，谷密度が高い状況が見て取れる。したがって，当地区周辺は陸路と水運との結節点にあたり，交通の要衝であったことが想定できる[2)]。

当遺跡は，島名地区東部の台地縁辺部に位置し，東谷田川の沖積低地に面した台地上から低地部にかけて立地している。遺跡の範囲は南北 880 m，東西 560 mである。標高は，遺跡北東部（11 区）や遺跡南西部（16 区）の台地上が最も高く，24 mで，遺跡南東部（12 区）の低地部が 13 mである。当遺跡の地形は，周囲を深い谷津に囲まれ，台地基部から独立した島状を呈している。さらに，これまでの調査から，台地上に複数の埋没谷が入り込んでいる様子が明らかになっており，起伏に富んだ地形であったことがうかがえる[3)]。

今回報告する 12 区は，遺跡南東部に鎮座する香取神社の南側に位置し，標高 13 ～ 15 mの台地斜面部から低地部にかけて立地している。また，北部及び西部の台地上から延びている埋没谷が合流する部分にあたり，調査区全体が北西・南東方向を軸とする谷地形になっている。調査前の現況は畑地である。

第2節　歴 史 的 環 境

島名熊の山遺跡周辺の東谷田川や西谷田川，蓮沼川流域の台地上には，旧石器時代から中世にかけて数多くの遺跡が存在している。特に，当遺跡が所在する島名地区は調査事例が多く，各時代の様相をつかみやすい地域でもある。ここでは，当遺跡と周辺の遺跡の状況について概略を述べる。

旧石器時代は，平北田遺跡[4)]〈37〉，下河原崎谷中台遺跡[5)]〈75〉，元宮本前山遺跡[6)]〈77〉で石器集中地点が確認されており，ナイフ形石器，角錐状石器，掻器，尖頭器をはじめ，石核や剥片などが出土している。また，島名前野東遺跡[7)]〈７〉，島名一町田遺跡[8)]〈９〉，島名境松遺跡[9)]〈10〉，島名ツバタ遺跡[10)]〈16〉でナイフ形石器や尖頭器，サイドスクレーパー，面野井北ノ前遺跡[11)]〈25〉で荒屋型彫器，当遺跡[12)]でナイフ形石器や尖頭器，細石刃石核などが採集されており，当地域における石器製作と狩猟生活の様子を示す資料が蓄積されている。

縄文時代は，元宮本前山遺跡[13)]で早期の炉穴，下河原崎谷中台遺跡[14)]で早期の炉穴や中期から晩期にかけての住居跡，島名ツバタ遺跡[15)]で早期と中期の住居跡やフラスコ状土坑，島名境松遺跡[16)]で中・後期の住居跡や土器焼成遺構や土坑などがそれぞれ確認されている。これらの遺跡は河川を望む台地の縁辺部に立地し，特に早期と中期に集落形成が顕著になるのが当地域の特徴といえる。当遺跡においても陥し穴５基のほか，遺跡の

南東部（16 区）で早期前半の撚糸文系，北東部（11 区）で早期後半の条痕文系の土器片が出土している[17]。そのほか，各調査区で前期から後期にかけての土器片や石鏃，石斧，磨石，石皿などの石器類が採集されており，当時代の人々の生活の痕跡をうかがうことができる。

弥生時代の遺跡は当地域では少なく，当遺跡南部の埋没谷周辺から後期後半の土器片が採集されているだけである。出土した土器片には籾痕が認められ，当地域の稲作を考える上で興味深い[18]。

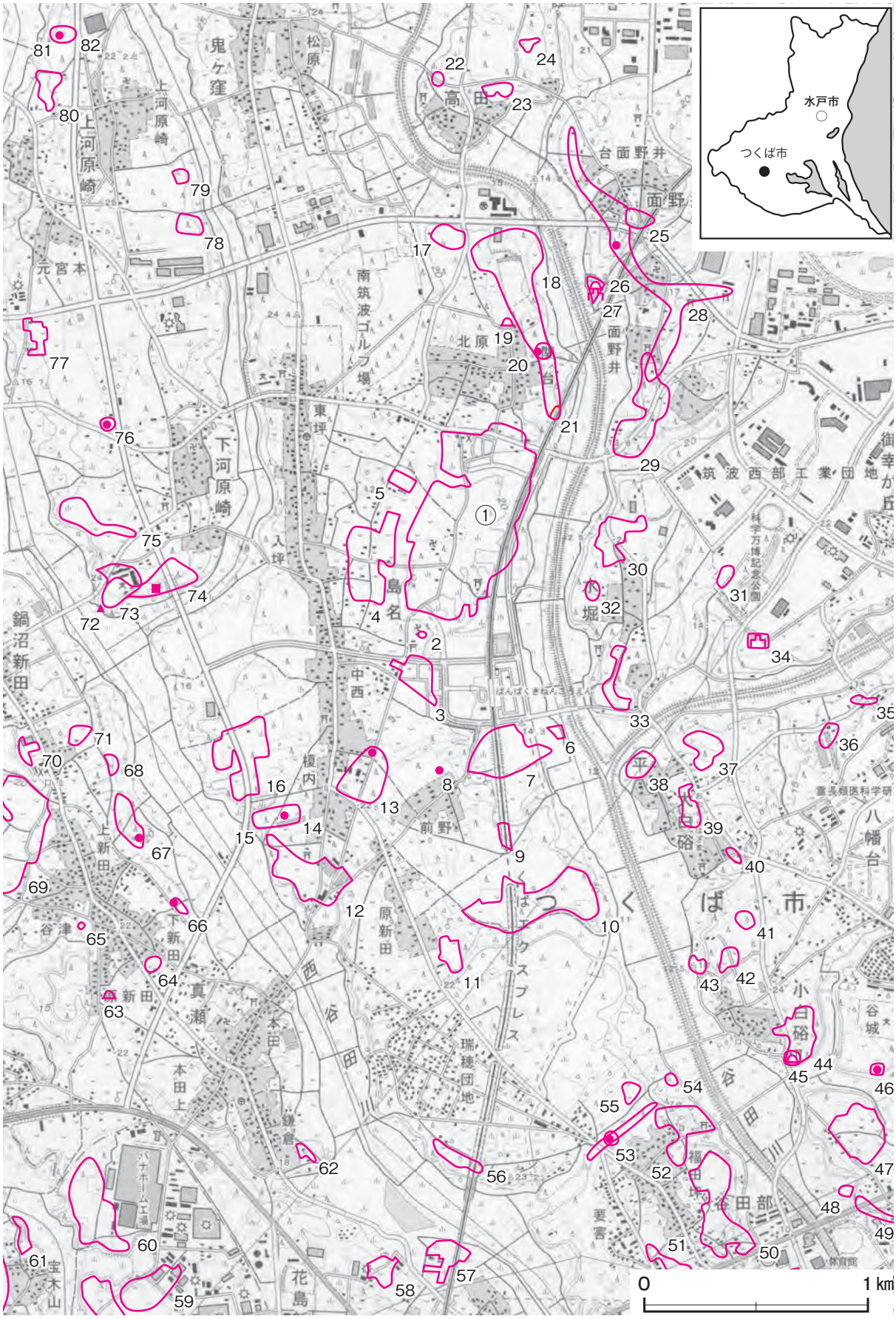
古墳時代前期になると，東谷田川沿いに小規模集落が点在するようになる。島名一町田遺跡[19]や約 6.5㎞南の境松貝塚[20]では南関東系の土器を伴う初期の集落が出現し，当遺跡や島名前野遺跡[21]〈６〉では集落跡，島名前野東遺跡[22]では集落に付随した形で方形周溝墓３基が確認されている。

中期には，遺跡が西谷田川沿いにも広がりを見せ，前述した遺跡に加えて島名ツバタ遺跡[23]や谷田部漆遺跡[24]〈56〉，上萱丸古屋敷遺跡[25]〈57〉，真瀬三度山遺跡[26]〈58〉などで集落跡が確認されている。特に，元宮本前山遺跡[27]では滑石製模造品の製作跡が確認され，下河原崎谷中台遺跡[28]では県内初の琴柱形石製品が出土しており注目されている。これらの集落は，台地縁辺部や低湿地へ向かう緩斜面部に適度な距離をおいて営まれており，その立地や経営には台地裾部の自然湧水を利用した谷津田との関わりが強く示唆される。

後期になると，台地の内陸部にまで集落が形成されるようになり，当遺跡でも，６世紀後半以降に台地全体に集落域が拡大し，急速に発展していく様子が明らかにされている[29]。当遺跡周辺では島名八幡前遺跡[30]〈３〉，島名前野遺跡[31]，島名前野東遺跡[32]，平北田遺跡[33]などの集落が継続して営まれており，当遺跡の集落は，近接するこれらの遺跡と補完し合う形をとりながら，古墳時代の終わりまで存続したと考えられる。また，当期は古墳が急増する時期であり，当遺跡では南東部の台地先端部で墳丘径約 19 ｍと約８ｍの円墳２基が確認されている。当遺跡周辺では島名前野古墳〈８〉，島名榎内古墳群〈13〉，島名榎内西古墳群〈14〉，島名関ノ台古墳群〈18〉，面野井古墳群[34]〈28〉，下河原崎高山古墳群[35]〈74〉などがあり，いずれも径 10 ～ 20 ｍの小円墳からなる地域的な群集墳の在り方を示している。中でも，当遺跡北側に隣接する島名関ノ台古墳群は，全長約 40 ｍの前方後円墳と円墳 27 基が存在したといわれ，被葬者は島名地区の盟主的存在であった可能性が高い[36]。

奈良時代になると，島名地区は急速に集落の再編が進むようになる。その背景には，律令国家の成立と地方の国郡制の整備があったことは明らかで，当地区は河内郡嶋名郷に編入される[37]。当遺跡[38]や島名八幡前遺跡[39]の集落は，大形住居とそれに付随する掘立柱建物を中心として，規模や形状が等質化したその他の住居とともに，いずれも主軸を真北にした配置をとるようになる。さらに，当集落の中央部にはＬ字状に配置された掘立柱建物群が整備され，郷関連の官衙的施設の可能性も指摘されている。一方，７世紀に一旦集落が途絶えていた島名前野遺跡[40]や島名前野東遺跡[41]では，８世紀中頃に再び集落が形成される。それは，約半世紀の間空閑地となっていた当地が，律令体制の進展と共に再開発の標的となったためと思われる。しかし，これらの遺跡以外に当地区では集落が認められなくなり，当遺跡周辺だけに集落が集中するという現象が認められる。

平安時代になると，遺跡数はさらに減少し，集落として明確に捉えられるのは当遺跡[42]と島名八幡前遺跡[43]だけとなる。両遺跡は，鍛冶生産や紡績などの手工業関連の遺構・遺物が確認でき，９世紀への集落の継続性を考えたとき，極めて示唆的である。また，８世紀以来の集落が，大規模な集落を残し消滅していく状況は，律令体制の行き詰まりに伴う集落の再編成と考えることもできる。この９世紀の集落編成も 10 世紀を迎えると新たな展開を示し，島名八幡前遺跡も集落としての終焉を迎えることになる。一方，当遺跡ではそれ以降も集落が存続し，11 世紀まで継続的に営まれている。その後の集落の様相は，不明瞭であるが，墓坑や井戸跡から平安時代末期と考えられる和鏡や小銅仏が出土しており，遺物の面から有力者層の存在をうかがうことができる。



第１図　島名熊の山遺跡周辺遺跡分布図（国土地理院 25,000 分の１「谷田部」）

表１　島名熊の山遺跡周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	時代						
		旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世
①	島名熊の山遺跡	○	○	○	○	○	○	○
2	島名薬師遺跡				○			
3	島名八幡前遺跡				○	○	○	
4	島名本田遺跡				○	○	○	○
5	島名中代遺跡					○		
6	島名前野遺跡		○		○	○	○	○
7	島名前野東遺跡		○		○	○	○	○
8	島名前野古墳				○			
9	島名一町田遺跡	○	○		○		○	○
10	島名境松遺跡		○		○			
11	島名タカドロ遺跡		○		○			
12	島名榎内南遺跡	○			○	○		
13	島名榎内古墳群				○			
14	島名榎内西古墳群				○			
15	島名榎内遺跡				○			
16	島名ツバタ遺跡		○		○		○	○
17	島名関の台遺跡				○			
18	島名関ノ台古墳群				○			
19	島名関ノ台塚						○	○
20	島名関ノ台南Ａ遺跡				○	○		
21	島名関ノ台Ｂ遺跡	○	○			○		○
22	高田和田台遺跡				○			
23	高田遺跡					○		○
24	高田原山遺跡				○	○		
25	面野井北ノ前遺跡				○	○	○	○
26	面野井西ノ台塚						○	○
27	面野井城跡						○	
28	面野井古墳群				○			
29	面野井南遺跡				○	○	○	○
30	水堀下道遺跡				○	○		
31	水堀遺跡				○			
32	水堀屋敷添遺跡		○		○			
33	水堀道後前遺跡					○		
34	大和田氏屋敷跡						○	○
35	柳橋仲畑遺跡				○		○	○
36	柳橋遺跡				○			○
37	平北田遺跡	○	○		○	○	○	○
38	平後遺跡				○		○	○
39	大白硲西ノ裏遺跡				○			
40	大白硲桜下遺跡				○			
41	大白硲民部山遺跡				○			

番号	遺跡名	時代						
		旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世
42	小白硲民部山遺跡				○			
43	小白硲水表遺跡				○			
44	小白硲海道端遺跡		○				○	○
45	小白硲海道端塚群						○	○
46	谷田部カロウド塚古墳				○			
47	谷田部台成井遺跡		○					
48	谷田部下成井遺跡		○					○
49	谷田部台町古墳群				○			
50	谷田部福田前遺跡		○		○	○		
51	谷田部漆出口遺跡		○		○		○	○
52	谷田部福田遺跡		○		○			
53	谷田部大堀遺跡						○	○
54	谷田部山合遺跡		○				○	○
55	谷田部陣馬遺跡		○		○			
56	谷田部漆遺跡		○		○	○		
57	上萱丸古屋敷遺跡				○		○	○
58	真瀬三度山遺跡		○		○			○
59	二本松遺跡		○					
60	西山遺跡		○				○	○
61	苗代山遺跡		○					
62	真瀬戸崎遺跡				○		○	○
63	真瀬西原塚						○	○
64	真瀬中畑遺跡		○		○			○
65	真瀬新田谷津遺跡		○					
66	真瀬新田古墳群				○			
67	真瀬堀附南遺跡		○		○			
68	真瀬堀附北遺跡				○			
69	真瀬山田遺跡		○		○	○		
70	真瀬山田北遺跡		○		○			
71	鍋沼新田長峰遺跡		○		○			
72	下河原崎高山窯跡				○			
73	下河原崎高山遺跡			○				
74	下河原崎高山古墳群				○			
75	下河原崎谷中台遺跡	○	○		○	○		
76	下河原崎古墳群				○			
77	元宮本前山遺跡	○	○		○			
78	元中北東藤四郎遺跡				○			
79	元中北鹿島明神古墳				○			
80	上河原崎本田遺跡				○	○		○
81	上河原崎小山台古墳				○			
82	上河原崎八幡脇遺跡				○			

中世になると，島名地区周辺は八条院領として荘立された田中荘に組み込まれる。鎌倉幕府の成立後，田中荘は小田氏の支配下に入り，室町時代には小田氏配下の平出氏が島名・面野井地区に住んでいたと伝えられている[44]。当期の周辺の遺跡は，平出氏の居城と伝えられている面野井城跡〈27〉や島名前野東遺跡[45]がある。島名前野東遺跡では，方一町に巡る堀に囲まれた方形居館が確認されており，居館内に居住する在地有力者が島名地区一帯を治めていったものと思われる。また，永仁五年（1297）には，当遺跡の中央部西寄りに妙徳寺が開山され[46]，寺域周辺は墓域として利用されていく。当遺跡の中央部では鋳造土坑が確認でき，燈籠の蓮華座や梵鐘の乳，鰐口などの鋳型片が出土しているほか，南西部では15世紀後半から17世紀前半にかけての大規模な堀跡や墓域が確認され，妙徳寺との関連をうかがうことができる[47]。

※　本章は，既刊の「島名熊の山遺跡」を参照し，加筆した。文中の〈　〉内の番号は，第１図及び表１の当該番号と同じである。

註

1）日本の地質　『関東地方』編集委員会『日本の地質３　関東地方』共立出版　1986年10月

2）茨城県農地部農地計画課『土地分類基本調査　５万分の１　国土調査　土浦』 1983年12月

3）a　新井聡・川村満博「（仮称）島名・福田坪地区土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅰ　熊の山遺跡」『茨城県教育財団文化財調査報告』第120集　1997年３月

b　小島敏・眞崎紀雄・白田正子・野田良直「（仮称）島名・福田坪地区特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅱ熊の山遺跡」『茨城県教育財団文化財調査報告』第133集　1998年３月

c　吉原作平･原信田正夫「（仮称）島名･福田坪地区特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅲ　熊の山遺跡」『茨城県教育財団文化財調査報告』第149集　1999年３月

d　矢ノ倉正男・小林孝・川上直登「島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅳ　熊の山遺跡」『茨城県教育財団文化財調査報告』第166集　2000年３月

e　藤田哲也・三谷正・原信田正夫・川上直登・稲田義弘「島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅴ　熊の山遺跡」『茨城県教育財団文化財調査報告』第174集　2001年３月

f　稲田義弘「熊の山遺跡　島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅶ」『茨城県教育財団文化財調査報告』第190集　2002年３月

g　稲田義弘・飯泉達司「島名熊の山遺跡　島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅹ」『茨城県教育財団文化財調査報告』第214集　2004年３月

h　松本直人「島名熊の山遺跡　島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書XI」『茨城県教育財団文化財調査報告』第236集　2005年３月

i　田中幸夫・酒井雄一・田月淳一・松本直人・桑村裕「島名熊の山遺跡　島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書XⅡ」『茨城県教育財団文化財調査報告』第264集　2006年３月

j　酒井雄一・渡邊浩実・齋藤貴史・清水哲「島名熊の山遺跡　島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書XⅢ」『茨城県教育財団文化財調査報告』第280集　2007年３月

k　齋藤真弥・酒井雄一・渡邊浩実・松本直人・齋藤貴史・清水哲「島名熊の山遺跡　島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書XV」『茨城県教育財団文化財調査報告』第291集　2008年３月

l　早川麗司「島名熊の山遺跡　島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書XⅥ」『茨城県教育財団文化財調査報告』第322集　2009年３月

m　小澤重雄「島名熊の山遺跡　島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書XⅦ」『茨城県教育財団文化財調査報告』第328集　2010年３月

n　仲村浩一郎・坂本勝彦・江原美奈子「島名熊の山遺跡　島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書XⅧ」『茨城県教育財団文化財調査報告』第360集　2012年３月

4）舟橋理「平北田遺跡　一般国道468号首都圏中央連絡自動車道新設事業地内埋蔵文化財調査報告書」『茨城県教育財団文化財調査報告』第336集　2011年３月

5）a　高野裕璽「下河原崎谷中台遺跡･島名ツバタ遺跡　上河原崎･中西特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書３」『茨城県教育財団文化財調査報告』第282集　2007年３月

b　齋藤真弥「下河原崎谷中台遺跡・下河原崎高山古墳群　上河原崎・中西特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書４」『茨城県教育財団文化財調査報告』第292集　2008年３月

6）高野裕璽「元宮本前山遺跡　上河原崎・中西特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書２」『茨城県教育財団文化財調査報告』第265集　2006年３月

7）a　寺門千勝・田原康司・梅澤貴司「島名前野東遺跡・島名境松遺跡・谷田部漆遺跡　島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅷ」『茨城県教育財団文化財調査報告』第191集　2002年３月

b　飯泉達司「島名前野東遺跡　島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅸ」『茨城県教育財団文化財調査報告』第215集　2004年３月

c　小松崎和治「島名境松遺跡・島名前野東遺跡　島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書ⅩⅣ」『茨城県教育財団文化財調査報告』第281集　2007年３月

８）鹿島直樹「島名一町田遺跡　島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業及び常磐新線建設工事地内埋蔵文化財調査報告書」『茨城県教育財団文化財調査報告』第230集　2004年３月

９）註７ａ・ｃに同じ

10）ａ　佐野正「科学博関連道路谷田部明野線道路改良工事地内埋蔵文化財調査報告書　ツバタ遺跡・高山古墳群」『茨城県教育財団文化財調査報告』第22集　1983年３月

ｂ　皆川修「島名ツバタ遺跡　上河原崎・中西特定区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書１」『茨城県教育財団文化財調査報告』第203集　2003年３月

註５ａに同じ

11）鹿島直樹「島名関ノ台南Ｂ遺跡・面野井北ノ前遺跡　常磐新線建設工事地内埋蔵文化財調査報告書２」『茨城県教育財団文化財調査報告』第231集　2004年３月

12）註３ｊに同じ

13）註６に同じ

14）註５に同じ

15）註10に同じ

16）註７ａ・ｃに同じ

17）註３ｊ・ｍに同じ

18）註３ｇに同じ

19）註８に同じ

20）久野俊度「主要地方道取手筑波線道路改良工事地内文化財調査報告書　境松遺跡」『茨城県教育財団文化財調査報告』第41集　1987年３月

21）稲田義弘「島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅵ　島名前野遺跡」『茨城県教育財団文化財調査報告』第175集　2001年３月

22）註７に同じ

23）註10に同じ

24）註７に同じ

25）白田正子「（仮称）萱丸地区特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅱ　三度山遺跡・古屋敷遺跡」『茨城県教育財団文化財調査報告』第132集　1998年３月

26）註25に同じ

27）註６に同じ

28）註５ａに同じ

29）註３に同じ

30）ａ　青木仁昌「島名八幡前遺跡　島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅸ」『茨城県教育財団文化財調査報告』第201集　2003年３月

ｂ　菊池直哉「島名八幡前遺跡　都市計画道路島名上河原崎線道路整備事業地内埋蔵文化財調査報告書」『茨城県教育財団文化財調査報告』第283集　2007年３月

31）註21に同じ

32）註７に同じ

33）註４に同じ

34）谷田部の歴史編さん委員会『谷田部の歴史』谷田部町教育委員会　1975年９月

35）註５ｂ，註10ａに同じ

36）註34に同じ

37）池邊彌『和名類聚抄郡郷里驛名考證』吉川弘文館　1981年２月
中山信名『新編常陸国誌』崙書房（復刻版）　1978年12月

38）註３に同じ

39）註30に同じ

40）註21に同じ

41）註７に同じ

42）註３に同じ

43）註30に同じ

44）註34に同じ

45）註７に同じ

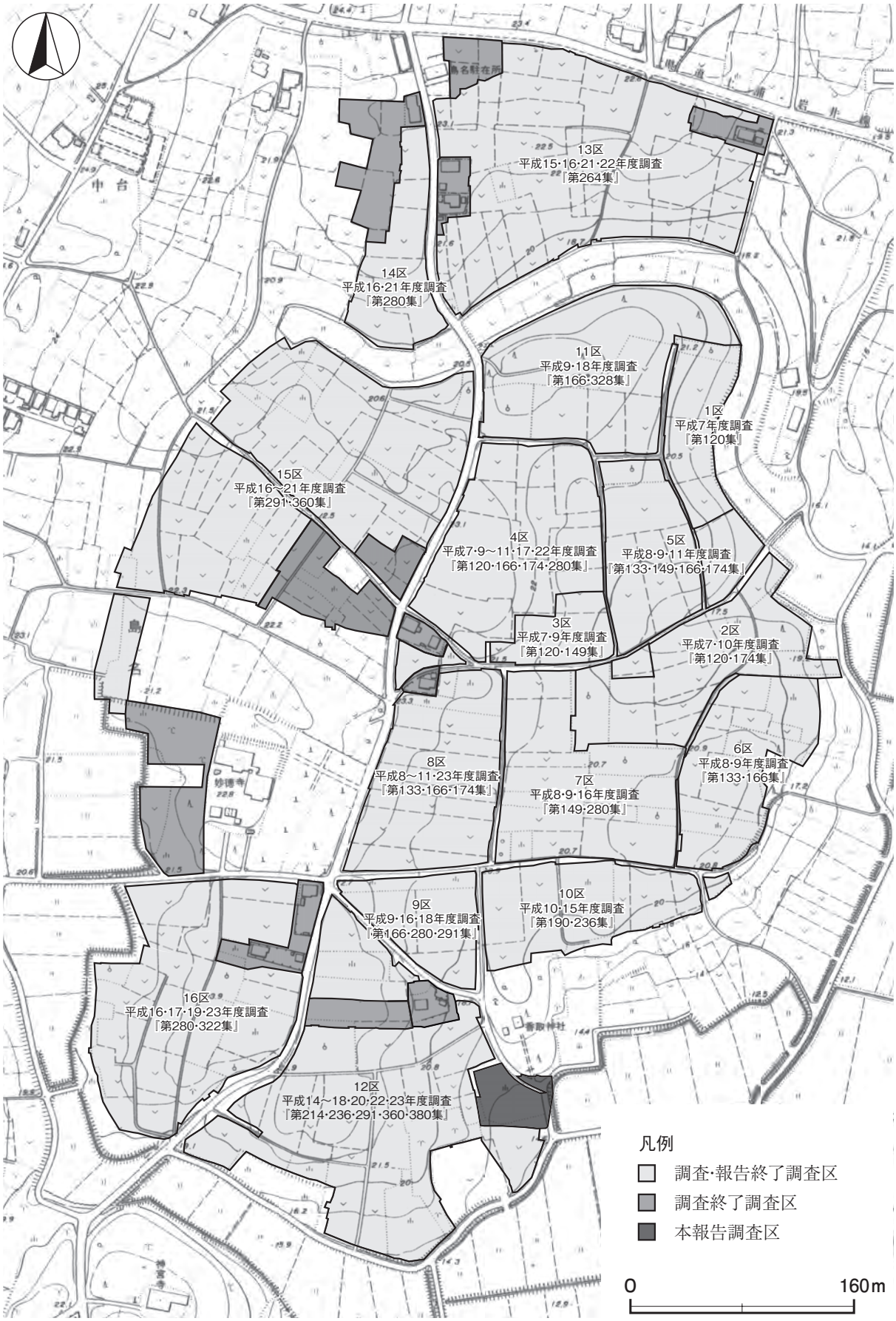
46）註34に同じ

47）註３ｊに同じ

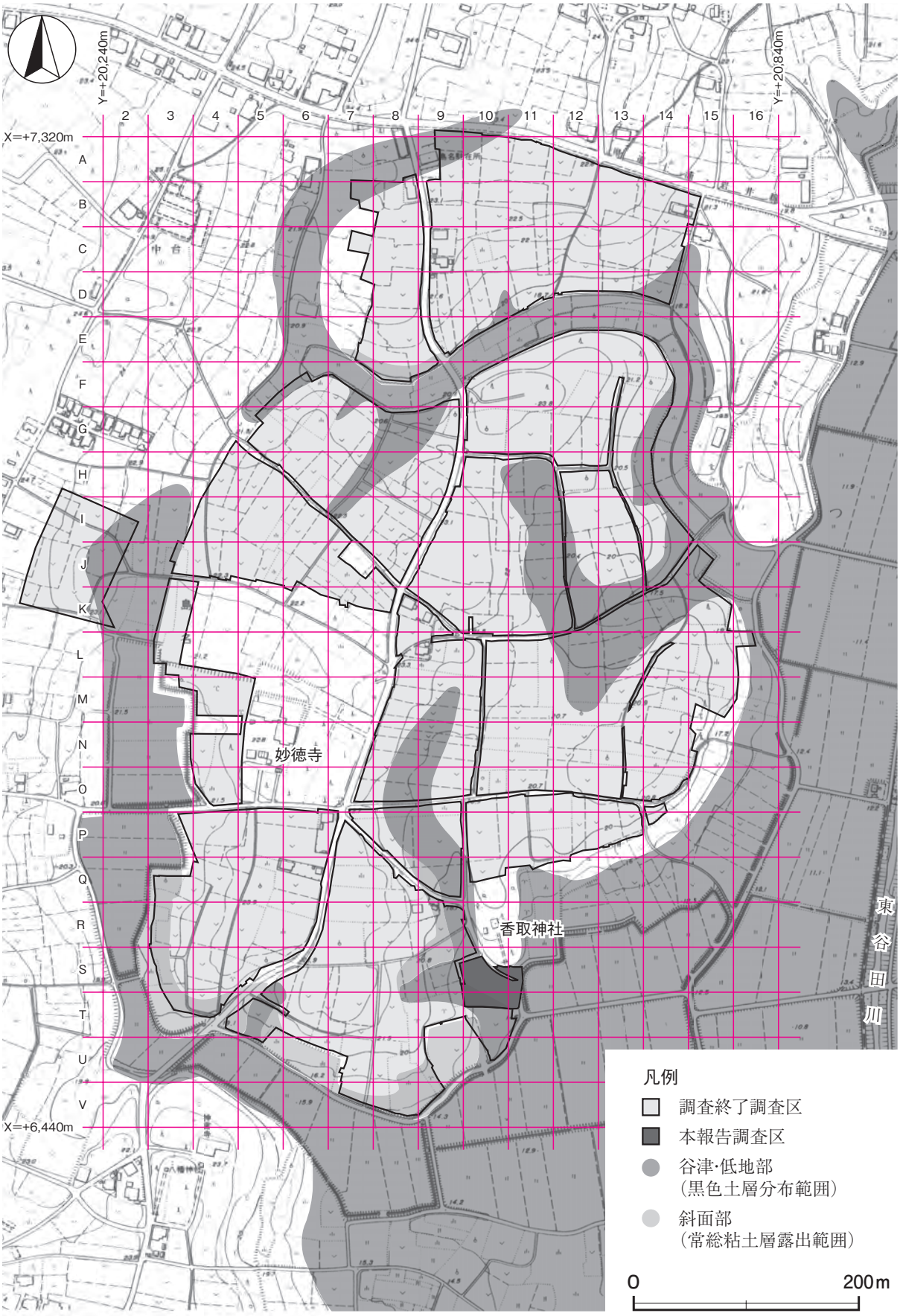
参考文献・資料

『つくば市遺跡地図』つくば市教育委員会　2001年７月
『茨城県遺跡地図』茨城県教育委員会　2001年３月

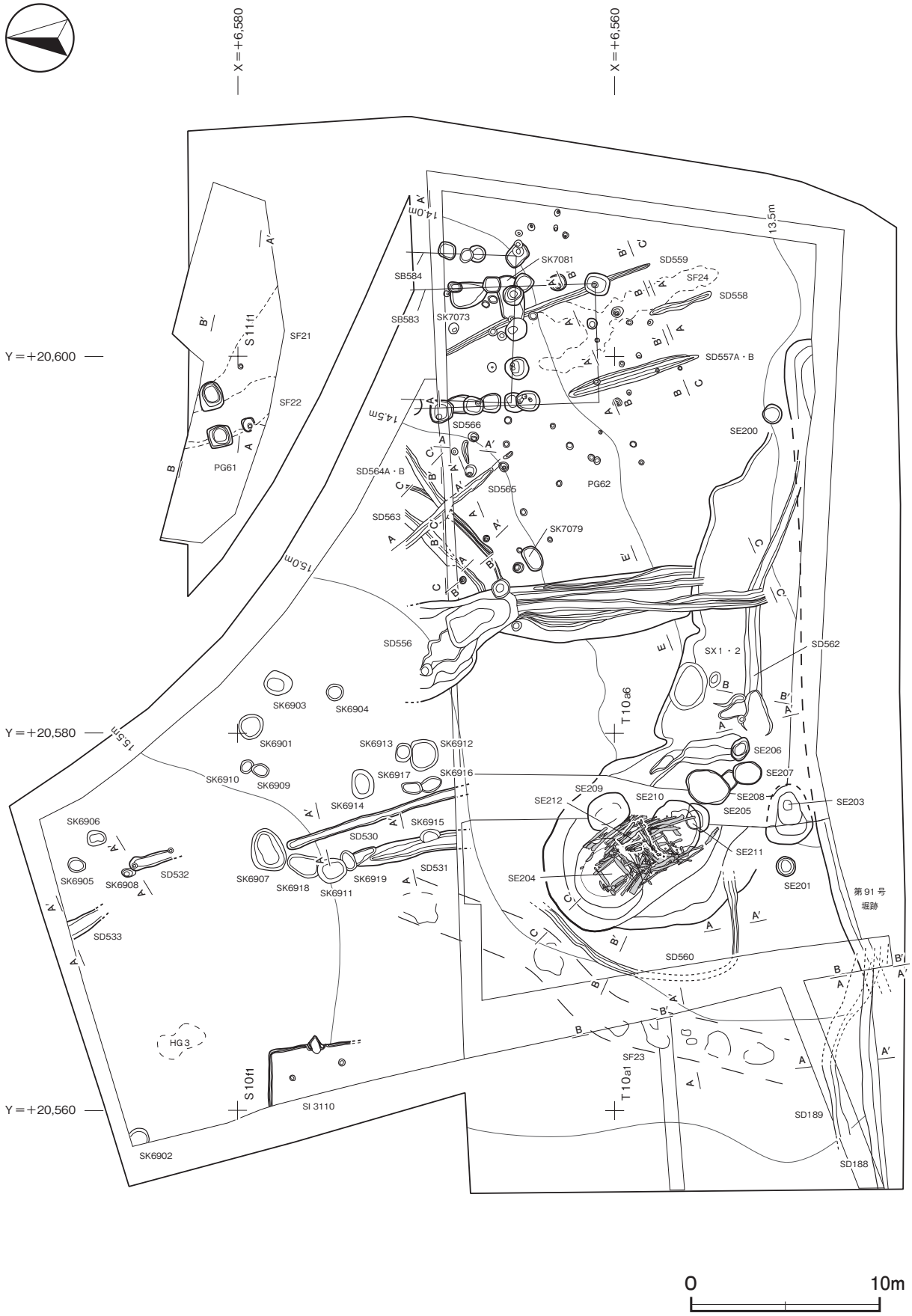
※　遺跡の最新情報は，茨城県域統合型GIS「いばらきデジタルマップ」の「茨城県遺跡地図」（平成22年度版）を参考にした。



第２図　島名熊の山遺跡調査区設定図（つくば市研究学園都市計画図 2,500 分の 1 から作成）



第３図　島名熊の山遺跡グリット設定図（つくば市研究学園都市計画図 2,500 分の 1 から作成）



第４図　島名熊の山遺跡遺構全体図

第３章　調　査　の　成　果

第１節　調　査　の　概　要

当遺跡は，つくば市の南西部に位置し，東谷田川右岸の標高約 13 ～ 24 ｍの台地上から低地部にかけて立地している。調査区は，便宜上１～ 16 区（第２図）に分けている。今回は，遺跡南東部に位置する 12 区の平成 22 ～ 23 年度に調査した 2,154㎡について報告する。

調査は，平成 22 年４月１日から６月 30 日までと平成 23 年１月１日から８月 31 日までの 11 か月間にわたって実施し，竪穴住居跡１軒（平安時代），掘立柱建物跡２棟（奈良時代），井戸跡 12 基（古墳時代５，奈良時代４，平安時代１，時期不明２），遺物集中地点２か所（平安時代），遺物包含層１か所（古墳時代），土坑 22 基（平安時代１，時期不明 21），道路跡４条（時期不明），堀跡１条（室町時代），溝跡 18 条（奈良時代１，室町時代１，時期不明 16），ピット群２か所（時期不明）を確認した。

遺物は，遺物収納コンテナ（60 × 40 × 20㎝）に 169 箱出土している。主な遺物は，土師器（坏・高坏・高台付椀・蓋・皿・高台付皿・小皿・壺・鉢・甕・甑・手捏土器），須恵器（坏・高台付坏・蓋・高台付皿・盤・無台盤・短頸壺・長頸瓶・鉢・浅鉢・甕・甑・円面硯），灰釉陶器（碗・段皿・長頸瓶），土師質土器（小皿・内耳鍋），陶器（甕），土製品（土玉・管状土錘・羽口・紡錘車），石器（鏃・磨石・石臼・砥石・紡錘車），金属製品（刀子・耳環・銭貨・椀状滓・鉄滓），木器・木製品・木材（木簡・鍬先・柄・横槌・竪杵・馬鍬歯・田舟転用材・糸巻枠木・弓・檜扇カ・横櫛・下駄・箸カ・甑底板・挽物高台付坏・挽物皿・刳物皿・曲物底板・曲物側板・曲物篩カ・刀形・荷札状木製品・斎串カ・火鑽臼・有孔小板・井戸枠材・建築用材・杭），自然遺物（桃核・クリ・ヒョウタン・サルノコシカケ・ウリ・ヤマトシジミ・ハマグリ・鹿骨・鹿角）などである。

第２節　基　本　層　序

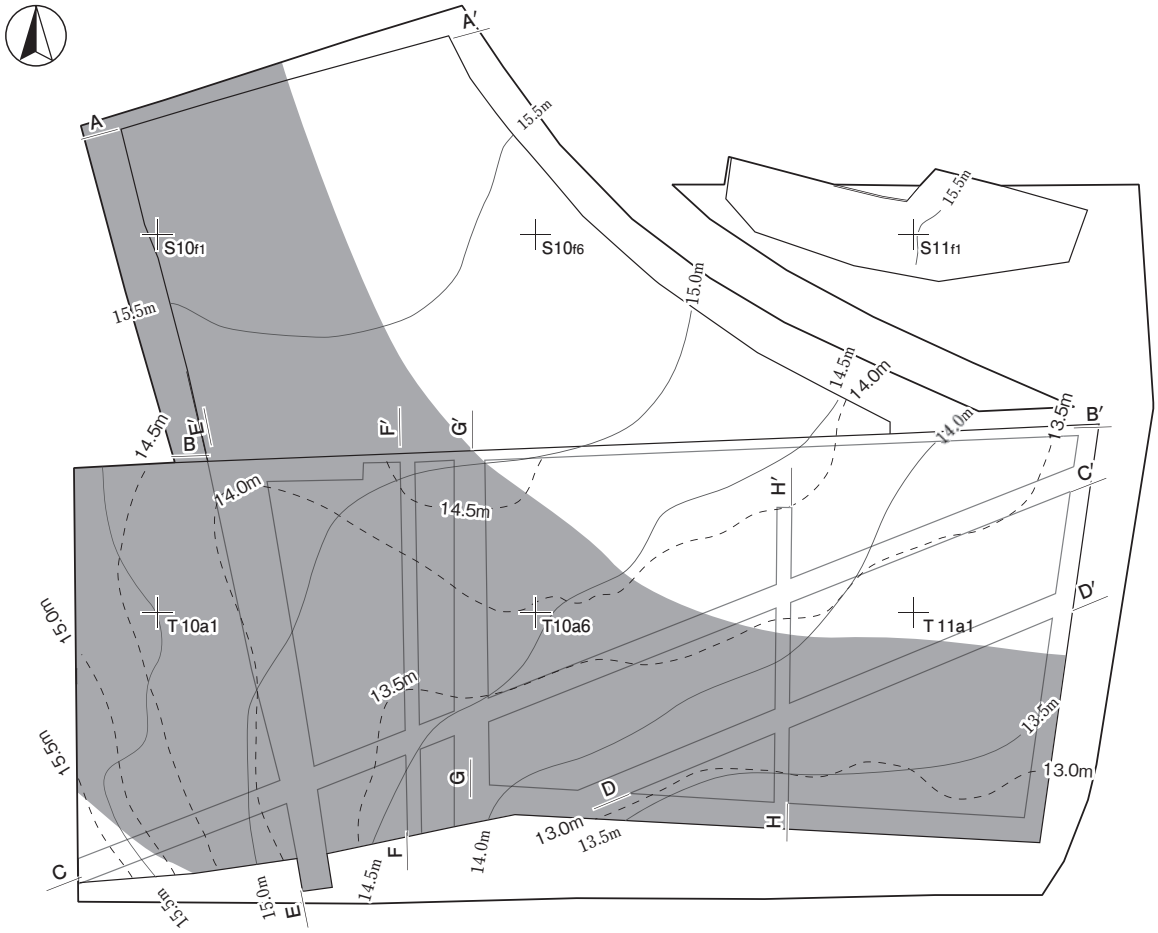
当調査区は，標高 13 ～ 15 ｍの台地斜面部から低地部にかけて立地している。調査区北西部から南東部にかけて埋没谷を確認したことから，８か所のトレンチ（Ａ～Ｈトレンチ）を設定して基本土層の観察を行った。

７層に大別でき，上層からⅠ～Ⅶ層とした。

Ⅰ層は，現地表の耕作土層である。黒～暗褐色砂質土で，ローム粒子を少量含んでいる。粘性・締まりともに普通で，層厚は 32 ～ 46㎝である。

Ⅱ層は，旧耕作土層で２層に細分できる。上層のⅡａ層はにぶい褐色土で，ローム粒子，細砂を少量含んでいる。下層のⅡｂ層は灰黄褐色土で，ロームブロックを中量含んでいる。粘性・締まりはともに普通で，層厚は 48 ～ 90㎝である。調査区北東部では４層に細分でき，各層の上面に道路跡が確認できた。道路跡は，北接する香取神社への参道と考えられる。上層から，Ⅱｃ層は暗褐色土，Ⅱｄ層は灰黄褐色土，Ⅱｅ層は暗褐色土，Ⅱｆ層はにぶい黄褐色土で，Ⅱｃ･ｄ層はローム粒子を少量，Ⅱｅ･ｆ層はロームブロックを中量含んでいる。粘性･締まりともに普通で，層厚は 71 ～ 116㎝である。各層から明治時代以降の陶磁器片などが出土している。

井戸跡や遺物集中地点などの遺構は，旧耕作土層を除去した面で確認した。遺構確認面の状況は，調査区南西部にハードローム層，北東部にローム再堆積層が露出しており，調査区の大部分は埋没谷の覆土上層にあたる黒褐色土が北西・南東方向に広がっている。標高は 13.5 ～ 16.0 ｍで，南東方向へ緩やかに傾斜している。



凡例

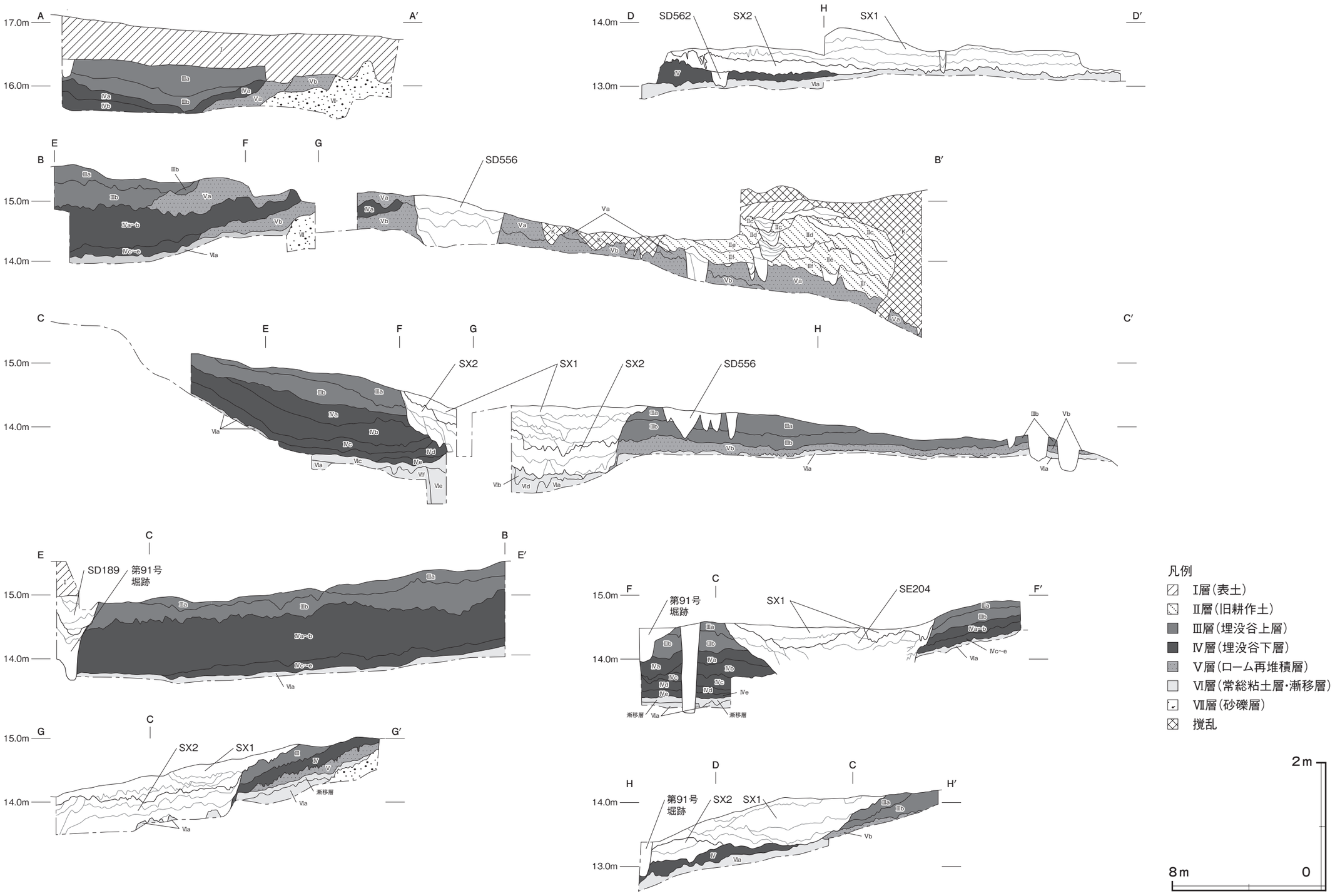
標高 —— 表土除去面等高線

標高 - - - - 埋没谷覆土除去面等高線

■ 埋没谷部（黒褐色土分布範囲）

0 20m

第５図　調査区地形図・埋没谷出土遺物実測図



第6図　トレンチ土層実測図

Ⅲ層は，埋没谷の覆土上層であり，２層に細分できる。上層のⅢａ層は黒褐色土で，ローム粒子，焼土粒子を微量含んでいる。下層のⅢｂ層は暗オリーブ褐色土で，ローム粒子，焼土粒子を少量含み，下部にはわずかに鉄分が沈着している。粘性・締まりともにやや強く，層厚は 18 ～ 75cmである。Ⅲａ層から縄文時代中期後葉（加曽利Ｅ２～３式）の縄文土器片が８点出土している。いずれも摩滅した細片で，台地上から流れ込んだものである。同層を掘り込んでいる各遺構からも同時期の縄文土器片が出土しており，谷の最終的な埋没時期の上限を示している。

Ⅳ層は，谷の深部に堆積した層で，５層に細分できる。上層から，Ⅳａ層は暗褐色土，Ⅳｂ層は暗オリーブ褐色粘質土，Ⅳｃ層はオリーブ黒色粘土，Ⅳｄ層は黒色粘土，Ⅳｅ層はオリーブ黒色粘土である。下部ほど粘性が強く，締まりは弱くなる。層厚は 16 ～ 103cmである。Ⅳｂ層は下部に鉄分が沈着しており，地下水の透水層になっている。調査時には，土層断面からにじみ出るように湧水が認められた。

Ⅴ層は，ロームの再堆積層で，谷の東側斜面部に堆積している。調査区北東部ほど層厚が厚く，２～３層に細分できるが，南側に標高が低くなるにつれて薄くなり，流出している様子がみられる。上層から，Ⅴａ層は褐色土，Ⅴｂ層はにぶい褐色土，Ⅴｃ層はにぶい褐色粘質土で，各層ともロームのブロックや粒子，粗砂を多く含んでいる。粘性はやや強く，締まりは普通である。層厚は 12 ～ 43cmである。

Ⅵ層は，常総粘土層で，南東方向（Ｓ－ 42°－Ｅ）へ延びる谷の基盤層である。谷底部の標高は 12.8 ～ 14.5ｍで，遺構確認面（Ⅲ層上面）からの深さは 117 ～ 135cmである。基盤層にあたるⅥａ層は灰白色粘土で，粘性・締まりともに強く，層厚は 10 ～ 16cmである。谷底部には流水堆積層が確認でき，暗灰～灰色粘土層（Ⅵｂ・ｄ層）を主体とし，常総粘土や灰色粘土がブロック状に巻き上げられている層（Ⅵｃ・ｆ層）や灰白色粗砂の薄層を互層に挟む層（Ⅵｅ層）が認められる。このことから，谷の埋没が始まる段階には，激しい流水があったことがうかがえる。層厚は最大 80cmである。

Ⅶ層は，旧河川活動に伴う砂礫層であり，竜ヶ崎層に相当する。黄橙色中礫～粗砂で，下位ほど粒径が大きく，上部には鉄分の沈着が著しい。激しい湧水が認められ，土層観察トレンチの底面には小さな噴出孔が複数確認でき，常時，水が流れている状態であった。今回の調査で確認した井戸跡の多くが同層まで掘り込まれており，その水源となっている。下部は未掘のため，層厚は不明である。

埋没谷出土遺物観察表（第５図）

番号	種別	器種	胎土	色調	手法の特徴ほか	出土位置	備考
TP 1	縄文土器	深鉢	長石・石英	にぶい褐	LRの単節縄文　懸垂文	西部上層	
TP 2	縄文土器	深鉢	長石・石英	にぶい黄褐	LRの単節縄文　沈線文	西部上層	
TP 3	縄文土器	深鉢	長石・石英	明赤褐	LRの単節縄文　懸垂文	西部上層	
TP 4	縄文土器	深鉢	長石・石英	にぶい褐	Ｌの無節縄文	西部上層	
TP 5	縄文土器	深鉢	長石・石英	にぶい褐	Ｒの無節縄文	西部上層	

第３節　遺 構 と 遺 物

１　古墳時代の遺構と遺物

当時代の遺構は，井戸跡５基と遺物包含層１か所を確認した。以下，遺構及び遺物について記述する。

(1)　井戸跡

第 203 号井戸跡（第７・８図）

位置　調査区南部の T10c4 区，標高 14 mほどの斜面部に位置している。

確認状況　埋没谷部の土層観察用トレンチを掘削したため，西半部と底部しか確認できなかった。

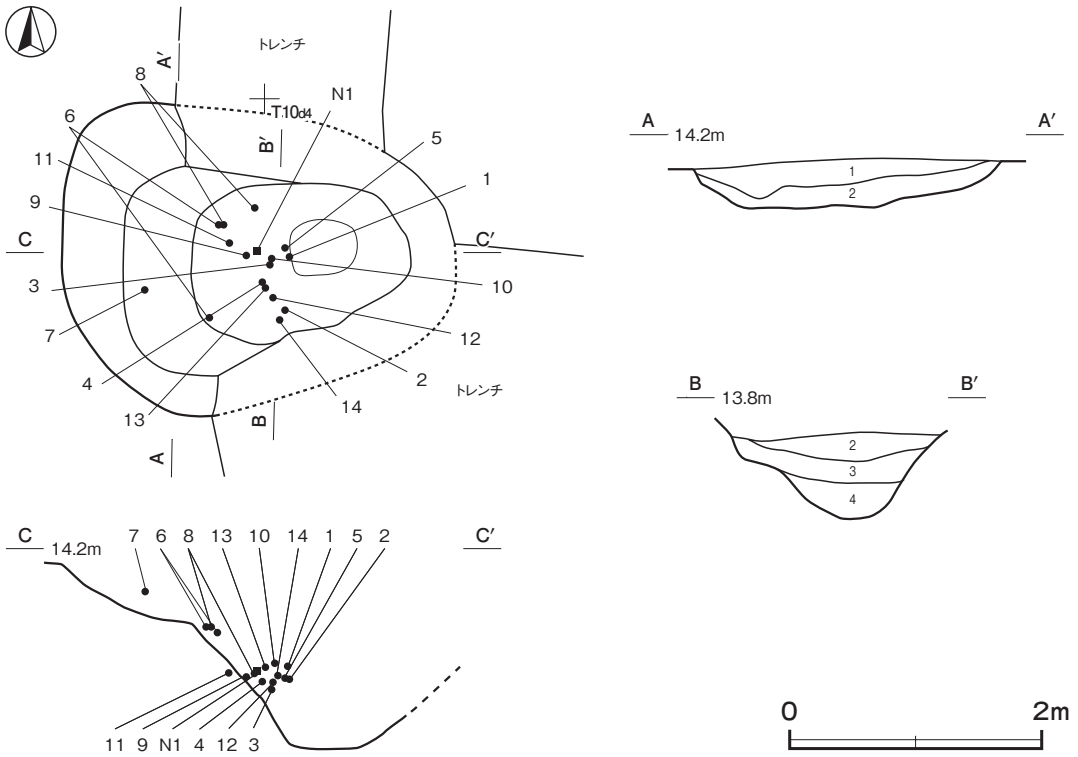
規模と形状　トレンチ掘削のため，長径は 2.73 m，短径は 2.42 mしか確認できなかった。不整楕円形と推定でき，長径方向はＮ－ 85°－Ｅである。底面は擂鉢状で，壁は緩やかに立ち上がっている。深さは 157㎝で，常総粘土層を掘り込んでおり，壁部の下位から湧水が認められる。

覆土　４層に分層できる。軟質の粘質土や粘土を主体とする自然堆積である。

土層解説

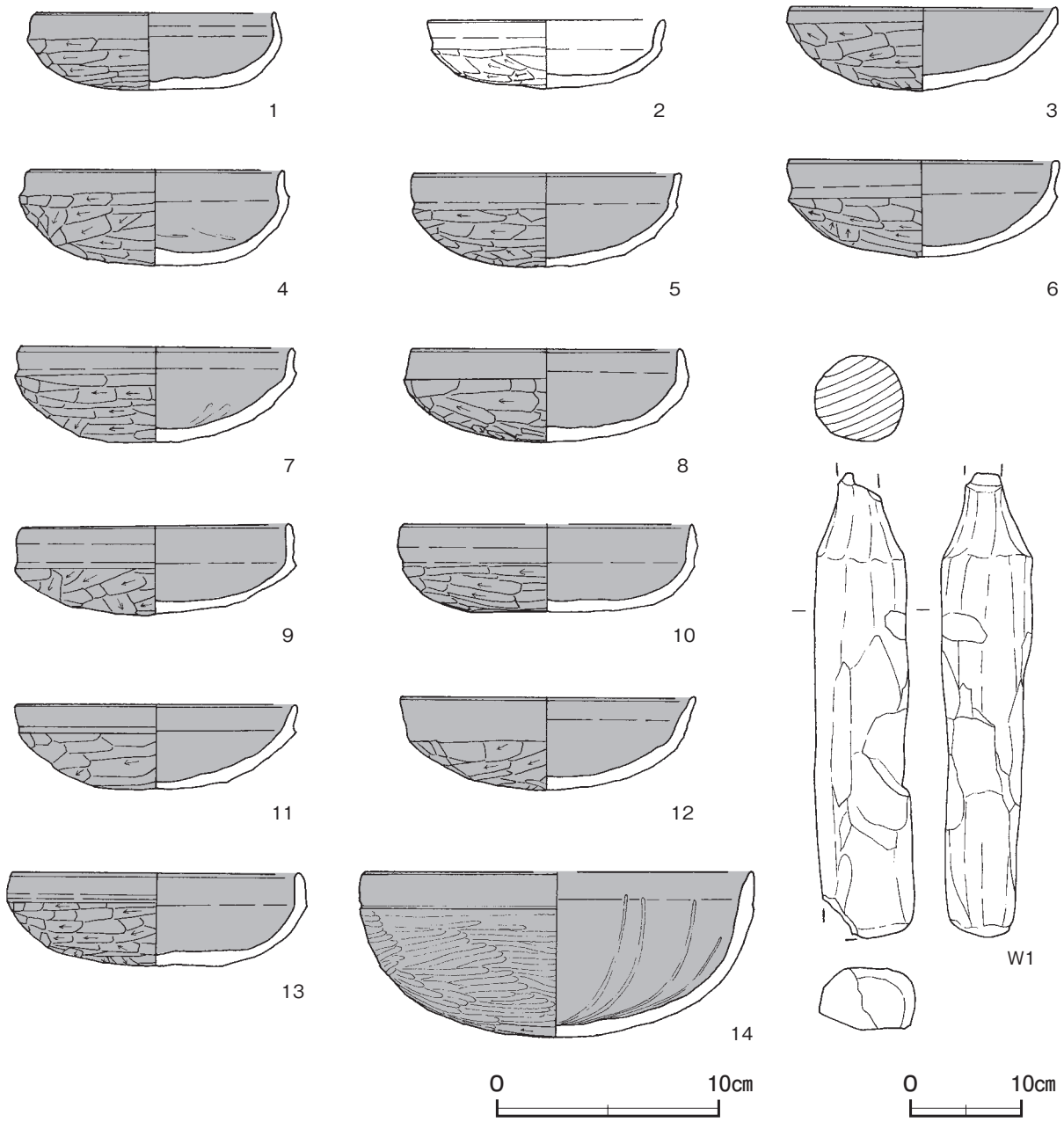
１	黒　褐	色	粘質土	鉄分沈着中量，常総粘土ブロック微量	３	オリーブ黒色	粘土　細砂微量
２	黒	色	粘質土	鉄分沈着微量	４	黒	色　粘土

遺物出土状況　土師器片 139 点（坏 99, 甕 40），木製品１点（竪杵），自然遺物 19 点（桃核 18, サルノコシカケ１）のほか，クリや自然木が，中層の第２層からまとまって出土している。土師器坏は，９割以上に黒色処理されており，いずれも残存率が高く，器面が摩滅していない。１～ 14，Ｗ１，Ｎ１は，いずれも覆土中層の第２層からまとまって出土している。



第７図　第 203 号井戸跡実測図

所見　時期は，出土土器から７世紀前葉に比定できる。出土遺物は一括して投棄された状況を示しており，井戸の廃絶時の祭祀行為が想定できる。



第８図　第 203 号井戸跡出土遺物実測図

第 203 号井戸跡出土遺物観察表（第８図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
1	土師器	坏	10.7	3.4	－	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	中層	100%
2	土師器	坏	10.6	3.1	－	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り	中層	100%　PL18
3	土師器	坏	11.9	3.8	－	長石・石英	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	中層	80%　PL18
4	土師器	坏	11.6	4.3	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	中層	90%　PL18
5	土師器	坏	12.0	4.2	－	長石・石英	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	中層	95%　PL18

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
6	土師器	坏	11.9	4.3	－	長石・石英	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	中層	90%　PL18
7	土師器	坏	12.4	4.2	－	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	中層	90%　PL18
8	土師器	坏	12.1	4.2	－	長石・雲母	明褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	中層	70%
9	土師器	坏	12.0	4.0	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	中層	80%　PL18
10	土師器	坏	［13.1］	4.0	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	中層	50%
11	土師器	坏	12.6	3.8	－	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	中層	60%
12	土師器	坏	13.1	4.2	－	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	中層	70%
13	土師器	坏	12.9	4.3	－	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	中層	80%　PL18
14	土師器	坏	［17.6］	7.5	－	長石・石英・雲母	灰褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り後ヘラ磨き　内面放射状のヘラ磨き　外・内面黒色処理（漆）	中層	40%　PL18

番号	種　別	器　種	長さ	幅	厚さ	材　質	特　徴	出土位置	備　考
W 1	農具	竪杵	(42.1)	8.9	8.4	クヌギ	芯無削出　搗き部端部摩滅	中層	PL19

番号	種　類	名　称	長さ	幅	厚さ	重量	特　徴	出土位置	備　考
N 1	菌類	サルノコシカケ	11.0	8.0	3.8	40.8	半月形　表面ヒダ状	中層	PL18

第 206 号井戸跡（第９図）

位置　調査区南部の T10b5 区，標高 13 mほどの埋没谷部に位置している。

重複関係　上部に第１・２号遺物集中地点が形成されている。

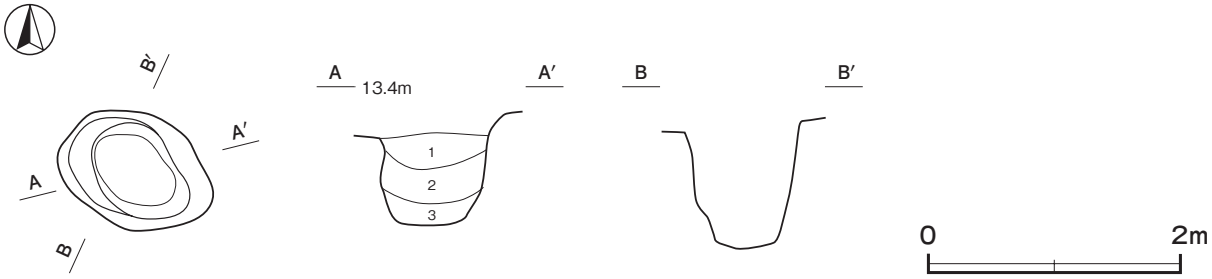
規模と形状　長径 1.22 m，短径 0.89 mの不整楕円形で，長径方向はN－55°－Wである。底面は皿状で，壁は外傾して立ち上がっている。深さは 94cmで，常総粘土層を掘り込んでおり，壁部からは湧水が認められる。壁面には鉄分の沈着が著しい。

覆土　３層に分層できる。軟質の粘質土や粘土を主体とする自然堆積である。

土層解説

1　オリーブ黒色　粘土　常総粘土ブロック・細礫微量
2　オリーブ黒色　粘質土
3　黒　　色　粘質土

所見　本跡の周囲には古墳時代後期から奈良時代にかけての素掘りの井戸が集中しており，古墳時代後期のものは径 1.5m 前後，奈良時代のものは径２m 以上で，規模に大小の差違が認められる。本跡は前者にあたることから，時期は古墳時代後期と考えられる。



第９図　第 206 号井戸跡実測図

第 207 号井戸跡（第 10 図）

位置　調査区南部のＴ 10b5 区，標高 13 mほどの埋没谷部に位置している。

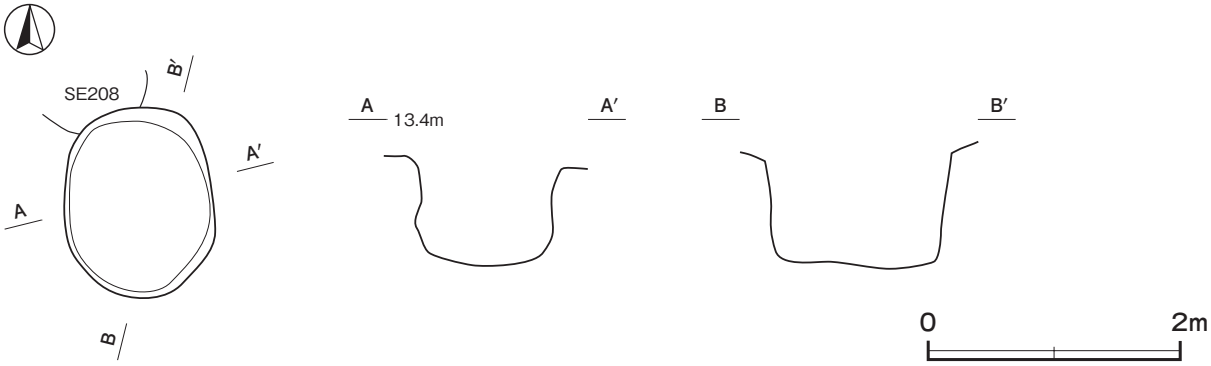
重複関係　第 208 号井戸跡を掘り込み，上部に第１・２号遺物集中地点が形成されている。

規模と形状　長径 1.50 m，短径 1.20 mの楕円形で，長径方向はN－6°－Wである。底面は皿状で，壁はほ

ぼ直立している。深さは86cmで，常総粘土層を掘り込んでおり，壁部からは湧水が認められる。壁面には鉄分の沈着が著しい。

覆土　湧水による崩落のため図化できなかったが，軟質の暗灰色粘土を主体とする自然堆積である。

所見　時期は，規模と形状から，古墳時代後期と考えられる。



第10図　第207号井戸跡実測図

第208号井戸跡（第11図）

位置　調査区南部のT10b5区，標高13ｍほどの埋没谷部に位置している。

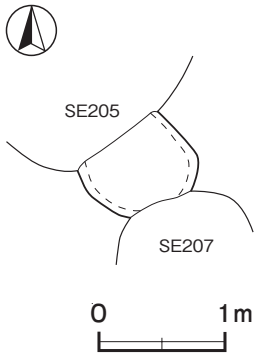
確認状況　湧水で壁部が崩落したため，形状や堆積状況は明確にできなかった。

重複関係　第205・207号井戸に掘り込まれており，上部に第１・２号遺物集中地点が形成されている。

規模と形状　北東・南西径は約0.9ｍで，北西部が第205号井戸，南東部が第207号井戸に掘り込まれているため，北西・南東径は約0.7ｍしか確認できなかった。円形あるいは楕円形と推定できる。底面は皿状で，壁はほぼ直立している。深さは80cmほどで，常総粘土層を掘り込んでおり，壁部および底部からは湧水が認められる。

覆土　軟質の暗灰色粘土を主体とし，常総粘土のブロックが多量に含まれている。埋め戻されたものか，壁部が崩落した自然堆積かは判断できなかった。

所見　規模と形状から，時期は古墳時代後期と考えられる。



第11図
第208号井戸跡実測図

第211号井戸跡（第12図）

位置　調査区南部のＴ10b4区，標高13ｍほどの埋没谷部に位置している。

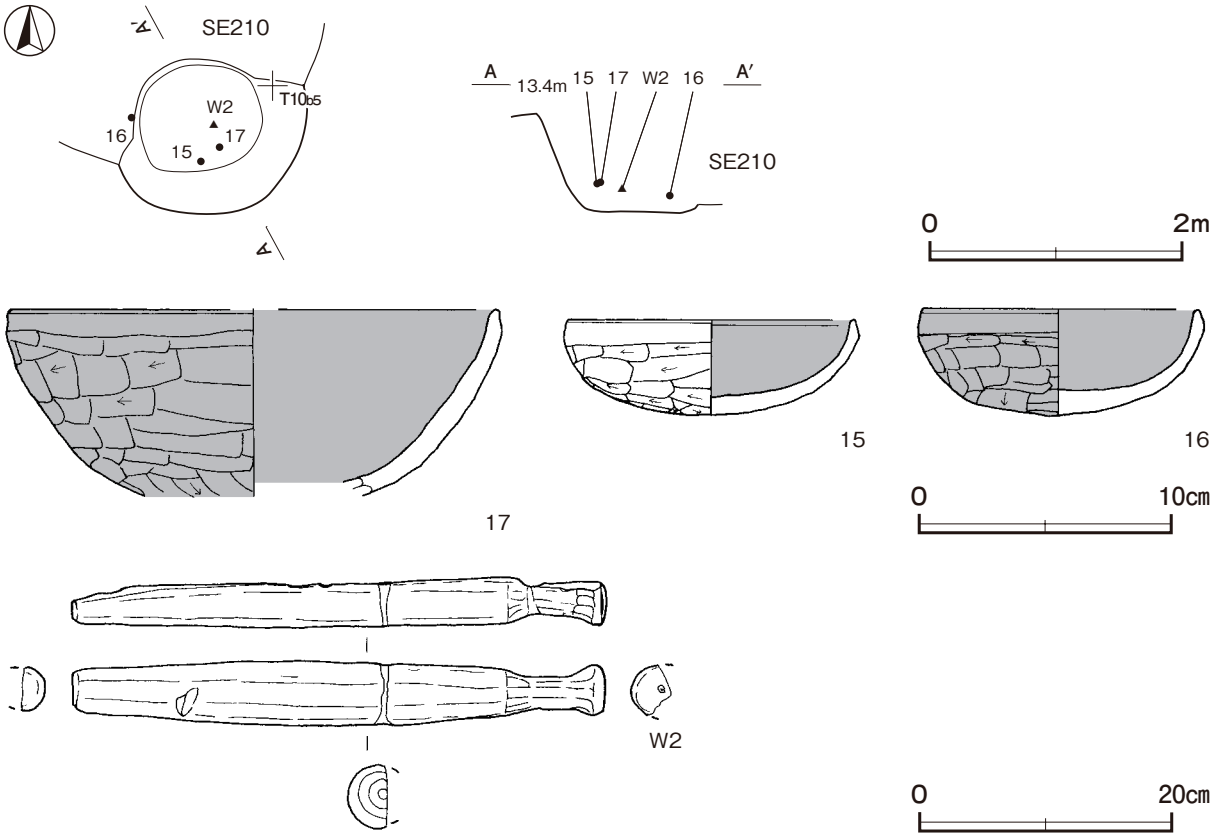
重複関係　第210号井戸に掘り込まれており，上部に第204号井戸，第１・２号遺物集中地点が形成されている。

規模と形状　東西径は1.56ｍで，北半部が第210号井戸に掘り込まれているため，南北径は1.27ｍしか確認できなかった。円形あるいは楕円形と推定できる。底面はほぼ平坦で，壁は外傾して立ち上がっている。深さは78cmで，常総粘土層を掘り込んでおり，壁部および底部からは湧水が認められる。

覆土　軟質の暗灰色粘土を主体とし，常総粘土のブロックが多量に含まれている。埋め戻されたものか，壁部が崩落した自然堆積かは判断できなかった。

遺物出土状況　土師器片10点（坏５，甕５），木製品１点（横槌）が出土している。15～17，Ｗ２は，中央部の覆土下層からそれぞれ出土している。

所見　時期は，出土土器から７世紀中葉に比定できる。



第12図　第211号井戸跡・出土遺物実測図

第211号井戸跡出土遺物観察表（第12図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
15	土師器	坏	11.3	3.8	－	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　内面黒色処理（漆）	下層	80%　PL19
16	土師器	坏	10.9	4.2	－	長石・赤色粒子	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	下層	100%　PL19
17	土師器	坏	[19.4]	(7.4)	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	下層	50%

番号	種　別	器　種	長さ	幅	厚さ	材　質	特　徴	出土位置	備　考
Ｗ２	農具	横槌	42.4	(5.1)	3.9	クリ	芯持削出　搗き部端部摩滅	下層	PL19

表２　井戸跡一覧表

番号	位置	長径方向	平面形	規模		底面	壁面	覆土	主な出土遺物	時期	備考
				長径×短径（m）	深さ（cm）						重複関係（古→新）
203	T10c4	N－85°－E	不整楕円形	(2.73)×2.42	157	擂鉢状	緩斜外傾	自然	土師器片，竪杵，桃核，サルノコシカケ，クリ，自然木	7世紀前葉	
206	T10b5	N－55°－W	不整楕円形	1.22×0.89	94	皿状	外傾	自然		後期	本跡→SX１・２
207	T10b5	N－6°－W	楕円形	1.50×1.20	86	皿状	直立	自然		後期	SE208→本跡→SX１・２
208	T10b5	－	[円形・楕円形]	(0.90)×(0.70)	[80]	皿状	直立	－		後期	本跡→SE205・207，SX１・２
211	T10b4	－	[円形・楕円形]	1.56×(1.27)	78	平坦	外傾	－	土師器片，横槌	7世紀中葉	本跡→SE204・210，SX１・２

(2) 遺物包含層

第３号遺物包含層（第 13・14 図）

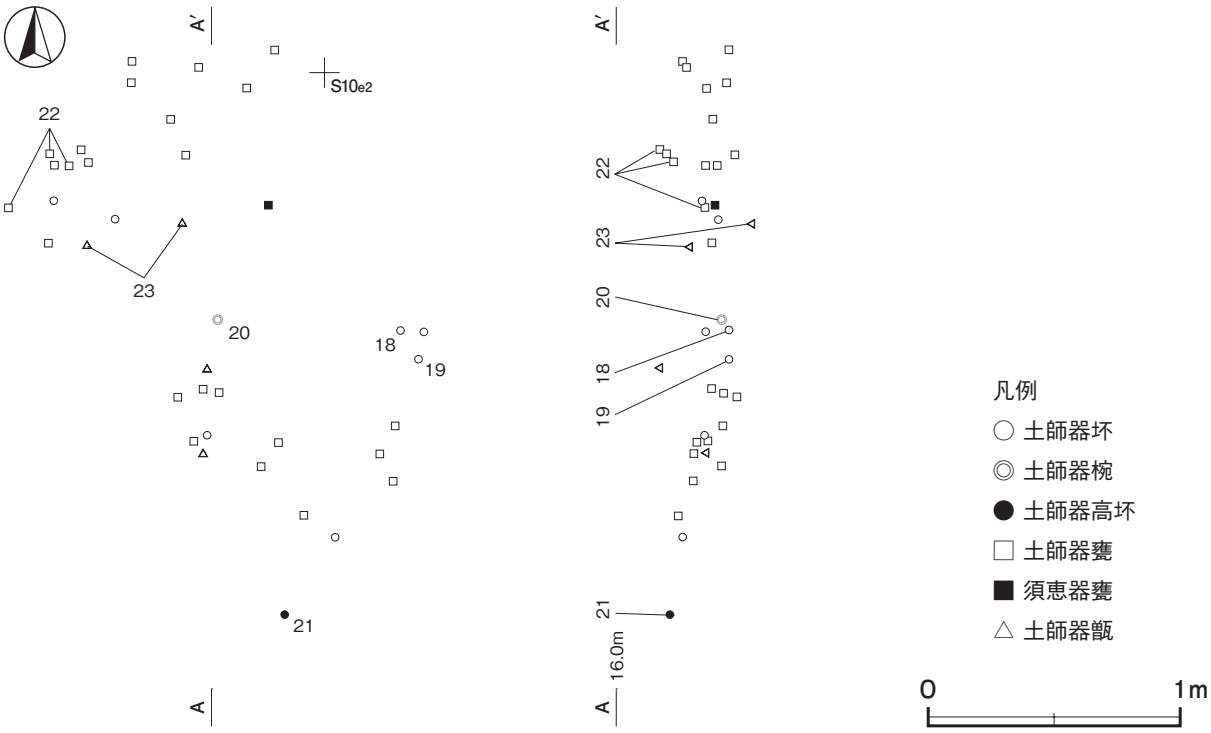
位置　調査区北部のＳ 10e1 区，標高 16 mの埋没谷部に位置している。

確認状況　遺構確認面において遺物が散在した状態で確認できた。遺物を含む土層の層厚が薄いため，堆積状況は明確にできなかった。

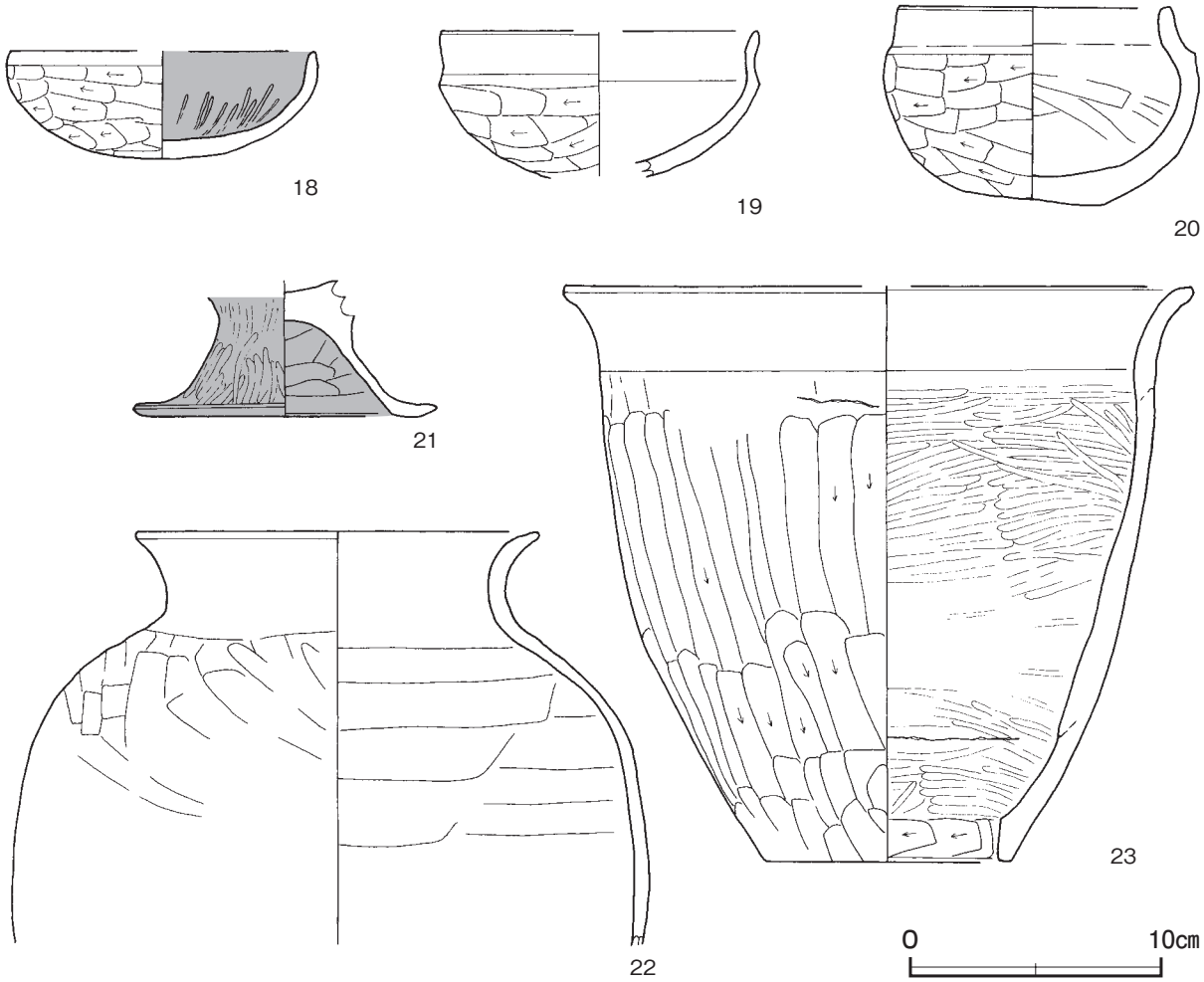
規模と形状　北西・南東軸 2.2 m，北東・南西軸 1.3 mの範囲に土器片が散在している。北西・南東軸方向はＮ－ 37°－Ｗで，埋没谷の軸方向とほぼ一致している。

遺物出土状況　縄文土器片１点（深鉢），土師器片 356 点（古墳時代坏 57，平安時代坏３，高台付椀１，高坏４，鉢１，甕 285，甑２，手捏土器３），須恵器片 45 点（坏９，高台付坏２，蓋２，盤１，高盤１，壺１，提瓶１，鉢２，甕 26）が散在した状態で出土している。多くは摩滅した細片であり，台地上から流れ込んだものである。そのなかで，古墳時代のものは比較的残りが良く，接合関係が認められるもの（18・19・21～23）やほぼ完形のもの（20）も出土している。

所見　谷の埋没過程で，台地上から谷底部の窪地に流れ込んだ遺物が集積したものと考えられる。縄文時代から平安時代の土器片が出土しているが，古墳時代後期（６世紀後葉）に比定できるものが主体である。本跡の南東約 20 m，Ｓ９h9 区周辺にも７世紀前葉と考えられる第２号遺物包含層が位置しており，古墳時代後期に谷部が一時的に廃棄場として利用されていたことを示している。



第 13 図　第３号遺物包含層実測図



第 14 図　第３号遺物包含層出土遺物実測図

第３号遺物包含層出土遺物観察表（第 14 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
18	土師器	坏	［12.0］	4.3	－	長石・石英・赤色粒子	褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　内面放射状のヘラ磨き	覆土中	30%
19	土師器	坏	［12.6］	（5.8）	－	長石・石英	褐灰	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　内面ヘラ磨き　器面剥離のため不鮮明	覆土中	60%
20	土師器	椀	10.4	7.9	5.6	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　内面ヘラナデ	覆土中	100%　PL19
21	土師器	高坏	－	（5.4）	12.0	長石・石英	黒褐	普通	脚部外面ヘラ磨き　内面ナデ	覆土中	40%　PL19
22	土師器	甕	15.8	（16.5）	－	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部外・内面ヘラナデ	覆土中	30%　PL19
23	土師器	甑	［24.8］	23.0	9.8	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部・底部内面ヘラ削り　体部内面ヘラ磨き	覆土中	70%　PL19

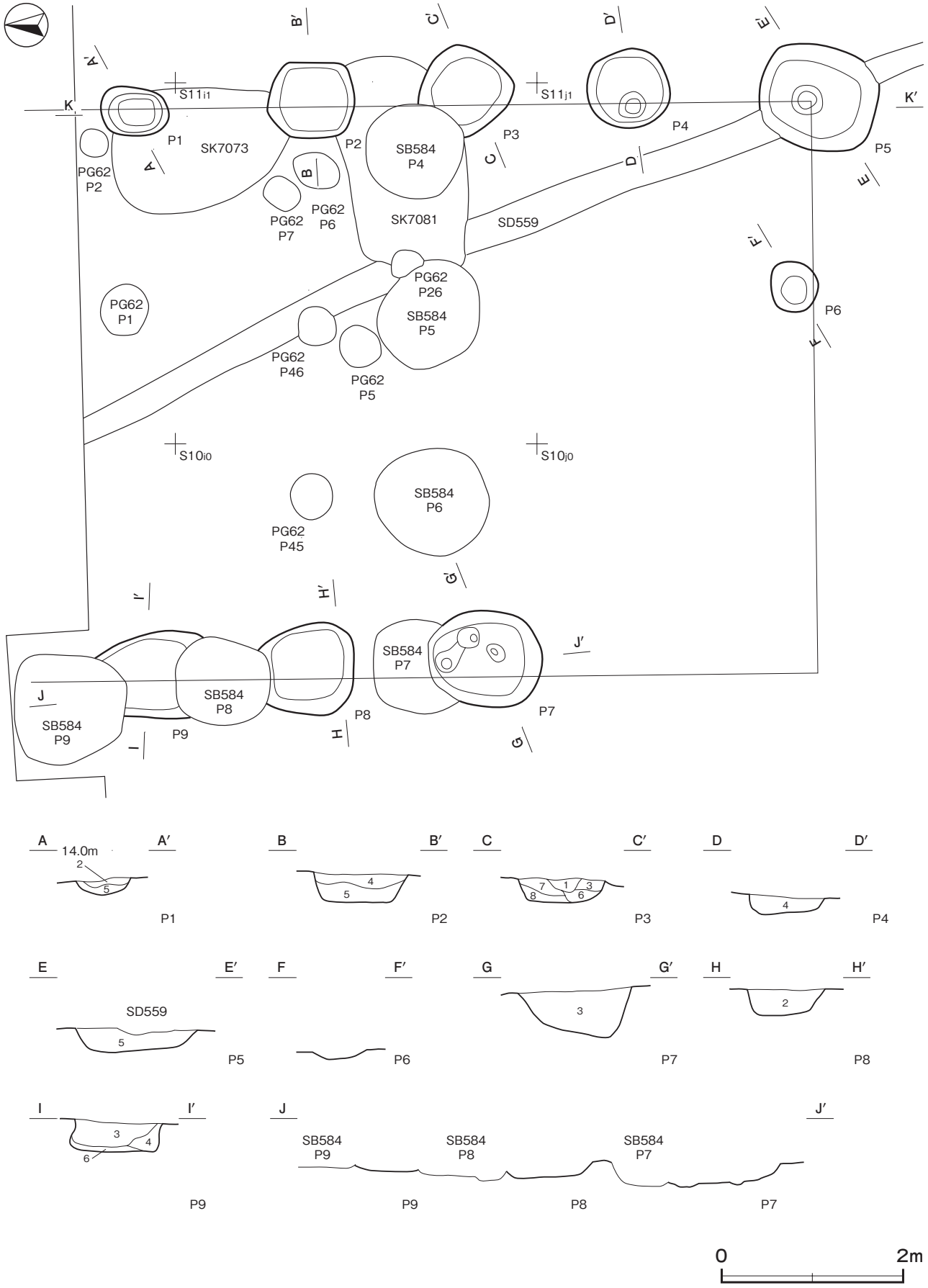
２　奈良時代の遺構と遺物

当時代の遺構は，掘立柱建物跡２棟，井戸跡４基，溝跡１条を確認した。以下，遺構及び遺物について記述する。

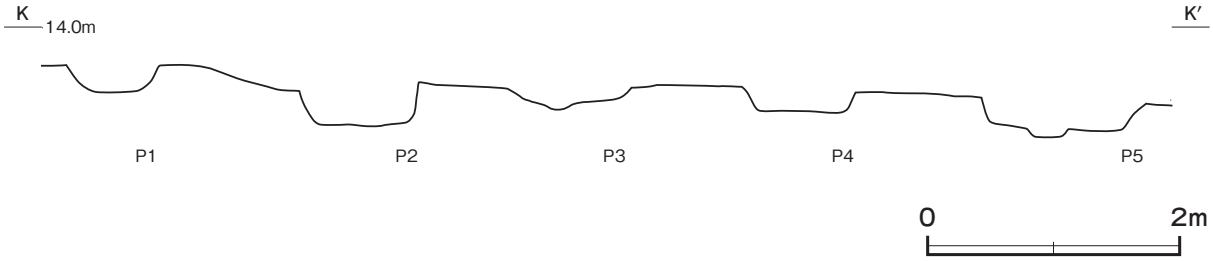
⑴　掘立柱建物跡

第 583 号掘立柱建物跡（第 15・16 図）

位置　調査区北東部のＳ 11i1 区，標高 14 mほどの緩斜面部に位置している。



第 15 図　第 583 号掘立柱建物跡実測図 (1)



第 16 図　第 583 号掘立柱建物跡実測図 (2)

重複関係　第 7073・7081 号土坑を掘り込み，第 584 号掘立柱建物，第 559 号溝に掘り込まれている。

規模と構造　梁行３間で，桁行は北部が調査区域外へ延びているため４間しか確認できなかった。側柱建物跡で, 桁行方向Ｎ－２°－Ｗの南北棟と推定できる。規模は, 梁行 6.3 ｍで, 桁行は 7.2 ｍしか確認できなかった。柱間寸法は，桁行が 1.8 ｍ（６尺），梁行は 2.1 ｍ（７尺）で，均等に配置されている。柱筋は揃っている。

柱穴　９か所で，南東部は斜面部のため柱穴が確認できなかった。Ｐ１～Ｐ９は身舎の柱穴で，平面形は隅丸長方形または円形で，長軸 76 ～ 131㎝，短軸 51 ～ 115㎝である。深さは 10 ～ 34cm で，断面形は逆台形である。第１～６層は柱抜き取り穴の覆土，第７・８層は掘方への埋土である。

土層解説

1	極暗褐色	ロームブロック少量	
2	褐色	ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量	
3	暗褐色	ローム粒子少量	
4	黒褐色	ローム粒子・炭化粒子微量	
5	極暗褐色	ローム粒子微量	
6	褐色	ロームブロック中量	
7	暗褐色	ロームブロック少量	
8	暗褐色	ロームブロック微量	

遺物出土状況　土師器片６点（甕），須恵器片３点（蓋１，甕２）のほか，混入した縄文土器１点（深鉢），古墳時代の土師器片２点（坏）が各柱穴の柱抜き取り穴の覆土中から出土している。いずれも細片のため図示できなかったが，土師器甕は体部にヘラ磨きが施されており，須恵器蓋は天井部が丸味を帯びている。

所見　時期は，出土土器や重複関係から８世紀前葉と考えられる。

第 584 号掘立柱建物跡（第 17・18 図）

位置　調査区北東部のＳ 11i1 区，標高 14 ｍほどの緩斜面部に位置している。

重複関係　第 583 号掘立柱建物跡，第 7073・7081 号土坑を掘り込み，第 559 号溝，第 62 号ピット群のＰ３・Ｐ 26・Ｐ 43 に掘り込まれている。

規模と構造　桁行４間で，梁行は北側が調査区域外へ延びているため２間しか確認できなかった。側柱建物跡で，桁行方向Ｎ－ 88°－Ｗの東西棟と推定できる。規模は，桁行 7.8 ｍで，梁行は 3.9 ｍしか確認できなかった。柱間寸法は桁行，梁行ともに 1.95 ｍ（6.5 尺）で，均等に配置されている。柱筋は揃っている。

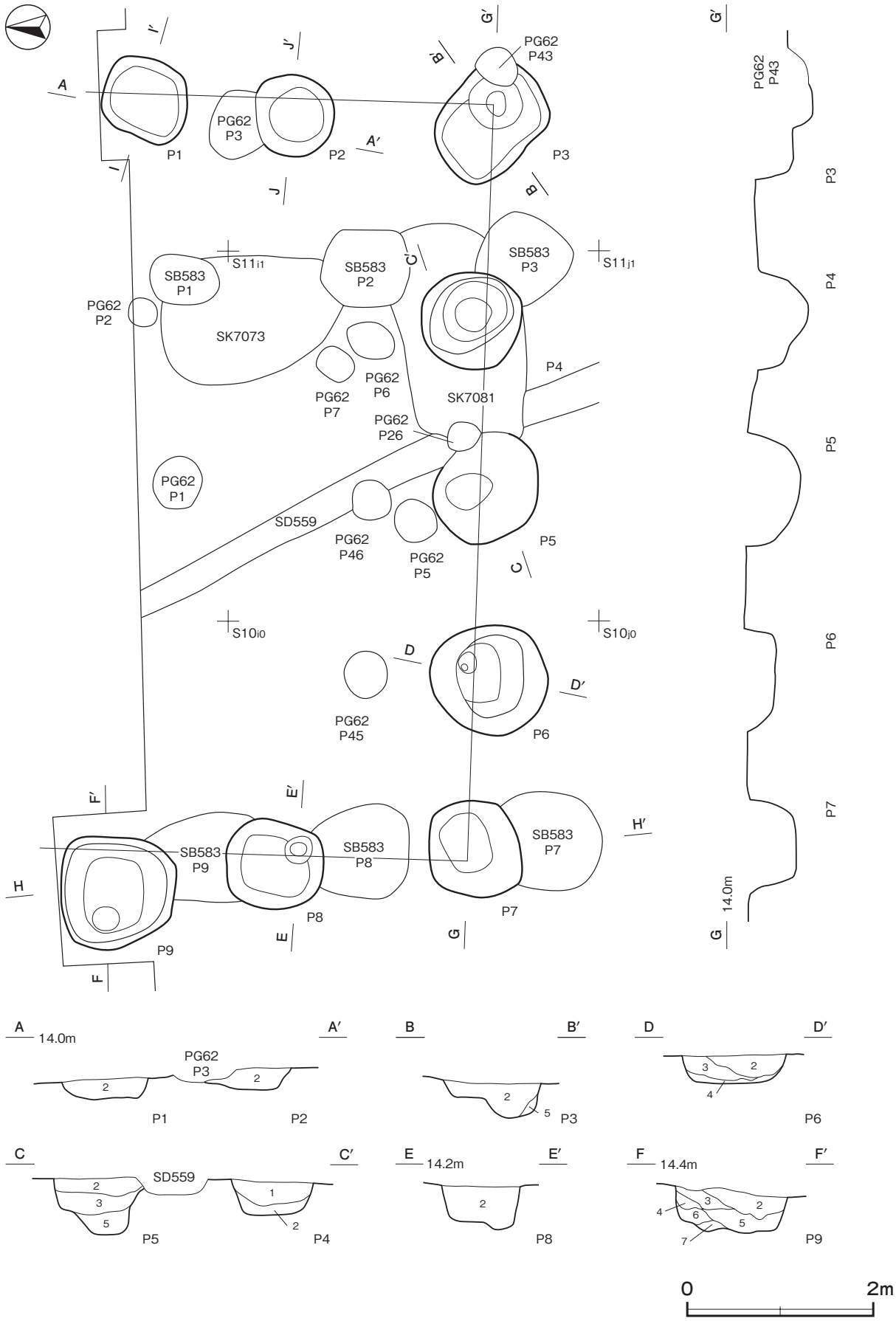
柱穴　９か所。平面形は隅丸方形または円形で，長軸・径 92 ～ 132㎝，短軸・径 88 ～ 123㎝である。深さは 22 ～ 46cm で，掘方の断面形は逆台形である。第１～７層は柱抜き取り穴の覆土である。

土層解説

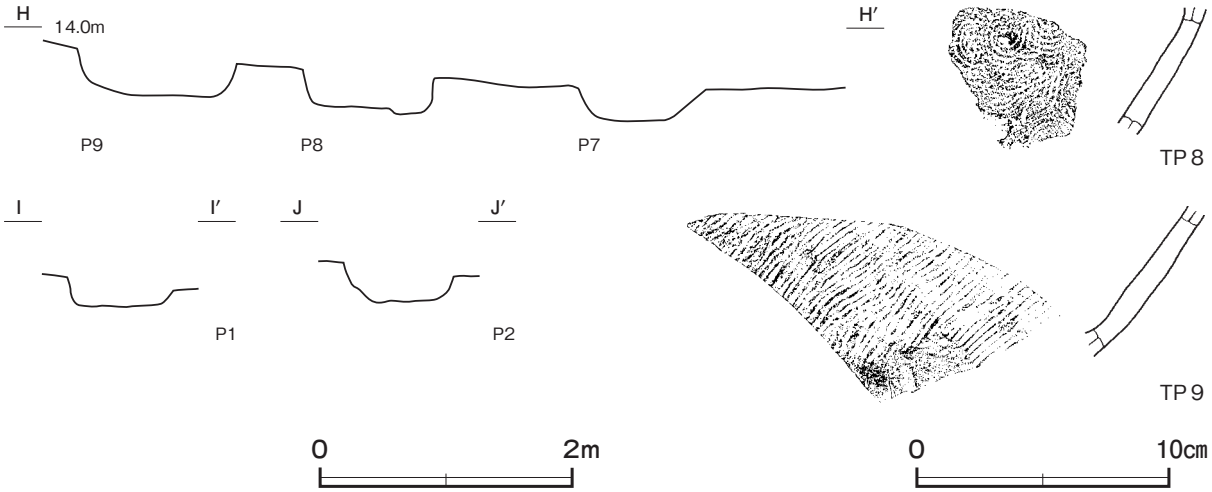
1	褐色	ローム粒子少量	
2	極暗褐色	ロームブロック・炭化粒子微量	
3	暗褐色	ロームブロック少量	
4	暗褐色	ロームブロック中量	
5	黒褐色	ロームブロック中量	
6	褐色	ロームブロック中量	
7	黒褐色	ロームブロック多量	

遺物出土状況　土師器片 11 点 (甕), 須恵器片６点 (坏２, 甕４) のほか, 混入した古墳時代の土師器片３点 (坏) が各柱穴の柱抜き取り穴の覆土中から出土している。TP ８はＰ４，TP ９はＰ５の柱の抜き取り痕からそれぞれ出土している。

所見　時期は，出土土器や重複関係から８世紀中葉と考えられる。



第 17 図　第 584 号掘立柱建物跡実測図



第 18 図　第 584 号掘立柱建物跡・出土遺物実測図

第 584 号掘立柱建物跡出土遺物観察表（第 18 図）

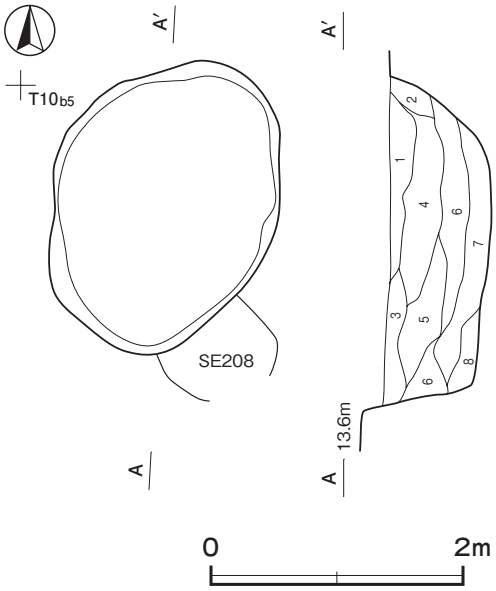
番号	種　別	器種	胎　　土	色　　調	焼　成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
TP 8	須恵器	甕	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部同心円文叩き　内面無文当て具痕を残し，ヘラナデ	P 4	
TP 9	須恵器	甕	長石・石英	オリーブ灰	良好	体部斜位の平行叩き　内面無文当て具痕を残し，ヘラナデ	P 5	

表３　掘立柱建物跡一覧表

番号	位 置	桁行方向	柱間数	規　模	面 積	柱間寸法		柱　穴				主な出土遺物	時　期	備　考
			桁×梁(間)	桁 × 梁(m)	(㎡)	桁行(m)	梁行(m)	構造	柱穴数	平 面 形	深さ(cm)			重複関係(古→新)
583	S11i1	N－2°－W	(4)× 3	(7.2) × 6.3	(45.3)	1.8	2.1	側柱	9	隅丸長方形・円形	10～34	土師器片，須恵器片	8 世紀前葉	SK7073・7081→本跡→SB584，SD559
584	S11i1	N－88°－W	4 ×(2)	7.8 × (3.9)	(30.4)	1.95	1.95	側柱	9	隅丸方形・円形	22～46	土師器片，須恵器片	8 世紀中葉	SB583，SK7073・7081→本跡→SD559，PG62

(2)　井戸跡

第 205 号井戸跡（第 19・20 図）



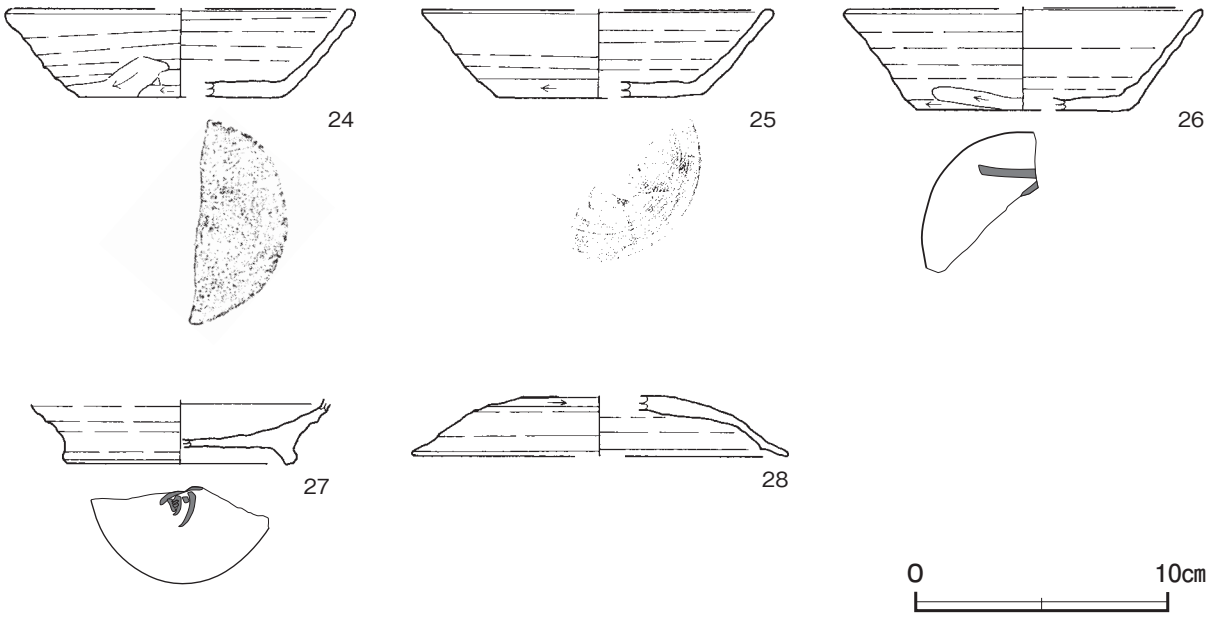
第 19 図　第 205 号井戸跡実測図

位置　調査区南部の T10b5 区，標高 14 mほどの埋没谷部に位置している。

重複関係　第 208 号井戸跡を掘り込み，上部には第１・２号遺物集中地点が形成されている。

規模と形状　長径 2.77 m，短径 1.82 mの楕円形で，長径方向はN－9°－Eである。底面は皿状で，壁は外傾して立ち上がっている。深さは 82cmで，砂礫層を掘り込んでおり，壁部および底部からは激しい湧水が認められる。

覆土　８層に分層できる。各層に常総粘土のブロックが多く含まれていることから埋め戻されている。



第 20 図　第 205 号井戸跡出土遺物実測図

土層解説

1　灰　　色　粘質土　常総粘土ブロック・細礫～粗砂中量
2　灰　　色　粘土　常総粘土ブロック中量
3　オリーブ黒色　粘質土　常総粘土ブロック中量，粗砂少量
4　暗　灰　色　粘質土　常総粘土ブロック少量
5　オリーブ黒色　粘土
6　黒　　色　粘土　常総粘土ブロック・細砂少量
7　灰　　色　粘土　常総粘土ブロック多量
8　オリーブ褐色　粘土　常総粘土ブロック多量

遺物出土状況　土師器片 91 点（坏 44，甕 47），須恵器片 33 点（坏 25，壺 1，甕 7），貝殻 1 点（ハマグリ）が出土している。24 ～ 28 はいずれも覆土上層（第 1 ～ 4 層）から出土している。

所見　時期は，出土土器から 8 世紀中葉と考えられる。

第 205 号井戸跡出土遺物観察表（第 20 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
24	須恵器	坏	［13.6］	3.5	［8.2］	長石・石英	灰	良好	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り	上層	40%
25	須恵器	坏	［13.8］	3.5	［8.2］	長石・石英	灰	良好	体部下端・底部回転ヘラ削り	上層	30%
26	須恵器	坏	［14.1］	4.0	［8.4］	長石・石英・雲母	暗灰黄	良好	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	上層	10%　PL65
27	須恵器	高台付坏	－	（2.6）	［8.9］	長石・石英・雲母	褐灰	良好	底部回転ヘラ削り　墨書「前」	上層	20%　PL57
28	須恵器	蓋	［14.8］	（2.4）	－	長石・石英	褐灰	良好	天井部回転ヘラ削り	上層	20%

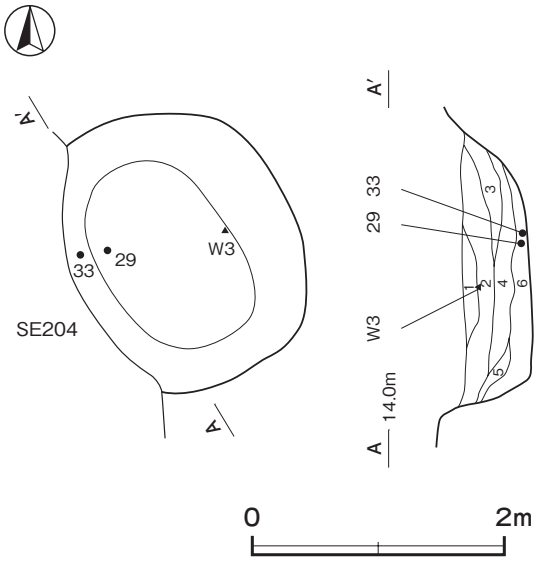
第 209 号井戸跡（第 21・22 図）

位置　調査区南部のＳ 10j4 区，標高 14 mほどの埋没谷部に位置している。

重複関係　第 204 号井戸に掘り込まれており，上部には第 1 ・ 2 号遺物集中地点が形成されている。

規模と形状　長径 2.25 mで，西部は第 204 号井戸に掘り込まれているため，短径 1.5 mほどしか確認できなかった。楕円形と推定でき，長軸方向はＮ－ 30 °－Ｗである。底面は皿状で，壁は外傾して立ち上がっている。確認面からの深さは 53㎝である。砂礫層を掘り込んでおり，壁部および底部からは激しい湧水が認められ，壁面には鉄分が層状に沈着している。

覆土　6 層に分層できる。壁際から流れ込んだ状況を示していることから自然堆積である。なお，常総粘土ブロックは，壁部の常総粘土層が崩落したものである。



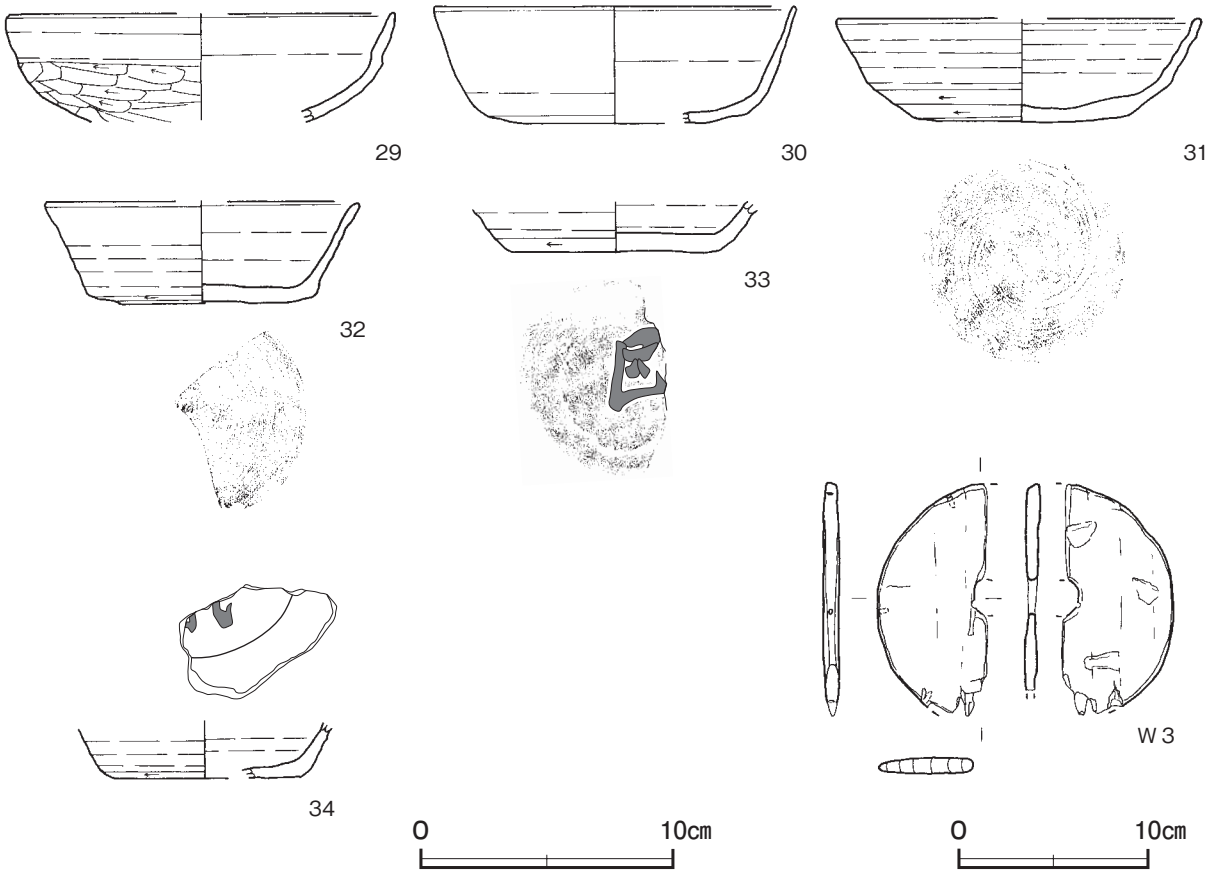
土層解説

1　黒　褐　色　粘質土　常総粘土ブロック・細砂少量，炭化物微量
2　黒　褐　色　粘質土　常総粘土ブロック・植物遺体少量
3　オリーブ黒色　粘質土　常総粘土ブロック中量，植物遺体少量
4　暗オリーブ褐色　粘土　植物遺体微量
5　オリーブ黒色　粘土　常総粘土ブロック中量，植物遺体微量
6　黒　　色　粘土　鉄分沈着多量，植物遺体少量

遺物出土状況　土師器片 51 点（坏 1，甕 50），須恵器片 55 点（坏 25，蓋 2，瓶 4，鉢 2，甕 22），木製品 1 点（甑底板）が出土しているほか，流れ込んだ古墳時代の土師器片 26 点（坏）も出土している。29・33 は西部の覆土下層，W 3 は中央部の覆土上層からそれぞれ出土している。

所見　時期は，出土土器から 8 世紀前葉に比定できる。

第 21 図　第 209 号井戸跡実測図



第 22 図　第 209 号井戸跡出土遺物実測図

第 209 号井戸跡出土遺物観察表（第 22 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
29	土師器	坏	［15.4］	(4.3)	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り	下層	20%
30	須恵器	坏	14.3	4.6	［10.3］	長石・石英	灰	良好	底部ナデ	覆土中	50%
31	須恵器	坏	［14.4］	4.1	8.4	長石・石英・雲母	灰	良好	体部下端・底部回転ヘラ削り	覆土中	50%

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
32	須恵器	坏	［12.4］	4.0	［9.1］	長石・石英・雲母	灰	良好	底部回転ヘラ削り	下層	30％
33	須恵器	坏	－	（2.0）	［8.3］	長石・石英	黄灰	良好	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向のヘラナデ　墨書「臣」	下層	15％　PL45
34	須恵器	坏	－	（2.2）	［7.5］	長石・石英・雲母	黄灰	良好	底部一方向の手持ちヘラ切り痕を残し，外周部回転ヘラ削り　墨書「□（川カ）」	覆土中	5％　PL65

番号	種　別	器　種	長さ	幅	厚さ	材　質	特　徴	出土位置	備　考
W３	容器	甑底板	（12.4）	（5.9）	0.8	アスナロ	柾目　釘綴じ　釘孔３か所　中央部に円孔　径［2.1］cm	上層	PL19

第 210 号井戸跡（第 23・24 図）

位置　調査区南部のＴ 10a4 区，標高 14 mほどの埋没谷部に位置している。

重複関係　第 211 号井戸跡を掘り込み，上部に第 204 号井戸，第１・２号遺物集中地点が形成されている。

規模と形状　開口部は長径 2.84 m，短径 2.80 mの不整円形である。底面は皿状で，壁は外傾して立ち上がっている。確認面からの深さは 114cmで，常総粘土層を掘り込んでおり，壁部からは湧水が認められる。

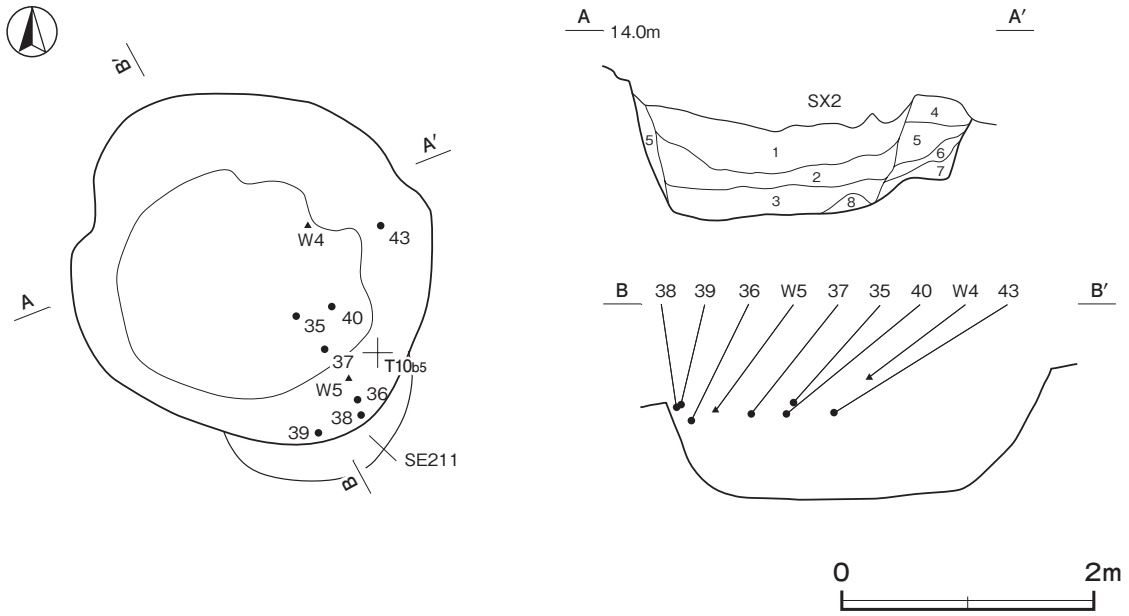
覆土　８層に分層できる。上層の第１・２層は黒色土ブロックが多く含まれていることから埋め戻されている。第３・４層は軟質の粘土層を主体とした自然堆積である。第５～８層は常総粘土のブロックが多く含まれていることから，壁部の崩落土である。なお，第１～４層と第５～８層とは層界が明瞭であることから，井戸浚いが行われている。

土層解説

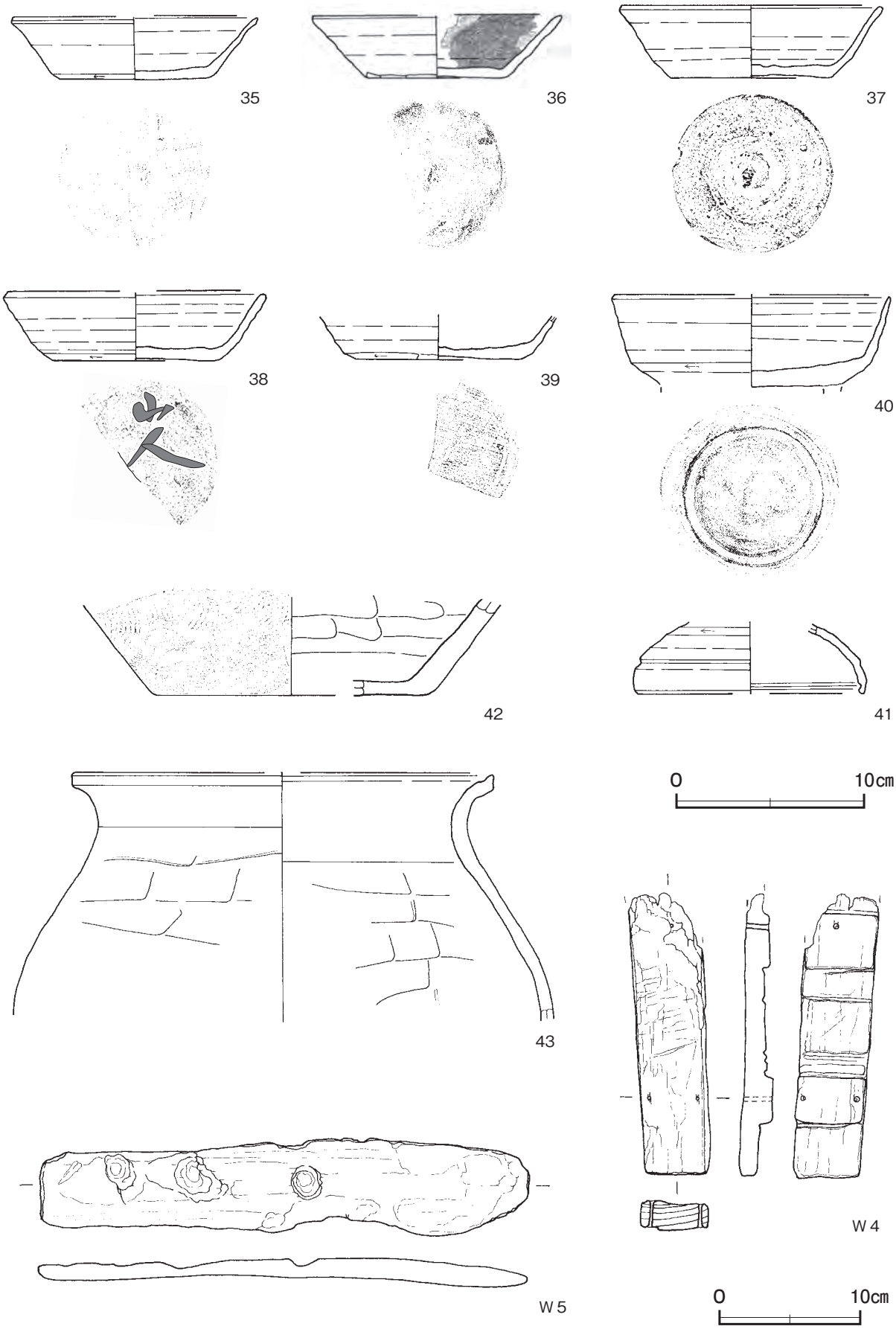
1　黒　褐　色　粘質土　黒色土ブロック多量
2　黒　　色　粘質土　黒色土ブロック中量
3　オリーブ黒色　粘土　常総粘土ブロック少量
4　灰　　色　粘土　常総粘土ブロック中量
5　黄　灰　色　粘質土　粗砂中量，常総粘土ブロック少量
6　オリーブ黒色　粘質土　常総粘土ブロック微量
7　灰　　色　粘土　常総粘土ブロック多量
8　黒　褐　色　粘土　常総粘土ブロック少量

遺物出土状況　土師器片 96 点（甕），須恵器片 81 点（坏 43，蓋４，瓶１，甕 33），木製品３点（下駄，火鑽臼，板材），自然遺物 47 点（桃核）が出土している。35 ～ 40・43・Ｗ４・Ｗ５は東部から南部にかけての覆土上層からまとまって出土している。

所見　時期は，出土土器から８世紀中葉と考えられる。



第 23 図　第 210 号井戸跡実測図



第 24 図　第 210 号井戸跡出土遺物実測図

第 210 号井戸跡出土遺物観察表（第 24 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
35	須恵器	坏	［13.0］	3.2	8.0	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り	上層	60%　PL20
36	須恵器	坏	［13.2］	3.3	［7.3］	長石・石英	黄灰	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　油煙付着	上層	55%
37	須恵器	坏	13.8	3.8	8.6	長石・石英・雲母	灰	普通	底部回転ヘラ切り	上層	80%　PL20
38	須恵器	坏	［13.6］	3.6	［8.8］	長石・石英・雲母	青灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「山人」	上層	40%　PL60
39	須恵器	坏	－	（2.4）	［8.6］	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向のヘラ削り　箆書「×」	上層	30%　PL78
40	須恵器	高台付坏	［14.8］	（4.9）	－	長石・石英・雲母	暗灰	普通	底部回転ヘラ削り　高台剥離後，再利用	上層	70%
41	須恵器	蓋	［12.2］	（3.7）	－	長石・鉄分吹出	黄灰	良好	天井部回転ヘラ削り　自然釉付着	覆土中	10%
42	須恵器	鉢	－	（5.2）	［14.8］	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部同心円文叩き　下位手持ちヘラ削り　内面ヘラナデ　底部ナデ	覆土中	10%
43	土師器	甕	［22.2］	（13.4）	－	長石・石英・雲母	灰	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部外・内面ヘラナデ	上層	20%

番号	種　別	器　　種	長さ	幅	厚さ	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
W 4	服飾具	下駄	（20.4）	5.0	2.2	モミ	板目　緒孔円孔３か所　前・後歯削出	上層	PL20
W 5	雑具	火鑽臼	34.7	6.5	1.5	クヌギ	柾目　火鑽孔３か所	上層	PL20

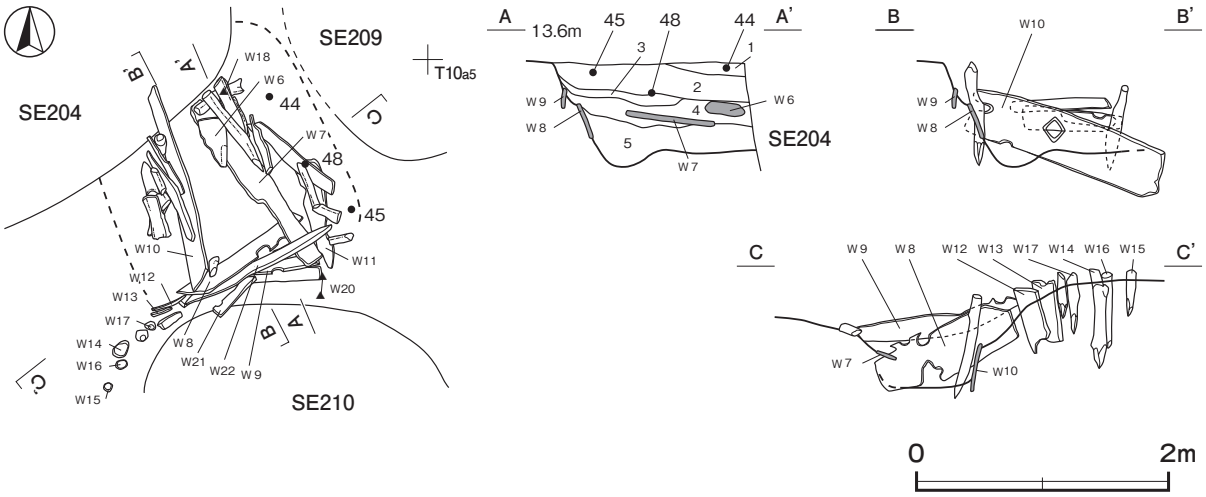
第 212 号井戸跡（第 25 ～ 28 図）

位置　調査区南部のＴ 10a4 区，標高 13 ｍほどの埋没谷部に位置している。

確認状況　湧水で土質が軟弱になったため，掘方の形状や裏込めの状況は明確にできなかった。

重複関係　第 204 号井戸に掘り込まれており，上部に第１・２号遺物集中地点が形成されている。

規模と形状　貯水部は，四辺の壁部に板材を設置し，その内側の四隅を杭で固定した升状の構造と推定できる。壁部の板材は，北辺が第 204 号井戸に掘り込まれて失われており，東・西・南の三辺が廃絶時に破壊されていたため旧状をとどめていなかったが，北西部と南西部の杭はほぼ原位置を保った状態で確認できた。南北軸の長さは杭間距離から 84cmで，東西軸の長さは遺存している板材の状況から 70cmほどに復元できる。平面形は長方形と推定でき，長軸方向はＮ－ 26°－Ｗである。底面は凹凸があり，壁は現存している板材の状況からほぼ直立している。深さは 68 ～ 84cmで，南側が 16cmほど凹んでいる。底部は常総粘土層を掘り込んでおり，激しい湧水が認められる。貯水部を構成する材は，壁部の板材４点（Ｗ７～Ｗ 10）と杭２点である。壁部の板材は東・西辺と南辺とがそれぞれＴ字状に接しており，杭はその接合部の内側に打設されている。板材は長さ 109.0 ～ 157.0cm，幅 17.0 ～ 41.0cm，厚さ 2.4 ～ 3.9cmである。材質は南辺のＷ８がモミで，その他は



第 25 図　第 212 号井戸跡実測図

クヌギである。W８は上面中央部にU字状の抉り部が設けられている。杭は腐食のため取り上げることができなかったが，長さ73～82㎝，径７～11㎝で，材質はクヌギやクリなどの広葉樹である。また，南辺の西側延長線上には杭８点が打設されている。貯水部周辺の護岸のための施設と考えられるが，構造は不明である。掘方は，東西軸約1.8ｍで，北部が第204号井戸に掘り込まれているため南北軸は約2.0ｍしか確認できなかった。平面形は方形または長方形と推定でき，壁部の板材との間には常総粘土のブロックを含む暗オリーブ褐色の細砂混じり粘土が埋土されている。

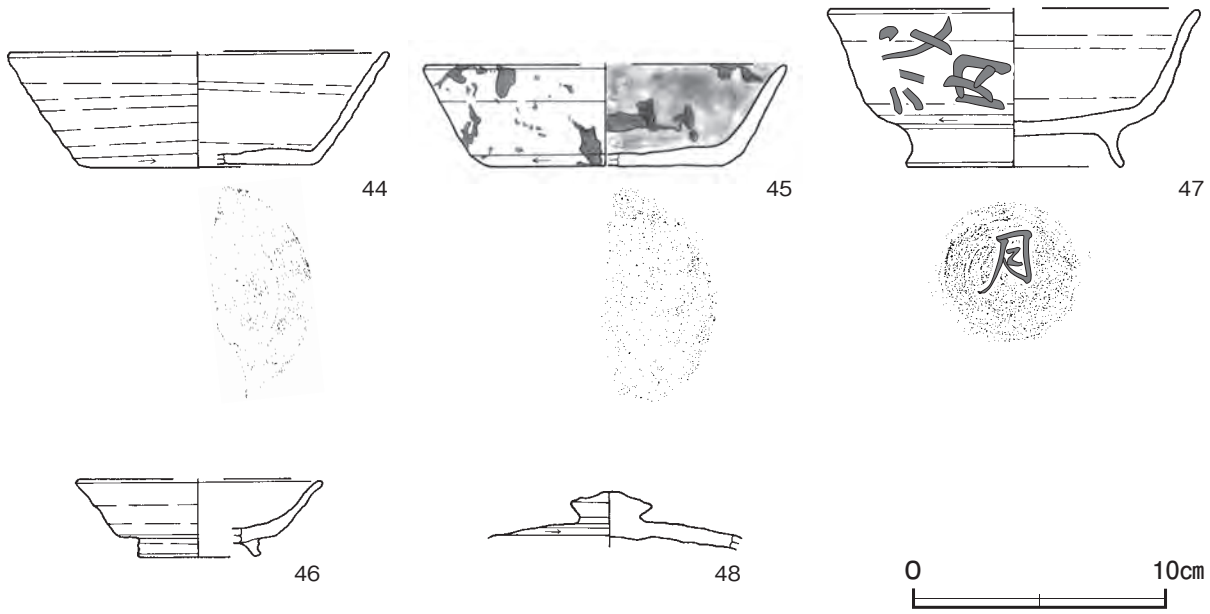
覆土　５層に分層できる。常総粘土のブロックが多く含まれていることから埋め戻されている。

土層解説

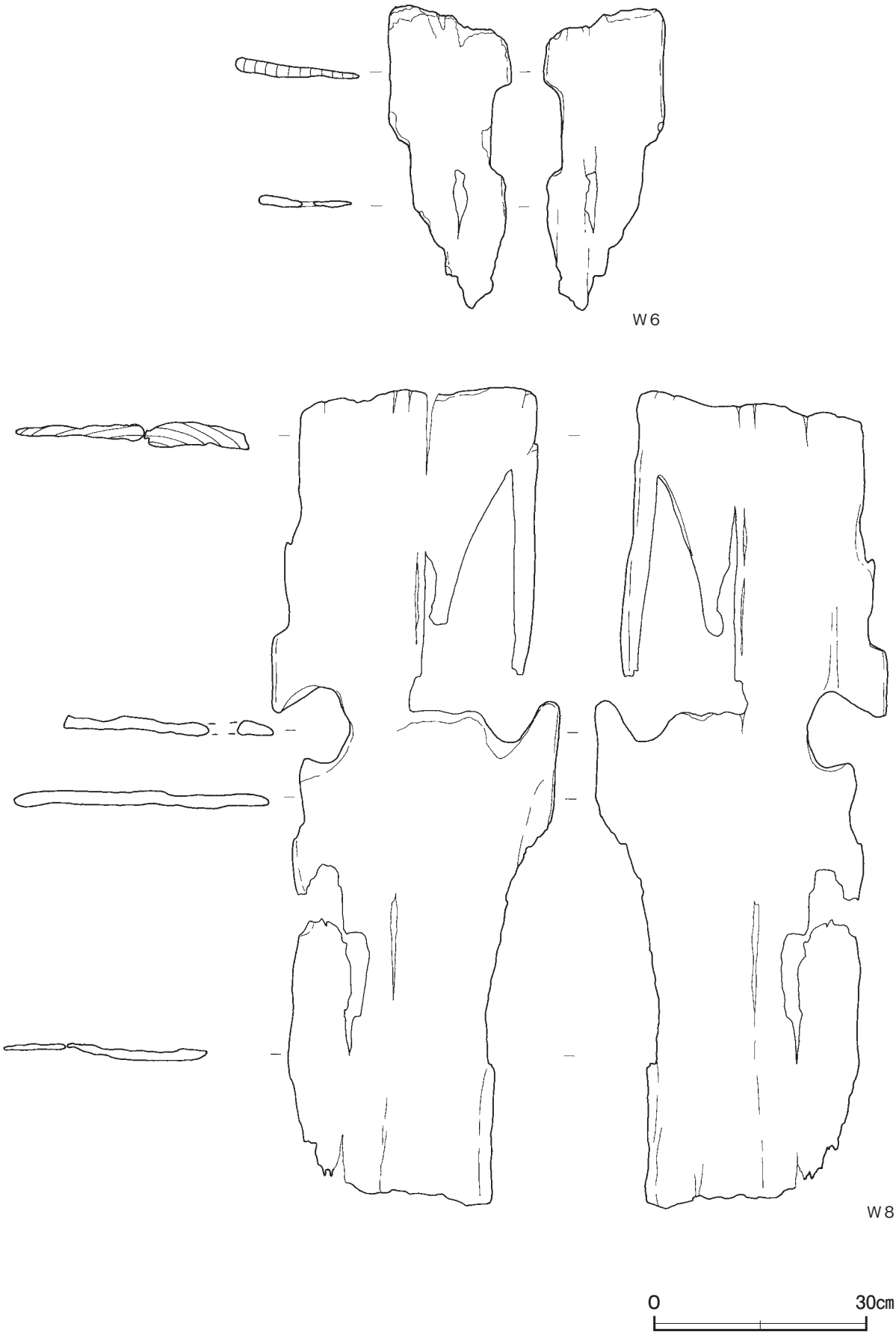
1　黄　灰　色　粘質土　常総粘土ブロック中量，細礫少量
2　黒　褐　色　粘質土　植物遺体少量，常総粘土ブロック・細粒砂微量
3　オリーブ黒色　粘質土　常総粘土ブロック中量
4　黒　褐　色　粘土　常総粘土ブロック・植物遺体少量
5　黒　褐　色　粘土　常総粘土ブロック中量，植物遺体少量

遺物出土状況　土師器片28点（甕），須恵器片23点（坏10，高台付坏２，蓋６，甕４，甑1），木材41点（板材５，田舟転用材１，杭12，加工木23），自然遺物３点（桃核２，ヒョウタン１）が出土している。出土土器はいずれも残存率の低い小片で，覆土上層から散在した状態で出土している。44・45・48は，東部の覆土上層，W６は貯水部の覆土中層からそれぞれ出土している。W７～W10は，壁部を構成していた板材，W12～W17は，貯水部南辺の西側延長線上に打設されていた杭である。W18～W23は，いずれも掘方の埋土から出土しており，貯水部の構築時に補強や護岸のために用いられた部材と考えられる。

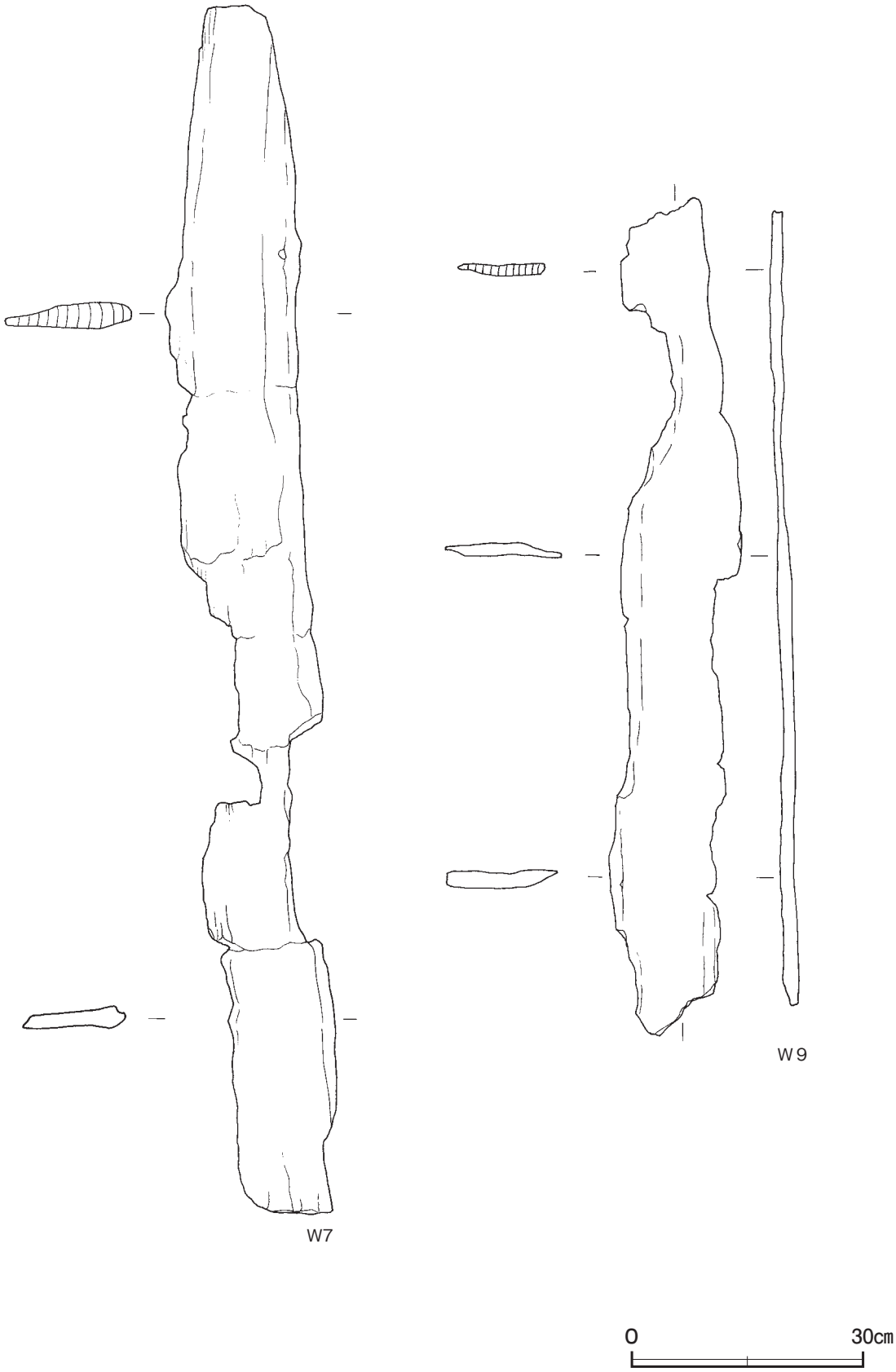
所見　時期は，出土土器から８世紀中葉と考えられる。南側には第２号遺物集中地点が延びており，同遺構の覆土下層からは同時期の土器が出土している。南辺の板材（W８）の上面中央部にはU字状の抉り部が設けられていることから，貯水部内に水が溜まると第２号遺物集中地点へと流れ出す構造であったと想定でき，一連の水場として同時に機能していたと考えられる。



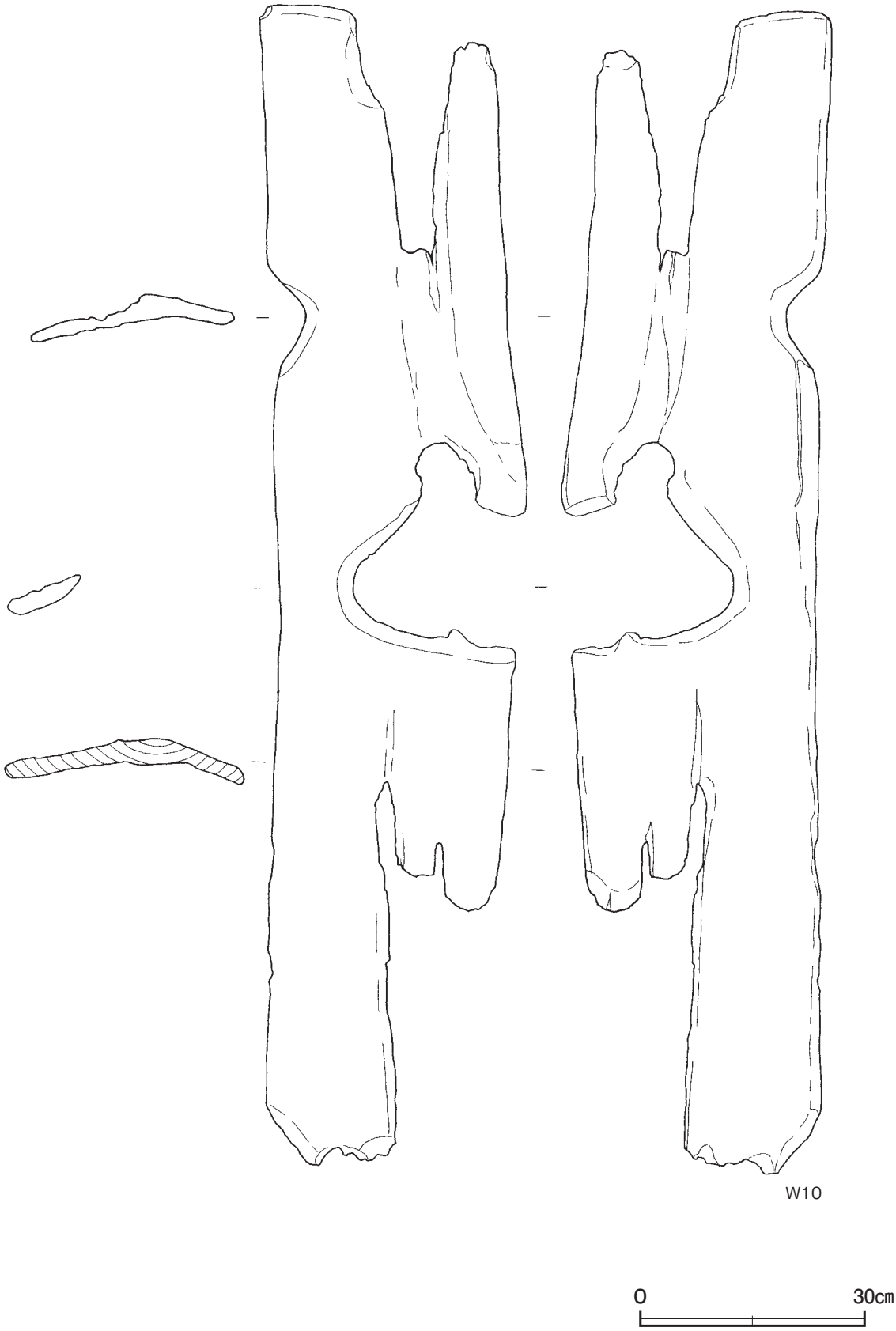
第26図　第212号井戸跡出土遺物実測図(1)



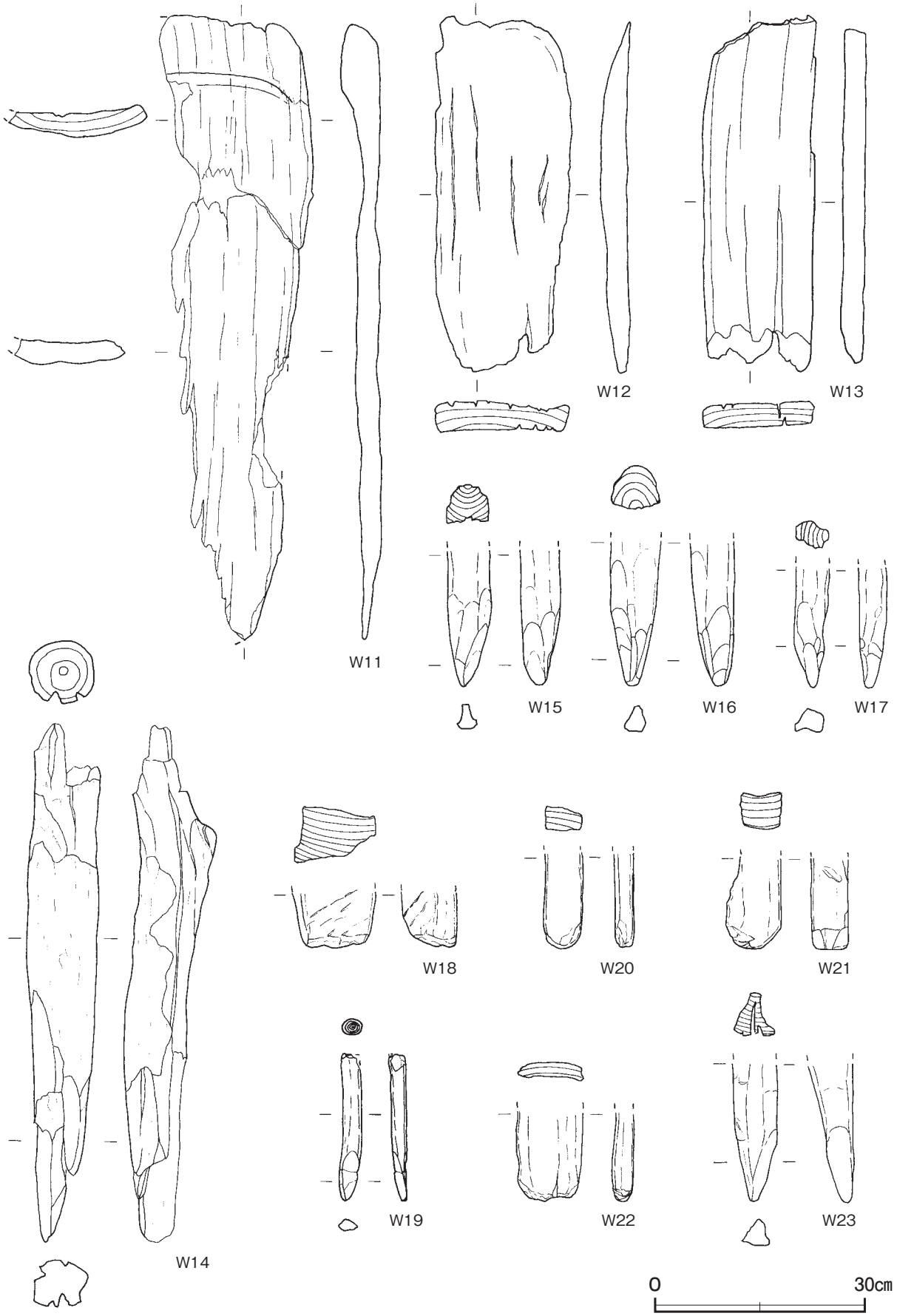
第 27 図　第 212 号井戸跡出土遺物実測図 (2)



第 28 図　第 212 号井戸跡出土遺物実測図 (3)



第 29 図　第 212 号井戸跡出土遺物実測図 (4)



第 30 図　第 212 号井戸跡出土遺物実測図 (5)

第 212 号井戸跡出土遺物実測図観察表（第 26 ～ 30 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
44	須恵器	坏	［15.0］	4.5	［9.2］	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底面回転ヘラ削り	上層	30％
45	須恵器	坏	［14.2］	4.0	［9.2］	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　漆付着	上層	40％　PL20
46	須恵器	高台付坏	［9.8］	3.0	［4.6］	長石・石英	褐灰	普通	ロクロナデ	覆土中	30％
47	須恵器	高台付坏	［14.6］	6.3	8.6	長石・石英	灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「□（城ヵ）内／月」	覆土中	50％ PL20・65
48	須恵器	蓋	－	（2.4）	－	長石・石英	褐灰	普通	天井部回転ヘラ削り	上層	30％

番号	種　別	器　種	長さ	幅	厚さ	材　質	特　徴	出土位置	備　考
W 6	部材	板材	44.5	18.0	2.1	クヌギ	柾目	貯水部上層	
W 7	部材	板材	157.0	17.0	3.5	クヌギ	柾目	東辺壁部	
W 8	部材	板材	116.5	41.0	3.9	モミ	板目　上面にU字状の抉り部	南辺壁部	PL21
W 9	部材	板材	109.0	18.0	2.4	クヌギ	柾目	南辺壁部	
W 10	部材	板材	156.0	34.0	3.5	クヌギ	板目	西辺壁部	PL21
W 11	部材	田舟転用材	（89.5）	（22.0）	5.8	クヌギ	板目	掘方埋土	PL21
W 12	土木材	杭	51.5	20.0	4.5	モミ	板目	南西部	PL21
W 13	土木材	杭	51.0	16.0	3.5	モミ	板目	南西部	PL21
W 14	土木材	杭	74.5	10.3	9.0	クリ	芯持丸木　先端部５方向からの削り加工	南西部	PL21
W 15	土木材	杭	34.0	7.0	6.0	広葉樹	みかん割　先端部３方向からの削り加工	南西部	
W 16	土木材	杭	62.0	8.0	7.0	広葉樹	みかん割　先端部４方向からの削り加工	南西部	
W 17	土木材	杭	44.0	7.0	7.0	広葉樹	みかん割　先端部４方向からの削り加工	南西部	
W 18	土木材	杭	24.0	14.0	10.0	クリ	芯持丸木　先端部３方向からの削り加工	掘方埋土	
W 19	土木材	杭	20.9	3.3	2.5	広葉樹	板目　板状　先端部削り加工	南西部	
W 20	土木材	杭	37.0	7.0	4.0	広葉樹	板目　板状　先端部削り加工	掘方埋土	
W 21	土木材	杭	47.0	8.0	6.0	広葉樹	板目　板状　先端部２方向からの削り加工	掘方埋土	
W 22	土木材	杭	72.0	13.0	4.0	広葉樹	板目　板状　先端部削り加工	掘方埋土	
W 23	土木材	杭	61.0	11.0	6.0	広葉樹	みかん割　先端部３方向からの削り加工	掘方埋土	

表４　井戸跡一覧表

番号	位 置	長径方向	平 面 形	規　模		底　面	壁　面	覆　土	主 な 出 土 遺 物	備　考
				長径×短径（m）	深さ（cm）					重複関係（古→新）
205	T 10b5	N － 9 ° － E	楕円形	2.77　×　1.82	82	皿状	外傾	人為	土師器片，須恵器片，ハマグリ	SE208 →本跡 →SX １・２
209	S 10j4	N － 30° － W	［楕円形］	2.25　×（1.50）	53	皿状	外傾	自然	土師器片，須恵器片，甑底板	本跡→ SE204, SX １・２
210	T 10a4	－	不整円形	2.84　×　2.80	114	皿状	外傾	人為 自然	土師器片，須恵器片，下駄，火鑽臼，板材，桃核	SE211 →本跡→ SE204, SX １・２
212	T 10a4	N － 26° － W	［長方形］	0.84　×［0.70］	68 ～ 84	凹凸	直立	人為	須恵器片，板材，田舟転用材，杭	本跡＝ SX ２→ SE204, SX １

（3）　溝跡

第 562 号溝跡（第４・31・32 図）

位置　調査区南部のＴ 10b5 区からＴ 10c9 区にかけて，標高 13 mほどの埋没谷部に位置している。

重複関係　第 91 号堀に掘り込まれており，上部には第１・２号遺物集中地点が形成されている。

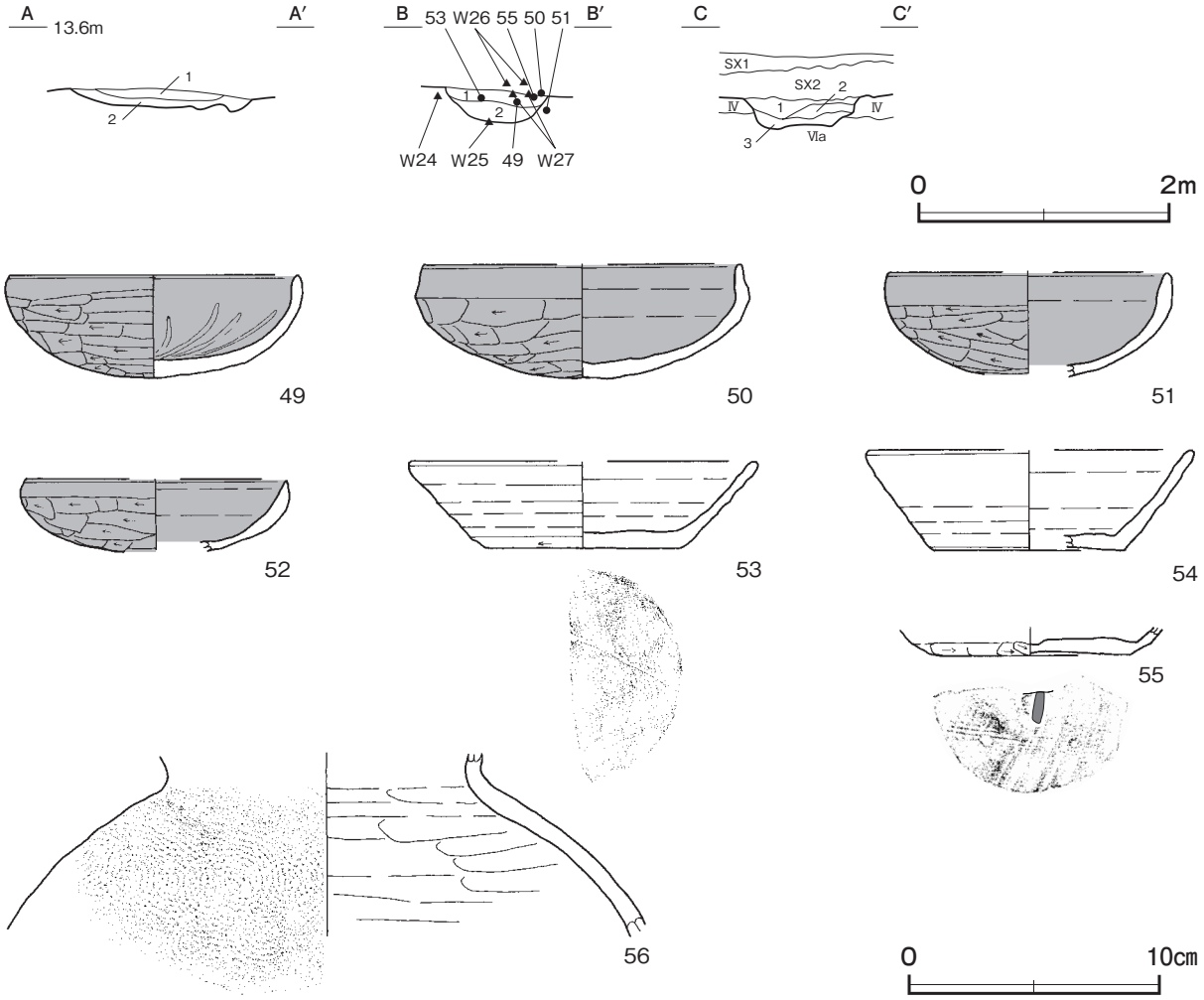
規模と形状　西部は第２号遺物集中地点の底面の凹凸との判別が不鮮明であり，東部は第 91 号堀に掘り込まれているため，長さ 15.75 mしか確認できなかった。東方向（N － 90 ° － E）へ直線的に延び，Ｔ 10b8 区で屈曲して，東南東方向（N － 115° － E）へ延びている。上幅 0.50 ～ 0.87 m，下幅 0.28 ～ 0.45 mで，深さは 15 ～ 25cmである。断面形は浅い逆台形で，壁は緩やかに立ち上がっており，底面の標高は 16.0 ～ 16.2 mである。

覆土　３層に分層できる。常総粘土のブロックを含んでいることから埋め戻されている。

土層解説
1　黒　褐　色　細砂混じり粘質土　常総粘土ブロック少量
2　オリーブ黒色　粘質土　常総粘土ブロック・細砂中量
3　黒　　色　粘土　常総粘土ブロック少量

遺物出土状況　土師器片 511 点（古墳時代坏 138，奈良時代坏５，不明坏 176，甕 192），須恵器片 53 点（坏 37，蓋１，瓶５，甕 10），木製品４点（馬鍬歯１・荷札状木製品１・板状木製品２），自然遺物 114 点（桃核）のほか，シジミ，自然木が出土している。出土土器はいずれも残存率の低い小破片で，西半部の覆土上層から散在した状態で出土している。W 25 は西部の覆土下層，49・51・55・W 24 は西部，50・53・W 26・W 27 は中央部の覆土上層からそれぞれ出土している。

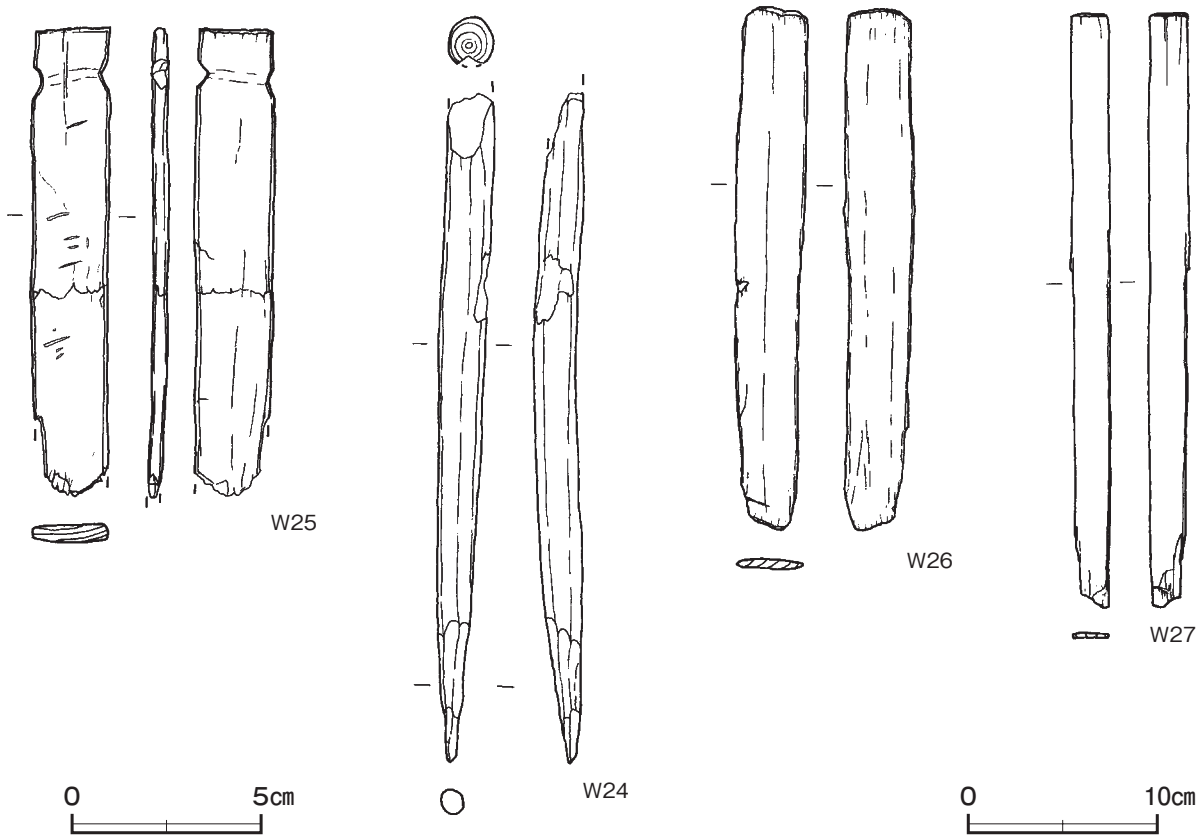
所見　時期は，出土土器から８世紀前葉に廃絶したと考えられるが，古墳時代後期の土器片が多く含まれていることから，当該期から機能していた可能性がある。上流部には古墳時代の第 203・206 ～ 208・211 号井戸跡，８世紀前葉の第 209 号井戸跡があり，これらの自然湧水を集めて，低地部へ排水していたと考えられる。



第 31 図　第 562 号溝跡・出土遺物実測図

第 562 号溝跡出土遺物観察表（第 31・32 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
49	土師器	坏	11.5	4.1	－	長石・石英・赤色粒子	褐灰	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　内面放射状のヘラ磨き　外・内面黒色処理（漆）	上層	70%
50	土師器	坏	［12.6］	4.5	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	上層	50%



第 32 図　第 562 号溝跡出土遺物実測図

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
51	土師器	坏	[11.2]	(4.1)	−	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	上層	40%
52	土師器	坏	[10.4]	(2.8)	−	長石・石英	褐灰	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	覆土中	25%
53	須恵器	坏	[13.8]	3.5	[8.0]	長石・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り	上層	25%
54	須恵器	坏	[13.0]	4.0	[7.6]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部不定方向の手持ちヘラ削り	覆土中	25%
55	須恵器	坏	−	(1.1)	7.8	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	上層	10%　PL65
56	須恵器	壺	−	(6.7)	−	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部同心円文叩き　内面ヘラナデ	覆土中	5 %

番号	種　別	器　　種	長さ	幅	厚さ	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
W 24	農具	馬鍬歯	(35.6)	2.5	2.1	イヌガヤ	芯持削出　先端部八方向からの削り加工	上層	PL20
W 25	用途不明品	荷札状木製品	(12.5)	2.1	0.4	ヒノキ	板目　上部左右からの切り込み　墨痕有り	下層	PL20
W 26	用途不明品	板状木製品	27.7	3.7	0.6	ヒノキ	柾目　削り調整	上層	PL22
W 27	用途不明品	板状木製品	31.5	2.1	0.4	アスナロ	柾目　削り調整	上層	PL22

3　平安時代の遺構と遺物

当時代の遺構は，竪穴住居跡１軒，井戸跡１基，遺物集中地点２か所，土坑１基を確認した。以下，遺構及び遺物について記述する。

(1)　竪穴住居跡

第 3110 号住居跡（第 33・34 図）

位置　調査区北西部のＳ 10g1 区，標高 16 mほどの埋没谷部に位置している。

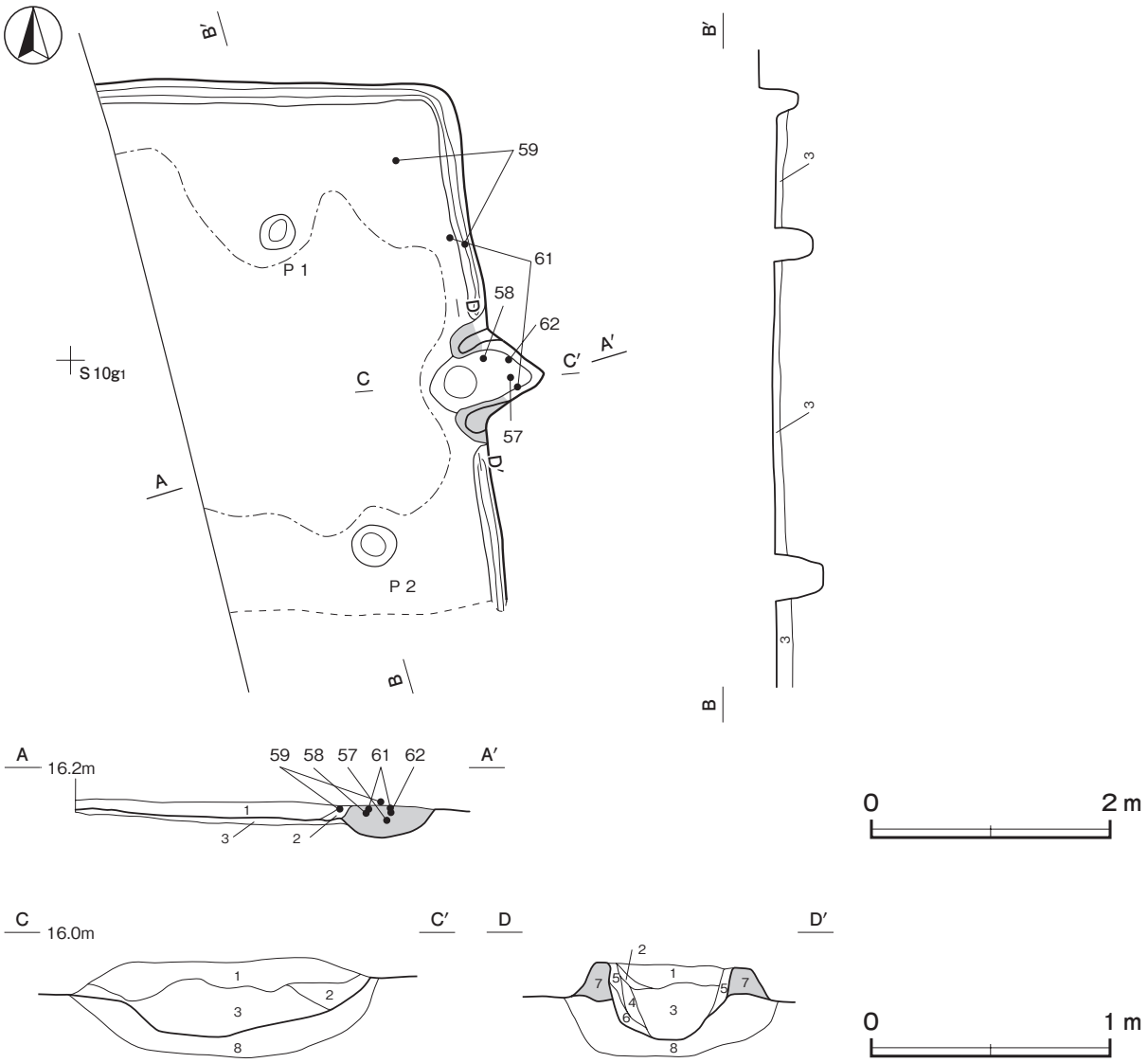
規模と形状　西側が調査区域外へ延びており，南側が削平されているため，南北軸 4.58 m，東西軸 2.87 m しか確認できなかった。一辺５m前後の方形または長方形と推定でき，主軸方向はＮ－ 85゜－Ｅである。確認できた壁高は 10 ～ 34cmで，ほぼ直立している。

床　平坦な貼床で，竈前から中央部にかけて踏み固められている。確認できた壁下には壁溝が巡っている。貼床は，平坦に掘りくぼめた部分に，ロームブロックを少量含む暗褐色土を埋土して構築されている。

竈　東壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで 97cm で，燃焼部幅は 44cm である。袖部は床面を深さ 23cmの鍋底状に掘りくぼめた部分に黒褐色土を埋土し，にぶい褐色の砂質粘土を積み上げて構築されている。火床部は床面から 15cmくぼんでおり，火床面は赤変，硬化ともに弱い。煙道部は壁外に 50cm掘り込まれ，火床部から緩やかに立ち上がっている。

竈土層解説

1　黒　褐　色　ロームブロック・焼土ブロック・砂質粘土粒子少量
2　灰　褐　色　ロームブロック・焼土粒子・砂質粘土粒子少量
3　暗 赤 褐 色　焼土ブロック・砂質粘土ブロック中量
4　暗　褐　色　焼土粒子微量
5　暗 赤 褐 色　焼土ブロック多量，砂質粘土ブロック中量
6　黒　褐　色　ロームブロック・焼土ブロック・砂質粘土粒子少量
7　にぶい褐色　砂質粘土ブロック中量，焼土ブロック少量
8　黒　褐　色　焼土ブロック少量



第 33 図　第 3110 号住居跡実測図

ピット　２か所。Ｐ１・Ｐ２は深さ 33cm・45cm で，配置から主柱穴である。

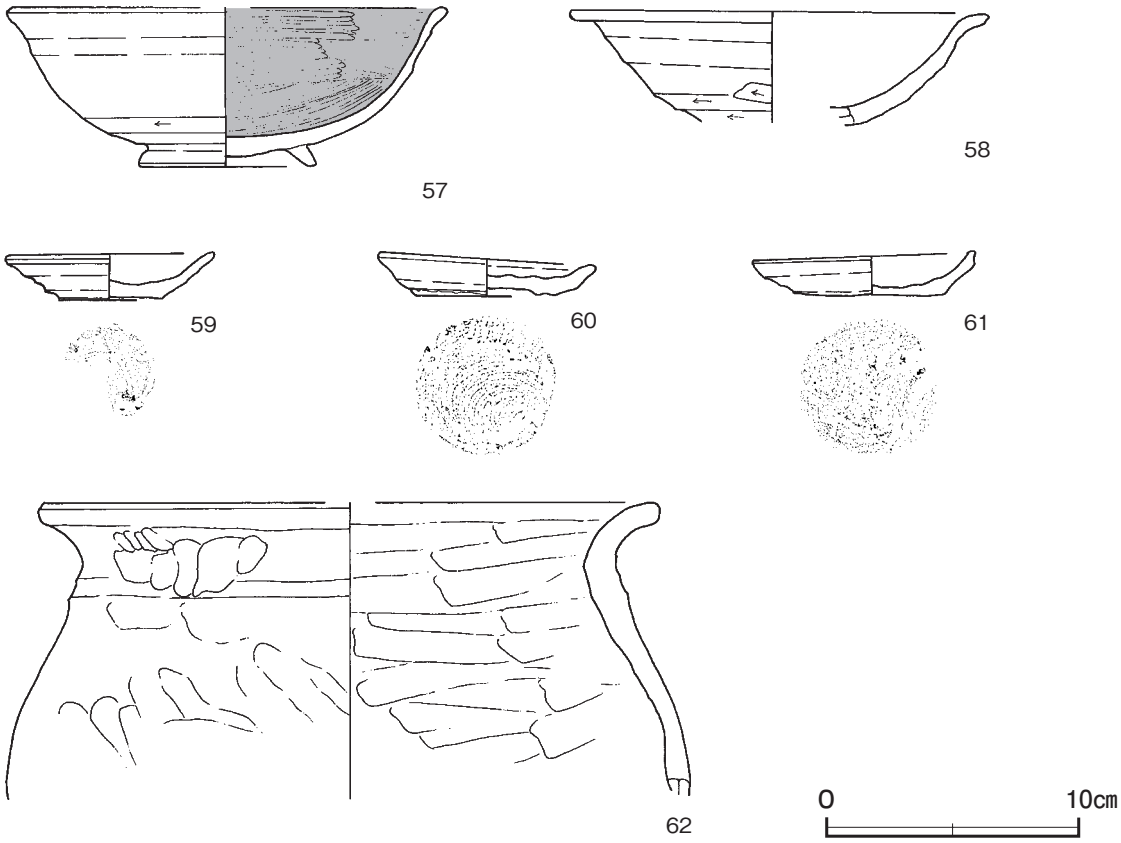
覆土　２層に分層できる。ロームブロックや焼土ブロック，炭化物が多く含まれていることから埋め戻されている。第３層は貼床の構築土である。

土層解説

1　暗　褐　色　焼土ブロック・ローム粒子少量
2　暗 赤 褐 色　黒色粘土ブロック・炭化物・焼土粒子少量，ロームブロック微量
3　極 暗 褐 色　ロームブロック少量，焼土ブロック微量

遺物出土状況　土師器片 52 点（坏１，高台付椀１，足高高台付椀１，小皿８，甕 41）が出土しているほか，混入した古い時期の土師器片 14 点（坏），須恵器片 12 点（坏４，蓋２，盤１，甑１，甕４）も出土している。57・58・62 は竈の覆土中から破砕された状態でそれぞれ出土している。61 は竈の覆土中と東壁際の覆土下層，59 は東壁際の覆土下層から出土した破片がそれぞれ接合している。

所見　時期は，出土土器から 11 世紀前半に比定できる。



第 34 図　第 3110 号住居跡出土遺物実測図

第 3110 号住居跡出土遺物観察表（第 34 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
57	土師器	高台付椀	［17.0］	6.3	6.8	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部下端回転ヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部高台貼付後，ナデ	竈覆土中	50%　PL22
58	土師器	足高高台付椀	16.2	（4.4）	－	長石・石英・雲母	橙	普通	体部下端回転ヘラ削り	竈覆土中	40%　PL22
59	土師器	小皿	8.2	1.9	4.0	長石・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	底部回転糸切り	下層	100%　PL22
60	土師器	小皿	8.2	1.7	5.5	長石・石英・雲母	橙	普通	底部静止糸切り	覆土中	80%　PL22
61	土師器	小皿	8.6	1.8	5.6	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	底部回転糸切り	竈覆土中・下層	60%　PL22
62	土師器	甕	［24.2］	（11.7）	－	長石・石英	橙	普通	口縁部横ナデ　一部指頭痕　体部外・内面ヘラナデ	竈覆土中	40%

(2) 井戸跡

第 204 号井戸跡（第 35 ～ 68 図）

位置　調査区南半部のＳ 10j3 ～Ｔ 10b4 区，標高 14 ～ 15 ｍの埋没谷部に位置している。

確認状況　埋没谷部の土層観察用トレンチを掘削したため，東部から南部にかけての状況は不鮮明であり，また，井戸部は調査過程で井戸枠が崩落したため，下部構造や掘方の裏込めの状況は明確にできなかった。

重複関係　第 209 ～ 212 号井戸跡，第２号遺物集中地点を掘り込み，上部に第１号遺物集中地点が形成されている。

規模と形状　第２号遺物集中地点が廃絶された後の凹地を利用して構築されている。構造は，北西部に井戸部，南東部に作業場とみられる平坦部があり，北西・南西部の壁下には井戸部への雨水等の流入を防ぐ排水溝が巡っている。全体の規模は，トレンチ掘削のため長径は 9.46 ｍ，短径は 6.78 ｍしか確認できなかった。形状は楕円形と推定でき，主軸方向はＮ－ 43 ゜－Ｗである。壁高は 32 ～ 50㎝で，壁は緩やかに立ち上がっている。排水溝は上幅 28 ～ 62㎝，下幅７～ 30㎝，深さ７㎝で，断面形状は浅いＵ字状である。

井戸部は，開口部が北西・南東軸 3.34 ｍ，北東・南西軸 3.32 ｍの隅丸台形で，確認面から 60㎝まで漏斗状を呈し，それより下部に内法 1.04 ｍと推定できる方形の井戸枠が設置されている。底部は井戸枠が崩落したため明確でないが，深さ１ｍほど掘り下げた段階で地山の砂礫層が湧水とともに噴出している状況を確認した。湧水量は非常に多く，調査時には，排水用ポンプを止めると数時間で開口部の上端まで満水になる状況であった。また，東部の覆土最上層から，クリの根株が投げ込まれた状態で出土している。根株は長さ・幅 1.7 ｍほどで，部分的に炭化している。

井戸枠は，横板井籠組構造である。南東面は遺存状態が良好であり，７段まで確認できた。北西面は最上部以外が崩れており，北東・南西面は北西側から押されて一部がずれた状態であった。最上部（Ｗ 42 ～Ｗ 44･Ｗ 49）は相欠き仕口型で，長さ 131 ～ 187㎝，幅 17.0 ～ 28.5㎝，厚さ 9.5 ～ 11.5㎝の大形の板材を使用し，東・西面（Ｗ 43・Ｗ 49）の上に北・南面（Ｗ 42・Ｗ 44）を設置している。それより下部（Ｗ 47・Ｗ 48・Ｗ 50 ～Ｗ 52・Ｗ 54 ～Ｗ 56）は，仕口を有しているもののそれぞれが組み合っておらず，また，仕口の内法の長さも井戸枠の規模と一致していない。したがって，古い井戸枠を転用して構築されている。

掘方は，北東・南西径 6.02 ｍ，北西・南東径 4.55 ｍの楕円形で，長径方向はＮ－ 56 ゜－Ｅである。確認面から 80㎝まで漏斗状に掘り込まれており，それより下部は崩落のため確認できなかった。裏込めの埋土は軟質のオリーブ黒色粘質土（第 10 ～ 19 層）が主体であり，泥のような状態で埋め戻されたと推定できる。また，柱材や井戸枠の転用材，樹皮がついた丸太材などの多量の木材が用いられており，湧水がある軟弱地盤において，短時間で構築するための工夫が見て取れる。木材は井戸枠の各辺に対して平行する方向に充填されており，四隅が杭で固定されている。

平坦部は，幅 2.50 ｍで，長さはトレンチ掘削のため 4.80 ｍしか確認できなかった。第２号遺物集中地点が廃絶された後の凹地に常総粘土のブロックを含む粗砂（第７～９層）を充填して構築されている。極めて水はけが良く，井戸部が満水になった状態でも水が溢れることはなかった。下部の第２号遺物集中地点の木組み部が暗渠的な機能を果たしていたためと考えられる。

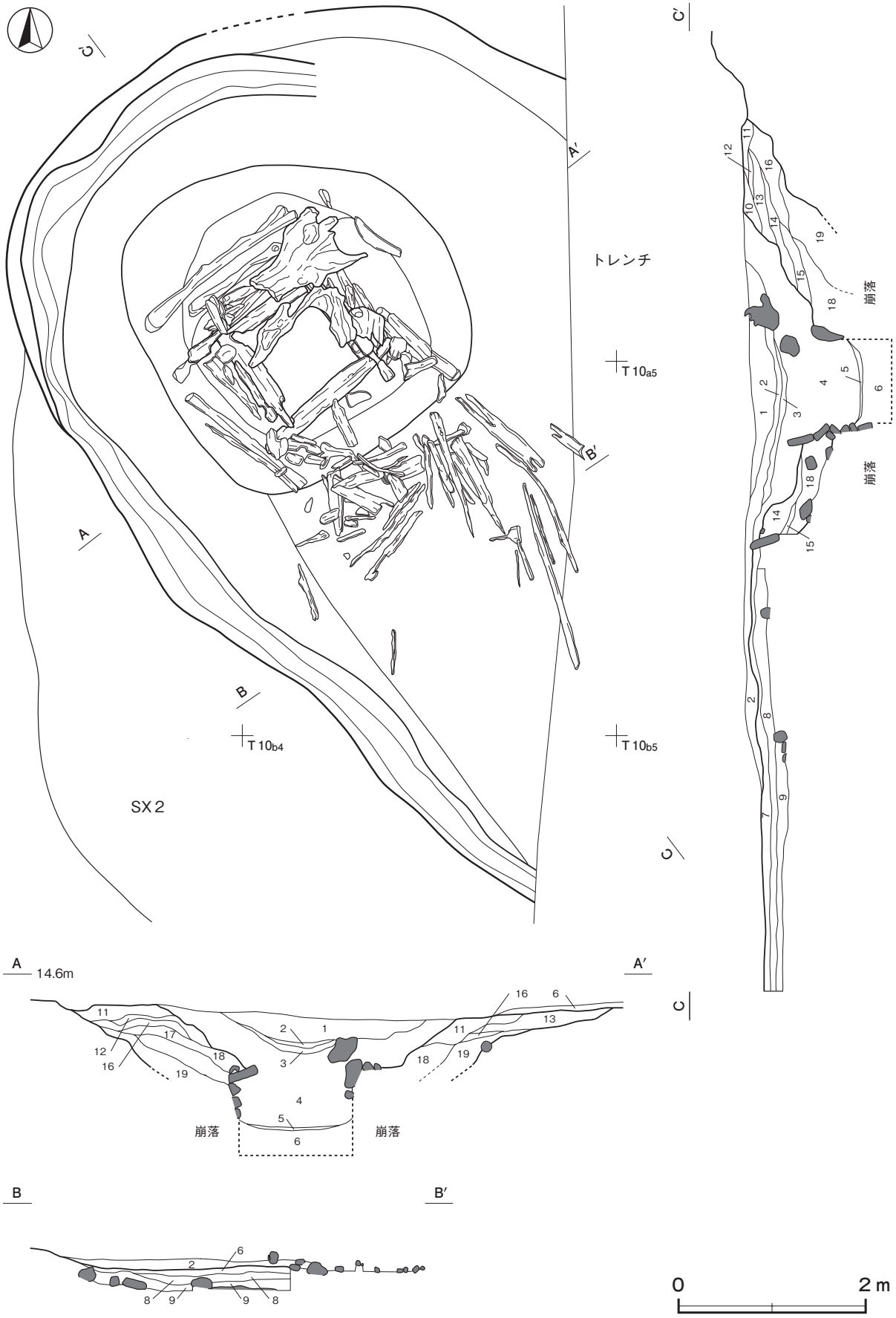
覆土　６層に分層できる。軟質の黒褐色粘土を主体とした水成の自然堆積で，間層に一時的な水の流入を示す砂の薄層を挟んでいる。上～中層には植物遺体が含まれており，上層の第２層から，イガが付いたままのクリが集積した状態で出土している。第７～９層は平坦部の構築土，第 10 ～ 19 層は井戸部の掘方への埋土である。

土層解説

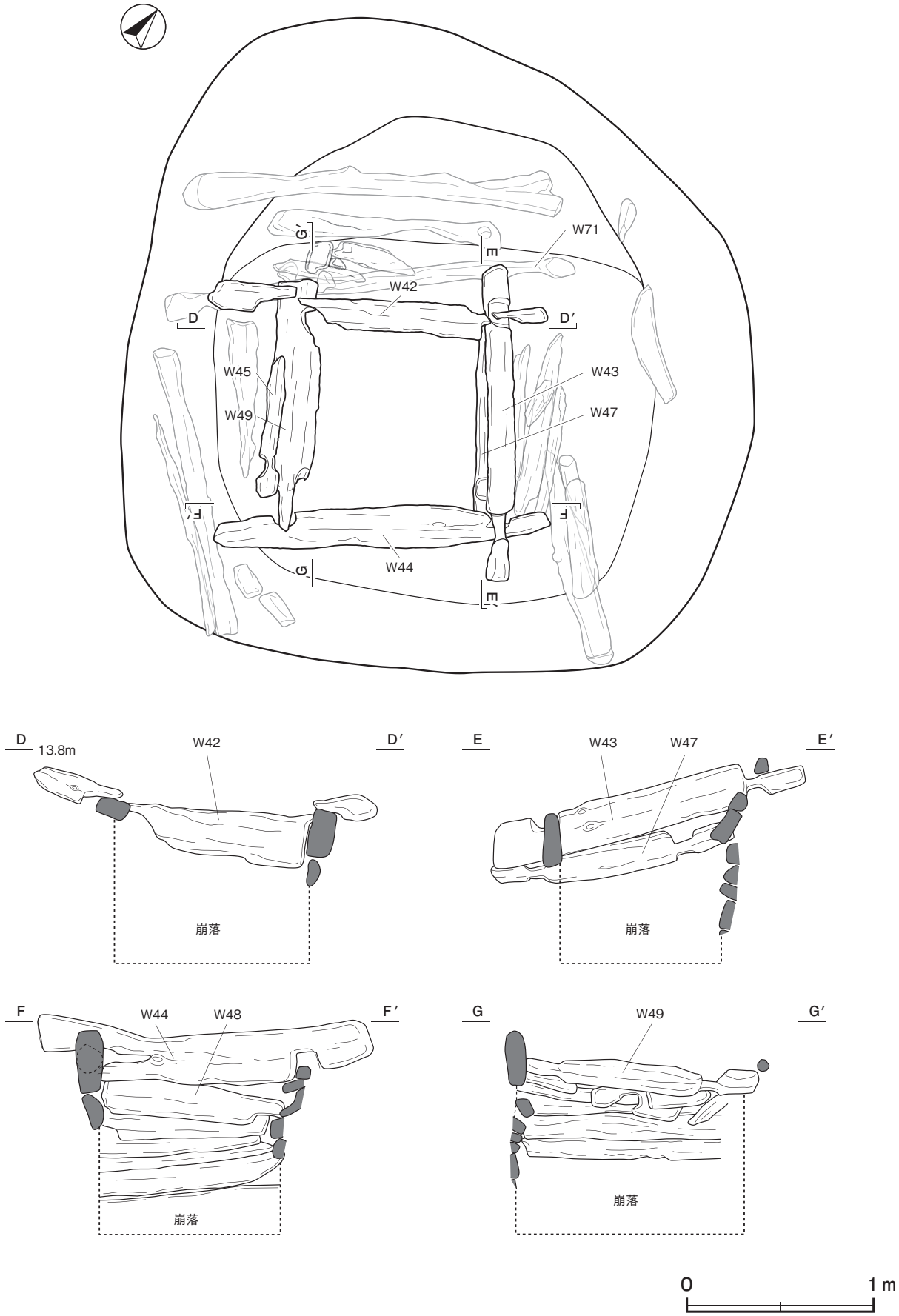
1　暗オリーブ褐色　粘土　植物遺体少量，細砂微量
2　黒　褐　色　粘土　植物遺体中量
3　黄　灰　色　粘土混じり細砂
4　黒　褐　色　粘土　植物遺体少量
5　青　灰　色　細砂
6　黒　褐　色　粘土　植物遺体微量
7　灰　　色　粘土混じり粗砂
8　灰オリーブ色　粗砂　暗灰色粘質土ブロック少量
9　オリーブ灰色　粗砂　常総粘土・灰色粘土ブロック中量
10　黒　褐　色　粘質土　植物遺体中量
11　暗オリーブ褐色　砂質土
12　黄　褐　色　粗砂　黒色粘質土ブロック中量
13　オリーブ黒色　粘土　植物遺体多量，粗砂少量
14　黒　　色　粘質土　細砂少量
15　黒　褐　色　粘質土　植物遺体中量，細砂少量
16　オリーブ黒色　粘質土　常総粘土ブロック・細砂・植物遺体少量
17　オリーブ黒色　粘土　植物遺体中量，細砂少量
18　オリーブ黒色　粗砂　常総粘土ブロック中量
19　オリーブ黒色　粘質土　粗砂・植物遺体少量

遺物出土状況　土師器片 1,695 点（古墳時代坏 298, 奈良時代坏 25, 平安時代坏 180, 高台付椀 26, 高坏１, 蓋２, 皿７，高台付皿３，壺２，鉢６，甕 1,144，甑１），須恵器片 6,482 点（古墳時代坏７，奈良時代坏 171，平安時代坏 270，不明坏 2,932，高台付坏 133，蓋 145，高台付皿６，盤 57，無台盤１，高盤２，壺・瓶７，鉢 138，甕 2,609，甑３，円面硯１），灰釉陶器片９点（碗１，段皿１，長頸瓶１，瓶６），土製品１点（羽口），鉄滓２点（48.0 ｇ），木器・木製品 177 点（木簡１，刀子柄ヵ１，小形竪杵１，竪杵１，檜扇ヵ１，糸巻１，刳物皿１，曲物蓋板２，曲物底板３，曲物側板１，有孔小板１，井戸枠材 14，建築用材７，杭２，加工木 140），自然遺物 114 点（桃核 92，ヒョウタン６，クリ 13，クルミ１，鹿角１，馬歯１）のほか，木材や自然木が多数出土している。また, 漆付着土器３点（須恵器坏), 油煙付着土器２点（須恵器坏), 墨書土器 309 点, 転用硯１点（須恵器盤）が出土している。墨書土器は,「秋ヵ」「麻生」「井」「井上」「夫」「香」「川」「川／川」「川／四」「川人」「槻」「子鼻門」「子佐古」「嶋」「城□」「新殿」「粟（小栗の合わせ文字ヵ）「千」「大」「杢」「宅」「田前」「長□」「土」「智／福」「智」「ナ」「成」「西」「ノ」「野ヵ邊」「前□」「臣」「臣･嶋名」「臣／中家／臣」「南」「山」「山山」「山人」などの文字が確認できる。平面的な分布状況について器種別にみると，須恵器の供膳具類は，全域から出土しており，特に，平坦部南半部の構築土中から多量に出土している。残存率の高い破片が多く，器面の摩滅が少ない。須恵器の貯蔵具・煮炊き具は，掘方の埋土から多く出土している。残存率は低く，接合関係も認められないが, 器面の摩滅は少ない。これは, 器壁が厚い大形破片が, 埋土の補強剤として選ばれたためと考えられる。土師器の供膳具類は，井戸枠内の覆土上～下層と平坦部の南肩部からまとまって出土している。井戸枠内からはほぼ完形のもの，平坦部からは残存率が高く，接合関係が認められるものが多く出土しており，いずれも器壁の摩滅は少ない。土師器の貯蔵具・煮炊き具類は，いずれも摩滅した小片であり，周囲から流れ込んだものと考えられる。次に，特筆すべき遺物としては，63 ～ 69 とＷ 28 があげられる。63 ～ 69 は，井戸枠内の覆土最下層から，上から 63 ～ 69 の順に７点が重なって，倒位の状態で出土している。63 が「川／川」，64・66・69 が「土」，65・67・68 が「千」「千・千」と墨書されている。63 ～ 66・69 は，口縁端部の一部が欠けており，紐で括られた状態で井戸に沈められたと想定できる。Ｗ 28 は, 表面に物の長さである「･□長三尋一尺七□（寸ヵ）」，裏面に人名の「・道ヵ浄人」と書かれている。表面の「尋」は布の長さを表す単位であり，国立歴史民俗博物館館長平川南氏より,「飛鳥池遺跡南地区（152 号木簡），藤原京左京七条一坊西南坪（1480 号木簡）などの事例から，長さ「三尋」が当時の布の一定規格を示すものであったと理解でき，本木簡は，この規格が東国社会でも用いられていたことを証する初見資料といえる。」とのご教示を得た。

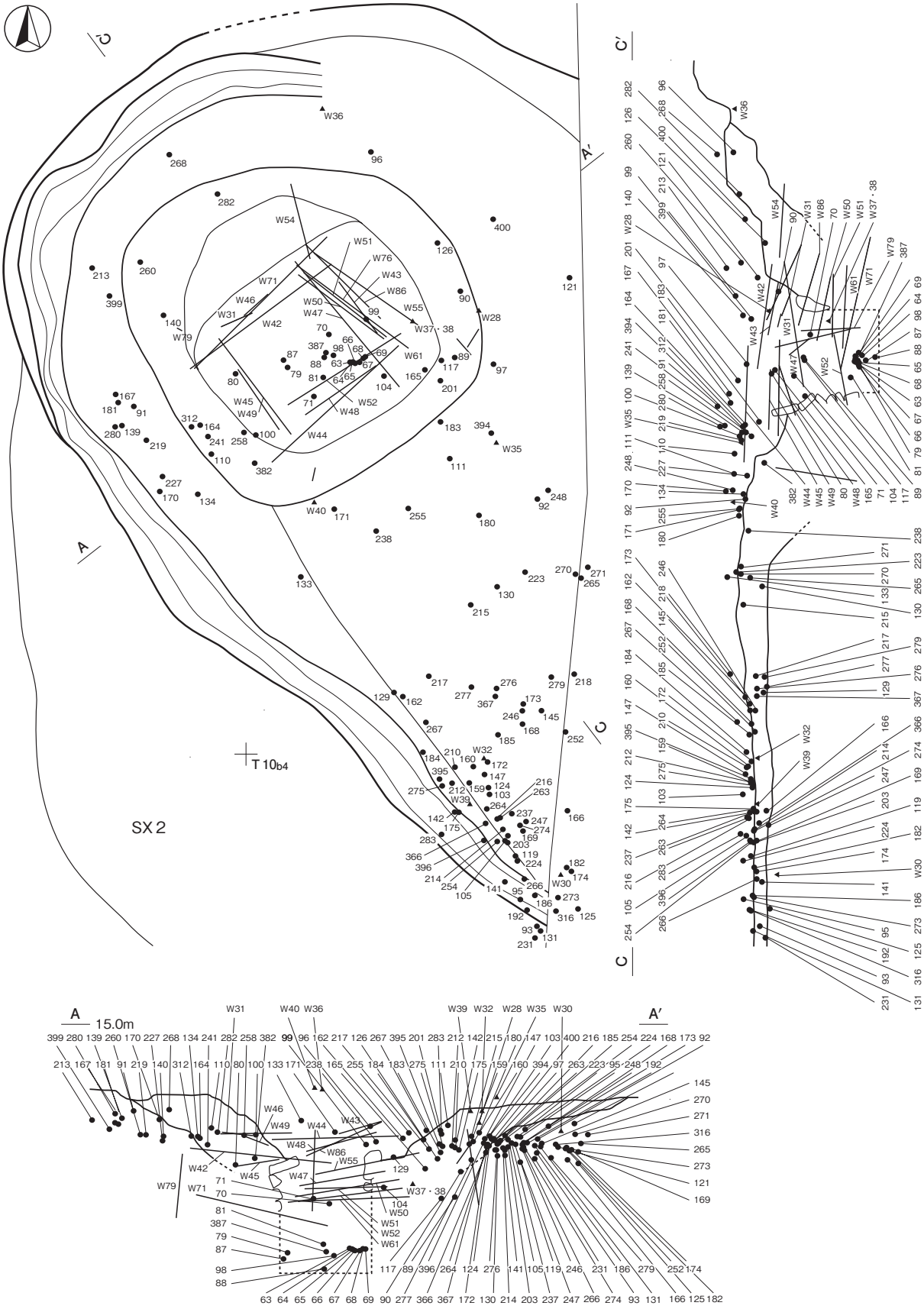
所見　時期は，出土土器から構築時期が９世紀中葉，廃絶時期が９世紀後葉にそれぞれ比定できる。出土した井戸枠材は，仕口の内法が 110㎝前後と 69㎝前後の二者があり，後者が井戸枠の下段や掘方の裏込めに転用されている。このことは，今回確認した井戸部が小形のものから作り替えられたことを示しており，改修を繰り返しながら，使用されていた状況がうかがえる。また，井戸枠内の最下層からは，墨書土器７点が，重なった状態で出土しており，井戸の祭祀に関連して供献されたものと考えられる。



第 35 図　第 204 号井戸跡実測図 (1)

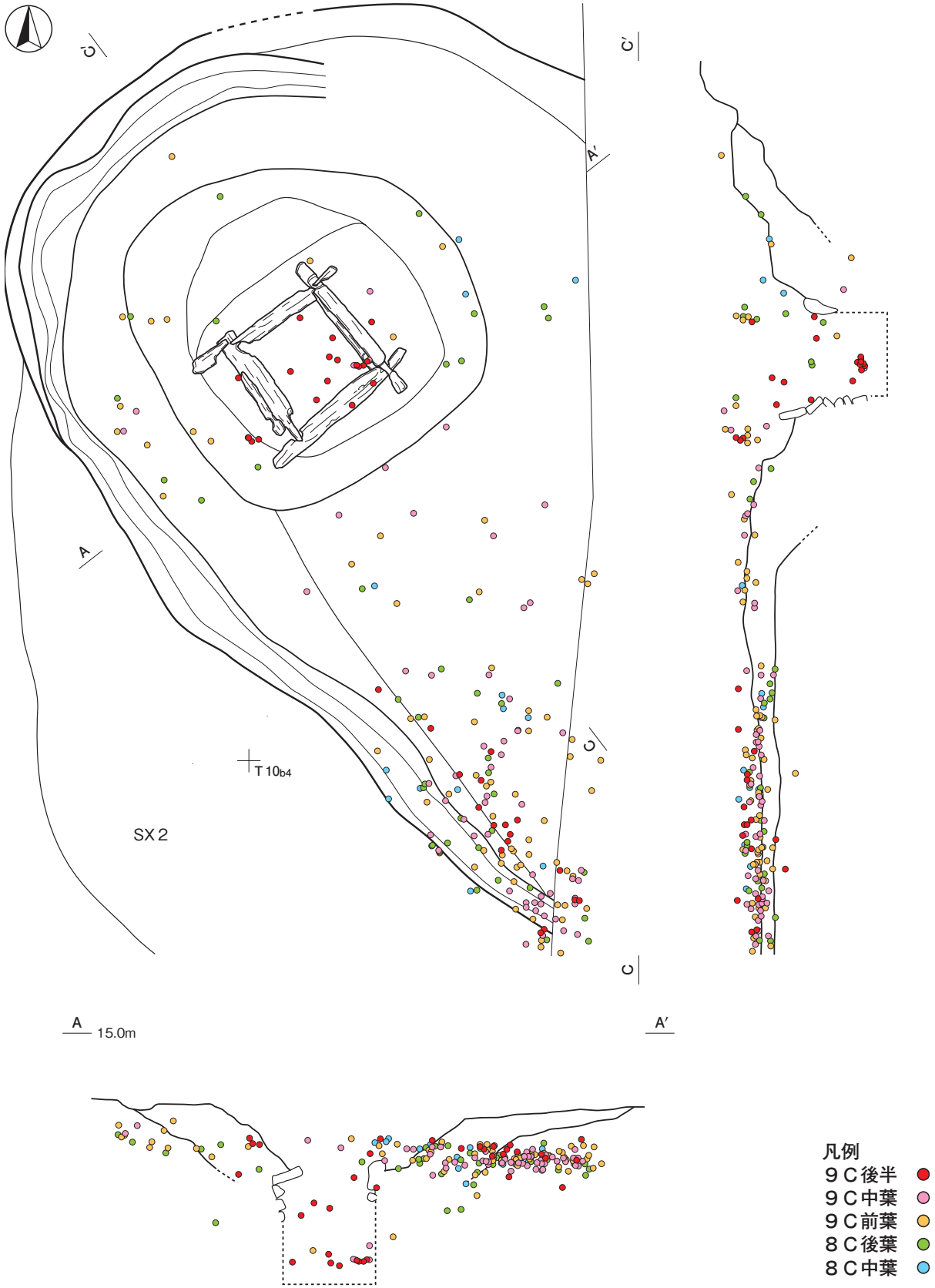


第 36 図　第 204 号井戸跡実測図 (2)



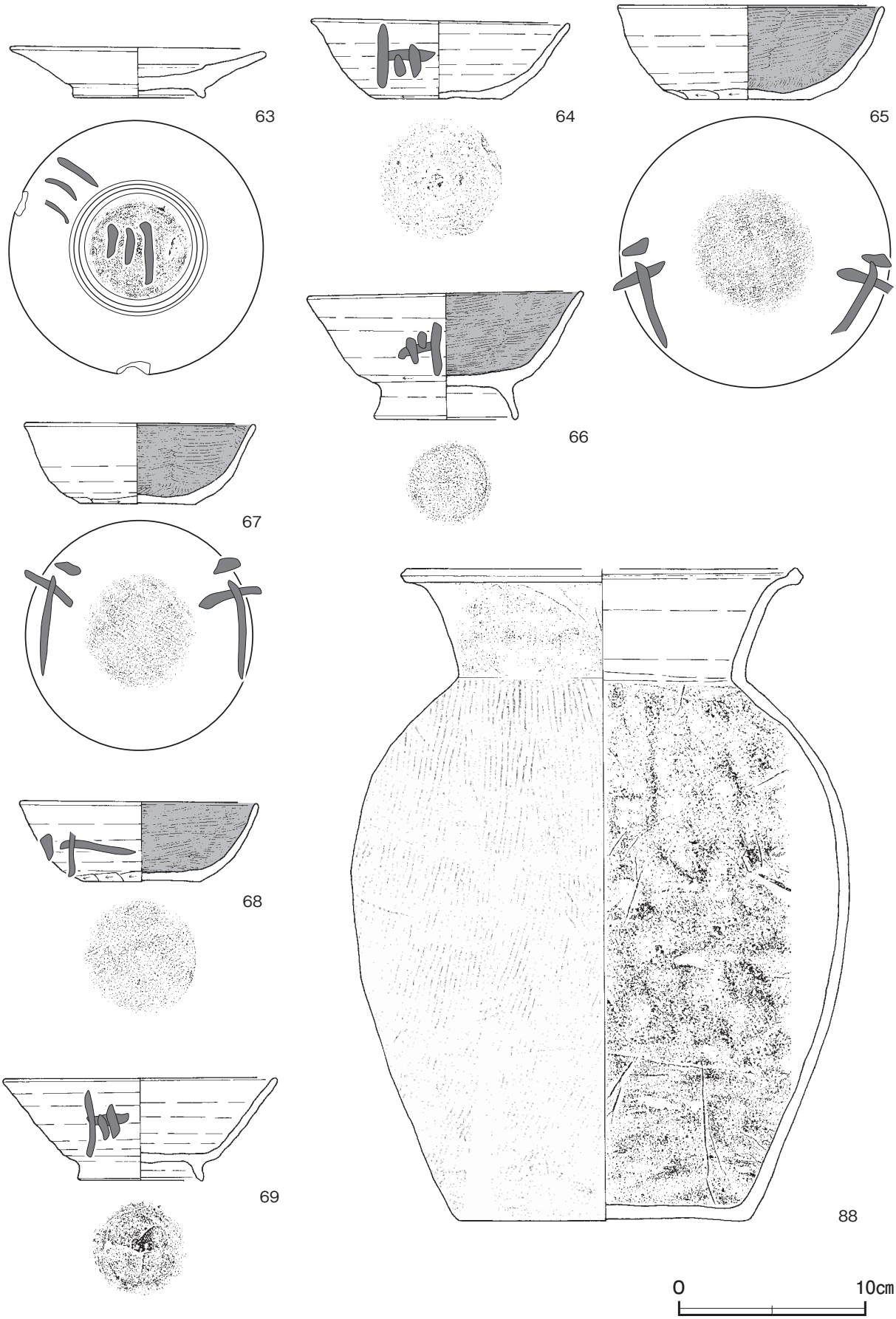
※ エレベーションは, A－A′ ・C－C′ ラインの土層断面図をX・Y軸に投影したものである。

第 37 図　第 204 号井戸跡遺物出土状況図 (1)

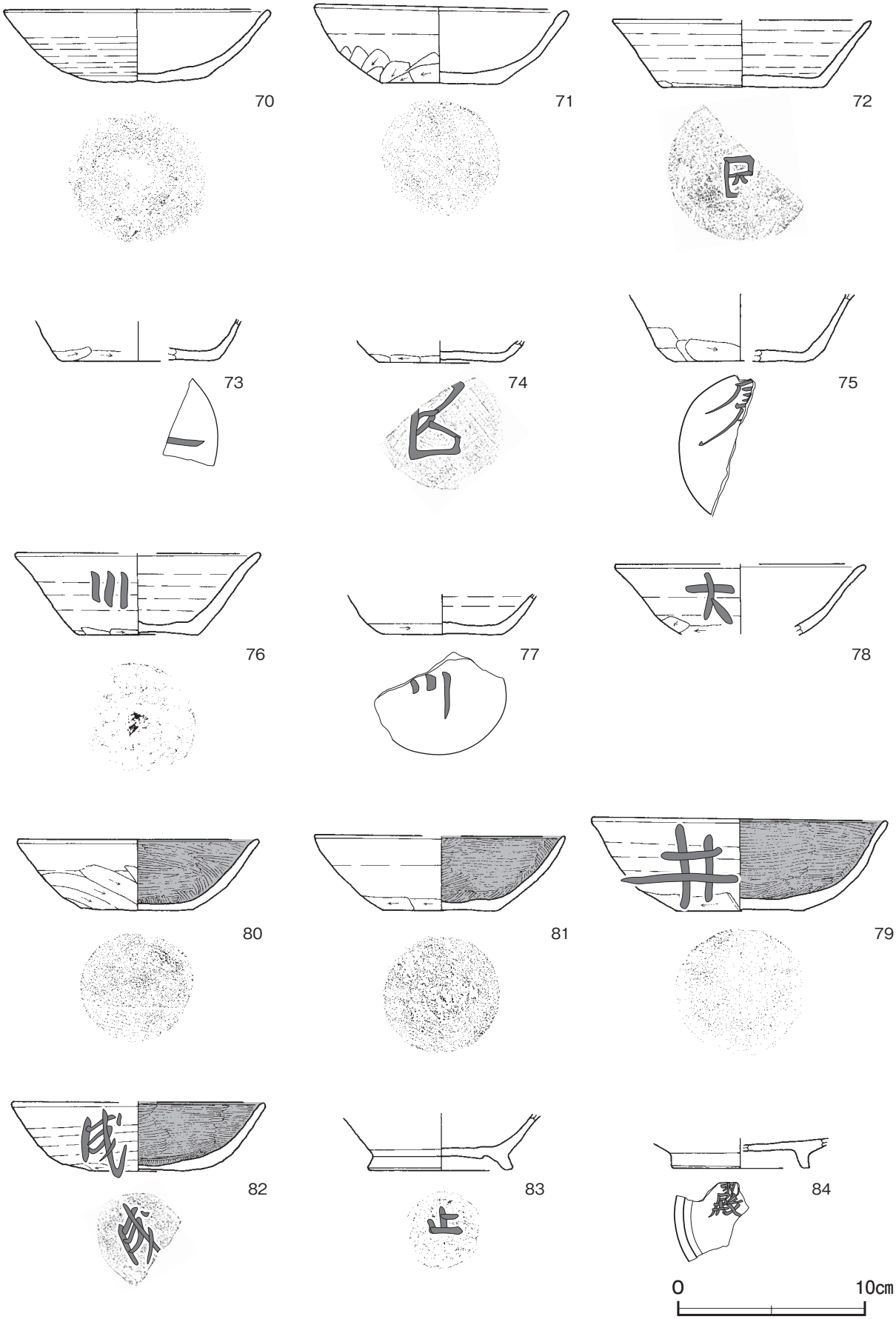


※ エレベーションは，Ａ－Ａ′ ・Ｃ－Ｃ′ ラインの土層断面図をＸ・Ｙ軸に投影したものである。

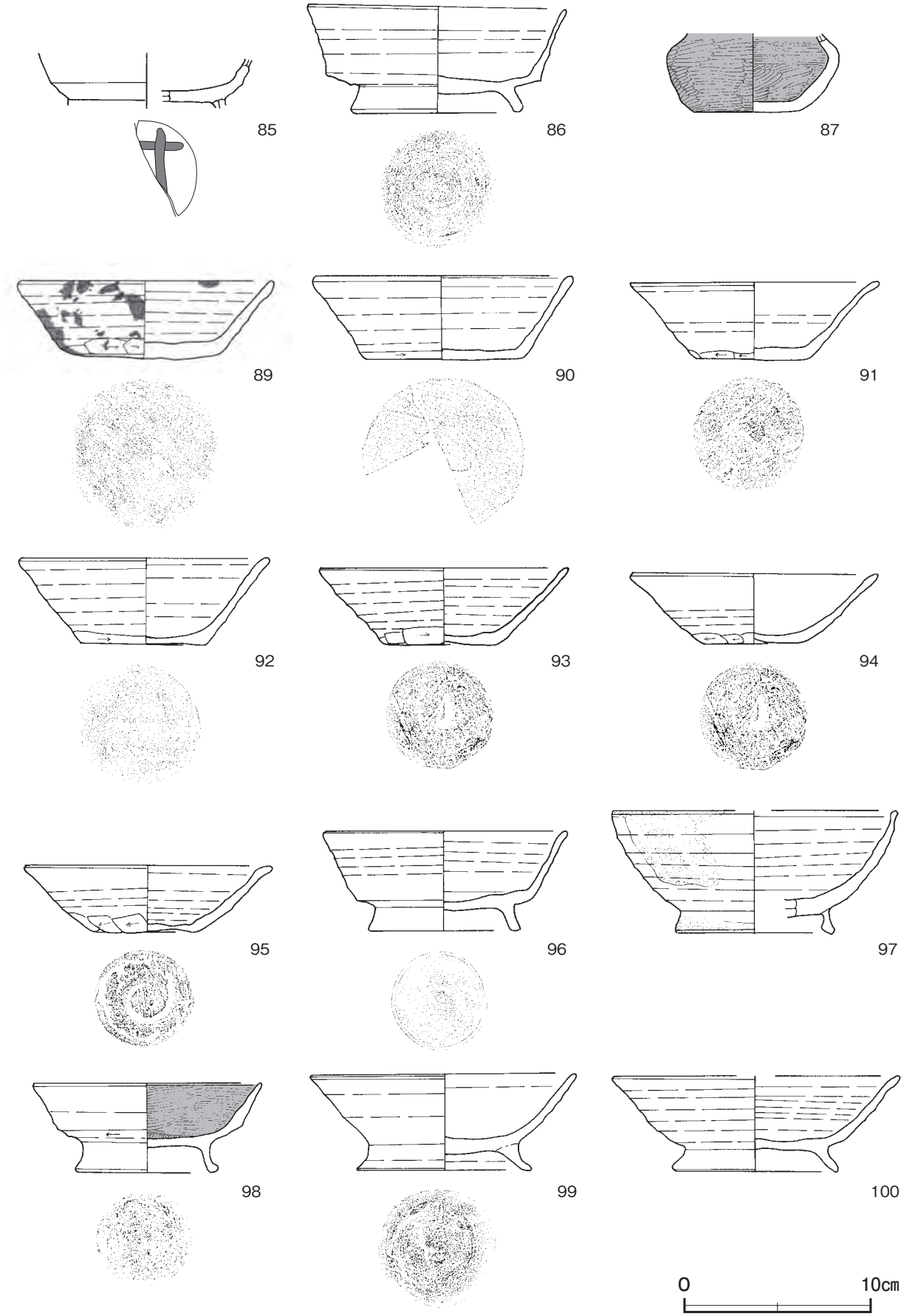
第 38 図　第 204 号井戸跡遺物出土状況図 (2)



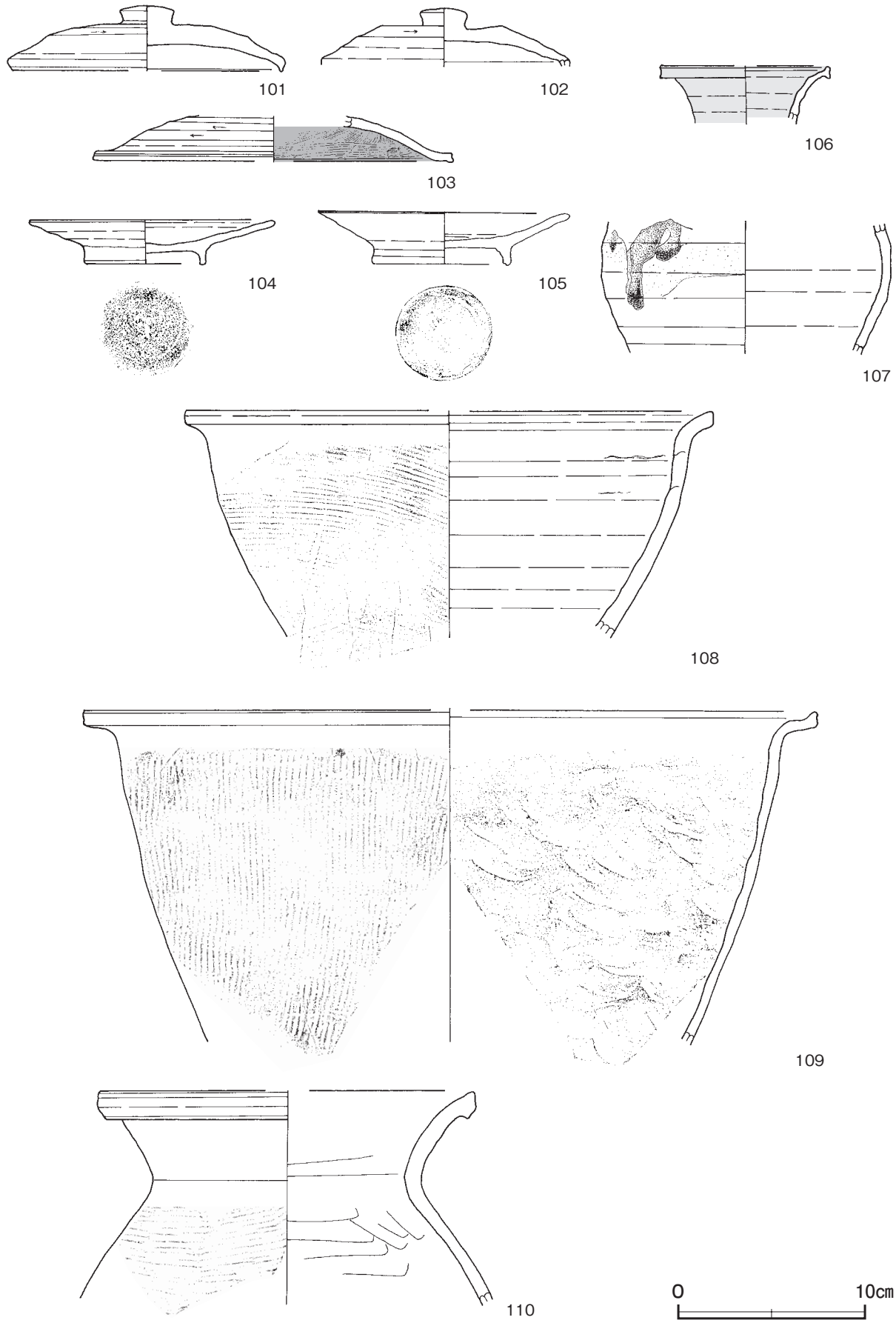
第 39 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 (1)



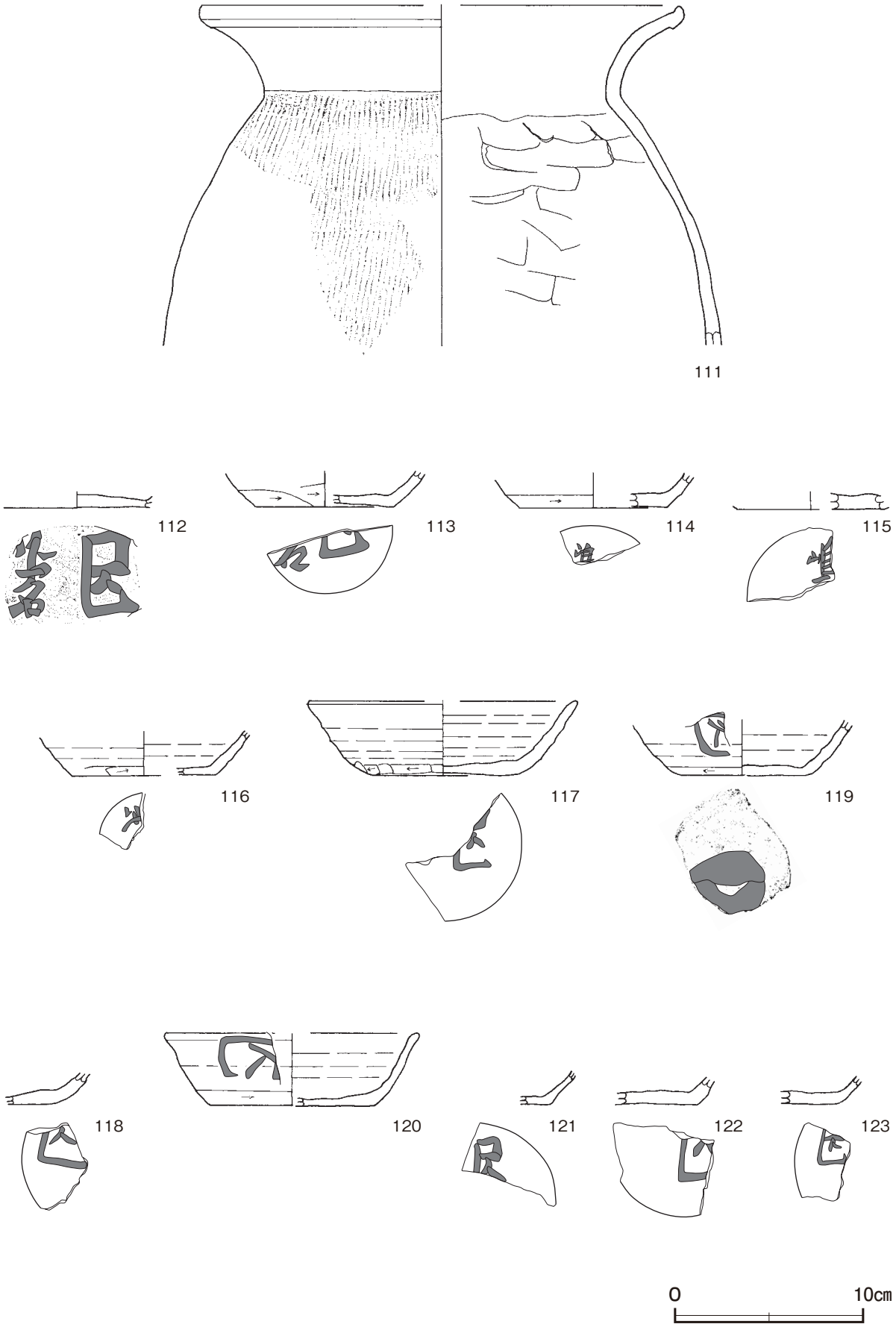
第 40 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 (2)



第 41 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 (3)



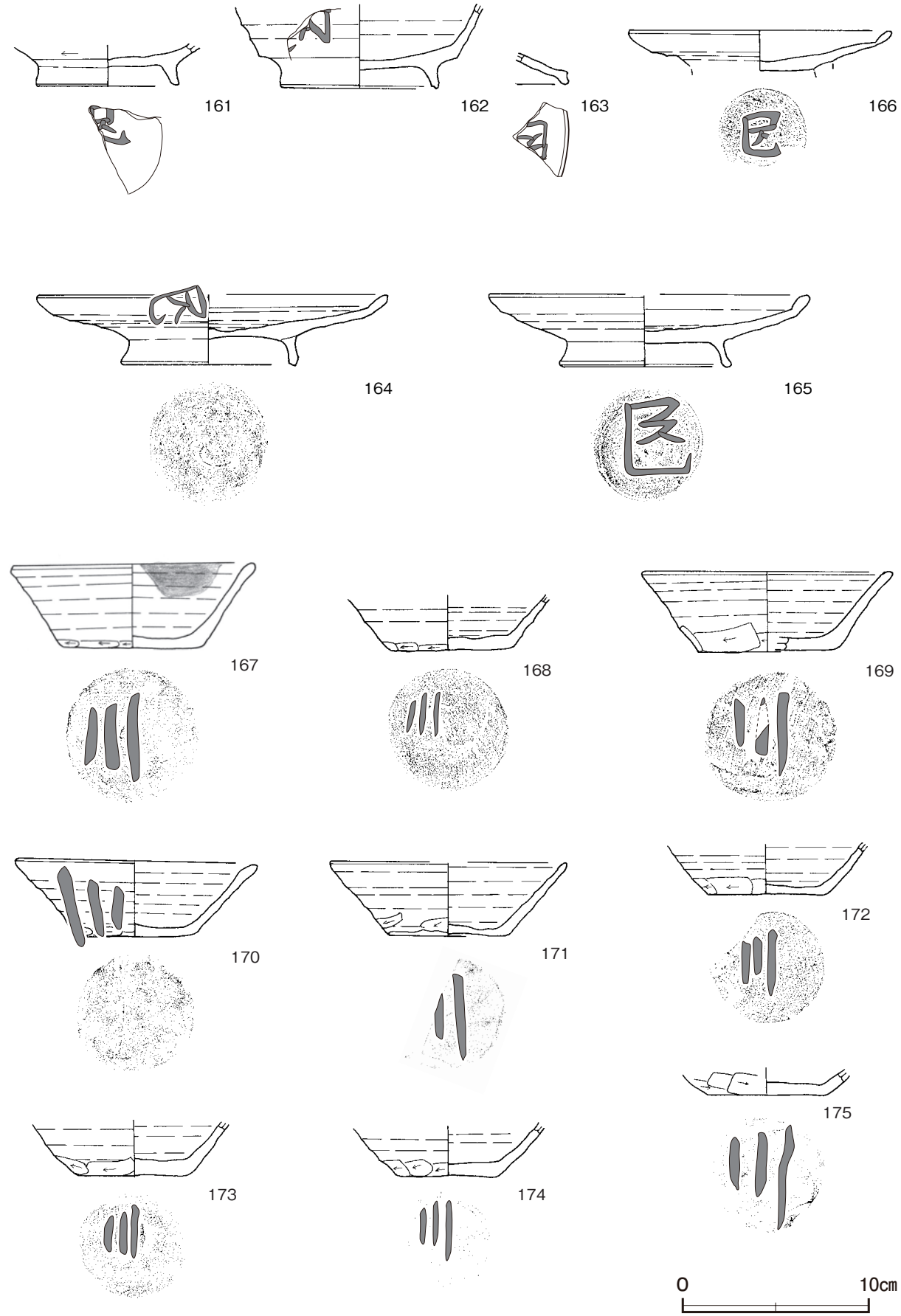
第 42 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 (4)



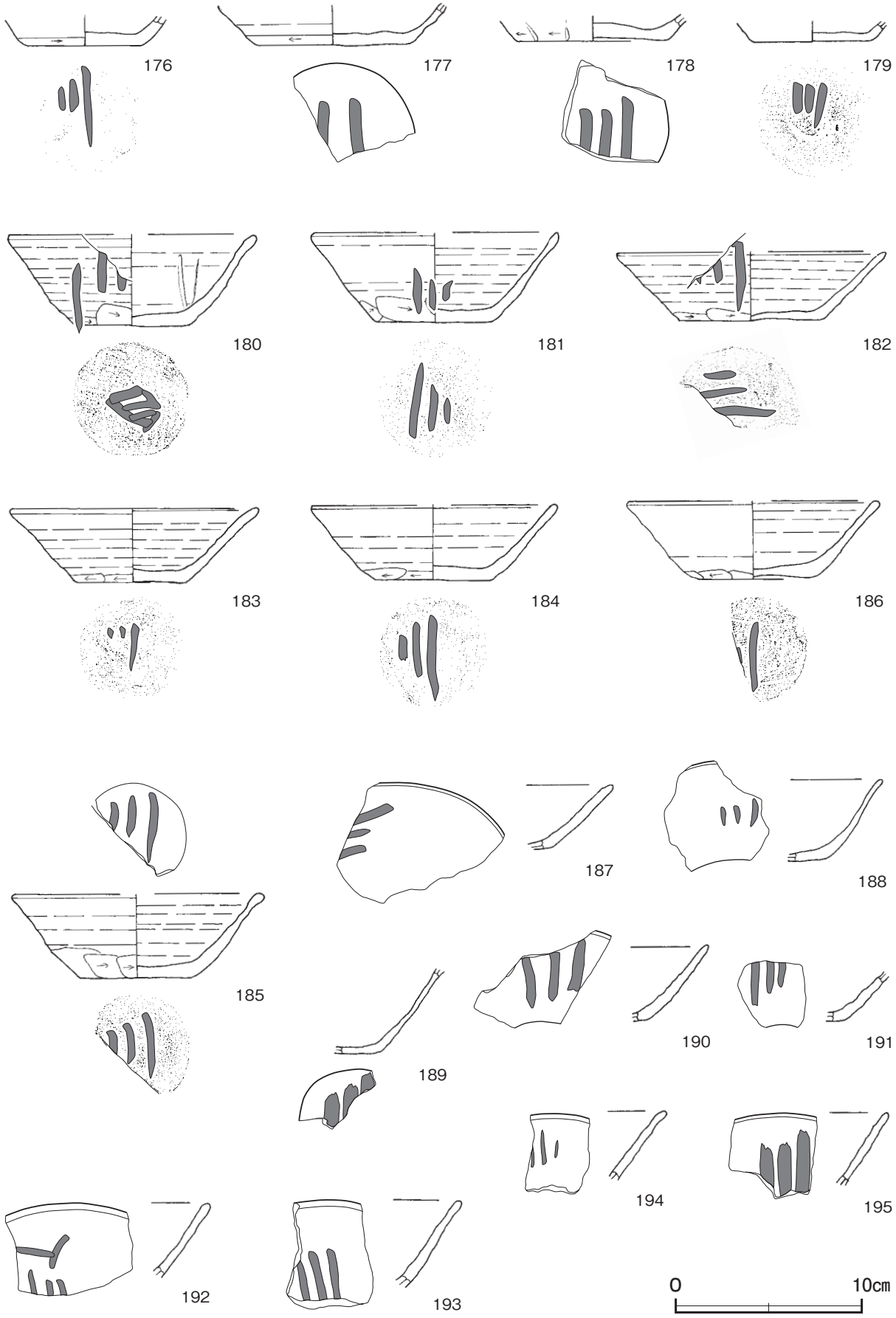
第 43 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 (5)

第 44 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 (6)

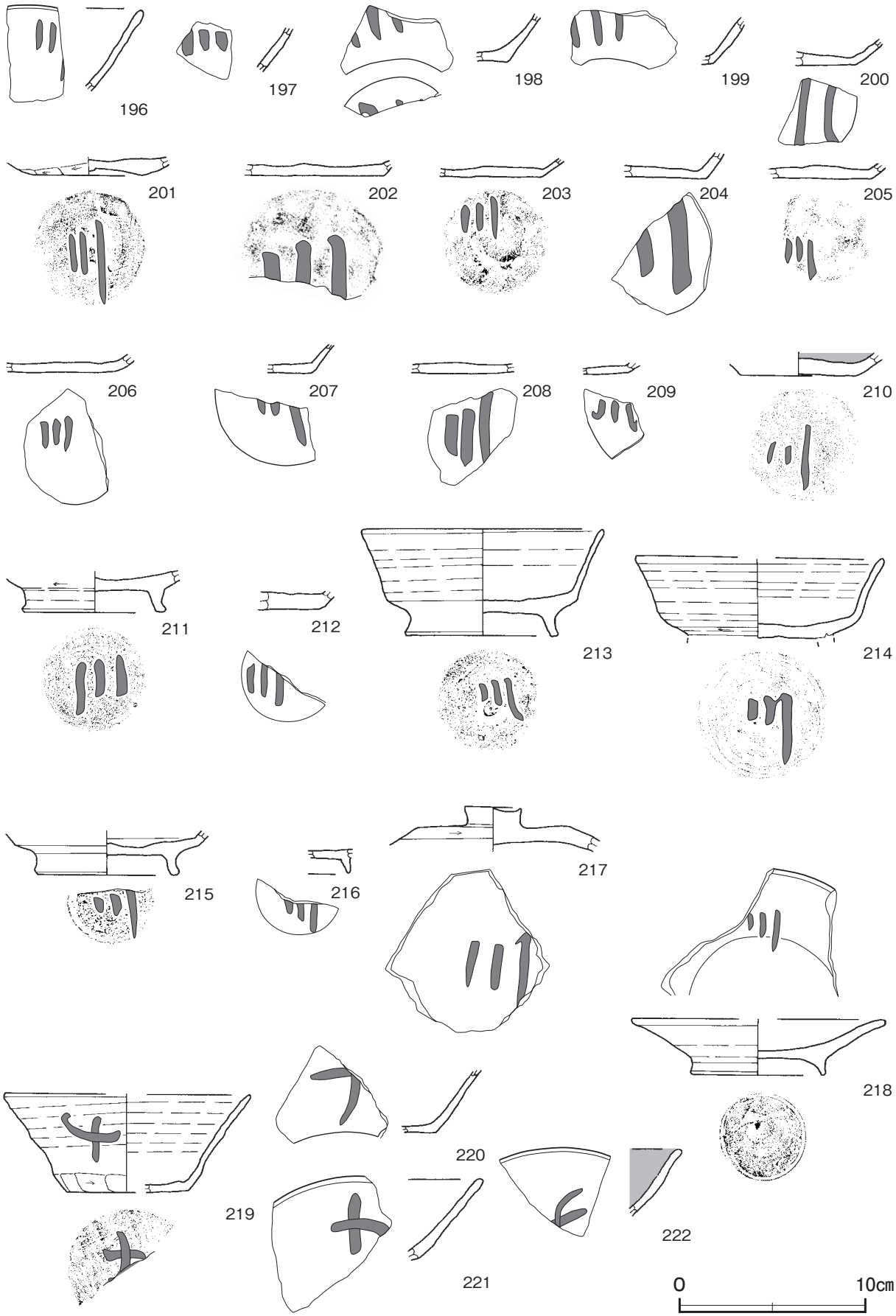
第 45 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 (7)



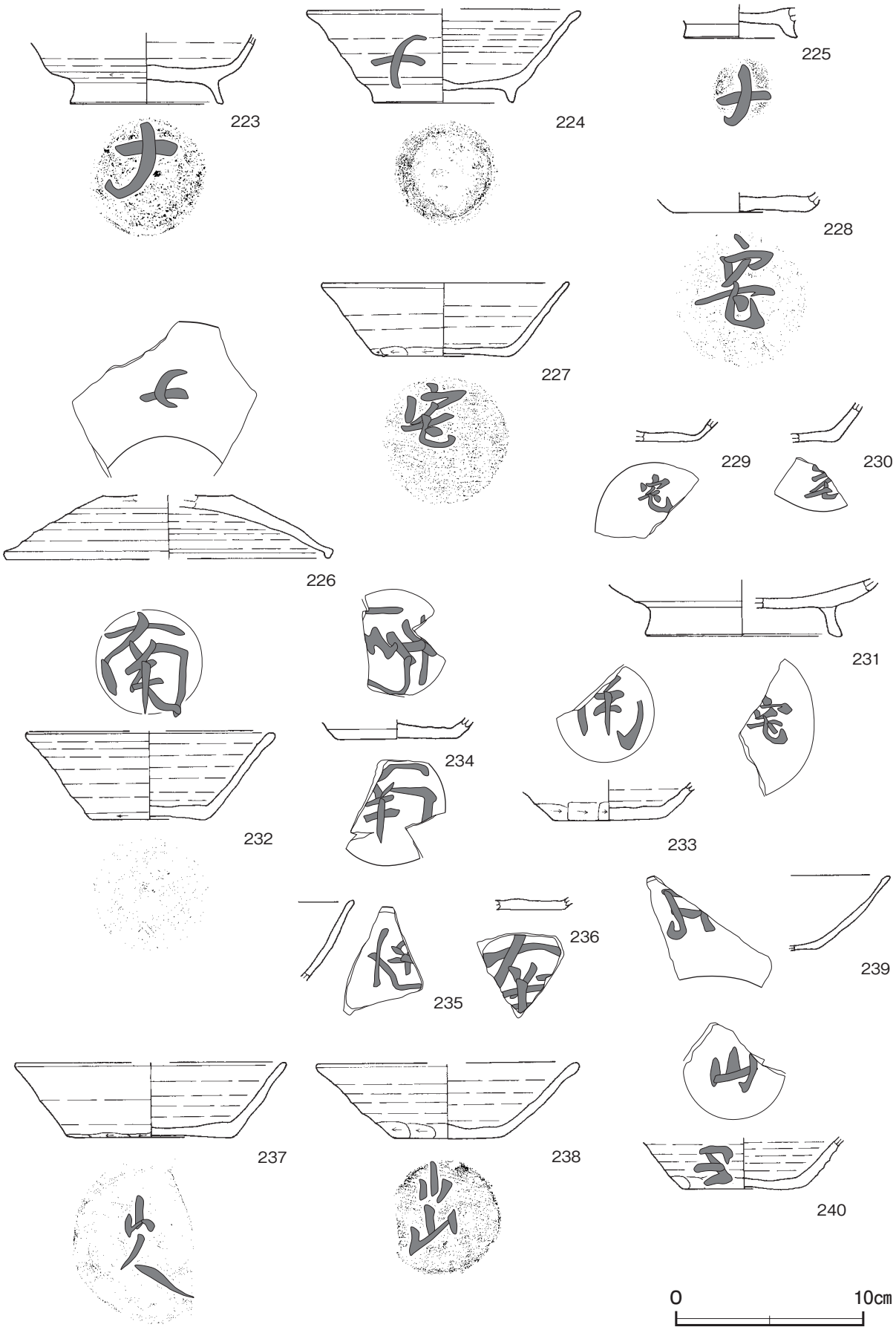
第 46 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 (8)



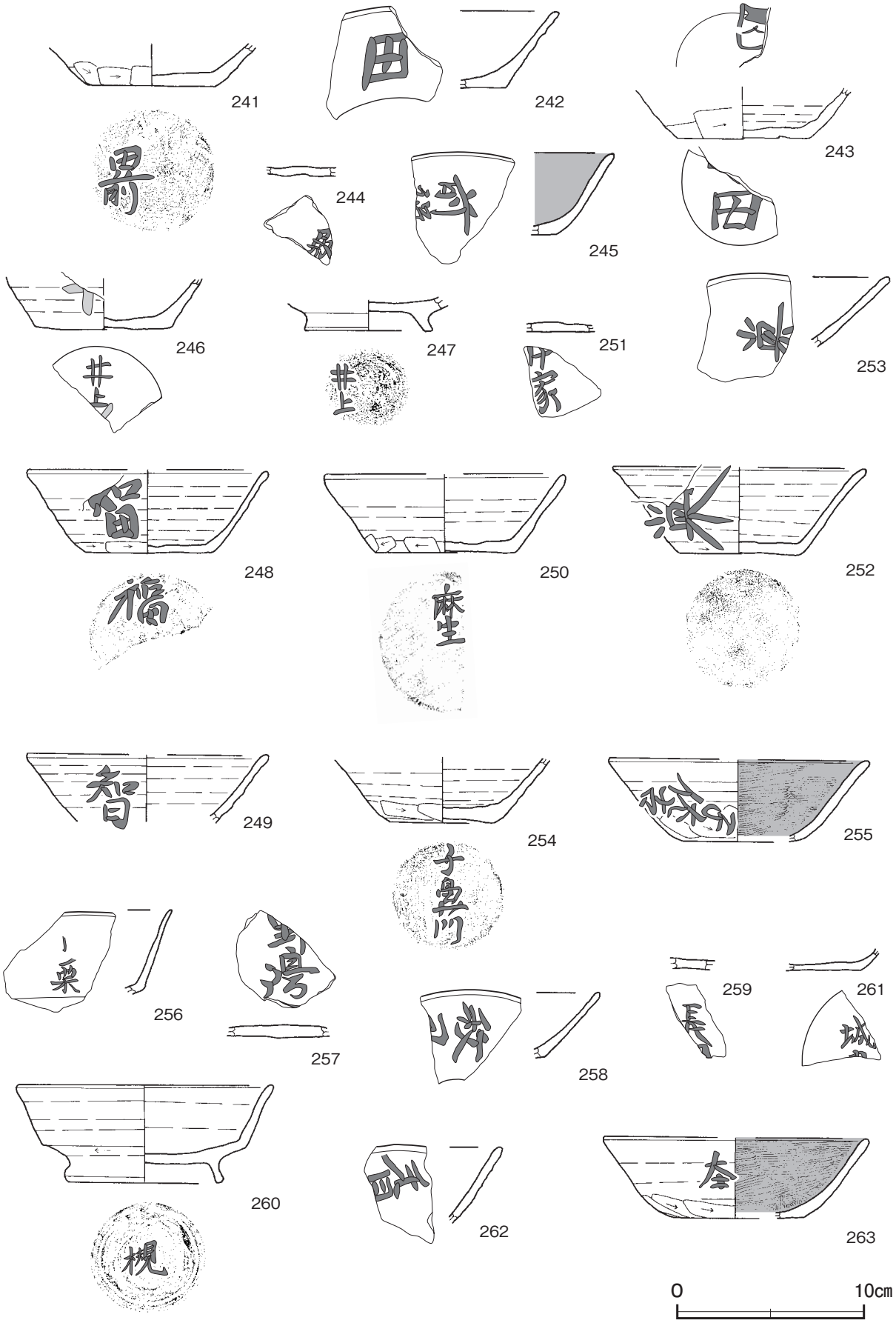
第 47 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 (9)



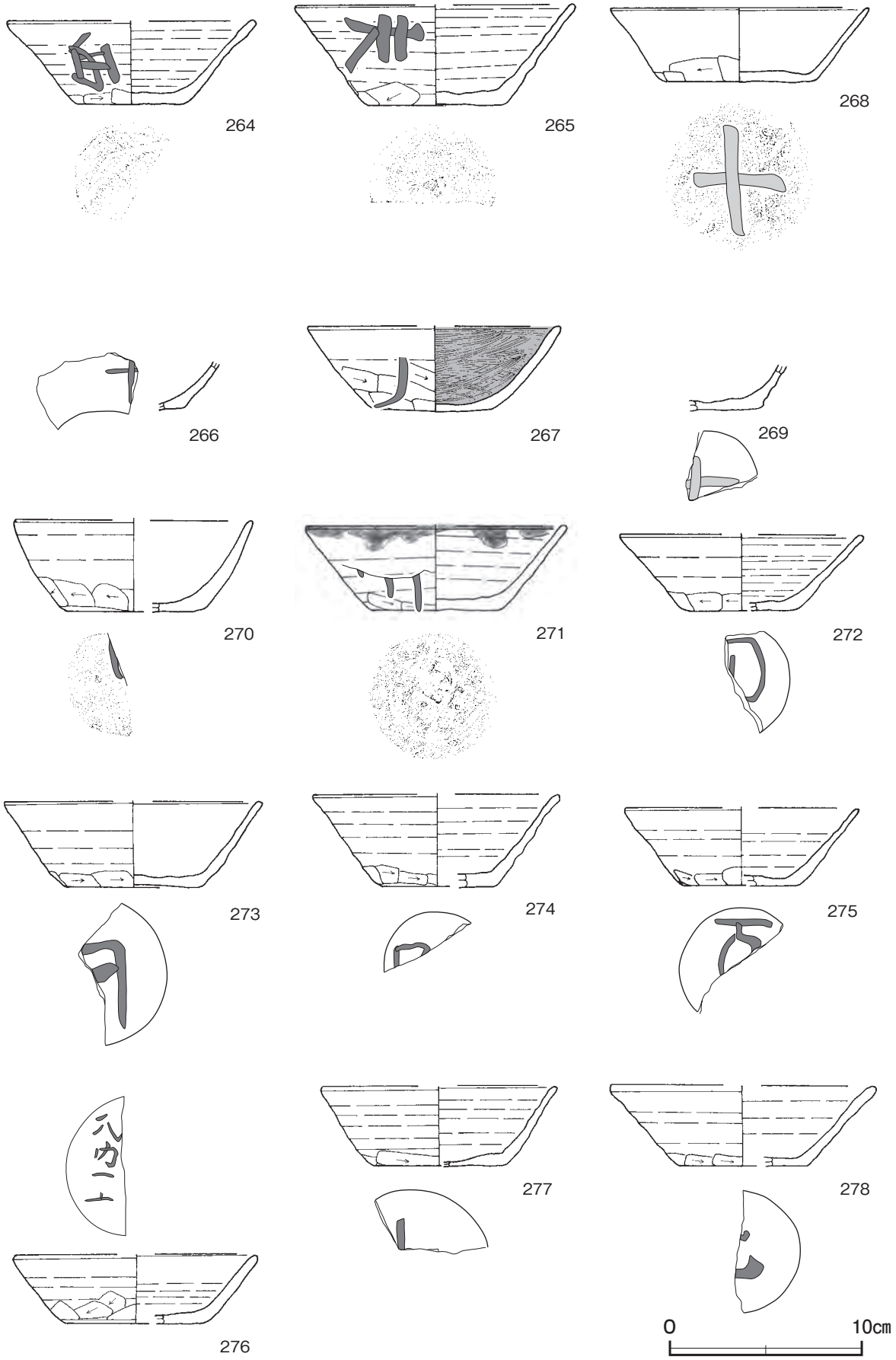
第 48 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 ⑽



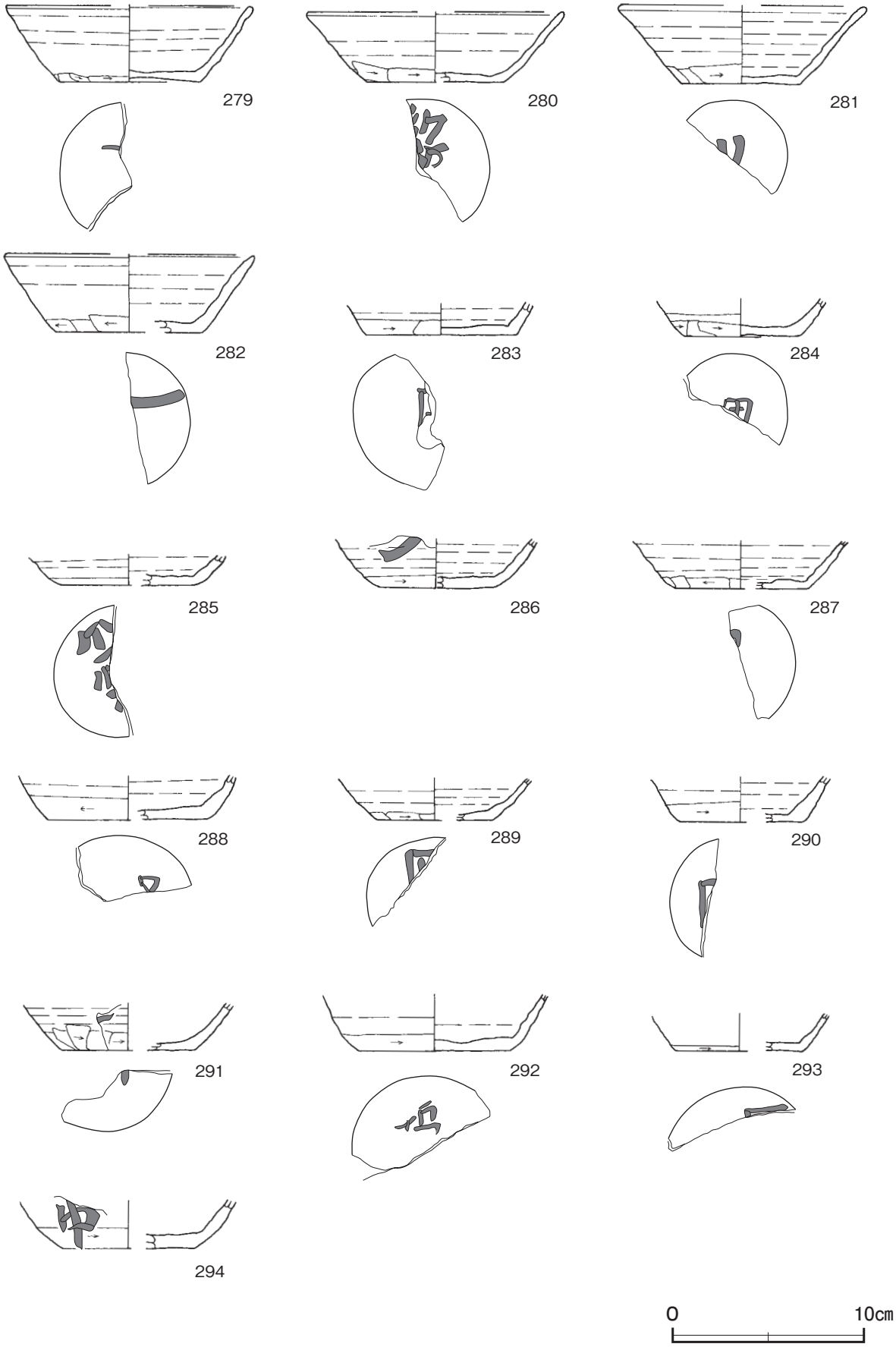
第 49 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 (11)



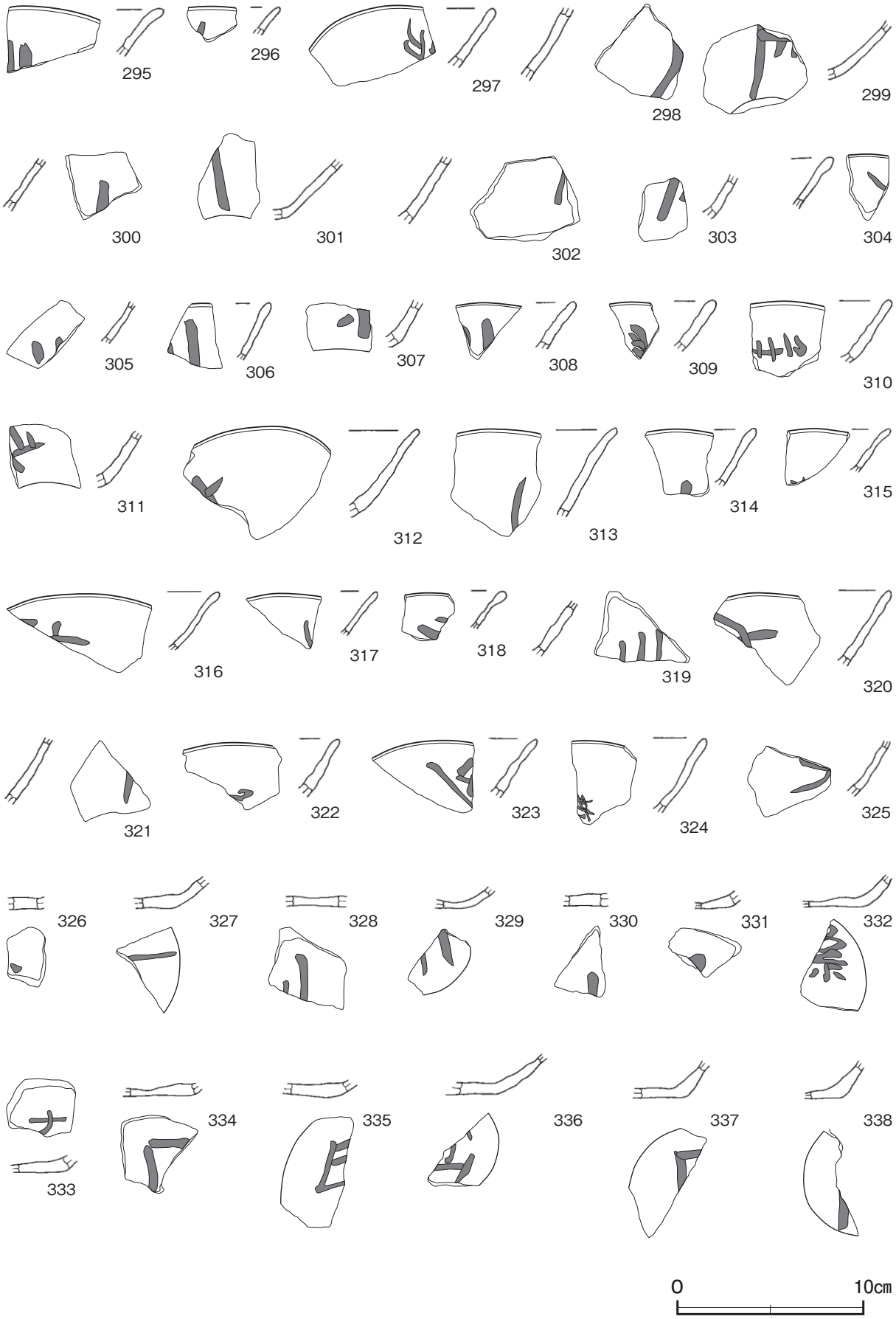
第 50 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 ⑫



第 51 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 ⒀

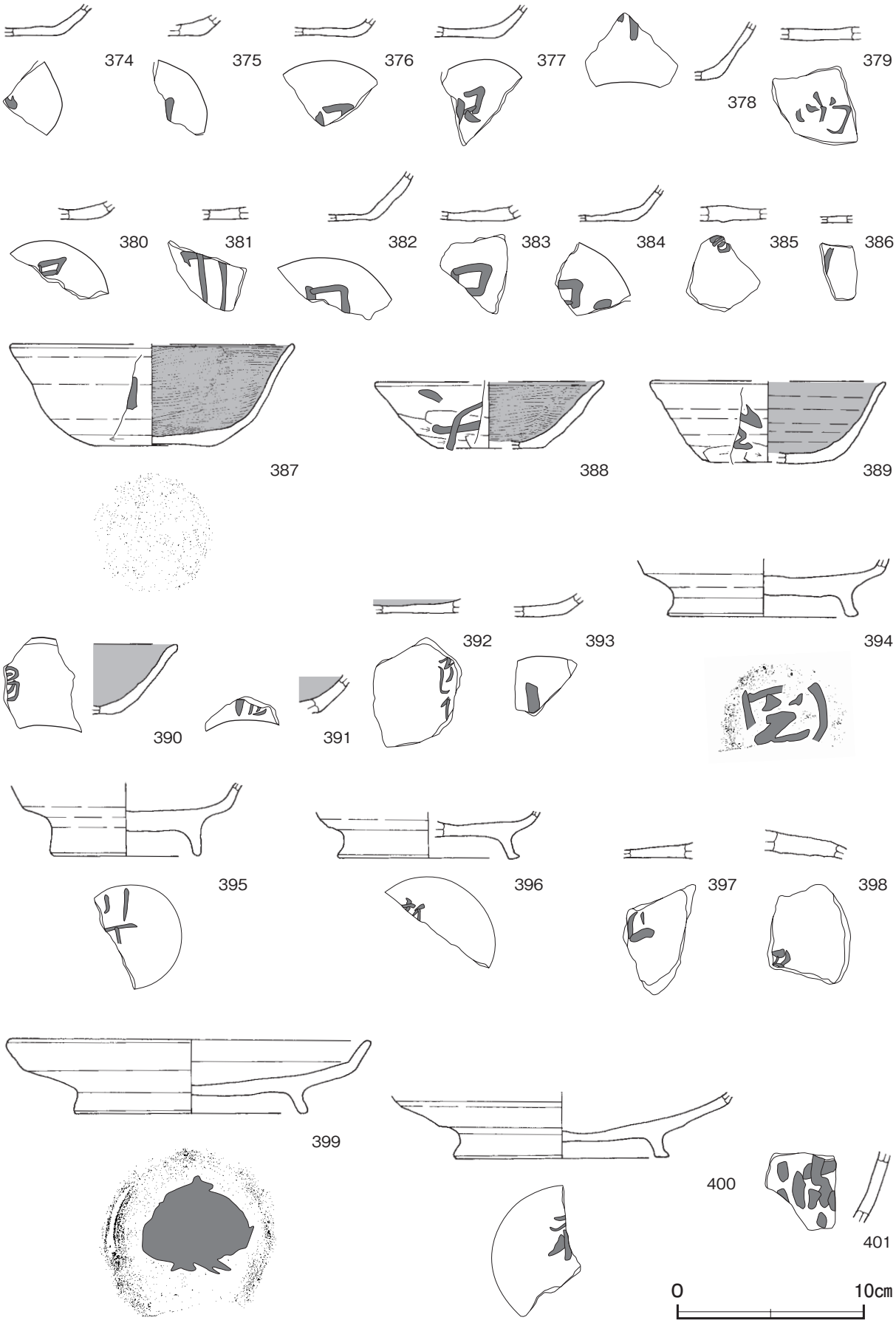


第 52 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 ⑭

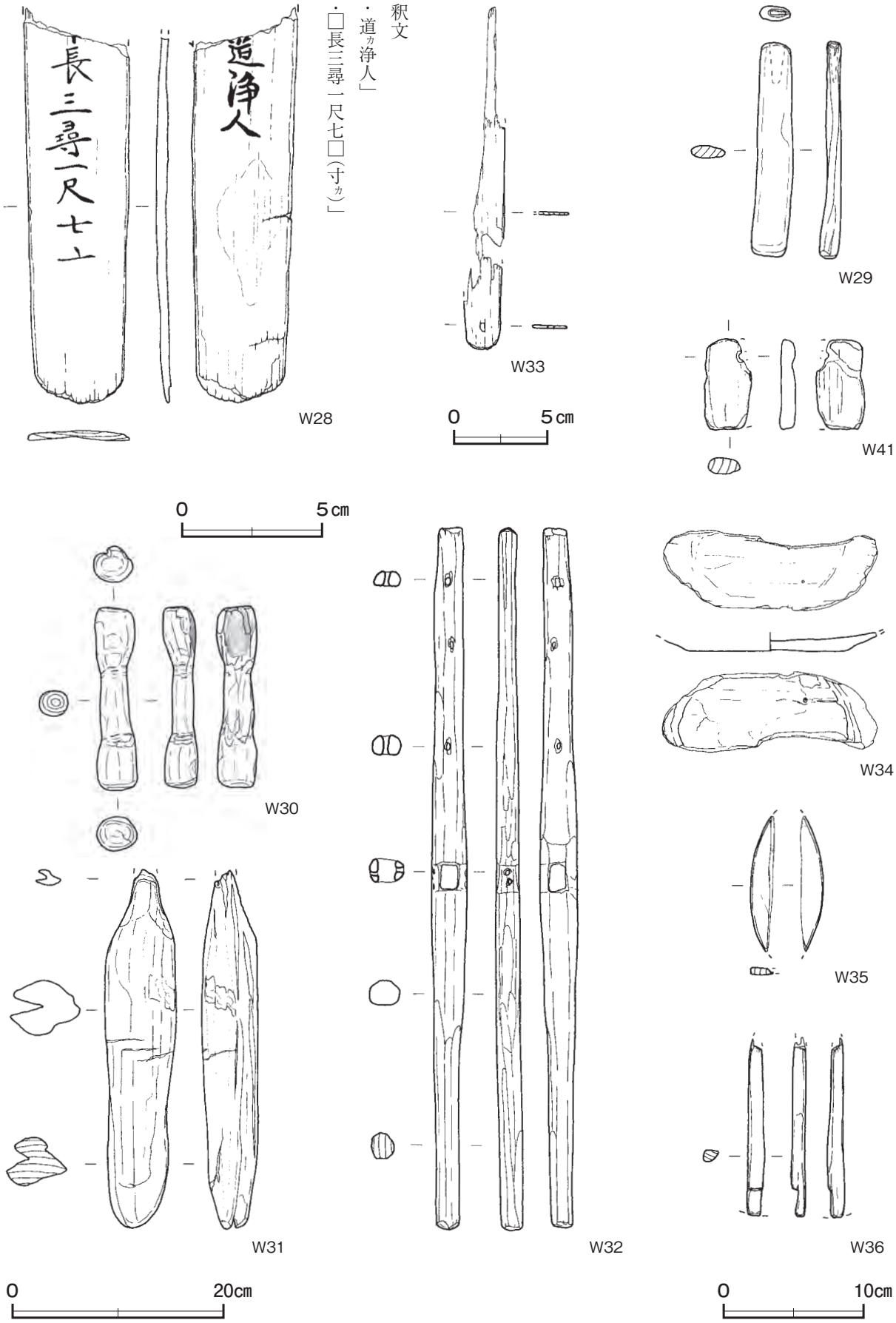


第 53 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 ⑮

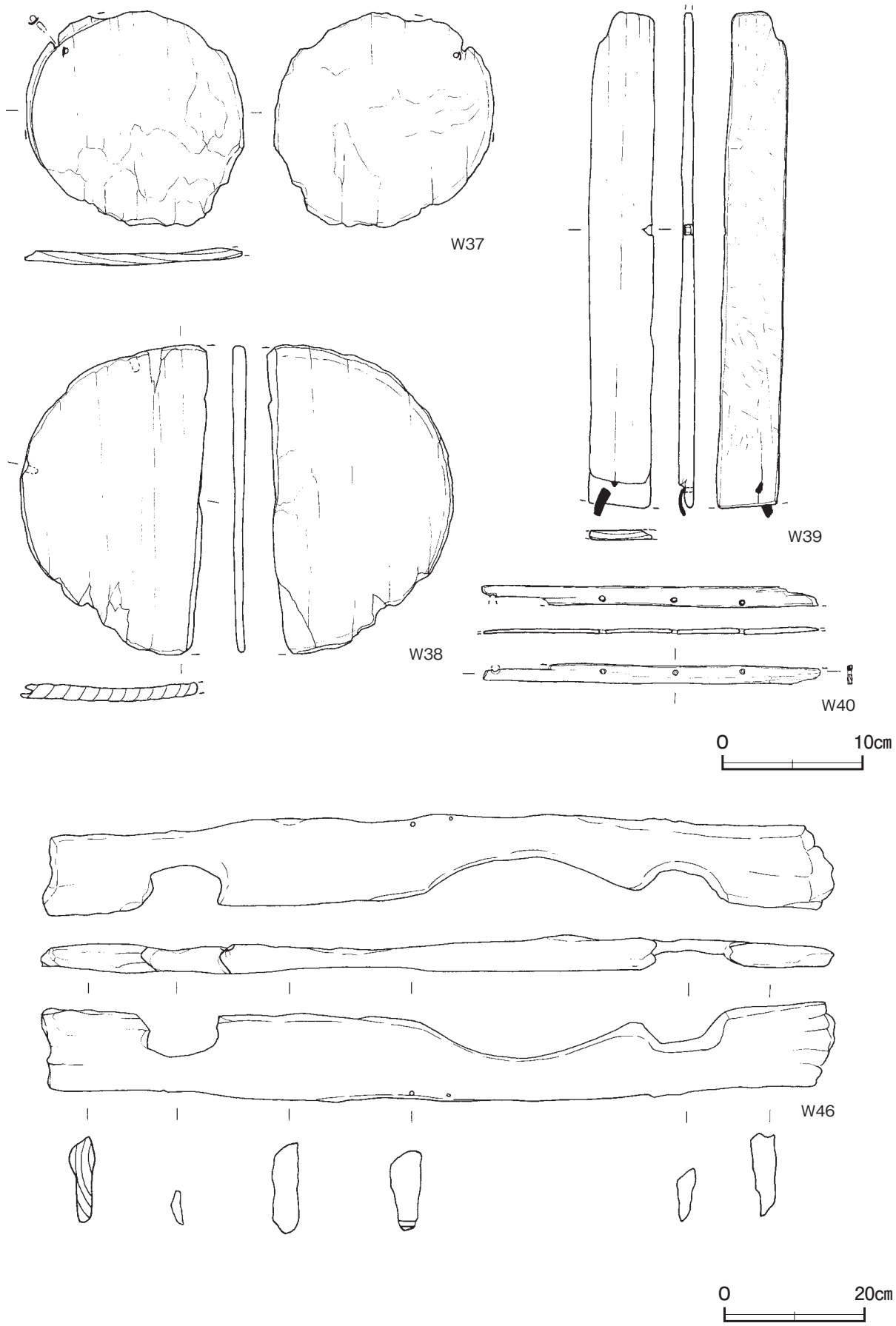
第 54 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 ⑯



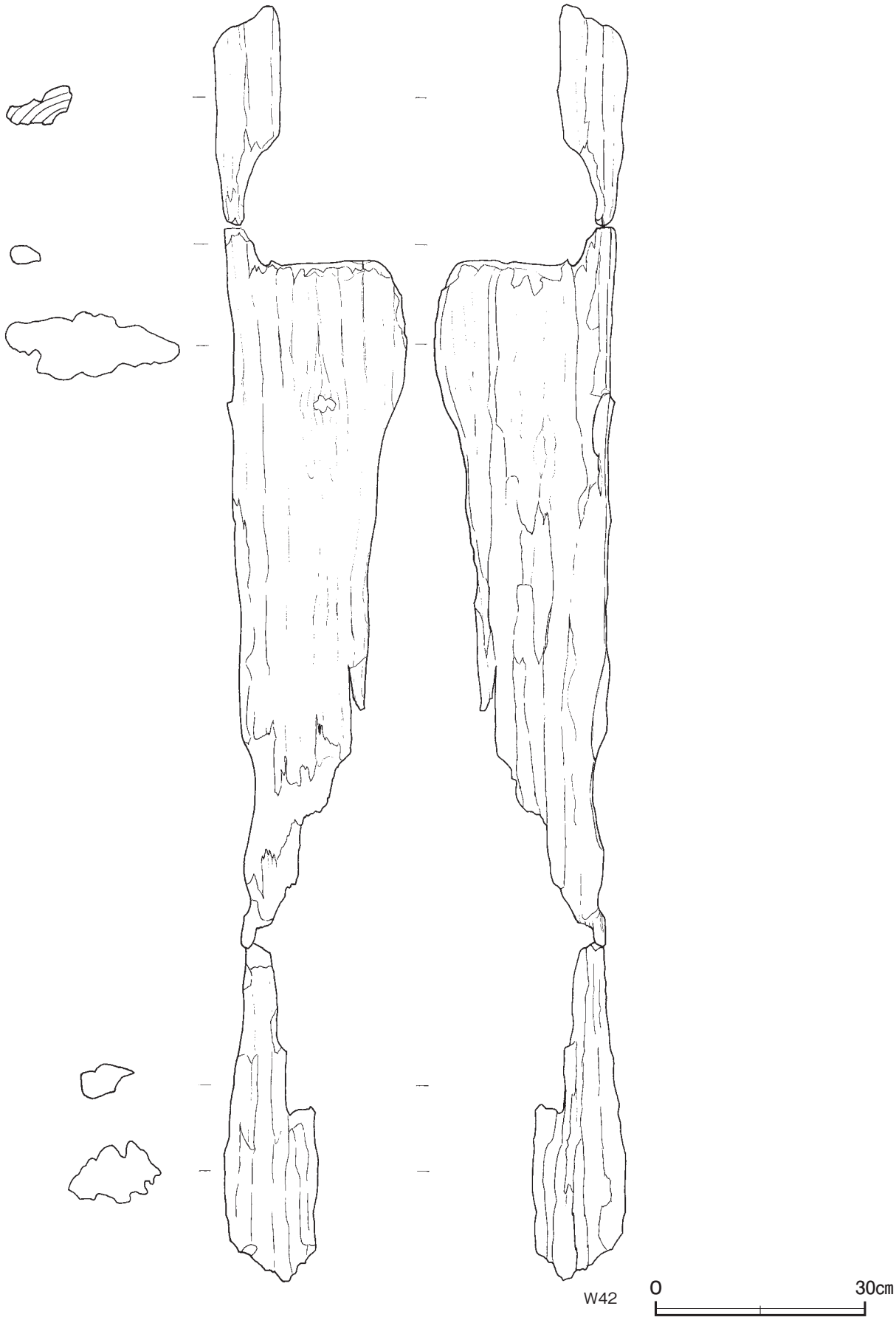
第 55 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 (17)



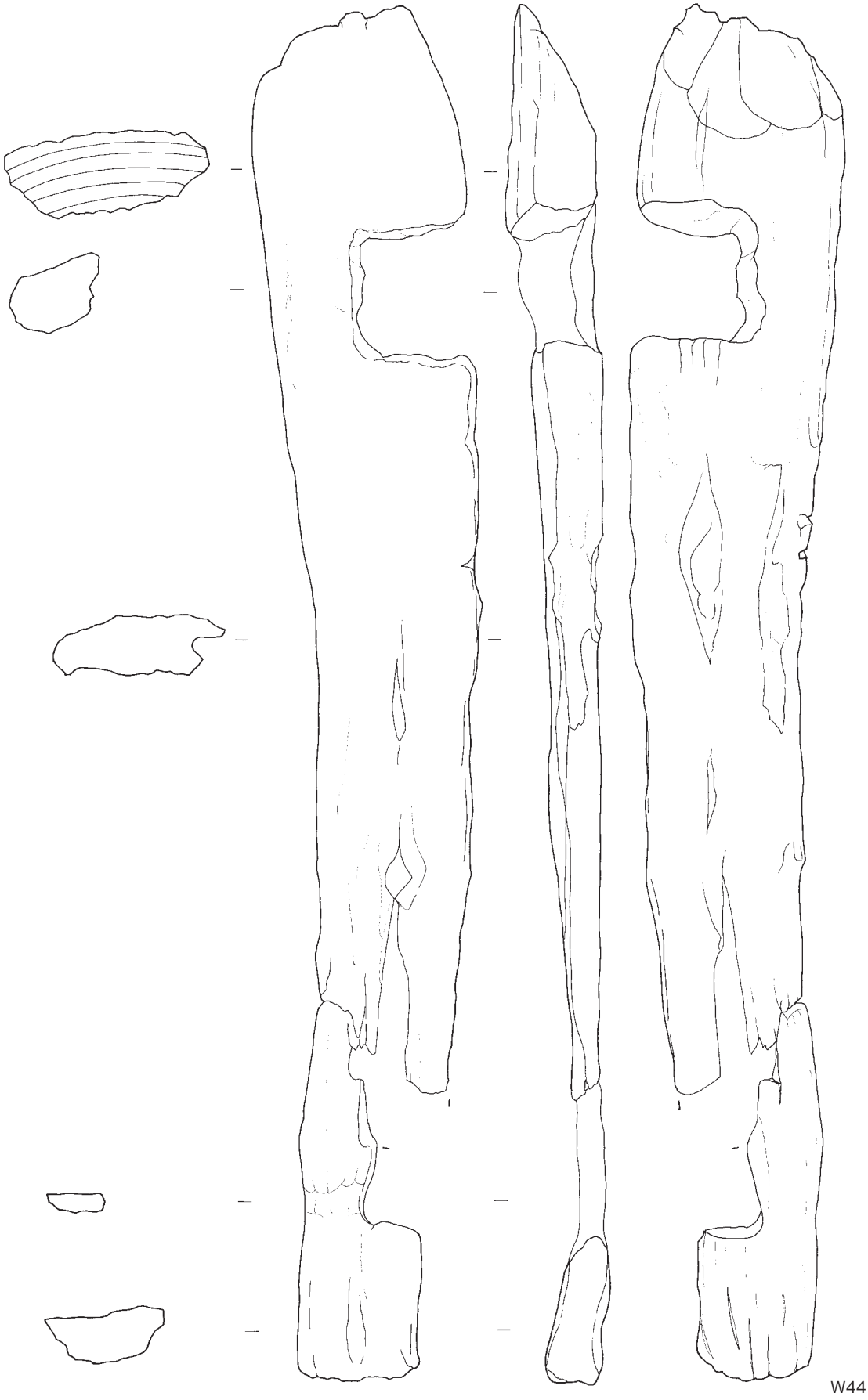
第 56 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図 ⒅



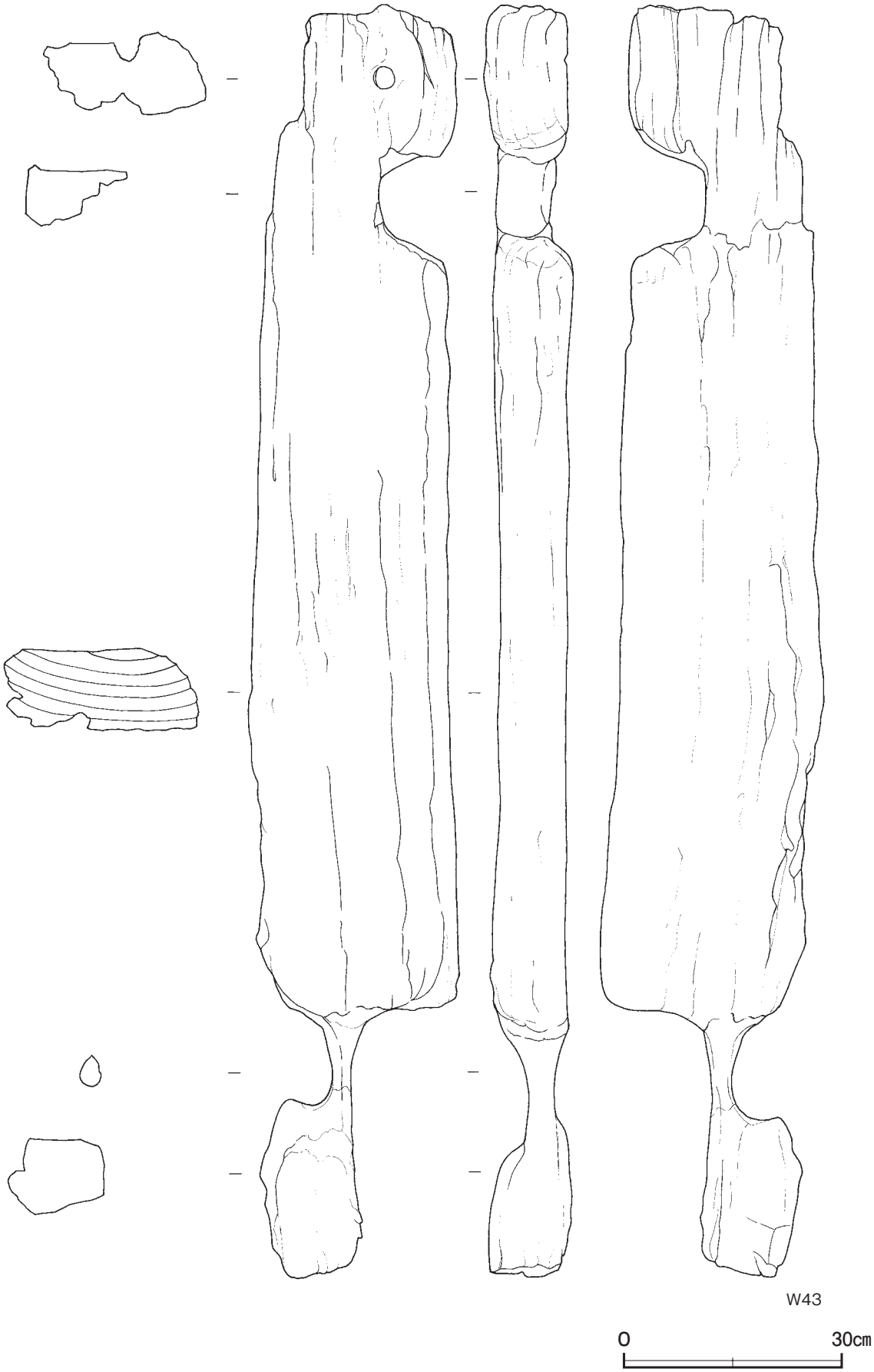
第 57 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図（19）



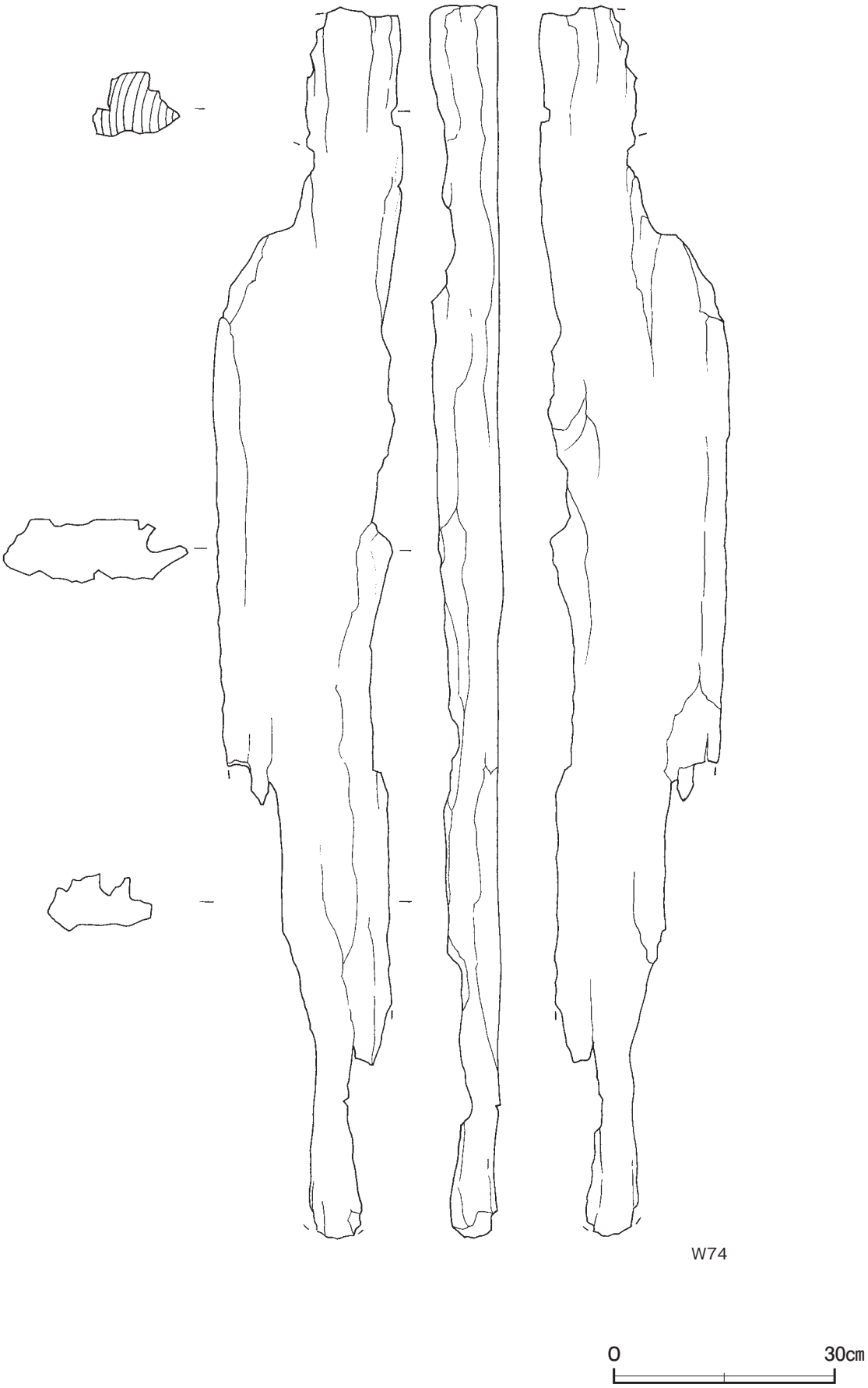
第 58 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図（20）



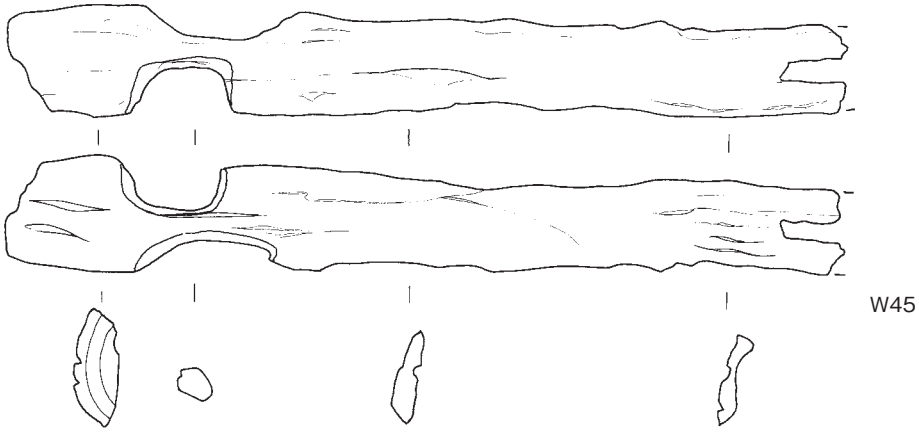
第 59 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図（21）

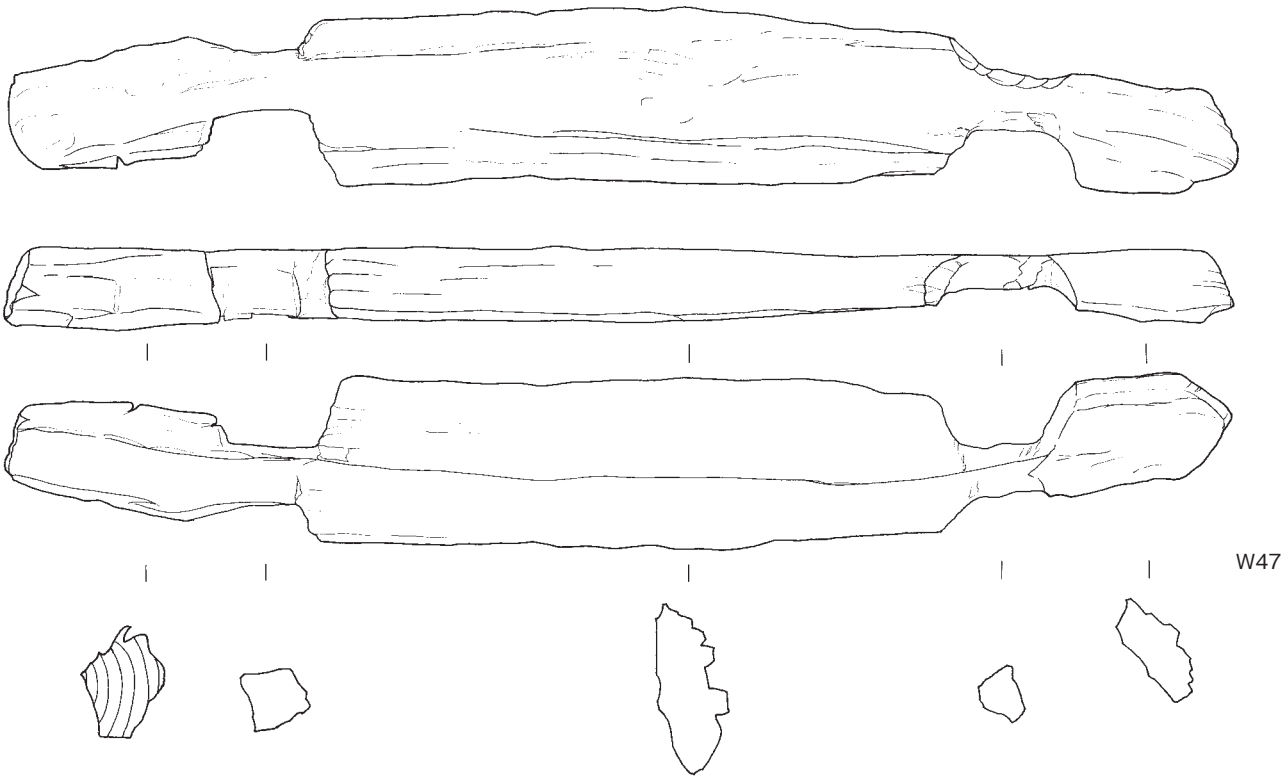


第 60 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図（22）



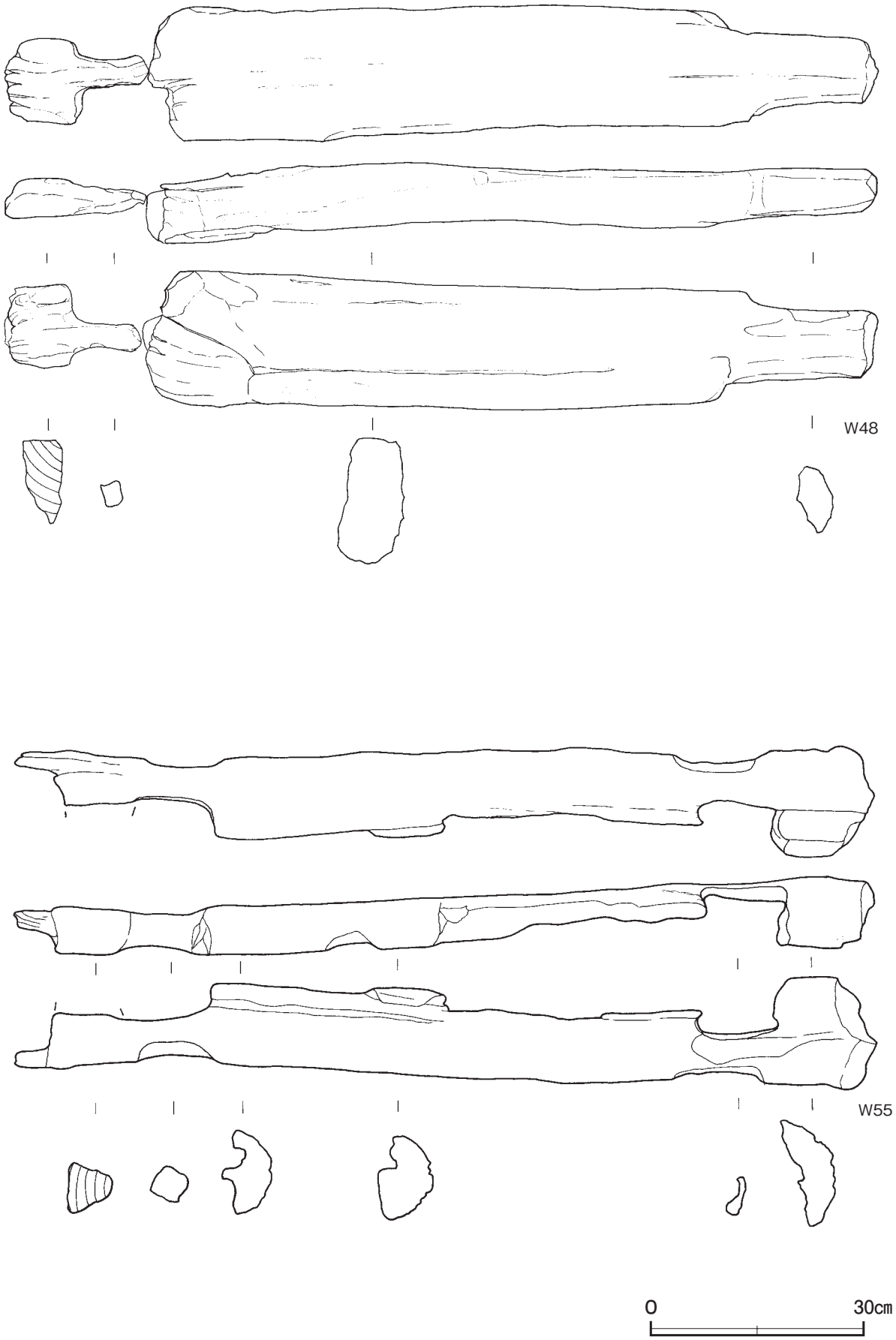
第 61 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図（23）



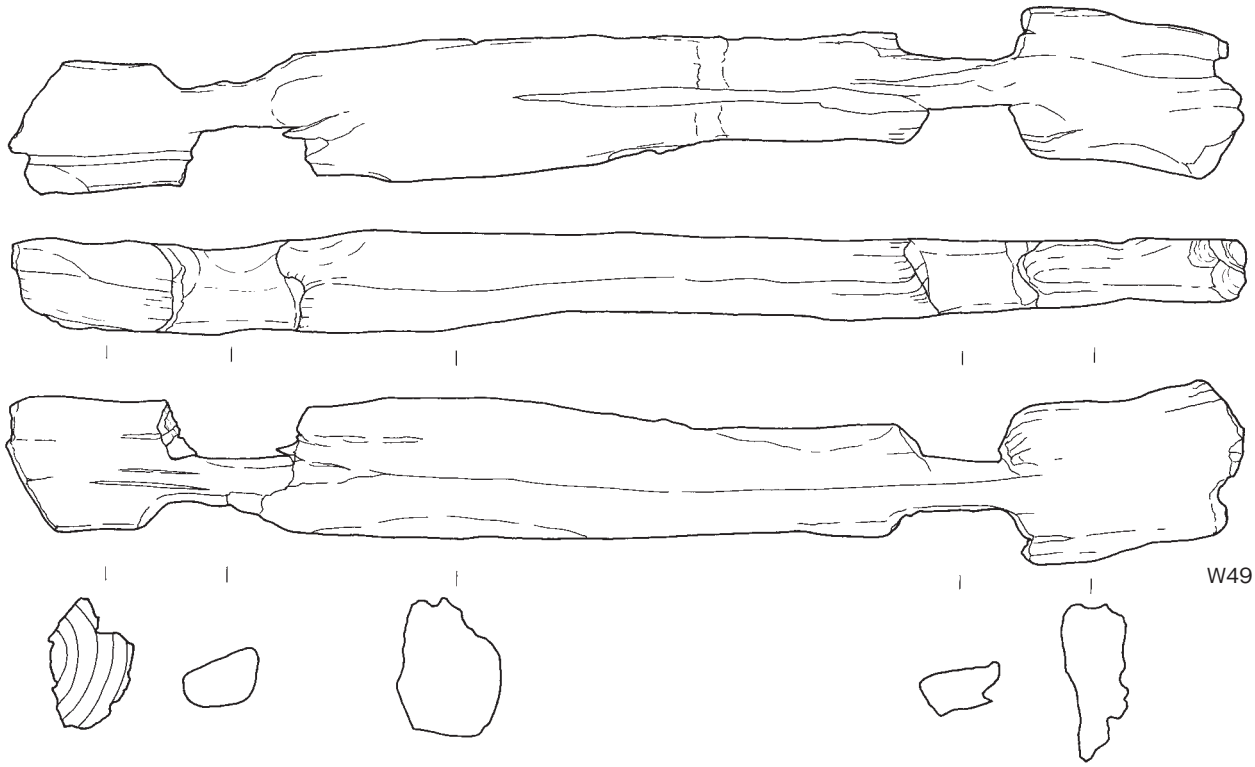


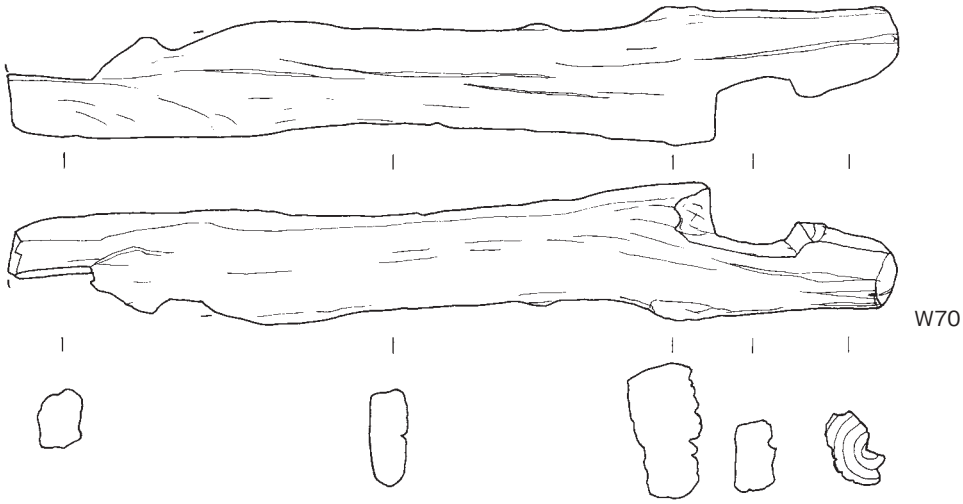
0　30cm

第 62 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図（24）



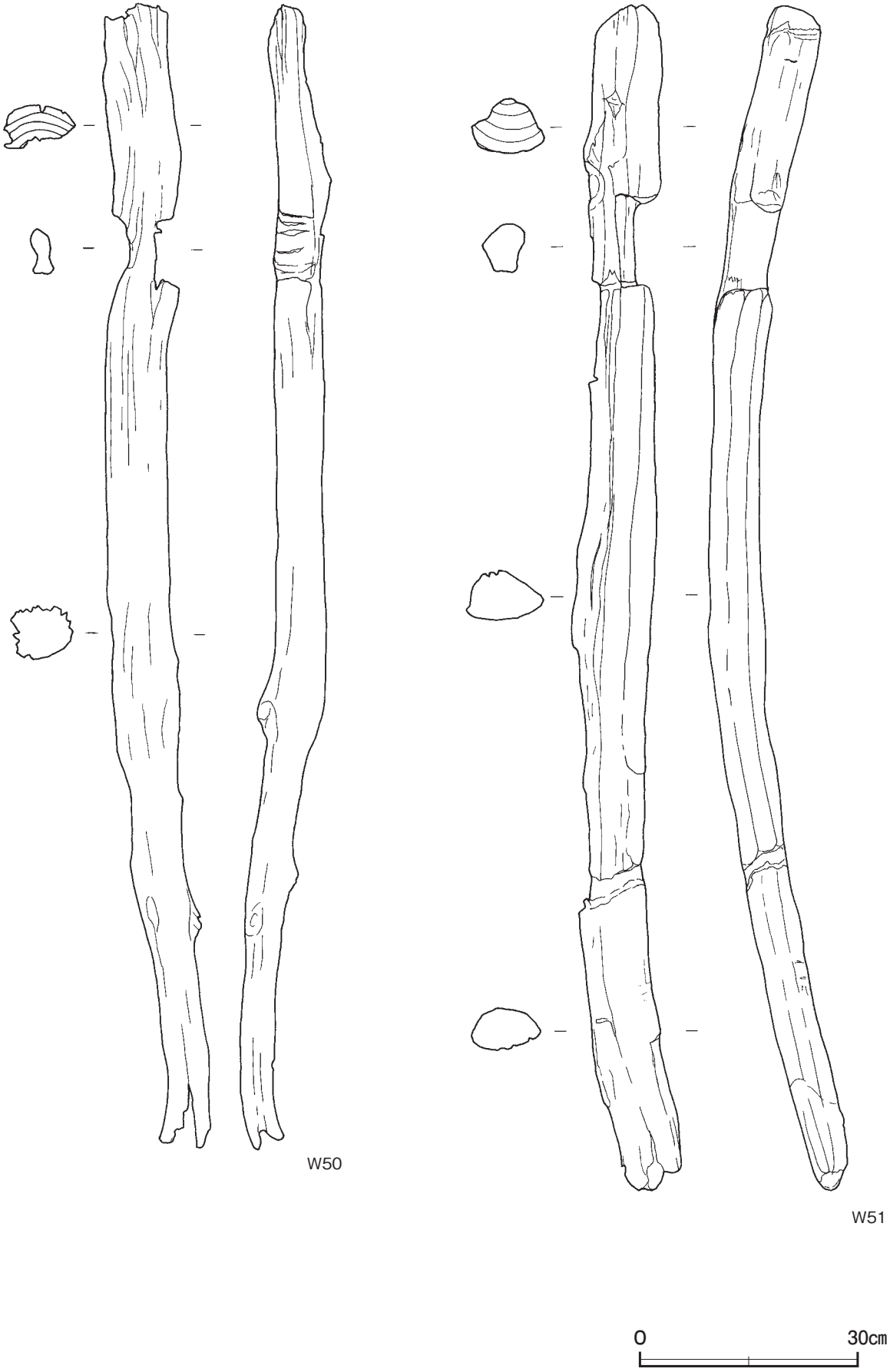
第 63 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図（25）



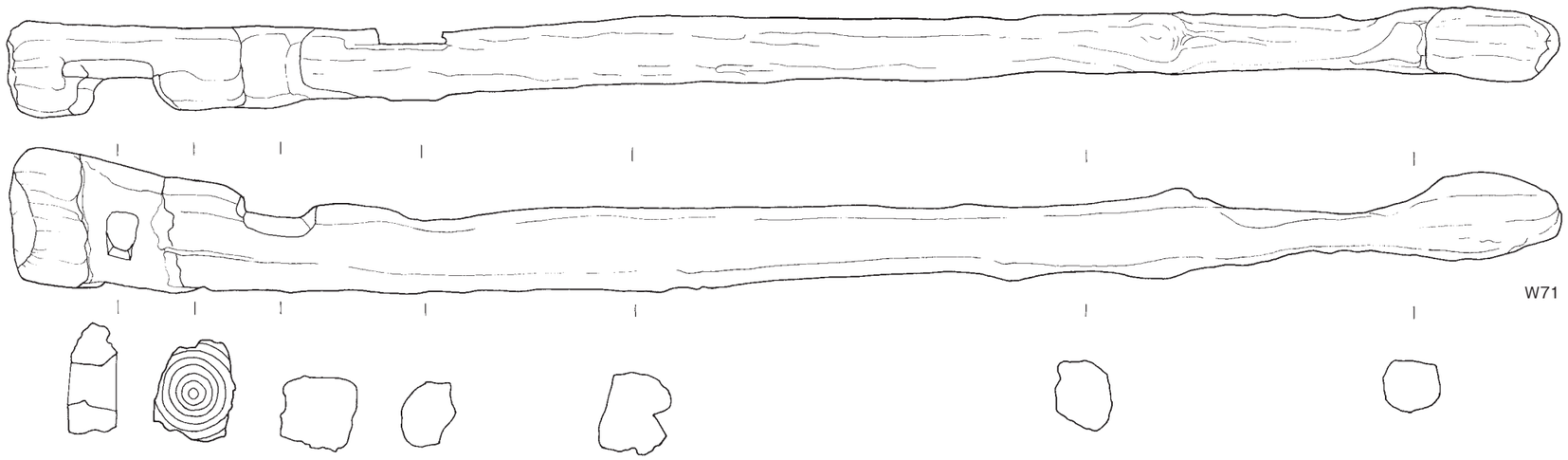


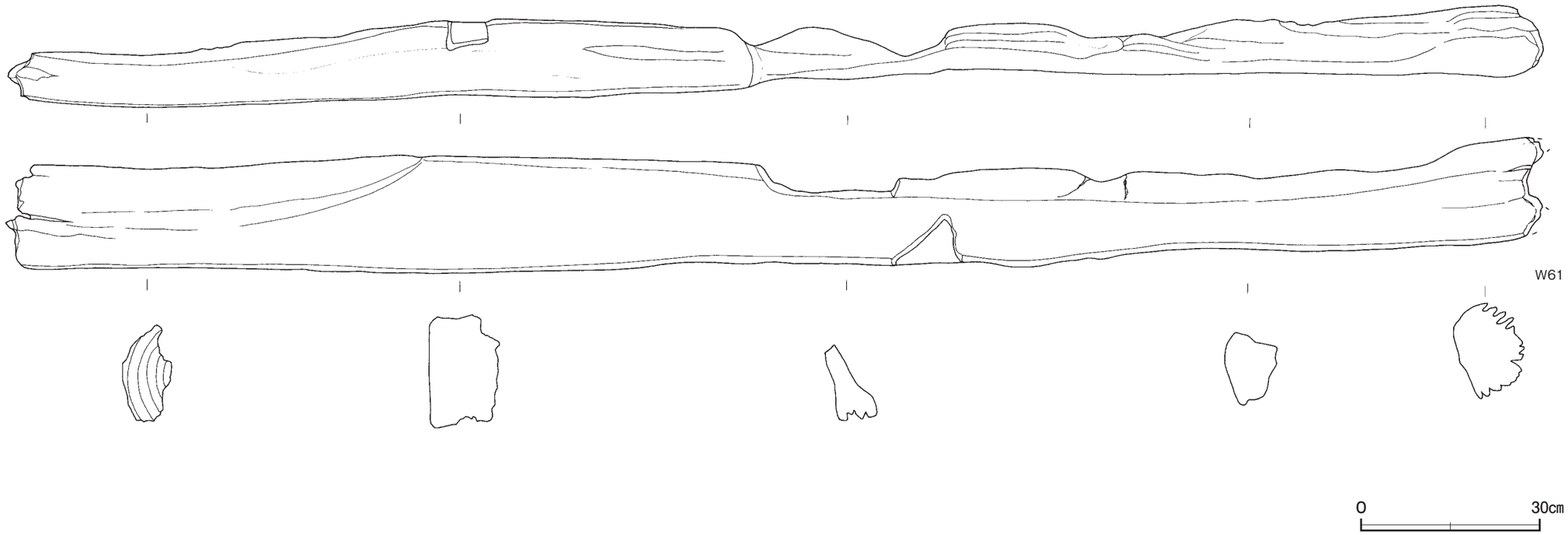
0　30cm

第 64 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図（26）

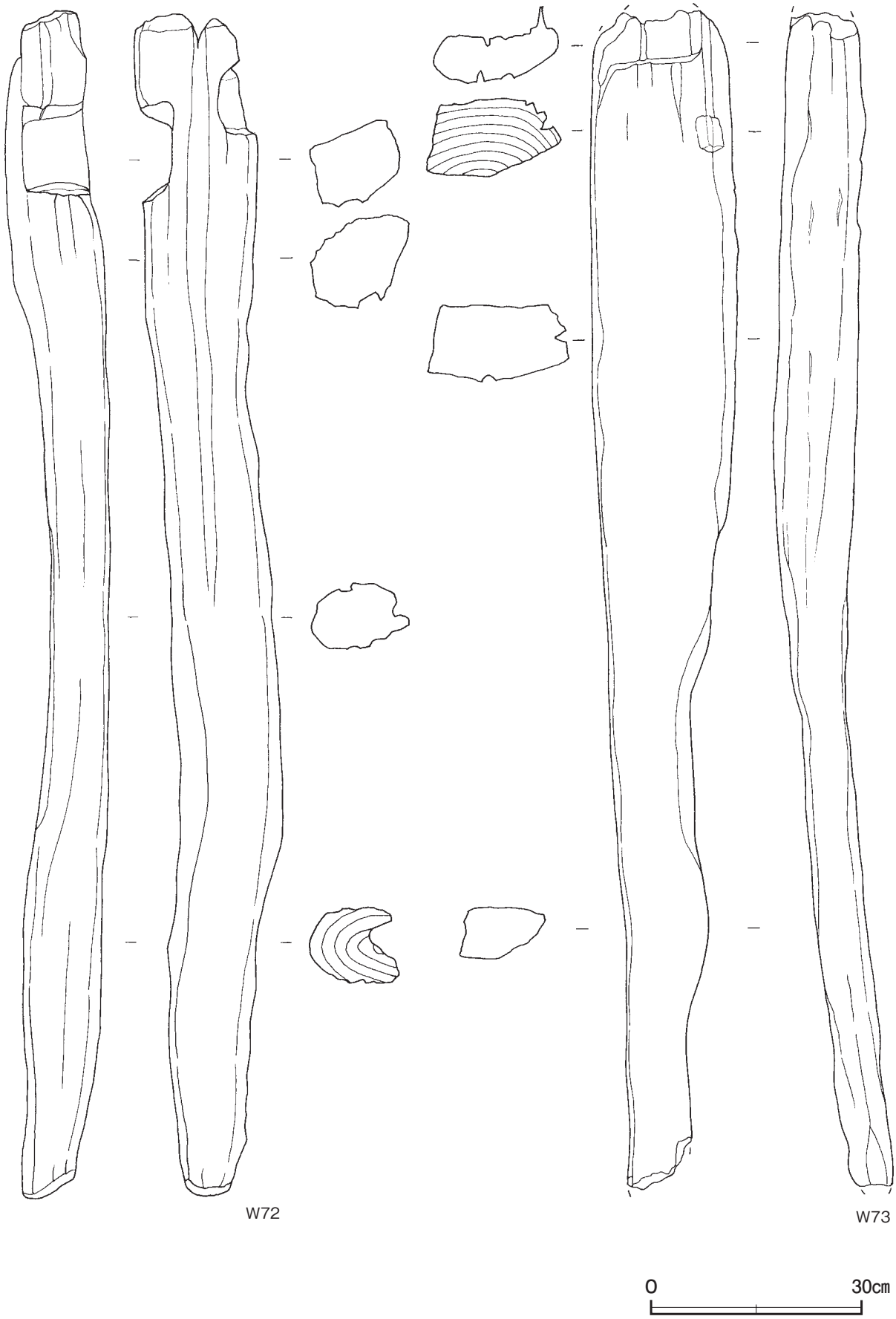


第 65 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図（27）

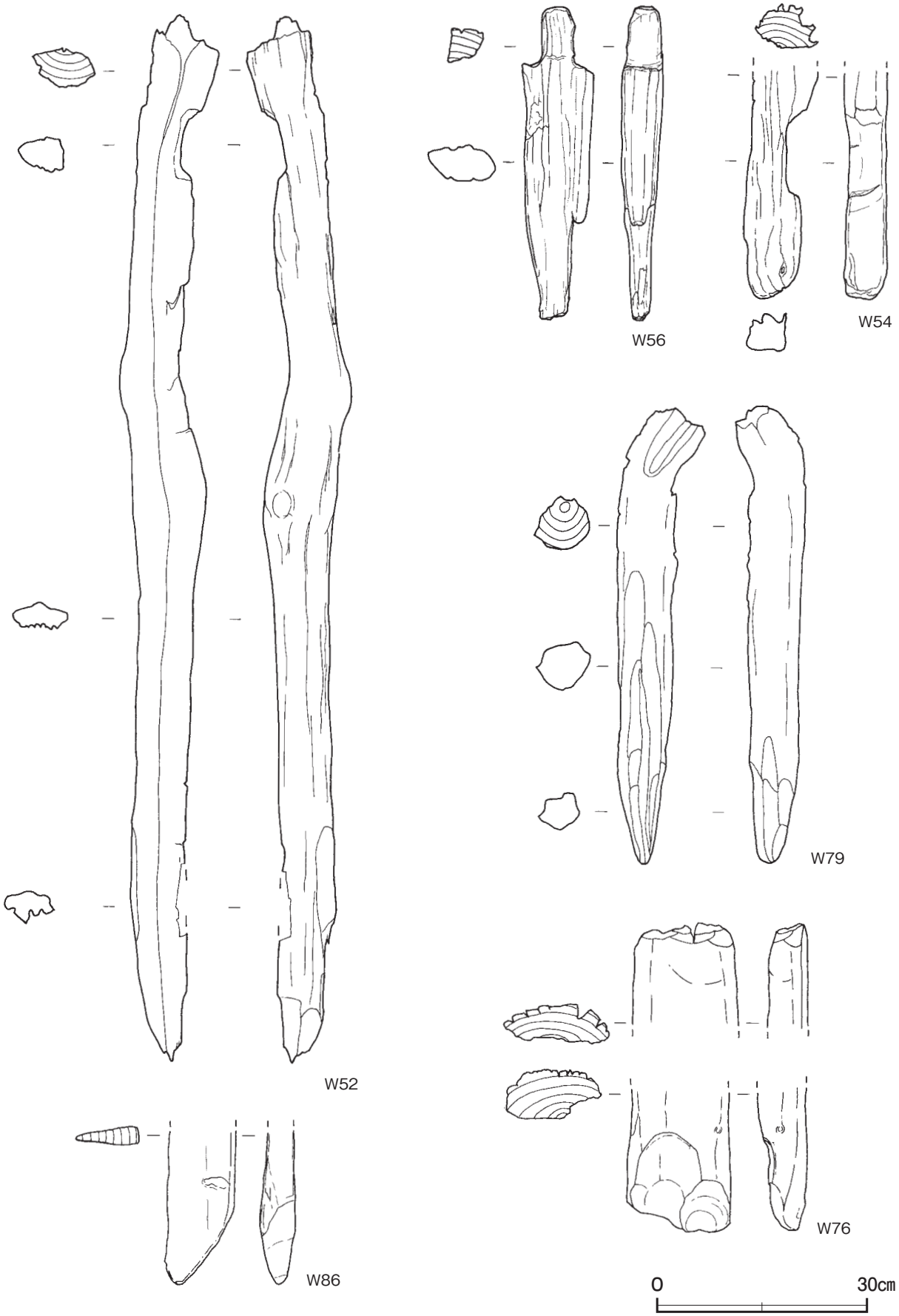




第66図　第204号井戸跡出土遺物実測図（28）



第 67 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図（29）



第 68 図　第 204 号井戸跡出土遺物実測図（30）

第 204 号井戸跡出土遺物観察表（第 39 ～ 68 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
63	灰釉陶器	段皿	13.8	2.8	7.0	長石	灰	良好	体部内面刷毛塗りにより施釉　底部回転ヘラ削り後，ナデ　墨書「川／川」 黒笹 14 号窯式	井戸部下層	100%　PL23・52 東濃産ヵ
64	須恵器	坏	13.8	4.3	6.7	長石・石英・雲母	黒褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，ヘラナデ　墨書「土」	井戸部下層	100% PL23・63
65	土師器	坏	14.1	5.1	6.7	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「千・千」	井戸部下層	90% PL23・63
66	土師器	高台付椀	14.7	6.9	7.5	長石・石英・雲母	橙	普通	体部内面ヘラ磨き　底部回転ヘラ削り　墨書「土」	井戸部下層	95% PL23・63
67	土師器	坏	12.3	4.3	6.2	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「千・千」	井戸部下層	100% PL23・63
68	土師器	坏	12.7	4.3	6.2	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「千」	井戸部下層	100% PL23・63
69	須恵器	高台付坏	14.8	5.5	6.7	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「土」	井戸部下層	100% PL23・63
70	須恵器	坏	14.0	3.9	7.4	長石・石英・赤色粒子	褐灰	普通	体部回転ロクロナデ　底部回転ヘラ切り痕を残し，ヘラナデ	井戸部中層	100%　PL22
71	須恵器	坏	13.2	4.2	6.4	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り	井戸部中層	100%　PL22
72	須恵器	坏	[13.8]	3.6	8.4	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「巳」	井戸部覆土中	40%　PL45
73	須恵器	坏	－	(2.2)	[8.2]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	井戸部覆土中	10%　PL65
74	須恵器	坏	－	(1.2)	6.8	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「巳」	井戸部覆土中	40%　PL45
75	須恵器	坏	－	(3.7)	[7.8]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□□」	井戸部覆土中	30%　PL65
76	須恵器	坏	[13.0]	4.4	6.4	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残しヘラナデ　墨書「川」	井戸部覆土中	50%　PL52
77	須恵器	坏	－	(2.2)	6.4	長石・石英・赤色粒子	灰褐	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	井戸部覆土中	30%　PL52
78	須恵器	坏	[13.4]	(3.8)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「大」	井戸部覆土中	20%　PL65
79	須恵器	坏	15.6	5.0	6.9	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「井」	井戸部下層	80% PL23・63
80	土師器	坏	12.8	3.8	5.9	長石・石英	灰褐	普通	体部下半手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り	井戸部上層	70%　PL24
81	土師器	坏	[13.3]	4.0	6.3	長石・雲母	にぶい黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部回転ヘラ削り	井戸部下層	60%
82	土師器	坏	[13.4]	3.7	5.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「成／成」	井戸部覆土中	50%　PL65
83	須恵器	高台付坏	－	(3.0)	7.4	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転糸切りを残し高台貼付　墨書「止」	井戸部覆土中	40%　PL65
84	須恵器	高台付坏	－	(1.6)	[7.4]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「新殿」	井戸部覆土中	5 %　PL57
85	須恵器	高台付坏	－	(2.9)	－	長石・石英	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「十ヵ」	井戸部覆土中	30%　PL63
86	須恵器	高台付坏	13.8	5.9	8.9	長石・石英	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り	井戸部覆土中	70%　PL25
87	黒色土器	壺	－	(4.2)	5.7	長石・石英	褐灰	普通	体部外・内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り	井戸部下層	80%　PL25
88	須恵器	甕	[21.8]	35.0	15.6	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部縦位の平行叩き　内面無文当て具痕　底部ナデ	井戸部下層	70%　PL23
89	須恵器	坏	13.4	4.2	8.1	長石・石英	青灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　油煙付着	掘方埋土	80%　PL24
90	須恵器	坏	13.9	4.4	8.4	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り	掘方埋土	60%
91	須恵器	坏	13.2	4.2	6.0	長石・石英・雲母	灰	良好	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し一方向の手持ちヘラ削り	掘方埋土	80%　PL24
92	須恵器	坏	13.4	4.8	6.6	長石・石英・雲母	橙	不良	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り	平坦部北部構築土	70%　PL24
93	須恵器	坏	13.2	4.2	6.0	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り	平坦部南部構築土	60%
94	須恵器	坏	13.2	3.8	5.3	長石・石英・雲母	灰白	不良	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り	平坦部北部構築土	80%　PL24
95	須恵器	坏	13.2	3.6	5.4	長石・石英・雲母	褐灰	不良	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り	平坦部南部構築土	55%
96	須恵器	高台付坏	12.9	5.4	8.0	長石・石英・雲母	黄灰	良好	底部回転ヘラ削り	掘方埋土	90%　PL25
97	須恵器	高台付坏	[15.0]	6.6	[8.3]	長石	灰褐	良好	底部回転ヘラ削り	掘方埋土	30%　PL25 猿投産
98	土師器	高台付椀	12.1	4.8	7.1	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　内面ヘラ磨き	井戸部下層	100%　PL25
99	土師器	高台付椀	14.1	5.2	9.5	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	底部回転ヘラ削り	掘方埋土	60%　PL25
100	土師器	高台付椀	[15.1]	5.1	8.5	長石・石英	灰黄	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，不定方向の手持ちヘラ削り	掘方埋土	60%
101	須恵器	蓋	14.4	3.5	－	長石・石英	褐灰	普通	天井部回転ヘラ削り	井戸部覆土中	80%
102	須恵器	蓋	－	(3.1)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	天井部回転ヘラ削り	平坦部南部構築土	40%
103	土師器	蓋	[19.2]	(2.4)	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	天井部回転ヘラ削り　内面ヘラ磨き	平坦部南部構築土	20%
104	須恵器	高台付皿	12.9	2.4	6.4	長石・石英・雲母	灰	普通	底部回転ヘラ削り	掘方埋土	100%　PL25
105	土師器	高台付皿	13.4	2.9	7.2	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り	平坦部南部構築土	70%　PL25
106	灰釉陶器	長頸瓶	[9.0]	(3.1)	－	長石・石英・黒色粒子	灰黄褐	良好	ロクロナデ　井ヶ谷 78 号窯式	平坦部北部構築土	5%　猿投産
107	須恵器	長頸瓶	－	(7.1)	－	長石	灰	普通	外面鉄分を多く含んだ自然釉	平坦部南部構築土	10%　東海産
108	須恵器	鉢	[28.1]	(12.2)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部横位の平行叩き　下位手持ちヘラ削り　内面ヘラナデ	井戸部覆土中	20%

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
109	須恵器	鉢	[39.2]	(18.0)	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	良好	体部縦位の平行叩き　内面無文当て具痕	井戸部覆土中	10%
110	須恵器	甕	[20.2]	(11.5)	－	長石・石英・雲母	暗灰	普通	体部横位の平行叩き　内面ヘラナデ	掘方埋土	5%
111	須恵器	甕	[25.5]	(18.2)	－	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	体部縦位の平行叩き　内面ヘラナデ	平坦部北部構築土	10%
112	須恵器	坏	－	(0.6)	[8.0]	雲母	黄灰	良好	底部回転ヘラ削り　墨書「臣・嶋名」	掘方埋土	20%　PL44
113	須恵器	坏	－	(1.9)	[7.2]	雲母・黒色粒子	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣ヵ・名ヵ」	平坦部南部構築土	20%　PL44
114	須恵器	坏	－	(1.9)	[7.8]	長石・石英	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「嶋」	掘方埋土	5％　PL44
115	須恵器	坏	－	(0.8)	[8.0]	長石・石英	褐灰	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「嶋」	覆土中	5％　PL44
116	須恵器	坏	－	(2.4)	[7.6]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「嶋ヵ」	覆土中	10%　PL44
117	須恵器	坏	[14.1]	4.0	8.3	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り後，周縁部手持ちヘラ削り　墨書「臣」	掘方埋土	25%　PL45
118	須恵器	坏	－	(1.7)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	5％　PL45
119	須恵器	坏	－	(2.9)	[7.3]	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣／墨痕」	平坦部南部構築土	25%　PL45
120	須恵器	坏	[13.4]	3.9	[8.8]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	20%　PL45
121	須恵器	坏	－	(1.7)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	掘方埋土	5％　PL45
122	須恵器	坏	－	(1.5)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	覆土中	5％　PL45
123	須恵器	坏	－	(1.2)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	覆土中	5％　PL45
124	須恵器	坏	[12.3]	3.6	[6.5]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	40%　PL45
125	須恵器	坏	[13.6]	4.5	7.4	長石・石英・雲母・白色針状物質	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」　油煙付着	平坦部南部構築土	40%　PL45
126	須恵器	坏	[12.9]	4.0	6.7	長石・石英・雲母・黒色粒子	灰	良好	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	掘方埋土	35%　PL45
127	須恵器	坏	－	(3.9)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「臣」	掘方埋土	5％　PL45
128	須恵器	坏	－	(4.1)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	5％　PL45
129	須恵器	坏	－	(3.6)	7.3	長石・石英・雲母・黒色粒子	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部北部構築土	50%　PL45
130	須恵器	坏	－	(3.4)	6.8	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部北部構築土	50%　PL45
131	須恵器	坏	－	(2.4)	[7.0]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	20%　PL45
132	須恵器	坏	－	(3.6)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	覆土中	10%　PL45
133	須恵器	坏	－	(2.6)	[6.0]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部北部構築土	20%　PL45
134	須恵器	坏	－	(2.7)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	掘方埋土	10%　PL45
135	須恵器	坏	－	(2.1)	－	長石・石英・雲母	灰	良好	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	掘方埋土	5％　PL46
136	須恵器	坏	－	(1.9)	－	長石・石英	灰白	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	10%　PL46
137	須恵器	坏	－	(1.3)	－	長石・石英・雲母・黒色粒子	灰白	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	10%　PL46
138	須恵器	坏	－	(1.4)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	10%　PL46
139	須恵器	坏	[13.0]	3.5	6.2	長石・石英・雲母	灰褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣／中家／臣」	掘方埋土	40%　PL46
140	須恵器	坏	12.5	4.4	6.5	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣／臣」	掘方埋土	60%　PL46
141	須恵器	坏	[11.8]	3.7	5.2	長石・石英・雲母・黒色粒子	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	35%　PL46
142	須恵器	坏	－	(4.6)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	10%　PL46
143	須恵器	坏	－	(3.0)	－	長石・石英・雲母・黒色粒子	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	20%　PL46
144	須恵器	坏	－	(1.4)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	覆土中	10%　PL46
145	須恵器	坏	－	(1.5)	5.2	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	10%　PL46
146	須恵器	坏	－	(2.0)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	覆土中	10%　PL46
147	須恵器	坏	－	(0.9)	－	長石・石英・雲母・黒色粒子	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	5％　PL46
148	須恵器	坏	－	(3.3)	－	長石・石英	灰	普通	ロクロナデ　墨書「臣」	平坦部南部構築土	10%　PL46
149	須恵器	坏	－	(2.2)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	ロクロナデ　墨書「臣」	平坦部南部構築土	5％　PL46
150	須恵器	坏	－	(1.3)	－	長石・石英	灰黄	普通	ロクロナデ　墨書「臣」	覆土中	5％　PL46
151	須恵器	坏	－	(1.0)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	20%　PL46
152	須恵器	坏	－	(0.5)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ切り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	15%　PL46
153	須恵器	坏	－	(0.4)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	掘方埋土	5％　PL46
154	須恵器	坏	－	(0.7)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	5％　PL46
155	須恵器	坏	－	(1.5)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	5％　PL46

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
156	土師器	坏	－	(3.4)	－	長石・石英・雲母・白色針状物質	にぶい黄橙	普通	内面ヘラ磨き　墨書「臣」	平坦部南部構築土	5％　PL46
157	土師器	坏	－	(2.6)	－	長石・石英・雲母・白色針状物質・赤色粒子	橙	普通	内面ヘラ磨き　底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	10％　PL47
158	須恵器	高台付坏	－	(4.5)	6.6	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	覆土中	30％　PL47
159	須恵器	高台付坏	－	(2.7)	[6.8]	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	25％　PL47
160	須恵器	高台付坏	－	(3.3)	7.4	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	30％　PL47
161	須恵器	高台付坏	－	(2.3)	[7.8]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	20％　PL47
162	須恵器	高台付坏	－	(4.5)	[8.4]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	平坦部北部構築土	40％　PL47
163	須恵器	蓋	－	(1.7)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	ロクロナデ　墨書「臣」	平坦部南部構築土	5％　PL47
164	須恵器	盤	[18.8]	3.7	9.3	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	掘方埋土	30％　PL47
165	須恵器	盤	[17.3]	3.9	9.2	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	掘方埋土	50％　PL47
166	須恵器	盤	14.0	(2.2)	－	長石・石英	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	平坦部南部構築土	60％　PL47
167	須恵器	坏	12.8	4.6	7.2	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」　油煙付着	掘方埋土	100％ PL24・52
168	須恵器	坏	－	(3.0)	6.6	長石・石英	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	45％　PL52
169	須恵器	坏	13.2	4.4	[7.2]	長石・石英・雲母	灰	良好	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	80％ PL24・52
170	須恵器	坏	12.7	4.2	6.2	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	掘方埋土	80％ PL24・52
171	須恵器	坏	[12.7]	4.0	6.3	長石・雲母	黄灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部北部構築土	50％　PL52
172	須恵器	坏	－	(2.9)	6.2	長石・石英・雲母	灰	良好	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	40％　PL52
173	須恵器	坏	－	(2.9)	5.9	長石・石英	灰	良好	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	30％　PL52
174	須恵器	坏	－	(2.8)	5.2	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	30％　PL52
175	須恵器	坏	－	(1.5)	6.3	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	30％　PL52
176	須恵器	坏	－	(1.7)	6.0	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	20％　PL52
177	須恵器	坏	－	(2.3)	[8.0]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	掘方埋土	30％　PL52
178	須恵器	坏	－	(1.4)	[7.8]	長石・石英・雲母	灰黄褐	不良	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	掘方埋土	20％　PL52
179	須恵器	坏	－	(1.2)	6.2	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	掘方埋土	20％　PL52
180	須恵器	坏	[13.4]	4.9	5.8	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川／四」	平坦部北部構築土	60％　PL52
181	須恵器	坏	[13.1]	4.8	6.2	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川／川」	掘方埋土	50％　PL52
182	須恵器	坏	[14.6]	3.6	[7.6]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川／川」	平坦部南部構築土	40％　PL52
183	須恵器	坏	13.4	4.0	5.8	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部北部構築土	60％　PL52
184	須恵器	坏	[13.2]	4.0	6.0	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	30％　PL52
185	須恵器	坏	[13.2]	4.5	6.0	長石・石英・雲母	灰褐	不良	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川／川」	平坦部南部構築土	25％　PL53
186	須恵器	坏	[13.4]	4.2	5.8	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	40％　PL53
187	須恵器	坏	－	3.9	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「川」	覆土中	10％　PL53
188	須恵器	坏	－	4.4	－	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「川」	掘方埋土	5％　PL53
189	須恵器	坏	－	(4.6)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	10％　PL53
190	須恵器	坏	－	4.0	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「川」	掘方埋土	20％　PL53
191	須恵器	坏	－	(2.7)	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰黄褐	不良	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	5％　PL53
192	須恵器	坏	－	(4.0)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「川人」	平坦部南部構築土	5％　PL53
193	須恵器	坏	－	(4.5)	－	長石・石英・雲母	褐灰	不良	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	5％　PL53
194	須恵器	坏	－	(3.7)	－	長石・石英・雲母	灰	良好	ロクロナデ　墨書「川」	平坦部南部構築土	5％　PL53
195	須恵器	坏	－	(3.9)	－	長石・石英・雲母	黄灰	良好	ロクロナデ　墨書「川」	平坦部南部構築土	5％　PL53
196	須恵器	坏	－	(4.4)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	5％　PL53
197	須恵器	坏	－	(2.4)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	5％　PL53
198	須恵器	坏	－	(2.6)	－	長石・石英	灰	良好	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「川／川ヵ」	平坦部南部構築土	5％　PL53
199	須恵器	坏	－	(2.6)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「川」	掘方埋土	5％　PL53
200	須恵器	坏	－	(1.5)	－	長石・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	掘方埋土	5％　PL53
201	須恵器	坏	－	(1.0)	6.0	長石・石英・雲母・黒色粒子	灰	良好	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	掘方埋土	20％　PL53
202	須恵器	坏	－	(0.8)	－	長石・石英・雲母	灰	良好	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	20％　PL53

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
203	須恵器	坏	－	(1.1)	－	長石・石英	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	10%　PL53
204	須恵器	坏	－	(1.4)	－	長石・石英	灰	良好	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	5％　PL53
205	須恵器	坏	－	(0.9)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	掘方埋土	5％　PL53
206	須恵器	坏	－	(1.1)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	5％　PL53
207	須恵器	坏	－	(1.6)	－	長石・石英	灰	良好	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，二方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	覆土中	5％　PL53
208	須恵器	坏	－	(0.6)	－	長石・石英・雲母	灰白	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	5％　PL54
209	須恵器	坏	－	(0.6)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	5％　PL54
210	土師器	坏	－	(1.4)	6.1	長石・雲母	にぶい橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	20%　PL54
211	須恵器	高台付坏	－	(2.2)	7.6	長石・石英	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「川」	掘方埋土	10%　PL54
212	須恵器	高台付坏	－	(1.1)	－	長石・石英・雲母	灰白	良好	底部回転ヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	25%　PL54
213	須恵器	高台付坏	12.8	5.8	8.1	長石・石英	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「川」	掘方埋土	70%　PL25・54
214	須恵器	高台付坏	[13.4]	(4.3)	－	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	70%　PL54
215	須恵器	高台付坏	－	(2.4)	7.0	長石・石英	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「川」	平坦部北部構築土	20%　PL54
216	土師器	高台付椀	－	(1.4)	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部内面ヘラ磨き　底部回転ヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	5％　PL54
217	須恵器	蓋	－	(2.5)	－	長石・石英	灰	普通	天井部回転ヘラ削り　墨書「川」	平坦部北部構築土	20%　PL54
218	須恵器	高台付皿	[13.6]	3.0	7.1	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「川」	平坦部南部構築土	60%　PL54
219	須恵器	坏	[13.2]	5.3	[6.6]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「ナ／ナ」	掘方埋土	35%　PL58
220	須恵器	坏	－	(3.4)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「ナ」	平坦部南部構築土	20%　PL58
221	須恵器	坏	－	(4.4)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「ナ」	井戸部覆土中	20%　PL58
222	土師器	坏	－	(3.7)	－	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　墨書「ナ」	平坦部南部構築土	5％　PL58
223	須恵器	高台付坏	－	(3.8)	8.1	長石・石英	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「ナ」	平坦部北部構築土	40%　PL59
224	須恵器	高台付坏	[14.6]	5.0	7.6	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「ナ」	平坦部南部構築土	60%　PL25・59
225	土師器	高台付椀	－	(1.7)	6.0	長石・石英・雲母	淡橙	普通	体部内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「ナ」	平坦部南部構築土	10%　PL59
226	須恵器	蓋	[17.2]	(3.5)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	天井部回転ヘラ削り　墨書「ナ」	平坦部南部構築土	20%　PL59
227	須恵器	坏	13.1	3.9	6.9	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「宅」	掘方埋土	80%　PL24・59
228	須恵器	坏	－	(1.0)	7.4	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ削り　墨書「宅」	平坦部南部構築土	10%　PL59
229	須恵器	坏	－	(1.2)	－	長石・石英	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「宅」	平坦部南部構築土	5％　PL59
230	須恵器	坏	－	(2.1)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「宅」	平坦部南部構築土	5％　PL59
231	須恵器	高台付坏	－	(3.0)	[10.3]	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「宅」	平坦部南部構築土	20%　PL59
232	須恵器	坏	[13.1]	4.7	6.2	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰黄褐	良好	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，二方向の手持ちヘラ削り　墨書「南」	掘方埋土	50%　PL62
233	須恵器	坏	－	(2.2)	5.9	長石・石英・雲母・黒色粒子	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「南」	平坦部南部構築土	25%　PL62
234	須恵器	坏	－	(1.1)	[6.6]	長石・石英	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「南／南」	覆土中	10%　PL62
235	須恵器	坏	－	(4.4)	－	長石・石英	灰	普通	ロクロナデ　墨書「南」	覆土中	5％　PL62
236	須恵器	坏	－	(0.7)	－	長石・石英	灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「南」	覆土中	5％　PL62
237	須恵器	坏	[14.2]	4.0	8.8	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り後，周縁部手持ちヘラ削り　墨書「山人」	平坦部南部構築土	60%　PL60
238	須恵器	坏	[13.7]	4.0	5.8	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「山山」	平坦部北部構築土	30%　PL60
239	須恵器	坏	－	(4.0)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□山」	平坦部南部構築土	10%　PL60
240	須恵器	坏	－	(2.9)	[6.4]	長石・石英	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「山／山」	平坦部南部構築土	20%　PL60
241	須恵器	坏	－	(1.8)	6.7	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「田前」　漆付着	掘方埋土	40%　PL56
242	須恵器	坏	－	4.2	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「田」	平坦部南部構築土	30%　PL56
243	須恵器	坏	－	(2.9)	[7.0]	長石・石英・雲母	暗灰黄	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□田／[illegible]ヵ」	平坦部南部構築土	30%　PL56
244	須恵器	坏	－	(0.5)	－	長石	黄灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「殿」	平坦部南部構築土	5％　PL57
245	土師器	坏	－	4.4	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　墨書「前□」	平坦部南部構築土	20%　PL57
246	須恵器	坏	－	(2.7)	[7.2]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部回転ヘラ削り　朱墨／墨書「十／井上・□」	平坦部南部構築土	10%　PL63
247	須恵器	高台付坏	－	(1.7)	6.7	長石・石英	灰白	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「井上」	平坦部南部構築土	40%　PL63
248	須恵器	坏	[12.8]	4.4	6.8	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「智／福」	平坦部北部構築土	40%　PL64
249	須恵器	坏	[12.8]	(3.7)	－	長石・石英	灰褐	普通	ロクロナデ　墨書「智」	覆土中	20%　PL64

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
250	須恵器	坏	[12.8]	4.2	7.5	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「麻生」	平坦部南部構築土	40%　PL61
251	須恵器	坏	－	(0.5)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□家」	覆土中	5％　PL62
252	須恵器	坏	[13.5]	4.6	6.5	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「栄」	平坦部南部構築土	25%　PL64
253	須恵器	坏	－	(3.7)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「栄」	掘方埋土	10%　PL64
254	須恵器	坏	－	(3.5)	5.7	長石・石英・雲母	黄橙	不良	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「子鼻門」	平坦部南部構築土	40%　PL63
255	土師器	坏	[13.6]	(4.4)	[7.0]	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　墨書「子佐古」	平坦部北部構築土	20%　PL63
256	須恵器	高台付坏	－	4.6	－	長石・石英	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□栗」	掘方埋土	20%　PL64
257	須恵器	坏	－	(0.7)	－	長石・石英	灰	普通	底部回転ヘラ切り　墨書「野ヵ邊」	平坦部南部構築土	10%　PL65
258	須恵器	坏	－	3.6	－	長石・石英・雲母	褐灰	良好	体部下端回転ヘラ削り　墨書「秋ヵ□」	掘方埋土	10%　PL65
259	須恵器	坏	－	(0.6)	－	長石・石英	黄灰	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「長□」	平坦部南部構築土	5％　PL64
260	須恵器	高台付坏	13.6	5.3	8.0	長石・石英	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り　墨書「槻」	掘方埋土	80%　PL25・64
261	須恵器	坏	－	(1.2)	－	長石・石英	褐灰	普通	底部回転糸切り　墨書「城□（内ヵ）」	平坦部南部構築土	5％　PL62
262	須恵器	坏	－	(4.2)	－	長石・石英	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「香」	掘方埋土	10%　PL65
263	土師器	坏	[14.0]	4.4	[7.0]	長石・石英	にぶい黄橙	良好	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「全」	平坦部南部構築土	50%　PL25・62
264	須恵器	坏	[12.6]	4.4	5.6	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「西」	平坦部南部構築土	30%　PL64
265	須恵器	坏	[14.2]	5.3	7.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「夫」	平坦部北部構築土	45%　PL64
266	須恵器	坏	－	(2.5)	－	長石・石英	灰白	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「十」	平坦部南部構築土	20%　PL63
267	土師器	坏	[13.0]	4.5	[6.0]	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「ノ」	平坦部南部構築土	20%　PL65
268	須恵器	坏	13.2	3.9	7.8	長石・石英	褐灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部一方向の手持ちヘラ削り　朱墨「十」	掘方埋土	70%　PL63
269	須恵器	坏	－	(2.4)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　朱墨「十ヵ」	覆土中	20%　PL63
270	須恵器	坏	[12.4]	4.8	[6.6]	長石・雲母	灰白	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部北部構築土	25%　PL65
271	須恵器	坏	[13.6]	4.5	6.6	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（川ヵ）」　油煙付着	平坦部北部構築土	60%　PL24・65
272	須恵器	坏	[12.4]	4.0	[5.6]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	30%　PL65
273	須恵器	坏	[13.4]	4.5	[7.0]	長石・石英	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り　墨書「□」	平坦部南部構築土	30%　PL65
274	須恵器	坏	[13.0]	4.8	[5.8]	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	20%　PL66
275	須恵器	坏	[12.0]	4.1	[6.0]	長石・石英	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	30%　PL66
276	須恵器	坏	[12.6]	3.7	[7.2]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□□□（城内丕ヵ）」	平坦部南部構築土	45%　PL66
277	須恵器	坏	[12.2]	4.1	[6.6]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	30%　PL66
278	須恵器	坏	[13.8]	4.2	[6.8]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	20%　PL66
279	須恵器	坏	[12.8]	4.0	[7.3]	長石・石英	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	30%　PL66
280	須恵器	坏	[13.4]	3.7	[7.2]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	掘方埋土	30%　PL66
281	須恵器	坏	[13.0]	4.2	6.0	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	30%　PL66
282	須恵器	坏	[13.2]	4.1	[7.6]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	掘方埋土	40%　PL66
283	須恵器	坏	－	(1.7)	[8.0]	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	20%　PL66
284	須恵器	坏	－	(2.0)	[6.0]	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（田ヵ）」	平坦部南部構築土	20%　PL66
285	須恵器	坏	－	(1.6)	[7.0]	長石・石英・雲母・黒色粒子	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□□」	掘方埋土	20%　PL66
286	須恵器	坏	－	(2.6)	[6.0]	長石・石英・雲母	灰	良好	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	掘方埋土	40%　PL66
287	須恵器	坏	－	(2.6)	[7.0]	長石・石英・雲母	灰	良好	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	20%　PL66
288	須恵器	坏	－	(2.3)	[8.6]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「□」	覆土中	20%　PL66
289	須恵器	坏	－	(2.2)	[6.1]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	20%　PL66
290	須恵器	坏	－	(2.4)	[6.5]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	20%　PL66
291	須恵器	坏	－	(2.5)	[7.0]	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□／□」	覆土中	15%　PL66
292	須恵器	坏	－	(3.0)	[8.0]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（嶋ヵ）」	平坦部南部構築土	20%　PL66
293	須恵器	坏	－	(2.0)	[6.5]	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	10%　PL66
294	須恵器	坏	－	(2.5)	[6.8]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（中ヵ）」	掘方埋土	20%　PL66
295	須恵器	坏	－	(2.6)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	掘方埋土	10%　PL66
296	須恵器	坏	－	(1.5)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	ロクロナデ　墨書「□」	掘方埋土	5％　PL66

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
297	須恵器	坏	－	(3.2)	－	長石・雲母	黄灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	掘方埋土	20%　PL66
298	須恵器	坏	－	(4.0)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	覆土中	10%　PL67
299	須恵器	坏	－	(3.3)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	20%　PL67
300	須恵器	坏	－	(3.0)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	覆土中	5％　PL67
301	須恵器	坏	－	(3.7)	－	長石・石英・雲母	灰褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	5％　PL67
302	須恵器	坏	－	(3.6)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端回転ヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	10%　PL67
303	須恵器	坏	－	(2.5)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	5％　PL67
304	須恵器	坏	－	(2.9)	－	長石・石英	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	平坦部南部構築土	5％　PL67
305	須恵器	坏	－	(2.2)	－	長石・石英	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	平坦部南部構築土	5％　PL67
306	須恵器	坏	－	(3.1)	－	長石・石英	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	平坦部南部構築土	5％　PL67
307	須恵器	坏	－	(2.3)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	5％　PL67
308	須恵器	坏	－	(2.5)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	平坦部南部構築土	5％　PL67
309	須恵器	坏	－	(2.6)	－	長石・石英・雲母	灰褐	普通	ロクロナデ　墨書「□」	平坦部南部構築土	5％　PL67
310	須恵器	坏	－	(3.4)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端回転ヘラ削り　墨書「□□」	掘方埋土	15%　PL67
311	須恵器	坏	－	(3.1)	－	長石・石英・雲母	暗灰黄	普通	体部下端回転ヘラ削り　墨書「□」	掘方埋土	5％　PL67
312	須恵器	坏	－	(4.7)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□」	掘方埋土	30%　PL67
313	須恵器	坏	－	(4.7)	－	長石・石英	灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	覆土中	15%　PL67
314	須恵器	坏	－	(3.1)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	覆土中	5％　PL67
315	須恵器	坏	－	(2.2)	－	長石・石英	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	覆土中	5％　PL67
316	須恵器	坏	－	(3.2)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	平坦部南部構築土	10%　PL67
317	須恵器	坏	－	(2.4)	－	長石・石英	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	覆土中	5％　PL67
318	須恵器	坏	－	(2.1)	－	長石・石英	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	平坦部南部構築土	5％　PL67
319	須恵器	坏	－	(3.0)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□（川カ）」	掘方埋土	5％　PL67
320	須恵器	坏	－	(4.1)	－	長石・石英	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□（ナカ）」	掘方埋土	5％　PL67
321	須恵器	坏	－	(3.6)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	掘方埋土	5％　PL67
322	須恵器	坏	－	(3.1)	－	長石・石英・雲母	黒褐	普通	ロクロナデ　墨書「□」	覆土中	5％　PL67
323	須恵器	坏	－	(3.2)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	掘方埋土	5％　PL68
324	須恵器	坏	－	(4.0)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□（新カ）」	平坦部南部構築土	5％　PL68
325	須恵器	坏	－	(3.0)	－	長石・石英・赤色粒子	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	5％　PL68
326	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部手持ちヘラ削り　墨書「□」	掘方埋土	5％　PL68
327	須恵器	坏	－	(1.7)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	掘方埋土	5％　PL68
328	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（川カ）」	平坦部南部構築土	15%　PL68
329	須恵器	坏	－	(1.1)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	15%　PL68
330	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	灰	普通	底部不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	5％　PL68
331	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	灰	普通	底部不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	5％　PL68
332	須恵器	坏	－	(1.7)	－	長石・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（糸カ）」	平坦部南部構築土	15%　PL68
333	須恵器	坏	－	(0.8)	－	長石・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	5％　PL68
334	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英	灰白	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	掘方埋土	10%　PL68
335	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英	褐灰	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	15%　PL68
336	須恵器	坏	－	(2.2)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	井戸部覆土中	15%　PL68
337	須恵器	坏	－	(2.0)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	15%　PL68
338	須恵器	坏	－	(2.0)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	15%　PL68
339	須恵器	坏	－	(1.0)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	10%　PL68
340	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□（区カ）」	平坦部南部構築土	5％　PL68
341	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	5％　PL68
342	須恵器	坏	－	(0.8)	－	長石・石英	灰	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	5％　PL68
343	須恵器	坏	－	(2.5)	－	長石・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□／□」	平坦部南部構築土	20%　PL68

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
344	須恵器	坏	－	(1.5)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部回転ヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	15%　PL68
345	須恵器	坏	－	(2.4)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	5％　PL68
346	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	10%　PL68
347	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	暗灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（臣カ）」	平坦部南部構築土	5％　PL69
348	須恵器	坏	－	(0.9)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（臣カ）」	平坦部南部構築土	10%　PL69
349	須恵器	坏	－	(2.3)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	15%　PL69
350	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	10%　PL69
351	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「宅」	掘方埋土	20%　PL69
352	須恵器	坏	－	(2.1)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	掘方埋土	10%　PL69
353	須恵器	坏	－	(1.5)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	掘方埋土	20%　PL69
354	須恵器	坏	－	(1.7)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端ロクロナデ　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	掘方埋土	20%　PL69
355	須恵器	坏	－	(2.3)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部回転ヘラ削り　墨書「□」	覆土中	10%　PL69
356	須恵器	坏	－	(1.1)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	15%　PL69
357	須恵器	坏	－	(1.4)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	15%　PL69
358	須恵器	坏	－	(3.3)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	15%　PL69
359	須恵器	坏	－	(2.6)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	15%　PL69
360	須恵器	坏	－	(3.1)	－	長石・雲母	灰白	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	15%　PL69
361	須恵器	坏	－	(1.1)	－	長石・石英	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（宅カ）」	覆土中	15%　PL69
362	須恵器	坏	－	(1.1)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	15%　PL69
363	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	15%　PL69
364	須恵器	坏	－	(2.6)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	15%　PL69
365	須恵器	坏	－	(2.3)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	10%　PL69
366	須恵器	坏	－	(2.9)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	15%　PL69
367	須恵器	坏	－	(2.9)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	15%　PL69
368	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英	褐灰	普通	底部手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	5％　PL69
369	須恵器	坏	－	(1.4)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	10%　PL69
370	須恵器	坏	－	(1.2)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	10%　PL69
371	須恵器	坏	－	(1.7)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	10%　PL69
372	須恵器	坏	－	(2.0)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	15%　PL70
373	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	5％　PL70
374	須恵器	坏	－	(1.6)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	10%　PL70
375	須恵器	坏	－	(1.1)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	5％　PL70
376	須恵器	坏	－	(0.9)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	10%　PL70
377	須恵器	坏	－	(1.7)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（臣カ）」	平坦部南部構築土	10%　PL70
378	須恵器	坏	－	(3.1)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	10%　PL70
379	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（南カ）」	平坦部南部構築土	10%　PL70
380	須恵器	坏	－	(0.9)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	15%　PL70
381	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	5％　PL70
382	須恵器	坏	－	(2.8)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	掘方埋土	20%　PL70
383	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□」	掘方埋土	5％　PL70
384	須恵器	坏	－	(1.9)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	5％　PL70
385	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英	灰白	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□」	覆土中	5％　PL70
386	須恵器	坏	－	－	－	雲母	灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	5％　PL70
387	土師器	坏	[15.2]	5.5	6.4	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	体部下端回転ヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部回転ヘラ削り　墨書「□」	掘方埋土	50%　PL70
388	土師器	坏	[12.2]	3.6	[5.6]	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（大カ）」	平坦部南部構築土	30%　PL70
389	土師器	坏	[12.4]	4.3	[7.2]	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	井戸部覆土中	30%　PL70
390	土師器	坏	－	3.7	－	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	5％　PL70

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
391	土師器	坏	－	(2.0)	－	長石・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　墨書「□」	掘方埋土	10%　PL70
392	土師器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	底部回転糸切り痕を残し，周縁部手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　墨書「□□」	平坦部南部構築土	15%　PL70
393	土師器	坏	－	(1.2)	－	長石・雲母	にぶい黄橙	普通	底部回転糸切り痕を残し，周縁部手持ちヘラ削り　墨書「□」	掘方埋土	5％　PL70
394	須恵器	高台付坏	－	(3.1)	10.2	長石・石英	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□（南カ）」	平坦部北部構築土	70%　PL70
395	須恵器	高台付坏	－	(4.0)	8.2	長石・石英	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□□」	平坦部南部構築土	50%　PL70
396	須恵器	高台付坏	－	(2.5)	[9.6]	長石・石英	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□（新カ）」	平坦部南部構築土	20%　PL70
397	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□」	掘方埋土	5％　PL71
398	須恵器	蓋	－	(1.5)	－	長石・石英・雲母	灰白	普通	天井部回転ヘラ削り　墨書「□」	平坦部南部構築土	10%　PL71
399	須恵器	盤	19.5	4.0	12.4	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨痕　転用硯	掘方埋土	90%　PL71
400	須恵器	盤	－	(3.6)	[11.5]	長石・石英・雲母	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□」	掘方埋土	30%　PL71
401	須恵器	甕	－	(3.8)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部縦位の平行叩き　墨書「□（波カ）」	覆土中	5％　PL71

番号	種　別	器　種	長さ	幅	厚さ	材　質	特　徴	出土位置	備　考
W 28	木簡	荷札	(14.3)	3.7	0.5	モミ	板目　上部欠損　短冊形 表「・□長三尋一尺七□（寸カ）」　裏「・道カ浄人」	掘方埋土	PL26
W 29	工具	刀子柄カ	15.5	2.6	0.9	広葉樹	柾目　茎孔長 2.9cm，長径 1.2cm，短径 0.6cm	覆土中	
W 30	農具	小形竪杵	19.6	4.3	3.6	クリ	芯持削出　搗き部両端部摩滅　一部炭化	平坦部南部構築土	PL27
W 31	農具	竪杵	(38.4)	7.7	6.2	広葉樹	芯無削出　搗き部端部摩滅	掘方埋土	
W 32	紡織具	糸巻枠木	50.4	2.6	1.8	スギ	板目　軸孔長さ 2.0cm　幅 1.3cm　両側面に円孔４か所　径３㎜ 腕木孔３か所　径 0.6 ～ 1.2cm　長軸方向に広がっている	平坦部南部構築土	PL27
W 33	服飾具	檜扇カ	(18.4)	2.2	0.2	ヒノキ	柾目　円孔　径５㎜	井戸部覆土中	PL26
W 34	容器	刳物・皿	(15.4)	(1.4)	11.7	ムクロジ	横木取り柾目　削り調整	覆土中	PL26
W 35	容器	円形曲物・蓋板	(10.0)	(1.6)	0.5	針葉樹	柾目	平坦部北部構築土	
W 36	容器	曲物・底板	(13.0)	(1.3)	1.0	アスナロ	柾目	掘方埋土	PL26
W 37	容器	円形曲物・底板	(15.4)	(15.1)	0.8	アスナロ	柾目　樹皮綴じ	掘方埋土	PL27
W 38	容器	円形曲物・蓋板	22.2	(13.4)	1.0	スギ	柾目　釘綴じ　釘孔２か所　径４㎜	掘方埋土	PL27
W 39	容器	曲物・底板	(35.7)	(4.7)	1.2	ヒノキ	板目　樹皮綴じ　片面刃物痕	平坦部南部構築土	PL26
W 40	容器	曲物・側板	(24.2)	(1.4)	0.4	針葉樹	柾目　釘孔４か所　径４㎜	平坦部北部構築土	
W 41	用途不明品	有孔小板	6.5	3.6	1.1	ムクロジ	柾目　円孔有り　径（4.0）cm	覆土中	PL27
W 42	部材	井戸枠材	184.0	27.5	9.5	クリ	板目　長辺両端の下部に仕口　左側一部欠損　仕口幅 15.6cm	北西１段目	PL28
W 43	部材	井戸枠材	176.0	28.5	11.0	クリ	板目　長辺左端の上下，右端の下部に仕口　仕口幅 10.8 ～ 11.0cm　内法 110.4cm	北東１段目	PL28
W 44	部材	井戸枠材	187.0	28.5	11.5	クリ	板目　長辺両端の下部に仕口　右端一部欠損　仕口幅 15.5cm	南東１段目	PL28
W 45	部材	井戸枠材	89.5	12.5	5.0	クリ	板目　長辺左端の上下に仕口　右端部欠損　仕口幅 8.8 ～ 9.6cm	南西１段目	PL29
W 46	部材	井戸枠材	114.0	12.5	3.5	クリ	板目　長辺両端の下部に仕口　仕口幅 6.4 ～ 9.4cm　内法 68.0cm　円孔２か所　径３㎜	北西２段目	PL29
W 47	部材	井戸枠材	131.0	18.5	9.0	クリ	板目　長辺両端の上下に仕口　仕口幅 10.4 ～ 12.0cm　内法 70.3 ～ 72.6cm	北東２段目	PL29
W 48	部材	井戸枠材	123.5	19.0	9.0	クリ	板目　長辺両端の上下に仕口　右端部一部欠損　仕口幅 7.4 ～ 10.6cm　内法 67.2 ～ 72.2cm	南東２段目	PL29
W 49	部材	井戸枠材	131.0	17.0	10.5	クリ	板目　長辺両端の上下に仕口　仕口幅 8.4 ～ 11.6cm　内法 66.0 ～ 69.0cm	南西２段目	PL29
W 50	部材	井戸枠材	158.5	9.5	9.0	クヌギ	みかん割　先端部を杭状に削出　転用材　長辺端部の両面に仕口　仕口幅 5.4 ～ 7.8cm	掘方北東部埋土	PL30
W 51	部材	井戸枠材	164.0	10.6	7.5	クヌギ	みかん割　先端部を杭状に削出　転用材　長辺端部の片側に仕口　仕口幅 11.2cm	掘方北東部埋土	PL30
W 52	部材	井戸枠材	150.0	10.3	5.5	クリ	みかん割　先端部を杭状に削出　転用材　長辺端部の片側に仕口　仕口幅 7.2cm	掘方南東部埋土	PL30
W 54	部材	井戸枠材	51.0	11.0	7.0	広葉樹	芯無削出　仕口幅 9.2cm	掘方北西部埋土	
W 55	部材	井戸枠材	121.5	16.0	10.2	クリ	板目　長辺両端の上下に仕口　仕口幅 8.8 ～ 10.0cm　内法 67.4 ～ 69.6cm	掘方北東部埋土	PL29
W 56	部材	井戸枠材	44.9	10.5	5.2	クリ	板目　枘削出　長さ 8.6cm	覆土中	PL27
W 61	部材	建築用材	260.0	20.0	13.0	クヌギ	半割削出　円孔径 7.4cm　方孔幅 6.6cm	掘方北東部埋土	PL31
W 70	部材	建築用材	95.0	14.5	8.0	クリ	芯持削出　枘穴１か所　幅 7.2cm	掘方北西部埋土	PL29
W 71	部材	建築用材	214.5	18.5	11.0	クヌギ	芯持削出　長辺左端の下・側面に仕口　仕口幅 7.6 ～ 10.0cm　枘穴１か所　円孔 5.0cm	掘方北西部埋土	PL31
W 72	部材	建築用材	170.0	15.5	14.0	クヌギ	半裁材　長辺端部の上下に仕口　仕口幅 8.0 ～ 9.2cm	掘方南東部埋土	PL31
W 73	部材	建築用材	169.0	20.8	11.6	クヌギ	半裁材　長辺端部に仕口　一部欠損　枘穴１か所　円孔径（7.6）cm	覆土中	PL31
W 74	部材	建築用材	167.8	23.5	8.8	クリ	柾目　井戸枠材カ　長辺端部に仕口　一部欠損	覆土中	PL28

番号	種　別	器　　種	長さ	幅	厚さ	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
W 76	部材	建築用材	135.0	17.0	8.0	広葉樹	板目　両端部１～２方向からの削り加工	掘方北東部埋土	
W 79	土木材	杭	65.5	9.0	7.8	クリ	芯持丸木　先端部５方向からの削り加工	掘方北西部埋土	PL32
W 86	土木材	杭	150.0	10.0	7.0	広葉樹	みかん割　先端部１方向からの削り加工	掘方北東部埋土	

番号	種　類	名　　称	長さ	幅	厚さ	重量	特　　徴	出土位置	備　考
N 2	獣骨	鹿角	(3.4)	(2.6)	(1.3)	(2.8)	角座部	平坦部南部構築土	PL26

(3)　土坑

第 6903 号土坑（第 69 図）

位置　調査区北部のＳ 10f6 区，標高 15 mほどの埋没谷部に位置している。

規模と形状　長径 1.45 m，短径 1.25 mの楕円形で，長径方向はＮ－ 15 °－Ｅである。底面は皿状で，壁は緩やかに立ち上がっている。深さは 27㎝である。

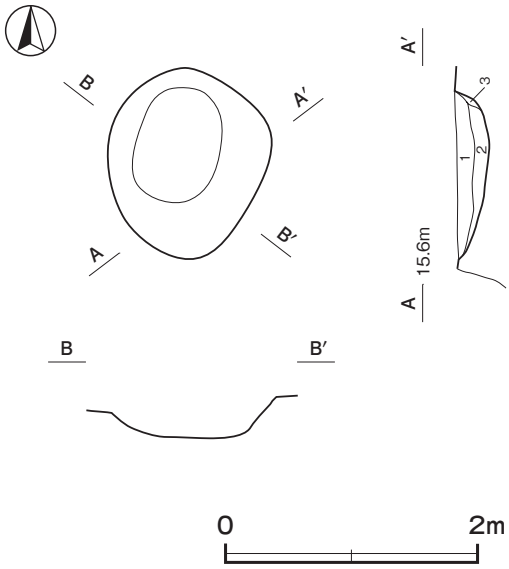
覆土　３層に分層できる。砂質の暗褐色土を主体とした自然堆積である。

土層解説

1　暗　褐　色　粗砂中量，ロームブロック少量
2　暗　褐　色　粘土ブロック・粗砂少量，ロームブロック微量
3　暗　褐　色　粗砂少量，ローム粒子微量

遺物出土状況　土師器片 10 点（坏１，甕９），須恵器片 25 点（坏８，高台付坏１，蓋１，盤１，高盤１，瓶２，甕 10，鉢１）が出土している。いずれも小片のため図示できなかった。須恵器坏は器形が逆台形で，体部下端に幅の広い手持ちヘラ削りが施されているものが出土している。須恵器盤は底径が小形化したものが出土している。

所見　時期は，出土土器から９世紀前葉と考えられる。



第 69 図　第 6903 号土坑実測図

(4) 遺物集中地点

第１号遺物集中地点（第 70 ～ 82 図）

位置　調査区南部のＳ９j3 区からＴ 10c9 区にかけて，標高 13 ～ 15 ｍの埋没谷部に位置している。

重複関係　第 204 ～ 212 号井戸跡，第 562 号溝跡，第２号遺物集中地点の上部に形成されており，第 91 号堀，第 556・560 号溝に掘り込まれている。

規模と形状　第 204 号井戸跡，第２号遺物集中地点が廃絶された後の溝状の凹地に形成されている。Ｓ９j3 区から南東方向（Ｎ－ 132°－Ｅ）へ延びて，Ｔ 10b6 区で緩やかに屈曲して東南東方向（Ｎ－ 98°－Ｅ）へ延びている。南東側が調査区域外へ延びているため，長さは 29.30 ｍしか確認できなかった。幅は，西部が上幅 9.27 ｍ，下幅 6.10 ｍで，南東側に向かって広がっている。深さは 12 ～ 77㎝で，断面形は浅い逆台形であり，壁は緩やかに立ち上がっている。底面は流水による浸食のため凹凸があり，標高は 13.2 ～ 14.4 ｍである。

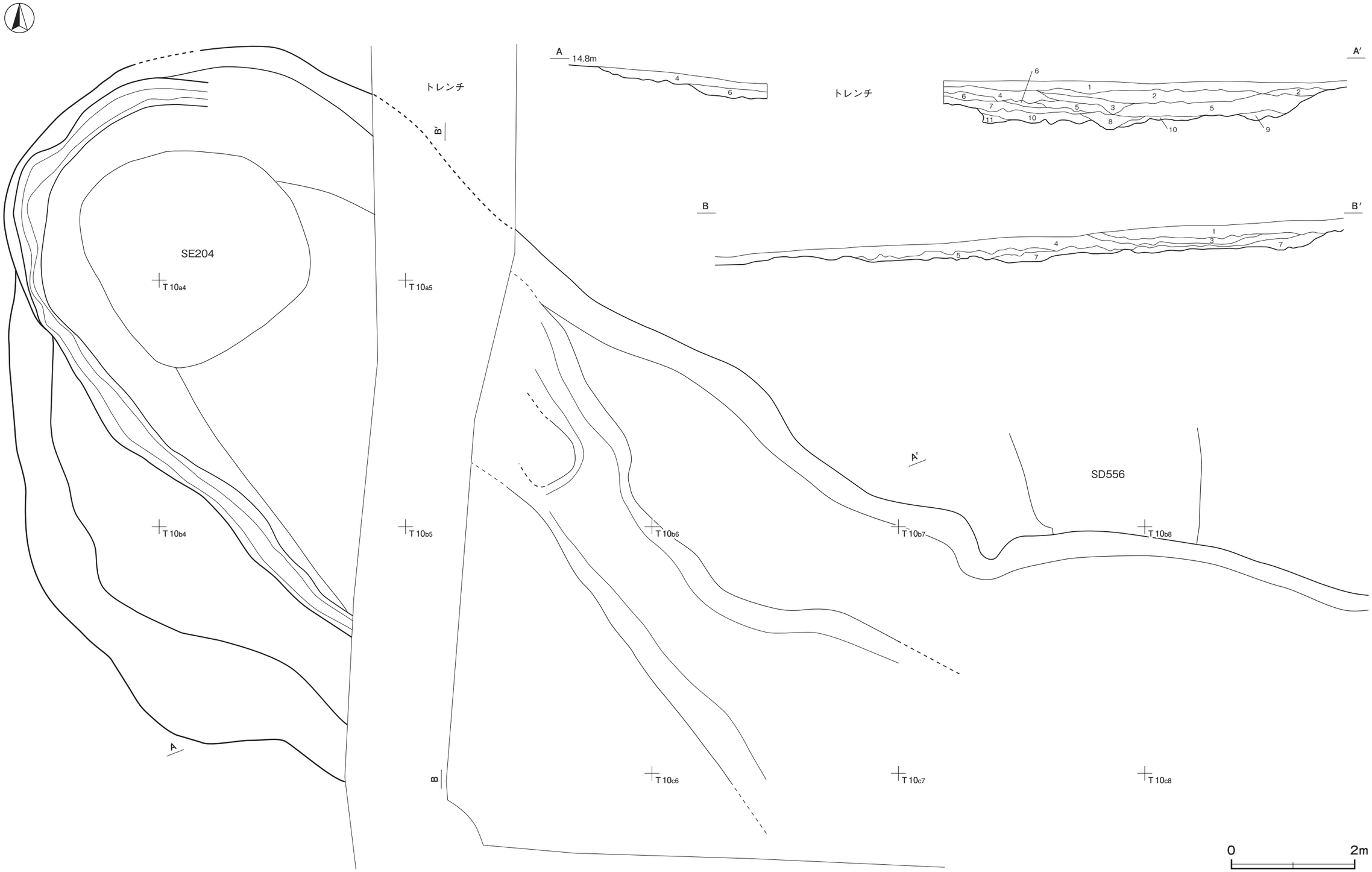
覆土　粘質土と粗砂が互層に堆積しており，鉄分の沈着が著しいことから，流水による自然堆積である。

土層解説

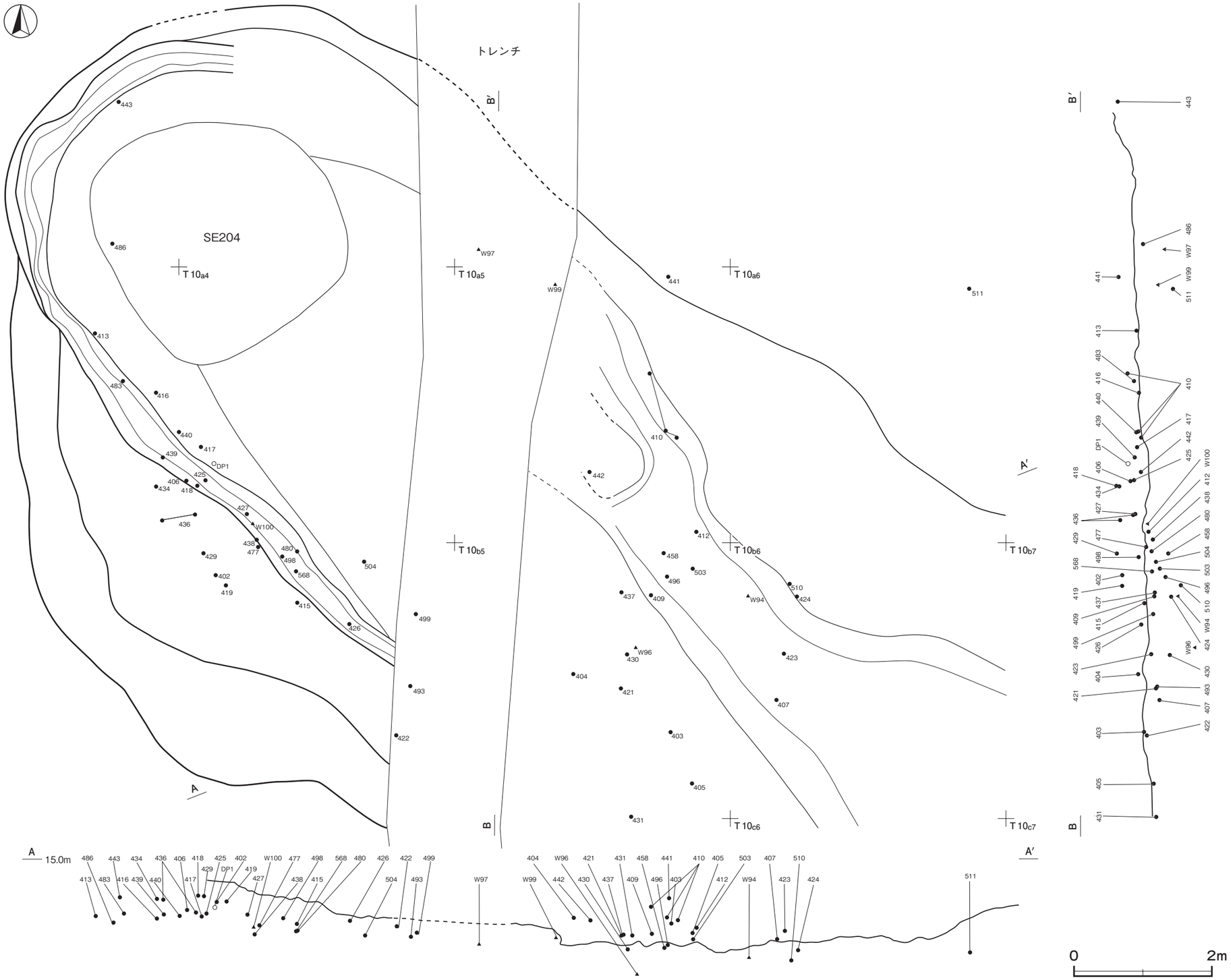
1	暗オリーブ褐色	砂質土	焼土粒子・鉄分沈着微量	
2	灰黄褐色	粘質土	ロームブロック・鉄分沈着少量	
3	暗灰色	粘質土	鉄分沈着多量，炭化物・焼土粒子・粗砂少量	
4	暗灰黄色	粘質土	粗砂多量，鉄分沈着中量	
5	オリーブ褐色	粘質土	鉄分沈着中量，粗砂少量	
6	暗灰色	粘質土	鉄分沈着多量，粗砂少量	
7	灰色	粗砂多量		
8	褐灰色	粘土	細砂少量，鉄分沈着微量	
9	黒褐色	粘質土		
10	黄褐色	粗砂	粘質土の薄層を互層状に挟む	

遺物出土状況　土師器片 7,471 点（古墳時代坏 3,046，奈良時代坏 65，平安時代坏 294，高坏２，蓋１，高台付椀 41，皿 17，高台付皿 17，鉢 11，甕 3,971，甑２，手捏土器４），須恵器片 10,539 点（古墳時代坏５，奈良時代坏 239，平安時代坏 358，不明坏 5,632，高台付坏 229，盤 70，高盤２，蓋 226，壺・瓶 57，鉢 122，甕 3,585，甑 12，円面硯２），灰釉陶器片 12 点（瓶），土製品７点（管状土錘１，羽口６），鉄滓 19 点（181.5 ｇ），木器・木製品 16 点（甑底板１，曲物蓋板１，曲物底板４，箸ヵ１，加工木９），自然遺物 147 点（桃核 135，ヒョウタン３，クリ７，クルミ１，マツボックリ１）が出土している。また，漆付着土器２点（須恵器坏），油煙付着土器９点（須恵器坏），墨書土器 126 点が出土している。墨書土器は，「池田」「川」「栗」「郡ヵ」「大□（万ヵ）」「仝」「宅」「田前」「前」「殿」「ナ」「万」「臣」「山山」などの文字が確認できる。出土土器は細片化し，器面が摩滅しているものが多い。平面的な分布状況は，南西肩部に集中しており，南東側ほど出土量が減少している。また，第 204 号井戸跡の井戸部が位置していた北西部は，出土量が微量である。これは，井戸が廃絶された後も周囲への廃棄行為が避けられていたことを示している。時期別，器種別の傾向は，９世紀後葉の供膳具類が一定量出土している。第 204 号井戸跡の廃絶時期に近いことから，同跡に伴うものが移動したか，あるいは廃絶直後に廃棄されたものである可能性が高い。10 世紀代のものは微量で，いずれも摩滅した細片である。その他は混在している状況で，周囲から流れ込んだものである。

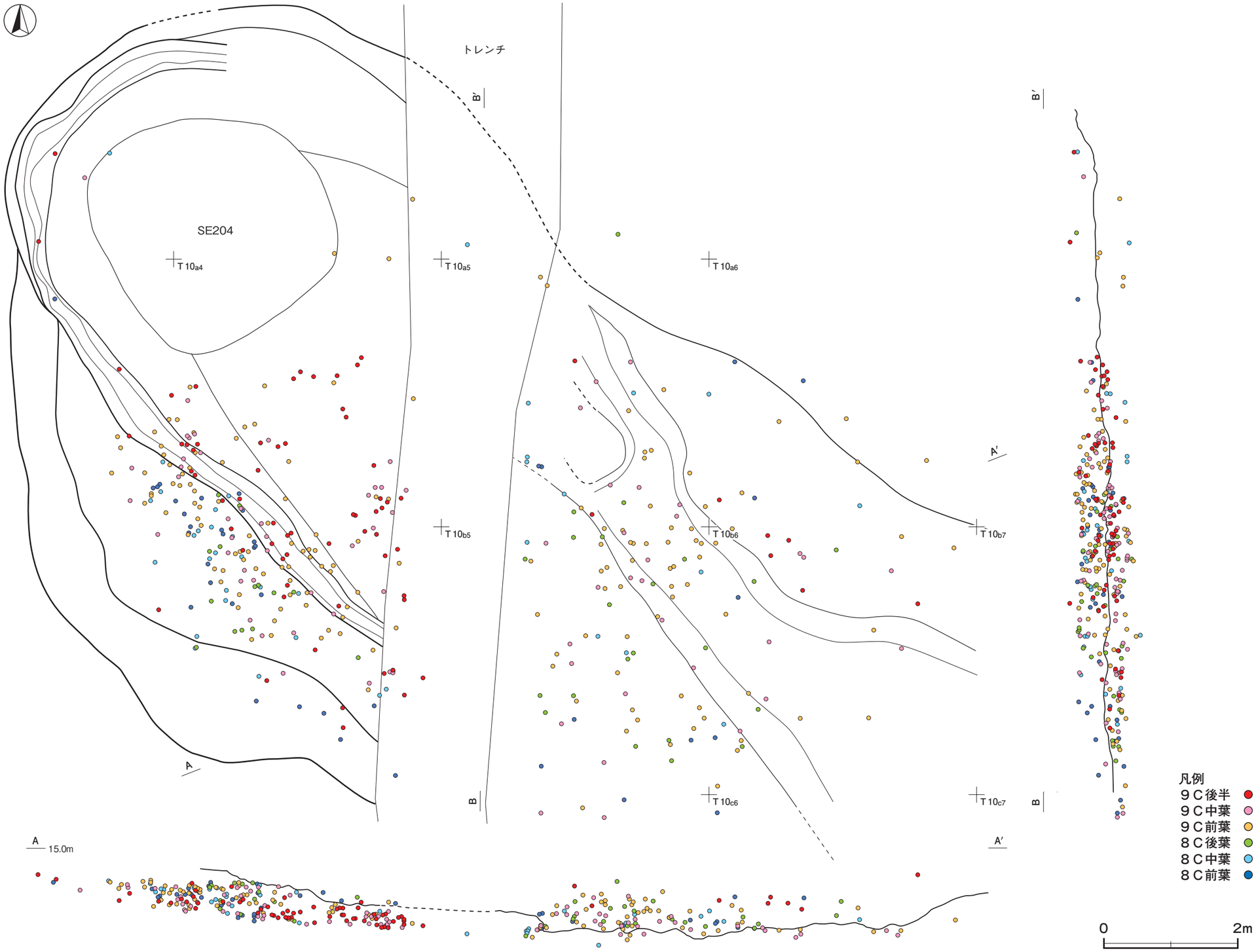
所見　時期は，出土土器から９世紀後葉から 10 世紀前葉に比定できる。



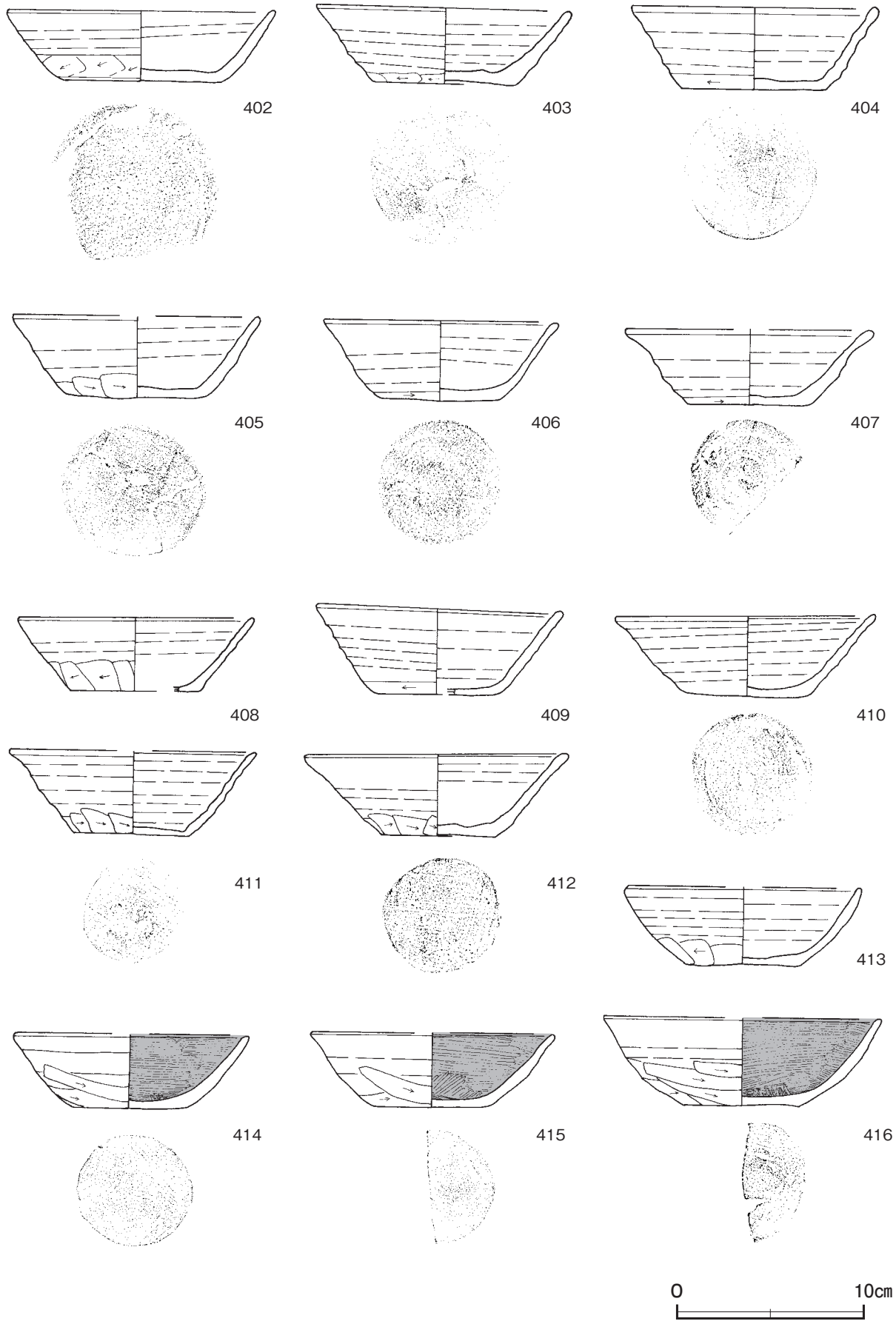
第70図　第1号遺物集中地点実測図



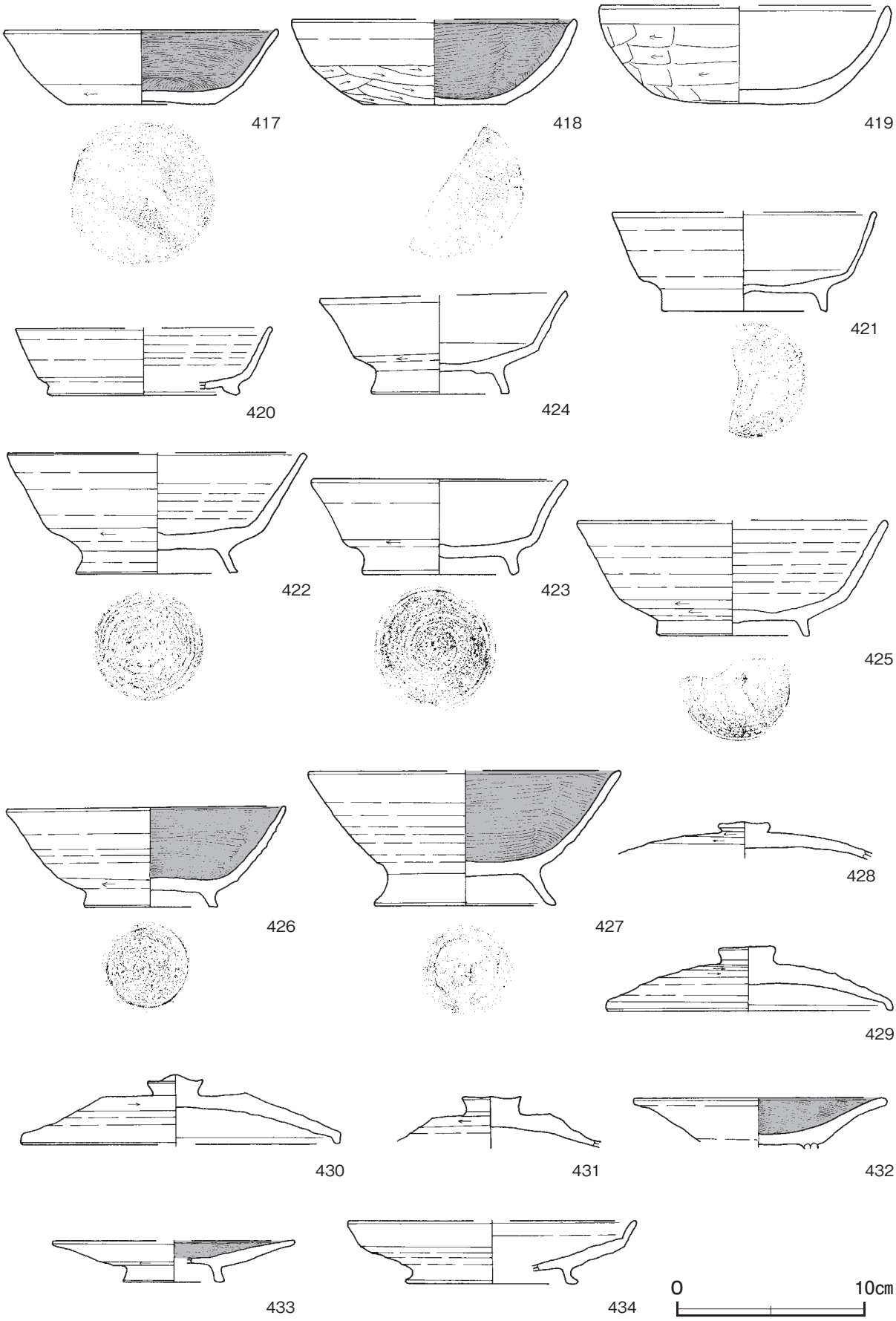
第71図　第1号遺物集中遺物出土状況図(1)



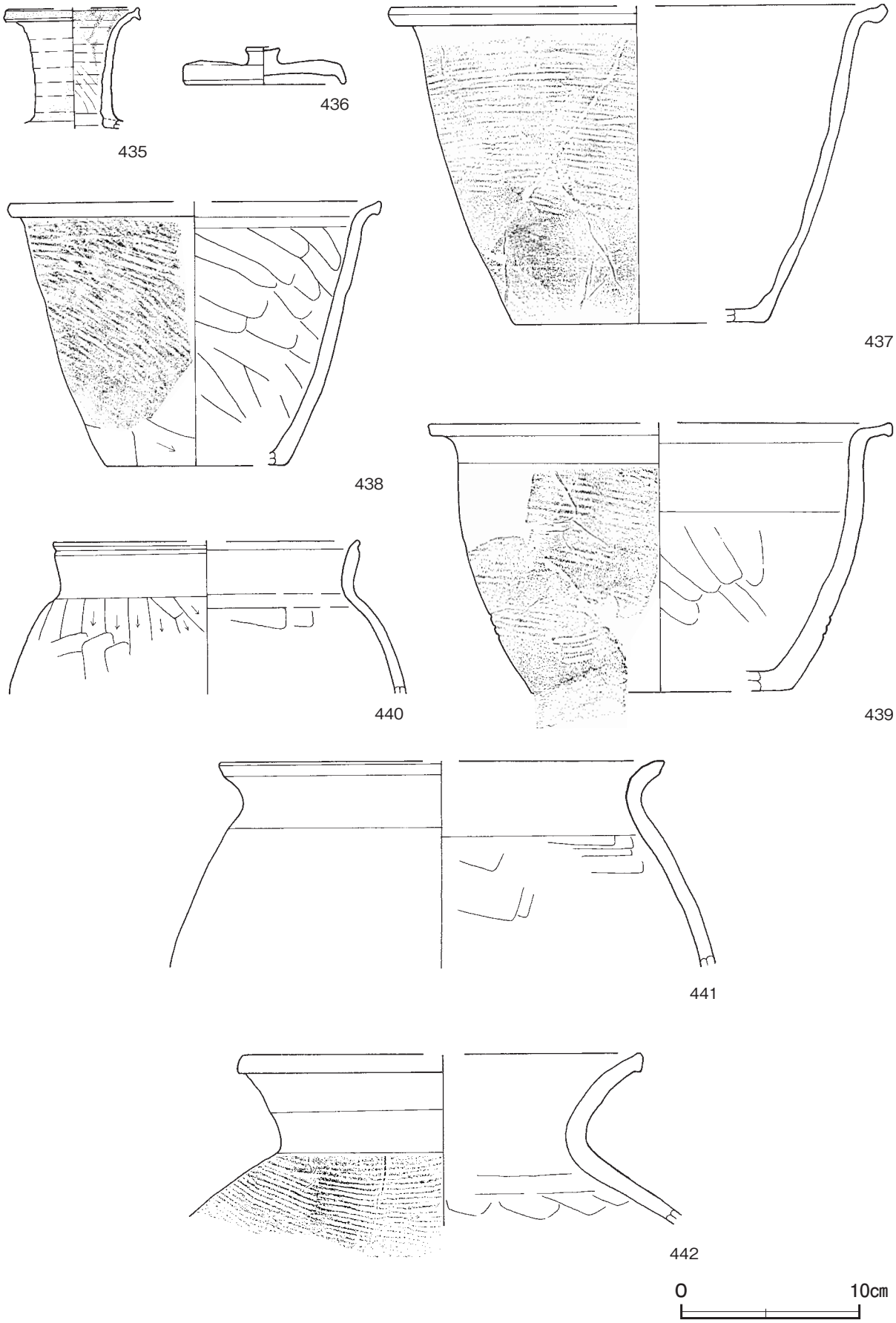
第72図　第1号遺物集中地点遺物出土状況図 (2)



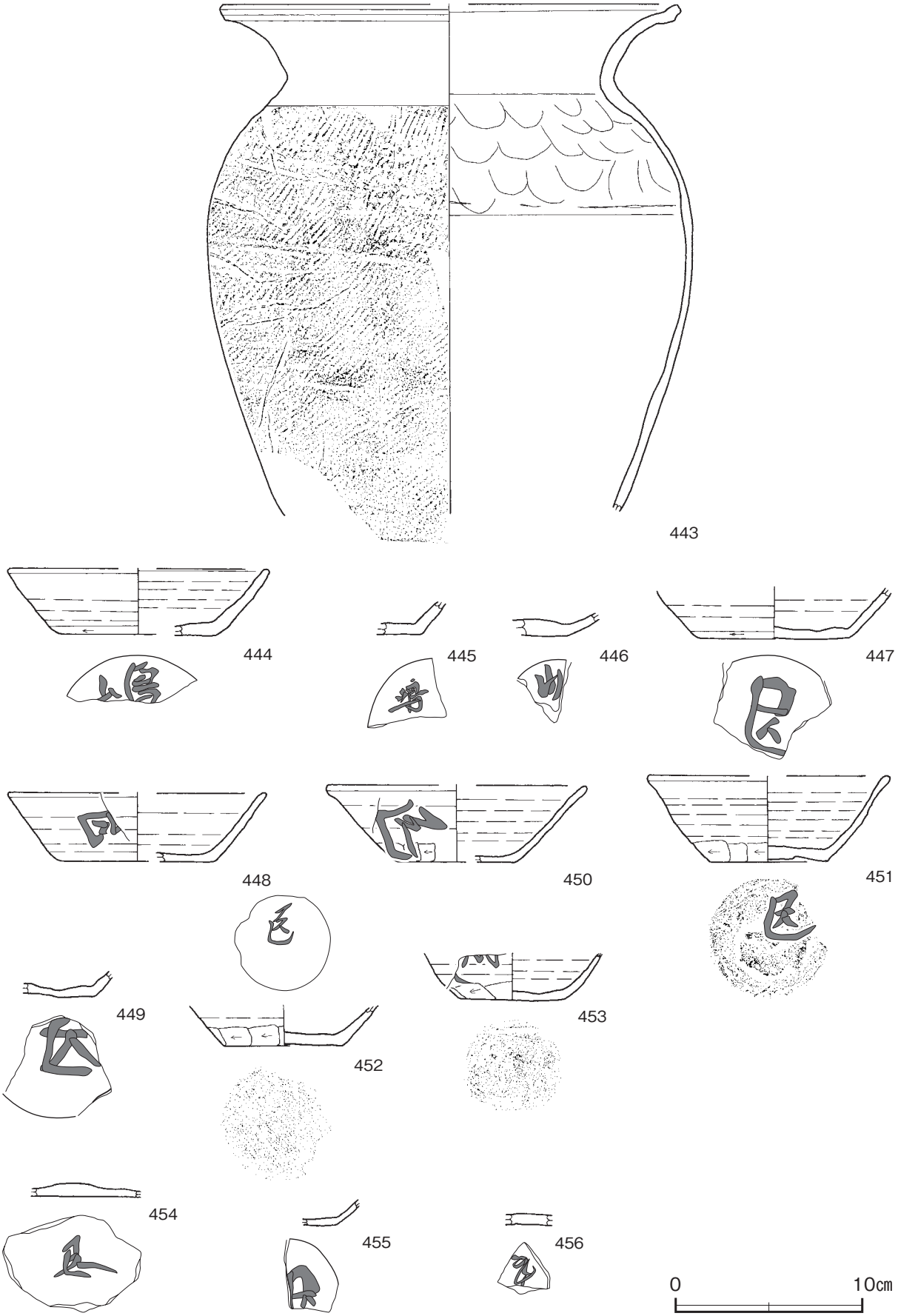
第 73 図　第 1 号遺物集中地点出土遺物実測図 (1)



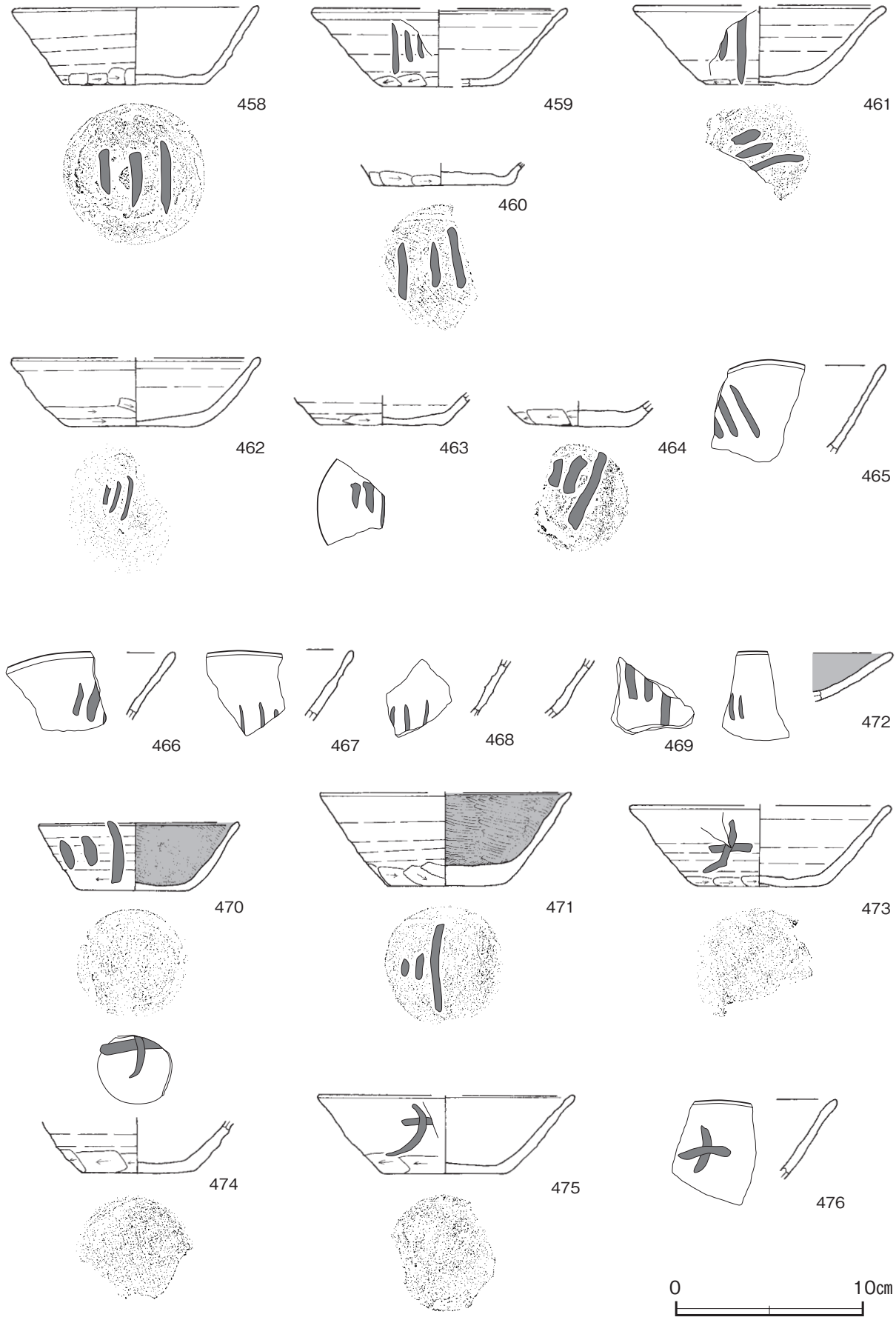
第 74 図　第 1 号遺物集中地点出土遺物実測図 (2)



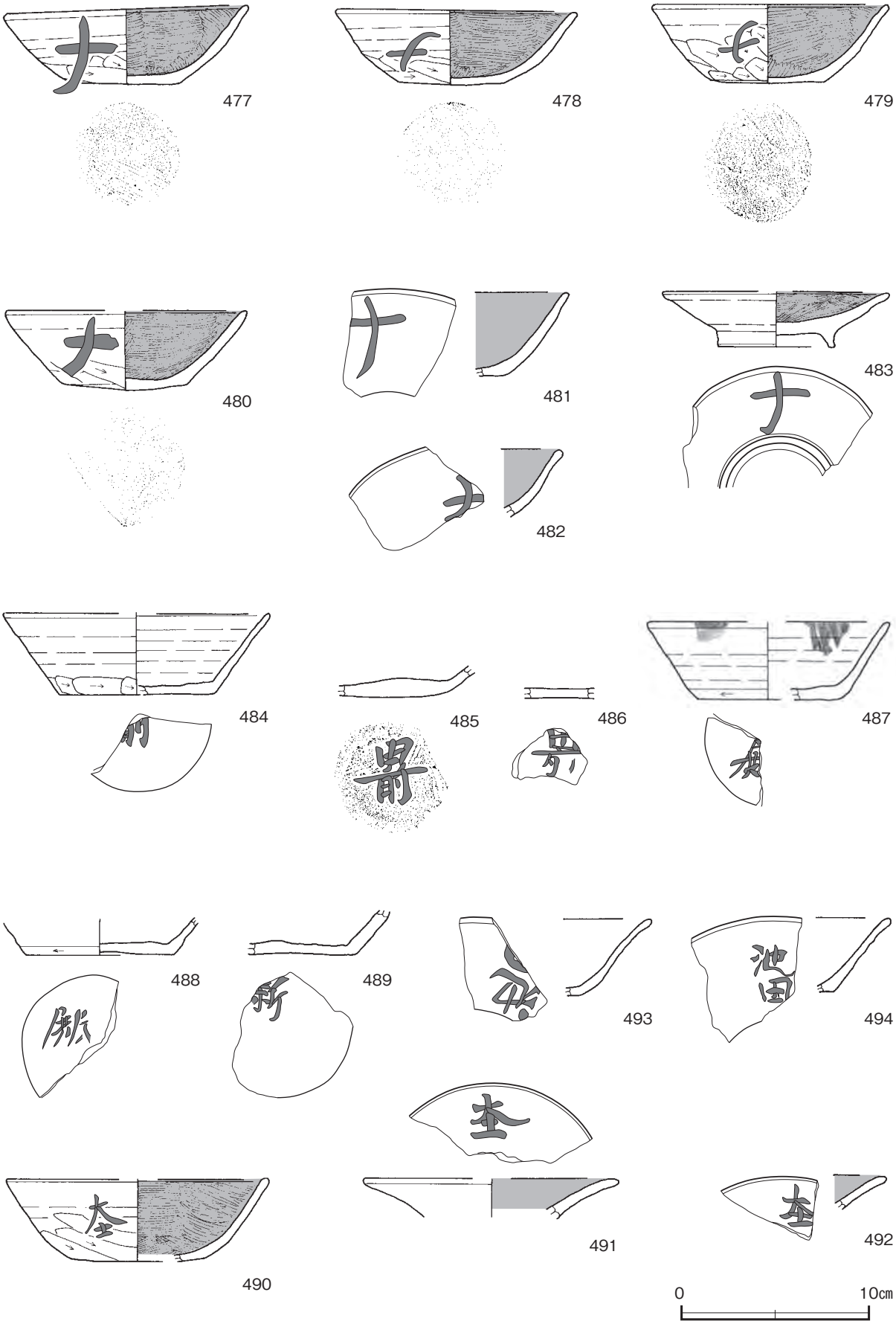
第75図　第1号遺物集中地点出土遺物実測図(3)



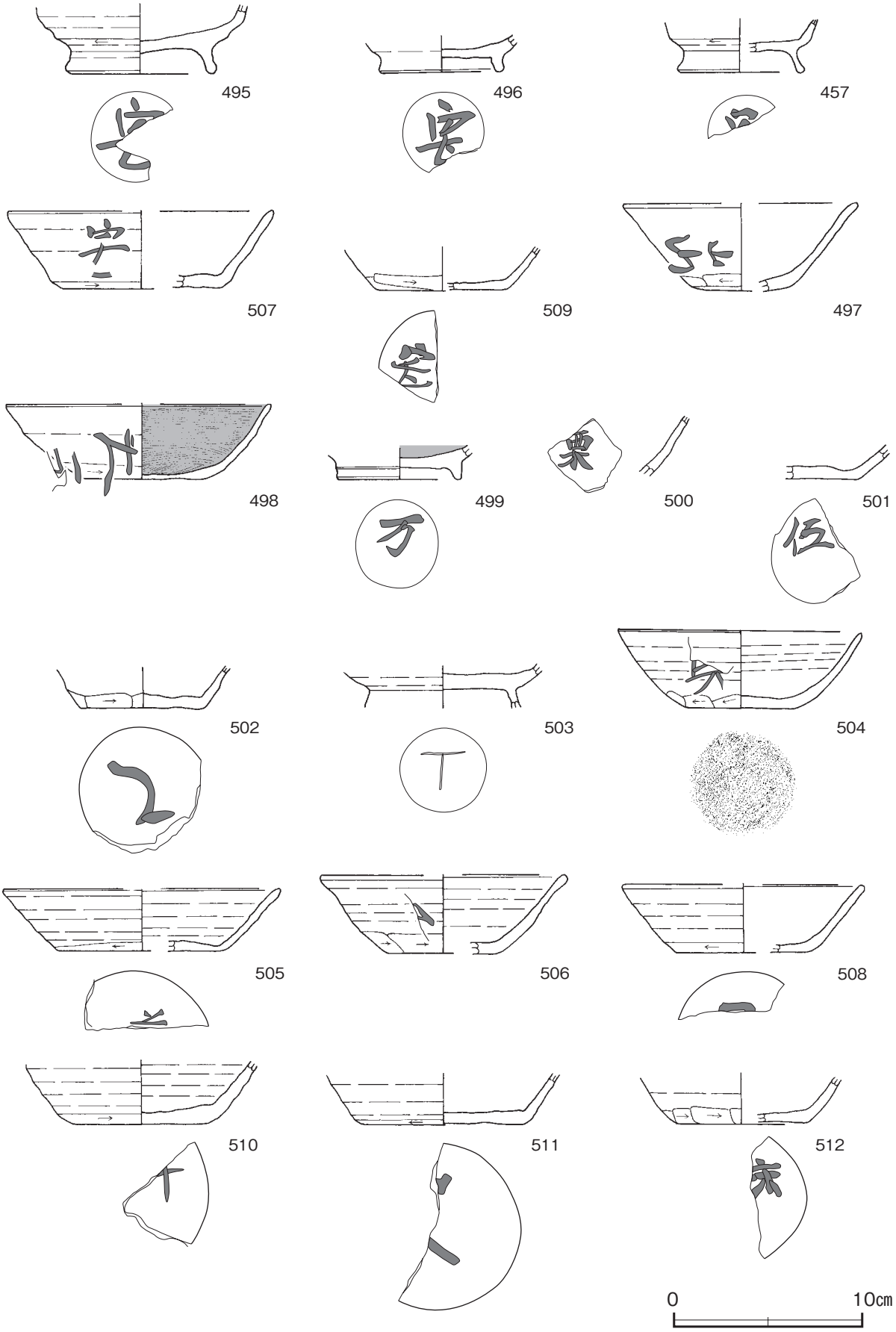
第 76 図　第 1 号遺物集中地点出土遺物実測図 (4)



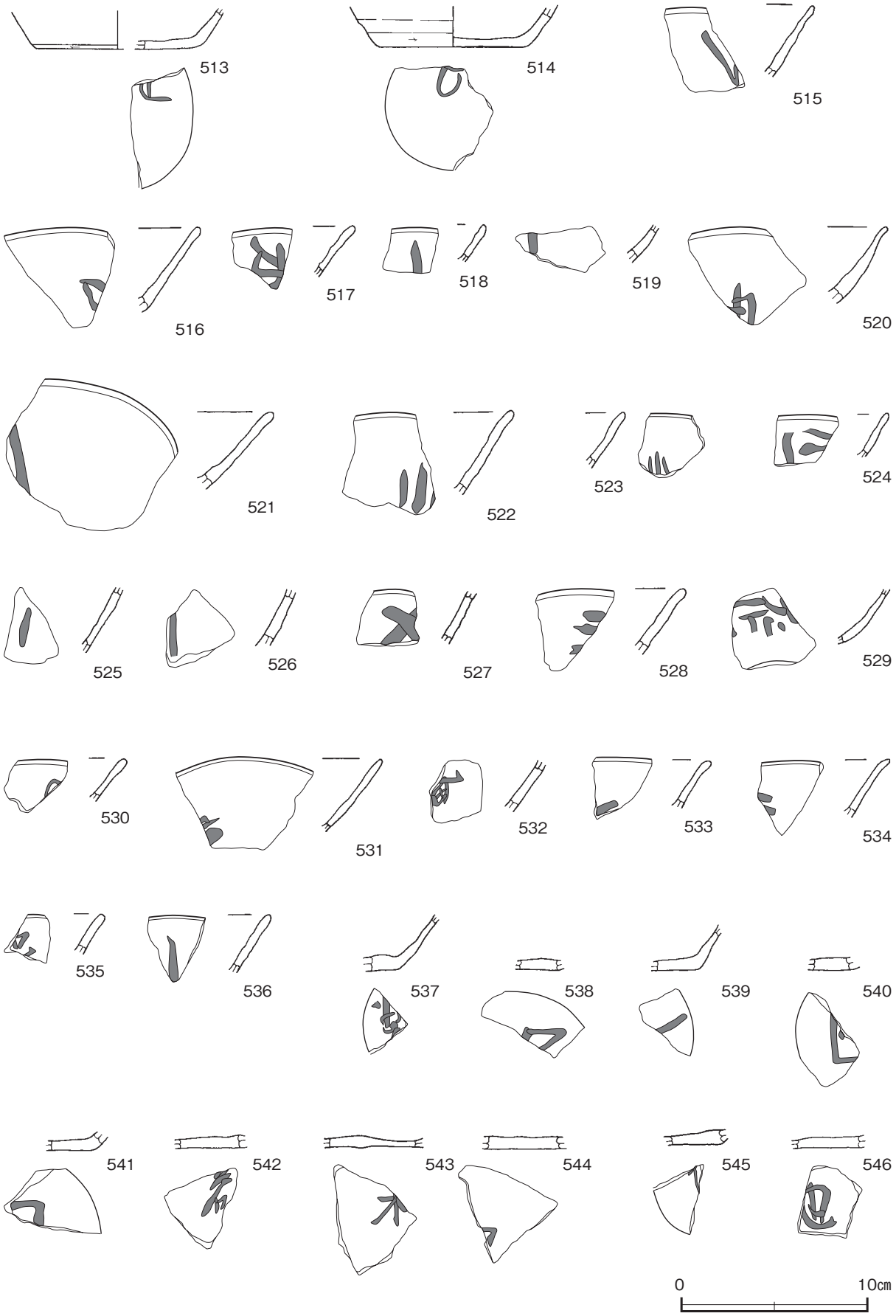
第 77 図　第 1 号遺物集中地点出土遺物実測図 (5)



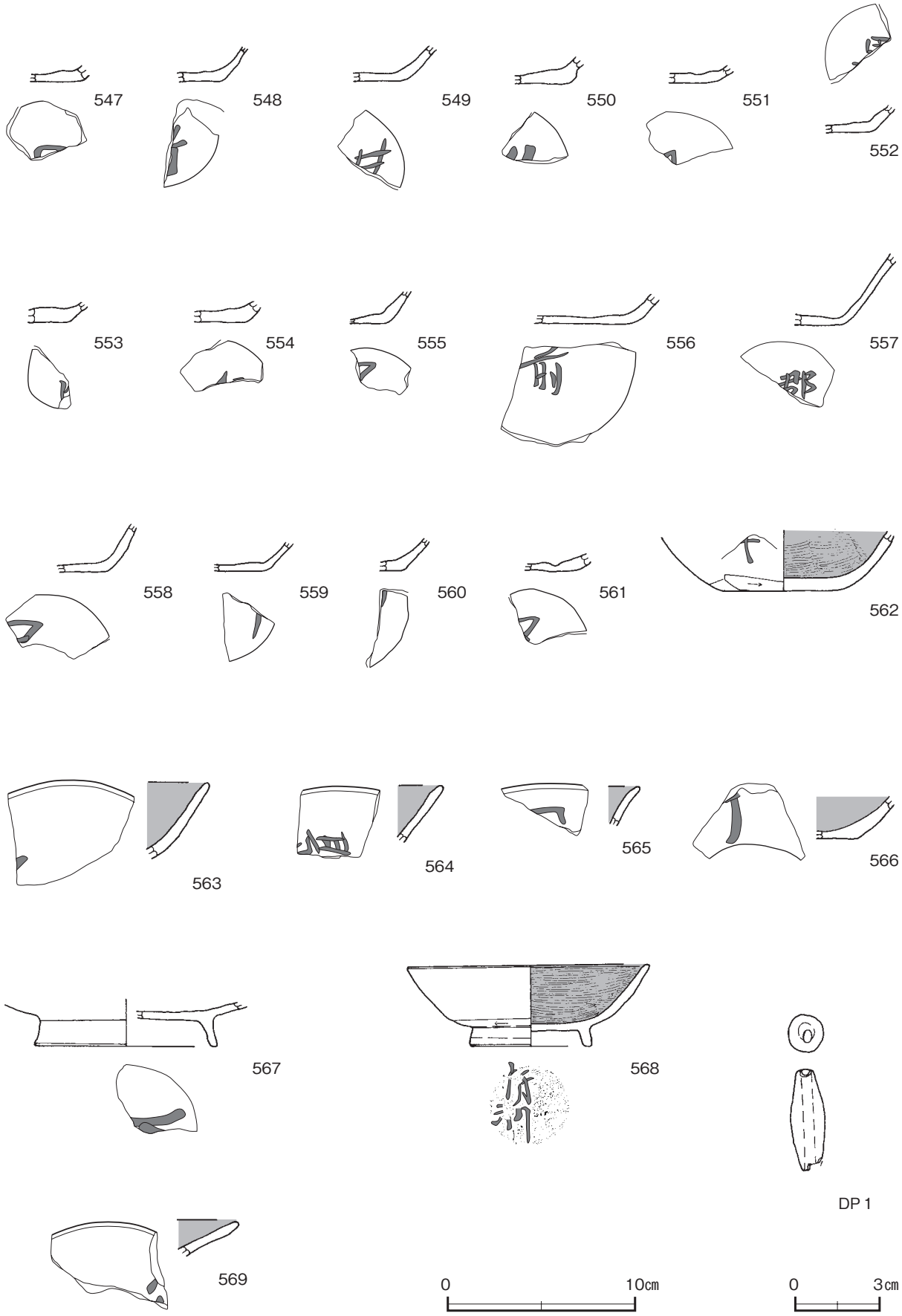
第 78 図　第 1 号遺物集中地点出土遺物実測図 (6)



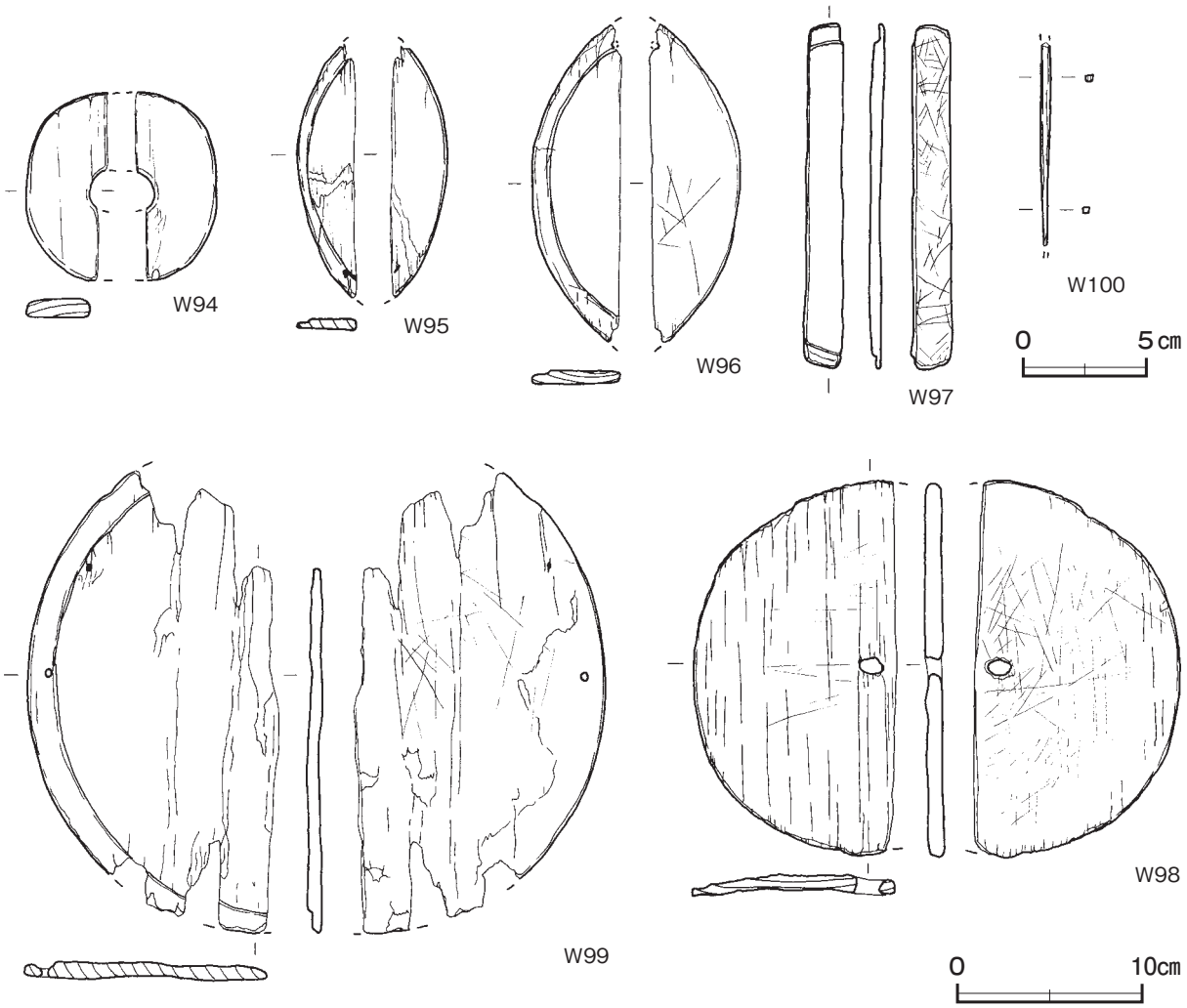
第79図　第1号遺物集中地点出土遺物実測図(7)



第 80 図　第 1 号遺物集中地点出土遺物実測図 (8)



第 81 図　第 1 号遺物集中地点出土遺物実測図 (9)



第 82 図　第 1 号遺物集中地点出土遺物実測図 ⑽

第 1 号遺物集中地点出土遺物観察表（第 73 ～ 82 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
402	須恵器	坏	14.2	3.9	8.6	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り	西部上層	70%　PL33
403	須恵器	坏	13.6	4.1	7.5	長石・石英・雲母	にぶい橙	不良	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り	中央部上層	70%
404	須恵器	坏	13.3	4.4	7.7	長石・石英・雲母	赤灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り	中央部下層	60%
405	須恵器	坏	[13.2]	4.4	7.5	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り	中央部下層	50%
406	須恵器	坏	12.4	4.3	6.4	長石・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り	西部下層	70%　PL33
407	須恵器	坏	[13.3]	4.0	[6.4]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り	東部下層	50%
408	須恵器	坏	12.6	4.0	[6.8]	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り	東部覆土中	60%
409	須恵器	坏	13.2	4.8	[6.4]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り	中央部下層	60%
410	須恵器	坏	13.8	4.6	6.6	長石・石英・赤色粒子	灰褐	不良	体部下端ロクロナデ　底部一方向の手持ちヘラ削り	中央部上層	80%　PL33
411	須恵器	坏	[13.1]	4.4	6.2	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り	東部覆土中	60%
412	須恵器	坏	13.8	4.5	6.2	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り	中央部下層	90%　PL33
413	須恵器	坏	[12.4]	4.2	6.0	長石・石英・雲母	にぶい橙	不良	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り	西部下層	40%
414	土師器	坏	[12.6]	4.0	6.2	石英・雲母	浅黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り	東部覆土中	60%
415	土師器	坏	[13.0]	4.0	6.0	石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り	西部下層	50%
416	土師器	坏	[14.8]	4.7	6.2	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り	西部下層	40%
417	土師器	坏	14.4	4.0	8.0	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　内面ヘラ磨き	西部下層	70%

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
418	土師器	坏	［15.2］	4.6	7.6	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り	西部上層	40%
419	土師器	坏	［15.4］	5.3	8.6	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	口縁部横ナデ　体部・底部手持ちヘラ削り	西部上層	70%
420	須恵器	高台付坏	［13.6］	3.6	［10.0］	長石・石英	灰	良好	ロクロナデ　他地域産	東部覆土中	30%
421	須恵器	高台付坏	［14.1］	5.3	［8.8］	長石・石英・黒色粒子	暗灰黄	普通	底部回転ヘラ削り	中央部下層	60%
422	須恵器	高台付坏	［16.2］	6.5	8.8	長石・石英・雲母	赤灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り	西部下層	50%
423	須恵器	高台付坏	13.4	5.2	8.2	長石・石英	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り	東部下層	70%　PL33
424	須恵器	高台付坏	13.3	5.4	7.4	長石・石英・雲母	にぶい橙	不良	体部下端・底部回転ヘラ削り	東部下層	70%
425	須恵器	高台付坏	［16.4］	6.2	7.8	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り	西部上層	50%
426	土師器	高台付椀	14.9	5.4	7.0	長石・石英・赤色粒子	明黄褐	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　内面ヘラ磨き	西部下層	100%　PL33
427	土師器	高台付椀	［16.7］	7.25	9.7	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	底部回転ヘラ削り後，ナデ　内面ヘラ磨き	西部下層	40%　PL34
428	須恵器	蓋	－	（2.0）	－	長石・石英	褐灰	普通	天井部回転ヘラ削り	東部覆土中	60%
429	須恵器	蓋	15.3	3.5	－	長石・石英・雲母	灰	普通	天井部回転ヘラ削り	西部上層	70%
430	須恵器	蓋	［17.0］	3.8	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	天井部回転ヘラ削り	中央部下層	60%　PL34
431	須恵器	蓋	－	（2.8）	－	長石・石英・雲母	灰黄	普通	天井部回転ヘラ削り	中央部下層	70%
432	土師器	高台付皿	13.6	（2.8）	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　内面ヘラ磨き	東部覆土中	70%　PL34
433	土師器	高台付皿	［12.8］	2.2	5.3	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り後，ナデ　内面ヘラ磨き	西部覆土中	40%
434	須恵器	盤	［15.4］	3.4	［9.2］	長石・石英・雲母	灰	良好	底部一方向の手持ちヘラ削り	西部上層	40%
435	灰釉陶器	長頸瓶	［7.0］	（6.5）	－	長石・石英	灰	良好	ロクロナデ　井ヶ谷78窯式	東部覆土中	30%　猿投産
436	須恵器	瓶蓋	8.6	（2.0）	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	天井部回転ヘラ削り	西部下層	80%
437	須恵器	鉢	［26.4］	17.0	［13.4］	長石・石英・雲母	暗灰黄	普通	体部横位の平行叩き　下端手持ちヘラ削り内面無文叩き後，ナデ	中央部下層	40%
438	須恵器	鉢	［19.8］	14.2	9.6	長石・石英	灰	普通	体部斜位の平行叩き　下端手持ちヘラ削り内面ヘラナデ	西部下層	20%
439	須恵器	鉢	［24.8］	14.3	［13.8］	長石・石英・雲母	明黄褐	不良	体部斜位の平行叩き　下端手持ちヘラ削り内面ヘラナデ	西部下層	40%
440	土師器	甕	［16.4］	（8.1）	－	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部横ナデ　体部縦位のヘラ削り　内面ヘラナデ	西部下層	30%　PL34
441	土師器	甕	［23.8］	（11.1）	－	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部横ナデ　体部外・内面ヘラナデ	中央部上層	30%
442	須恵器	甕	［21.1］	（9.2）	－	長石・石英・雲母	灰褐	普通	体部横位の平行叩き　内面無文叩き痕を残し，ヘラナデ	中央部下層	20%
443	須恵器	甕	［24.4］	（27.3）	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	体部斜位の平行叩き　内面上位無文叩き痕を残し，ヘラナデ	西部上層	40%
444	須恵器	坏	［14.0］	3.5	［8.4］	長石	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「嶋」	中央部覆土中	40%　PL44
445	須恵器	坏	－	（1.7）	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「嶋」	中央部覆土中	5％　PL44
446	須恵器	坏	－	（1.2）	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（嶋ヵ）」	西部覆土中	5％　PL44
447	須恵器	坏	－	（2.8）	［8.0］	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臥」	東部覆土中	10%　PL44
448	須恵器	坏	［13.8］	3.7	［8.4］	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臥」	中央部覆土中	30%　PL47
449	須恵器	坏	－	（1.4）	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臥」	西部覆土中	10%　PL47
450	須恵器	坏	［13.8］	4.1	［6.2］	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臥」	西部覆土中	40%　PL47
451	須恵器	坏	［12.6］	4.6	6.4	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り墨書「臥」	西部覆土中	40%　PL47
452	須恵器	坏	－	（2.1）	6.3	長石・石英・雲母	にぶい褐	不良	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臥」	中央部覆土中	30%　PL47
453	須恵器	坏	－	（2.5）	5.6	長石・石英・赤色粒子	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臥」	西部覆土中	30%　PL47
454	須恵器	坏	－	（0.7）	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臥」	中央部覆土中	5％　PL47
455	須恵器	坏	－	（1.3）	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臥」	中央部覆土中	5％　PL47
456	須恵器	坏	－	（0.6）	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL47
458	須恵器	坏	12.9	4.3	7.6	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	中央部下層	80% PL33・54
459	須恵器	坏	［13.6］	4.2	［6.4］	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	東部覆土中	30%　PL54
460	須恵器	坏	－	（1.2）	6.8	長石・石英・雲母	灰黄	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	西部覆土中	40%　PL54
461	須恵器	坏	［13.2］	4.3	5.6	長石・石英・赤色粒子	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川／川」	西部覆土中	40%　PL54
462	須恵器	坏	［13.2］	3.7	7.2	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転糸切り痕を残し，回転ヘラ削り　墨書「川」	西部覆土中	30%　PL54
463	須恵器	坏	－	（1.7）	6.6	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	東部覆土中	10%　PL54
464	須恵器	坏	－	（1.4）	5.8	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	西部覆土中	30%　PL54
465	須恵器	坏	－	（4.8）	－	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「川」	西部覆土中	10%　PL54

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
466	須恵器	坏	－	(3.7)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「川」	西部覆土中	10%　PL54
467	須恵器	坏	－	(3.8)	－	長石・石英	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「川」	西部覆土中	10%　PL54
468	須恵器	坏	－	(3.0)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	ロクロナデ　墨書「川」	西部覆土中	10%　PL54
469	須恵器	坏	－	(3.3)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「川」	西部覆土中	10%　PL54
470	土師器	坏	10.5	3.7	6.0	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　内面ヘラ磨き　墨書「川」	西部覆土中	70%　PL33・54
471	土師器	坏	[13.4]	5.0	6.3	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	東部覆土中	60%　PL55
472	土師器	皿	－	(2.6)	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　墨書「川」	中央部覆土中	5％　PL55
473	須恵器	坏	[13.8]	4.4	6.6	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「ナ」	東部覆土中	40%　PL59
474	須恵器	坏	－	(2.8)	6.0	長石・石英・雲母	暗灰黄	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「ナ」	西部覆土中	30%　PL59
475	須恵器	坏	[13.6]	4.2	6.6	長石・石英・赤色粒子	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「ナ」	西部覆土中	30%　PL59
476	須恵器	坏	－	(4.4)	－	長石・石英・雲母	灰黄	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「ナ」	西部覆土中	10%　PL59
477	土師器	坏	12.8	4.3	5.6	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「ナ」	西部下層	95%　PL33・59
478	土師器	坏	12.9	3.9	5.7	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「ナ」	西部覆土中	80%　PL33・59
479	土師器	坏	12.5	4.3	5.9	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「ナ」	西部覆土中	70%　PL33・59
480	土師器	坏	[12.8]	4.2	6.6	長石・石英	灰黄	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「ナ」	西部下層	40%　PL59
481	土師器	坏	－	4.5	－	長石・雲母	にぶい黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「ナ」	西部覆土中	5％　PL59
482	土師器	坏	－	(3.7)	－	長石・雲母	にぶい黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　墨書「ナ」	西部覆土中	5％　PL59
483	須恵器	高台付皿	[12.0]	2.9	[6.2]	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　内面ヘラ磨き　墨書「ナ」	西部下層	45%　PL59
484	須恵器	坏	[14.0]	4.3	[8.4]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「前」	中央部覆土中	30%　PL56
485	須恵器	坏	－	(1.7)	－	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	不良	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「田前」	東部覆土中	20%　PL56
486	須恵器	坏	－	(0.5)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「田前」	西部下層	5％　PL56
487	須恵器	坏	[12.6]	4.1	[7.6]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「殿」 油煙付着	西部覆土中	15%　PL57
488	須恵器	坏	－	(2.0)	[8.0]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「殿」	中央部覆土中	20%　PL58
489	須恵器	坏	－	(2.4)	－	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	不良	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「新」	東部覆土中	30%　PL58
490	土師器	坏	[14.0]	4.5	[7.0]	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「杢」	西部覆土中	40%　PL62
491	土師器	皿	[13.6]	(2.3)	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	体部内面ヘラ磨き　墨書「杢」	西部覆土中	20%　PL62
492	土師器	皿	－	(1.8)	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	体部内面ヘラ磨き　墨書「杢」	西部覆土中	10%　PL62
493	須恵器	坏	－	4.2	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部手持ちヘラ削り　墨書「池□（田カ）」	西部下層	20%　PL64
494	須恵器	坏	－	4.0	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部手持ちヘラ削り　墨書「池田」	西部覆土中	10%　PL64
457	須恵器	高台付坏	－	(2.8)	[6.3]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「宅」	中央部覆土中	30%　PL59
495	須恵器	高台付坏	－	(3.6)	8.0	石英・雲母	灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「宅」	東部覆土中	50%　PL60
496	須恵器	高台付坏	－	(1.9)	6.4	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「宅」	中央部下層	20%　PL60
507	須恵器	坏	[14.0]	4.1	[8.4]	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「宅」	西部覆土中	30%　PL60
509	須恵器	坏	－	(2.3)	[7.0]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「宅」	西部覆土中	10%　PL60
497	須恵器	坏	[12.4]	4.7	[5.4]	長石・石英	灰褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「山山」	西部下層	20%　PL60
498	土師器	坏	[14.0]	4.0	6.3	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「大□（万カ）」	西部下層	50%　PL61
499	土師器	高台付椀	－	(1.8)	6.4	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部内面ヘラ磨き　底部回転ヘラ削り　墨書「万」	西部覆土中	40%　PL61
500	須恵器	坏	－	(3.2)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「栗」	東部覆土中	5%　PL64
501	土師器	坏	－	(1.8)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	不良	体部下端手持ちヘラ削り　底部不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「伍」	西部覆土中	10%　PL65
502	須恵器	坏	－	(2.2)	6.5	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「～」	中央部覆土中	40%　PL65
503	須恵器	高台付坏	－	(2.3)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	底部回転ヘラ削り　箆書「T」	中央部下層	40%　PL78
504	須恵器	坏	12.8	4.2	5.6	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部下層	80%　PL33・71
505	須恵器	坏	[14.6]	3.3	[8.8]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	40%　PL71
506	須恵器	坏	[13.0]	4.2	[5.8]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	30%　PL71
508	須恵器	坏	[12.8]	3.6	[7.0]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	20%　PL71
510	須恵器	坏	－	(3.4)	[7.0]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	東部下層	30%　PL71
511	須恵器	坏	－	(2.7)	8.6	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□□（山人カ）」	東部覆土中	30%　PL71

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
512	須恵器	坏	－	(2.6)	[7.0]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（麻ヵ）」	中央部覆土中	30%　PL71
513	須恵器	坏	－	(2.1)	[8.6]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り墨書「□」	中央部覆土中	30%　PL71
514	須恵器	坏	－	(2.3)	[7.8]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	20%　PL71
515	須恵器	坏	－	(3.9)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL71
516	須恵器	坏	－	(4.4)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL71
517	須恵器	坏	－	(2.7)	－	長石・石英	灰黄褐	普通	ロクロナデ　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL71
518	須恵器	坏	－	(2.0)	－	長石・石英	灰黄褐	普通	ロクロナデ　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL71
519	須恵器	坏	－	(2.1)	－	長石・石英	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL71
520	須恵器	坏	－	(4.2)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL71
521	須恵器	坏	－	(4.1)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL71
522	須恵器	坏	－	(4.5)	－	長石・石英・雲母	暗灰黄	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□（川ヵ）」	西部覆土中	5％　PL71
523	須恵器	坏	－	(3.0)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL71
524	須恵器	坏	－	(2.5)	－	長石・石英	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL71
525	須恵器	坏	－	(3.6)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL71
526	須恵器	坏	－	(3.1)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL72
527	須恵器	坏	－	(2.9)	－	長石・雲母	灰黄褐	普通	ロクロナデ　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL72
528	須恵器	坏	－	(3.5)	－	長石・石英	灰黄褐	普通	ロクロナデ　墨書「□（川ヵ）」	西部覆土中	5％　PL72
529	須恵器	坏	－	(2.9)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL72
530	須恵器	坏	－	(2.2)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	ロクロナデ　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL72
531	須恵器	坏	－	(3.9)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL72
532	須恵器	坏	－	(2.7)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL72
533	須恵器	坏	－	(2.5)	－	長石・雲母	黄灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL72
534	須恵器	坏	－	(3.2)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL72
535	須恵器	坏	－	(2.2)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL72
536	須恵器	坏	－	(3.0)	－	長石・石英・雲母	暗灰黄	普通	ロクロナデ　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL72
537	須恵器	坏	－	(3.0)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	10%　PL72
538	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL72
539	須恵器	坏	－	(2.5)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	10%　PL72
540	須恵器	坏	－	－	－	長石・雲母	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL72
541	須恵器	坏	－	(1.0)	－	長石・石英	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL72
542	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL72
543	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英	褐灰	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL72
544	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	灰黄	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL72
545	須恵器	坏	－	(0.8)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL72
546	須恵器	坏	－	－	－	長石・雲母	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL72
547	須恵器	坏	－	(0.9)	－	石英・雲母	灰黄褐	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL72
548	須恵器	坏	－	(1.9)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	東部覆土中	10%　PL72
549	須恵器	坏	－	(1.9)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（井ヵ）」	西部覆土中	10%　PL72
550	須恵器	坏	－	(1.4)	－	長石・雲母	灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	10%　PL72
551	須恵器	坏	－	(0.9)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	10%　PL72
552	須恵器	坏	－	(1.4)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（田ヵ）□」	西部覆土中	10%　PL72
553	須恵器	坏	－	(1.2)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL73
554	須恵器	坏	－	(1.1)	－	長石・石英	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL73
555	須恵器	坏	－	(1.8)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL73
556	須恵器	坏	－	(1.6)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「前」	西部覆土中	10%　PL73
557	須恵器	坏	－	(3.9)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「郡ヵ」	西部覆土中	10%　PL73
558	須恵器	坏	－	(2.6)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	10%　PL73

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
559	須恵器	坏	－	(1.5)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL73
560	須恵器	坏	－	(1.7)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL73
561	須恵器	坏	－	(0.9)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL73
562	土師器	坏	－	(3.3)	6.5	長石・雲母	にぶい黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	50%　PL73
563	土師器	坏	－	(4.1)	－	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　墨書「□」	西部覆土中	10%　PL73
564	土師器	坏	－	(3.2)	－	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	内面ヘラ磨き　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL73
565	土師器	坏	－	(2.2)	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	内面ヘラ磨き　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL73
566	土師器	坏	－	(2.3)	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL73
567	須恵器	高台付坏	－	(2.4)	[9.8]	長石・石英・雲母	灰褐	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□」	東部覆土中	20%　PL73
568	土師器	高台付椀	12.8	4.4	6.2	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　内面ヘラ磨き　墨書「□□」	西部下層	80%　PL34・73
569	土師器	皿	－	(1.9)	－	長石・雲母	にぶい黄橙	普通	内面ヘラ磨き　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL73

番号	器　種	長さ	径	孔径	重量	胎　土	色　調	特　徴	出土位置	備　考
DP 1	管状土錘	3.6	1.3	0.3	5.0	長石	にぶい黄橙	ナデ　一方向からの穿孔	西部下層	PL34

番号	種　別	器　種	長さ	幅	厚さ	材　質	特　徴	出土位置	備　考
W 94	容器	甑底板	(10.2)	4.4	1.0	ヒノキ	板目　釘綴じ　釘穴１か所　中央部に円孔　径（2.0）cm	東部下層	PL34
W 95	容器	円形曲物・底板	(13.7)	(3.4)	0.6	針葉樹	柾目　皮綴じ	東部覆土中	
W 96	容器	円形曲物・底板	(17.1)	(4.8)	0.8	針葉樹	板目　皮綴じ　片面刃物痕	中央部下層	PL34
W 97	容器	円形曲物・底板	(18.6)	(2.1)	0.7	ヒノキ	板目　片面刃物痕	中央部下層	
W 98	容器	円形曲物・蓋板	20.4	(11.0)	0.9	ヒノキ	板目　中央部に円孔　径 2.4cm　片面刃物痕	東部覆土中	PL34
W 99	容器	円形曲物・底板	(25.0)	(13.2)	1.0	ヒノキ	柾目　皮綴じ　円孔１か所　径 0.5cm　片面刃物痕	中央部下層	PL34
W 100	食事具	箸ヵ	(8.4)	0.4	0.2	ヒノキ	柾目　断面方形	西部下層	PL34

第２号遺物集中地点（第 83 ～ 128 図）

位置　調査区南部のＴ 10a3 区からＴ 10c9 区にかけて，標高 13 ～ 15 ｍの埋没谷部に位置している。

重複関係　第 205 ～ 211 号井戸跡，第 562 号溝跡を掘り込み，第 212 号井戸跡の上部に形成されている。また，第 204 号井戸，第 91 号堀，第 556・560 号溝に掘り込まれ，上部に第１号遺物集中地点が形成されている。

規模と形状　埋没谷部の湧水点と谷底部を溝状に掘り広げて構築されており，西部には作業場とみられる木組み部が設置されている。Ｔ 10a3 区から南東方向（Ｎ－ 136°－Ｅ）へ延びて，Ｔ 10b6 区で緩やかに屈曲して東南東方向（Ｎ－ 100°－Ｅ）へ延びている。北西部が第 204 号井戸に掘り込まれており，南東側が調査区域外へ延びているため，長さは 25.05 ｍしか確認できなかった。幅は，西部が上幅 9.73 ｍ，下幅 6.04 ｍで，南東側が調査区域外に延びているため不明であるが，南側の平成 17 年度調査区において，７世紀中葉から９世紀前葉の住居跡（第 2741・2742・2810 号住居跡）が確認されていることから，上幅は７～９ｍほどと推定できる。確認面からの深さは 42 ～ 114cmで，第１号遺物集中地点の覆土を除去した面からの深さは 32 ～ 67 cmである。断面形は浅い逆台形で，壁は外傾して立ち上がっている。底部は常総粘土層を掘り込んでおり，湧水が認められる。底面は，流水による浸食のため凹凸があり，標高は 13.0 ～ 14.0 ｍである。また，北・南部の肩部からは，古い時期の土器片がまとまって出土していることから，肩部には掘削された排土が周堤状に巡っていたと推定できる。常総粘土ブロックを多く含んでいる第 10 層はその痕跡と考えられる。

木組み部は，北西部のＴ 10a4 区に位置している。北西部が第 204 号井戸に掘り込まれており，東部がトレンチ掘削のため，長さは 6.05 ｍしか確認できなかった。上幅 3.56 ～ 4.02 ｍ，下幅 1.34 ～ 1.96 ｍで，壁高は 15 ～ 58cmである。壁は流向方向（Ｎ－ 15 ～ 42°－Ｗ）に２～３段の丸太材が積み上げられており，列状に打設された杭で固定されている。底部は流向と直交する方向に木材が敷き並べられている。上部は敷設方向が

N－60°－Eで，樹皮が付いたままの丸太材が多く用いられている。下部は敷設方向がN－40°－Eで，柱や梁などの建築用材が転用されている。したがって，二時期の使用面が想定できる。

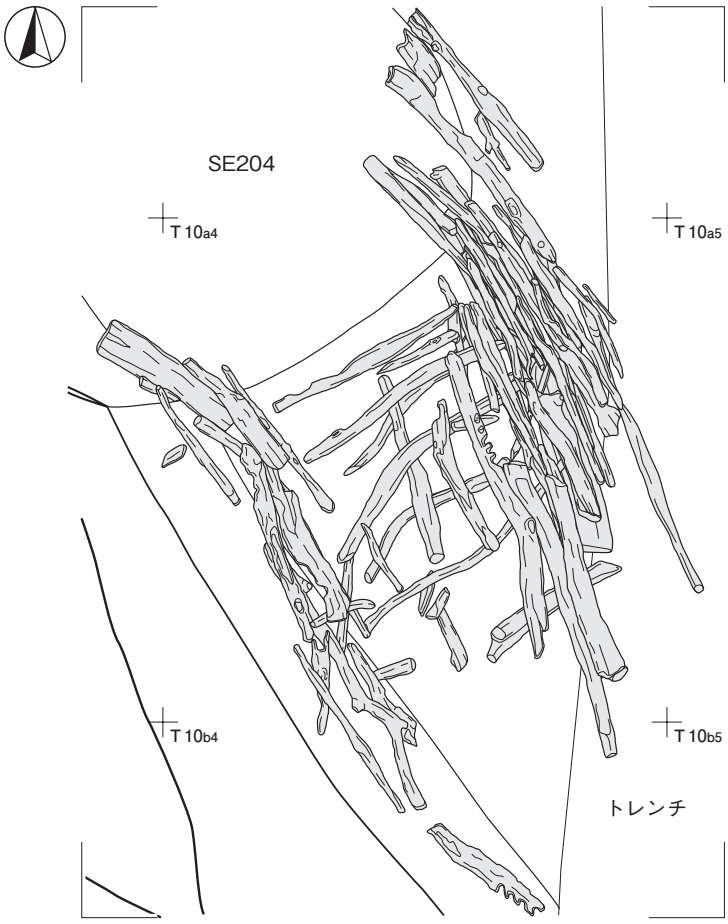
覆土　上層がオリーブ黒色粘質土，下層が黒色粘土を主体とした自然堆積である。当初は沼地状に滞水した状態であり，埋没が進むにつれて，一時的に地表化する湿地のような環境へと変化している。

土層解説

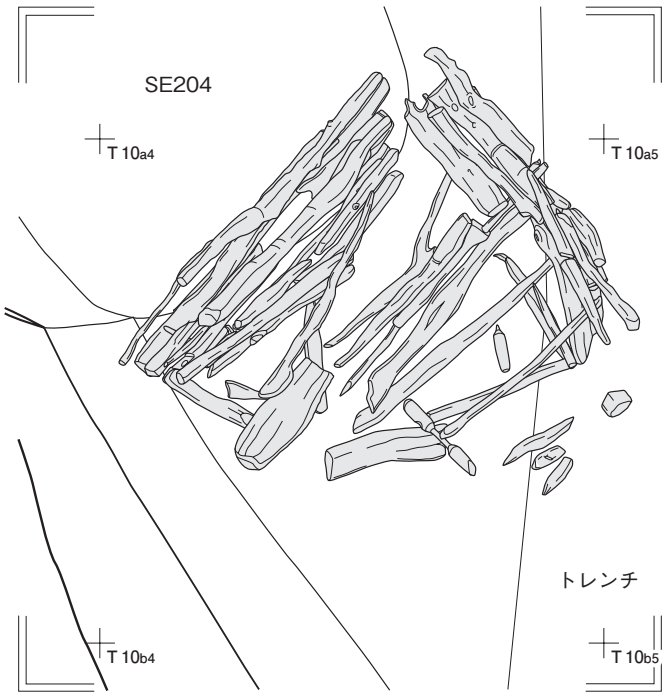
1　オリーブ黒色　粘質土　細砂の薄層を互層状に挟む
2　オリーブ黒色　粘質土　細砂少量
3　黒　　色　粘質土　粗砂少量，礫微量
4　黄　灰　色　粘土　粗砂少量
5　オリーブ黒色　粘土　粗砂微量
6　黒　　色　粘土　粗砂少量
7　黒　　色　粘土　常総粘土ブロック多量
8　黒　褐　色　粘質土　焼土ブロック・炭化物・ローム粒子・礫～粗砂少量
9　黒　褐　色　粘質土　礫～粗砂少量，焼土粒子・常総粘土ブロック微量
10　黒　褐　色　粘土　常総粘土ブロック多量
11　暗オリーブ褐色　粘質土　焼土粒子・鉄分沈着微量

遺物出土状況　土師器6,429点（古墳時代坏2,969, 奈良時代坏224, 平安時代坏15, 高台付椀４, 高坏11, 皿３, 高台付皿２，鉢12，甕3,182，甑１，手捏土器６），須恵器7,873点（古墳時代坏31，奈良時代坏698，平安時代坏155，不明坏3,894，高台付坏318，盤98，高盤２，蓋268，壺・瓶63，鉢107，甕2,222，甑12，円面硯５），土製品５点（土玉１，紡錘車１，支脚１，羽口２），石器３点（紡錘車１，砥石２），鉄滓９点（125.7 g），椀状滓１点（287.1 g），木器・木製品375点（鍬先２，柄４，横槌２，竪杵５，弓ヵ１，横櫛１，甑底板１，挽物高台付坏１，挽物皿１，刳物皿２，曲物底板11，曲物蓋板２，曲物甑底板２，曲物側板６，曲物篩ヵ１，刀形１，杭35，荷札状木製品２，斎串ヵ１，建築用材14，加工木280），自然遺物647点（桃核602，ヒョウタン12，クリ12，クルミ３，ヤマトシジミ16，ハマグリ１，鹿角１）のほか，木組み部を中心に多数の木材が出土している。また，漆付着土器３点（須恵器坏），油煙付着土器６点（須恵器坏５，須恵器高台付坏１），墨書土器367点, 転用硯２点（須恵器高台付坏）が出土している。墨書土器は,「麻」「麻生」「下麻主」「井上」「器」「大家･田前」「大多□」「小栗」「夫」「可ヵ」「川」「子上山／□」「上□（山ヵ）」「佐」「嶋」「嶋名」「嶋名･臣」「什」「城」「城内ヵ」「新」「新･嶋」「新殿」「千万」「大万」「宅」「多前」「田前」「中家」「長□」「槻」「寺」「十（朱墨）」「淡水」「万」「臣」「臣・名」「山人」「山山」「禾」「卅」などの文字が確認できる。平面的な分布状況は, いずれの器種も西部のＴ10a4区から中央部のＴ10c7区にかけて出土量が多く, 特に木組み部の南部, Ｔ10b4区周辺が最も密である。一方，東部は下流部ほど疎らになっており，Ｔ10b8区以東ではほとんど遺物が出土していない。時期別には，上層から９世紀前葉，下層から８世紀中葉～後葉の土器が出土しており，自然堆積の状況で継続的に廃棄されている。また，７世紀前葉～８世紀前頭の土師器坏は，北・南部の肩部周辺からまとまって出土している。本来，第205～209・211号井戸跡，第562号溝跡などに帰属していたものと考えられ，本跡の構築時に肩部に排土とともに掘り出されたものが流れ込んだ可能性がある。

所見　時期は，出土土器や重複関係から，構築時期が８世紀中葉，廃絶時期が９世紀前葉にそれぞれ比定できる。本跡の変遷については，木組み部の構築前後に大別できる。木組み部の構築以前は，覆土下層から第212号井戸跡と同時期の土器が出土していることから，第212号井戸跡と同時に機能していたと考えられる。木組み部は，第212号井戸跡の上部に位置していることから，軟弱な足場を強化し，壁の崩落を防ぐために敷設されたと考えられる。また，北西部を掘り込んでいる第204号井戸は，井戸枠の寸法から作り替えの状況がうかがえる。したがって，木組み部の構築以後は，第204号井戸の前身となる井戸とともに機能していたと考えられ，木組み部がその作業場であった可能性がある。本跡の性格は，井戸からの湧水が本跡を通じて流れていく水場と捉えることができ，多量の墨書土器や木製品が出土していることから，水場を利用した祭祀の場であったと考えられる。



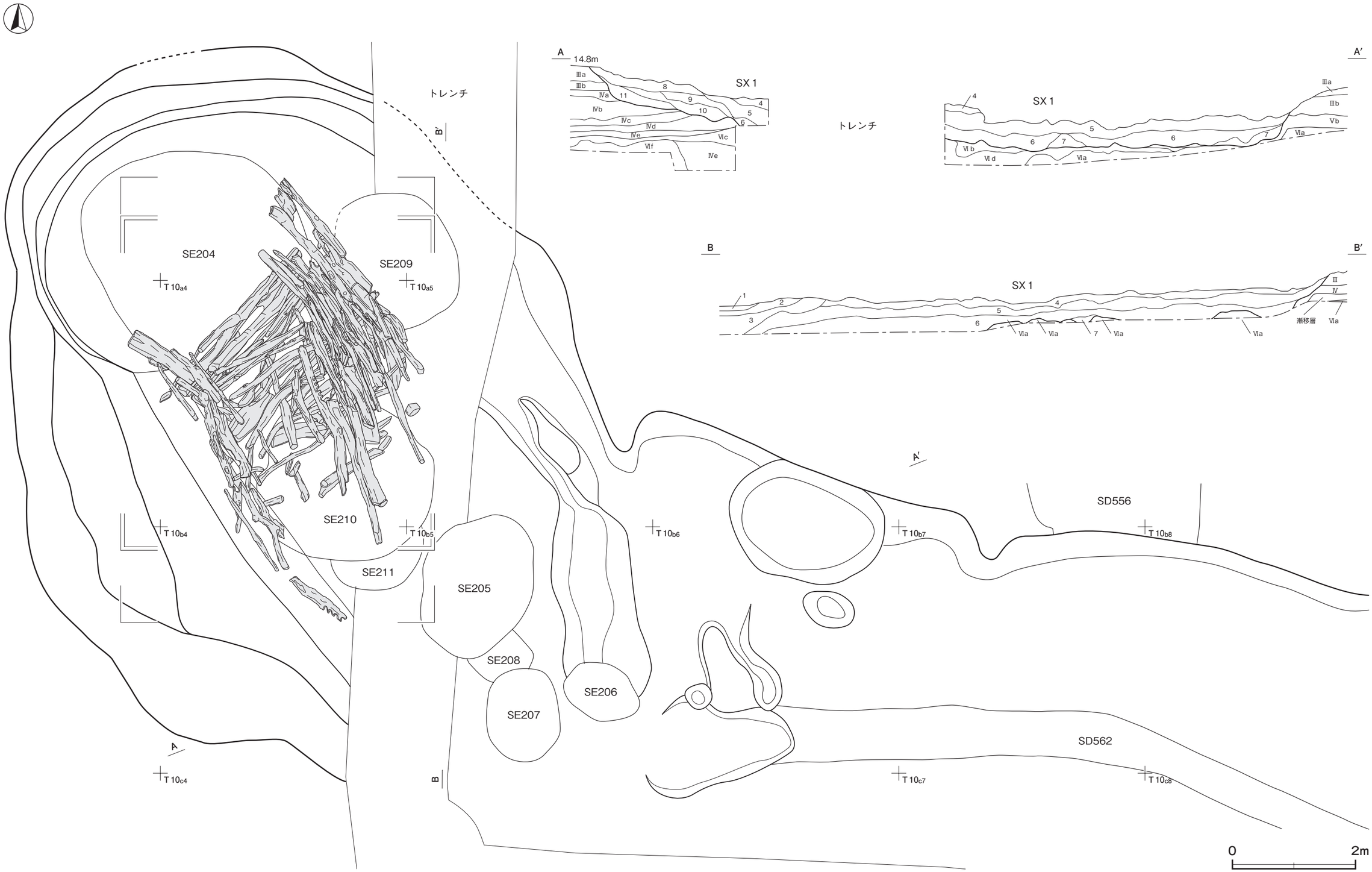
1 次面



2 次面

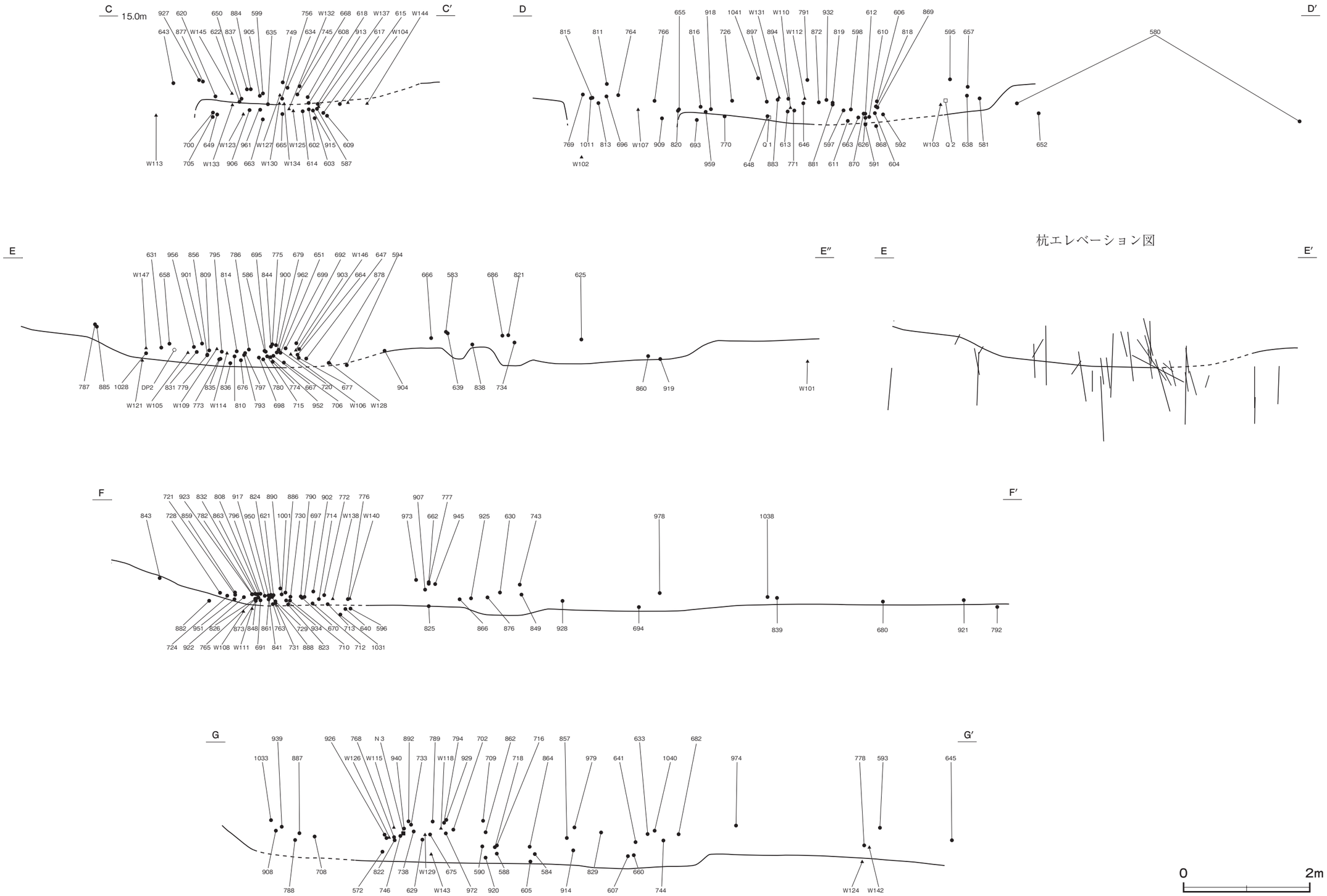
0　2m

第 83 図　第２号遺物集中地点実測図 (1)

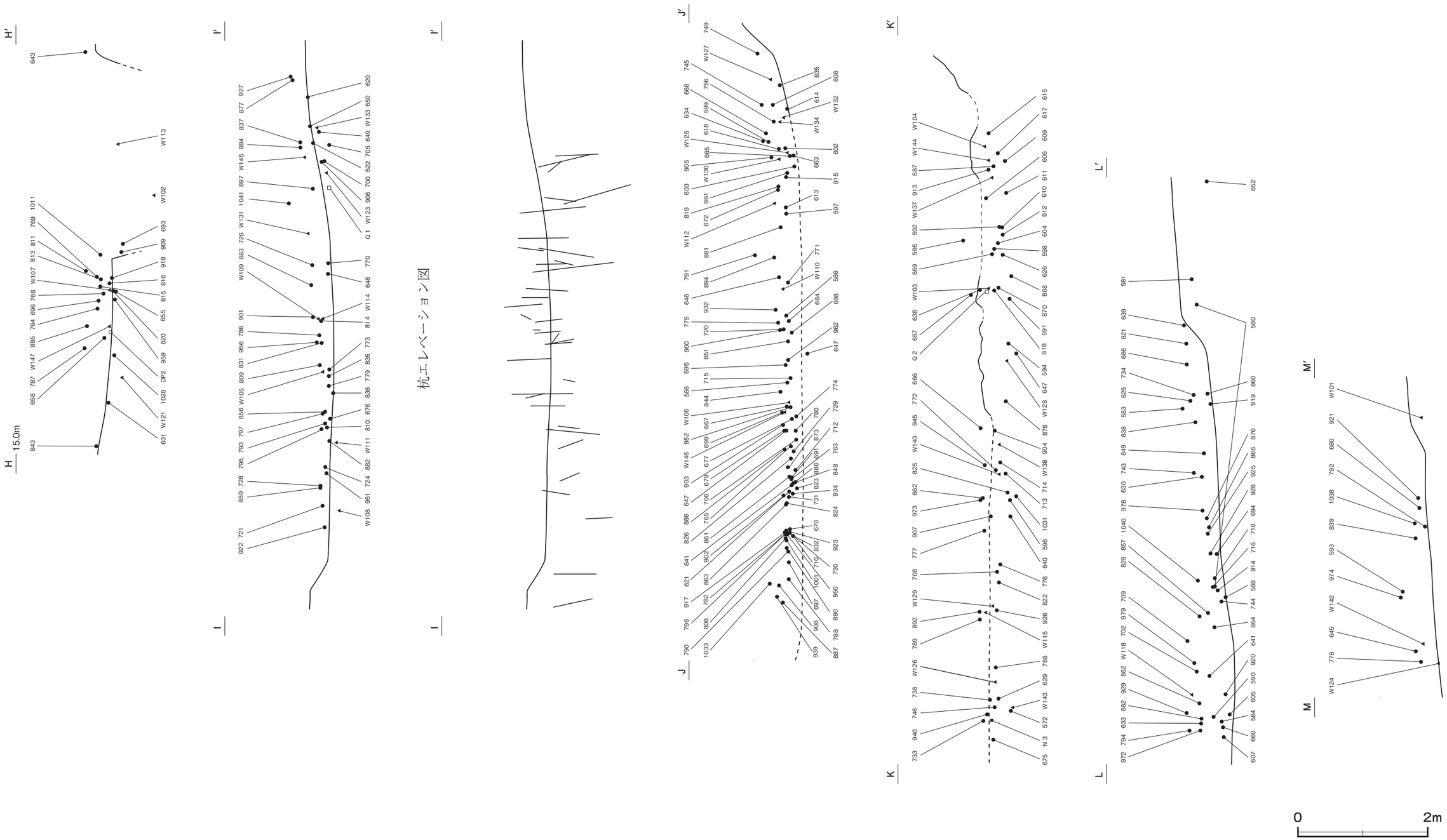


第84図　第2号遺物集中地点実測図(2)

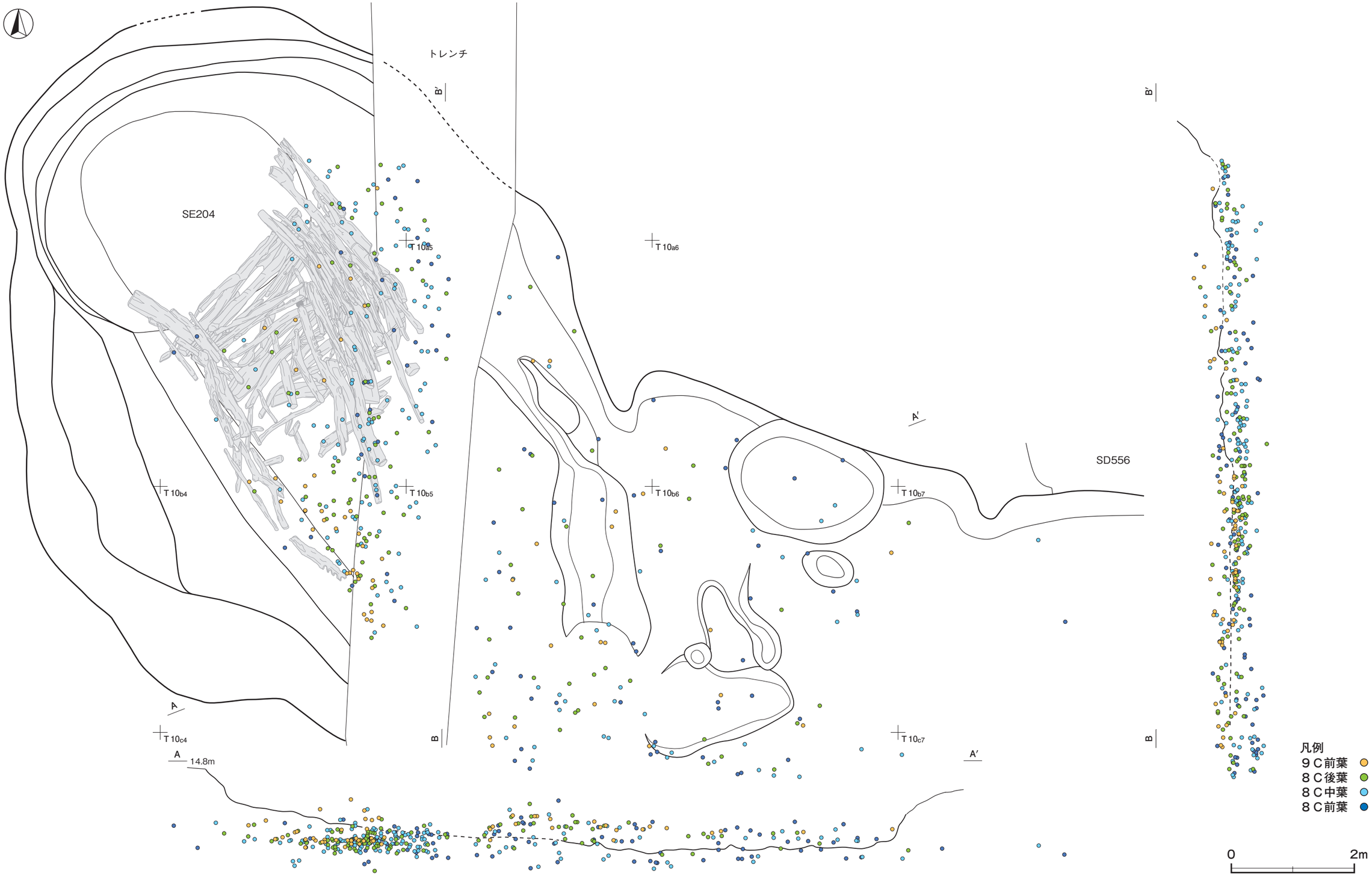
第85図　第2号遺物集中地点遺物出土状況図(1)



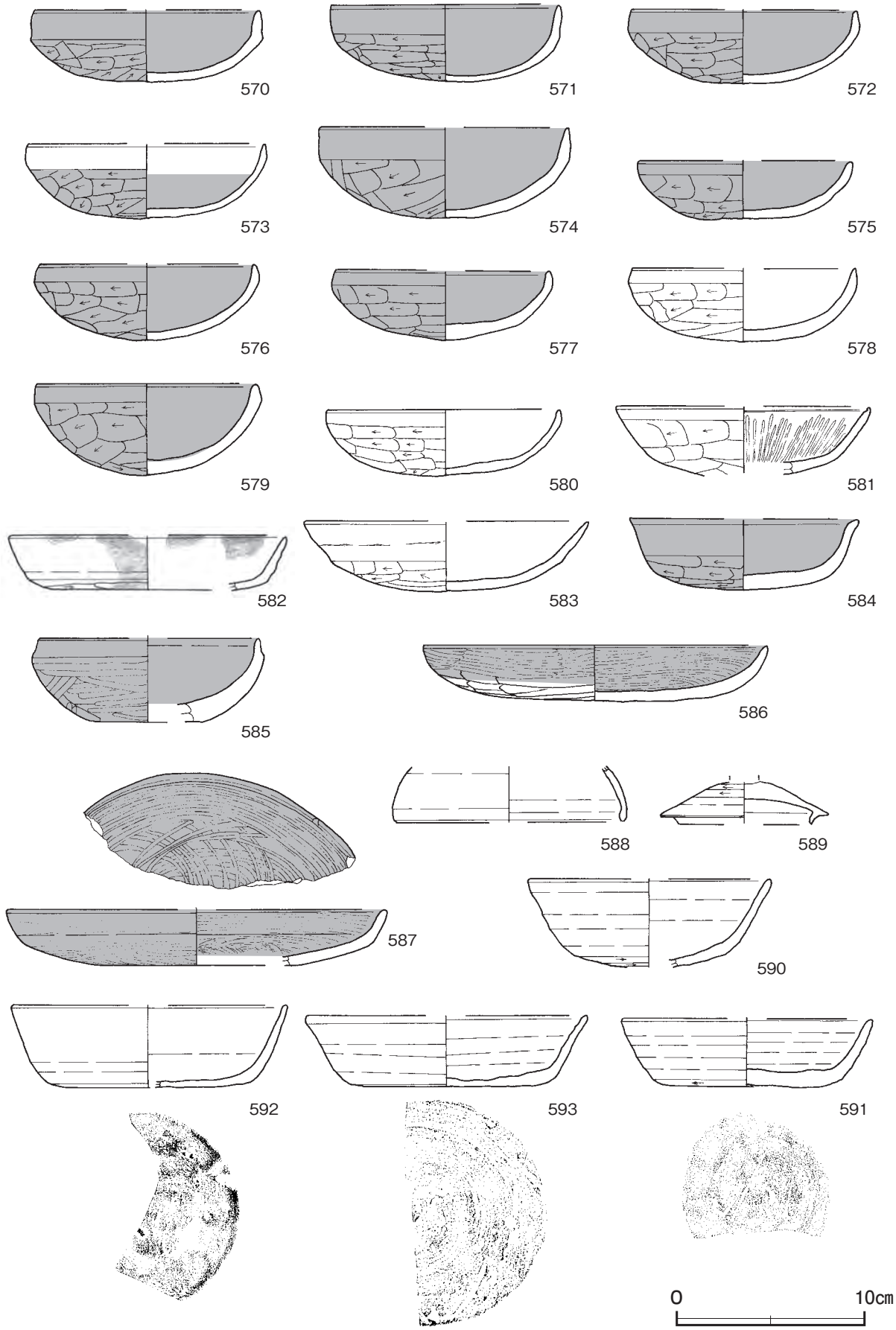
第86図　第2号遺物集中地点遺物出土状況図 (2)



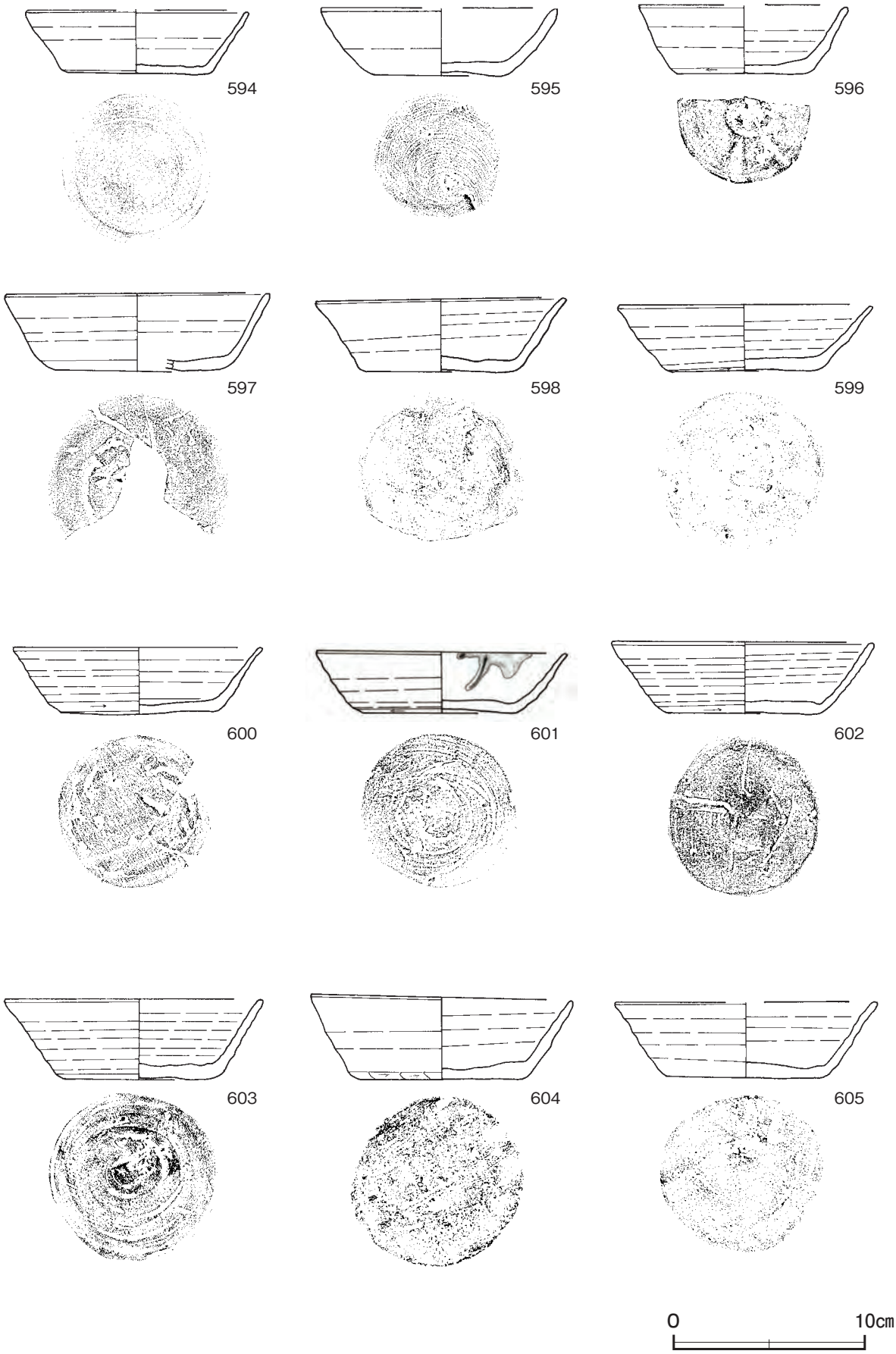
第87図　第2号遺物集中地点遺物出土状況図(3)



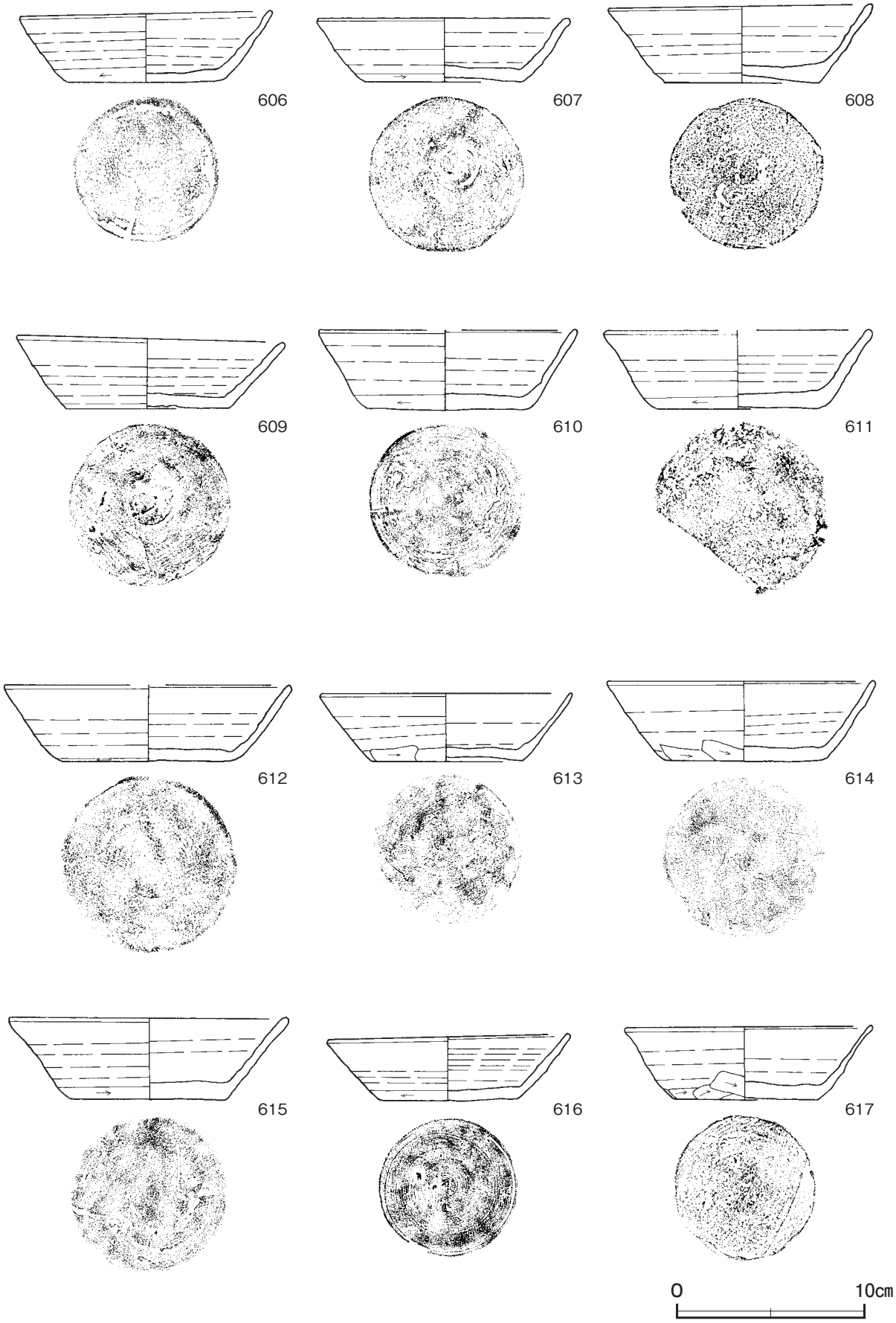
第88図　第2号遺物集中地点遺物出土状況図（4）



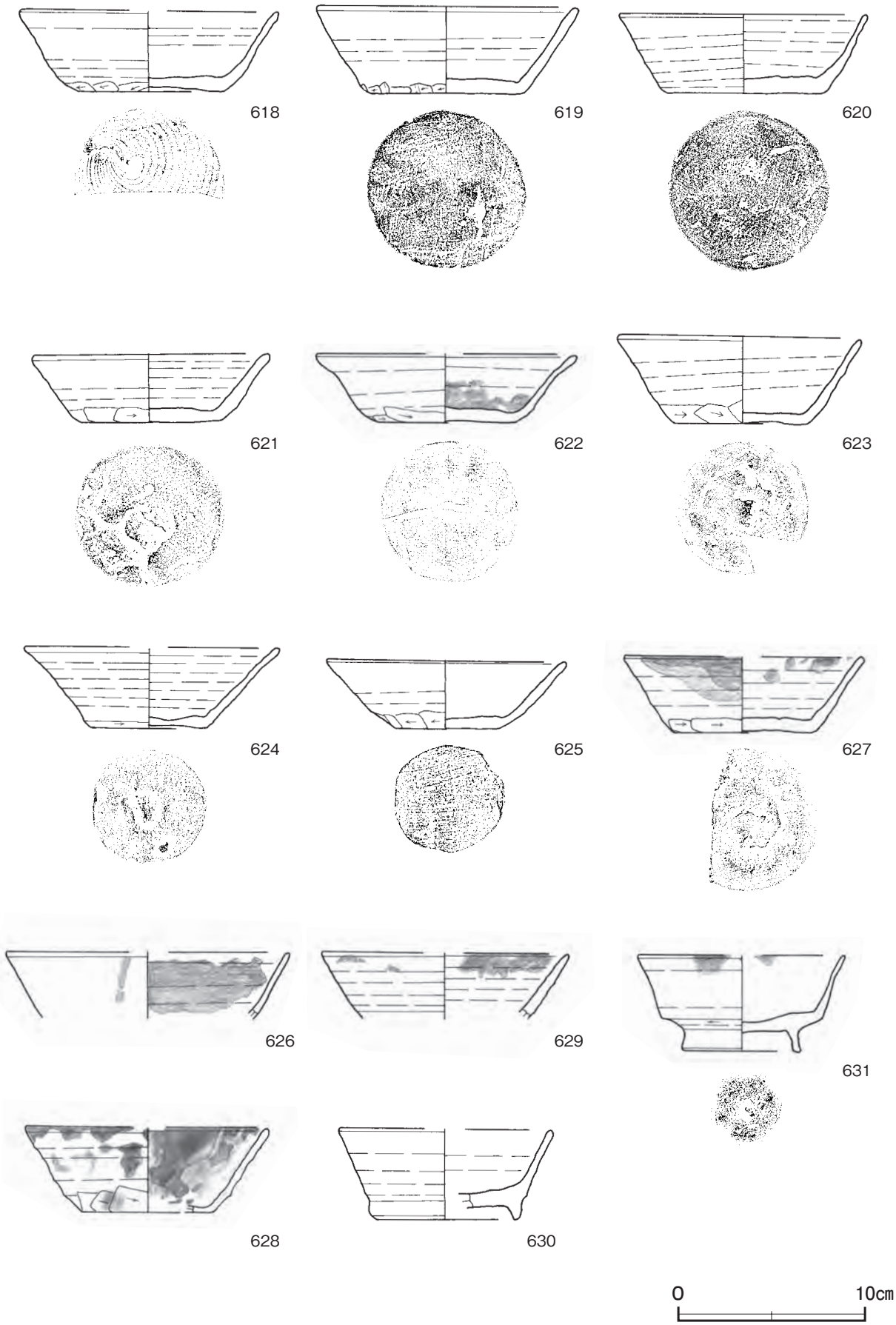
第 89 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図 (1)



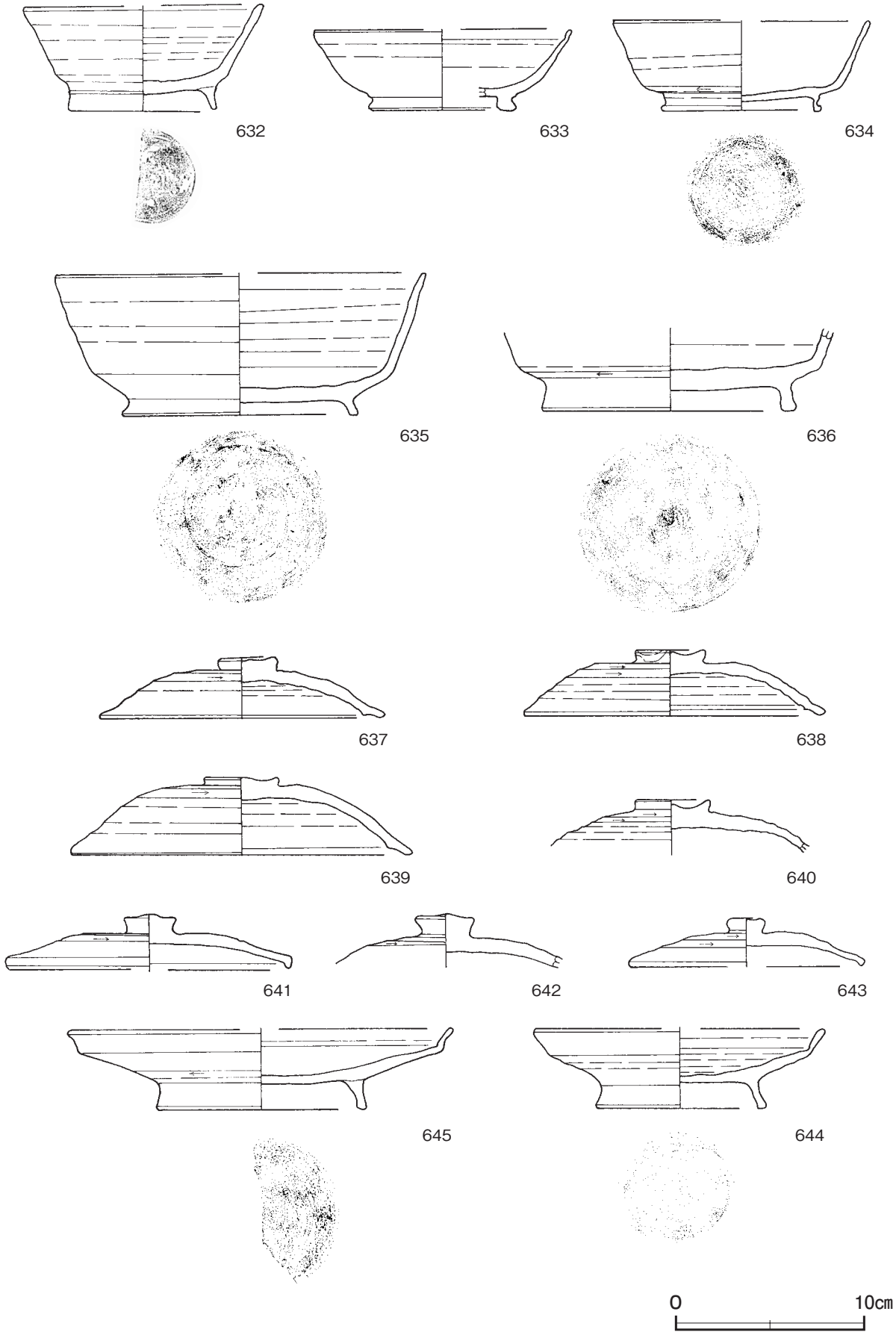
第 90 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図 (2)



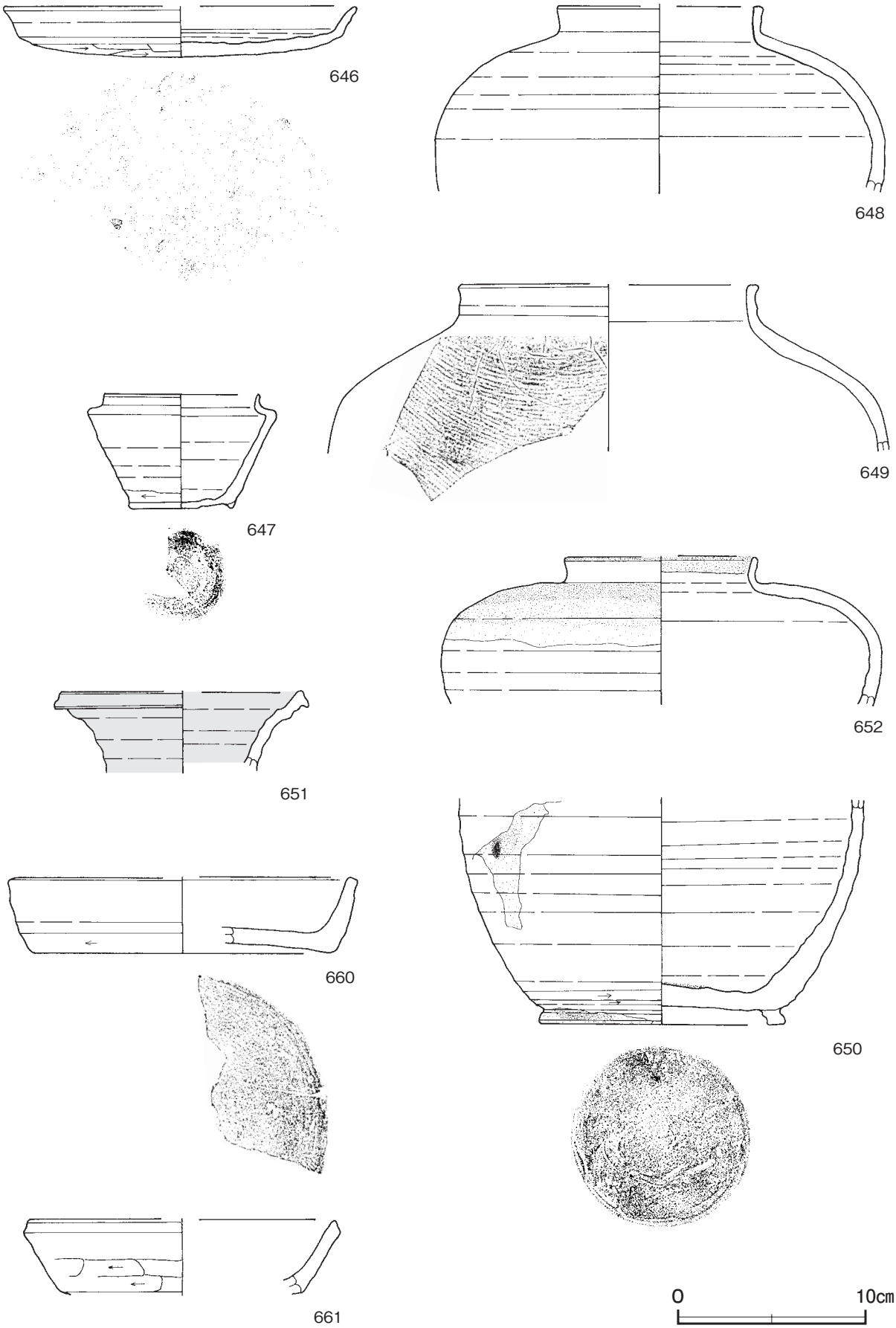
第91図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図(3)



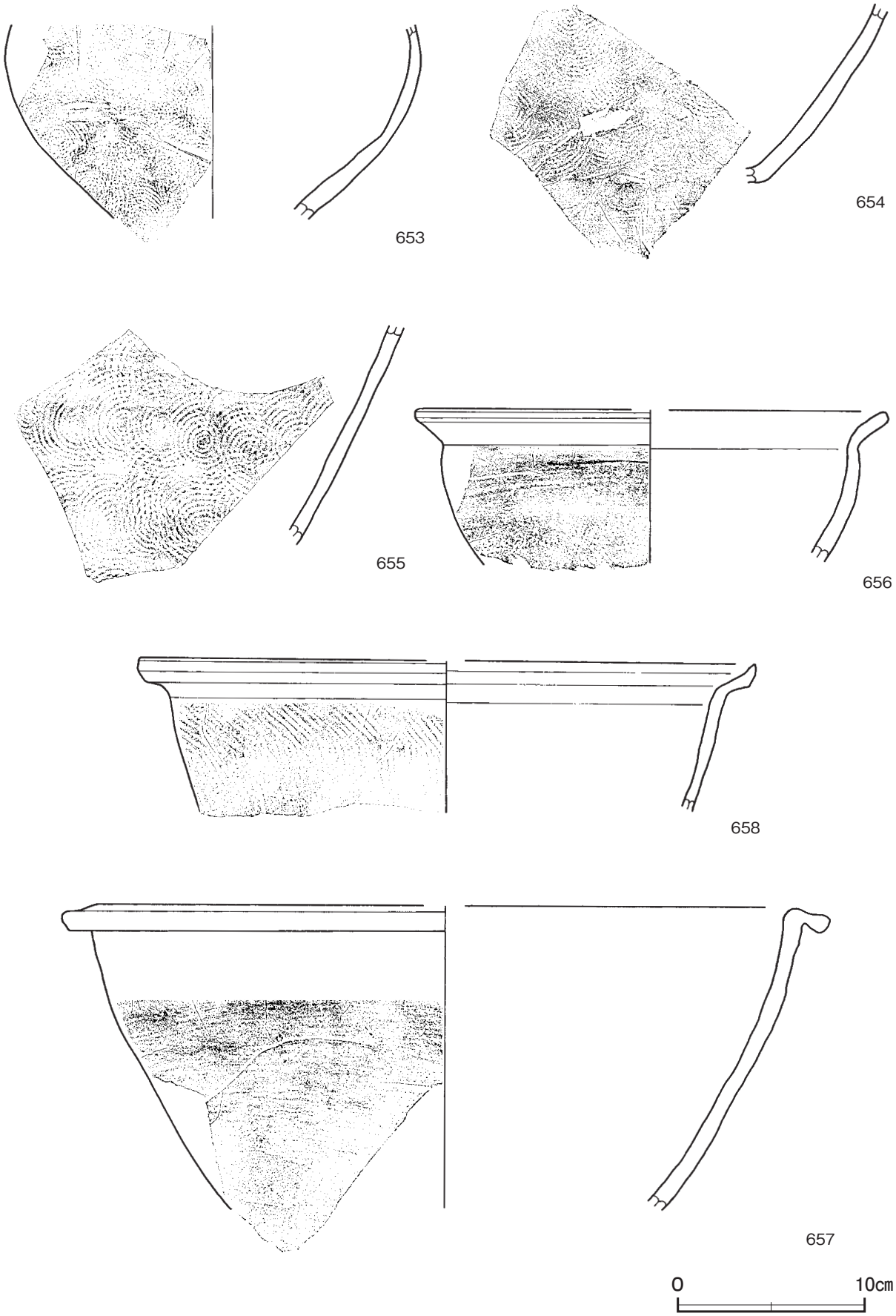
第 92 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図 (4)



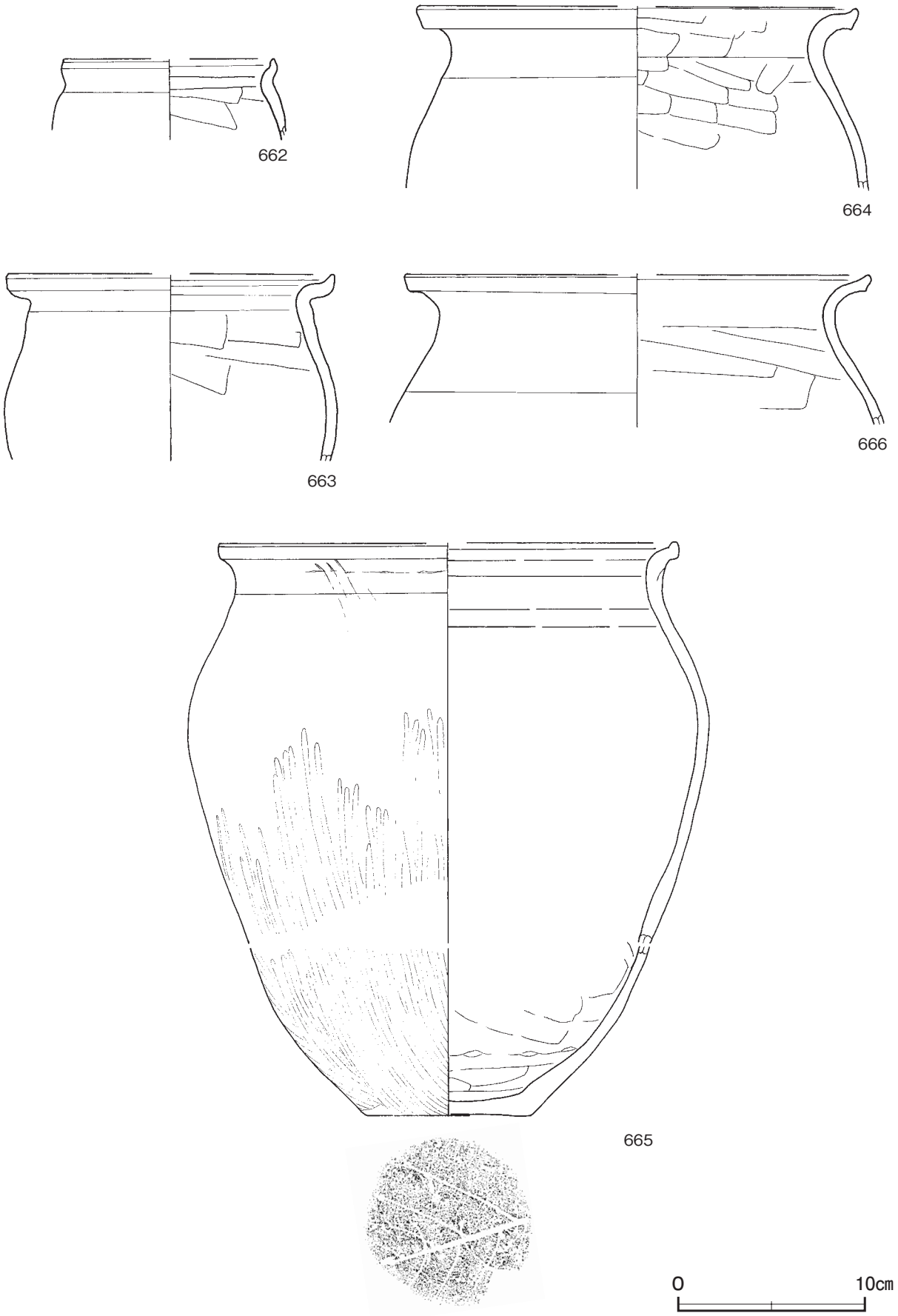
第93図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図(5)



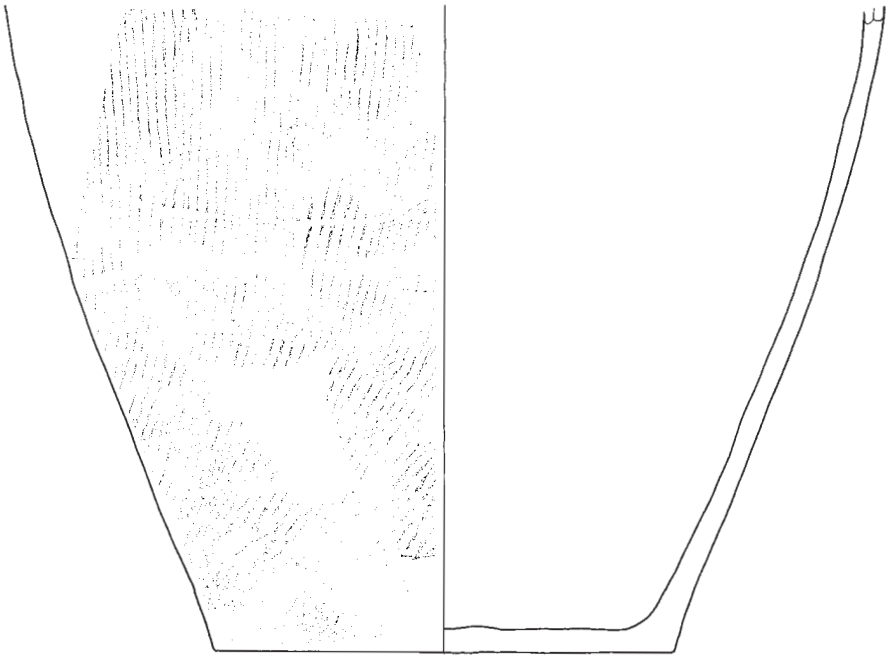
第 94 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図 (6)



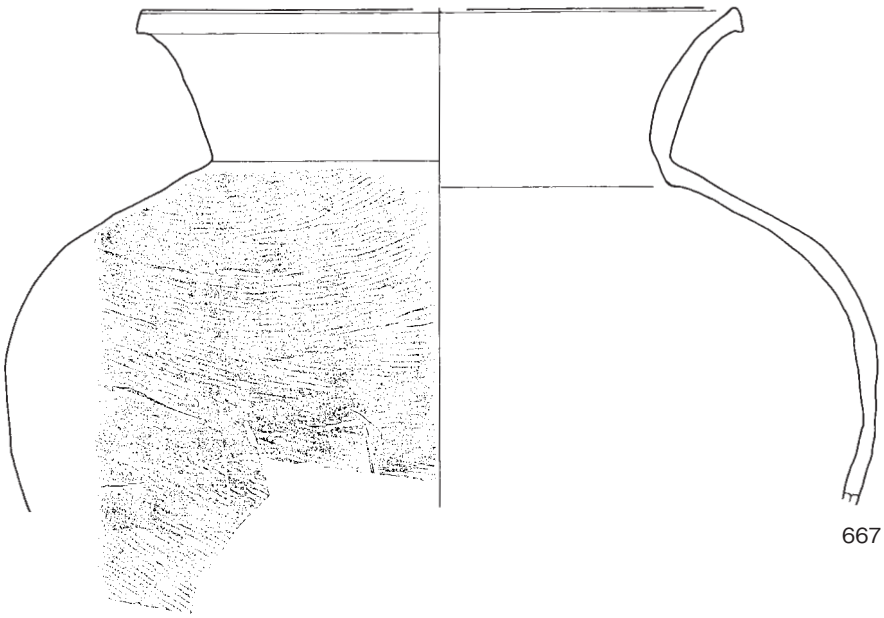
第 95 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図 (7)



第 96 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図 (8)



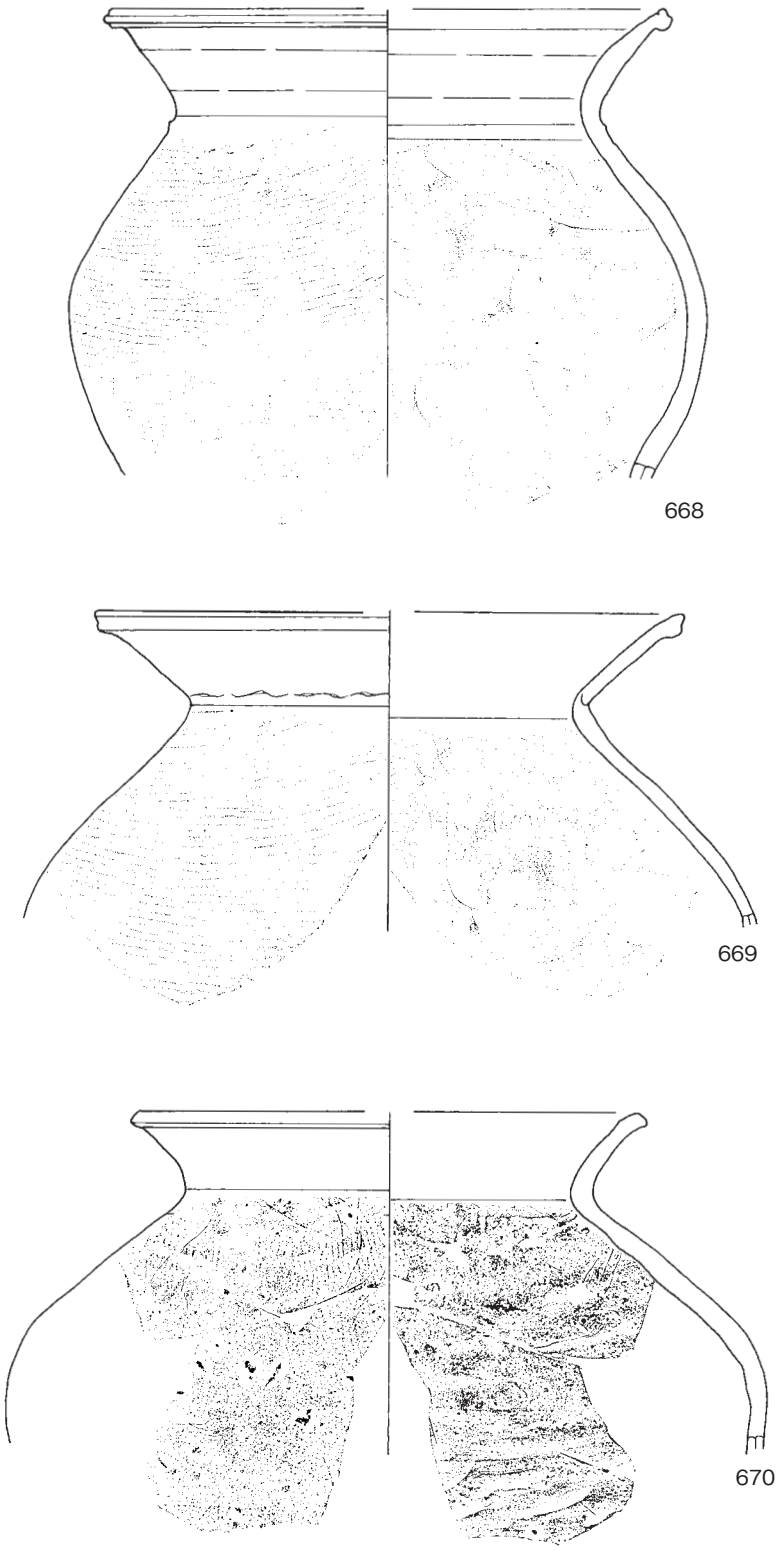
659



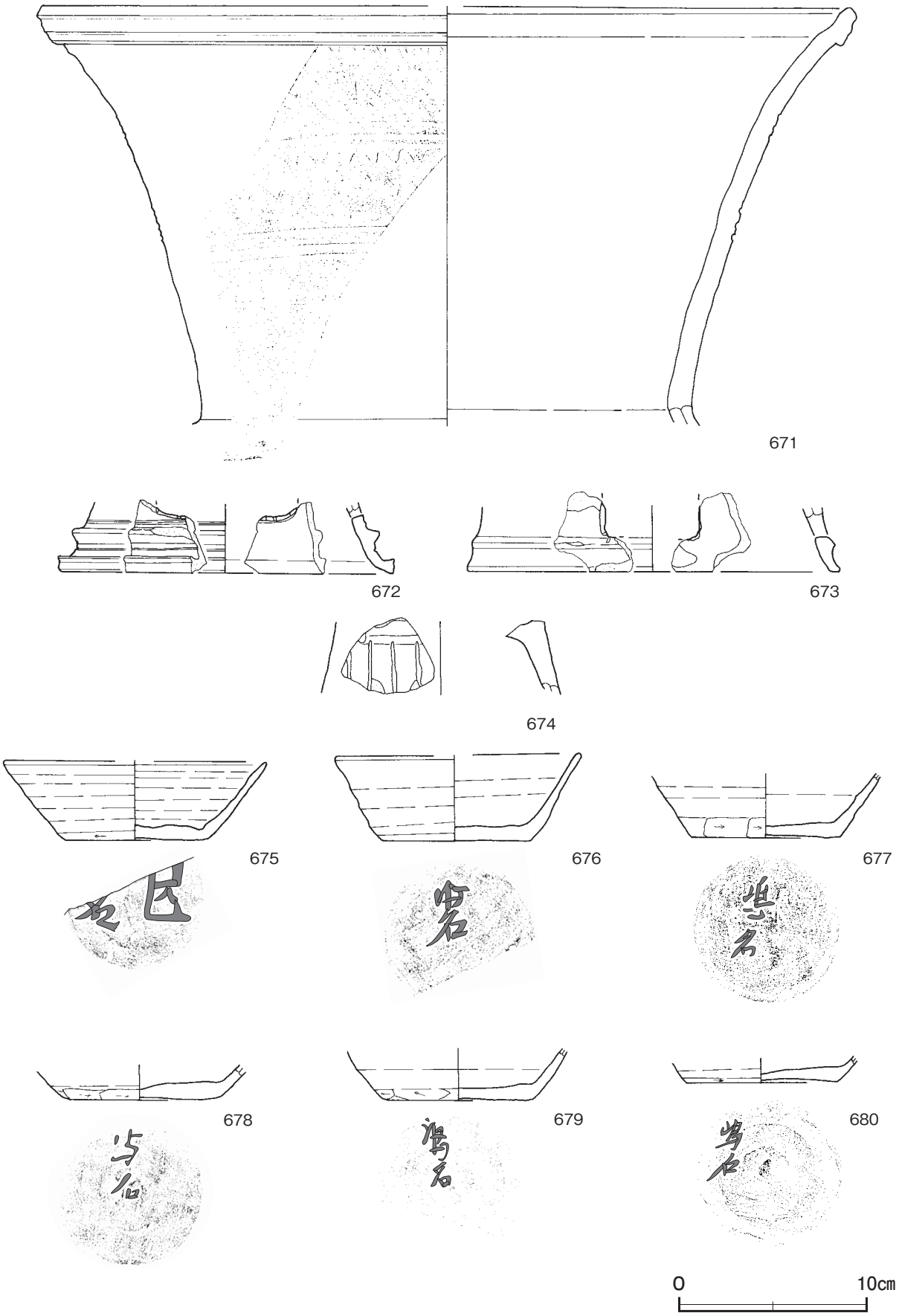
667

0　10cm

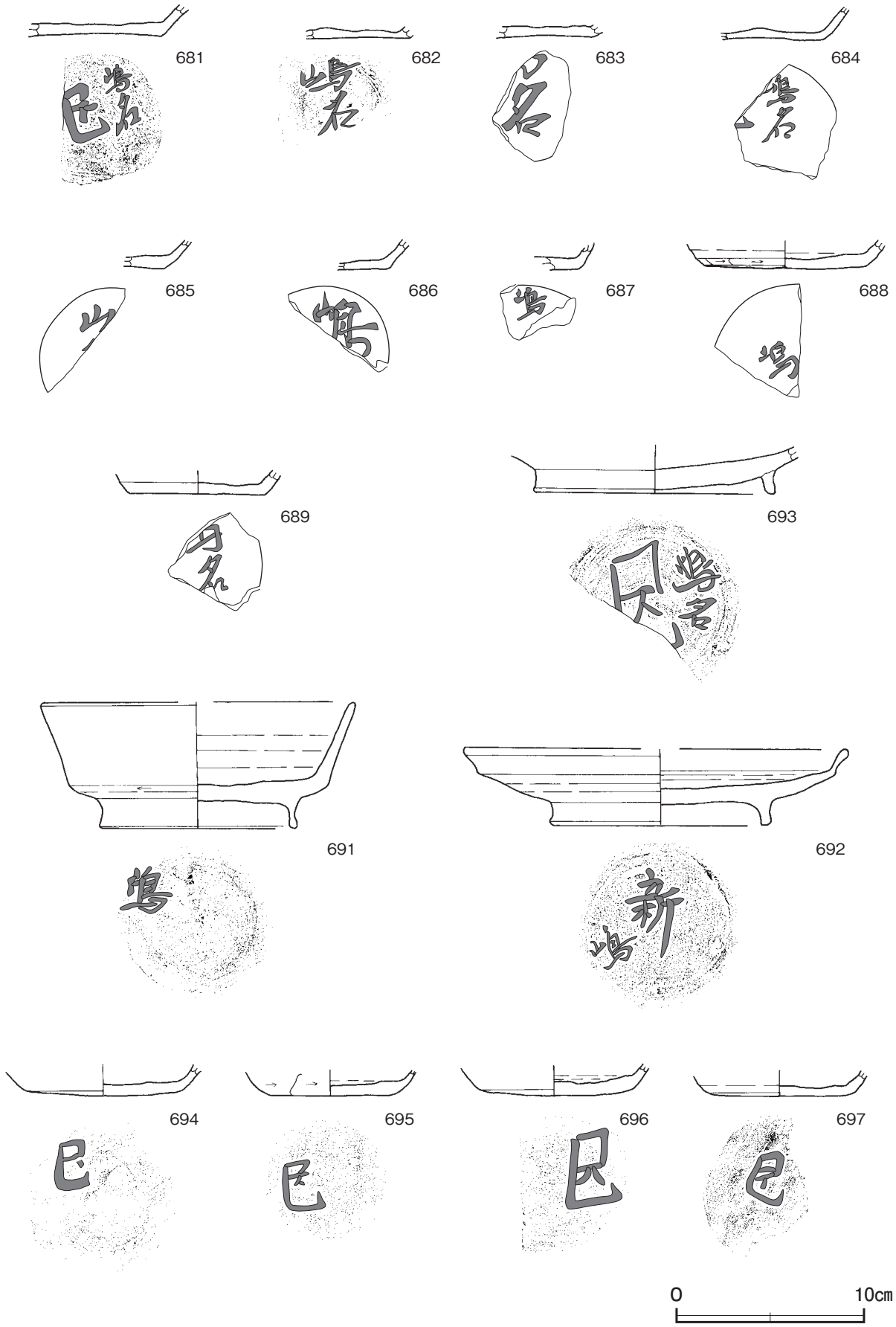
第 97 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図 (9)



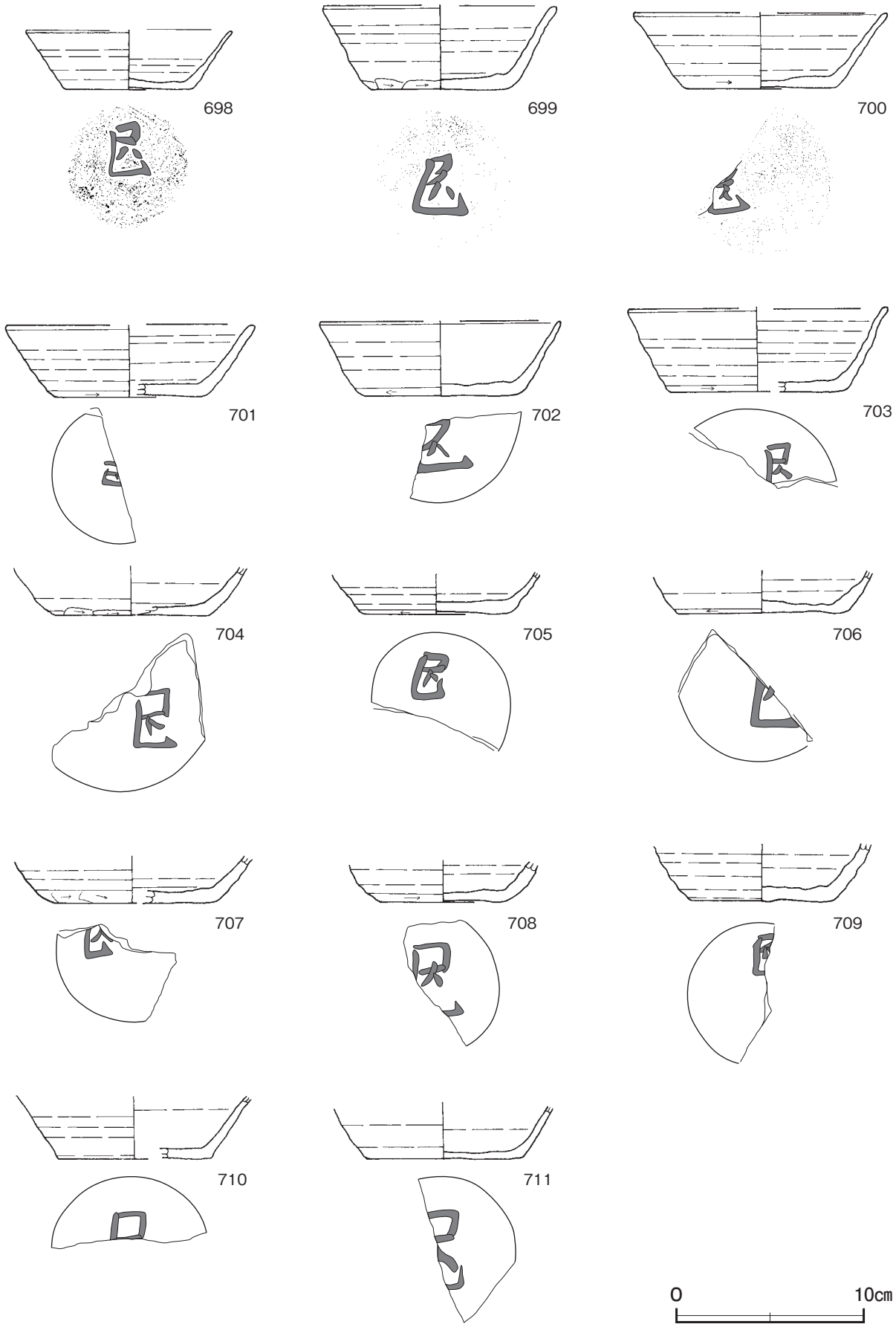
第 98 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図 ⑽



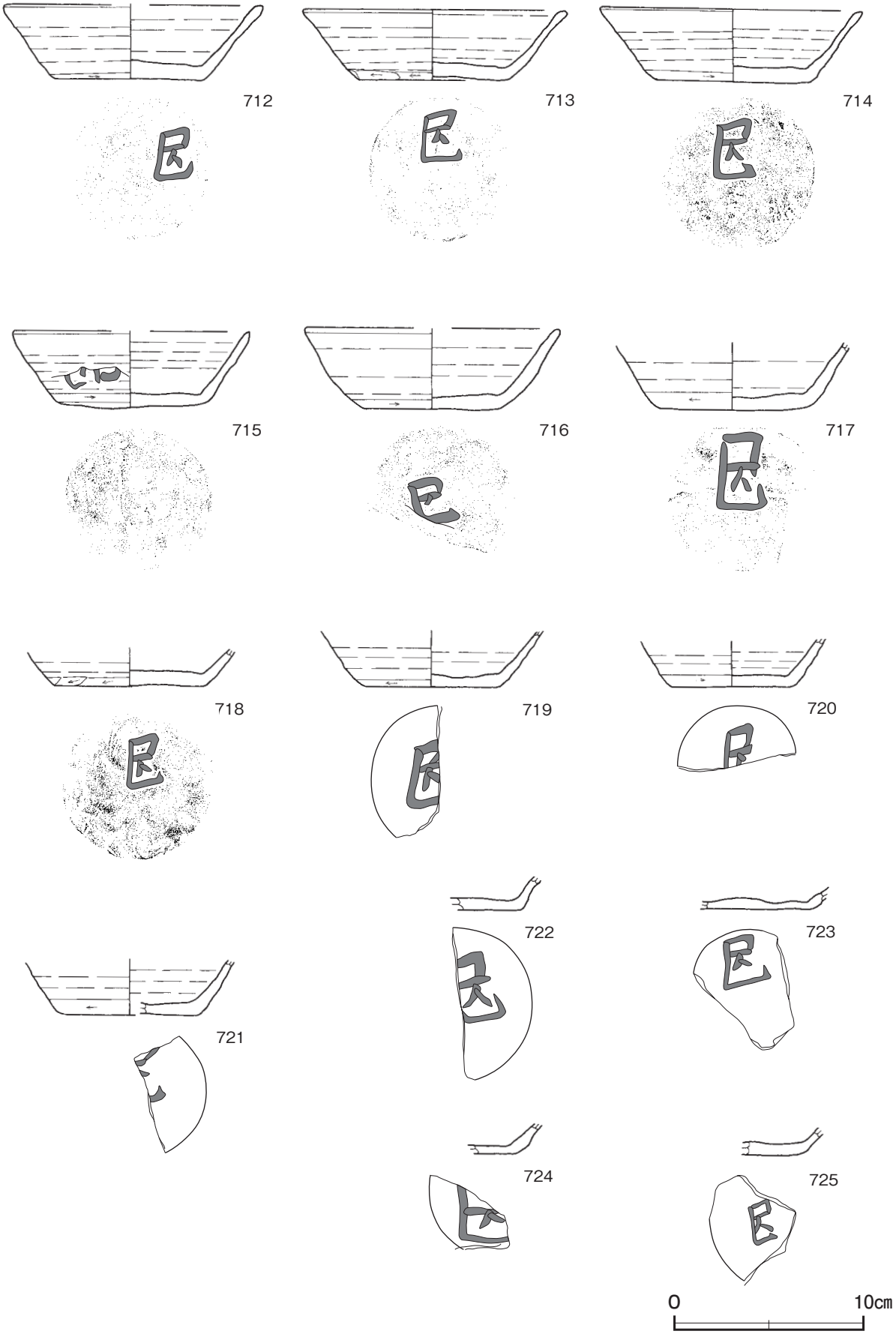
第 99 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図 ⑾



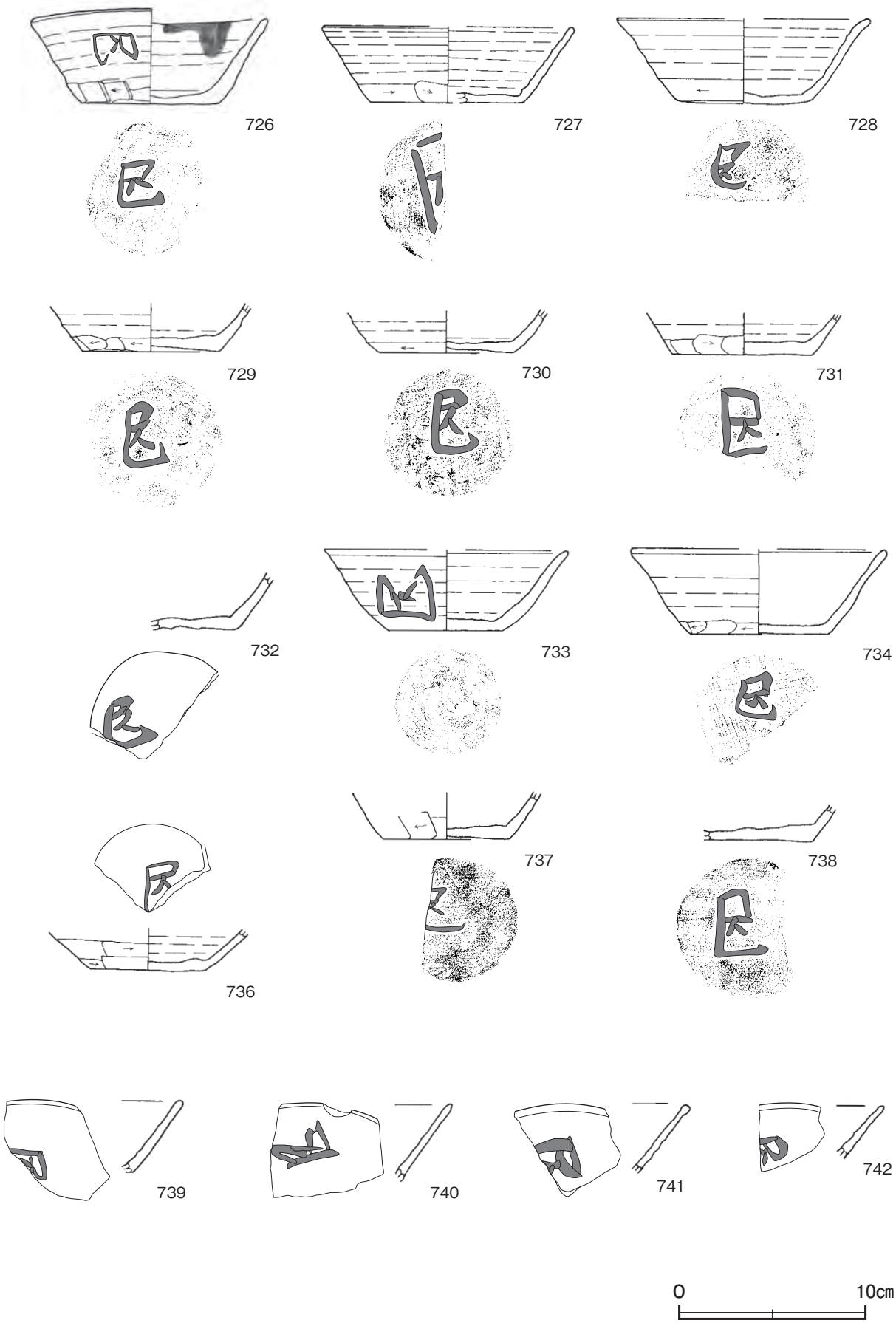
第 100 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図 ⑫



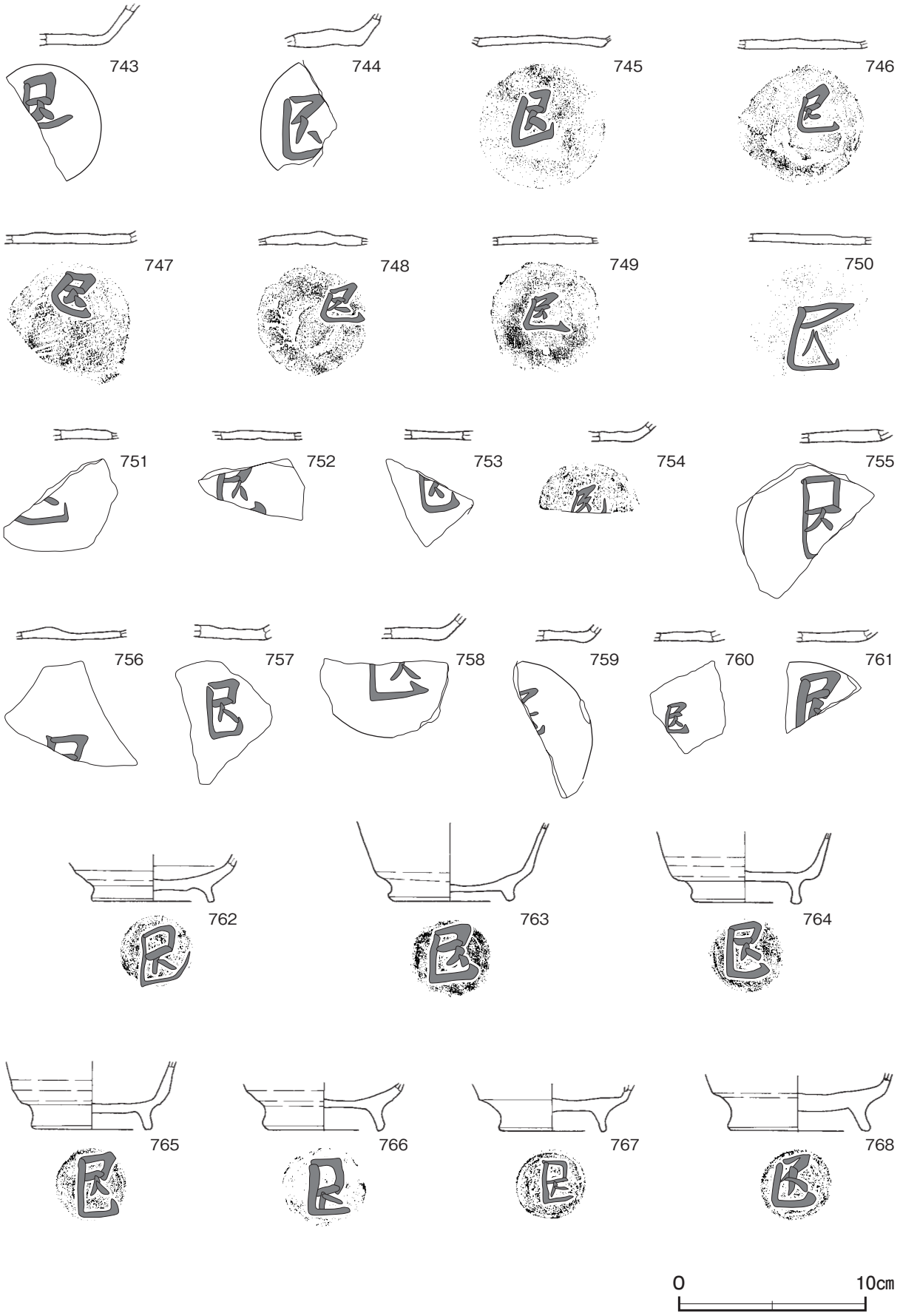
第 101 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図 ⑬



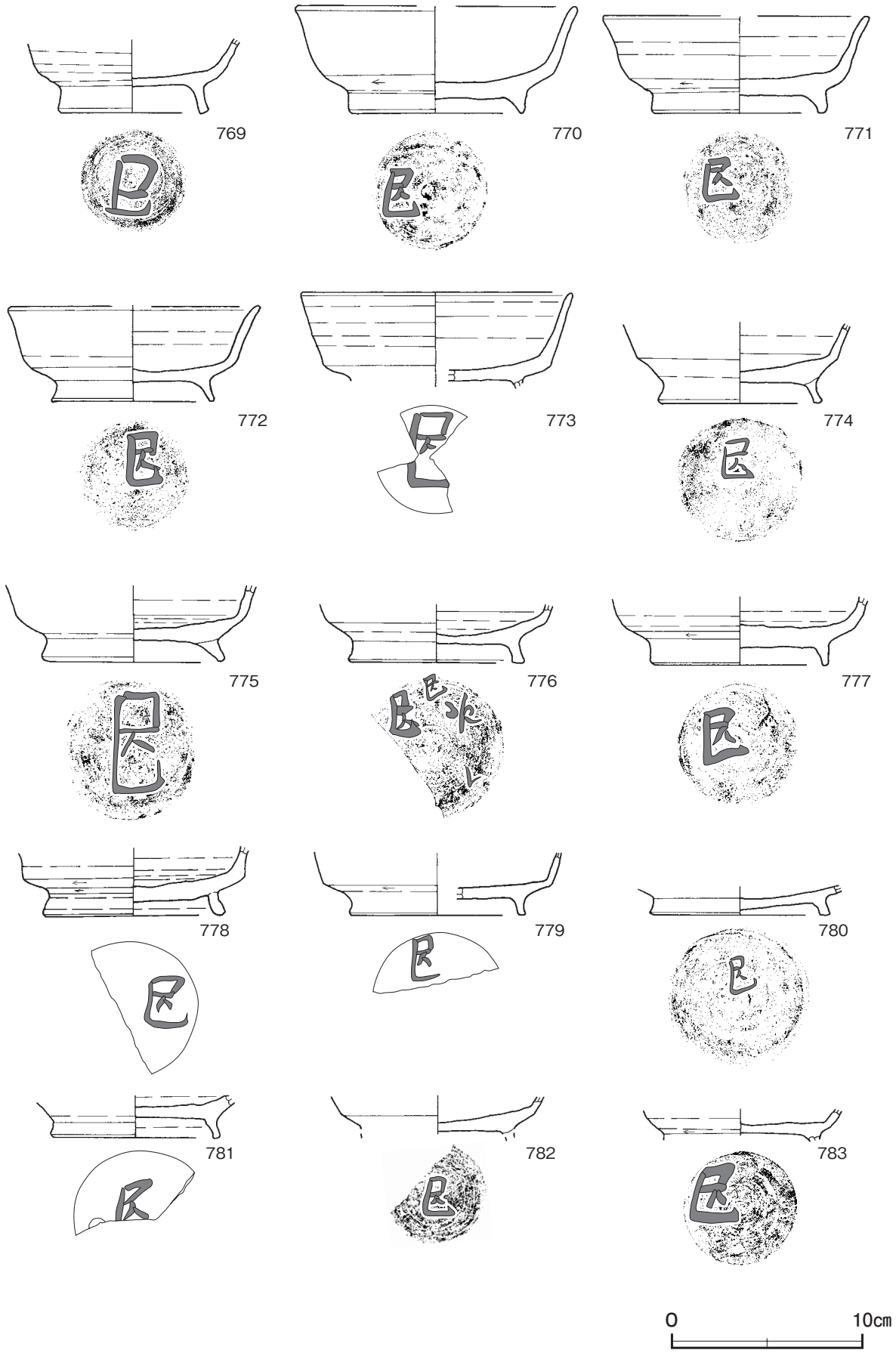
第 102 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図 ⑭



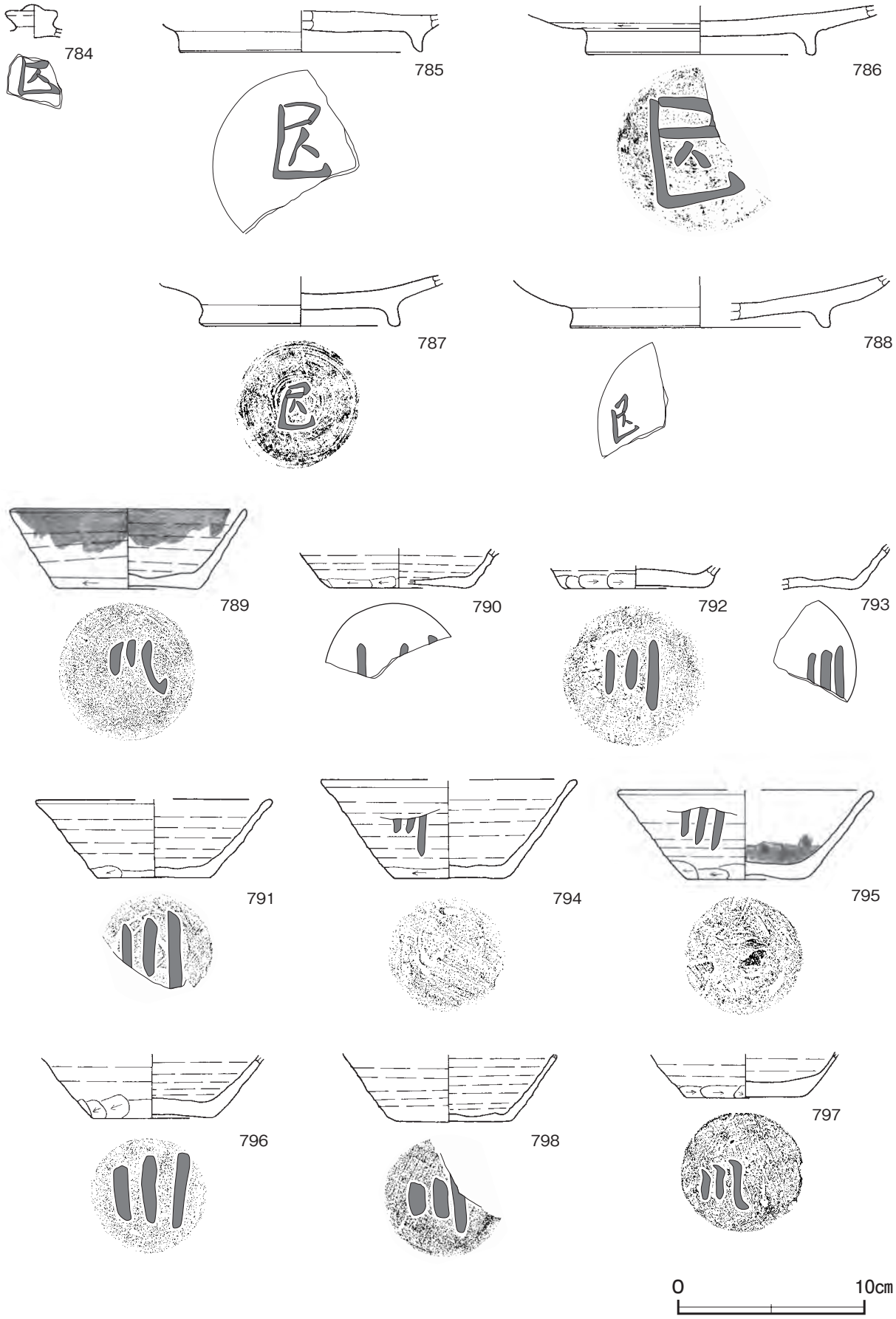
第 103 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図 ⑮



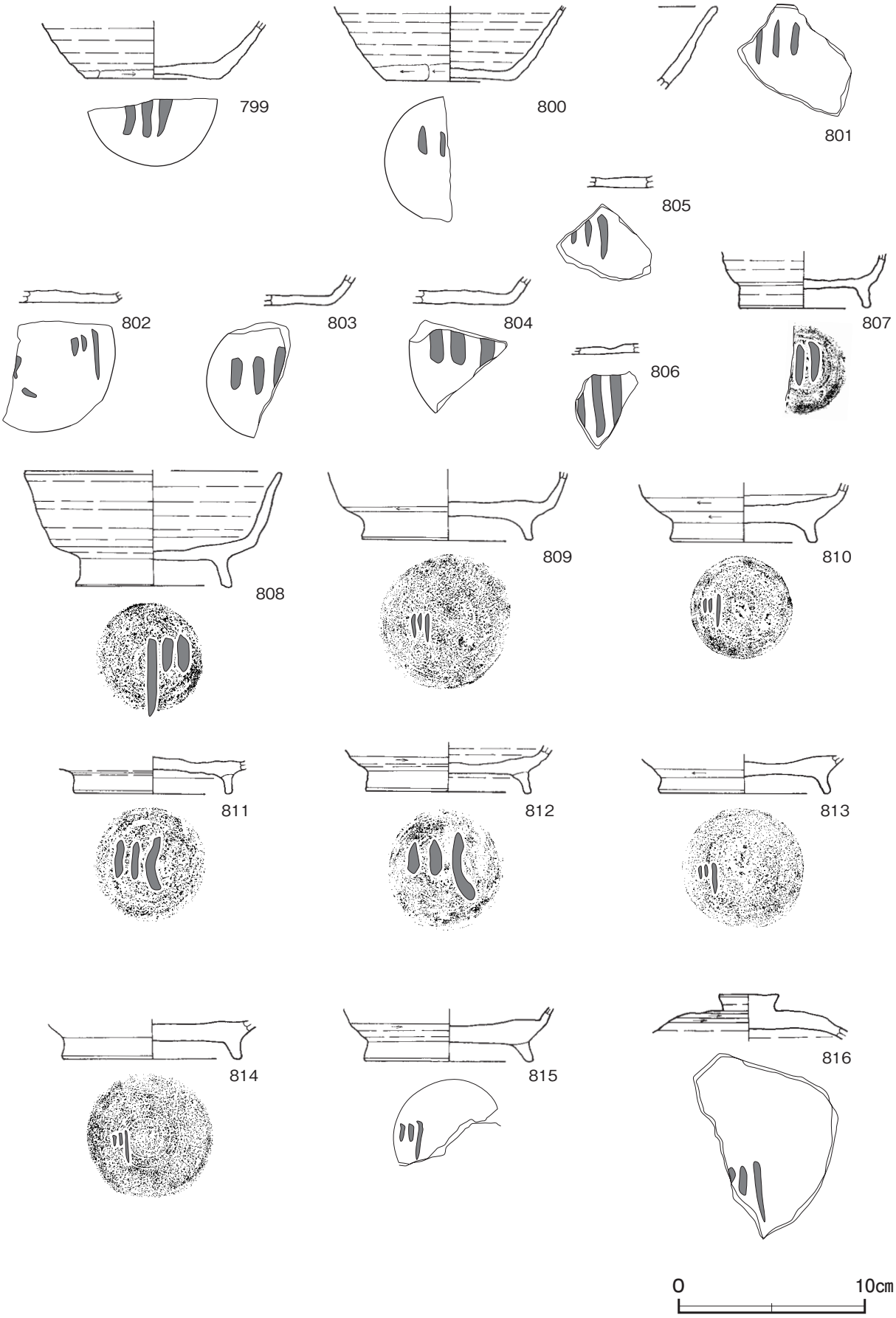
第 104 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図 ⑯



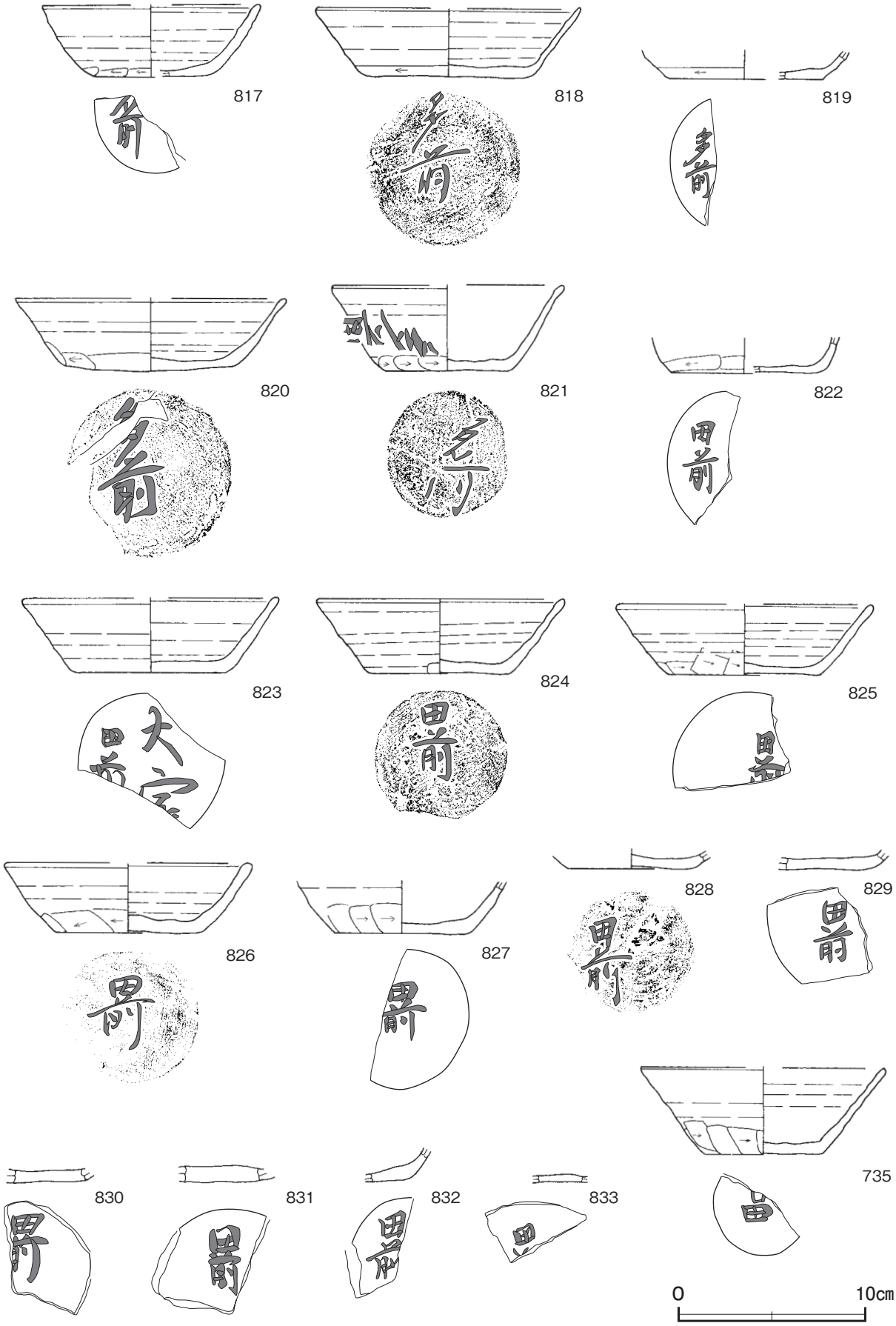
第 105 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図 ⑰



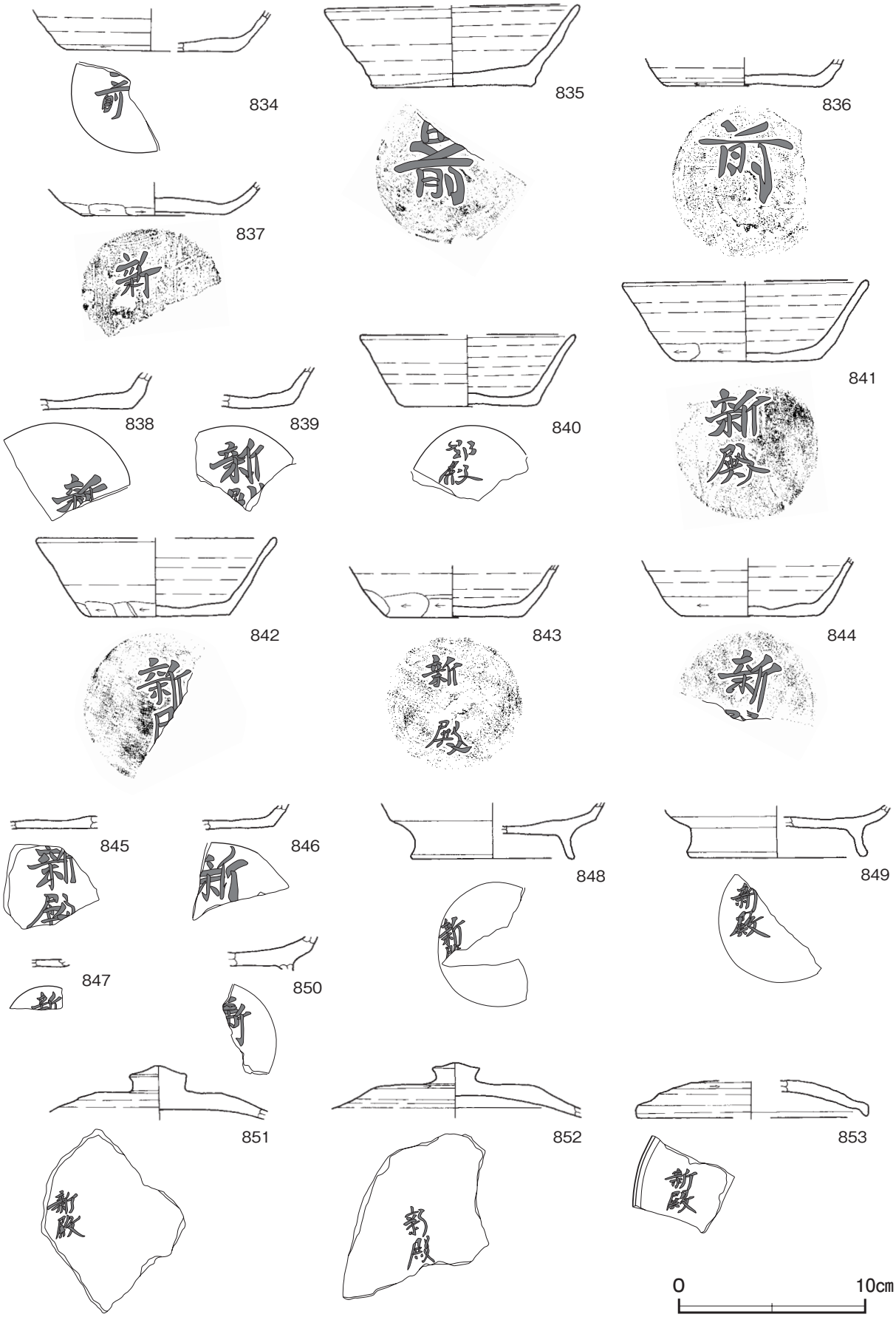
第 106 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図 ⒅



第 107 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図 ⑲

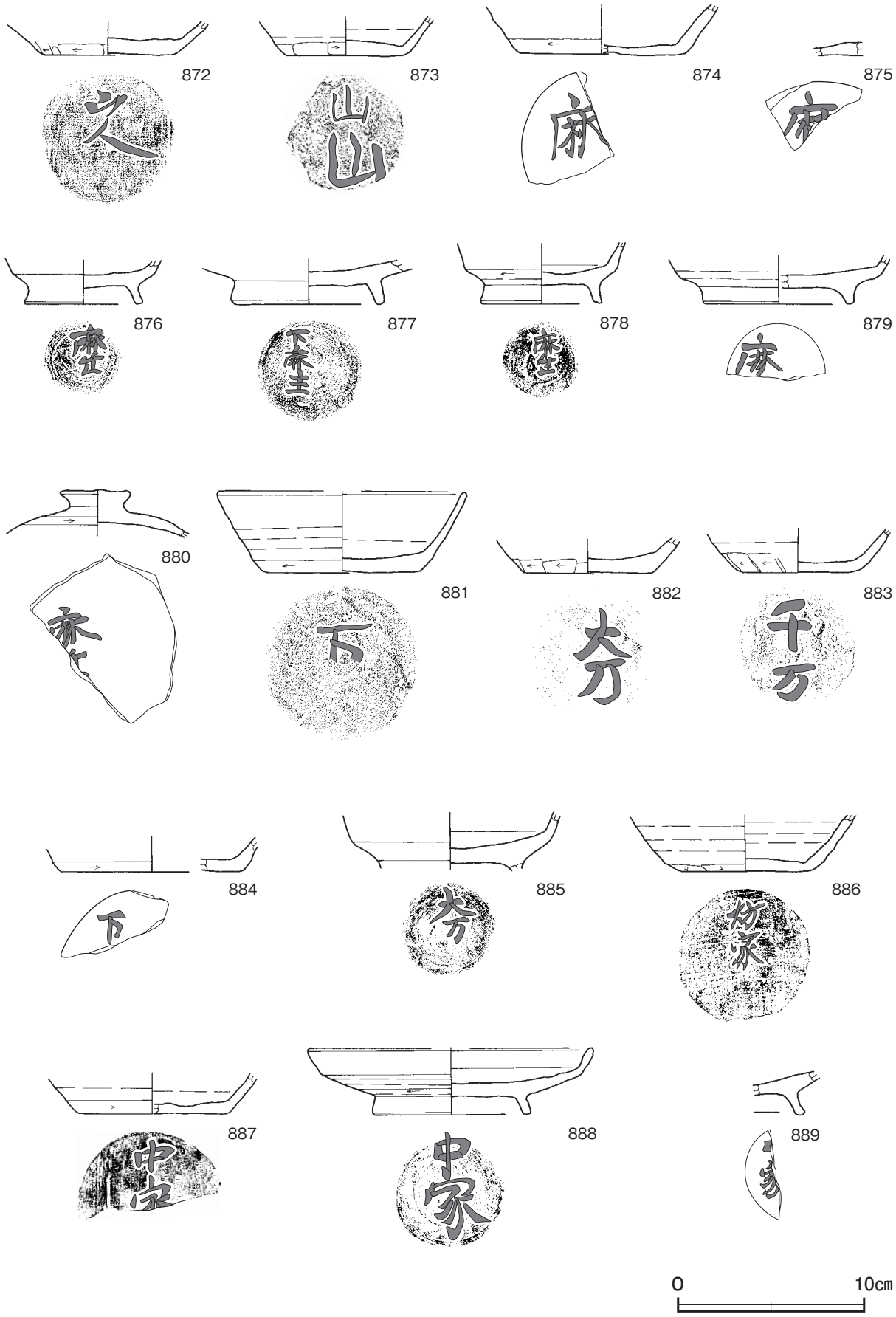


第 108 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（20）

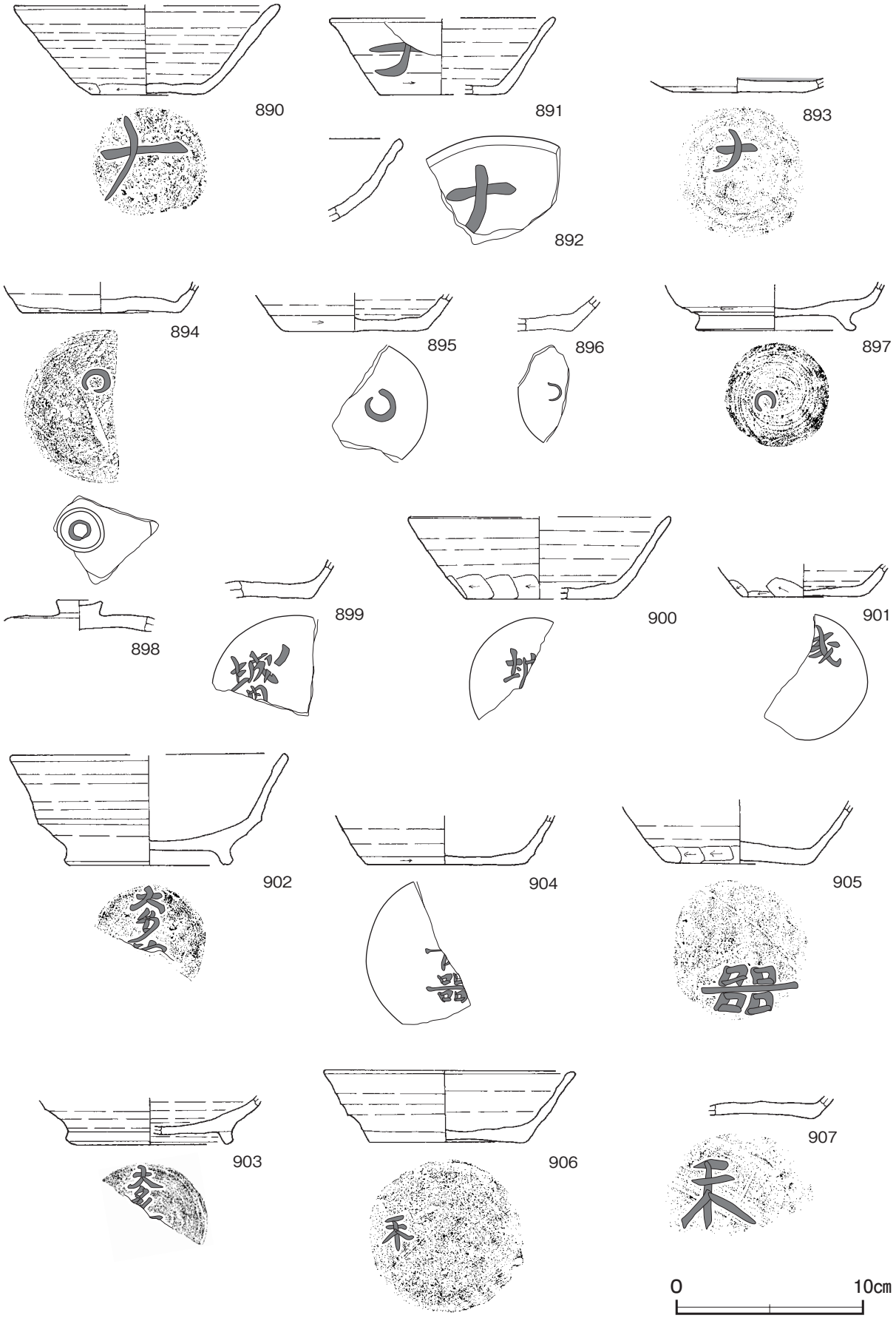


第 109 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（21）

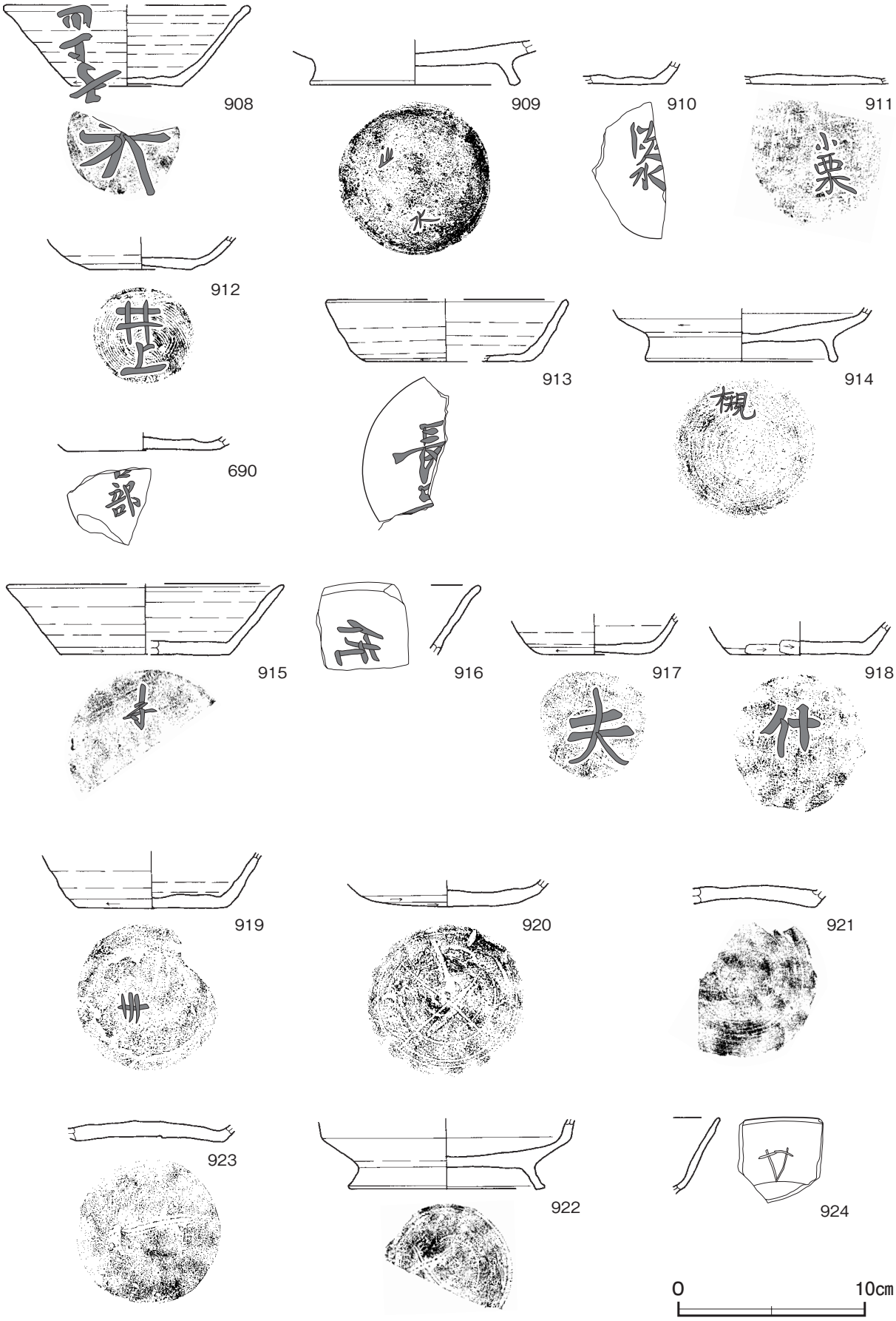
第 110 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（22）



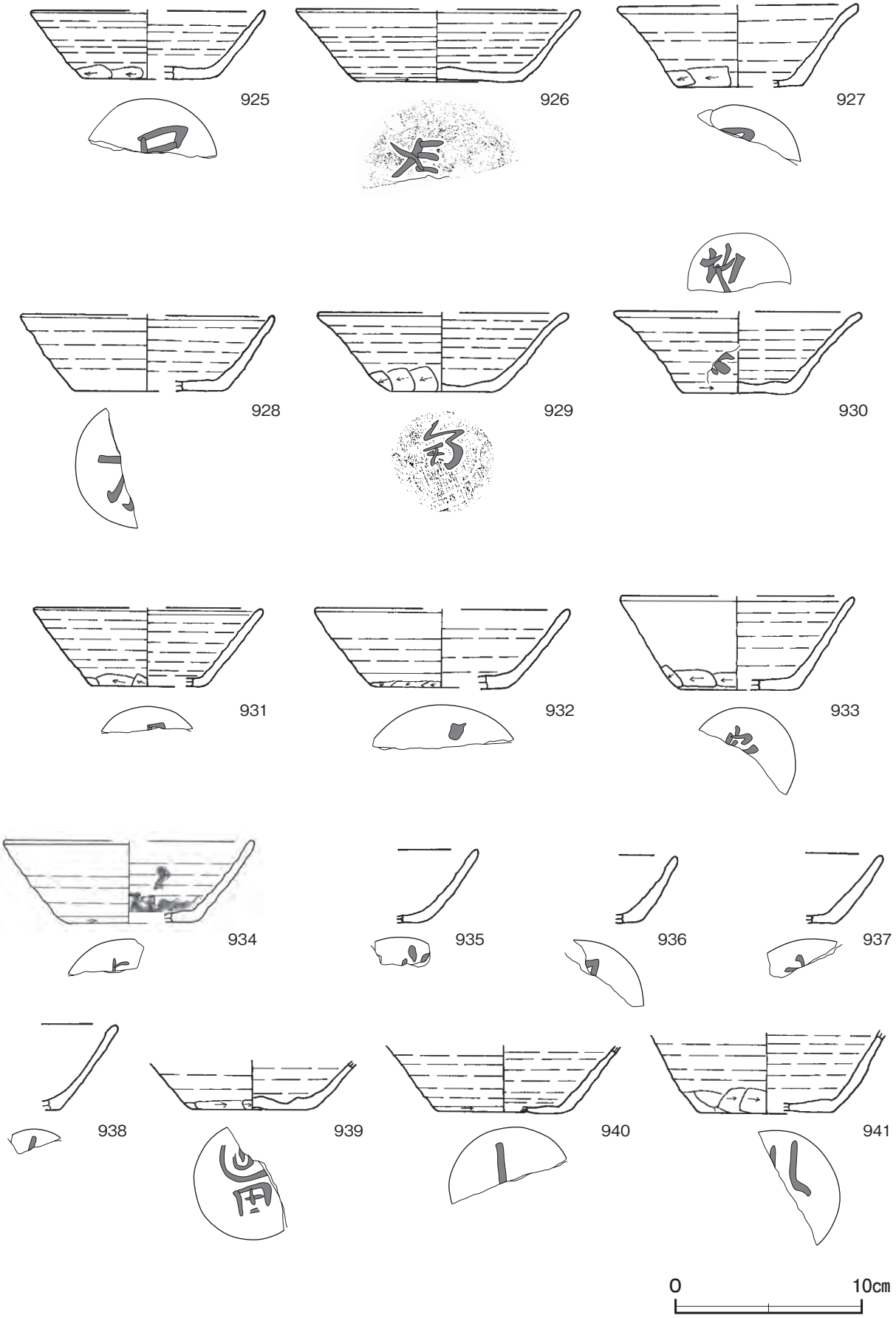
第 111 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（23）



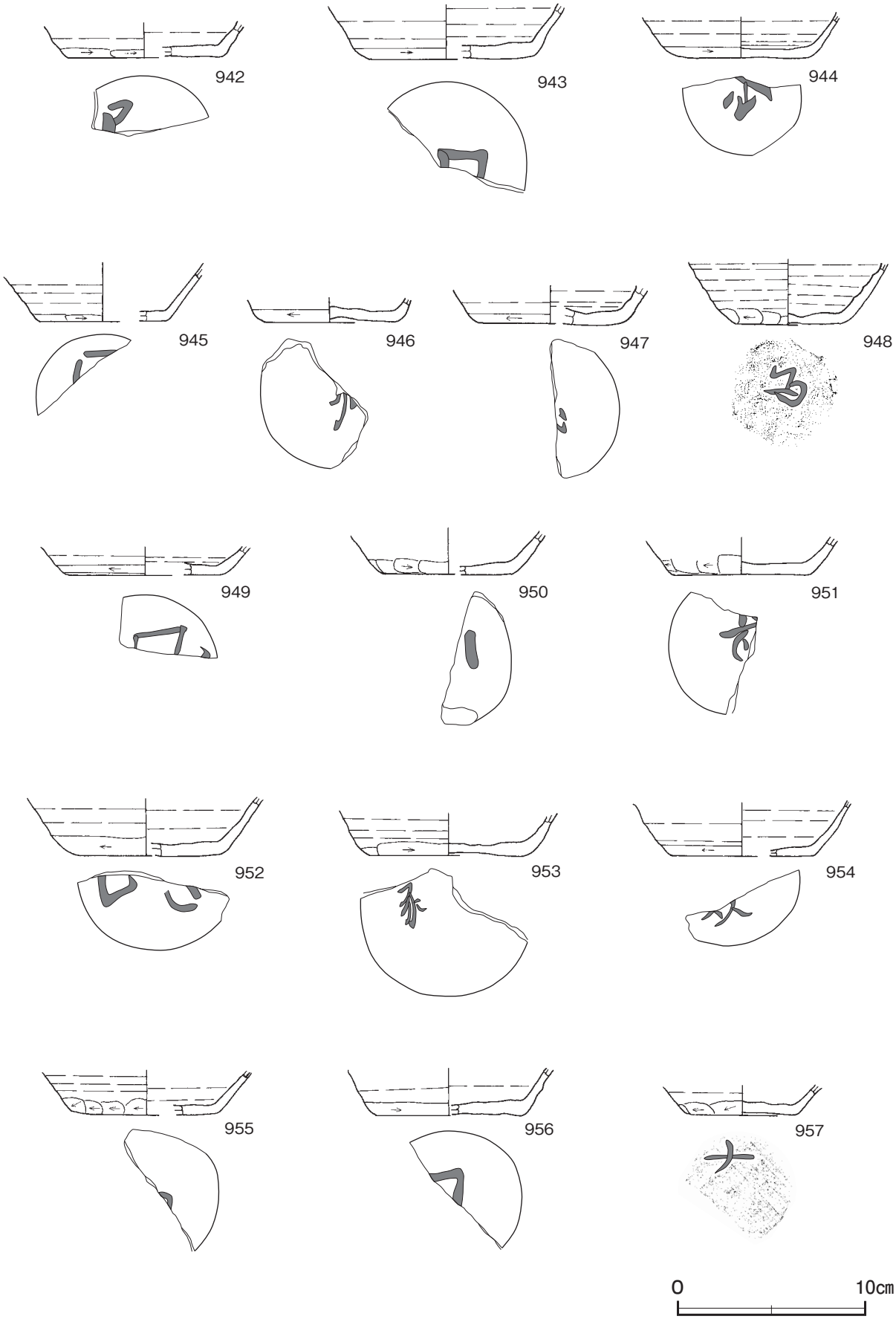
第112図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（24）



第113図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（25）

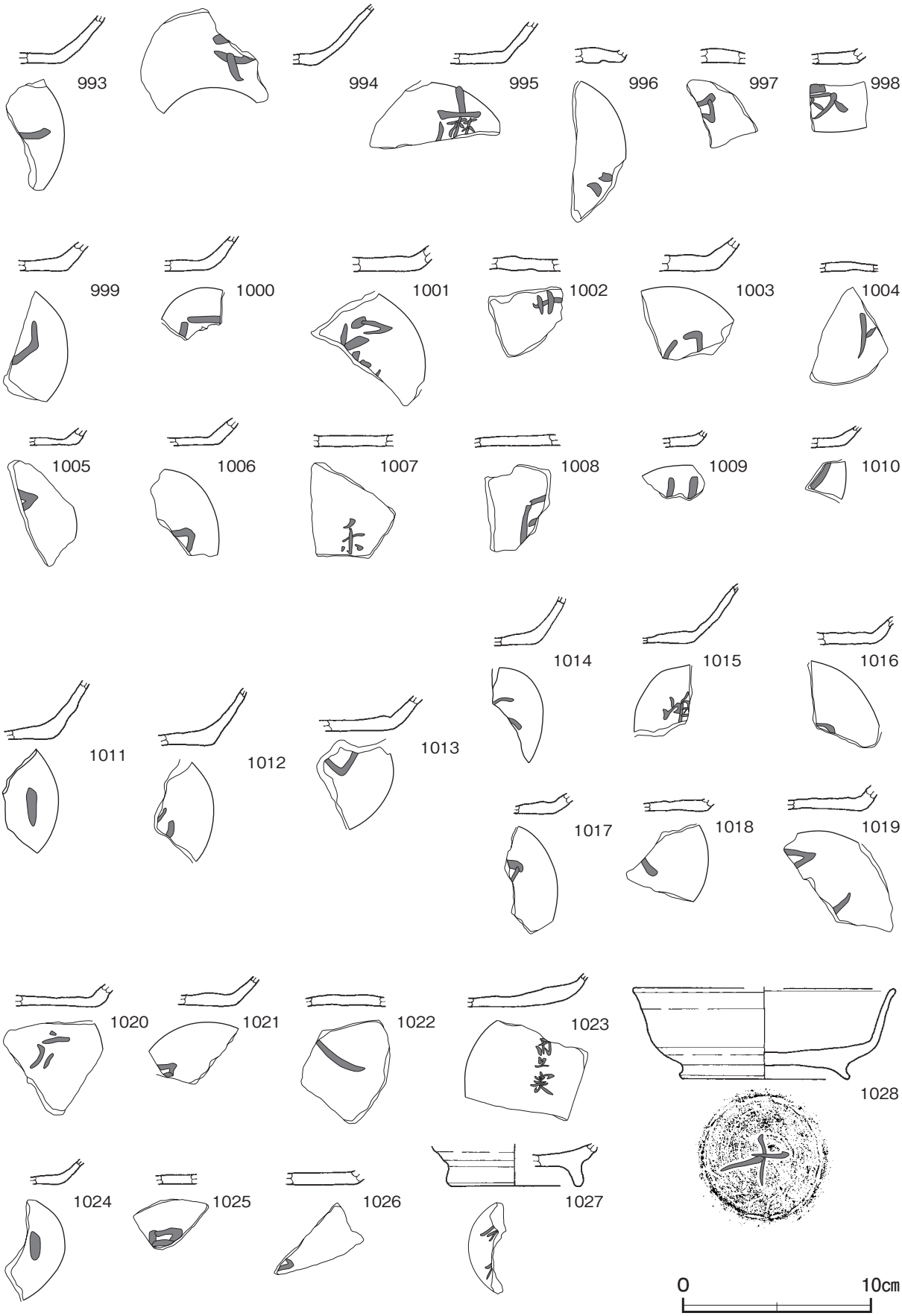


第 114 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（26）

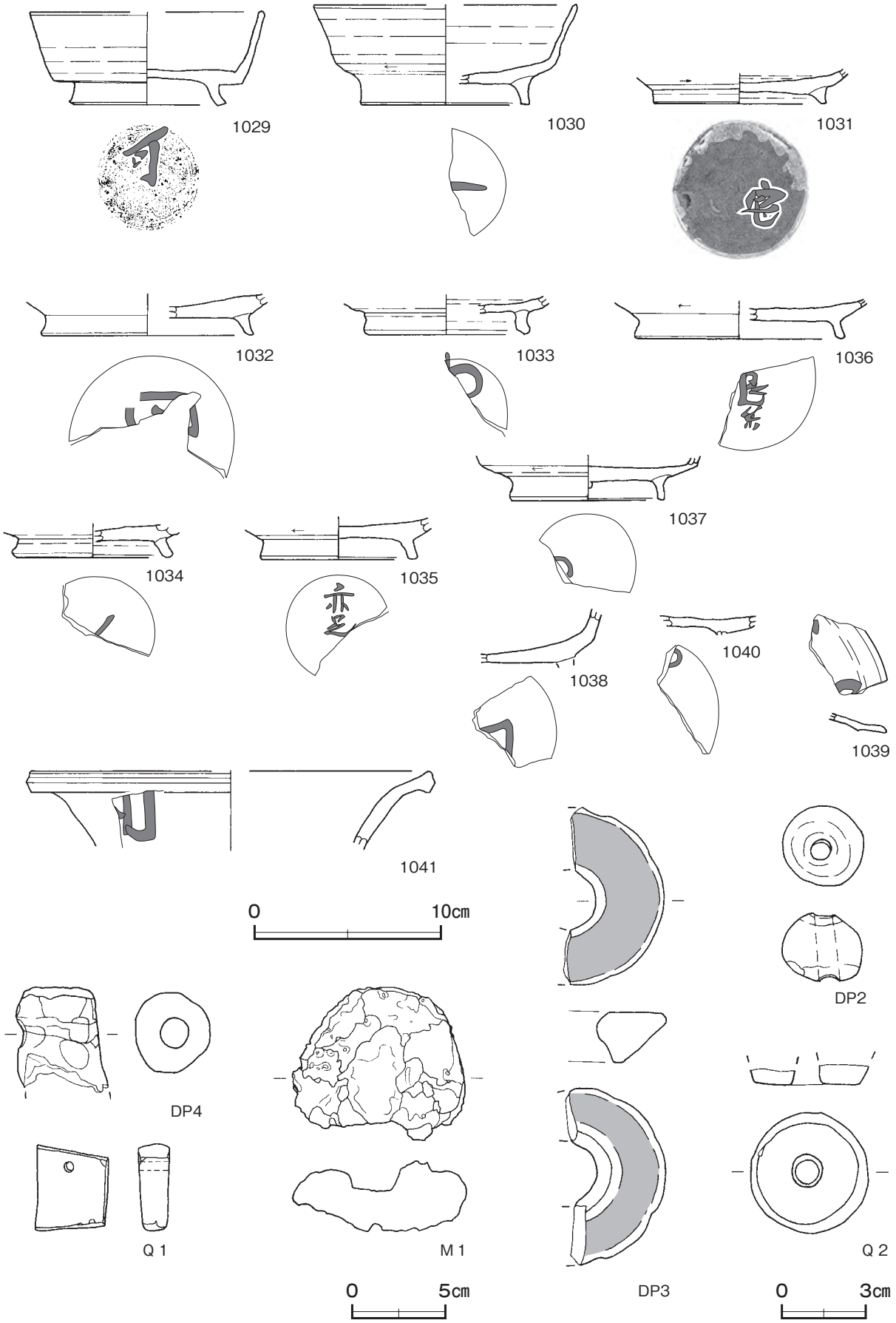


第 115 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（27）

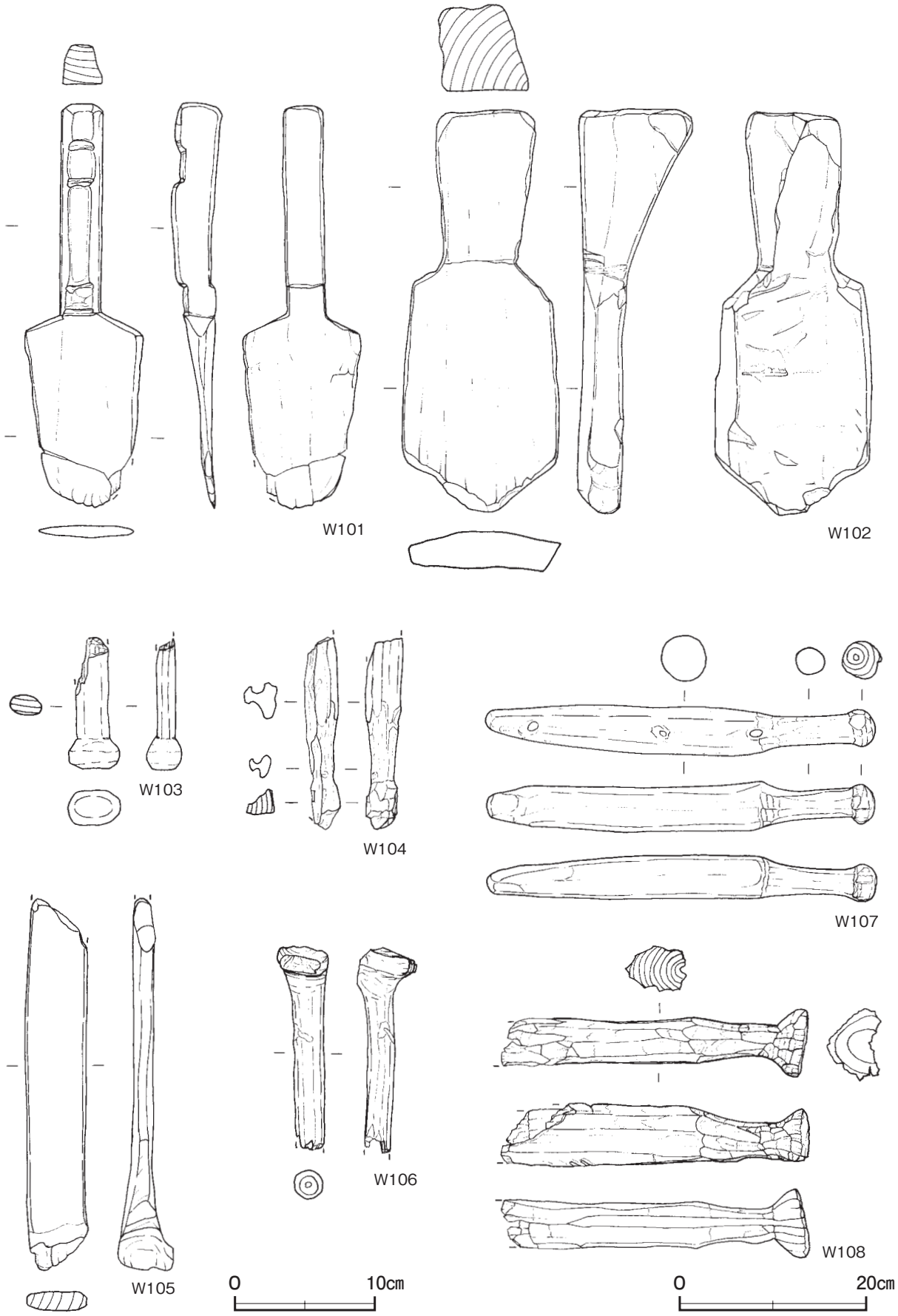
第116図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（28）



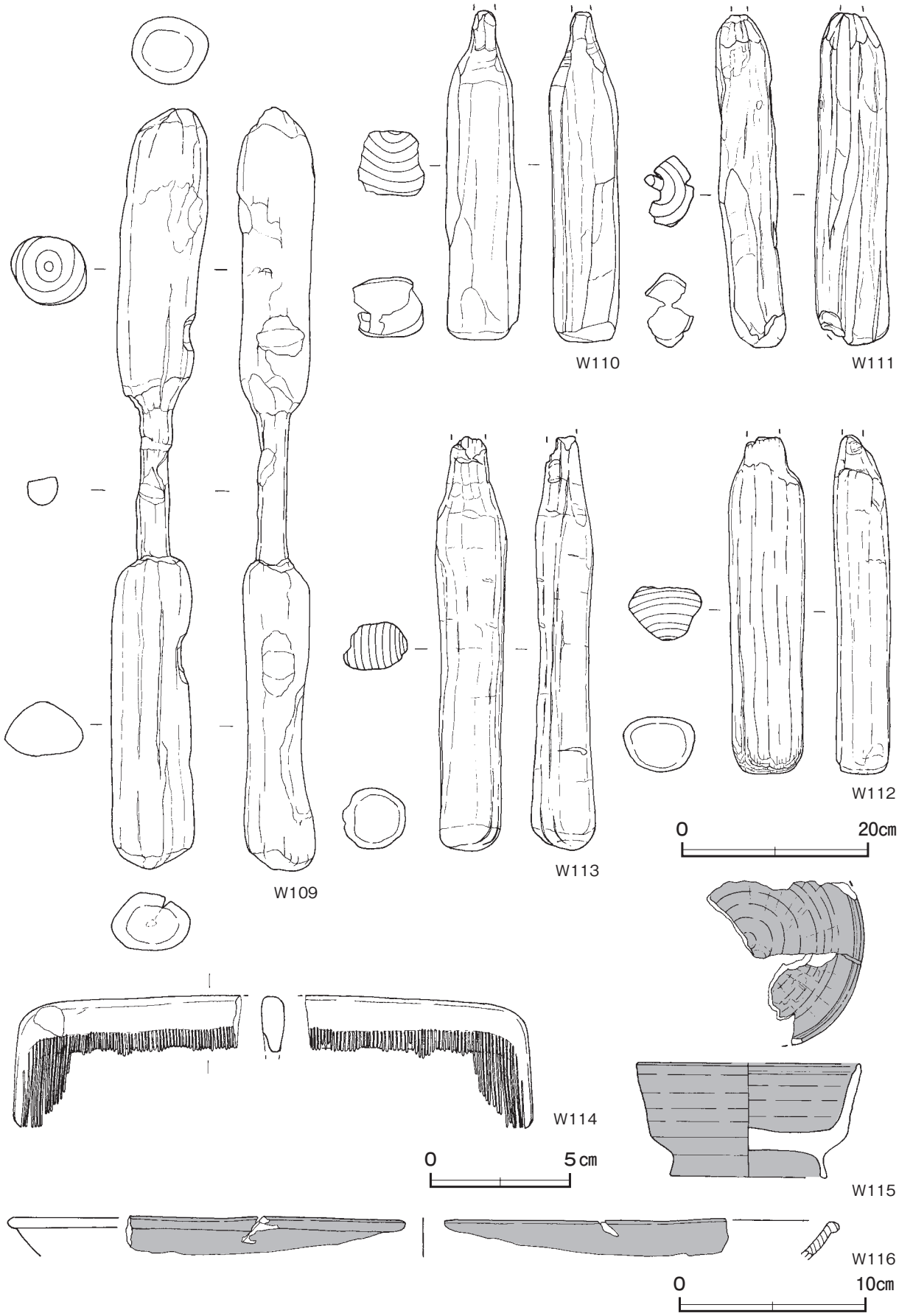
第 117 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（29）



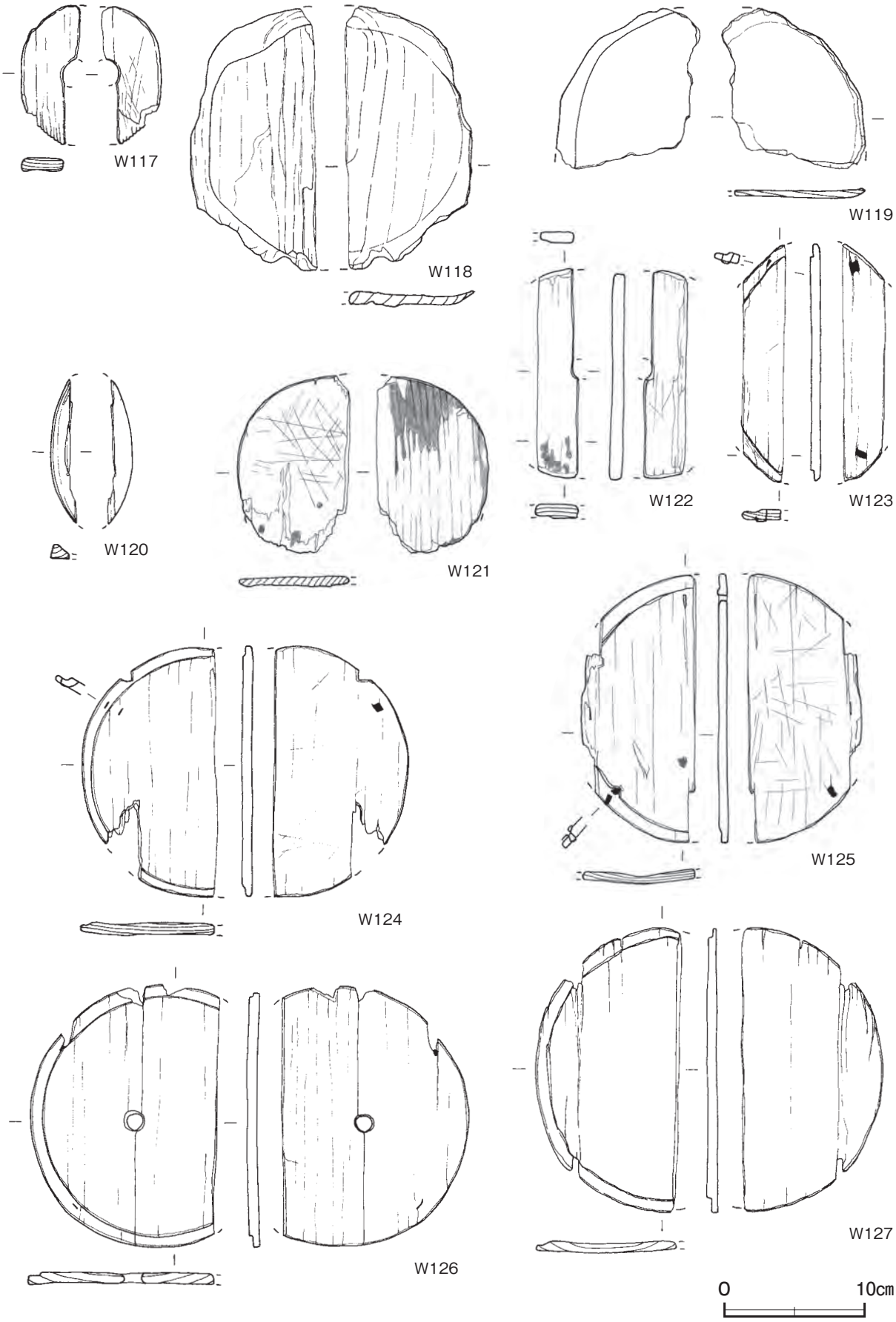
第118図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（30）



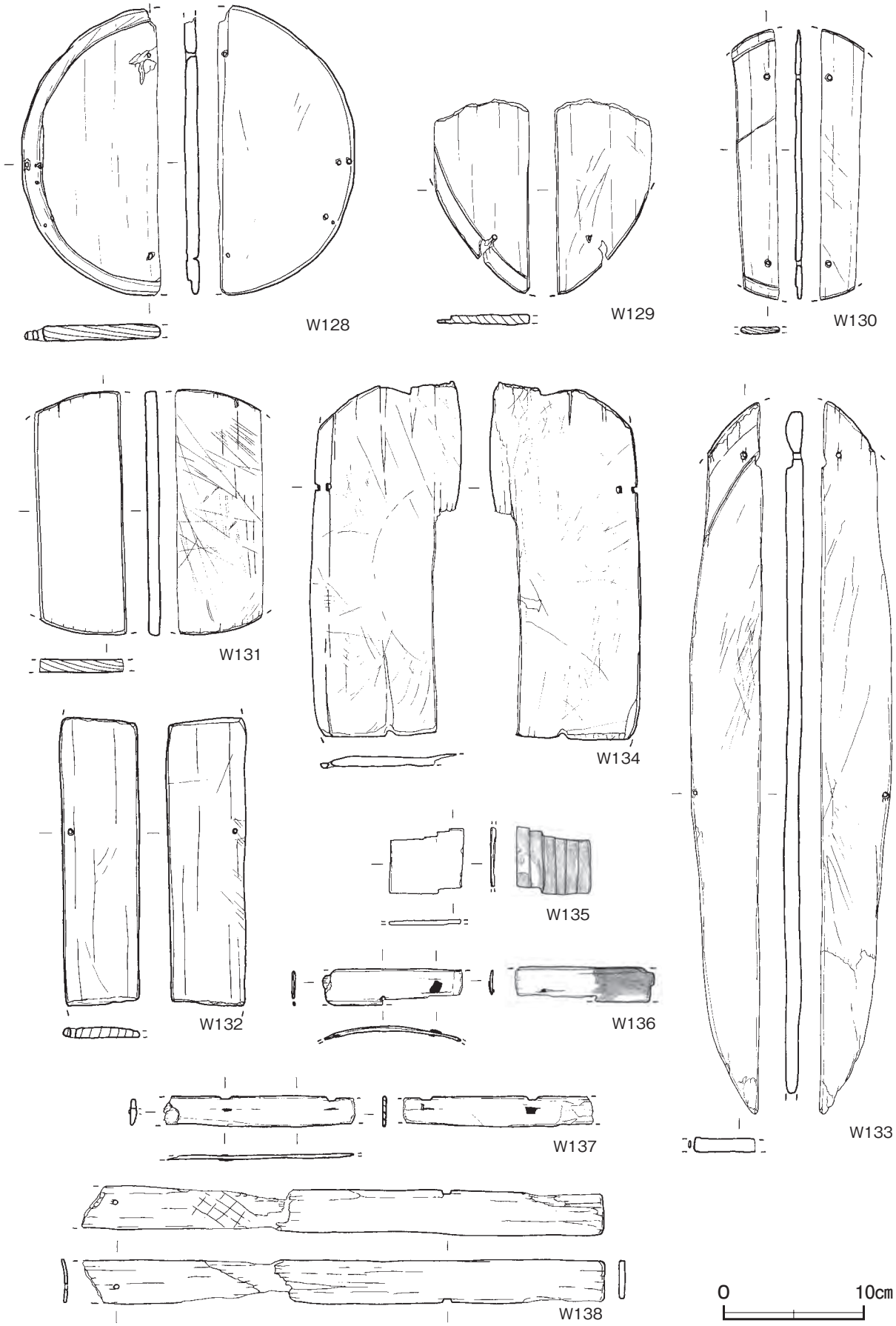
第 119 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（31）



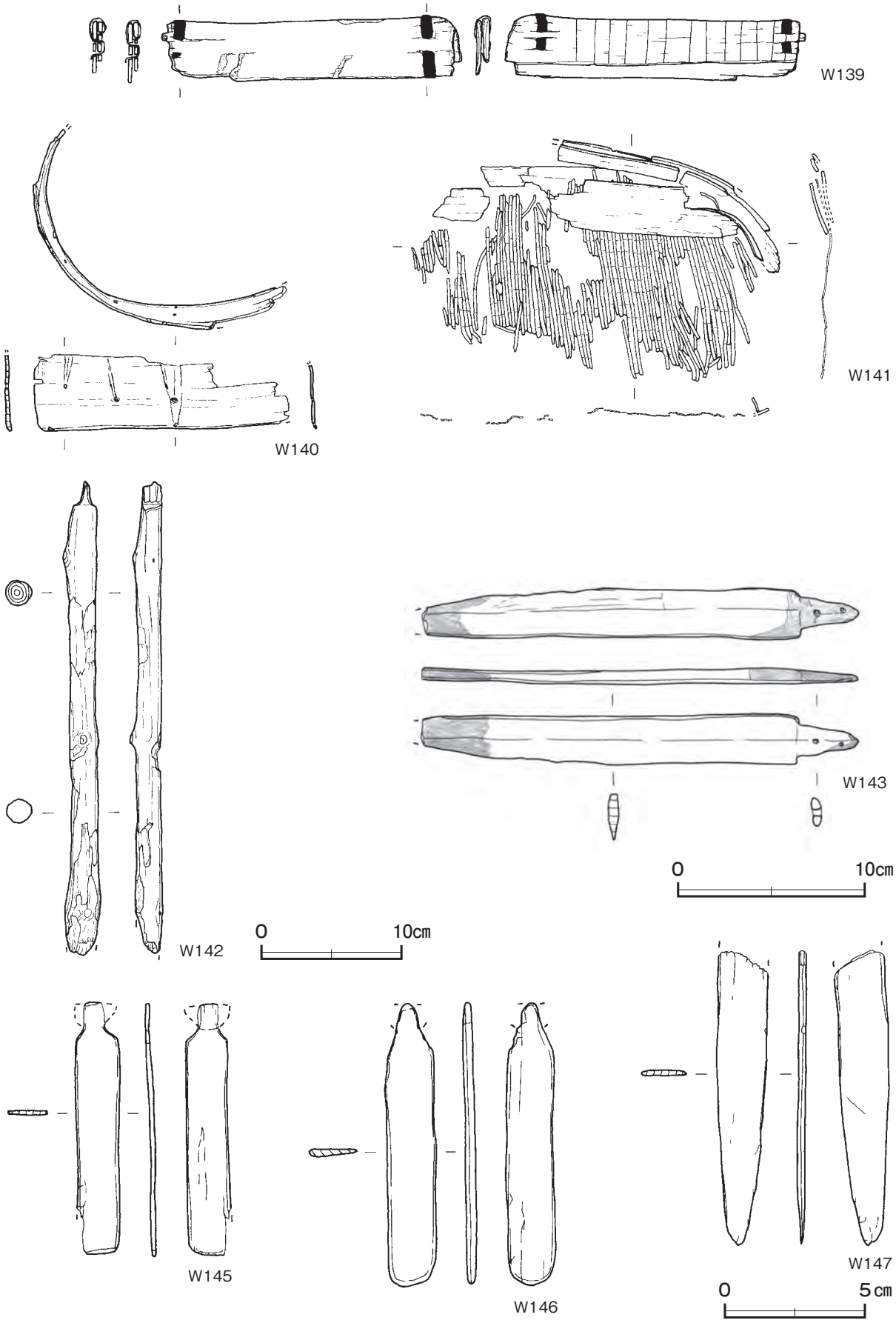
第 120 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（32）



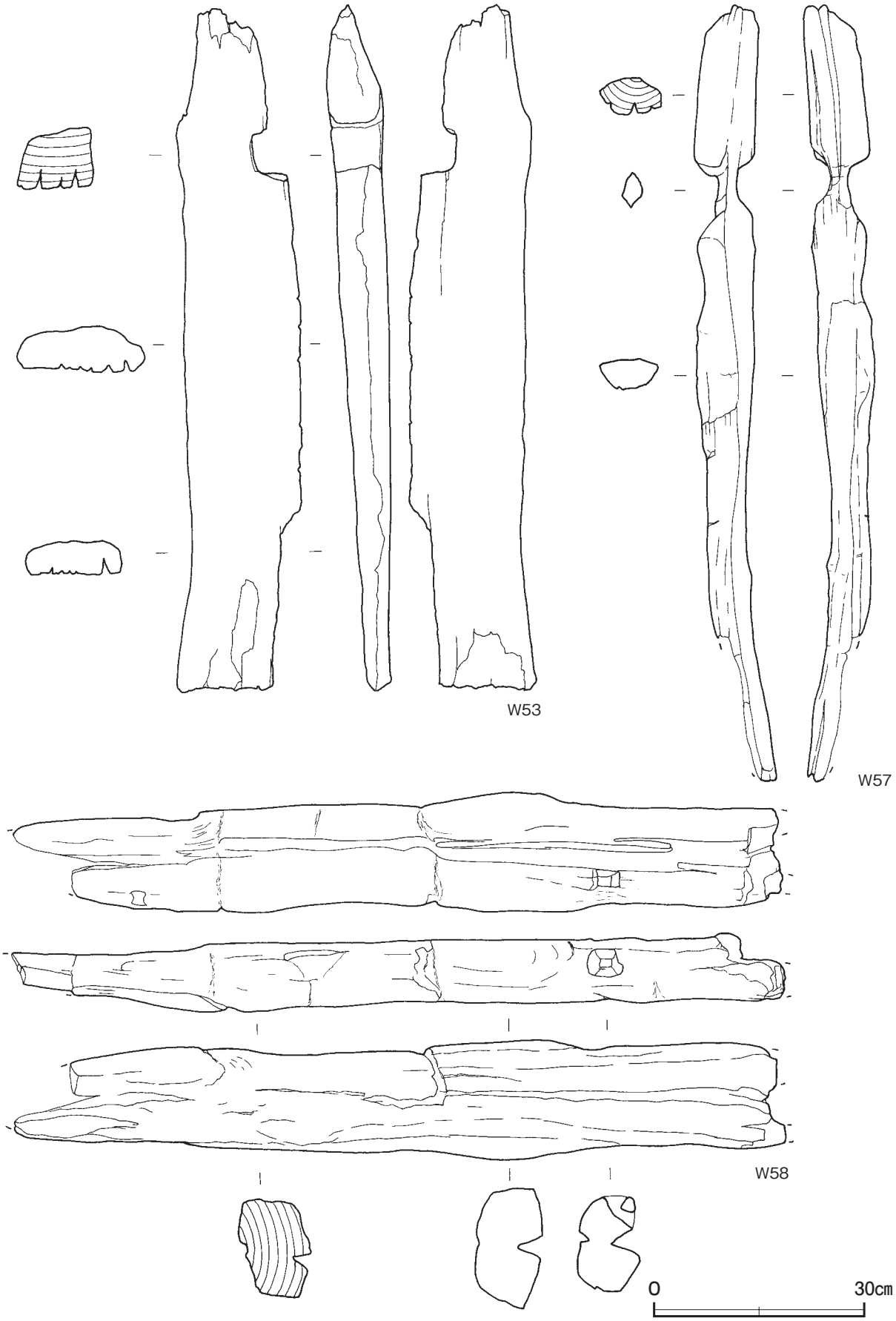
第 121 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（33）



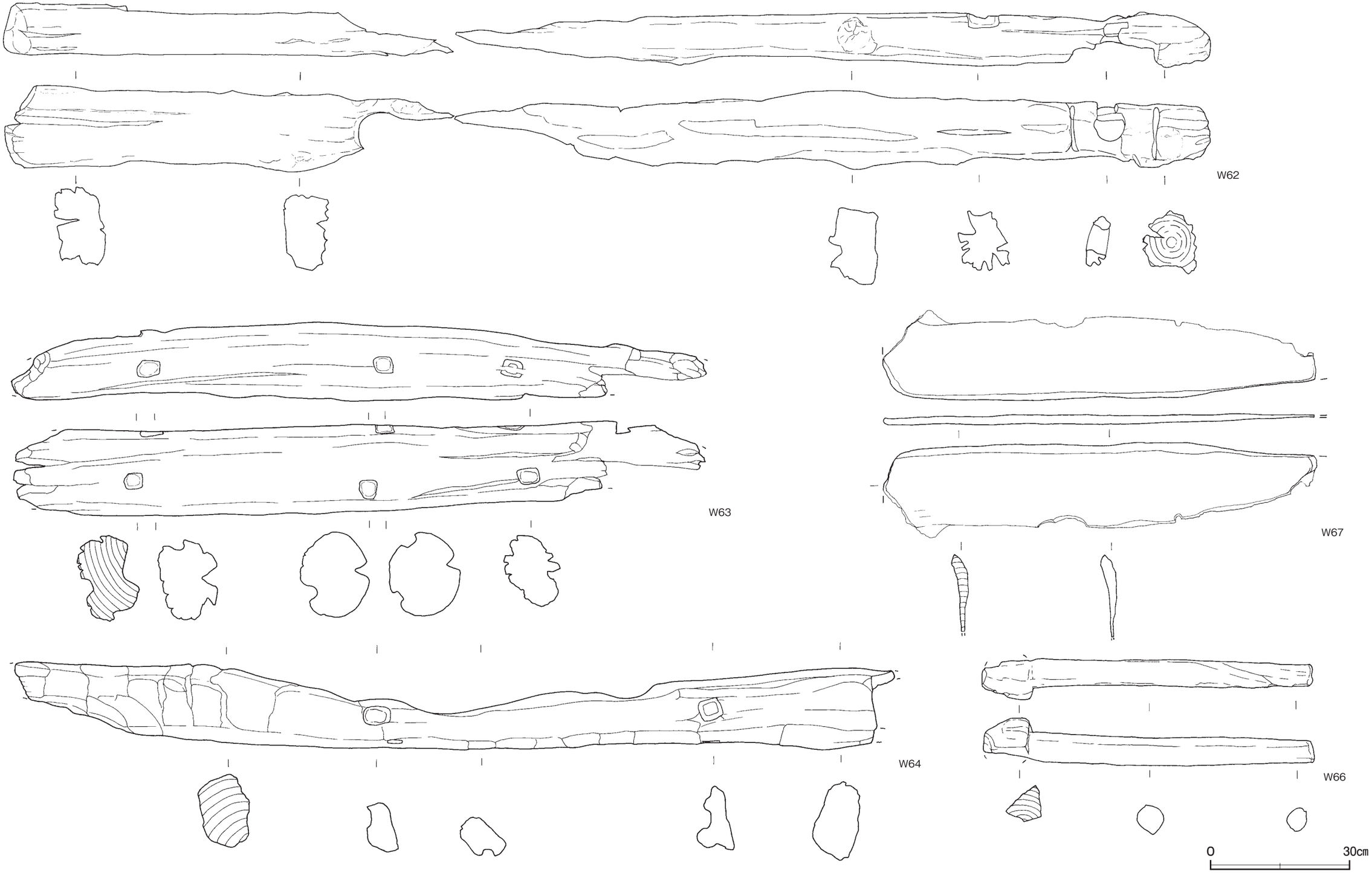
第 122 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（34）



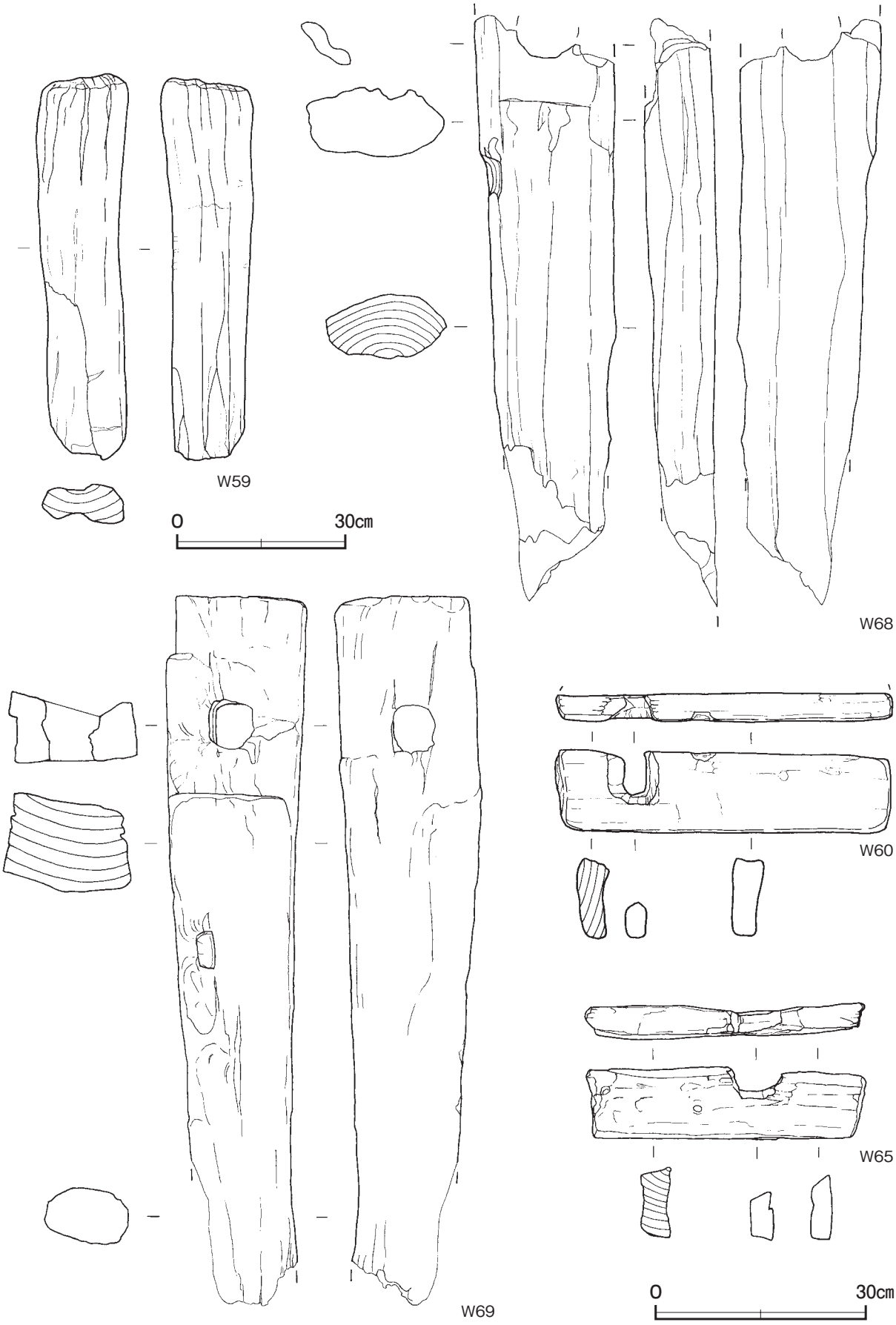
第 123 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（35）



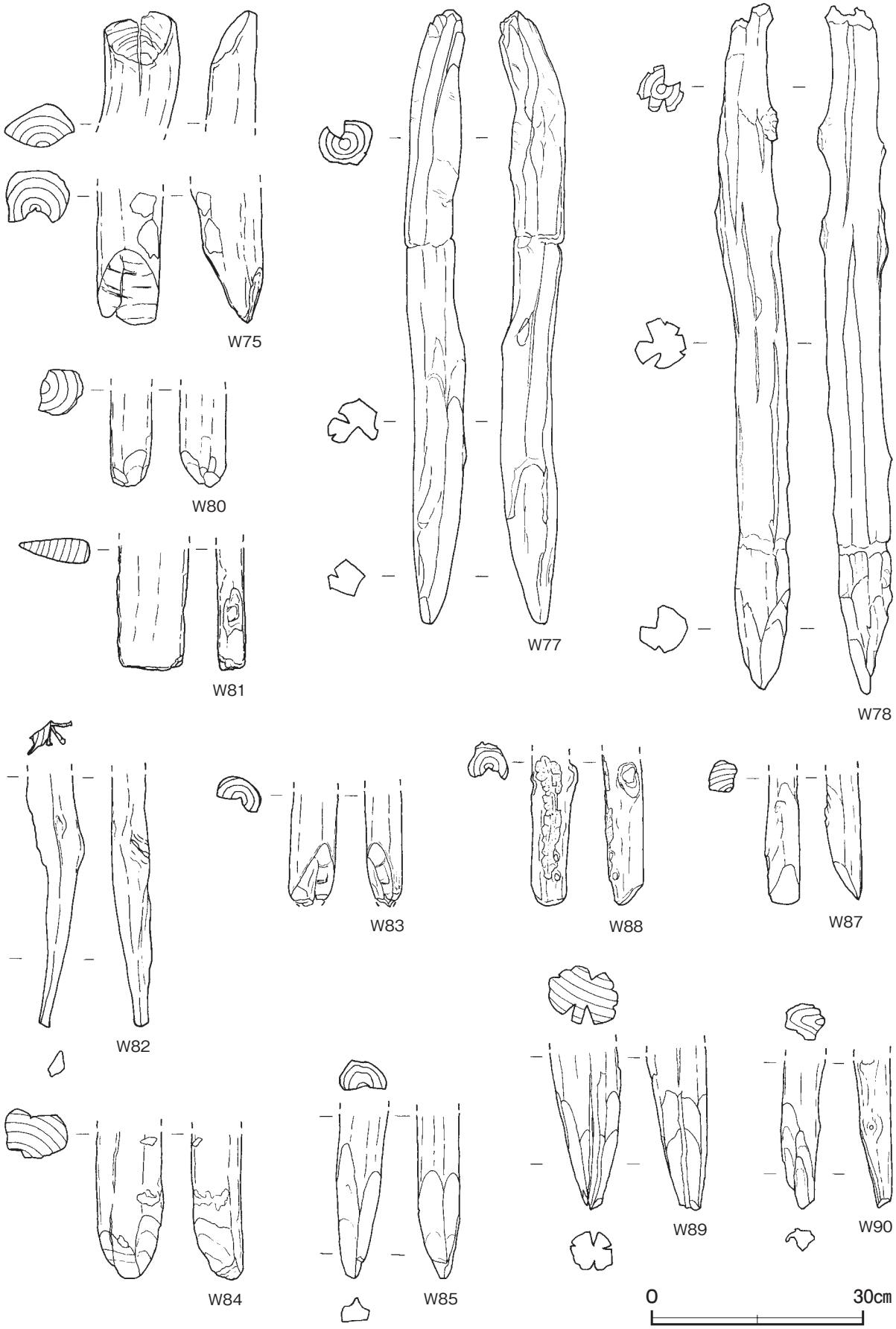
第 124 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（36）



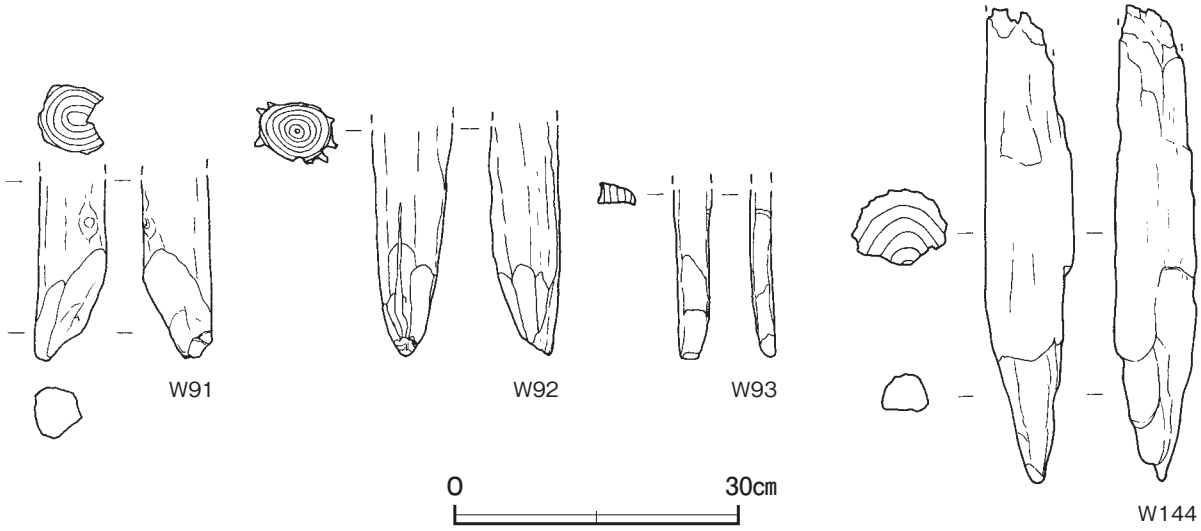
第125図　第2号遺物集中地点出土遺物実測図（37）



第 126 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（38）



第 128 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（39）



第 128 図　第２号遺物集中地点出土遺物実測図（40）

第２号遺物集中地点出土遺物観察表（第 89 ～ 128 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
570	土師器	坏	[12.0]	3.8	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り 外・内面黒色処理（漆）	中央部覆土中	50%
571	土師器	坏	12.1	4.1	－	長石・石英・赤色粒子	灰褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り 外・内面黒色処理（漆）	東部覆土中	60%
572	土師器	坏	[12.0]	3.9	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り 外・内面黒色処理（漆）	中央部下層	70%
573	土師器	坏	[12.6]	4.0	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　黒色処理（漆）　体部ヘラ削り	中央部覆土中	40%
574	土師器	坏	[13.2]	4.8	－	長石・雲母	明褐灰	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り 外・内面黒色処理（漆）	中央部覆土中	70%
575	土師器	坏	[11.5]	3.1	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り 外・内面黒色処理（漆）	中央部覆土中	80%
576	土師器	坏	[11.4]	4.1	－	長石・石英・赤色粒子	灰黄褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り 外・内面黒色処理（漆）	中央部覆土中	40%
577	土師器	坏	[11.6]	3.7	－	石英・雲母	灰	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り 外・内面黒色処理（漆）	中央部覆土中	60%
578	土師器	坏	[11.8]	3.8	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り	中央部覆土中	60%
579	土師器	坏	11.6	4.9	－	長石・石英	褐灰	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り 外・内面黒色処理（漆）	中央部覆土中	90%　PL35
580	土師器	坏	12.4	3.6	－	長石・石英	明赤褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り	中央部下層	90%　PL35
581	土師器	坏	[13.6]	(3.6)	－	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り 内面放射状のヘラ磨き	中央部下層	40%
582	土師器	坏	[14.6]	(2.9)	－	長石・石英・雲母	赤褐色	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り 油煙付着	覆土中	10%
583	土師器	坏	[15.2]	3.7	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り	中央部上層	40%
584	土師器	坏	[12.2]	3.8	－	長石・石英	褐灰	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り 外・内面黒色処理（漆）	中央部下層	70%　PL35
585	土師器	坏	[11.7]	(4.7)	[6.0]	長石・雲母	灰黄褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部外・内面ヘラ磨き 黒色処理（漆）	覆土中	40%
586	土師器	皿	18.2	3.0	－	長石・石英	灰白	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り 内面ヘラ磨き　外・内面黒色処理（漆）	西部下層	70%　PL35
587	土師器	皿	[20.0]	3.0	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部外・内面ヘラ磨き 黒色処理（漆）	中央部下層	20%
588	須恵器	蓋	[12.2]	(3.0)	－	長石・石英	灰白	普通	ロクロナデ	中央部下層	20%
589	須恵器	蓋	[7.2]	(2.3)	－	長石・石英・赤色粒子	褐灰	普通	天井部回転ヘラ削り	東部覆土中	50%
590	須恵器	坏	[12.8]	(4.8)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	底部回転ヘラ削り	中央部下層	45%
591	須恵器	坏	[13.4]	3.7	7.6	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り	中央部下層	60%　PL35
592	須恵器	坏	[14.6]	4.4	[10.8]	長石・石英・雲母	灰	普通	底部ナデ	中央部下層	40%
593	須恵器	坏	[14.9]	3.8	[9.6]	長石・石英・雲母・黒色粒子	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り	東部上層	50%　PL35
594	須恵器	坏	[11.6]	3.3	7.9	長石・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り	中央部下層	60%　PL35
595	須恵器	坏	[12.4]	3.5	6.7	長石・石英	黄灰	普通	底部回転糸切り	中央部上層	60%
596	須恵器	坏	[10.8]	3.6	6.9	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り	中央部下層	50%
597	須恵器	坏	13.8	4.1	9.2	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り	西部下層	60%　PL35
598	須恵器	坏	13.0	3.9	7.8	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り	中央部下層	60%

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
599	須恵器	坏	13.3	3.6	7.5	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り	西部上層	70%
600	須恵器	坏	12.9	3.6	8.0	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り	覆土中	60%
601	須恵器	坏	13.0	3.3	8.0	長石・石英	灰	良好	体部下端・底部回転ヘラ削り　油煙付着	覆土中	80%　PL37
602	須恵器	坏	13.5	3.8	7.8	長石・石英	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り	西部下層	80%　PL35
603	須恵器	坏	13.5	4.3	7.9	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り	西部下層	80%　PL35
604	須恵器	坏	13.6	4.5	8.6	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り	中央部下層	90%　PL36
605	須恵器	坏	[13.8]	4.0	8.4	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り	中央部下層	60%
606	須恵器	坏	13.4	3.9	8.0	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り	中央部下層	80%
607	須恵器	坏	13.6	3.5	8.5	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り	中央部下層	60%
608	須恵器	坏	14.1	4.2	8.2	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部回転ヘラ切り痕を残し，不定方向の手持ちヘラ削り	西部下層	80%　PL36
609	須恵器	坏	14.2	4.0	8.8	長石・雲母	灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部二方向の手持ちヘラ削り	中央部下層	80%　PL36
610	須恵器	坏	[13.7]	4.3	8.4	長石・石英・赤色粒子	黄灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り	中央部下層	60%
611	須恵器	坏	[14.2]	4.2	8.6	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り	中央部下層	60%
612	須恵器	坏	[15.2]	4.1	9.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り	中央部下層	60%
613	須恵器	坏	13.3	3.7	8.0	長石・石英・雲母	明褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部三方向の手持ちヘラ削り	西部下層	80%　PL36
614	須恵器	坏	14.1	4.3	8.6	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り	西部下層	90%　PL36
615	須恵器	坏	14.8	4.4	8.3	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，二方向の手持ちヘラ削り	中央部下層	80%　PL36
616	須恵器	坏	12.8	3.6	7.4	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り	中央部覆土中	70%
617	須恵器	坏	13.0	4.0	7.6	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り	中央部下層	80%　PL36
618	須恵器	坏	[13.8]	4.4	8.0	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転糸切り	西部上層	50%
619	須恵器	坏	14.0	4.7	8.2	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り	中央部覆土中	80%　PL36
620	須恵器	坏	13.0	4.3	8.5	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部二方向の手持ちヘラ削り	西部下層	80%　PL36
621	須恵器	坏	12.7	3.8	7.8	長石・石英	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，二方向の手持ちヘラ削り	西部上層	100%　PL36
622	須恵器	坏	[14.0]	3.7	7.6	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　漆付着	西部上層	50%
623	須恵器	坏	13.0	4.8	7.2	長石・石英	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り	覆土中	60%
624	須恵器	坏	[13.4]	4.3	6.3	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り	中央部覆土中	70%
625	須恵器	坏	12.6	3.7	5.6	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り	中央部上層	80%　PL37
626	須恵器	坏	[15.2]	(3.6)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　漆付着	中央部下層	10%
627	須恵器	坏	[12.6]	4.1	7.7	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　油煙付着	覆土中	50%　PL37
628	須恵器	坏	[13.1]	4.6	[7.0]	長石・石英・雲母	灰褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　油煙付着	中央部覆土中	40%
629	須恵器	坏	[13.2]	(3.6)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　油煙付着	中央部下層	30%
630	須恵器	高台付坏	[11.2]	4.9	[8.2]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り	中央部上層	40%
631	須恵器	高台付坏	[11.0]	5.2	6.2	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　油煙付着	西部下層	60%
632	須恵器	高台付坏	[12.8]	5.6	[7.8]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り	中央部覆土中	40%
633	須恵器	高台付坏	[13.6]	4.3	[7.4]	長石・石英	褐灰	普通	ロクロナデ	中央部上層	30% 他地域産
634	須恵器	高台付坏	[13.4]	4.9	8.4	長石・石英	灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り	西部上層	60%
635	須恵器	高台付坏	[19.6]	7.6	12.6	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り	西部下層	60%　PL37
636	須恵器	高台付坏	－	(4.4)	13.4	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨痕　転用硯	中央部覆土中	50%　PL78
637	須恵器	蓋	14.8	3.3	－	長石・石英・雲母	灰黄	普通	天井部回転ヘラ削り	西部覆土中	90%　PL38
638	須恵器	蓋	16.0	3.5	－	長石・雲母	灰	普通	天井部回転ヘラ削り	中央部上層	100%　PL38
639	須恵器	蓋	18.1	4.1	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	天井部回転ヘラ削り	中央部上層	70%
640	須恵器	蓋	－	(2.8)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	天井部回転ヘラ削り	中央部下層	60%
641	須恵器	蓋	[14.8]	2.9	－	長石・石英・雲母	暗灰黄	普通	天井部回転ヘラ削り	中央部覆土中	20%
642	須恵器	蓋	－	(2.9)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	天井部回転ヘラ削り	覆土中	40%
643	須恵器	蓋	[12.6]	2.6	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	天井部回転ヘラ削り	西部覆土中	30%
644	須恵器	盤	[15.4]	4.3	9.0	長石・石英	灰	普通	底部回転ヘラ削り	覆土中	60%
645	須恵器	盤	[20.0]	4.3	[11.2]	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	不良	体部下端・底部回転ヘラ削り	東部下層	50%
646	須恵器	無台盤	[18.8]	2.7	[15.7]	長石・石英	灰	普通	底部不定方向の手持ちヘラ削り	西部上層	50%　PL38

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
647	須恵器	短頸壺	8.3	6.2	5.4	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り	西部下層	70%　PL37
648	須恵器	短頸壺	[10.8]	(10.0)	－	長石・石英	灰	良好	外・内面ロクロナデ	西部下層	30%　PL38
649	須恵器	短頸壺	[15.4]	(9.0)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部横位の平行叩き　内面無文当て具痕を残し，ナデ	西部下層	20%
650	須恵器	長頸瓶	－	(12.1)	13.0	長石・石英・チャート	褐灰	良好	体部下端・底部回転ヘラ削り　底部墨痕 底部内面中央部に径 4.9cmの自然釉付着	西部下層	60%
651	須恵器	長頸瓶	[12.6]	(4.3)	－	長石・黒色粒子	灰	良好	ロクロナデ　外・内面自然釉	西部下層	5%　東海産
652	須恵器	短頸壺	[10.2]	(7.9)	－	長石・石英・チャート・黒色粒子	灰白	良好	ロクロナデ　灰オリーブ釉	中央部下層	10%　PL38 東海産
653	須恵器	壺	－	(10.4)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部同心円文叩き　内面同心円文叩き痕を残し，ナデ	覆土中	10%
654	須恵器	壺	－	(9.5)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部同心円文叩き　下端手持ちヘラ削り　内面同心円文叩き痕を残し，ナデ	覆土中	5%
655	須恵器	壺	－	(11.7)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部同心円文叩き　内面ナデ	西部下層	5%
656	須恵器	鉢	[25.0]	(8.1)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	ロクロナデ	覆土中	10%
657	須恵器	鉢	[41.2]	(16.3)	－	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部横位の平行叩き　下端手持ちヘラ削り内面ナデ	西部覆土中	20%
658	須恵器	鉢	[33.0]	(8.0)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部斜位・縦位の平行叩き　内面ナデ	西部下層	5%
659	須恵器	鉢	－	(25.8)	18.2	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部縦位の平行叩き　下端手持ちヘラ削り内面無文当て具痕を残し，ナデ	覆土中	30%
660	須恵器	浅鉢	[17.8]	4.0	[16.0]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り	中央部下層	20%
661	須恵器	浅鉢	[16.3]	(4.0)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り	西部覆土中	10%
662	土師器	甕	[11.2]	(4.4)	－	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ	中央部上層	10%
663	土師器	甕	[17.6]	(10.0)	－	長石・石英・雲母	灰黄	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部外・内面ヘラナデ	西部上層	20%
664	土師器	甕	[23.6]	(9.8)	－	長石・石英・雲母	灰褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部外・内面ヘラナデ	西部下層	20%
665	土師器	甕	[24.6]	[30.6]	9.0	長石・石英・雲母	褐灰	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部上半・内面ヘラナデ　外面下半縦位のヘラ磨き　底部木葉痕	西部下層	30%
666	土師器	甕	[24.8]	(8.1)	－	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部外・内面ヘラナデ	中央部上層	20%
667	須恵器	甕	[23.6]	(19.9)	－	長石・石英	灰	良好	体部横位の平行叩き　内面無文当て具痕	西部下層	30%
668	須恵器	甕	[22.6)	(18.7)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部横位の平行叩き　内面無文当て具痕	西部上層	40%
669	須恵器	甕	[23.4]	(12.4)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部縦位の平行叩き　内面無文当て具痕を残し，ナデ	中央部覆土中	30%
670	須恵器	甕	[19.6]	(13.6)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部横位の平行叩き　内面無文当て具痕	西部下層	20%
671	須恵器	大甕	[44.0]	(22.4)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	口縁部３条を一単位とする２列の沈線文　21 条を一単位とする４列の波状文	中央部覆土中	20%
672	須恵器	円面硯	－	(3.8)	[18.0]	長石	黄灰	普通	凸帯下に１条の沈線　方形透かし孔	東部覆土中	10%
673	須恵器	円面硯	－	(3.5)	[20.0]	長石・石英	灰	普通	方形透かし孔	西部覆土中	10%
674	須恵器	円面硯	－	(3.9)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面縦位の平行沈線	覆土中	10%
675	須恵器	坏	[14.0]	4.2	7.5	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣・名」	中央部上層	30%　PL44
676	須恵器	坏	[13.1]	4.7	8.1	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「嶋名」	西部下層	60%　PL44
677	須恵器	坏	－	(3.5)	8.0	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「嶋名」	西部下層	40%　PL44
678	須恵器	坏	－	(1.9)	8.3	石英・雲母・黒色粒子	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「嶋名」	覆土中	30%　PL44
679	須恵器	坏	－	(2.7)	8.0	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「嶋名」	西部下層	30%　PL44
680	須恵器	坏	－	(1.4)	8.0	長石・石英	灰	良好	体部下端回転ヘラ削り　底部糸切りを残し不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「嶋名」	東部下層	20%　PL44
681	須恵器	坏	－	(1.7)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「嶋名・臣」	東部覆土中	5％　PL44
682	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母・黒色粒子	灰白	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「嶋名」	中央部上層	10%　PL44
683	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母・黒色粒子	褐灰	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（嶋ヵ）名」	中央部覆土中	10%　PL44
684	須恵器	坏	－	(1.8)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「嶋名・□（臣ヵ）」	中央部覆土中	10%　PL44
685	須恵器	坏	－	(1.6)	－	長石・石英	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（嶋ヵ）」	西部覆土中	10%　PL44
686	須恵器	坏	－	(1.6)	－	石英・雲母	灰白	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「嶋」	中央部覆土中	5％　PL44
687	須恵器	坏	－	(1.4)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「嶋」	中央部覆土中	5％　PL44
688	須恵器	坏	－	(1.5)	[8.6]	雲母・黒色粒子	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「嶋」	覆土中	20%　PL44
689	須恵器	坏	－	(1.3)	[7.4]	長石・石英	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「嶋名」	覆土中	10%　PL44
691	須恵器	高台付坏	[16.7]	6.7	10.6	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「嶋」	西部下層	70%　PL44
692	須恵器	盤	[20.3]	4.1	11.9	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「新・嶋」	西部上層	50%　PL45
693	須恵器	盤	－	(2.5)	[13.0]	長石・石英・雲母・黒色粒子	灰黄褐	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「嶋名・臣」	西部下層	30%　PL45
694	須恵器	坏	－	(1.4)	8.5	長石・石英	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	中央部下層	30%　PL47
695	須恵器	坏	－	(1.4)	6.6	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	西部下層	30%　PL47

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
696	須恵器	坏	－	(1.7)	[8.4]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「𠂤」	覆土中	20%　PL47
697	須恵器	坏	－	(1.4)	[8.0]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	西部下層	20%　PL47
698	須恵器	坏	[10.9]	3.2	6.8	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	西部下層	60%　PL47
699	須恵器	坏	[12.3]	4.5	7.3	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	西部下層	40%　PL47
700	須恵器	坏	[13.4]	4.1	8.0	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	西部下層	30%　PL48
701	須恵器	坏	[13.0]	3.8	[8.0]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	中央部覆土中	30%　PL48
702	須恵器	坏	[12.8]	4.0	[8.0]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「𠂤」	中央部上層	30%　PL48
703	須恵器	坏	[13.8]	4.5	[8.8]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	覆土中	25%　PL48
704	須恵器	坏	－	(2.6)	[8.1]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	覆土中	20%　PL48
705	須恵器	坏	－	(2.2)	7.6	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，回転ヘラ削り　墨書「𠂤」	西部下層	30%　PL48
706	須恵器	坏	－	(2.3)	[9.2]	石英・雲母	灰白	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	西部下層	40%　PL48
707	須恵器	坏	－	(2.5)	[8.3]	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	覆土中	10%　PL48
708	須恵器	坏	－	(2.2)	[7.0]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	中央部下層	40%　PL48
709	須恵器	坏	－	(3.1)	7.5	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部回転ヘラ切り痕を残し，不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	中央部上層	50%　PL48
710	須恵器	坏	－	(3.4)	[8.2]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部回転ヘラ切り痕を残し，ヘラナデ　墨書「𠂤」	西部下層	30%　PL48
711	須恵器	坏	－	(2.9)	[8.4]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部回転ヘラ切り痕を残し，ヘラナデ　墨書「𠂤」	覆土中	30%　PL48
712	須恵器	坏	[13.5]	4.0	7.9	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部ヘラナデ　墨書「𠂤」	西部下層	60%　PL48
713	須恵器	坏	13.7	3.8	7.8	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	中央部下層	75%　PL37・48
714	須恵器	坏	13.6	3.9	8.2	長石・石英・雲母・チャート	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部ヘラナデ　墨書「𠂤」	中央部下層	70%　PL48
715	須恵器	坏	[12.6]	4.1	8.0	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	西部下層	60%　PL48
716	須恵器	坏	[13.4]	4.3	7.2	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	中央部下層	50%　PL48
717	須恵器	坏	－	(3.7)	8.0	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「𠂤」	覆土中	50%　PL48
718	須恵器	坏	－	(2.0)	8.0	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	中央部下層	30%　PL48
719	須恵器	坏	－	(3.0)	7.2	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	覆土中	20%　PL48
720	須恵器	坏	－	(2.6)	6.5	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	西部下層	40%　PL48
721	須恵器	坏	－	(3.0)	[7.2]	長石・石英・雲母	褐灰	良好	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	西部下層	10%　PL48
722	須恵器	坏	－	(1.3)	－	長石・石英・雲母	明褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	覆土中	20%　PL48
723	須恵器	坏	－	(1.2)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	覆土中	10%　PL48
724	須恵器	坏	－	(1.7)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	西部下層	10%　PL48
725	須恵器	坏	－	(1.5)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	覆土中	10%　PL49
726	須恵器	坏	12.4	5.1	7.2	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤／𠂤」　油煙付着	西部上層	80%　PL37・49
727	須恵器	坏	[13.3]	4.1	[8.2]	長石・石英・黒色粒子	灰	良好	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	覆土中	30%　PL49
728	須恵器	坏	[13.3]	4.6	[7.0]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	西部下層	30%　PL49
729	須恵器	坏	－	(2.6)	7.3	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	西部下層	20%　PL49
730	須恵器	坏	－	(2.3)	7.0	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	西部下層	20%　PL49
731	須恵器	坏	－	(2.2)	7.4	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	西部下層	20%　PL49
732	須恵器	坏	－	(3.0)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	覆土中	10%　PL49
733	須恵器	坏	[13.1]	4.4	6.0	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	中央部上層	50%　PL49
734	須恵器	坏	[13.6]	4.6	7.2	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	中央部上層	30%　PL49
736	須恵器	坏	－	(2.2)	[6.2]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	東部覆土中	30%　PL49
737	須恵器	坏	－	(2.5)	6.5	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	東部覆土中	40%　PL49
738	須恵器	坏	－	(2.0)	－	長石・石英	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	中央部上層	20%　PL49
739	須恵器	坏	－	(3.9)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	中央部覆土中	5％　PL49
740	須恵器	坏	－	(4.2)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	覆土中	5％　PL49
741	須恵器	坏	－	(3.8)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	ロクロナデ　墨書「𠂤」	覆土中	5％　PL49
742	須恵器	坏	－	(3.0)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「𠂤」	西部覆土中	5％　PL49
743	須恵器	坏	－	(2.2)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	中央部上層	30%　PL49

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
744	須恵器	坏	－	(2.2)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，ヘラナデ　墨書「臣」	中央部下層	25%　PL49
745	須恵器	坏	－	(0.7)	－	石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	西部上層	10%　PL49
746	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	灰	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，二方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	中央部下層	10%　PL49
747	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英	灰白	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	中央部覆土中	10%　PL49
748	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英	暗灰黄	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	中央部覆土中	10%　PL49
749	須恵器	坏	－	－	－	長石	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	西部上層	5％　PL49
750	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	覆土中	10%　PL50
751	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英	褐灰	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	中央部覆土中	5％　PL50
752	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	中央部覆土中	5％　PL50
753	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	灰白	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	中央部覆土中	5％　PL50
754	須恵器	坏	－	(1.0)	－	長石・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	覆土中	10%　PL50
755	須恵器	坏	－	(0.7)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	覆土中	5％　PL50
756	須恵器	坏	－	－	－	長石・雲母	灰	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	西部下層	5％　PL50
757	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	覆土中	10%　PL50
758	須恵器	坏	－	(1.4)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	覆土中	10%　PL50
759	須恵器	坏	－	(0.9)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	覆土中	10%　PL50
760	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	覆土中	5％　PL50
761	須恵器	坏	－	(0.6)	－	長石・石英	灰	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	東部覆土中	5％　PL50
762	須恵器	高台付坏	－	(2.5)	6.4	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	覆土中	20%　PL50
763	須恵器	高台付坏	－	(4.2)	6.8	長石・石英・雲母	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	西部下層	30%　PL50
764	須恵器	高台付坏	－	(3.8)	5.8	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	西部下層	40%　PL50
765	須恵器	高台付坏	－	(3.7)	6.3	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	西部下層	30%　PL50
766	須恵器	高台付坏	－	(2.5)	[6.6]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	西部下層	30%　PL50
767	須恵器	高台付坏	－	(2.5)	5.8	長石・石英・雲母	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	覆土中	30%　PL50
768	須恵器	高台付坏	－	(3.0)	7.6	長石・石英	明褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	中央部下層	10%　PL50
769	須恵器	高台付坏	－	(3.9)	7.3	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	西部下層	60%　PL50
770	須恵器	高台付坏	[14.6]	5.6	9.3	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	西部下層	85% PL37・50
771	須恵器	高台付坏	[13.8]	5.1	9.1	長石・石英・雲母	オリーブ黒	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	西部下層	70%　PL50
772	須恵器	高台付坏	[13.0]	5.0	8.6	長石・石英・雲母・黒色粒子	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	中央部下層	60%　PL50
773	須恵器	高台付坏	14.2	(5.0)	－	長石・石英・白色針状物質	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	西部下層	50%　PL50
774	須恵器	高台付坏	－	(4.3)	8.6	雲母・赤色粒子	灰白	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	西部下層	30%　PL50
775	須恵器	高台付坏	－	(4.1)	9.7	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	西部上層	30%　PL51
776	須恵器	高台付坏	－	(3.1)	9.0	長石・石英・雲母	暗灰黄	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□・水・臣・臣」	中央部下層	40%　PL51
777	須恵器	高台付坏	－	(3.5)	9.4	長石・石英・雲母	灰	良好	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	中央部上層	40%　PL51
778	須恵器	高台付坏	－	(3.6)	9.6	長石・石英・雲母・黒色粒子	灰	良好	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	東部下層	25%　PL51
779	須恵器	高台付坏	－	(3.3)	[9.0]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	西部下層	20%　PL51
780	須恵器	高台付坏	－	(1.5)	[9.1]	石英・雲母	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	西部下層	10%　PL51
781	須恵器	高台付坏	－	(2.1)	[9.0]	長石・石英・雲母	灰	良好	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	西部覆土中	25%　PL51
782	須恵器	高台付坏	－	(1.9)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	西部下層	30%　PL51
783	須恵器	高台付坏	－	(1.5)	－	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	東部覆土中	10%　PL51
784	須恵器	蓋	－	(1.7)	－	石英・雲母	灰	普通	ロクロナデ　墨書「臣」	覆土中	10%　PL51
785	須恵器	盤	－	(2.2)	[13.0]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　一部ナデ　墨書「臣」	覆土中	40%　PL51
786	須恵器	盤	－	(2.5)	12.4	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　一部ナデ　墨書「臣」	西部下層	30%　PL51
787	須恵器	盤	－	(2.7)	[10.8]	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	西部上層	60%　PL51
788	須恵器	盤	－	(2.9)	[14.0]	石英・雲母	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	西部下層	30%　PL51
789	須恵器	坏	12.6	4.3	7.5	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「川」油煙付着	中央部上層	80% PL37・55
790	須恵器	坏	－	(2.1)	[7.4]	雲母	灰	良好	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	西部上層	25%　PL55

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
791	須恵器	坏	[12.4]	4.2	[6.0]	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	西部上層	40%　PL55
792	須恵器	坏	－	(1.2)	7.6	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	東部下層	10%　PL55
793	須恵器	坏	－	(2.5)	－	長石・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り　墨書「川」	西部下層	15%　PL55
794	須恵器	坏	[13.7]	5.3	6.1	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	中央部上層	60%　PL55
795	須恵器	坏	[13.6]	4.8	6.4	長石・石英	暗灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」 漆付着	西部下層	70% PL37・55
796	須恵器	坏	－	(3.5)	6.4	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	西部下層	40%　PL55
797	須恵器	坏	－	(2.4)	6.5	長石・石英・雲母	青灰	良好	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	西部下層	20%　PL55
798	須恵器	坏	－	(3.7)	6.6	長石・石英・雲母	灰	良好	体部ロクロナデ　底部一方向の手持ちヘラ削り墨書「川」	西部覆土中	40%　PL55
799	須恵器	坏	－	(3.1)	[7.2]	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，ヘラナデ　墨書「川」	覆土中	25%　PL55
800	須恵器	坏	－	(4.1)	[6.8]	長石・石英	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	覆土中	20%　PL55
801	須恵器	坏	－	(4.5)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「川」	覆土中	30%　PL55
802	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英	灰	良好	底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川・□」	覆土中	10%　PL55
803	須恵器	坏	－	(1.7)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	覆土中	30%　PL55
804	須恵器	坏	－	(1.6)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，ヘラナデ　墨書「川」	覆土中	30%　PL55
805	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	褐灰	良好	底部回転ヘラ切り痕を残し，ヘラナデ　墨書「川」	覆土中	5％　PL55
806	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英	灰白	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	中央部覆土中	5％　PL55
807	須恵器	高台付坏	－	(3.0)	[7.0]	長石・石英・雲母	灰	良好	底部回転ヘラ削り　墨書「川」	東部覆土中	25%　PL55
808	須恵器	高台付坏	[13.5]	6.2	8.4	長石・石英	褐灰	良好	底部回転ヘラ削り　墨書「川」	西部下層	60%　PL55
809	須恵器	高台付坏	－	(3.7)	9.2	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「川」	西部下層	70%　PL55
810	須恵器	高台付坏	－	(3.1)	7.6	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「川」	西部下層	50%　PL55
811	須恵器	高台付坏	－	(2.0)	8.6	長石・石英	灰白	良好	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「川」	西部上層	15%　PL55
812	須恵器	高台付坏	－	(2.7)	9.0	長石・石英・雲母・黒色粒子	灰白	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「川」	覆土中	25%　PL56
813	須恵器	高台付坏	－	(2.1)	8.8	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「川」	西部下層	30%　PL56
814	須恵器	高台付坏	－	(2.1)	9.3	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「川」	西部下層	20%　PL56
815	須恵器	高台付坏	－	(2.9)	[8.9]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「川」	西部下層	20%　PL56
816	須恵器	蓋	－	(2.5)	－	長石・石英	灰	良好	天井部回転ヘラ削り　墨書「川」	西部下層	30%　PL56
817	須恵器	坏	[11.4]	3.8	[6.0]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□前」	覆土中	40%　PL56
818	須恵器	坏	[14.2]	3.7	8.4	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「多前」	中央部下層	60%　PL56
819	須恵器	坏	－	(1.5)	[8.2]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「多前」	西部上層	20%　PL56
820	須恵器	坏	[14.4]	3.9	9.0	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「多前」	西部下層	60%　PL56
821	須恵器	坏	[12.4]	4.6	6.8	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「多前／多前」	中央部上層	60%　PL56
735	須恵器	坏	[13.0]	4.7	[6.4]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□田」	西部覆土中	15%　PL56
822	須恵器	坏	－	(1.9)	[8.2]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「田前」	中央部下層	20%　PL57
823	須恵器	坏	[13.5]	4.0	8.4	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「大家・田前」	西部下層	30%　PL57
824	須恵器	坏	13.2	4.0	7.2	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し一方向の手持ちヘラ削り　墨書「田前」	西部下層	60%　PL57
825	須恵器	坏	[13.5]	3.8	[8.0]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「田前」	中央部下層	30%　PL57
826	須恵器	坏	[13.2]	3.8	7.8	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「田前」	西部下層	60%　PL57
827	須恵器	坏	－	(2.8)	7.4	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「田前」	中央部覆土中	20%　PL57
828	須恵器	坏	－	(1.0)	6.6	長石・石英	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「田前」	覆土中	20%　PL57
829	須恵器	坏	－	(1.0)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「田前」	中央部上層	20%　PL57
830	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「田前」	中央部覆土中	20%　PL57
831	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，ヘラナデ　墨書「田前」	西部下層	20%　PL57
832	須恵器	坏	－	(1.8)	－	長石・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「田前」	西部下層	20%　PL57
833	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英	褐灰	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「田□」	西部覆土中	10%　PL57
834	須恵器	坏	－	(2.3)	[9.2]	長石・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□前」	覆土中	30%　PL57
835	須恵器	坏	[13.4]	4.3	8.4	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「田前」	西部下層	50%　PL57
836	須恵器	坏	－	(1.5)	8.4	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，二方向の手持ちヘラ削り　墨書「前」	西部下層	30%　PL57

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
837	須恵器	坏	－	(1.8)	7.6	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「新」	西部上層	30%　PL58
838	須恵器	坏	－	(2.0)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，二方向の手持ちヘラ削り　墨書「新」	中央部上層	30%　PL58
839	須恵器	坏	－	(2.2)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「新□」	東部下層	20%　PL58
840	須恵器	坏	[11.4]	3.8	[7.0]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部回転ヘラ切り　墨書「□（新ヵ）殿」	覆土中	30%　PL58
841	須恵器	坏	[12.8]	4.3	7.9	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「新殿」	西部下層	50%　PL58
842	須恵器	坏	[13.0]	4.2	[8.0]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「新殿」	覆土中	40%　PL58
843	須恵器	坏	－	(2.8)	7.2	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「新殿」	西部下層	40%　PL58
844	須恵器	坏	－	(3.2)	7.2	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「新□」	西部上層	30%　PL58
845	須恵器	坏	－	－	－	長石・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「新殿」	覆土中	10%　PL58
846	須恵器	坏	－	(1.3)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「新」	覆土中	5％　PL58
847	須恵器	坏	－	－	－	長石・雲母	黄灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「新」	西部覆土中	5％　PL58
848	須恵器	高台付坏	－	(3.0)	8.8	長石・石英	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「新□（殿ヵ）」	西部下層	30%　PL58
849	須恵器	高台付坏	－	(2.8)	[9.4]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「新殿」	中央部下層	40%　PL58
850	須恵器	高台付坏	－	(1.8)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「新」	西部覆土中	10%　PL58
851	須恵器	蓋	－	(3.0)	－	長石・石英	灰	普通	天井部回転ヘラ削り　墨書「新殿」	覆土中	30%　PL58
852	須恵器	蓋	－	(3.0)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	天井部回転ヘラ削り　墨書「新殿」	覆土中	30%　PL58
853	須恵器	蓋	[12.4]	(2.0)	－	長石・石英	褐灰	普通	天井部回転ヘラ削り　墨書「新殿」	覆土中	10%　PL58
854	須恵器	坏	[13.8]	3.9	[9.0]	長石・雲母	黄灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「宅」	覆土中	40%　PL60
855	須恵器	坏	[12.3]	4.4	7.1	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「宅」	中央部覆土中	60%　PL60
856	須恵器	坏	－	(1.2)	7.5	長石・石英	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，ヘラナデ　墨書「宅」	西部下層	20%　PL60
857	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「宅」	中央部下層	30%　PL60
858	須恵器	坏	－	(1.2)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「宅」	中央部覆土中	10%　PL60
859	土師器	坏	－	(3.0)	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部下端回転ヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部糸切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「宅」	西部下層	5％　PL60
860	須恵器	高台付坏	－	(2.1)	6.4	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「宅」	中央部下層	20%　PL60
861	須恵器	高台付坏	－	(1.9)	6.6	長石・石英	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「宅」	西部下層	10%　PL60
862	須恵器	高台付坏	[11.2]	4.6	6.9	長石・石英・雲母	紫灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「宅」	中央部上層	60%　PL60
863	須恵器	高台付坏	－	(3.5)	7.8	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「宅」	西部下層	40%　PL60
864	須恵器	高台付坏	－	(2.3)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　高台部剥離後，再利用　墨書「宅」	中央部下層	30%　PL60
865	須恵器	蓋	－	(2.2)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	天井部回転ヘラ削り　墨書「宅」	覆土中	5％　PL60
866	須恵器	坏	－	(2.2)	7.2	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「山人」	中央部下層	20%　PL61
867	須恵器	坏	－	(3.8)	[8.8]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，二方向の手持ちヘラ削り　墨書「山人」	覆土中	30%　PL61
868	須恵器	坏	[13.6]	4.0	8.3	長石・石英	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「山人」	中央部下層	60%　PL61
869	須恵器	坏	[13.8]	3.9	[8.6]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「山人」	中央部下層	60%　PL61
870	須恵器	坏	13.4	3.8	8.0	長石・石英	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「山人」	中央部下層	60%　PL61
871	須恵器	坏	[13.6]	4.0	9.0	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「山人」	東部覆土中	60%　PL61
872	須恵器	坏	－	(1.8)	7.2	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「山人」	西部上層	10%　PL61
873	須恵器	坏	－	(2.1)	[6.4]	長石・石英・雲母	黒褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「山山」	西部下層	20%　PL61
874	須恵器	坏	－	(2.7)	[8.8]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「麻」	中央部覆土中	25%　PL61
875	須恵器	坏	－	－	－	長石・雲母	黄灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「麻」	覆土中	10%　PL61
876	須恵器	高台付坏	－	(2.4)	6.4	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「麻□」	中央部下層	30%　PL61
877	須恵器	高台付坏	－	(2.4)	[8.0]	長石・石英	黄灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「下麻主」	西部覆土中	50%　PL61
878	須恵器	高台付坏	－	(3.3)	6.5	長石・雲母	灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「麻生」	西部上層	30%　PL61
879	須恵器	高台付坏	－	(2.6)	[7.8]	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「麻」	中央部下層	30%　PL61
880	須恵器	蓋	－	(2.6)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	天井部回転ヘラ削り　墨書「麻□」	中央部覆土中	40%　PL61
881	須恵器	坏	[13.2]	4.3	8.4	長石・雲母	褐灰	良好	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「万」	覆土中	60%　PL61
882	須恵器	坏	－	(1.9)	7.0	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「大万」	西部上層	30%　PL61
883	須恵器	坏	－	(2.4)	6.4	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「千万」	西部下層	30%　PL61

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
884	須恵器	坏	－	(1.9)	[9.8]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「万」	西部上層	10%　PL61
885	須恵器	高台付坏	－	(3.1)	－	長石・石英・雲母	灰褐	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「大万」	西部上層	50%　PL61
886	須恵器	坏	－	(3.0)	7.0	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「坊家」	西部下層	40%　PL65
887	須恵器	坏	－	(2.2)	8.2	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「中家」	西部上層	30%　PL62
888	須恵器	盤	[15.2]	3.6	8.4	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「中家」	西部下層	70%　PL62
889	須恵器	高台付坏	－	(2.4)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□家」	西部覆土中	20%　PL62
890	須恵器	坏	[13.8]	4.8	6.1	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「ナ」	西部下層	30%　PL59
891	須恵器	坏	[12.0]	4.1	[6.8]	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「ナ」	覆土中	20%　PL59
892	須恵器	坏	－	(4.3)	－	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端回転ヘラ削り　墨書「ナ」	中央部上層	30%　PL59
893	土師器	坏	－	(0.8)	7.0	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　内面ヘラ磨き　墨書「ナ」	西部覆土中	10%　PL59
894	須恵器	坏	－	(1.7)	8.4	長石・石英	灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「○」	西部上層	15%　PL61
895	須恵器	坏	－	(2.0)	[7.6]	長石・石英	灰	良好	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「○」	覆土中	15%　PL62
896	須恵器	坏	－	(1.9)	－	長石・石英・雲母・黒色粒子	灰	良好	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「○」	覆土中	10%　PL62
897	須恵器	高台付坏	－	(2.5)	8.2	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「○」	西部下層	10%　PL62
898	須恵器	蓋	－	(1.7)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	天井部回転ヘラ削り　墨書「○」	西部覆土中	20%　PL62
899	須恵器	坏	－	(2.0)	－	長石・石英	にぶい赤褐	普通	体部下端ロクロナデ　底部回転ヘラ切り痕を残し，ヘラナデ　墨書「城内ヵ」	東部覆土中	20%　PL62
900	須恵器	坏	[13.8]	4.4	[7.6]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「城」	西部上層	30%　PL62
901	須恵器	坏	－	(1.8)	[6.6]	長石・石英・雲母	灰	良好	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「城」	西部上層	25%　PL62
902	須恵器	高台付坏	[14.6]	5.9	[8.4]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「大多□」	西部下層	40%　PL64
903	須恵器	高台付坏	－	(2.5)	[9.0]	長石・石英・雲母	灰白	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「大多ヵ□」	西部下層	25%　PL64
904	須恵器	坏	－	(2.6)	[8.5]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□器」	中央部下層	40%　PL64
905	須恵器	坏	－	(3.4)	7.6	石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「器」	西部上層	70%　PL64
906	須恵器	坏	13.5	3.9	8.4	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「禾」	西部下層	70%　PL63
907	須恵器	坏	－	(1.1)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「禾」	中央部上層	10%　PL63
908	須恵器	坏	[13.2]	4.4	6.0	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「子上山／□」	西部上層	50%　PL63・64
909	須恵器	高台付坏	－	(2.4)	11.0	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□山□□水」	西部下層	30%　PL64
910	須恵器	坏	－	(1.2)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「淡水」	中央部覆土中	20%　PL65
911	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「小栗」	覆土中	10%　PL64
912	須恵器	坏	－	(1.8)	5.4	長石・白色針状物質	褐灰	普通	底部糸切り　墨書「井上」	覆土中	30%　PL63
690	須恵器	坏	－	(0.7)	8.2	雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□部」	覆土中	5％　PL64
913	須恵器	坏	[12.8]	3.3	[9.0]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「長□」	中央部下層	20%　PL64
914	須恵器	高台付坏	－	(2.9)	10.2	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「槻」	中央部下層	30%　PL64
915	須恵器	坏	[14.8]	3.8	[9.0]	長石・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「寺」	西部下層	45%　PL65
916	須恵器	坏	－	(3.8)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「佐」	西部覆土中	5％　PL65
917	須恵器	坏	－	(2.2)	6.0	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「夫」	西部下層	20%　PL65
918	須恵器	坏	－	(1.7)	[7.6]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「什」	西部下層	40%　PL63
919	須恵器	坏	－	(3.0)	8.0	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，不定方向のヘラ削り　墨書「卅」	中央部下層	25%　PL63
920	須恵器	坏	－	(1.5)	8.0	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　箆書「×」	中央部下層	30%
921	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英・黒色粒子	灰	良好	体部下端・底部回転ヘラ削り　箆書「×」	東部下層	20%
922	須恵器	盤	－	(3.7)	[10.4]	長石・石英	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　箆書「×」	西部下層	30%　PL78
923	須恵器	坏	－	－	－	長石・石英	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　箆書「一」	西部下層	30%　PL78
924	須恵器	坏	－	(4.0)	－	長石・石英・雲母	灰	良好	ロクロナデ　箆書「▽」	中央部覆土中	20%　PL78
925	須恵器	坏	[12.4]	3.7	[7.0]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部下層	20%　PL73
926	須恵器	坏	[15.0]	3.9	[8.2]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，不定体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部下層	40%　PL73
927	須恵器	坏	[12.8]	4.4	[6.7]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部上層	30%　PL73
928	須恵器	坏	[13.6]	4.1	[8.0]	長石・石英・雲母・白色粒子	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部下層	40%　PL73
929	須恵器	坏	[13.1]	4.3	5.5	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部上層	40%　PL73

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
930	須恵器	坏	[13.2]	4.4	[6.0]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□／□」	中央部覆土中	40%　PL73
931	須恵器	坏	[12.2]	4.2	[6.0]	長石・石英・雲母	灰	良好	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	25%　PL73
932	須恵器	坏	[13.6]	4.2	[7.2]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部上層	30%　PL74
933	須恵器	坏	[12.4]	5.0	[6.0]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（宅ヵ）」	西部覆土中	30%　PL74
934	須恵器	坏	[13.4]	4.4	[6.8]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」　漆付着	西部下層	30%　PL74
935	須恵器	坏	－	3.9	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	20%　PL74
936	須恵器	坏	－	3.6	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端ロクロナデ　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	20%　PL74
937	須恵器	坏	－	3.7	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	20%　PL74
938	須恵器	坏	－	4.7	－	長石・石英	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	20%　PL74
939	須恵器	坏	－	(2.7)	6.5	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰黄褐	不良	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□田ヵ」	西部上層	25%　PL74
940	須恵器	坏	－	(3.6)	[6.8]	長石・石英・雲母	灰白	良好	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部上層	25%　PL74
941	須恵器	坏	－	(4.3)	[7.0]	長石・石英・雲母	灰白	良好	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（川ヵ）」	東部覆土中	25%　PL74
942	須恵器	坏	－	(1.9)	[8.0]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	10%　PL74
943	須恵器	坏	－	(2.9)	[8.6]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	10%　PL74
944	須恵器	坏	－	(2.5)	7.4	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	20%　PL74
945	須恵器	坏	－	(3.1)	[7.0]	石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部上層	20%　PL74
946	須恵器	坏	－	(1.3)	[7.4]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	10%　PL74
947	須恵器	坏	－	(2.0)	[7.8]	長石・石英・雲母	灰	良好	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	15%　PL74
948	須恵器	坏	－	(3.4)	5.7	長石・石英・雲母	灰	良好	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（嶋ヵ）」	覆土中	50%　PL74
949	須恵器	坏	－	(1.5)	[8.2]	長石・石英・雲母	黄灰	良好	体部下端回転ヘラ削り　底部不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	10%　PL74
950	須恵器	坏	－	(2.4)	[7.1]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部下層	10%　PL74
951	須恵器	坏	－	(2.0)	[7.4]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（前ヵ）」	西部下層	10%　PL74
952	須恵器	坏	－	(3.1)	[8.0]	長石・石英	灰褐	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「□」	西部下層	30%　PL74
953	須恵器	坏	－	(2.3)	9.0	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（家ヵ）」	覆土中	25%　PL74
954	須恵器	坏	－	(2.9)	[7.8]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	20%　PL74
955	須恵器	坏	－	(2.4)	[8.0]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り墨書「□」	覆土中	20%　PL74
956	須恵器	坏	－	(2.5)	[8.2]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部下層	25%　PL74
957	須恵器	坏	－	(1.6)	5.8	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	15%　PL75
958	須恵器	坏	－	(1.5)	7.6	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	15%　PL75
959	須恵器	坏	－	(1.8)	7.8	長石・石英	灰褐	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部下層	20%　PL75
960	須恵器	坏	－	(4.1)	[9.6]	長石・石英・雲母	暗灰黄	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「山ヵ人ヵ」	覆土中	25%　PL75
961	須恵器	坏	－	(3.1)	[7.2]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「□」	西部下層	25%　PL75
962	須恵器	坏	－	(2.5)	[8.0]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（多ヵ）前」	西部下層	30%　PL75
963	須恵器	坏	－	(2.4)	－	長石・石英・雲母	灰褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□（嶋ヵ）」	西部覆土中	5％　PL75
964	須恵器	坏	－	(3.6)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL75
965	須恵器	坏	－	(2.6)	－	長石・石英	灰	普通	ロクロナデ　墨書「□（宅ヵ）」	西部覆土中	5％　PL75
966	須恵器	坏	－	(4.2)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	5％　PL75
967	須恵器	坏	－	(3.1)	－	長石・石英・赤色粒子	灰黄褐	普通	ロクロナデ　墨書「□□（万ヵ）」	覆土中	5％　PL75
968	須恵器	坏	－	(3.8)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	覆土中	5％　PL75
969	須恵器	坏	－	(2.9)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	ロクロナデ　墨書「□」	覆土中	5％　PL75
970	須恵器	坏	－	(3.5)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	5％　PL75
971	須恵器	坏	－	(3.5)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	覆土中	5％　PL75
972	須恵器	坏	－	(0.9)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部上層	5％　PL75
973	須恵器	坏	－	(2.0)	－	石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部上層	10%　PL75
974	須恵器	坏	－	(1.2)	－	石英・雲母	灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	東部上層	5％　PL75
975	須恵器	坏	－	(2.1)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL75
976	須恵器	坏	－	(0.5)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL75

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
977	須恵器	坏	－	(0.6)	－	石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL75
978	須恵器	坏	－	(1.0)	－	長石・石英・雲母	灰	良好	底部回転ヘラ切り痕を残し，底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（宅ヵ）」	東部下層	5％　PL75
979	須恵器	坏	－	(0.9)	－	長石・石英・雲母	褐灰	良好	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部上層	5％　PL75
980	須恵器	坏	－	(2.4)	－	長石・石英・雲母	褐灰	良好	体部下端回転ヘラ削り　底部不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	10%　PL75
981	須恵器	坏	－	(1.6)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り　墨書「□」	中央部覆土中	10%　PL75
982	須恵器	坏	－	(0.5)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL76
983	須恵器	坏	－	(1.3)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	10%　PL76
984	須恵器	坏	－	(2.3)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「上□（山ヵ）」	中央部覆土中	5％　PL76
985	須恵器	坏	－	(0.6)	－	長石・石英	褐灰	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（糸ヵ）」	東部覆土中	5％　PL76
986	須恵器	坏	－	(1.7)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	10%　PL76
987	須恵器	坏	－	(2.1)	－	長石・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	10%　PL76
988	須恵器	坏	－	(2.1)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	10%　PL76
989	須恵器	坏	－	(1.4)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	10%　PL76
990	須恵器	坏	－	(1.1)	－	長石・石英	褐灰	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	10%　PL76
991	須恵器	坏	－	(0.7)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL76
992	須恵器	坏	－	(0.6)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部覆土中	5％　PL76
993	須恵器	坏	－	(2.5)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	10%　PL76
994	須恵器	坏	－	(3.2)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，ヘラナデ　墨書「□」	覆土中	10%　PL76
995	須恵器	坏	－	(2.2)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（麻ヵ）」	覆土中	10%　PL76
996	須恵器	坏	－	(0.8)	－	長石・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，ヘラナデ　墨書「□」	覆土中	5％　PL76
997	須恵器	坏	－	(0.8)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	底部手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	5％　PL76
998	須恵器	坏	－	(0.8)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	5％　PL76
999	須恵器	坏	－	(1.5)	－	長石・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	10%　PL76
1000	須恵器	坏	－	(1.8)	－	長石・石英・雲母	暗灰黄	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	10%　PL76
1001	須恵器	坏	－	(1.3)	－	長石・石英・雲母	褐	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部ヘラナデ　墨書「□（宅ヵ）」	西部下層	5％　PL76
1002	須恵器	坏	－	(0.7)	－	長石・石英・雲母	灰褐	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，ヘラナデ　墨書「□」	覆土中	5％　PL76
1003	須恵器	坏	－	(1.8)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，ヘラナデ　墨書「□」	覆土中	10%　PL76
1004	須恵器	坏	－	(0.5)	－	長石・石英	褐灰	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	5％　PL76
1005	須恵器	坏	－	(0.9)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「□」	覆土中	10%　PL76
1006	須恵器	坏	－	(1.5)	－	長石・石英	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部ヘラナデ　墨書「□」	覆土中	20%　PL76
1007	須恵器	坏	－	(0.6)	－	長石・石英	褐灰	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「禾」	覆土中	10%　PL76
1008	須恵器	坏	－	(0.6)	－	長石・石英	灰黄褐	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	10%　PL76
1009	須恵器	坏	－	(0.8)	－	長石・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	5％　PL77
1010	須恵器	坏	－	(1.2)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，ヘラナデ　墨書「□」	覆土中	10%　PL77
1011	須恵器	坏	－	(3.1)	－	石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	西部下層	20%　PL77
1012	須恵器	坏	－	(3.0)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	20%　PL77
1013	須恵器	坏	－	(1.9)	－	長石・石英・雲母	褐灰	良好	体部下端手持ちヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し，ヘラナデ　墨書「□」	覆土中	10%　PL77
1014	須恵器	坏	－	(2.6)	－	長石・石英	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	10%　PL77
1015	須恵器	坏	－	(3.3)	－	長石・石英・雲母	灰	不良	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「嶋」	覆土中	25%　PL77
1016	須恵器	坏	－	(1.5)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	25%　PL77
1017	須恵器	坏	－	(1.1)	－	長石・石英・雲母	灰	良好	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	10%　PL77
1018	須恵器	坏	－	(0.7)	－	長石・石英・雲母	灰白	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	10%　PL77
1019	須恵器	坏	－	(1.3)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	20%　PL77
1020	須恵器	坏	－	(1.2)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「□」	覆土中	15%　PL77
1021	須恵器	坏	－	(1.6)	－	長石・石英	灰白	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	10%　PL77
1022	須恵器	坏	－	(0.7)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	10%　PL77
1023	須恵器	坏	－	(1.8)	－	長石・石英	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□家」	覆土中	5％　PL77

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
1024	須恵器	坏	－	(1.4)	－	長石・石英	灰黄	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	5％　PL77
1025	須恵器	坏	－	(0.5)	－	長石・雲母	暗灰黄	普通	底部手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	5％　PL77
1026	須恵器	坏	－	(0.7)	－	長石・雲母	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	覆土中	5％　PL77
1027	須恵器	高台付坏	－	(2.3)	[7.2]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□」	覆土中	40％　PL77
1028	須恵器	高台付坏	[13.8]	4.8	9.0	長石・石英	灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□」	西部下層	70％　PL77
1029	須恵器	高台付坏	[12.6]	5.0	8.4	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「可ヵ」	覆土中	60％　PL77
1030	須恵器	高台付坏	[14.1]	5.4	[9.0]	長石・石英・雲母	青灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	30％　PL77
1031	須恵器	高台付坏	－	(1.9)	9.3	長石・石英・雲母	灰	良好	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「宅」墨痕　転用硯	中央部下層	30％　PL77
1032	須恵器	高台付坏	－	(2.2)	11.3	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□（区ヵ）」	覆土中	30％　PL77
1033	須恵器	高台付坏	－	(2.0)	[9.0]	長石・石英・雲母	灰褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□」	西部上層	30％　PL77
1034	須恵器	高台付坏	－	(1.8)	[8.6]	長石・石英・雲母	灰	良好	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	20％　PL78
1035	須恵器	高台付坏	－	(2.2)	[8.0]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「□」	中央部覆土中	30％　PL78
1036	須恵器	高台付坏	－	(2.1)	[11.4]	長石・石英・雲母	灰白	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「□□」	覆土中	30％　PL78
1037	須恵器	高台付坏	－	(2.4)	[8.2]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「□」	覆土中	10％　PL78
1038	須恵器	高台付坏	－	(2.8)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「□」	東部下層	10％　PL78
1039	須恵器	蓋	－	(1.0)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	中央部覆土中	5％　PL78
1040	須恵器	盤	－	(1.1)	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端・底部回転ヘラ削り　墨書「□」	中央部上層	5％　PL78
1041	須恵器	甕	[21.5]	(4.2)	－	長石・石英・雲母	黄灰	普通	ロクロナデ　墨書「□」	西部上層	20％　PL78

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	胎　　土	色　　調	特　　徴	出土位置	備　考
DP 2	土玉	2.4	2.9	2.4	19.6	長石・石英・雲母	黒褐	ナデ　一方向からの穿孔　孔径 0.7cm	西部下層	PL38
DP 3	紡錘車	6.3	(3.6)	1.8	(29.5)	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	外面黒色処理　ナデ　孔径（2.1）cm	覆土中	
DP 4	羽口	(5.6)	(4.9)	(4.3)	(91.8)	長石・石英	にぶい黄橙	先端部片　ナデ　孔径 1.5cm	覆土中	

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
Q 1	砥石	4.6	3.9	1.7	48.6	凝灰岩	砥面６面　孔径 0.5cm	西部下層	PL38
Q 2	紡錘車	4.3	4.2	(0.7)	(16.0)	泥岩	一方向からの穿孔　孔径 0.8cm	中央部下層	

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	特　　徴	出土位置	備　考
M 1	椀状滓	9.4	(8.1)	3.7	(287.1)	磁着度・メタル度なし	覆土中	PL38

番号	種　別	器　　種	長さ	幅	厚さ	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
W 101	農具	鍬先	43.6	12.8	4.4	アカガシ	板目　着柄部　紐かけ２か所	東部下層	PL39
W 102	農具	鍬先	43.4	16.9	12.0	クヌギ	みかん割　未製品	西部下層	PL39
W 103	農具ヵ	柄	(9.4)	3.7	2.6	アカガシ	板目	中央部下層	PL40
W 104	農具ヵ	柄	(13.7)	2.7	2.5	広葉樹	板目　未製品	中央部下層	
W 105	農具	柄	(26.5)	4.7	3.9	コナラ	柾目	西部下層	PL40
W 106	農具ヵ	柄	(14.6)	4.3	2.1	クヌギ	芯持削出	西部下層	PL40
W 107	農具	横槌	41.8	5.0	5.0	広葉樹	芯持削出　搗き部先端部摩滅	西部下層	PL40
W 108	農具	横槌	(32.8)	7.3	6.8	クヌギ	みかん割　粗い削り調整　未製品	西部下層	PL40
W 109	農具	竪杵	82.8	9.0	8.4	アカガシ	芯持削出　搗き部先端部摩滅　抉れ部２か所	西部下層	PL40
W 110	農具	竪杵	(35.7)	8.3	7.1	クヌギ	芯無削出　搗き部先端部摩滅	西部下層	PL40
W 111	農具	竪杵	(36.0)	7.7	5.5	クヌギ	芯無削出　搗き部先端部摩滅	西部下層	
W 112	農具	竪杵	(36.5)	8.3	6.2	広葉樹	芯無削出　搗き部先端部摩滅	西部上層	PL40
W 113	農具	竪杵	(44.9)	7.8	6.9	クヌギ	芯無削出　搗き部先端部摩滅	西部下層	PL40
W 114	服飾具	横櫛	(8.2)	4.8	0.8	イスノキ	柾目　櫛歯残存 10 本　1 cm間に８本	西部下層	PL38

番号	種　別	器　　種	口径	器高	底径	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
W 115	容器	挽物・高台付坏	[12.0]	6.2	[8.2]	イヌガヤ	縦木取り　芯持材　漆	中央部上層	PL39
W 116	容器	挽物・皿	[44.0]	(2.2)	－	ケヤキ	横木取り　漆	覆土中	PL39

番号	種　別	器　　種	長さ	幅	厚さ	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
W 117	容器	甑底板	(10.0)	(4.2)	0.9	ヒノキ	板目　中央部円孔　径（1.9）cm	覆土中	PL41
W 118	容器	刳物・皿	(18.9)	(9.1)	1.2	サクラ	横木取り　柾目	中央部上層	PL41
W 119	容器	刳物・皿	(11.4)	(8.0)	0.8	ケヤキ	横木取り　板目	中央部下層	PL41
W 120	容器	円形曲物・底板	(10.4)	(1.4)	1.0	針葉樹	板目	覆土中	
W 121	容器	円形曲物・底板	(12.6)	(8.6)	0.8	スギ	柾目　片面刃物痕　一部炭化	西部下層	PL41
W 122	容器	円形曲物・甑底板	(14.9)	(2.9)	0.9	アスナロ	板目　中央部円孔　径（1.2）cm　片面刃物痕 一部炭化	覆土中	
W 123	容器	円形曲物・底板	(17.0)	(3.0)	0.7	ヒノキ	板目　皮綴じ　片面刃物痕	西部下層	PL42
W 124	容器	円形曲物・底板	18.0	(9.8)	0.7	ヒノキ	板目　皮綴じ　片面刃物痕	東部下層	PL41
W 125	容器	円形曲物・底板	(19.3)	(8.1)	0.7	アスナロ	板目　皮綴じ	西部下層	PL41
W 126	容器	円形曲物・甑底板	18.9	(13.5)	1.0	ヒノキ	板目　皮綴じ　中央部円孔　径 1.5cm	中央部下層	PL41
W 127	容器	円形曲物・底板	20.5	(10.2)	0.7	ヒノキ	板目	西部下層	PL41
W 128	容器	円形曲物・底板	(20.5)	(9.8)	1.1	ヒノキ	板目　皮綴じ　円孔６か所　径４㎜　片面刃物痕	中央部下層	PL42
W 129	容器	円形曲物・底板	(13.8)	(6.9)	0.7	針葉樹	板目　皮綴じ　円孔１か所　径３㎜　片面刃物痕	中央部下層	
W 130	容器	円形曲物・底板	(19.4)	(3.1)	0.4	針葉樹	柾目　円孔２か所　径４㎜　片面刃物痕	西部下層	
W 131	容器	円形曲物・蓋板	(17.5)	(6.5)	0.9	ヒノキ	柾目　皮綴じ　片面刃物痕	西部上層	PL42
W 132	容器	円形曲物・蓋板	(20.4)	(5.5)	0.7	針葉樹	柾目　円孔１か所　径３㎜　片面刃物痕	西部下層	
W 133	容器	楕円形曲物・底板	(50.8)	(5.1)	1.0	ヒノキ	板目　皮綴じ　円孔１か所　径３㎜　両面刃物痕	西部下層	PL42
W 134	容器	楕円形曲物・底板	(25.5)	(10.8)	0.7	ヒノキ	柾目　皮綴じ　孔１か所　径４㎜　両面刃物痕	西部下層	PL42
W 135	容器	曲物・側板	(5.3)	(4.7)	0.4	ヒノキ	板目　内面ケビキ　漆付着	覆土中	PL42
W 136	容器	曲物・側板	(10.0)	(2.6)	0.3	ヒノキ	板目　皮綴じ　一部炭化	覆土中	PL42
W 137	容器	曲物・側板	(12.6)	(3.2)	0.4	ヒノキ	柾目　皮綴じ	中央部下層	PL42
W 138	容器	曲物・側板	(37.5)	(3.3)	0.4	ヒノキ	柾目　皮綴じ　円孔１か所　径４㎜　ケビキ	中央部下層	PL42
W 139	容器	曲物・側板	(21.6)	(4.5)	1.0	ヒノキ	板目　綴じ合わせ部　皮綴じ　内面ケビキ	覆土中	PL42
W 140	容器	曲物・側板	(18.3)	(5.5)	0.4	ヒノキ	柾目　釘綴じ　釘孔４か所　孔径４㎜	中央部下層	
W 141	容器	曲物・篩カ	(26.4)	(17.9)	(1.9)	針葉樹	側板柾目　簾状の材を二重の側板で挟んでいる ８～９㎜間隔で凹み　糸綴じカ	中央部下層	
W 142	武器	弓	(34.0)	2.7	1.8	イヌガヤ	芯持削出　未製品	東部下層	PL39
W 143	祭祀具	刀形	(23.6)	2.7	0.8	ヒノキ	柾目　目釘孔２か所　径３㎜　一部炭化	中央部下層	PL39
W 145	用途不明品	荷札状木製品	8.0	1.6	0.2	モミ	柾目　上部左右からの切り込み　上部欠損	西部上層	PL39
W 146	用途不明品	荷札状木製品	(10.2)	1.8	0.4	ヒノキ	柾目　上部左右からの切り込み　上部欠損	西部下層	PL39
W 147	用途不明品	斎串カ	(10.6)	1.8	0.3	ヒノキ	柾目　上部欠損	西部下層	PL39
W 53	部材	建築用材	98.0	17.0	8.5	クリ	板目　長辺端部側面に仕口　幅 4.8cm　端部削 り加工	木組み部	PL30
W 57	部材	建築用材	110.8	12.0	5.2	クリ	みかん割　長辺端部両側面に仕口　幅 4.6 ～ 5.4cm	木組み部	PL30
W 58	部材	建築用材	(110.5)	17.0	11.0	クヌギ	芯無削出　桟穴２か所　円孔径（5.4）cm 方孔長 4.2cm	木組み部	PL30
W 59	部材	建築用材	66.0	15.5	6.2	クリ	板目　両端部削り加工	木組み部	PL32
W 60	部材	建築用材	46.0	11.0	4.2	広葉樹	板目　枘穴１か所　幅 3.2cm　両端部削り加工	木組み部	PL27
W 62	部材	建築用材	262.0	18.0	11.5	クヌギ	芯持削出　長辺端部に欠込仕口　中央に柱枘穴 円孔径 6.5cm　側面方孔幅 6.8cm	木組み部	PL31
W 63	部材	建築用材	(150.5)	19.0	16.5	クリ	芯持削出　桟穴６か所　方孔長さ 4.1 ～ 5.0cm	木組み部	PL31
W 64	部材	建築用材	(176.5)	17.0	11.0	クリ	芯無削出　長辺端部に欠込仕口　柱枘穴部欠損 桟穴４か所　方孔長さ 3.6 ～ 4.2cm	木組み部	PL31
W 65	部材	建築用材	40.2	10.2	4.4	クヌギ	板目　枘穴　幅 4.8cm	木組み部	PL27
W 66	部材	建築用材	72.0	8.0	7.5	クヌギ	みかん割材削出　頭部鑿痕	木組み部	PL32
W 67	部材	建築用材	94.3	20.0	2.5	クヌギ	柾目	木組み部	PL32
W 68	部材	建築用材	(54.0)	20.5	11.0	クヌギ	芯無削出　長辺端部に欠込仕口　中央に柱枘穴 円孔径（8.0）cm	木組み部	PL30
W 69	部材	建築用材	(101.5)	20.0	12.5	クヌギ	芯無削出　長辺端部に欠込仕口　幅 4.8cm 中央に柱枘穴　円孔径 6.0cm	木組み部	PL30
W 75	部材	建築用材	244.0	14.0	14.0	広葉樹	半裁材　両端部１～２方向からの削り加工	木組み部	

番号	種　別	器　　種	長さ	幅	厚さ	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
W 77	土木材	杭	87.5	7.8	6.0	ニレ	芯持丸木　先端部５方向からの削り加工	木組み部	PL32
W 78	土木材	杭	97.5	9.0	8.0	クリ	芯持丸木　先端部３方向からの削り加工	木組み部	PL32
W 80	土木材	杭	57.0	10.0	6.0	コナラ	半裁材　先端部３方向からの削り加工	木組み部	
W 81	土木材	杭	154.0	10.0	4.0	広葉樹	みかん割　端部３方向からの削り加工	木組み部	
W 82	土木材	杭	58.0	8.0	5.0	広葉樹	半裁材　先端部４方向からの削り加工	木組み部	
W 83	土木材	杭	110.0	7.0	7.0	広葉樹	半裁材　先端部２方向からの削り加工	木組み部	
W 84	土木材	杭	167.0	10.0	10.0	広葉樹	みかん割　先端部３方向からの削り加工	木組み部	
W 85	土木材	杭	113.0	7.0	7.0	広葉樹	半裁材　先端部５方向からの削り加工	木組み部	
W 87	土木材	杭	127.0	11.0	6.0	広葉樹	みかん割　先端部１方向からの削り加工	木組み部	
W 88	土木材	杭	56.0	11.0	8.0	広葉樹	芯持丸木　先端部１方向からの削り加工	木組み部	
W 89	土木材	杭	65.0	13.0	11.0	広葉樹	みかん割　先端部５方向からの削り加工	木組み部	
W 90	土木材	杭	30.0	6.0	5.0	広葉樹	半裁材　先端部３方向からの削り加工	木組み部	
W 91	土木材	杭	68.0	8.0	8.0	広葉樹	芯持丸木　先端部４方向からの削り加工	木組み部	
W 92	土木材	杭	107.0	11.0	10.0	針葉樹	芯持丸木　先端部５方向からの削り加工	木組み部	
W 93	土木材	杭	39.0	6.0	4.0	広葉樹	みかん割　先端部４方向の削り加工	木組み部	
W 144	土木材	杭	(50.8)	9.4	8.4	クヌギ	みかん割　先端部３方向からの削り加工	木組み部	

番号	種　類	名　　称	長さ	幅	厚さ	重量	特　　徴	出土位置	備　考
N３	獣骨	鹿骨	(5.6)	(3.1)	(2.6)	(9.2)	肩胛骨片	中央部下層	PL38

4　室町時代の遺構と遺物

当時代の遺構は，堀跡１条，溝跡１条を確認した。以下，遺構及び遺物について記述するが，平面図は遺構全体図に示す。

(1)　堀跡

第 91 号堀跡（第４・129 図）

位置　調査区南端部のＴ 10d2 ～Ｔ 11c1 区，標高 13 ～ 16 ｍの台地斜面部から低地部に位置している。西部は平成 14・17 年度の調査区に位置し，『茨城県教育財団文化財調査報告』第 214・291 集でそれぞれ報告されている。

確認状況　排水用トレンチを掘削したため，北肩部の一部と土層断面しか確認できなかった。

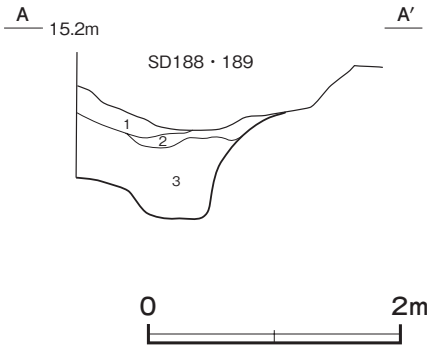
重複関係　第１・２号遺物集中地点を掘り込み，第 188・189 号溝に掘り込まれている。

規模と形状　調査区南部のＴ６g0 区から東方向（Ｎ－ 72 ～ 85°－Ｅ）と南方向（Ｓ－ 11 －Ｗ）へＬ字状に延びており，本報告分は東方向へ延びる堀の東部にあたる。トレンチ掘削のため，長さは 33.5 ｍしか確認できなかった。東方向（Ｎ－ 83°－Ｅ）に直線的に延びており，Ｔ 11c1 区で止まるか，あるいは南側へ屈曲していると推定できる。深さは 125 ～ 132㎝で，東部ほど深くなっている。断面形は逆台形と推定でき，確認できた壁は外傾して立ち上がっている。

覆土　３層に分層できる。黒褐色土を主体とした自然堆積である。

土層解説

１　黒　褐　色　ローム粒子微量
２　黒　褐　色　ロームブロック微量
３　黒　　色　ローム粒子・焼土粒子微量



第 129 図　第 91 号堀跡実測図

出土遺物　陶器片１点（甕）のほか，流れ込んだ土師器片 13 点（坏６，甕７），須恵器片２点（坏，高盤）が出土している。いずれも摩滅した細片のため，図示できなかった。

所見　南端部をＬ字状に区画している。これまでに確認できた総延長は 193 ｍで，Ｔ６g0 区の屈曲部から東方向へ 168 ｍ，南方向へ 29 ｍ延びており，それぞれ調査区域外へ延びている。時期は，『茨城県教育財団文化財調査報告』第 214・291 集の成果から 15 世紀後半と考えられる。

(2)　溝跡

第 556 号溝跡（第４・130・131 図）

位置　調査区中央部のＳ 10h6 区から南部のＴ 10b8 区にかけて，標高 15 ｍほどの緩斜面部に位置している。

重複関係　第 562 号溝跡，第１・２号遺物集中地点を掘り込んでいる。

規模と形状　湧水点を掘りくぼめた北部の土坑部と，そこに溜まった水を排水する南部の溝部で構成されている。土坑部は，北部の立ち上がりが不鮮明であったため，長軸 7.10 ｍ，短軸 4.65 ｍしか確認できなかった。平面形は不定形で，長軸方向はＮ－ 31°－Ｗである。底面は凹凸があり，北部には径 65㎝の円形で，深さ 42

cmの湧水孔があり，南半部には長軸357cm，短軸193cmの不整隅丸長方形で，深さ10～14cmの凹みがある。壁は緩やかに立ち上がっている。深さは62～71cmで，底部は砂礫層（基本層序Ⅶ層）を掘り込んでおり，激しい湧水が認められる。溝部は５条に分かれており，堆積状況から，西側の溝群から東側の溝群への新旧関係が認められる。南端部が不鮮明なため，長さ8.40～13.15ｍしか確認できなかった。いずれも南方向（Ｓ－４～８°－Ｅ）に直線的に延びており，上幅0.20～0.65ｍ，下幅0.11～0.40ｍ，深さ９～16cmである。断面形はＵ字形で，壁は緩やかに立ち上がっている。

ピット　２か所。Ｐ１・Ｐ２は深さ34cm・26cmで，性格不明である。

ピット土層解説（各ピット共通）

1　黒　褐　色　粘土ブロック少量，ローム粒子微量
2　黒　褐　色　ローム粒子・粘土粒子微量

覆土　６層に分層できる。粘質土を主体とした自然堆積で，第３・６層は流水時の堆積物である。

土層解説

1　暗 灰 黄 色　粘質土　焼土粒子少量，粘土ブロック微量
2　黄　灰　色　粘質土　粘土ブロック・焼土粒子微量
3　にぶい黄褐色　砂質土　鉄分沈着多量
4　褐　灰　色　粘質土　炭化物少量，焼土粒子微量
5　暗 灰 黄 色　粘質土　細砂微量
6　オリーブ褐色　粘質土混じり粗砂　鉄分沈着多量

遺物出土状況　土師質土器片14点（小皿４，内耳鍋10），陶器８点（碗２，皿１，甕５），石器３点（石臼２，砥石１），金属製品２点（刀子，銭貨），木製品２点（円板状木製品），自然遺物（自然木，種子類，ケヤキの葉），石８点（雲母片岩）が土坑部の覆土下層から散在した状態で出土している。また，流れ込んだ土師器片79点（坏15，高台付椀２，高坏１，鉢２，甕59），須恵器片57点（坏19，高台付坏２，甕36），石器１点（磨石）が出土している。1042・Ｑ４・Ｍ３・Ｗ148・Ｗ149は，土坑部の覆土下層からそれぞれ出土している。

所見　時期は，出土土器から16世紀代と考えられる。調査区北東側に隣接している香取神社に伴う水場の可能性がある。

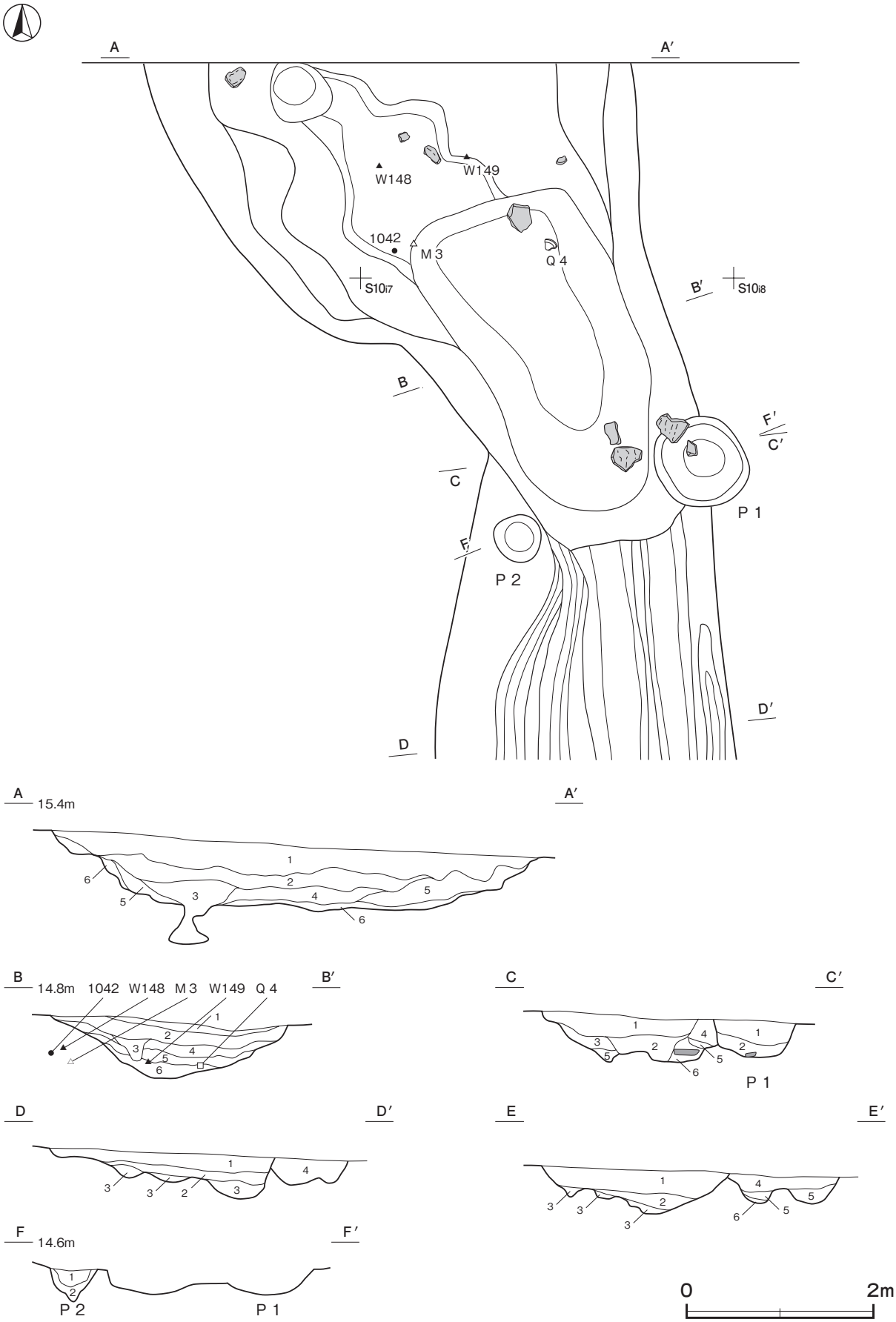
第556号溝跡出土遺物観察表（第131図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
1042	土師質土器	内耳鍋	－	(12.0)	－	長石・雲母	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部外・内面ヘラナデ	下層	10%
1043	陶器	甕	－	(5.9)	－	長石・石英	褐灰	良好	ロクロナデ	覆土中	5％　常滑

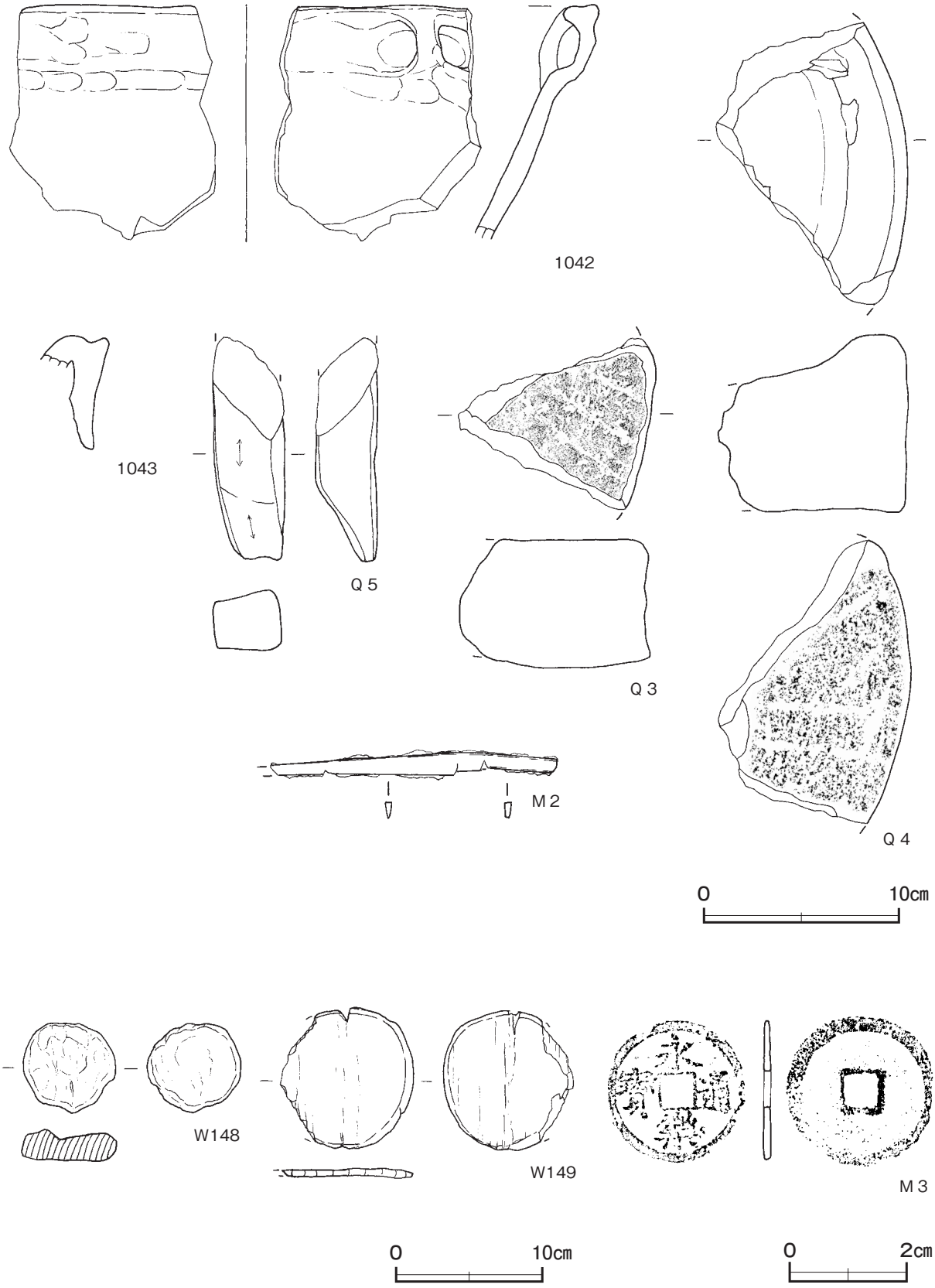
番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　質	特　徴	出土位置	備　考
Ｑ３	石臼	(8.9)	(10.3)	(6.6)	(587.2)	安山岩	下臼　擂目３条	覆土中	PL43
Ｑ４	石臼	(14.5)	(9.8)	9.2	(1134.6)	安山岩	上臼　擂目４条	下層	PL43
Ｑ５	砥石	(11.5)	3.8	3.2	(116.6)	凝灰岩	砥面３面	覆土中	PL43

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　質	特　徴	出土位置	備　考
Ｍ２	刀子	(14.8)	1.3	0.35	(11.7)	鉄	切先部欠損　茎部断面長方形　片区	覆土中	
Ｍ３	銭貨	2.4	2.4	0.1	1.9	銅	永楽通宝　明銭（初鋳1408年）	下層	PL43

番号	種　別	器　種	長さ	幅	厚さ	材　質	特　徴	出土位置	備　考
Ｗ148	用途不明品	円板状木製品	6.4	6.1	2.0	クリ	板目	下層	PL43
Ｗ149	用途不明品	円板状木製品	9.7	(9.0)	0.6	ヒノキ	板目	下層	PL43



第 130 図　第 556 号溝跡実測図



第 131 図　第 556 号溝跡出土遺物実測図

5　その他の遺構と遺物

今回の調査で，時期不明の井戸跡２基，土坑 21 基，道路跡４条，溝跡 15 条，ピット群２か所を確認した。以下，遺構と遺物について記述する。

(1)　井戸跡

第 200 号井戸跡（第 132 図）

位置　調査区南東部の T10c0 区，標高 13 mほどの埋没谷部に位置している。

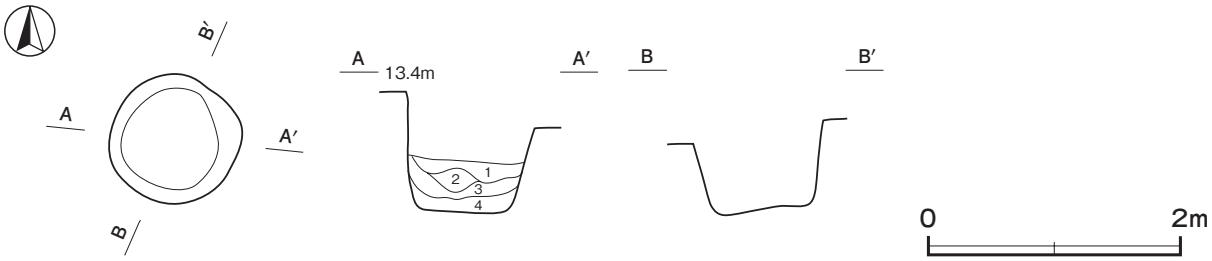
規模と形状　径 1.06 mほどの円形である。底面は平坦で，壁はほぼ直立している。確認面からの深さは 62㎝で，常総粘土層を掘り込んでおり，底部からは湧水が認められる。

覆土　４層に分層できる。軟質の粘質土や粘土を主体とする自然堆積である。

土層解説

1　灰オリーブ色　粗砂混じり粘質土　常総粘土ブロック少量
2　灰オリーブ色　粘質土　植物遺体中量
3　灰　　色　粗砂混じり粘質土
4　オリーブ黒色　粘土　常総粘土ブロック中量

所見　時期は，出土遺物が無いため不明である。



第 132 図　第 200 号井戸跡実測図

第 201 号井戸跡（第 133 図）

位置　調査区南部の T10c4 区，標高 15 mほどの斜面部に位置している。

規模と形状　径 1.03 mほどの円形である。底面は平坦で，壁はほぼ直立している。確認面からの深さは 153㎝で，常総粘土層を掘り込んでおり，下位の壁部からは湧水が認められる。

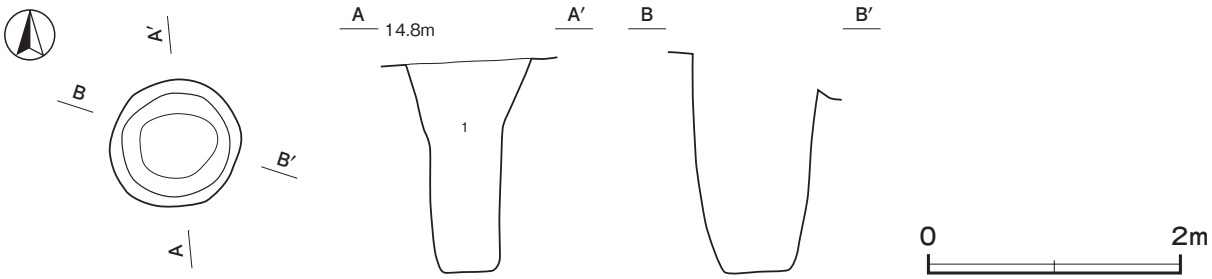
覆土　単一層である。台地部からの流入土を主体とした自然堆積である。

土層解説

1　橙　　色　砂質土　ロームブロック少量

遺物出土状況　土師器片７点（坏２，甕５），須恵器片１点が出土している。いずれも摩滅した細片である。

所見　時期は，出土土器が細片のため不明である。



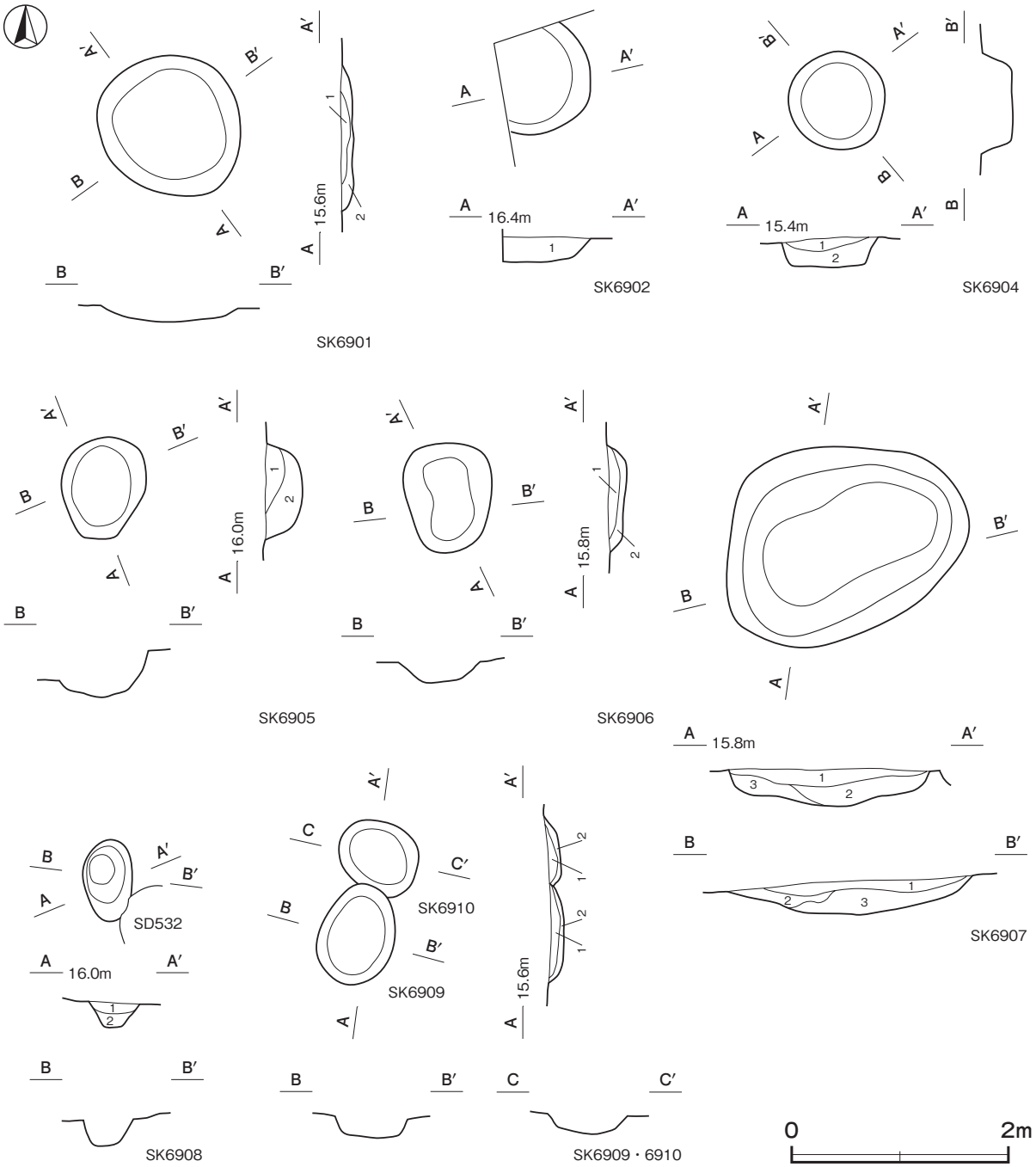
第 133 図　第 201 号井戸跡実測図

表５　その他の井戸跡一覧表

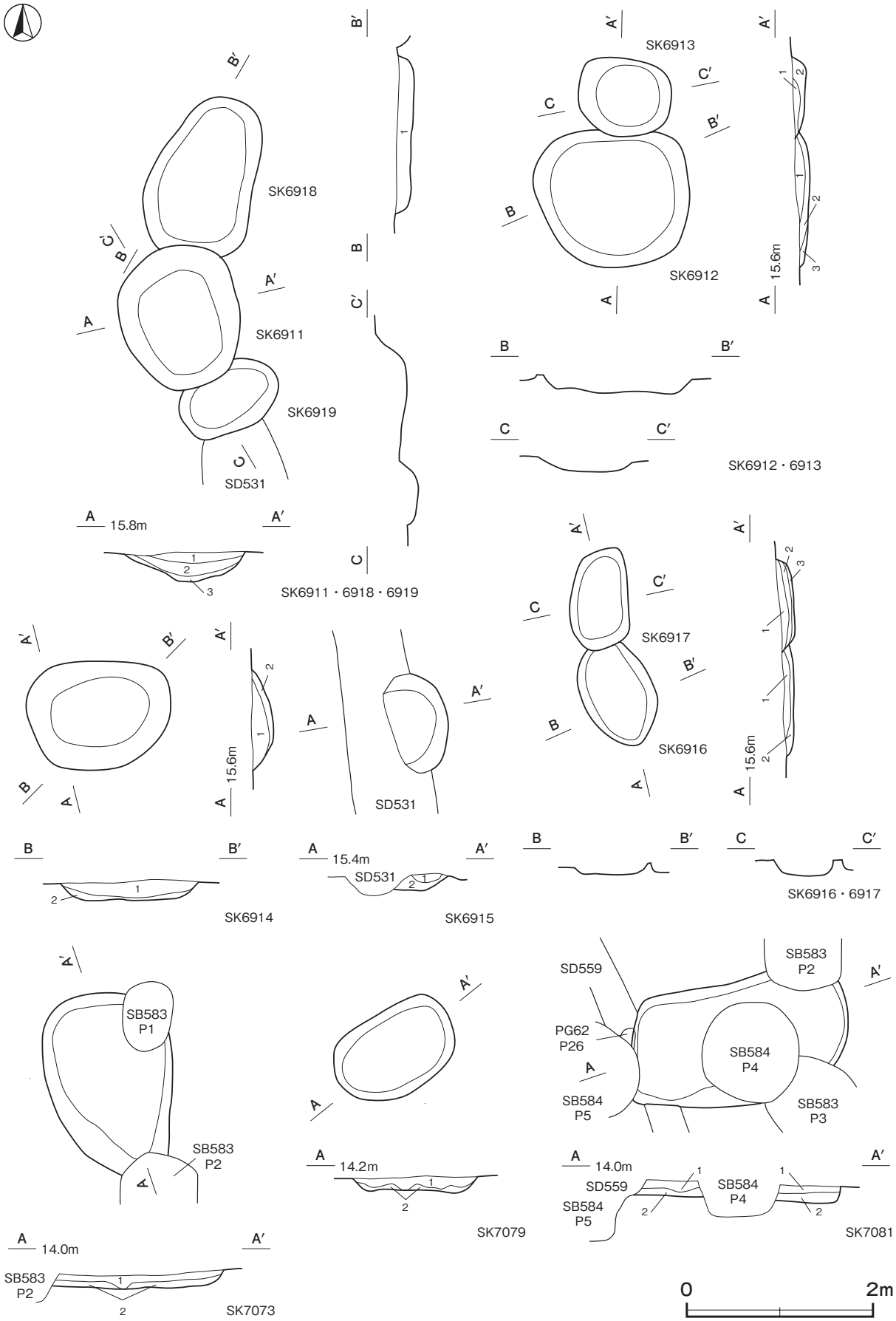
番号	位置	長径方向	平面形	規模		底面	壁面	覆土	主な出土遺物	備考
				長径×短径（m）	深さ（cm）					重複関係(古→新)
200	T10c0	－	円形	1.06 × 1.02	62	平坦	直立	自然		
201	T10c4	－	円形	1.03 × 1.00	153	平坦	直立	自然	土師器片，須恵器片	

(2)　土坑（第 134・135 図）

今回の調査で，時期不明の土坑 21 基を確認した。以下，実測図と土層解説，一覧表を掲載する。



第 134 図　その他の土坑実測図 (1)



第 135 図　その他の土坑実測図 (2)

第 6901 号土坑土層解説
1　黒　褐　色　粗砂中量，ローム粒子少量，焼土ブロック・炭化粒子微量
2　にぶい黄褐色　粗砂中量，ロームブロック・炭化物少量

第 6902 号土坑土層解説
1　褐　　色　ロームブロック中量，炭化粒子少量，焼土粒子微量

第 6904 号土坑土層解説
1　灰 黄 褐 色　粗砂中量，ロームブロック・粘土ブロック少量
2　暗　褐　色　粘土ブロック中量，ロームブロック・粗砂少量，炭化粒子微量

第 6905 号土坑土層解説
1　暗　褐　色　ロームブロック・粗砂中量，粘土ブロック少量
2　にぶい黄褐色　粗砂多量，粘土ブロック少量，炭化粒子微量

第 6906 号土坑土層解説
1　暗　褐　色　粗砂中量，炭化物微量
2　にぶい黄褐色　粗砂多量

第 6907 号土坑土層解説
1　黒　褐　色　粗砂中量，ロームブロック少量
2　暗　褐　色　粗砂中量，ロームブロック少量
3　暗　褐　色　粗砂少量，ロームブロック少量

第 6908 号土坑土層解説
1　暗　褐　色　粗砂中量，ローム粒子少量
2　黒　褐　色　ローム粒子・粗砂少量

第 6909 号土坑土層解説
1　黒　褐　色　粗砂中量，ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量
2　にぶい黄褐色　粗砂中量，ローム粒子微量

第 6910 号土坑土層解説
1　暗　褐　色　粗砂中量，ローム粒子・焼土粒子少量，炭化粒子微量
2　にぶい黄褐色　粗砂中量，ローム粒子微量

第 6911 号土坑土層解説
1　暗　褐　色　粗砂中量，ローム粒子・炭化粒子微量
2　暗　褐　色　ロームブロック・粗砂少量
3　暗　褐　色　粘土ブロック少量，ローム粒子・粗砂微量

第 6912 号土坑土層解説
1　黒　褐　色　粘土ブロック少量，ローム粒子微量
2　暗　褐　色　粘土ブロック・ローム粒子少量
3　褐　　色　ロームブロック中量，粘土粒子少量

第 6913 号土坑土層解説
1　黒　褐　色　ローム粒子・炭化粒子微量
2　にぶい黄褐色　粘土粒子中量，ローム粒子・炭化粒子少量

第 6914 号土坑土層解説
1　暗　褐　色　ロームブロック・炭化物・粗砂少量
2　にぶい黄褐色　粗砂中量，ロームブロック少量

第 6915 号土坑土層解説
1　にぶい赤褐色　焼土ブロック多量，炭化物少量，ローム粒子微量
2　暗 赤 褐 色　焼土ブロック・炭化物・粘土粒子少量，ローム粒子微量

第 6916 号土坑土層解説
1　褐　灰　色　粘土ブロック少量
2　灰　褐　色　ローム粒子・粘土粒子・粗砂少量

第 6917 号土坑土層解説
1　褐　灰　色　粘土ブロック少量
2　灰　褐　色　粘土ブロック少量
3　にぶい褐色　粘土ブロック少量

第 6918 号土坑土層解説
1　にぶい黄褐色　粗砂中量

第 7073 号土坑土層解説
1　明　褐　色　ローム粒子中量
2　暗　褐　色　ロームブロック微量

第 7079 号土坑土層解説
1　明　褐　色　ローム粒子中量
2　極 暗 褐 色　ローム粒子微量

第 7081 号土坑土層解説
1　明　褐　色　ローム粒子中量，焼土粒子・炭化粒子微量
2　暗　褐　色　ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

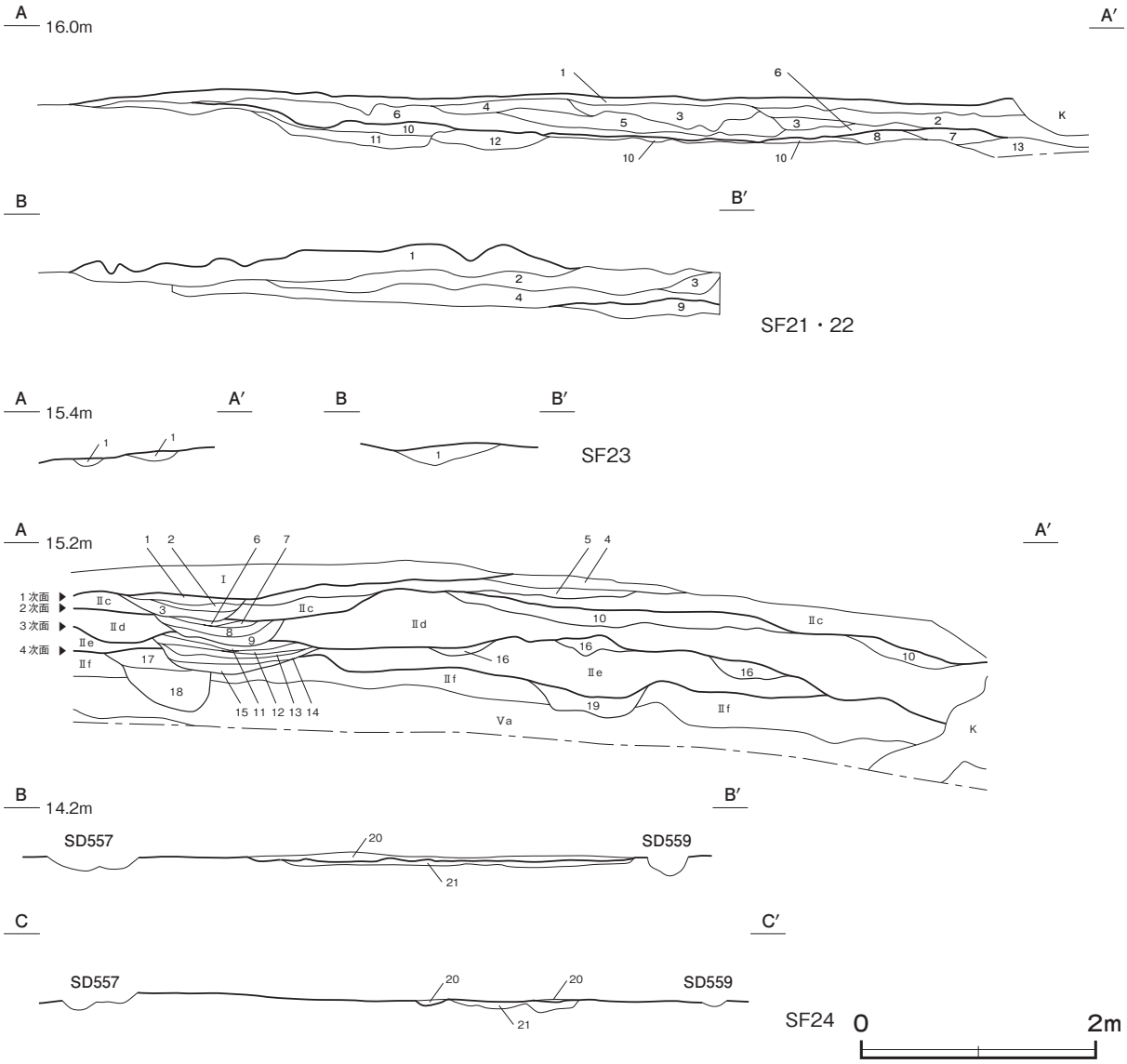
表６　その他の土坑一覧表

番号	位置	長径方向	平面形	規模		底面	壁面	覆土	主な出土遺物	備考
				長径×短径（m）	深さ（cm）					重複関係（古→新）
6901	S10f6	N－36°－W	楕円形	1.37 × 1.28	13	皿状	緩斜	自然	土師器片，須恵器片	
6902	S 9d0	－	［円形］	(0.97 × 0.82)	23	平坦	緩斜	人為		
6904	S10g6	－	円形	0.9 × 0.9	28	平坦	外傾	人為	土師器片，須恵器片	
6905	S10c4	N－16°－E	楕円形	0.95 × 0.78	42	皿状	外傾	人為		
6906	S10d4	N－10°－W	楕円形	1.02 × 0.80	20	皿状	緩斜	自然		
6907	S10f4	N－59°－E	楕円形	2.36 × 1.82	30	平坦	緩斜	人為		
6908	S10d4	N－2°－W	楕円形	0.75 × 0.47	22	皿状	外傾	自然	土師器片，須恵器片	本跡→ SD532
6909	S10f5	N－17°－E	楕円形	0.94 × 0.70	18	平坦	外傾	人為	土師器片，須恵器片	SK6910 →本跡
6910	S10f5	N－52°－W	楕円形	0.77 × 0.65	17	皿状	緩斜	自然		本跡→ SK6909
6911	S10g4	N－21°－W	隅丸長方形	1.52 × 1.29	32	平坦	緩斜	自然		SK6918・6919 →本跡
6912	S10h5	－	円形	1.76 × 1.65	17	平坦	緩斜	人為		本跡→ SK6913
6913	S10h5	N－62°－W	楕円形	1.07 × 0.85	13	皿状	緩斜	人為		SK6912 →本跡

番号	位置	長径方向	平面形	規模		底面	壁面	覆土	主な出土遺物	備考
				長径×短径（m）	深さ（cm）					重複関係（古→新）
6914	S10g5	N－64°－E	楕円形	1.54 × 1.25	20	平坦	緩斜	人為	土師器片，須恵器片	
6915	S10h4	－	［円形］	［1.12］×（0.62）	17	平坦	緩斜	人為		本跡→ SD531
6916	S10h5	N－16°－W	楕円形	1.15 × 0.77	10	平坦	緩斜	人為		本跡→ SK6917
6917	S10h5	N－1°－E	隅丸長方形	1.06 × 0.63	14	平坦	緩斜	人為		SK6916 →本跡
6918	S10f4	N－22°－E	楕円形	（1.69）× 1.27	15	平坦	緩斜	自然		本跡→ SK6911
6919	S10g4	N－61°－E	楕円形	1.11 ×（0.63）	12	平坦	緩斜	人為		SD531 →本跡 → SK6911
7073	S11i1	N－9°－W	楕円形	1.95 × 1.38	17	平坦	緩斜	人為		本跡→ SB583
7079	S10i8	N－61°－E	隅丸長方形	1.38 × 0.90	17	平坦	緩斜	人為		
7081	S11i1	N－77°－E	隅丸長方形	（2.26）× 1.33	18	平坦	外傾	人為		本跡→ SB583・584，SD559，PG62 P26

（3） 道路跡（第４・136 図）

今回の調査で，時期不明の道路跡４条を確認した。以下，土層断面図と土層解説，一覧表を掲載し，平面図は遺構全体図で示す。



第 136 図　その他の道路跡実測図

第 21 号道路跡土層解説

1　暗　褐　色　粘土ブロック中量，ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量（締まり強い）
2　黒　褐　色　炭化粒子少量，焼土粒子微量
3　暗　褐　色　粘土ブロック少量，ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
4　オリーブ褐色　粘土ブロック中量，ローム粒子・炭化粒子微量
5　暗 灰 黄 色　粘土ブロック中量，焼土粒子･炭化粒子少量，ローム粒子微量
6　黒　褐　色　焼土粒子・炭化粒子微量

第 22 号道路跡土層解説

7　黒　褐　色　炭化物･ローム粒子･焼土粒子微量（締まり強い）
8　黒　褐　色　炭化粒子少量，焼土粒子微量（締まり強い）
9　にぶい黄褐色　粗砂多量，炭化粒子微量
10　極 暗 褐 色　ロームブロック・炭化物・焼土粒子少量
11　黒　褐　色　ロームブロック少量，炭化物・焼土粒子微量
12　黒　褐　色　炭化粒子少量，ローム粒子・焼土粒子微量
13　黒　褐　色　炭化粒子少量

第 23 号道路跡土層解説

1　極 暗 褐 色　ローム粒子微量（締まり強い）

第 24 号道路跡土層解説

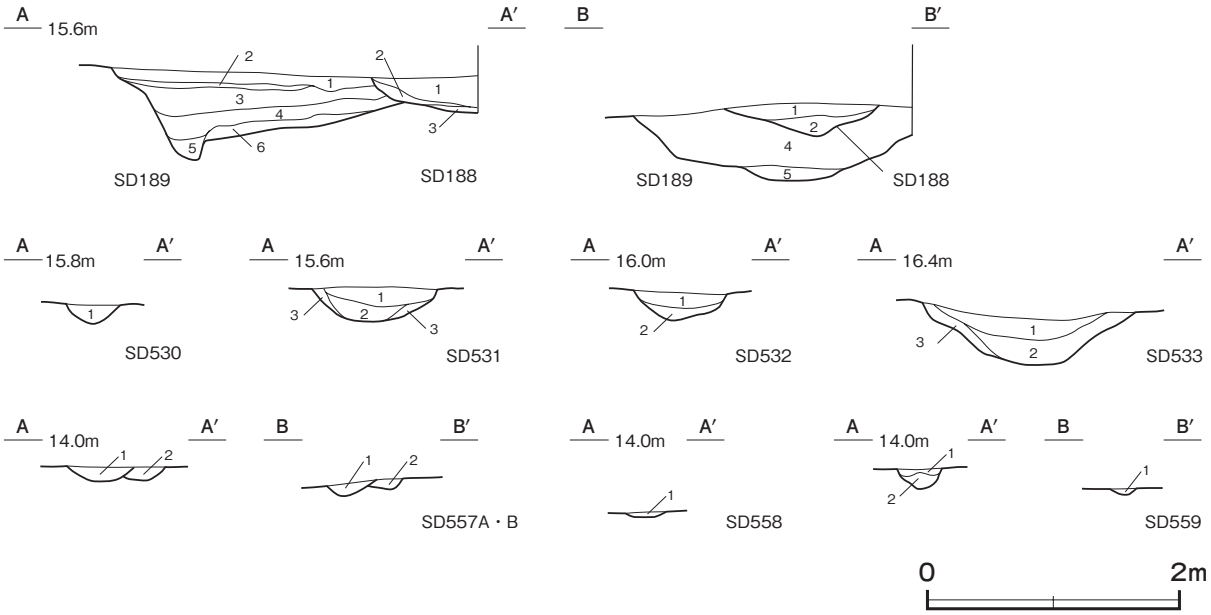
1　暗　褐　色　ロームブロック多量
2　極 暗 褐 色　ロームブロック多量
3　暗　褐　色　ロームブロック多量，鉄分沈着少量
4　黒　褐　色　ロームブロック中量（締まり強い）
5　黒　褐　色　ローム粒子中量，粗砂微量（締まり強い）
6　暗　褐　色　ロームブロック多量，粗砂少量
7　灰　褐　色　粗砂中量，ローム粒子中量
8　暗　褐　色　ローム粒子多量
9　極 暗 褐 色　ロームブロック多量，粗砂少量
10　黒　褐　色　ロームブロック中量，粗砂微量（締まり強い）
11　暗　褐　色　ロームブロック多量，鉄分沈着少量
12　極 暗 褐 色　ロームブロック多量，鉄分沈着少量，粗砂微量
13　暗　褐　色　ロームブロック・鉄分沈着中量，粗砂少量
14　黒　褐　色　ロームブロック・粗砂・鉄分沈着少量
15　褐　　色　ロームブロック中量，粗砂・鉄分沈着微量
16　暗　褐　色　ロームブロック中量,鉄分沈着微量（締まり強い）
17　暗　褐　色　ロームブロック少量
18　暗　褐　色　ローム粒子・粗砂・鉄分沈着少量
19　暗　褐　色　ロームブロック中量，粗砂・鉄分沈着微量（締まり強い）
20　暗　褐　色　ローム粒子・粗砂少量，焼土粒子微量
21　黒　褐　色　ローム粒子・粗砂微量（締まり強い）

表７　その他の道路跡一覧表

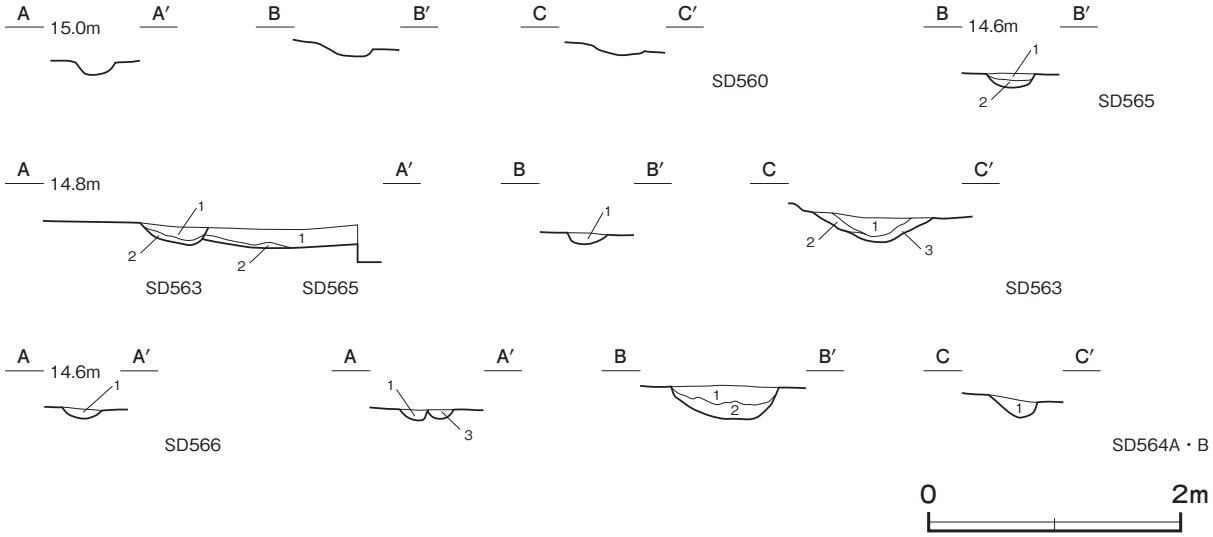
番号	位　　置	方　　向	形　状	規　　模		覆　土	主な出土遺物	備　考
				長　さ（m）	最大幅（m）			重複関係(古→新)
21	S10e9　～ S11e1	N － 22° － W	直線	(5.19)	3.07	自然	陶器片，磁器片，瓦片	SF22 →本跡
22	S10e0　～ S11f1	N － 3° － E	直線	(3.35)	1.83	人為	陶器片，磁器片	本跡→ SF21
23	S10h3　～ T10c1	N－13～46°－E	蛇行	(43.3)	0.86	自然	土師質土器片，耳環	
24	S10h0　～ T11b2	N － 23° － W	直線	(16.3)	9.50	自然	陶器片	SB583・584，PG62 →本跡

(4)　溝跡（第４・137・138 図）

今回の調査で，時期不明の溝跡 16 条を確認した。以下，土層断面図と土層解説，一覧表を掲載し，平面図は遺構全体図で示す。



第 137 図　その他の溝跡実測図 (1)



第 138 図　その他の溝跡実測図 (2)

第 188 号溝跡土層解説
1　暗　褐　色　ローム粒子少量，焼土粒子微量
2　黒　褐　色　ローム粒子少量
3　にぶい褐色　粗砂中量，ローム粒子微量

第 188 号溝跡土層解説
1　黒　褐　色　ローム粒子・鉄分沈着微量
2　極 暗 褐 色　常総粘土粒子少量，ローム粒子微量
3　黒　　色　ローム粒子・焼土粒子微量
4　黒　　色　ロームブロック微量
5　黒　褐　色　ローム粒子少量
6　黒　褐　色　ローム粒子・粘土粒子少量

第 530 号溝跡土層解説
1　黒　褐　色　粘土ブロック・粗砂少量，ロームブロック・炭化粒子微量

第 531 号溝跡土層解説
1　にぶい黄褐色　ローム粒子中量，焼土粒子・炭化粒子微量
2　黒　褐　色　ローム粒子微量
3　暗　褐　色　ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量

第 532 号溝跡土層解説
1　黒　褐　色　粗砂中量，ローム粒子少量，焼土粒子・炭化粒子微量
2　暗　褐　色　粗砂中量，ロームブロック・炭化物少量

第 533 号溝跡土層解説
1　暗　褐　色　粗砂中量，焼土ブロック少量，炭化粒子微量
2　暗　褐　色　ローム粒子少量
3　にぶい黄褐色　ローム粒子少量，炭化粒子微量

第 557 A・B 号溝跡土層解説
1　暗　褐　色　ロームブロック・粗砂少量（SD557A）
2　暗　褐　色　粗砂少量，ローム粒子微量（SD557B）

第 558 号溝跡土層解説
1　暗　褐　色　粗砂中量，ローム粒子少量

第 559 号溝跡土層解説
1　暗　褐　色　粗砂少量，ローム粒子微量
2　黒　褐　色　粘土粒子少量，ローム粒子・粗砂微量

第 563 号溝跡土層解説
1　黒　褐　色　ロームブロック・焼土粒子微量
2　暗オリーブ褐色　ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量
3　暗　褐　色　ロームブロック中量

第 564 A・B 号溝跡土層解説
1　黒　褐　色　ロームブロック少量，細礫微量（SD564A）
2　暗オリーブ褐色　ロームブロック・粗砂中量，焼土粒子・炭化粒子微量（SD564A）
3　暗オリーブ褐色　粘質土　ロームブロック少量（SD564B）

第 565 号溝跡土層解説
1　暗オリーブ褐色　粘質土　ローム粒子少量
2　暗 灰 黄 色　ロームブロック中量

第 566 号溝跡土層解説
1　黒　褐　色　ロームブロック中量

表８　その他の溝跡一覧表

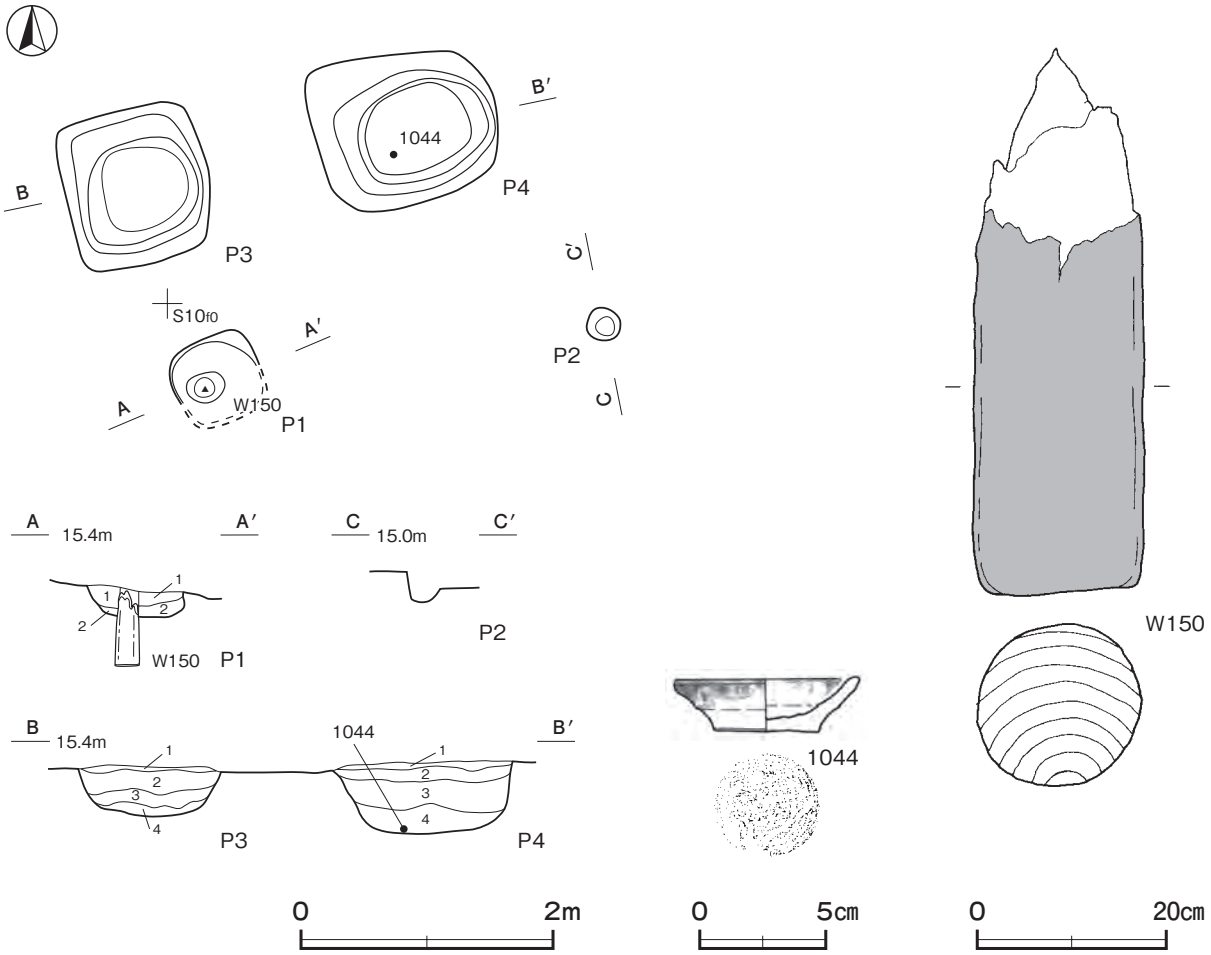
番号	位　置	方　向	形　状	規　模				断　面	壁　面	覆　土	主な出土遺物	備　考
				長さ(m)	上幅（m）	下幅（m）	深さ(cm)					重複関係(古→新)
188	T 9d0 ～ T10d2	N － 80° － E	直線	(11.63)	(2.20)	0.20 ～ 0.62	74	逆台形	外傾	人為		堀 91 →本跡→ SD189
189	T 9c0 ～ T10d2	N － 80° － E	蛇行	(8.70)	(0.83) ～ 1.20	0.20 ～ 0.62	29	逆台形	緩斜	人為		堀 91・SD188 →本跡
530	S10f4 ～ S10h5	N － 18° － W	直線	(9.13)	0.40 ～ 0.52	0.18 ～ 0.38	15	U字状	緩斜	人為	土師器片，須恵器片	
531	S10g4 ～ S10h4	N － 13° － W	直線	(5.45)	0.90 ～ 1.06	0.15 ～ 0.46	25	U字状	緩斜	人為	土師器片，須恵器片，鉄滓	SK6915 →本跡→ SK6919
532	S10d4 ～ S10e4	N － 15° － W	直線	(2.50)	0.54 ～ 0.74	0.34 ～ 0.42	12 ～ 30	U字状	緩斜	自然		SK6908 →本跡

番号	位置	方向	形状	規模				断面	壁面	覆土	主な出土遺物	備考
				長さ(m)	上幅(m)	下幅(m)	深さ(cm)					重複関係(古→新)
533	S10c3 ～ S10d3	N－25°－W	直線	(1.70)	0.65 ～ 0.97	0.40 ～ 0.64	35	逆台形	緩斜	自然		
557A	S10j0 ～ T11b1	N－15°－W	直線	7.16	0.18 ～ 0.56	0.06 ～ 0.20	10 ～ 12	U字状	緩斜	人為	土師器片，須恵器片，石鏃	SD557B，PG62 P32・P36→本跡
557B	S10j0 ～ T11b1	N－15°－W	直線	6.60	(0.66 ～ 0.22)	0.02 ～ 0.12	6 ～ 10	U字状	緩斜	自然		PG62 P32・P36→本跡→SD557A
558	T11a1 ～ T11b1	N－17°－W	直線	3.42	0.14 ～ 0.42	0.08 ～ 0.12	4	U字状	緩斜	自然		本跡→SF24
559	S11h1 ～ T11a2	N－22°－W	直線	(11.72)	0.08 ～ 0.40	0.06 ～ 0.12	8 ～ 18	U字状	外傾	自然	土師質土器片，陶器片	SB583・584，SK7081 他→本跡
560	S10i3 ～ T10b4	N－38°－E～N－83°－W	弧状	(9.93)	0.30 ～ 0.60	0.04 ～ 0.21	6 ～ 11	U字状	緩斜	自然		SX 1→本跡
563	S10h9 ～ S10i7	N－46°－E	直線	(5.66)	0.25 ～ 0.64	0.08 ～ 0.15	14 ～ 22	U字状	緩斜	人為		本跡→SD565
564A	S10h9 ～ S10i8	N－47°－E	直線	(6.80)	0.16 ～ 0.23	0.06 ～ 0.13	9 ～ 15	逆台形	外傾・緩斜	人為	土師器片，須恵器片	SD564B→本跡→SD565
564B	S10h9 ～ S10i8	N－46°－E	直線	(7.92)	0.17 ～ 0.24	0.06 ～ 0.12	6 ～ 8	逆台形	外傾・緩斜	人為		本跡→SD564A・565
565	S10h8 ～ S10i9	N－39°－W	直線	(6.20)	0.23 ～ 0.62	0.06 ～ 0.26	12	U字状	外傾	人為		SD563・564A・564B→本跡
566	S10h9 ～ S10i9	N－79°－E	直線	(1.30)	0.17 ～ 0.27	0.04 ～ 0.13	7	U字状	緩斜	人為		

(5) ピット群

今回の調査では，径16～60cmの円形で，断面形がU字状を呈しているもの，あるいは柱痕や柱の当たりが認められたものをピットとし，ピット群2か所を確認した。以下，実測図と土層解説，一覧表を掲載する。

第61号ピット群（第139図）



第139図　第61号ピット群・出土遺物実測図

第１号ピット土層解説
1　灰 黄 褐 色　粘土ブロック多量，炭化物少量，焼土ブロック・ローム粒子微量
2　灰 黄 褐 色　粘土ブロック多量，炭化物少量，焼土粒子微量

第３号ピット土層解説
1　暗　褐　色　粗砂中量，粘土ブロック・炭化物・ローム粒子・焼土粒子微量
2　灰 黄 褐 色　粘土ブロック多量，炭化物少量，焼土ブロック・ローム粒子微量
3　灰 黄 褐 色　粘土ブロック多量，焼土粒子微量
4　黄　褐　色　粘土ブロック多量

第４号ピット土層解説
1　暗　褐　色　粗砂中量，粘土ブロック・炭化物・ローム粒子・焼土粒子微量
2　暗　褐　色　粗砂中量，粘土ブロック・炭化物少量，ロームブロック・焼土粒子微量
3　灰 黄 褐 色　粘土ブロック多量，炭化物少量，焼土ブロック・ローム粒子微量
4　灰　　色　粘土ブロック多量

第 61 号ピット群出土遺物観察表（第 139 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
1044	土師質土器	小皿	7.2	2.1	4.1	長石・雲母	にぶい黄橙	普通	底部回転糸切り　口縁部外・内面油煙付着	Ｐ４底面	100%　PL43

番号	種　別	器　　種	長さ	幅	厚さ	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
W 150	土木材	柱材	(58.5)	18.3	17.5	スギ	柱根部　上部腐食のため欠損　横木取り　削り加工　炭化処理	Ｐ１	

表９　第 61 号ピット群ピット一覧表

ピット番号	位　置	形　状	規　模 長径×短径（cm）			深さ（cm）
1	S10f0	［隅丸方形］	［0.71］	×	0.70	24
2	S10f0	楕円形	0.30	×	0.24	37
3	S10e9	隅丸方形	1.24	×	1.15	39
4	S10e0	隅丸長方形	1.45	×	1.23	50

第 62 号ピット群（第 140・141 図）

第１号ピット土層解説
1　黒　褐　色　ローム粒子・焼土粒子微量
2　暗　褐　色　ロームブロック少量
3　暗　褐　色　ローム粒子少量

第２号ピット土層解説
1　黒　褐　色　ローム粒子微量
2　褐　　色　ロームブロック少量

第３号ピット土層解説
1　極 暗 褐 色　ロームブロック微量

第４号ピット土層解説
1　黒　褐　色　ロームブロック少量

第５号ピット土層解説
1　明　褐　色　ロームブロック中量
2　暗　褐　色　ロームブロック微量

第６号ピット土層解説
1　明　褐　色　ロームブロック中量
2　暗　褐　色　ローム粒子微量

第７号ピット土層解説
1　明　褐　色　ロームブロック中量
2　暗　褐　色　ロームブロック微量

第８号ピット土層解説
1　極 暗 褐 色　ローム粒子微量
2　黒　褐　色　ローム粒子微量

第９号ピット土層解説
1　暗　褐　色　ロームブロック少量
2　暗オリーブ褐色　ローム粒子中量
3　暗 灰 黄 色　ロームブロック中量

第 10 号ピット土層解説
1　暗オリーブ褐色　ロームブロック少量
2　暗 灰 黄 色　ロームブロック中量
3　黒　褐　色　ローム粒子少量

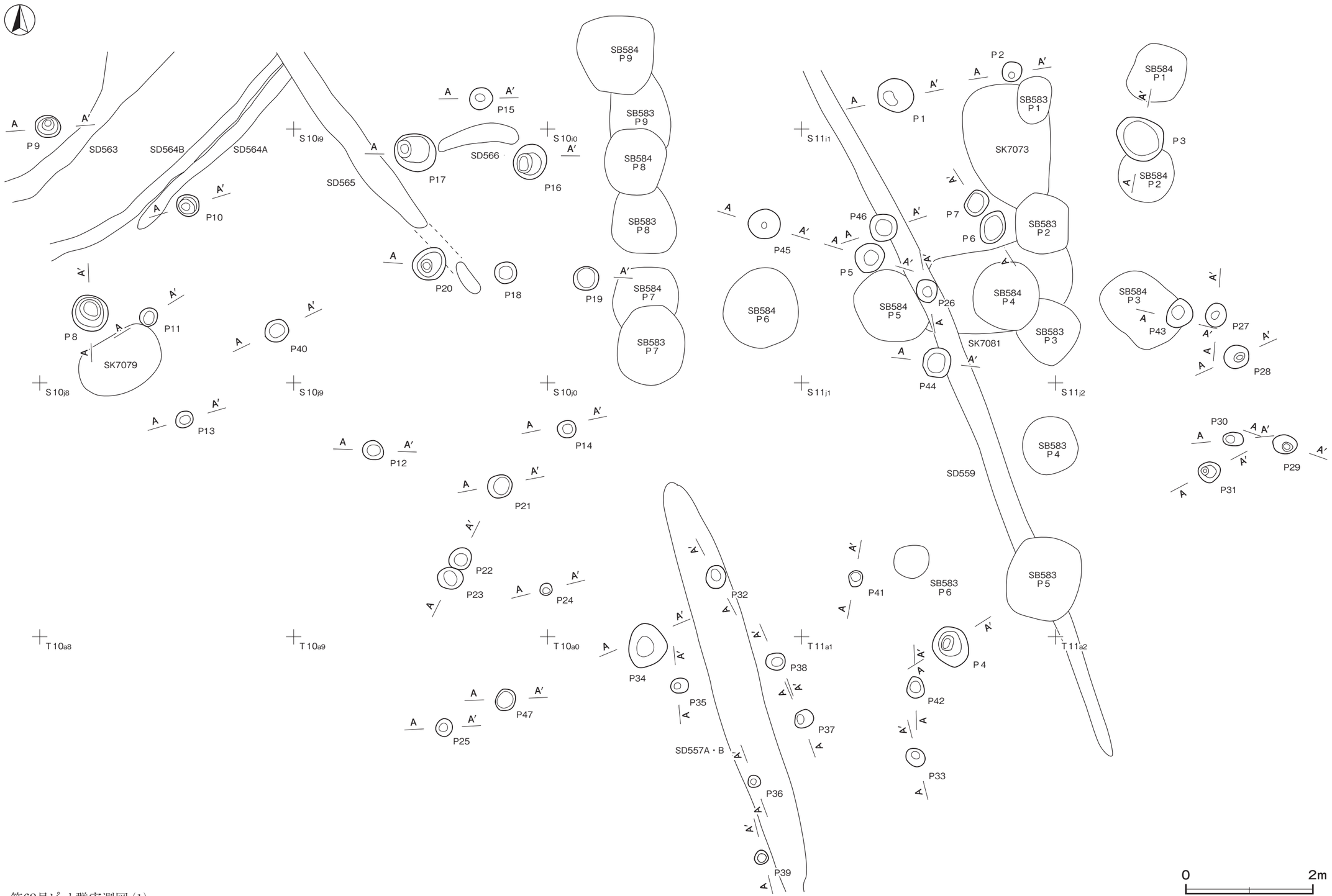
第 11 号ピット土層解説
1　黒　褐　色　粘質土　ロームブロック少量

第 12 号ピット土層解説
1　黒　褐　色　粘質土　ロームブロック少量
2　暗　褐　色　粘質土　ロームブロック中量

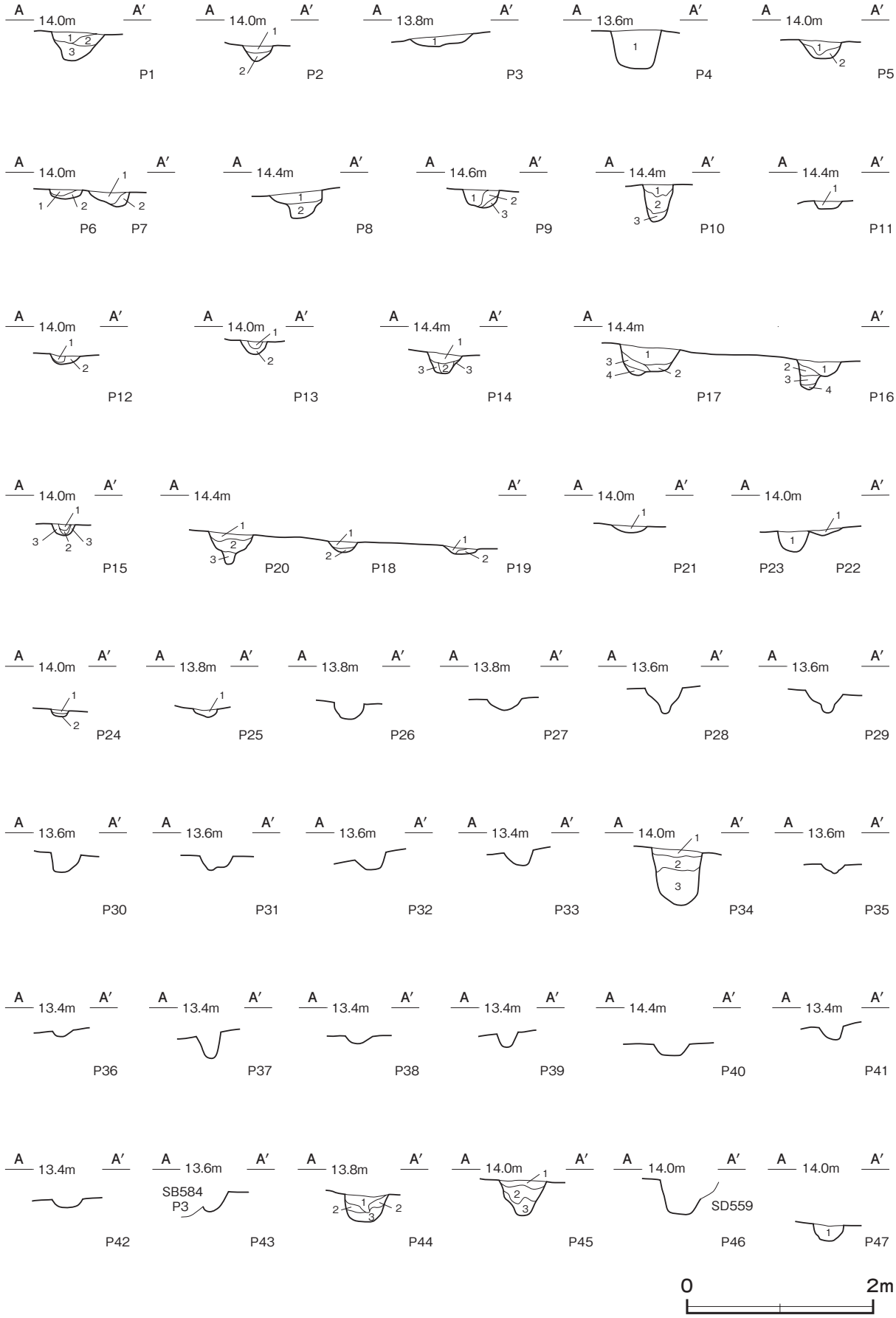
第 13 号ピット土層解説
1　黒　褐　色　粘質土　ロームブロック少量
2　オリーブ褐色　粘質土　ロームブロック中量

第 14 号ピット土層解説
1　黒　褐　色　ロームブロック少量
2　黒　褐　色　ローム粒子中量
3　暗 灰 黄 色　ロームブロック中量

第 15 号ピット土層解説
1　暗オリーブ褐色　ローム粒子中量
2　暗 灰 黄 色　粘質土　ロームブロック中量
3　黒　褐　色　ローム粒子少量
4　黒　褐　色　ロームブロック少量



第140図　第62号ピット群実測図（1）



第 141 図　第 62 号ピット群実測図 (2)

第 16 号ピット土層解説
1　暗オリーブ褐色　ローム粒子中量
2　暗 灰 黄 色　粘質土　ロームブロック中量
3　黒　褐　色　ローム粒子少量
4　黒　褐　色　ロームブロック少量

第 17 号ピット土層解説
1　暗　褐　色　ロームブロック少量
2　暗オリーブ褐色　ローム粒子中量
3　黒　褐　色　ローム粒子少量

第 18 号ピット土層解説
1　暗　褐　色　ローム粒子・粗砂少量
2　灰 黄 褐 色　ロームブロック中量

第 19 号ピット土層解説
1　暗　褐　色　ローム粒子中量
2　褐　　色　ロームブロック中量

第 20 号ピット土層解説
1　黒　褐　色　粘質土　ロームブロック・暗褐色土ブロック中量
2　暗オリーブ褐色　粘質土　ロームブロック中量
3　灰 黄 褐 色　粘質土　ロームブロック少量

第 21 号ピット土層解説
1　黒　褐　色　粘質土　ロームブロック中量

第 22 号ピット土層解説
1　黒　褐　色　粘質土　ロームブロック少量

第 23 号ピット土層解説
1　黒　褐　色　ロームブロック少量

第 24 号ピット土層解説
1　黄　灰　色　粘質土　ロームブロック少量
2　オリーブ褐色　粘質土　ロームブロック中量

第 25 号ピット土層解説
1　黒　褐　色　粘質土　ロームブロック微量

第 34 号ピット土層解説
1　暗　褐　色　ローム粒子少量，粗砂微量
2　暗　褐　色　ロームブロック少量，炭化粒子微量
3　黒　褐　色　ロームブロック微量

第 44 号ピット土層解説
1　灰 黄 褐 色　ロームブロック・焼土粒子微量
2　黒　褐　色　ロームブロック少量
3　暗　褐　色　ロームブロック中量

第 45 号ピット土層解説
1　褐　　色　ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量
2　暗　褐　色　ローム粒子少量
3　黒　褐　色　ローム粒子・炭化粒子微量

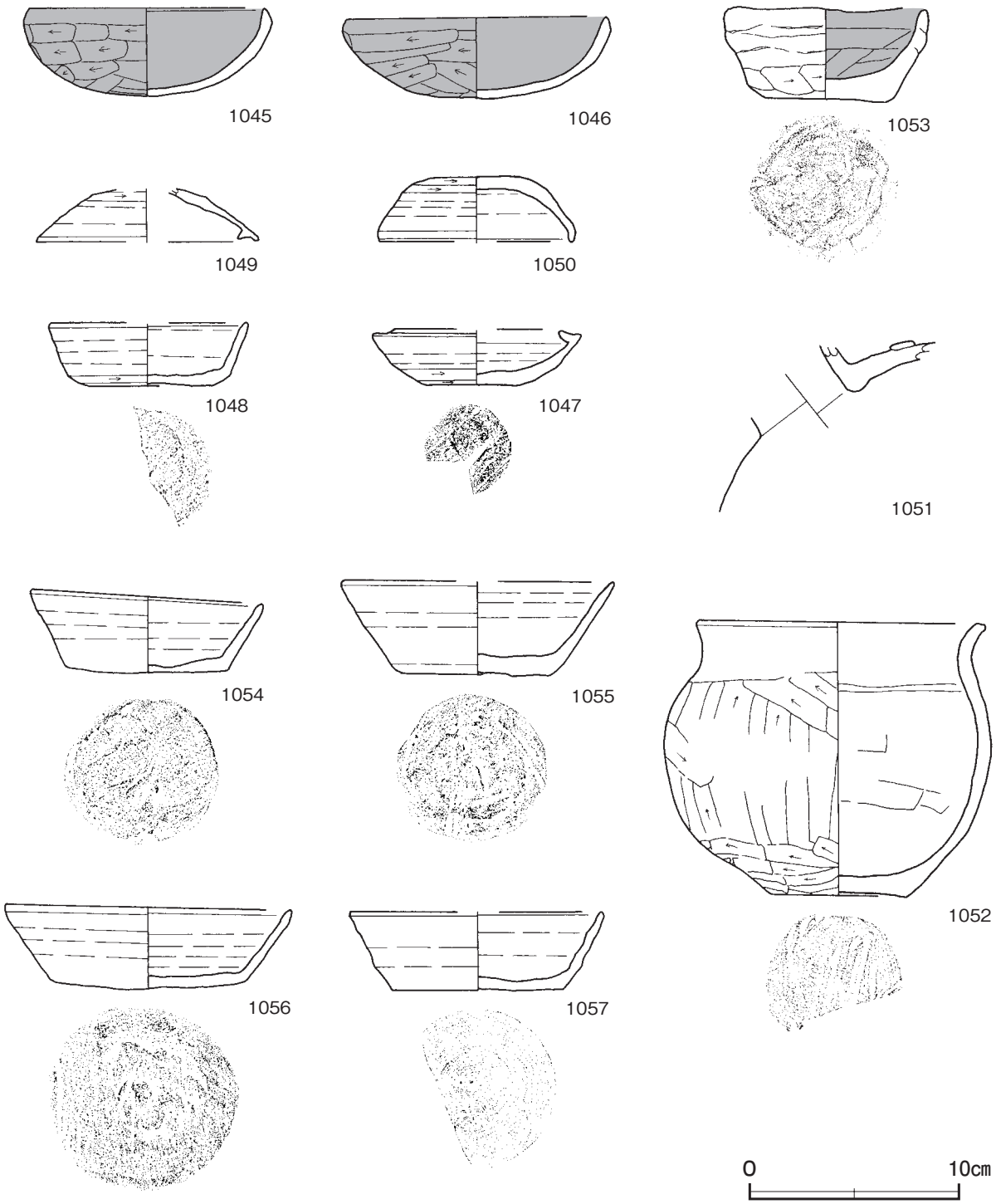
第 47 号ピット土層解説
1　黒　　色　粘質土　ロームブロック微量

表 10　第 62 号ピット群ピット一覧表

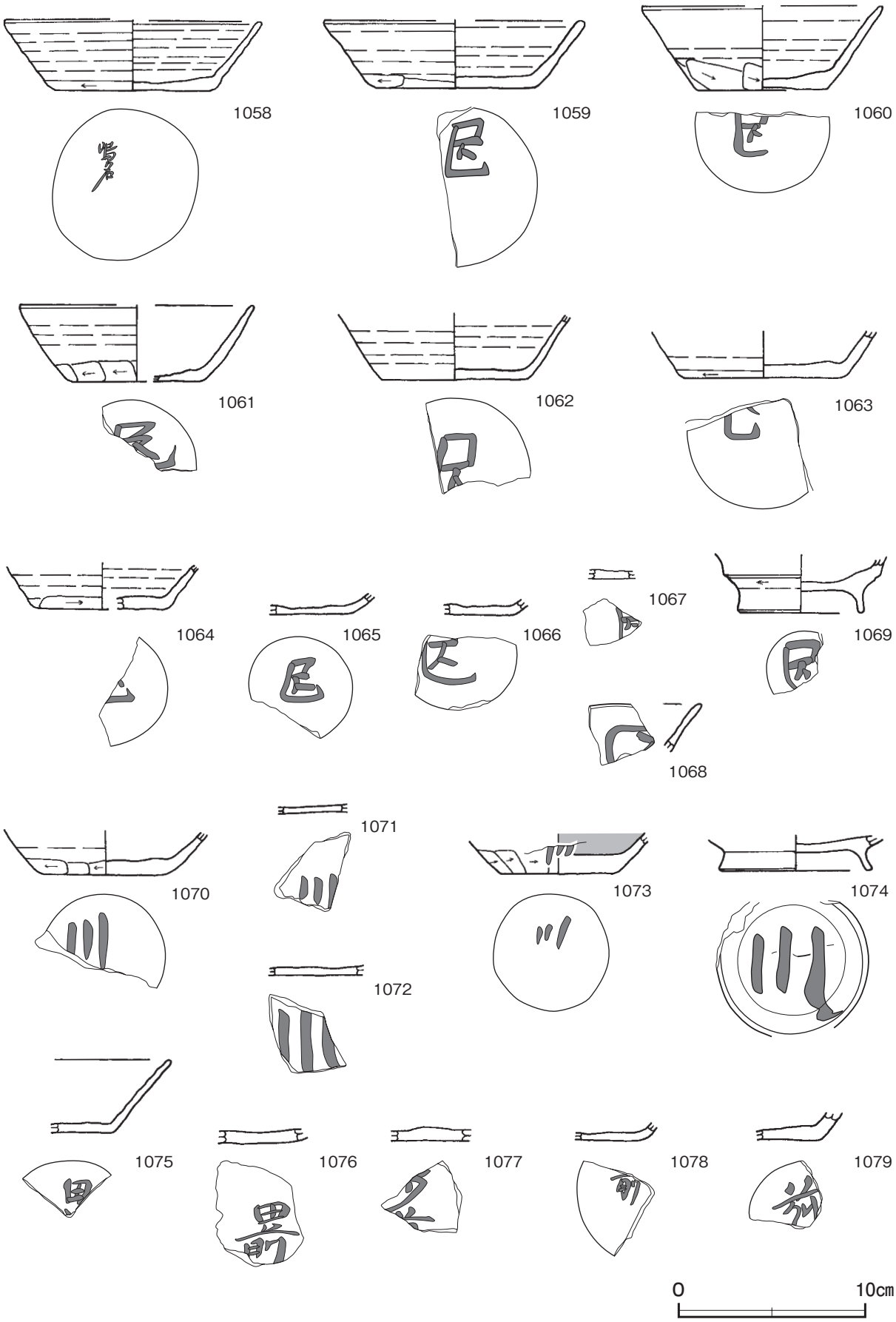
ピット番号	位　置	形　状	規　模 長径×短径（cm）			深さ（cm）
1	S11h1	楕円形	0.58	×	0.52	26
2	S11h1	円形	0.32	×	0.32	17
3	S11i2	楕円形	0.78	×	0.65	10
4	T11a1	楕円形	0.66	×	0.55	40
5	S11i1	円形	0.49	×	0.45	19
6	S11i1	楕円形	0.55	×	0.41	10
7	S11i1	楕円形	0.40	×	0.34	15
8	S10i8	円形	0.56	×	0.56	27
9	S10h8	楕円形	0.41	×	0.34	20
10	S10i8	円形	0.34	×	0.34	40
11	S10i8	楕円形	0.30	×	0.27	9
12	S10j9	楕円形	0.35	×	0.30	8
13	S10j8	円形	0.26	×	0.26	11
14	S10j0	円形	0.27	×	0.27	32
15	S10h9	円形	0.36	×	0.34	23
16	S10i9	楕円形	0.56	×	0.50	30
17	S10i9	楕円形	0.68	×	0.60	39
18	S10i9	円形	0.34	×	0.34	11
19	S10i0	円形	0.39	×	0.37	6
20	S10j0	楕円形	0.55	×	0.48	32
21	S10j9	円形	0.38	×	0.36	7
22	S10j9	円形	0.35	×	0.35	5
23	S10j9	楕円形	0.39	×	0.36	20
24	S10j9	円形	0.20	×	0.19	5
25	T10a9	円形	0.28	×	0.27	10
26	T10a9	楕円形	0.39	×	0.30	16
27	S11i2	楕円形	0.37	×	0.33	13
28	S11i2	円形	0.40	×	0.38	27
29	S11j2	楕円形	0.40	×	0.31	22
30	S11j2	楕円形	0.33	×	0.22	21
31	S11j2	円形	0.35	×	0.32	15
32	S10j0	楕円形	0.36	×	0.30	15
33	T11a1	楕円形	0.32	×	0.27	15
34	T10a0	楕円形	0.70	×	0.60	59
35	T10a0	楕円形	0.28	×	0.23	10
36	T10a0	円形	0.20	×	0.20	5
37	T11a1	楕円形	0.33	×	0.28	25
38	T10a0	楕円形	0.31	×	0.27	10
39	T10a0	円形	0.23	×	0.22	16
40	S10i8	楕円形	0.40	×	0.34	12
41	S11j1	円形	0.25	×	0.23	13
42	T11a1	楕円形	0.34	×	0.27	8
43	S11i2	楕円形	0.46	×	0.40	21
44	S10i1	円形	0.47	×	0.43	29
45	S10i0	円形	0.51	×	0.49	37
46	S11i1	円形	0.46	×	0.44	31
47	T10a9	楕円形	0.36	×	0.30	15

(6) 遺構外出土遺物（第 142 ～ 145 図）

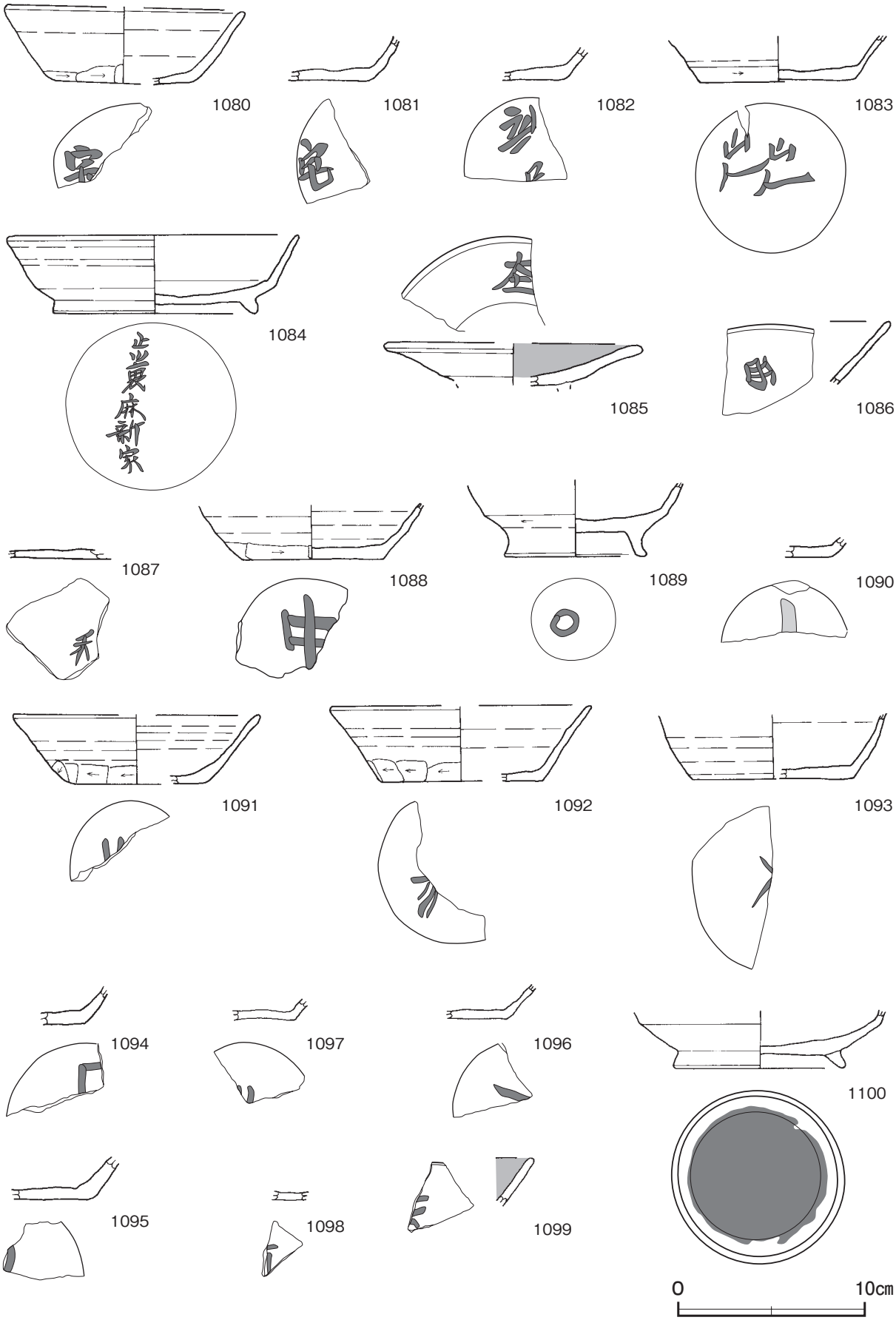
今回の調査で出土した遺構に伴わない遺物について，実測図と観察表を掲載する。



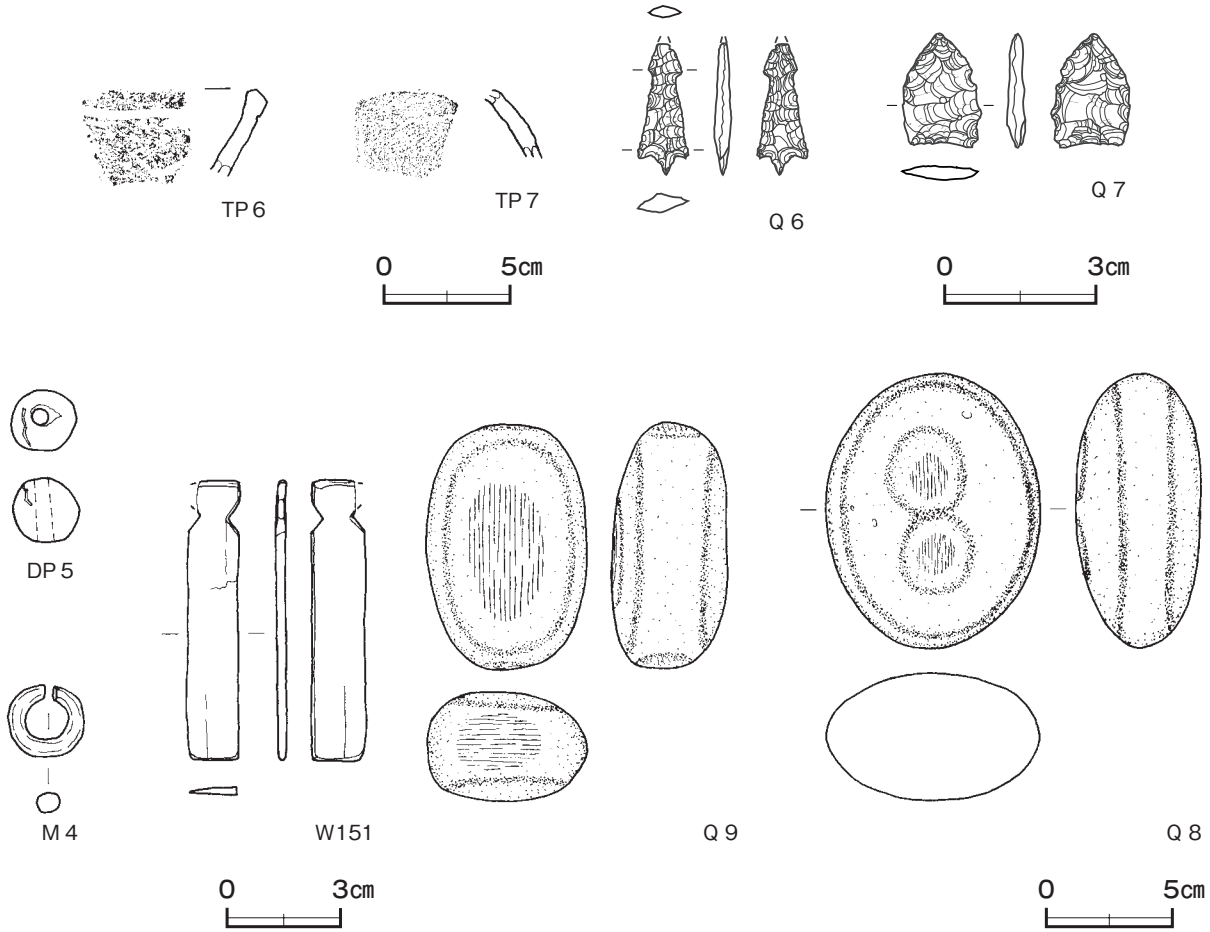
第 142 図　遺構外出土遺物実測図 (1)



第 143 図　遺構外出土遺物実測図 (2)



第 144 図　遺構外出土遺物実測図 (3)



第 145 図　遺構外出土遺物実測図 (4)

遺構外出土遺物観察表（第 142 ～ 145 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
1045	土師器	坏	11.2	4.2	－	長石・石英	灰黄褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	Gトレンチ	95%
1046	土師器	坏	12.4	3.9	－	長石・石英・雲母・黒色粒子	褐灰	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　外・内面黒色処理（漆）	Gトレンチ	90%
1047	須恵器	坏	［10.0］	2.6	4.4	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部手持ちヘラ削り	SE204	70%　PL43
1048	須恵器	坏	［9.4］	3.0	［6.0］	長石・石英	黄灰	普通	底部ナデ　周縁部回転ヘラ削り	表土	60%
1049	須恵器	蓋	［10.4］	(2.6)	－	長石・石英	灰	普通	天井部回転ヘラ削り	SE204	20%
1050	須恵器	蓋	［9.2］	3.1	－	長石・石英	灰黄	普通	天井部回転ヘラ削り後ナデ	SX 1	40%
1051	須恵器	平瓶	［5.2］	(2.9)	－	長石・石英	灰褐灰	普通	体部カキ目　把手部ボタン状	表土	10%
1052	土師器	小形甕	13.6	13.2	6.4	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部ヘラ削り　内面ヘラナデ	Gトレンチ	60%
1053	土師器	手捏土器	［9.4］	4.4	5.6	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部輪積痕を残すナデ　内面ヘラナデ　黒色処理（燻し）	Gトレンチ	80%　PL43
1054	須恵器	坏	11.2	3.9	7.7	長石・石英・雲母	黒褐	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り	Gトレンチ	80%
1055	須恵器	坏	［13.0］	4.4	7.2	長石・石英・黒色粒子	褐灰	普通	底部不定方向の手持ちヘラ削り	表土	60%
1056	須恵器	坏	13.6	3.7	9.2	長石・石英・雲母・黒色粒子	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り	Gトレンチ	80%
1057	須恵器	坏	［12.1］	3.7	8.2	長石・石英	明褐灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部回転糸切り痕を残し，周縁部回転ヘラ削り	Gトレンチ	60%
1058	須恵器	坏	［13.8］	3.8	8.4	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　周縁部手持ちヘラ削り　墨書「嶋名」	Gトレンチ	60%　PL45
1059	須恵器	坏	［13.8］	3.6	［8.6］	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	Gトレンチ	40%　PL51
1060	須恵器	坏	［13.0］	4.5	7.0	長石・石英・雲母	オリーブ黒	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	Gトレンチ	50%　PL51
1061	須恵器	坏	［12.4］	4.1	［7.2］	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「𠂤」	Gトレンチ	30%　PL51
1062	須恵器	坏	－	(3.6)	［7.9］	長石・石英	褐灰	普通	体部ロクロナデ　底部回転ヘラ切り痕を残しヘラナデ　墨書「𠂤」	Gトレンチ	30%　PL51

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
1063	須恵器	坏	－	(2.5)	[8.4]	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣ヵ」	表土	30%　PL51
1064	須恵器	坏	－	(2.4)	[7.0]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣ヵ」	Gトレンチ	30%　PL51
1065	須恵器	坏	－	(1.1)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣」	Gトレンチ	20%　PL51
1066	須恵器	坏	－	(0.9)	－	長石・石英・赤色粒子	灰黄褐	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「臣ヵ」	Gトレンチ	15%　PL51
1067	須恵器	坏	－	(0.5)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	Gトレンチ	5％　PL51
1068	須恵器	坏	－	(2.7)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「臣」	Gトレンチ	5％　PL51
1069	須恵器	高台付坏	－	(3.0)	[6.6]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「臣」	Gトレンチ	20%　PL51
1070	須恵器	坏	－	(2.2)	[6.5]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	表土	30%　PL56
1071	須恵器	坏	－	(0.4)	－	長石・雲母	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	Gトレンチ	10%　PL56
1072	須恵器	坏	－	(0.6)	－	長石・雲母	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川」	表土	10%　PL56
1073	土師器	坏	－	(2.2)	6.2	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	体部下端手持ちヘラ削り　内面ヘラ磨き　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「川／川」	SD556	30%　PL56
1074	須恵器	高台付坏	－	(1.9)	8.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「川」	Gトレンチ	30%　PL56
1075	須恵器	坏	－	4.0	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「田□（前ヵ）」	Gトレンチ	50%　PL57
1076	須恵器	坏	－	(0.7)	－	長石・石英・雲母	黒褐	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「田前」	Gトレンチ	10%　PL57
1077	須恵器	坏	－	(0.7)	－	長石・石英・雲母	暗灰黄	普通	底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□□（多ヵ前ヵ）」	Gトレンチ	10%　PL57
1078	須恵器	坏	－	(1.0)	－	長石・雲母	黄灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「前」	Gトレンチ	10%　PL57
1079	須恵器	坏	－	(1.5)	－	長石・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「前」	表土	15%　PL57
1080	須恵器	坏	[12.8]	4.0	[7.6]	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「宅」	表土	30%　PL60
1081	須恵器	坏	－	(2.4)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「宅」	Gトレンチ	20%　PL60
1082	須恵器	坏	－	(1.8)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□□（新ヵ殿ヵ）」	Gトレンチ	10%　PL58
1083	須恵器	坏	－	(2.3)	8.5	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「山人・山人」	Gトレンチ	50%　PL61
1084	須恵器	高台付坏	15.3	4.3	11.0	長石・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「止田ヵ裏麻新家」	Gトレンチ	60%　PL64
1085	土師器	高台付皿	[13.6]	(2.3)	－	長石・石英	浅黄橙	普通	体部内面ヘラ磨き　墨書「杢」	表土	20%　PL62
1086	須恵器	坏	－	(3.6)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	ロクロナデ　墨書「西」	表土	5％　PL64
1087	須恵器	坏	－	(0.5)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　墨書「禾」	Gトレンチ	5％　PL63
1088	須恵器	坏	－	(3.0)	[7.6]	長石・石英・雲母	暗灰黄	普通	底部回転ヘラ切り痕を残し，一方向の手持ちヘラ削り　体部下端手持ちヘラ削り　墨書「中」	Gトレンチ	20%　PL62
1089	須恵器	高台付坏	－	(3.9)	[7.4]	長石・石英	褐灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨書「○」	Gトレンチ	30%　PL62
1090	須恵器	坏	－	(1.1)	－	長石・石英	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　朱墨「□」	表土	10%　PL78
1091	須恵器	坏	[13.2]	3.8	[7.5]	長石・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「□（川ヵ）」	Gトレンチ	40%　PL78
1092	須恵器	坏	[14.0]	4.1	[8.8]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	Gトレンチ	30%　PL78
1093	須恵器	坏	－	(3.5)	[8.6]	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端ロクロナデ　底部二方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	Gトレンチ	25%　PL78
1094	須恵器	坏	－	(2.1)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部不定方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	Gトレンチ	10%　PL78
1095	須恵器	坏	－	(2.3)	－	石英・雲母	褐灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ削り　墨書「□」	Gトレンチ	10%　PL78
1096	須恵器	坏	－	(2.0)	－	長石・石英・雲母	灰	普通	体部下端回転ヘラ削り　底部回転ヘラ切り痕を残し一方向のヘラ削り　墨書「□」	Gトレンチ	20%　PL78
1097	須恵器	坏	－	(1.1)	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	体部下端手持ちヘラ削り　底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	表土	10%　PL78
1098	須恵器	坏	－	(0.5)	－	長石・雲母	褐灰	普通	底部一方向の手持ちヘラ削り　墨書「□」	表土	5％　PL78
1099	土師器	坏	－	(2.6)	－	長石・石英	にぶい褐	普通	体部内面ヘラ磨き　墨書「□」	表土	5％　PL78
1100	須恵器	高台付坏	－	(3.1)	8.8	長石・石英・雲母	黄灰	普通	底部回転ヘラ削り　墨痕　転用硯	Gトレンチ	60%　PL78

番号	種　別	器種	胎　土	色　調	焼　成	手　法　の　特　徴　ほ　か	出土位置	備　考
TP 6	縄文土器	深鉢	長石・石英	橙	普通	沈線による区画内に列点文を施文	HG 3	
TP 7	土師器	装飾壺	長石・石英	明赤褐	普通	羽状構成の単節縄文　2列の結節縄文	SX 2	

番号	器　種	長さ	厚さ	孔径	重量	胎　土	特　　徴	出土位置	備　考
DP 5	土玉	1.7	1.8	0.4	9.0	長石	ナデ　一方向からの穿孔	表土	PL43

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
Q６	鏃	(2.6)	1.0	0.3	(0.7)	チャート	凸基有茎鏃　両側縁上部に段をもつ　両面押圧剥離調整	SD557	PL43
Q７	鏃	2.3	1.6	0.3	1.1	黒曜石	凹基無茎鏃　五角形状　両面押圧剥離調整	表土	PL43
Q８	磨石	10.9	8.5	5.0	658.2	砂岩	凹痕２か所　両面磨痕	SX ２	PL43
Q９	磨石	9.7	6.3	4.6	470.4	凝灰岩	両面磨痕	SD556	PL43

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
M４	耳環	1.9	2.0	0.6	7.3	銅	鍍金　開口部有り	SF23	PL43

番号	種　別	器　　種	長さ	幅	厚さ	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
W 151	用途不明品	荷札状木製品	7.4	1.3	0.2	針葉樹	板目　上部左右からの切り込み	表土	

第４節　ま　　と　　め

１　はじめに

島名熊の山遺跡は，つくば市の南西部に位置し，東谷田川右岸の標高 13 ～ 24 ｍの台地上から低地部にかけて立地している。「つくばエクスプレス」沿線の土地区画整理事業に伴い，当財団が平成７年度から発掘調査を行い，14 冊の報告書[1)]を刊行している。本報告分までの総調査面積は 239,379㎡で，確認した主な遺構は竪穴住居跡 2,386 軒，掘立柱建物跡 380 棟，古墳２基，方形竪穴遺構 94 基，地下式坑 72 基，堀跡・溝跡 306 条，道路跡 24 条，井戸跡 184 基，大形竪穴状遺構８基，火葬施設 35 基，墓坑 77 基，水田跡２か所，遺物包含層３か所などである。遺跡の内容は，古墳時代（４世紀）から平安時代（11 世紀）にかけての集落跡が中心である。周辺遺跡の動向から，古墳時代後期は当遺跡周辺に集落が集約化される現象が認められ，律令期は「河内郡嶋名郷」の拠点的集落として機能し，10 世紀以降は当集落だけが継続して営まれている。また，中世以降も大規模な堀や溝による区画や墓域などが確認されており，長期間にわたる土地利用の状況が明らかになっている。

今回の調査区は，遺跡南東部の標高 13 ～ 15 ｍの台地斜面部から低地部にかけてで，調査区の北西部から南東部にかけて埋没谷が存在している。確認した遺構は，竪穴住居跡１軒，掘立柱建物跡２棟，井戸跡 12 基，遺物集中地点２か所，遺物包含層１か所，土坑 22 基，道路跡４条，堀跡１条，溝跡 18 条，ピット群２か所である。特に，埋没谷部からは古墳時代から平安時代にかけての水場と捉えられる井戸跡と遺物集中地点が確認でき，850 点にのぼる墨書土器や木簡，農工具，容器類などの多量の木製品，1,000 点を超える桃核，ヒョウタン，クリなどの自然遺物が出土している。

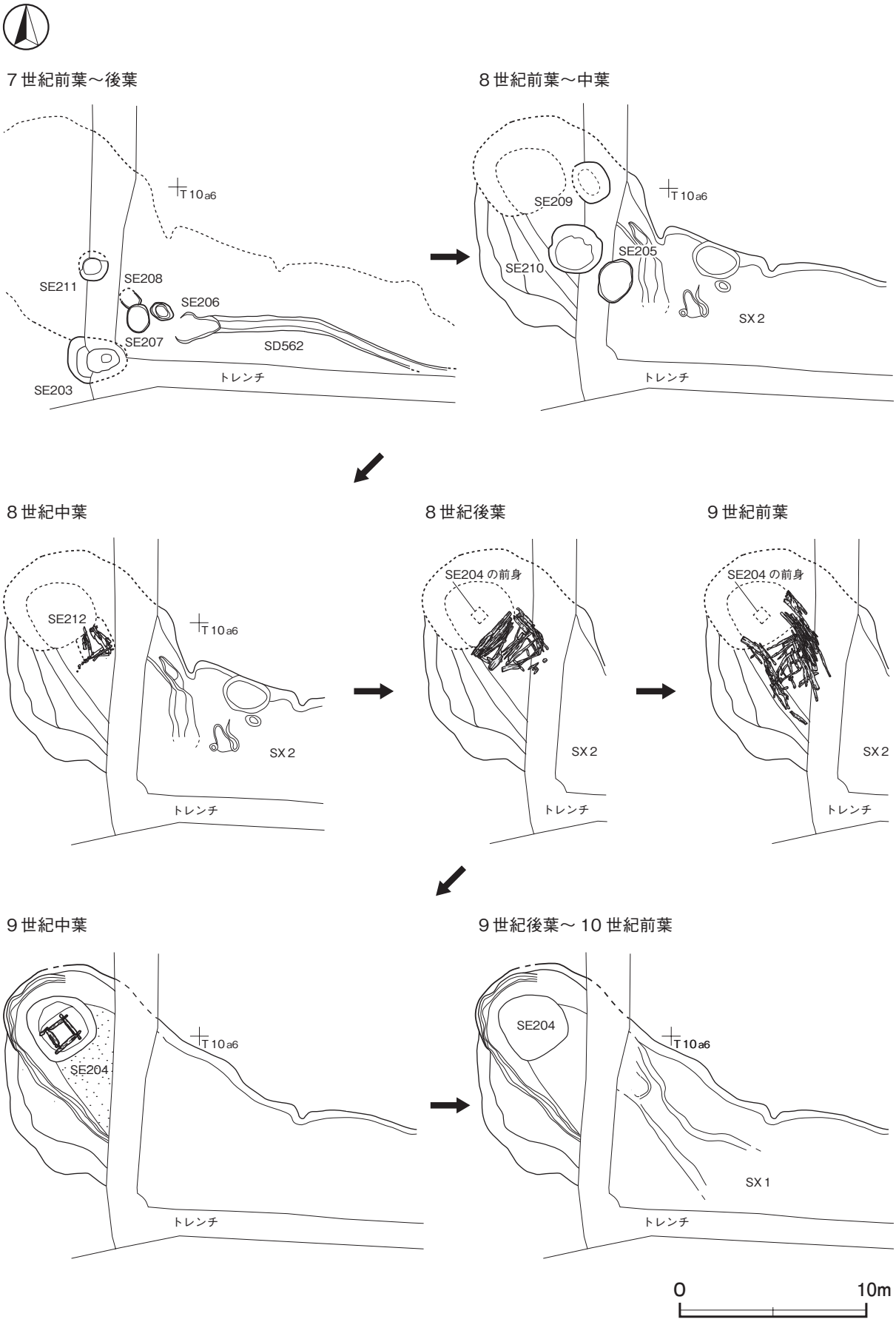
本節では，古墳時代から平安時代にかけての水場の変遷と出土した文字資料について検討するとともに，当集落における水場の性格について若干の考察を加えてまとめとしたい。

２　水場の変遷

今回確認した第 203 ～ 212 号井戸跡，第 562 号溝跡，第１・２号遺物集中地点は，井戸からの湧水が，溝や凹地を流れていく一連の水場として捉えられる。以下，時期ごとの遺構の特徴について述べる。

⑴　７世紀前葉～後葉

第 203・205 ～ 211 号井戸跡が該当し，第 203 号井戸跡は７世紀前葉，第 211 号井戸跡は７世紀中葉に比定できる。また，８世紀前葉に埋め戻された第 562 号溝跡は，古墳時代後期の土器片を多く含んでおり，当期から機能していた可能性がある。井戸跡は，台地斜面部から低地部への傾斜変換点付近にまとまって



第146図　12区遺構変遷図

おり，自然の湧水点を土坑状に掘りくぼめた簡易な構造である。遺物は，第203号井戸跡から20点前後の完形の土師器坏と竪杵，桃核，サルノコシカケ，第211号井戸跡から完形に近い土師器坏３点と横槌が出土している。いずれも一括して投棄された状態で出土しており，廃絶時の祭祀行為が想定できる。

⑵　８世紀前葉～中葉

第２号遺物集中地点が開削される時期で，埋没谷の谷底部を掘り広げて溝状の凹地が形成されている。前期とほぼ同じ位置に第205・209・210号井戸が設けられている。いずれも素掘りの構造で，出土遺物から第209号井戸跡（８世紀前葉）→第210号井戸跡（８世紀中葉）→第205号井戸跡（８世紀中葉）の変遷が認められる。井戸跡からの出土遺物は少なく，いずれも細片である。第210号井戸跡から出土した油煙付着土器と火鑽臼は，井戸の周囲で火を用いる行為があったことを示している。また，当期に該当する遺構としては，調査区北東部に第583・584号掘立柱建物跡が存在している。

⑶　８世紀中葉～９世紀前葉

湧水点付近に構造物が伴う段階であり，第212号井戸や第２号遺物集中地点の木組み部が構築されている。第212号井戸は升状の貯水部が設けられている。貯水部南辺の上部にはU字状の抉りがあり，水が溜まると第２号遺物集中地点の凹地へ流れ出す構造であったと推定できる。第212号井戸の廃絶後は，その上部に第２号遺物集中地点の木組み部が構築されている。木組み部の上部は丸太材が井桁状に，下部は建築用材が流向と直交する方向に並べられている。軸方向が異なることから，二時期の使用面が想定できる。また，後出する第204号井戸に作り替えの痕跡が認められることから，木組み部はその前身の井戸に伴う足場と考えられる。遺物は，第２号遺物集中地点の木組み部の南側に集中し，東部の下流域ほど疎らになっている。供膳具を中心とした多量の土器，鍬先，横槌，竪杵，漆器，曲物，横櫛，刀形などの木器・木製品，桃核602点やヒョウタン，クリ，ヤマトシジミ，鹿の肩胛骨などの自然遺物が出土している。土器は残存率の高い破片が多く，器壁や破断面の摩滅が少ないことから，破砕されたものが至近から投棄されたと考えられる。また，上層から９世紀前葉，下層から８世紀中葉～後葉の土器が出土しており，水場への継続的な廃棄行為が想定できる。堆積状況は水成の自然堆積で，沼地状に滞水した状態から，埋没が進むにつれて，一時的に地表化する湿地のような環境へと変化している。

⑷　９世紀中葉

第204号井戸が該当し，第２号遺物集中地点が埋没した後の凹地を利用して構築されている。北西部に方形の井戸枠があり，南東側には作業場とみられる平坦部が設けられている。井戸枠は内法1.04ｍで，横板井籠組の構造である。しかし，仕口が組み合っているのは最上部のみで，下部は井戸枠や建築用材の転用材が積み上げられているだけである。主な遺物としては，井戸枠内の下層から墨書土器７点が重なった状態で，掘方の埋土から木簡が出土しているほか，平坦部の構築土から供膳具を中心とした多量の土器，刀子柄，小形竪杵，竪杵，檜扇ヵ，糸巻，刳物，曲物などの木器･木製品，桃核92点やヒョウタン，クリ，鹿角などの自然遺物が出土している。土器は残存率が高く，摩滅が少ないが，井戸の構築時に下部の第２号遺物集中地点から混入した古い時期のものが多く含まれている。

⑸　９世紀後葉以降

第１号遺物集中地点が該当し，第204号井戸，第２号遺物集中地点が廃絶された後の凹地に形成されている。９世紀後葉の供膳具類が一定量出土していることから，第204号井戸の廃絶前後に廃棄された可能性が高いが，多くは摩滅した細片であり，周囲からの流れ込みと考えられる。したがって，井戸廃絶後は，当地周辺の積極的な土地利用は認められず，空閑地として放棄されたと考えられる。

3　文字資料について

(1)　文字資料の内容

今回の調査で確認できた文字資料は852点である。

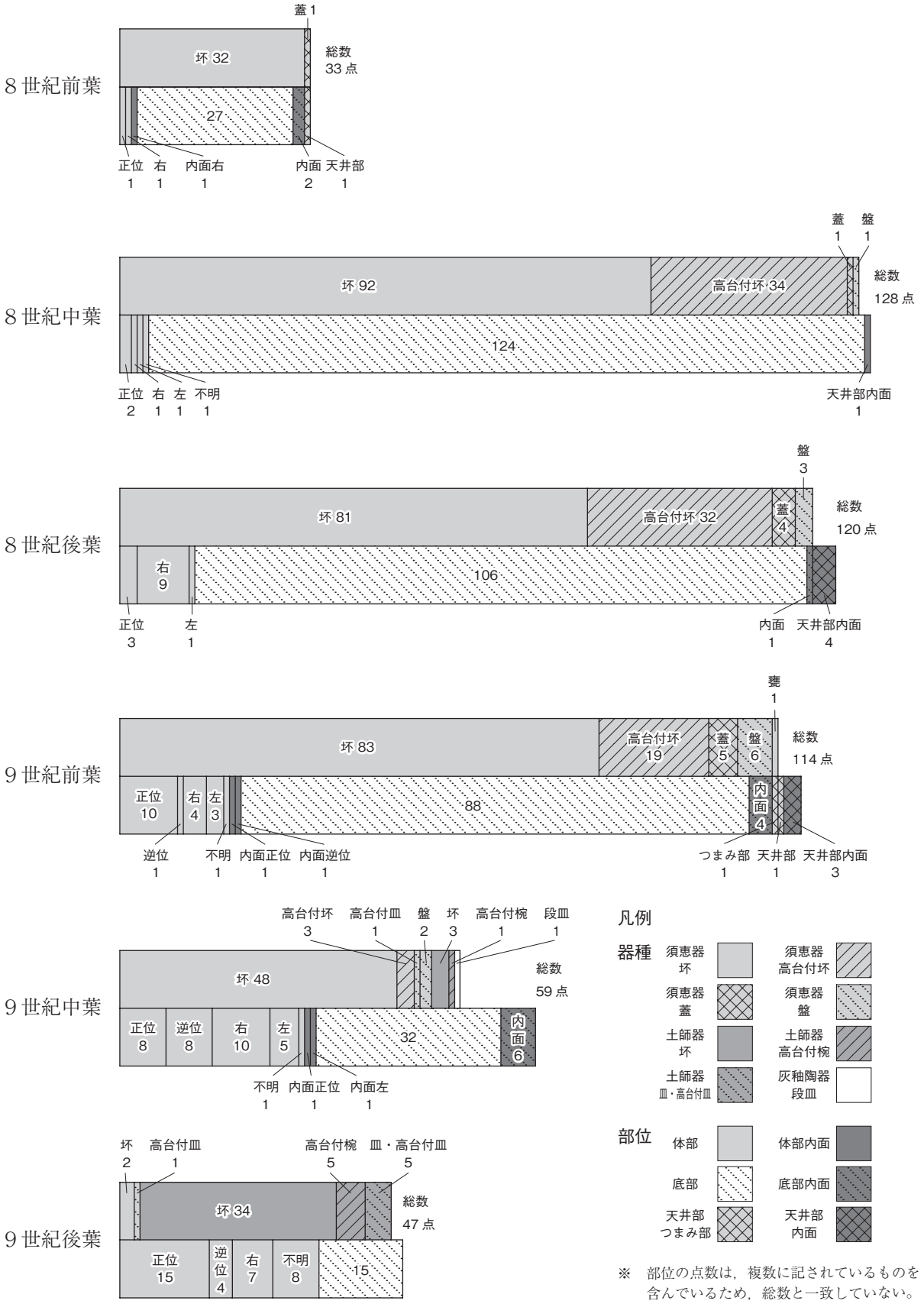
遺構ごとの出土点数は，第204号井戸跡から309点，第205・209・210号井戸跡から各２点，第212号井戸跡，第562号溝跡から各１点，第１号遺物集中地点から126点，第２号遺物集中地点から368点で，遺構に伴わないものが43点である。

種別は，墨書が845点で，朱墨が４点含まれており，箆書が７点である。確認できた文字は，「臣（巳と人の合わせ文字）」179点，「川人」・「川」111点，「田前」・「多前」（田・多・大多・前などを含む）42点，「宅」31点，「嶋名」・「嶋」31点，「新殿」・「新」・「殿」25点，「ナ」23点，「山人」・「山」18点，「下麻主」・「麻生」・「麻」11点，「止田ヵ裏麻新家」・「大家」・「中家」・「坊家」・「家」10点，「大万」・「千万」・「万」８点，「南」７点，「城内丕」・「城内」・「城」，「什」・「十」，「○」が各６点，「井上」・「井」，「杢（大と士の合わせ文字）」が各５点，「禾」４点，「小栗」・「栗」，「千」，「土」が各３点，「池田」，「槻」，「器」，「智」，「長」，「西」，「中」，「夫」，「粟（小栗の合わせ文字ヵ）」，「糸ヵ」が各２点，「子上山」，「子鼻門」，「子佐古」，「淡水」，「野ヵ邊」，「上山ヵ」「福」，「部」，「成」，「香」，「佐」，「寺」，「伍」，「四」，「月」，「止」，「卅」，「ノ」，「～」，「秋（誤記ヵ）」，「郡ヵ」，「波ヵ」，「可ヵ」が各１点である。箆書は「×」４点，「▽」，「Ｔ」，「一」が各１点である。

材質と器種は，須恵器803点（坏674，高台付坏98，高台付皿２，蓋13，盤14，甕２），土師器48点（坏38，高台付椀５，高台付皿・皿５），灰釉陶器１点（段皿）である。文字が記されている部位は，供膳具類が体部194点（正位51，逆位22，右横位46，左横位９，右横位・左横位２，不明64），体部内面10点（正位４，逆位２，左横位１，不明３），底部642点，底部内面18点で，蓋が外面１点，内面10点，つまみ部１点，甕が体部１点，口縁部１点である。また，複数の部位に記されているものは26点で，体部／底部／底部内面が１点（「臣／中家／臣」），体部／底部または底部内面が19点（「臣／臣」２，「川／川」７，「川／四」１，「多前／多前」１，「□（城ヵ）内／月」１，「智／福」１，「成／成」１，「ナ／ナ」１，「十（朱墨）／井上・□（朱墨）」１，「子上山／□」１，「□／□」２），底部／底部内面が４点（「臣／臣」，「□田／臣ヵ」，「川／川」，「南／南」），体部・右横位・左横位が２点（「千・千」）である。

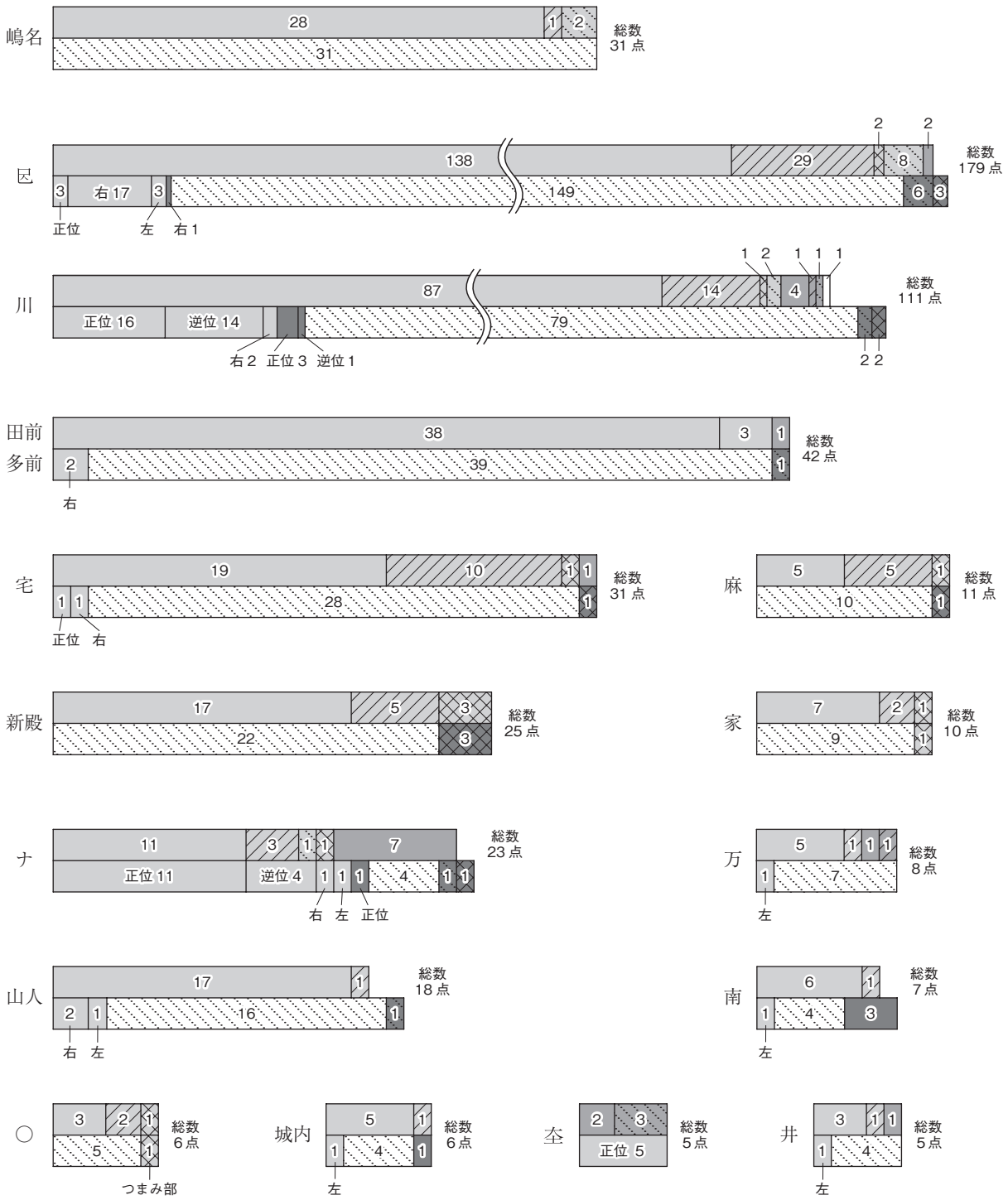
時期が判断できるものは501点である。ただし，９世紀以降に出現する土師器については，三時期区分での判別が困難であったことから９世紀後葉に含めている。８世紀前葉は33点（６％）で，「嶋名」「臣」「田前」「多前」「宅」「新」「山人」などが確認できる。材質・器種と部位は，須恵器坏の底部に記されているものが大半を占めている。８世紀中葉は128点（26％）で，出土点数が最も多い。器種構成に高台付坏，盤が伴い，「宅」「新殿」といった有力者の居宅あるいは官・公的な施設を示すと考えられる文字は，これらの器種に記される傾向がある。８世紀後葉は121点（24％）である。「川」の出土点数が増加し，高い割合を占めるようになる。その他の文字種や部位などの特徴は，前期と大きな変化は認められず，安定的に推移している。９世紀前葉は114点(23％)で，文字種や部位がバリエーションに富んでいる時期である。文字種は「嶋名」「臣」「宅」「新殿」「山人」などが減少する一方で，「川」「ナ」「南」などが増加している。また，「嶋」「山」「小栗」などに字句や字形を省略したものがみられるようになる。９世紀中葉は59点（12％）で，出土点数が激減している。文字が記される部位は体部が半数以上を占めるようになる。台地上の集落域では当期以降，墨書土器が急増することから，祭祀形態や食器管理体制の転換期と位置づけることができる。９世紀後葉（後半）は47点（９％）で，当遺跡の特徴的な文字である「杢」が出現している。器種構成は土師器が主体となり，体部に文字が記されているものが７割を超えている。

グラフ１　材質・器種と部位（時期別）



※　部位の点数は，複数に記されているものを含んでいるため，総数と一致していない。

グラフ２　材質・器種と部位（文字別）



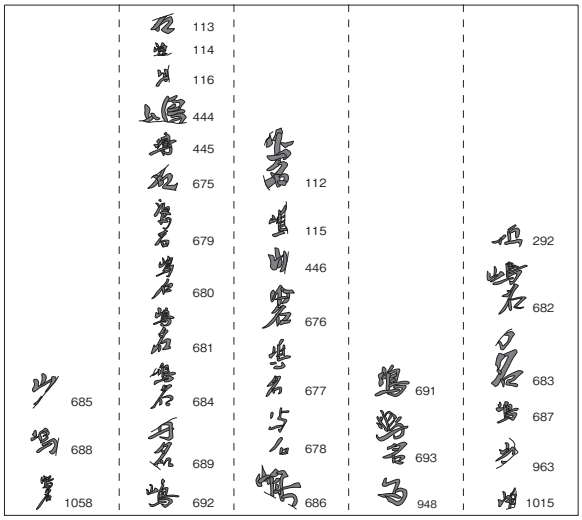
※　部位の点数は，複数に記されているものを含んでいるため，総数と一致していない。

表 11　文字資料出土点数一覧表（時期別）

文　字	８Ｃ前	８Ｃ中	８Ｃ後	９Ｃ前	９Ｃ中	９Ｃ後	時期不明	総　数	出土遺構：点数
嶋名	3	12	7	3	－	－	6	31	SE204：6，SX 1：3，SX 2：21，遺構外：1
臥	9	46	33	35	13	2	41	179	SE204：59，SE209：1，SX 1：9，SX 2：99，遺構外：11
川	1	5	21	28	17	7	32	111	SE204：58，SE209：1，SX 1：17，SX 2：29，遺構外：6
田前・多前	6	7	8	6	1	1	14	42	SE204：5，SE205：1，SX 1：5，SX 2：26，遺構外：5
宅	2	8	6	4	1	1	9	31	SE204：7，SX 1：5，SX 2：17，遺構外：2
新殿	1	5	8	4	1	－	7	26	SE204：4，SX 1：3，SX 2：17，遺構外：1
ナ	－	－	1	8	4	9	1	23	SE204：9，SX 1：11，SX 2：4
山人	2	7	4	2	3	－	－	18	SE204：4，SE210：1，SX 1：2，SX 2：10，遺構外：1
麻	－	5	1	2	－	－	3	11	SE204：1，SX 1：1，SX 2：8，遺構外：1
家	－	4	2	1	1	－	2	10	SE204：2，SX 2：6，遺構外：2
万	－	1	－	1	1	2	3	8	SX 1：2，SX 2：6
南	－	－	－	2	2	－	3	7	SE204：7
○	－	1	1	1	－	－	3	6	SX 2：5，遺構外：1
城内	1	2	3	－	－	－	－	6	SE204：2，SE212：1，SX 2：3
杢	－	－	－	－	－	5	－	5	SE204：1，SX 1：3，遺構外：1
井	－	1	－	1	1	1	1	5	SE204：1，SX 1：3，遺構外：1
その他	夫，×（篦書）	什・十４，禾２，□栗，長□，槻，寺，月，夫，×（篦書）	器２，智／福，槻，中，大，卅，十，秋，可カ	巣２，十，池□（田カ），止，四，夫，波カ	土３，千３，子上山／□，子鼻門，池田，智，西	子佐古，成／成，伍，ノ	禾２，糸カ２，小栗，淡水，野カ邊，上□（山カ），十カ，槻，長，西，部，香，佐，郡カ，×２，ー，T，▽（篦書）		

※　出現率を枠内の色の濃度（100％＝黒）で示している。

(2)　特徴的な文字種について

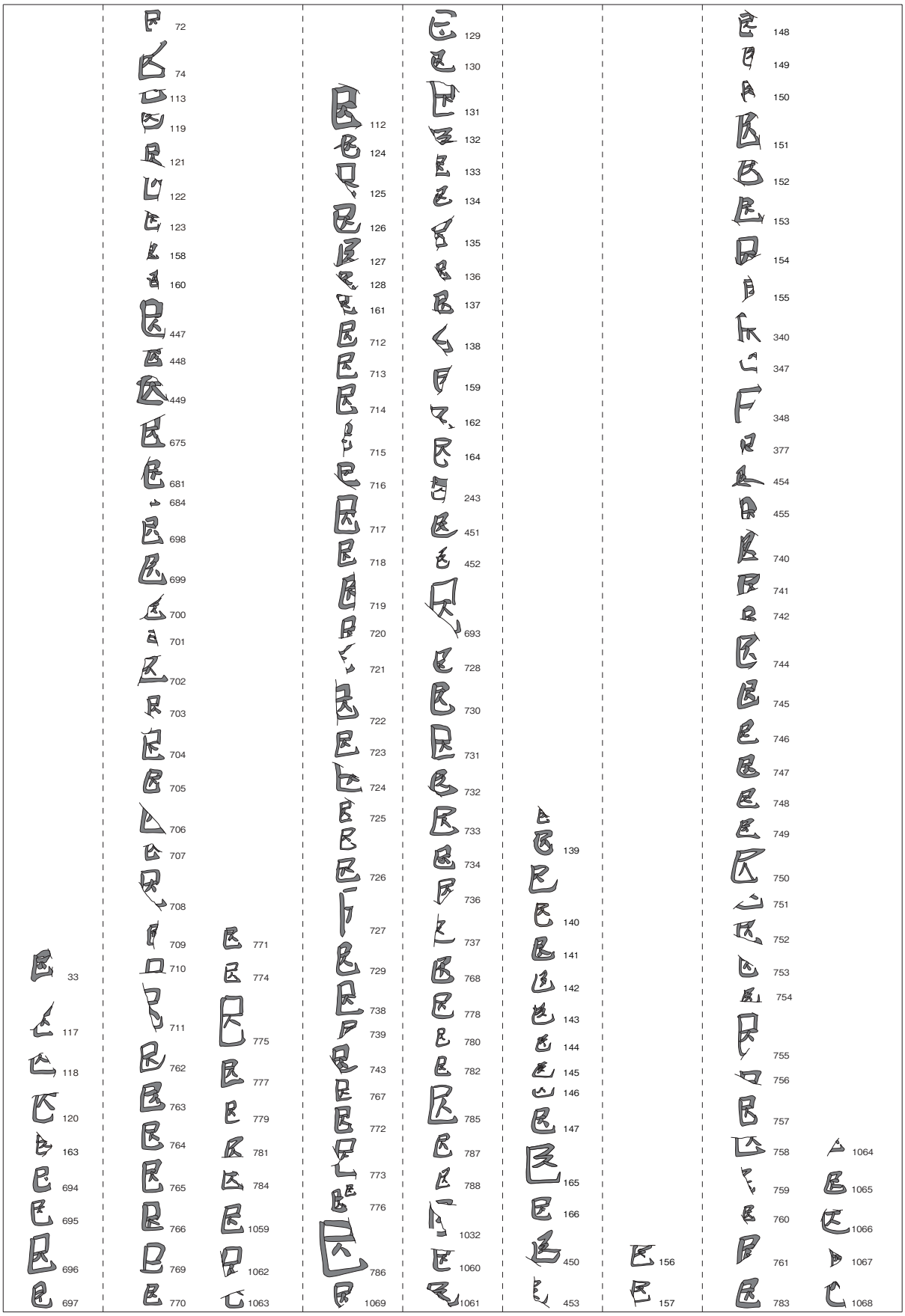


第 147 図　「嶋名」の変遷

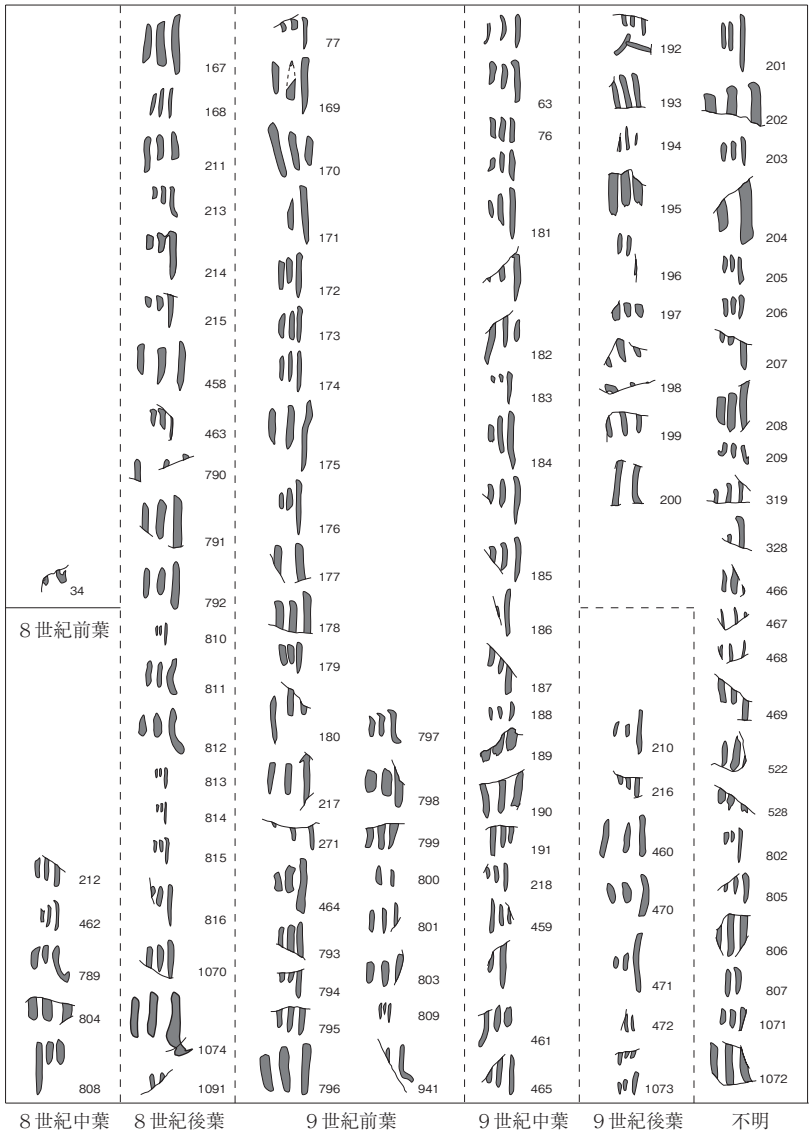
次に，10 点以上出土している文字について，その特徴を述べる。

「嶋名」は，当遺跡が属していた郷名で，31 点（「嶋名・臥」６，「嶋名」９，「新・嶋」１，「嶋」15）が出土している。これまでの集落域の調査では，第 604 号住居跡（９世紀中葉）から「嶋□」が出土している。８世紀前葉から出現し，８世紀中葉に盛行している。８世紀代は字形が小さく，線が細いのが特徴で，９世紀代は字形や「名」が省略されたものがみられる。また，「臥」「新」とともに記されたものが７例あり，そのうち４例は文字の大きさや墨の濃さが異なり，それぞれが別に記されている。

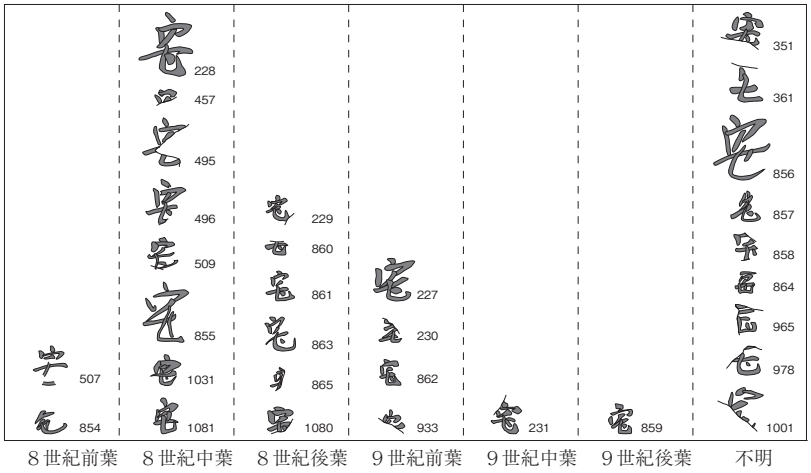
「臥」は，「巳」と「人」の合わせ文字と考えられる。今回の調査で最も多く出土した文字であり，出土点数は 179 点（「嶋名・臥」６，「□・水・臥・臥」１，「臥／中家／臥」１，「臥／臥」２，「臥」168，「□田／臥カ」１）で，総点数の 21％，文字が判読できたものの



第148図 「臥」の変遷



第149図 「川」の変遷



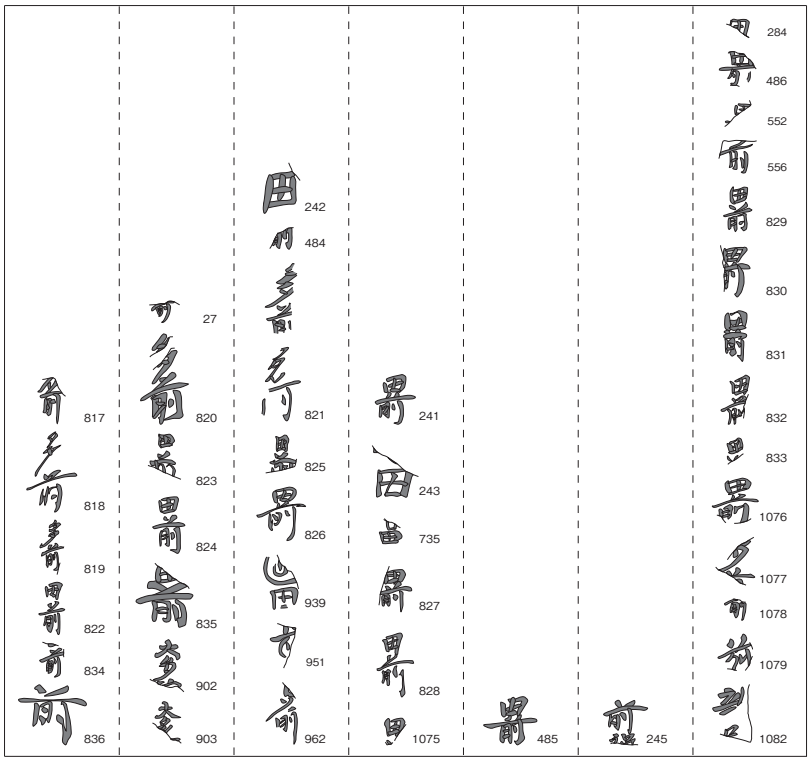
第150図 「宅」の変遷

３割を占めている。これまでの調査では，鍛冶関連遺構の第4125号土坑（９世紀前葉），第1578・1604号住居跡（９世紀後葉）から４点出土しており，当調査区で確認した埋没谷の西側の台地上に集中している。８世紀前葉から出現し，８世紀中葉をピークに減少していく。筆順は「コ」→「人」→「乚」の順である。字形は線が太いものから細いものへ，「人」の終筆を止めるものから払うもの，「匚」のように繋げるものへの変遷が認められる。国立歴史民俗博物館の平川南氏から「夜刀（谷戸）の神（＝蛇）と集落の人々との関わりを示唆する祭祀的な文字」とのご教示を得ており，まさに，谷に囲まれた当遺跡を象徴する文字といえる。

「川」は，川を生業とする集団の標識的文字と考えられる。111点（「川・川」７，「川／四」１，「川人」１，「川・□」１，「川」101）が出土している。集落域の調査では第1370号住居跡（８世紀後葉），第1355号住居跡（９世紀前葉），第1323・1356号住居跡，第148号井戸跡（９世紀中葉）から７点が出土しており，埋没谷の東側の台地上に集中している。８世紀後葉以降，主体的に出土するようになり，９世紀代に盛行する文字である。字形はバリエーションに富み，出現期には三画目が外側に跳ねているものがみられる。

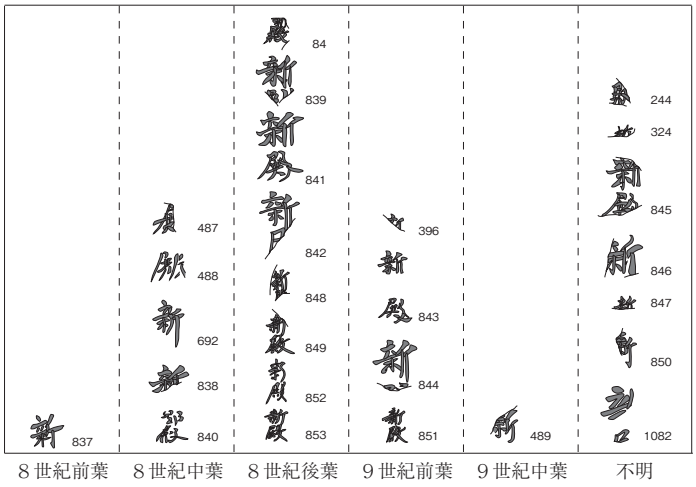
「宅」は31点出土している。当遺跡における有力者層の存在を示す文字であり，『第214集』において富豪層との関わりが指摘されている。集落域では２点出土しており，第1316号住居跡（８世紀後葉），第1578号住居跡（９世紀後葉）から出土している。８世紀代に盛行する文字であり，高台付器種の比率が高いことも特徴にあげられる。

「田前」と「多前」は，同音を表記したものと考えられるが，両者が出現当初から存在していることから，意味が異なる可能性がある。42点（「大家･田前」１,「田前」16,「多前／多前」１,「多前」５,「田□」２,「□田」３,「田」２,「前□」１,「□前」２,「前」７,「大多□」２）が出土している。これまでの調査では「田前」が第506号掘立柱建物跡（８世紀後葉），第689号住居跡（９世紀前葉），第1266号住居跡，第1688号土坑（９世紀中葉），第1315号住居跡（９世紀後葉）から５点出土しており，埋没谷上部の東西に分布している。「田前」は，９世紀代になると上下の間隔が狭くなり，合わせ文字のように表記されるものが現れている。



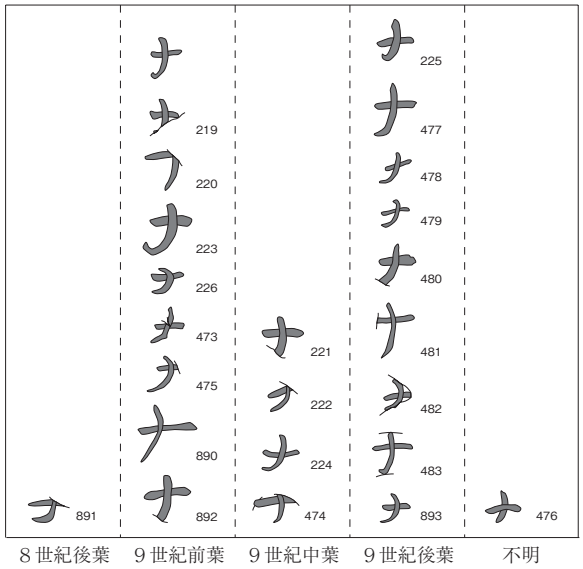
第151図　「田前」「多前」の変遷

「新殿」は，有力者やその居宅を指す「殿」に，新興勢力，分家，世代交代，新築，建て替え等の意味が付加されたものと考えられる。26点（「新殿」12,「新□」２,「新」９,「殿」３）が出土している。これまでの調査で第871号住居跡（８世紀中葉）から「大殿墨ヵ研」と記された円面硯が出土している。８世紀後葉にピークがあり，高台付器種の比率が高い。字形は線が細く，整ったものが多く，文字を書き慣れた人物が記していると推定できる。

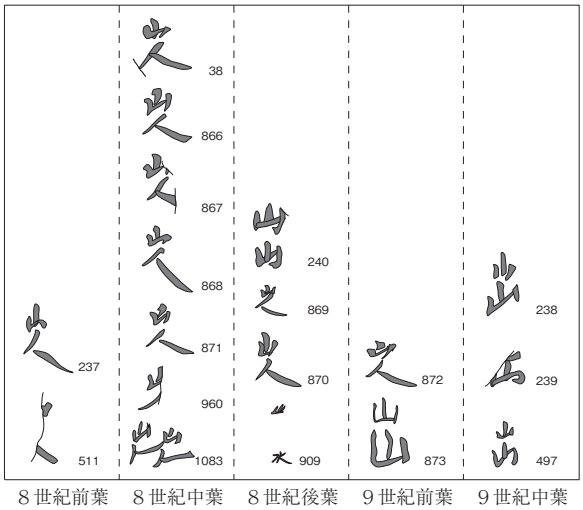


第152図　「新殿」の変遷

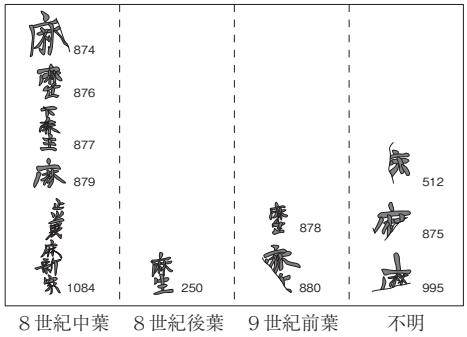
「ナ」は，音の表記や字形の省略と考えられるが，具体的な意味は明確でない。23点（「ナ／ナ」１,「ナ」22）が出土している。台地上の調査では，第643・682・678・



第153図　「ナ」の変遷



第154図　「山人」の変遷



第155図　「麻」の変遷

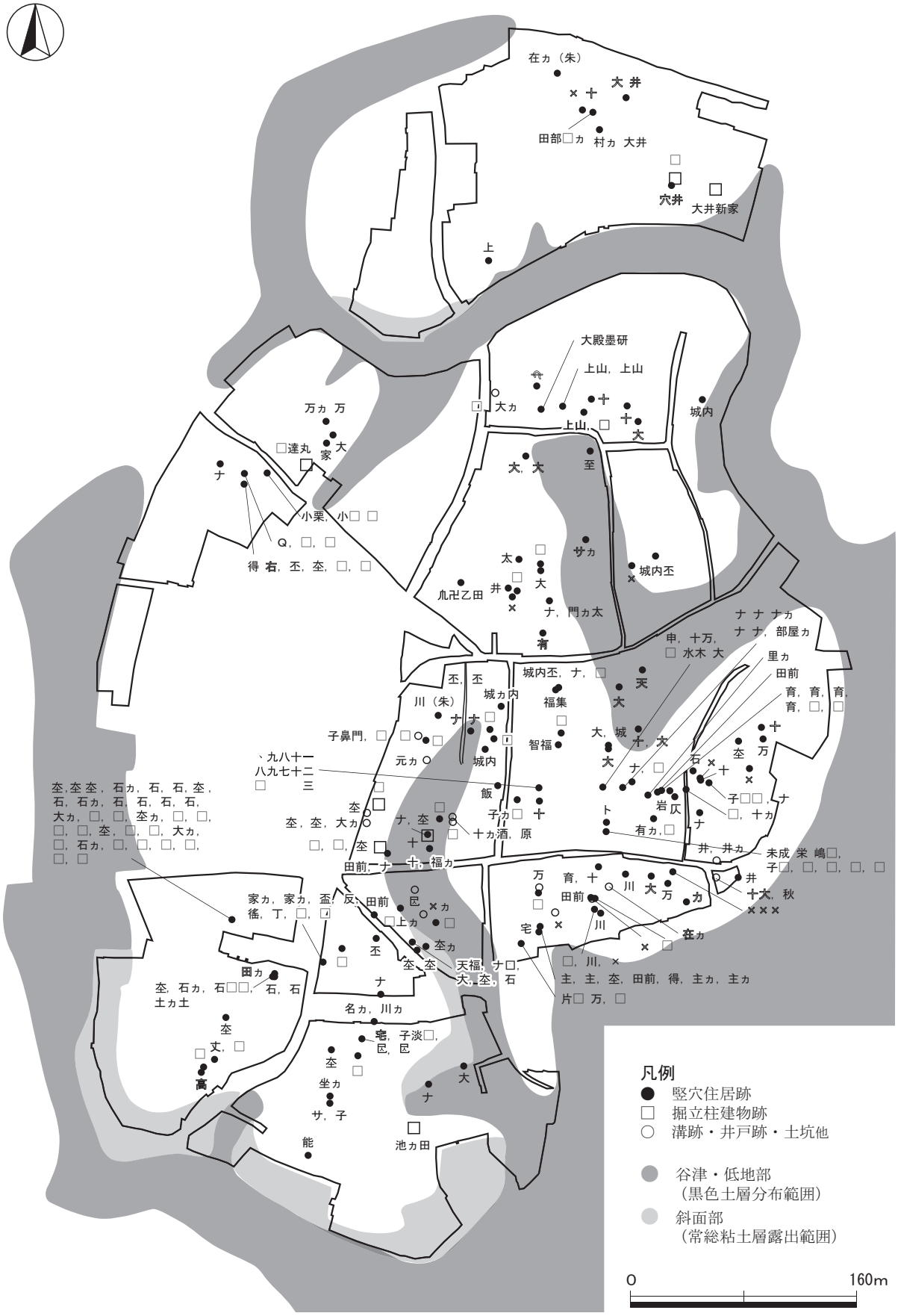
1236・1241・1741・2453号住居跡，第886号土坑（9世紀中葉），第249・299・308・713・1069・2365号住居跡（9世紀後葉），第539A号住居跡（10世紀前半），第2963号住居跡（10世紀後半）から19点が出土しており，北部や北東部を除く台地上の広範囲に分布している。9世紀代に盛行する文字であり，記された部位の75%が体部である。

「山人」は，薪拾いや樵夫などの「山」を生業とする集団あるいは水田域からみた高所にあたる台地上に居住している集団を示すと考えられる。18点（「山人・山人」1，「山人」11，「山／山」1，「山山」3，「□山」1，「□山□□水」1）が出土しており，今回が初出である。「山人」は8世紀代に盛行し，「山山」は9世紀中葉まで残っている。「山人」は各期を通じて「人」の二画目を大きく下方へ払うのが特徴的で，「山山」はいずれも上下の字形が異なっている。

「麻」は，布の原料，麻布の生産に従事する集団，地名，音表記などの意味が考えられるが特定はできない。11点（「下麻主」1，「麻生」2，「麻」7，「止田ヵ裏麻新家」1）が出土している。今回が初出資料であり，8世紀中葉に出土数が多く，高台付器種が半数を占める特徴は，「宅」「新殿」と共通している。

「家」は，10点（「臣／中家／臣」1，「大家・田前」1，「止田ヵ裏麻新家」1，「坊家」1，「中家」2，「□家」4）が出土している。有力者層の居宅を示していると考えられ，「坊家」は条坊のような方形区域内の「家」あるいは僧の住まいを意味していると考えられる。これまでの調査では，第403号掘立柱建物跡（8世紀後葉）から「大井新家」，第1730A号住居跡（9世紀後葉）と第2375号住居跡（10世紀前半）から「家」4点が出土している。

その他の文字としては，8世紀代に出現する区画溝との関連を示唆する「城内」，台地上の集落域から20点が出土している「杢」，仏教思想との関わりがうかがえる「寺」「智」，吉祥句の「万」「千」「福」，方位を示す「南」「西」，台地上でも確認されている「子鼻門」「小栗」「池田」などがあり，当集落を性格づける上で，その手がかりとなる資料といえる。



第 156 図　墨書土器分布図

4　水場の性格について

以上の検討を踏まえ，遺構，遺物からみた水場の性格について述べる。

水場は，７世紀前葉から８世紀前葉が素掘りの井戸，８世紀中葉から９世紀前葉が木製の貯水施設や足場を伴う井戸を湧水点に設置し，そこから溢れた水が溝や凹地を流れていく構造である。凹地の埋没が進んだ９世紀中葉には，井戸枠と作業場が設けられた大形の井戸が構築され，９世紀後葉に廃絶されている。

水場を構成する井戸跡，遺物集中地点から出土した土器は供膳具（坏，高台付坏，蓋，皿，盤）が中心で，煮炊き具，特に土師器甕と甑の出土量は極めて少ないのが特徴である。852 点にのぼる墨書・篦書土器が出土しており，集落域よりも出土土器に占める割合[2)]が高く，集落域での出土数が希少な時期[3)]であることから，水場が非日常的な空間であり，祭祀の場であったと推測できる。

水場での祭祀は，７世紀代の第 203・211 号井戸跡から土師器坏と農具（竪杵，横槌）が投棄された状態で出土しており，第２号遺物集中地点からも多くの木製農具類が出土していることから，古墳時代からの伝統的な農耕儀礼を基軸とした在地色の強いものであったと考えられる。８世紀以降の井戸跡や遺物集中地点から出土した墨書・篦書土器をはじめとする多量の供膳具類や挽物（漆器高台付坏，漆器皿），刳物，曲物などの木製容器類は，水場祭祀における神への供献と共同飲食に用いられた器であり，灯明具の油煙付着土器や一部が炭化した刀形木製品などは儀礼に関わる祭祀具と考えられる。また，1,017 点の桃核やクリ，ヒョウタン，クルミ，ウリなどの種子類は供物と考えられ，それぞれの収穫時期が異なることから，祭祀が夏や秋の季節に応じて行われたことを示している。

文字資料については,「嶋名」「臥」「多前」「宅」「新殿」「山人」「麻」などが８世紀代,「川」「田前」「ナ」「万」「南」「夲」などが９世紀代にそれぞれ盛行する特徴がみられる。同様に出現時期のピークは，水場が８世紀中葉から９世紀前葉，集落域が９世紀中葉から後葉であり，９世紀中葉を画期とした文字の意味や用途，管理体制の転換を指摘することができる。その背景には，墨書土器を用いた祭祀が，共同体の紐帯を強めるために集落全体で執り行われるものから，富豪層などの特定集団や個人で行われるものへ変化したことが推測でき，水場は前者における中核的な位置を担い，後者にはその役割を終えたと推測することができる。

5　おわりに

『常陸國風土記』には, 序文や新治, 信太, 茨城, 行方, 香島, 那賀, 久慈郡の各条に井戸に関する記述があり，清浄な井戸の周囲に集い，酒宴や祭祀を行う人々の様子が数多く描かれている。また，行方郡条には，水田開発にあたり夜刀（谷戸）の神（＝蛇）を祭る説話が記されている。今回の調査成果は，こうした風土記の世界を彷彿とさせるものであり，歴史資料の実像を具体的に考察する上での貴重な資料といえる。

註

1）当遺跡の既刊の報告書は,「第２章　位置と環境　第２節　歴史的環境」註３に掲載している。

2）主な出土地点の供膳具類に占める墨書土器の割合は，第 204 号井戸跡が 7.8％（309 ／ 3960 点），第２号遺物集中地点が 6.5％（368 ／ 5679 点）である。集落域では，最も多い第 3022 号住居跡が 5.3％（32 ／ 599 点）で，次いで第 1315 号住居跡が 1.9％（８／ 421 点），第 1730 号住居跡が 1.9％（８／ 418 点）であり，その他も概ね４％以下の数値を示している。

3）集落域ではこれまでの調査で 315 点が出土している。８世紀前葉が４点，８世紀中葉が 12 点，８世紀後葉が 12 点，９世紀前葉が 18 点，９世紀中葉が 67 点，９世紀後葉が 81 点，10 世紀前半が 29 点，10 世紀後半が 13 点，11 世紀前半が４点，時期不明が 28 点，中世が１点である。

参考文献

・茨城県史編さん原始古代史部会 「常陸國風土記」『茨城県史料＝古代編』茨城県　1968 年 11 月

・吉野裕訳 『風土記』平凡社ライブラリー 328　2000 年２月

墨書土器一覧表

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
1	20	26	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE205	８Ｃ中	
2	20	27	前	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE205	８Ｃ中	
3	22	33	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE209	８Ｃ前	
4	22	34	□（川カ）	墨書	須恵器	坏	底部内面	SE209	８Ｃ前	
5	24	38	山人	墨書	須恵器	坏	底部	SE210	８Ｃ中	
6	24	39	×	箆書	須恵器	坏	底部	SE210	８Ｃ中	
7	26	47	□（城カ）内／月	墨書	須恵器	高台付坏	体部・左／底部	SE212	８Ｃ中	
8	31	55	□	墨書	須恵器	坏	底部	SD562	８Ｃ中	
9	39	63	川／川	墨書	灰釉陶器	段皿	体部・正位／底部	SE204	９Ｃ中	
10	39	64	土	墨書	須恵器	坏	体部・右	SE204	９Ｃ中	
11	39	65	千・千	墨書	土師器	坏	体部・左・右	SE204	９Ｃ中	
12	39	66	土	墨書	土師器	高台付椀	体部・左	SE204	９Ｃ中	
13	39	67	千・千	墨書	土師器	坏	体部・左・右	SE204	９Ｃ中	
14	39	68	千	墨書	土師器	坏	体部・左	SE204	９Ｃ中	
15	39	69	土	墨書	須恵器	高台付坏	体部・右	SE204	９Ｃ中	
16	40	72	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ中	
17	40	73	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ後	
18	40	74	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ中	
19	40	75	□□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ中	
20	40	76	川	墨書	須恵器	坏	体部・逆位	SE204	９Ｃ中	
21	40	77	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
22	40	78	大	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SE204	８Ｃ後	
23	40	79	井	墨書	須恵器	坏	体部・右	SE204	９Ｃ後	
24	40	82	成／成	墨書	土師器	坏	体部・正位／底部	SE204	９Ｃ中	
25	40	83	止	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	９Ｃ前	
26	40	84	新殿	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	８Ｃ後	
27	41	85	十カ	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	８Ｃ中	
28	43	112	臣・嶋名	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ後	
29	43	113	臣カ・名カ	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ中	
30	43	114	嶋	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ中	
31	43	115	嶋	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ後	
32	43	116	嶋カ	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ中	
33	43	117	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ前	
34	43	118	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ前	
35	43	119	臣	墨書／墨痕	須恵器	坏	体部・右／底部	SE204	８Ｃ中	
36	43	120	臣	墨書	須恵器	坏	体部・右	SE204	８Ｃ前	
37	43	121	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ中	
38	43	122	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ中	
39	43	123	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ中	
40	44	124	臣	墨書	須恵器	坏	体部・右	SE204	８Ｃ後	
41	44	125	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ後	油煙
42	44	126	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ後	
43	44	127	臣	墨書	須恵器	坏	体部・左	SE204	８Ｃ後	
44	44	128	臣	墨書	須恵器	坏	体部・右	SE204	８Ｃ後	
45	44	129	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
46	44	130	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
47	44	131	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
48	44	132	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
49	44	133	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
50	44	134	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
51	44	135	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
52	44	136	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
53	44	137	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
54	44	138	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
55	45	139	臣／中家／臣	墨書	須恵器	坏	体部・右／底部外／内面	SE204	９Ｃ中	
56	45	140	臣／臣	墨書	須恵器	坏	底部外／内面	SE204	９Ｃ中	
57	45	141	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ中	
58	45	142	臣	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SE204	９Ｃ中	
59	45	143	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ中	
60	45	144	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ中	
61	45	145	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ中	
62	45	146	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ中	
63	45	147	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ中	
64	45	148	臣	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SE204	不明	
65	45	149	臣	墨書	須恵器	坏	体部・右	SE204	不明	
66	45	150	臣	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SE204	不明	
67	45	151	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
68	45	152	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
69	45	153	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
70	45	154	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
71	45	155	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
72	45	156	臣	墨書	土師器	坏	体部・右	SE204	９Ｃ後半	
73	45	157	臣	墨書	土師器	坏	体部・右	SE204	９Ｃ後半	
74	45	158	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	８Ｃ中	
75	45	159	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	９Ｃ前	
76	45	160	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	８Ｃ中	
77	46	161	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	８Ｃ後	
78	46	162	臣	墨書	須恵器	高台付坏	体部・右	SE204	９Ｃ前	
79	46	163	臣	墨書	須恵器	蓋	体部内面・右	SE204	８Ｃ前	
80	46	164	臣	墨書	須恵器	盤	体部・右	SE204	９Ｃ前	
81	46	165	臣	墨書	須恵器	盤	底部	SE204	９Ｃ中	
82	46	166	臣	墨書	須恵器	盤	底部	SE204	９Ｃ中	
83	46	167	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ後	油煙
84	46	168	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ後	
85	46	169	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
86	46	170	川	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SE204	９Ｃ前	
87	46	171	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
88	46	172	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
89	46	173	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
90	46	174	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
91	46	175	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
92	47	176	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
93	47	177	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
94	47	178	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
95	47	179	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
96	47	180	川／四	墨書	須恵器	坏	体部・正位／底部	SE204	９Ｃ前	
97	47	181	川／川	墨書	須恵器	坏	体部・逆位／底部	SE204	９Ｃ中	
98	47	182	川／川	墨書	須恵器	坏	体部・正位／底部	SE204	９Ｃ中	
99	47	183	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ中	
100	47	184	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ中	
101	47	185	川／川	墨書	須恵器	坏	底部外／内面	SE204	９Ｃ中	
102	47	186	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ中	
103	47	187	川	墨書	須恵器	坏	体部・右	SE204	９Ｃ中	
104	47	188	川	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SE204	９Ｃ中	
105	47	189	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ中	
106	47	190	川	墨書	須恵器	坏	体部・逆位	SE204	９Ｃ中	
107	47	191	川	墨書	須恵器	坏	体部・逆位	SE204	９Ｃ中	
108	47	192	川人	墨書	須恵器	坏	体部・逆位	SE204	不明	
109	47	193	川	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SE204	不明	
110	47	194	川	墨書	須恵器	坏	体部・逆位	SE204	不明	
111	47	195	川	墨書	須恵器	坏	体部・逆位	SE204	不明	
112	48	196	川	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SE204	不明	
113	48	197	川	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SE204	不明	
114	48	198	川／川ヵ	墨書	須恵器	坏	体部・正位／底部	SE204	不明	
115	48	199	川	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SE204	不明	
116	48	200	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
117	48	201	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
118	48	202	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
119	48	203	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
120	48	204	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
121	48	205	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
122	48	206	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
123	48	207	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
124	48	208	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
125	48	209	川	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
126	48	210	川	墨書	土師器	坏	底部	SE204	９Ｃ後半	
127	48	211	川	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	８Ｃ後	
128	48	212	川	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	８Ｃ中	
129	48	213	川	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	８Ｃ後	
130	48	214	川	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	８Ｃ後	
131	48	215	川	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	８Ｃ後	
132	48	216	川	墨書	土師器	高台付椀	底部	SE204	９Ｃ後半	
133	48	217	川	墨書	須恵器	蓋	天井部内面	SE204	９Ｃ前	
134	48	218	川	墨書	須恵器	高台付皿	体部内面・正位	SE204	９Ｃ中	
135	48	219	ナ／ナ	墨書	須恵器	坏	体部・右／底部	SE204	９Ｃ前	
136	48	220	ナ	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SE204	９Ｃ前	
137	48	221	ナ	墨書	須恵器	坏	体部・左	SE204	９Ｃ中	
138	48	222	ナ	墨書	須恵器	坏	体部・逆位	SE204	９Ｃ中	
139	49	223	ナ	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	９Ｃ前	
140	49	224	ナ	墨書	須恵器	高台付坏	体部・逆位	SE204	９Ｃ中	
141	49	225	ナ	墨書	土師器	高台付椀	底部	SE204	９Ｃ後半	
142	49	226	ナ	墨書	須恵器	蓋	体部・正位	SE204	９Ｃ前	

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
143	49	227	宅	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
144	49	228	宅	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ中	
145	49	229	宅	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ後	
146	49	230	宅	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
147	49	231	宅	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	９Ｃ中	
148	49	232	南	墨書	須恵器	坏	底部内面	SE204	９Ｃ前	
149	49	233	南	墨書	須恵器	坏	底部内面	SE204	９Ｃ中	
150	49	234	南／南	墨書	須恵器	坏	底部外／内面	SE204	不明	
151	49	235	南	墨書	須恵器	坏	体部内面・左	SE204	９Ｃ中	
152	49	236	南	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
153	49	237	山人	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ前	
154	49	238	山山	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ中	
155	49	239	□山	墨書	須恵器	坏	体部・右	SE204	９Ｃ中	
156	49	240	山／山	墨書	須恵器	坏	体部・左／底部内面	SE204	８Ｃ後	
157	50	241	田前	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	漆
158	50	242	田	墨書	須恵器	坏	体部・右	SE204	８Ｃ後	
159	50	243	□田／臣カ	墨書	須恵器	坏	底部外／内面	SE204	９Ｃ前	
160	50	244	殿	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
161	50	245	前□	墨書	土師器	坏	体部・右	SE204	９Ｃ後半	
162	50	246	十／井上・□	朱墨／墨書	須恵器	坏	体部・正位／底部	SE204	８Ｃ中	
163	50	247	井上	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	９Ｃ前	
164	50	248	智／福	墨書	須恵器	坏	体部・正位／底部	SE204	８Ｃ後	
165	50	249	智	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SE204	９Ｃ中	
166	50	250	麻生	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ後	
167	50	251	□家	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
168	50	252	栄	墨書	須恵器	坏	体部・左	SE204	９Ｃ前	
169	50	253	栄	墨書	須恵器	坏	体部・左	SE204	９Ｃ前	
170	50	254	子鼻門	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ中	
171	50	255	子佐古	墨書	土師器	坏	体部・右	SE204	９Ｃ後半	
172	50	256	□栗	墨書	須恵器	高台付坏	体部・正位	SE204	８Ｃ中	
173	50	257	野カ邊	墨書	須恵器	坏	底部内面	SE204	不明	
174	50	258	秋□	墨書	須恵器	坏	体部・右	SE204	８Ｃ後	
175	50	259	長□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
176	50	260	槻	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	８Ｃ中	
177	50	261	城□（内カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
178	50	262	香	墨書	須恵器	坏	体部・右	SE204	不明	
179	50	263	杢	墨書	土師器	坏	体部・正位	SE204	９Ｃ後半	
180	51	264	西	墨書	須恵器	坏	体部・右	SE204	９Ｃ中	
181	51	265	夫	墨書	須恵器	坏	体部・右	SE204	９Ｃ前	
182	51	266	十	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SE204	９Ｃ前	
183	51	267	ノ	墨書	土師器	坏	体部・正位	SE204	９Ｃ後半	
184	51	268	十	朱墨	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ後	
185	51	269	十カ	朱墨	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ中	
186	51	270	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
187	51	271	□（川カ）	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SE204	９Ｃ前	油煙
188	51	272	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ中	
189	51	273	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ中	

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
190	51	274	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
191	51	275	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
192	51	276	□□□（城内丕カ）	墨書	須恵器	坏	底部内面	SE204	９Ｃ中	
193	51	277	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ後	
194	51	278	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
195	52	279	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ後	
196	52	280	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ後	
197	52	281	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	９Ｃ前	
198	52	282	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	８Ｃ後	
199	52	283	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
200	52	284	□（田カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
201	52	285	□□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
202	52	286	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
203	52	287	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
204	52	288	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
205	52	289	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
206	52	290	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
207	52	291	□／□	墨書	須恵器	坏	体部・不明／底部	SE204	不明	
208	52	292	□（嶋カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
209	52	293	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
210	52	294	□（中カ）	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SE204	不明	
211	53	295	□	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SE204	不明	
212	53	296	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
213	53	297	□	墨書	須恵器	坏	体部・右	SE204	不明	
214	53	298	□	墨書	須恵器	坏	体部内面・不明	SE204	不明	
215	53	299	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
216	53	300	□	墨書	須恵器	坏	体部内面・不明	SE204	不明	
217	53	301	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
218	53	302	□	墨書	須恵器	坏	体部内面・不明	SE204	不明	
219	53	303	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
220	53	304	□	墨書	須恵器	坏	体部内面・不明	SE204	不明	
221	53	305	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
222	53	306	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
223	53	307	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
224	53	308	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
225	53	309	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
226	53	310	□□	墨書	須恵器	坏	体部・右	SE204	不明	
227	53	311	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
228	53	312	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
229	53	313	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
230	53	314	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
231	53	315	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
232	53	316	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
233	53	317	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
234	53	318	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
235	53	319	□（川カ）	墨書	須恵器	坏	体部内面・正位	SE204	不明	
236	53	320	□（ナカ）	墨書	須恵器	坏	体部・逆位	SE204	不明	

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
237	53	321	□	墨書	須恵器	坏	体部内面・不明	SE204	不明	
238	53	322	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
239	53	323	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
240	53	324	□（新カ）	墨書	須恵器	坏	体部・右	SE204	不明	
241	53	325	□	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SE204	不明	
242	53	326	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
243	53	327	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
244	53	328	□（川カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
245	53	329	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
246	53	330	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
247	53	331	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
248	53	332	□（糸カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
249	53	333	□	墨書	須恵器	坏	底部内面	SE204	不明	
250	53	334	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
251	53	335	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
252	53	336	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
253	53	337	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
254	53	338	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
255	54	339	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
256	54	340	□（臣カ）	墨書	須恵器	坏	底部内面	SE204	不明	
257	54	341	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
258	54	342	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
259	54	343	□／□	墨書	須恵器	坏	体部・不明／底部	SE204	不明	
260	54	344	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
261	54	345	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
262	54	346	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
263	54	347	□（臣カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
264	54	348	□（臣カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
265	54	349	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
266	54	350	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
267	54	351	宅	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
268	54	352	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
269	54	353	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
270	54	354	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
271	54	355	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
272	54	356	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
273	54	357	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
274	54	358	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
275	54	359	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
276	54	360	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
277	54	361	□（宅カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
278	54	362	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
279	54	363	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
280	54	364	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
281	54	365	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
282	54	366	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
283	54	367	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
284	54	368	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
285	54	369	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
286	54	370	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
287	54	371	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
288	54	372	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
289	54	373	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
290	55	374	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
291	55	375	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
292	55	376	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
293	55	377	□（臣カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
294	55	378	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SE204	不明	
295	55	379	□（南カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
296	55	380	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
297	55	381	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
298	55	382	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
299	55	383	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
300	55	384	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
301	55	385	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
302	55	386	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
303	55	387	□	墨書	土師器	坏	体部・不明	SE204	９Ｃ後半	
304	55	388	□（大カ）	墨書	土師器	坏	体部・逆位カ	SE204	９Ｃ後半	
305	55	389	□	墨書	土師器	坏	体部・正位カ	SE204	９Ｃ後半	
306	55	390	□	墨書	土師器	坏	体部・不明	SE204	９Ｃ後半	
307	55	391	□	墨書	土師器	坏	体部・不明	SE204	９Ｃ後半	
308	55	392	□□	墨書	土師器	坏	底部	SE204	９Ｃ後半	
309	55	393	□	墨書	土師器	坏	底部	SE204	９Ｃ後半	
310	55	394	□（南カ）	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	９Ｃ前	
311	55	395	□□	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	８Ｃ後	
312	55	396	□（新カ）	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SE204	９Ｃ前	
313	55	397	□	墨書	須恵器	坏	底部	SE204	不明	
314	55	398	□	墨書	須恵器	蓋	体部内面	SE204	不明	
315	55	399		墨痕	須恵器	盤	底部	SE204	８Ｃ後	転用硯
316	55	400	□	墨書	須恵器	盤	底部	SE204	９Ｃ前	
317	55	401	□（波カ）	墨書	須恵器	甕	体部・不明	SE204	９Ｃ前	
318	76	444	嶋	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	８Ｃ中	
319	76	445	嶋	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	８Ｃ中	
320	76	446	□（嶋カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	８Ｃ後	
321	76	447	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	８Ｃ中	
322	76	448	臣	墨書	須恵器	坏	体部・右	SX 1	８Ｃ中	
323	76	449	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	８Ｃ中	
324	76	450	臣	墨書	須恵器	坏	体部・右	SX 1	９Ｃ中	
325	76	451	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	９Ｃ前	
326	76	452	臣	墨書	須恵器	坏	底部内面	SX 1	９Ｃ前	
327	76	453	臣	墨書	須恵器	坏	体部・右	SX 1	９Ｃ中	
328	76	454	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
329	76	455	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
330	76	456	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
331	77	458	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	８Ｃ後	
332	77	459	川	墨書	須恵器	坏	体部・逆位	SX 1	９Ｃ中	
333	77	460	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	９Ｃ後	
334	77	461	川／川	墨書	須恵器	坏	体部・正位／底部	SX 1	９Ｃ中	
335	77	462	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	８Ｃ中	
336	77	463	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	８Ｃ後	
337	77	464	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	９Ｃ前	
338	77	465	川	墨書	須恵器	坏	体部・逆位	SX 1	９Ｃ中	
339	77	466	川	墨書	須恵器	坏	体部・逆位	SX 1	不明	
340	77	467	川	墨書	須恵器	坏	体部・逆位	SX 1	不明	
341	77	468	川	墨書	須恵器	坏	体部・逆位	SX 1	不明	
342	77	469	川	墨書	須恵器	坏	体部内面・正位	SX 1	不明	
343	77	470	川	墨書	土師器	坏	体部・正位	SX 1	９Ｃ後半	
344	77	471	川	墨書	土師器	坏	底部	SX 1	９Ｃ後半	
345	77	472	川	墨書	土師器	皿	体部・逆位	SX 1	９Ｃ後半	
346	77	473	ナ	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SX 1	９Ｃ前	
347	77	474	ナ	墨書	須恵器	坏	底部内面	SX 1	９Ｃ中	
348	77	475	ナ	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SX 1	９Ｃ前	
349	77	476	ナ	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SX 1	不明	
350	78	477	ナ	墨書	土師器	坏	体部・正位	SX 1	９Ｃ後半	
351	78	478	ナ	墨書	土師器	坏	体部・逆位	SX 1	９Ｃ後半	
352	78	479	ナ	墨書	土師器	坏	体部・逆位	SX 1	９Ｃ後半	
353	78	480	ナ	墨書	土師器	坏	体部・正位	SX 1	９Ｃ後半	
354	78	481	ナ	墨書	土師器	坏	体部・正位	SX 1	９Ｃ後半	
355	78	482	ナ	墨書	土師器	坏	体部・正位	SX 1	９Ｃ後半	
356	78	483	ナ	墨書	須恵器	高台付皿	体部・正位	SX 1	９Ｃ後半	
357	78	484	前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	８Ｃ後	
358	78	485	田前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	９Ｃ中	
359	78	486	田前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
360	78	487	殿	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	８Ｃ中	油煙
361	78	488	殿	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	８Ｃ中	
362	78	489	新	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	９Ｃ中	
363	78	490	杢	墨書	土師器	坏	体部・正位	SX 1	９Ｃ後半	
364	78	491	杢	墨書	土師器	皿	体部・正位	SX 1	９Ｃ後半	
365	78	492	杢	墨書	土師器	皿	体部・正位	SX 1	９Ｃ後半	
366	78	493	池□（田ヵ）	墨書	須恵器	坏	体部・逆位	SX 1	９Ｃ前	
367	78	494	池田	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SX 1	９Ｃ中	
368	79	457	宅	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 1	８Ｃ中	
369	79	495	宅	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 1	８Ｃ中	
370	79	496	宅	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 1	８Ｃ中	
371	79	507	宅	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SX 1	８Ｃ前	
372	79	509	宅	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	８Ｃ中	
373	79	497	山山	墨書	須恵器	坏	体部・右	SX 1	９Ｃ中	
374	79	498	大□（万ヵ）	墨書	土師器	坏	体部・右	SX 1	９Ｃ後半	
375	79	499	万	墨書	土師器	高台付椀	底部	SX 1	９Ｃ後半	
376	79	500	栗	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SX 1	不明	
377	79	501	伍	墨書	土師器	坏	底部	SX 1	９Ｃ後半	

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
378	79	502	～	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	８Ｃ後	
379	79	503	T	箆書	須恵器	高台付坏	底部	SX 1	不明	
380	79	504	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
381	79	505	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	８Ｃ中	
382	79	506	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	８Ｃ中	
383	79	508	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	８Ｃ中	
384	79	510	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	８Ｃ中	
385	79	511	□□（山人カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	８Ｃ前	
386	79	512	□（麻カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
387	80	513	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
388	80	514	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
389	80	515	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
390	80	516	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
391	80	517	□	墨書	須恵器	坏	体部・右	SX 1	不明	
392	80	518	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
393	80	519	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
394	80	520	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
395	80	521	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
396	80	522	□（川カ）	墨書	須恵器	坏	体部・逆位	SX 1	不明	
397	80	523	□	墨書	須恵器	坏	体部内面・逆位	SX 1	不明	
398	80	524	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
399	80	525	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
400	80	526	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
401	80	527	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
402	80	528	□（川カ）	墨書	須恵器	坏	体部・右	SX 1	不明	
403	80	529	□	墨書	須恵器	坏	体部・右	SX 1	不明	
404	80	530	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
405	80	531	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
406	80	532	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
407	80	533	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
408	80	534	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
409	80	535	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
410	80	536	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 1	不明	
411	80	537	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
412	80	538	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
413	80	539	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
414	80	540	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
415	80	541	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
416	80	542	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
417	80	543	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
418	80	544	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
419	80	545	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
420	80	546	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
421	81	547	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
422	81	548	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
423	81	549	□（井カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
424	81	550	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
425	81	551	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
426	81	552	□（田カ）□	墨書	須恵器	坏	底部内面	SX 1	不明	
427	81	553	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
428	81	554	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
429	81	555	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
430	81	556	前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
431	81	557	郡カ	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
432	81	558	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
433	81	559	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
434	81	560	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
435	81	561	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 1	不明	
436	81	562	□	墨書	土師器	坏	体部・不明	SX 1	9Ｃ後半	
437	81	563	□	墨書	土師器	坏	体部・不明	SX 1	9Ｃ後半	
438	81	564	□	墨書	土師器	坏	体部・右	SX 1	9Ｃ後半	
439	81	565	□	墨書	土師器	坏	体部・不明	SX 1	9Ｃ後半	
440	81	566	□	墨書	土師器	坏	体部・不明	SX 1	9Ｃ後半	
441	81	567	□	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 1	9Ｃ後半	
442	81	568	□□	墨書	土師器	高台付椀	底部	SX 1	9Ｃ後半	
443	81	569	□	墨書	土師器	皿	体部・不明	SX 1	9Ｃ後半	
444	93	636		墨痕	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	不明	転用硯
445	99	675	臣・名	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
446	99	676	嶋名	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ後	
447	99	677	嶋名	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ後	
448	99	678	嶋名	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ後	
449	99	679	嶋名	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
450	99	680	嶋名	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
451	100	681	嶋名・臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
452	100	682	嶋名	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
453	100	683	□（嶋カ）名	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
454	100	684	嶋名・□（臣カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
455	100	685	□（嶋カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ前	
456	100	686	嶋	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ後	
457	100	687	嶋	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
458	100	688	嶋	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ前	
459	100	689	嶋名	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
460	100	691	嶋	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	9Ｃ前	
461	100	692	新・嶋	墨書	須恵器	盤	底部	SX 2	8Ｃ中	
462	100	693	嶋名・臣	墨書	須恵器	盤	底部	SX 2	9Ｃ前	
463	100	694	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ前	
464	100	695	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ前	
465	100	696	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ前	
466	100	697	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ前	
467	101	698	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
468	101	699	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
469	101	700	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
470	101	701	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
471	101	702	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
472	101	703	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ中	

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
473	101	704	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
474	101	705	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
475	101	706	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
476	101	707	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
477	101	708	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
478	101	709	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
479	101	710	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
480	101	711	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
481	101	712	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
482	102	713	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
483	102	714	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
484	102	715	臣	墨書	須恵器	坏	体部・右	SX 2	8C後	
485	102	716	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
486	102	717	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
487	102	718	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
488	102	719	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
489	102	720	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
490	102	721	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
491	102	722	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
492	102	723	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
493	102	724	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
494	102	725	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
495	103	726	臣／臣	墨書	須恵器	坏	体部・右／底部	SX 2	8C後	油煙
496	103	727	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
497	103	728	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
498	103	729	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
499	103	730	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
500	103	731	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
501	103	732	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
502	103	733	臣	墨書	須恵器	坏	体部・左	SX 2	9C前	
503	103	734	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
504	103	736	臣	墨書	須恵器	坏	底部内面	SX 2	9C前	
505	103	737	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
506	103	738	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
507	103	739	臣	墨書	須恵器	坏	体部・右	SX 2	8C後	
508	103	740	臣	墨書	須恵器	坏	体部・左	SX 2	不明	
509	103	741	臣	墨書	須恵器	坏	体部・右	SX 2	不明	
510	103	742	臣	墨書	須恵器	坏	体部・右	SX 2	不明	
511	104	743	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
512	104	744	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
513	104	745	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
514	104	746	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
515	104	747	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
516	104	748	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
517	104	749	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
518	104	750	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
519	104	751	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
520	104	752	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
521	104	753	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
522	104	754	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
523	104	755	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
524	104	756	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
525	104	757	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
526	104	758	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
527	104	759	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
528	104	760	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
529	104	761	臣	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
530	104	762	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
531	104	763	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
532	104	764	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
533	104	765	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
534	104	766	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
535	104	767	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8Ｃ後	
536	104	768	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	9Ｃ前	
537	105	769	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
538	105	770	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
539	105	771	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
540	105	772	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8Ｃ後	
541	105	773	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8Ｃ後	
542	105	774	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
543	105	775	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
544	105	776	□・水・臣・臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8Ｃ後	
545	105	777	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
546	105	778	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	9Ｃ前	
547	105	779	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
548	105	780	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	9Ｃ前	
549	105	781	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8Ｃ中	
550	105	782	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	9Ｃ前	
551	105	783	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	不明	
552	106	784	臣	墨書	須恵器	蓋	天井部内面	SX 2	8Ｃ中	
553	106	785	臣	墨書	須恵器	盤	底部	SX 2	9Ｃ前	
554	106	786	臣	墨書	須恵器	盤	底部	SX 2	8Ｃ後	
555	106	787	臣	墨書	須恵器	盤	底部	SX 2	9Ｃ前	
556	106	788	臣	墨書	須恵器	盤	底部	SX 2	9Ｃ前	
557	106	789	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ中	油煙
558	106	790	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ後	
559	106	791	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ後	
560	106	792	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8Ｃ後	
561	106	793	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9Ｃ前	
562	106	794	川	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SX 2	9Ｃ前	
563	106	795	川	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SX 2	9Ｃ前	漆
564	106	796	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9Ｃ前	
565	106	797	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9Ｃ前	
566	106	798	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9Ｃ前	
567	107	799	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9Ｃ前	
568	107	800	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9Ｃ前	

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
569	107	801	川	墨書	須恵器	坏	体部内面・逆位	SX 2	9C前	
570	107	802	川・□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
571	107	803	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
572	107	804	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
573	107	805	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
574	107	806	川	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
575	107	807	川	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	不明	
576	107	808	川	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8C中	
577	107	809	川	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	9C前	
578	107	810	川	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8C後	
579	107	811	川	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8C後	
580	107	812	川	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8C後	
581	107	813	川	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8C後	
582	107	814	川	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8C後	
583	107	815	川	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8C後	
584	107	816	川	墨書	須恵器	蓋	天井部内面	SX 2	8C後	
585	108	817	□前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C前	
586	108	818	多前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C前	
587	108	819	多前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C前	
588	108	820	多前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
589	108	821	多前／多前	墨書	須恵器	坏	体部・右／底部	SX 2	8C後	
590	108	822	田前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C前	
591	108	823	大家・田前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
592	108	824	田前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
593	108	825	田前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
594	108	826	田前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
595	108	827	田前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
596	108	828	田前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
597	108	829	田前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
598	108	830	田前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
599	108	831	田前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
600	108	832	田前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
601	108	833	田□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
602	108	735	□田	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
603	109	834	□前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C前	
604	109	835	田前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
605	109	836	前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C前	
606	109	837	新	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C前	
607	109	838	新	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
608	109	839	新□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
609	109	840	□（新カ）殿	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
610	109	841	新殿	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
611	109	842	新殿	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
612	109	843	新殿	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
613	109	844	新□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
614	109	845	新殿	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
615	109	846	新	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
616	109	847	新	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
617	109	848	新□（殿カ）	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8 C後	
618	109	849	新殿	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8 C後	
619	109	850	新	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	不明	
620	109	851	新殿	墨書	須恵器	蓋	天井部内面	SX 2	9 C前	
621	109	852	新殿	墨書	須恵器	蓋	天井部内面	SX 2	8 C後	
622	109	853	新殿	墨書	須恵器	蓋	天井部内面	SX 2	8 C後	
623	110	854	宅	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8 C前	
624	110	855	宅	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8 C中	
625	110	856	宅	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
626	110	857	宅	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
627	110	858	宅	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
628	110	859	宅	墨書	土師器	坏	底部	SX 2	9 C後半	
629	110	860	宅	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8 C後	
630	110	861	宅	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8 C後	
631	110	862	宅	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	9 C前	
632	110	863	宅	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8 C後	
633	110	864	宅	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	不明	
634	110	865	宅	墨書	須恵器	蓋	天井部内面	SX 2	8 C後	
635	110	866	山人	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8 C中	
636	110	867	山人	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8 C中	
637	110	868	山人	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8 C中	
638	110	869	山人	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8 C後	
639	110	870	山人	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8 C後	
640	110	871	山人	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8 C中	
641	111	872	山人	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9 C前	
642	111	873	山山	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9 C前	
643	111	874	麻	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8 C中	
644	111	875	麻	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
645	111	876	麻□	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8 C中	
646	111	877	下麻主	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8 C中	
647	111	878	麻生	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	9 C前	
648	111	879	麻	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8 C中	
649	111	880	麻□	墨書	須恵器	蓋	天井部内面	SX 2	9 C前	
650	111	881	万	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8 C中	
651	111	882	大万	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9 C前	
652	111	883	千万	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9 C中	
653	111	884	万	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
654	111	885	大万	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	不明	
655	111	886	坊家	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8 C中	
656	111	887	中家	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8 C後	
657	111	888	中家	墨書	須恵器	盤	底部	SX 2	8 C後	
658	111	889	□家	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	9 C前	
659	112	890	ナ	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9 C前	
660	112	891	ナ	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SX 2	8 C後	
661	112	892	ナ	墨書	須恵器	坏	体部内面・正位	SX 2	9 C前	
662	112	893	ナ	墨書	土師器	坏	底部	SX 2	9 C中	
663	112	894	○	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8 C中	
664	112	895	○	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
665	112	896	○	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
666	112	897	○	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8C後	
667	112	898	○	墨書	須恵器	蓋	つまみ部	SX 2	9C前	
668	112	899	城内カ	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
669	112	900	城	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
670	112	901	城	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C中	
671	112	902	大多□	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8C中	
672	112	903	大多カ□	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8C中	
673	112	904	□器	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
674	112	905	器	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
675	112	906	禾	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
676	112	907	禾	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
677	113	908	子上山／□	墨書	須恵器	坏	体部・逆位／底部	SX 2	9C中	
678	113	909	□山□□水	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8C後	
679	113	910	淡水	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
680	113	911	小栗	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
681	113	912	井上	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C中	
682	113	690	□部	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
683	113	913	長□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
684	113	914	槻	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8C後	
685	113	915	寺	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
686	113	916	佐	墨書	須恵器	坏	体部・右	SX 2	不明	
687	113	917	夫	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C前	
688	113	918	什	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
689	113	919	卅	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
690	113	920	×	箆書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C前	
691	113	921	×	箆書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
692	113	922	×	箆書	須恵器	盤	底部	SX 2	不明	
693	113	923	一	箆書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
694	113	924	▽	箆書	須恵器	坏	体部内面・正位	SX 2	不明	
695	114	925	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
696	114	926	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
697	114	927	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
698	114	928	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
699	114	929	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C中	
700	114	930	□／□	墨書	須恵器	坏	体部・不明／底部内面	SX 2	9C中	
701	114	931	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
702	114	932	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C前	
703	114	933	□（宅カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
704	114	934	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	漆
705	114	935	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
706	114	936	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
707	114	937	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
708	114	938	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
709	114	939	□田カ	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
710	114	940	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
711	114	941	□（川カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
712	115	942	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
713	115	943	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C前	
714	115	944	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C前	
715	115	945	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
716	115	946	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
717	115	947	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
718	115	948	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
719	115	949	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
720	115	950	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
721	115	951	□（前ヵ）	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
722	115	952	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
723	115	953	□（家ヵ）	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
724	115	954	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
725	115	955	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
726	115	956	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
727	115	957	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	9C前	
728	116	958	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
729	116	959	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C前	
730	116	960	山ヵ人ヵ	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
731	116	961	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C中	
732	116	962	□（多ヵ）前	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C後	
733	116	963	□（嶋ヵ）	墨書	須恵器	坏	体部・正位	SX 2	不明	
734	116	964	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 2	不明	
735	116	965	□（宅ヵ）	墨書	須恵器	坏	体部・右	SX 2	不明	
736	116	966	□	墨書	須恵器	坏	体部・右	SX 2	不明	
737	116	967	□□（万ヵ）	墨書	須恵器	坏	体部・右	SX 2	不明	
738	116	968	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 2	不明	
739	116	969	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 2	不明	
740	116	970	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 2	不明	
741	116	971	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 2	不明	
742	116	972	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
743	116	973	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	8C前	
744	116	974	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
745	116	975	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
746	116	976	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
747	116	977	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
748	116	978	□（宅ヵ）	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
749	116	979	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
750	116	980	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
751	116	981	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
752	116	982	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
753	116	983	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
754	116	984	上□（山ヵ）	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
755	116	985	□（糸ヵ）	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
756	116	986	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
757	116	987	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 2	不明	
758	116	988	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
759	116	989	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
760	116	990	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
761	116	991	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
762	116	992	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
763	117	993	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
764	117	994	□	墨書	須恵器	坏	体部・不明	SX 2	不明	
765	117	995	□（麻カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
766	117	996	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
767	117	997	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
768	117	998	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
769	117	999	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
770	117	1000	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
771	117	1001	□（宅カ）	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
772	117	1002	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
773	117	1003	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
774	117	1004	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
775	117	1005	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
776	117	1006	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
777	117	1007	禾	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
778	117	1008	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
779	117	1009	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
780	117	1010	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
781	117	1011	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
782	117	1012	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
783	117	1013	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
784	117	1014	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
785	117	1015	嶋	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
786	117	1016	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
787	117	1017	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
788	117	1018	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
789	117	1019	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
790	117	1020	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
791	117	1021	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
792	117	1022	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
793	117	1023	□家	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
794	117	1024	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
795	117	1025	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
796	117	1026	□	墨書	須恵器	坏	底部	SX 2	不明	
797	117	1027	□	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	８Ｃ中	
798	117	1028	□	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	８Ｃ後	
799	118	1029	可カ	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	８Ｃ後	
800	118	1030	□	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	９Ｃ前	
801	118	1031	宅	墨書・墨痕	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	８Ｃ中	転用硯
802	118	1032	□（区カ）	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	９Ｃ前	
803	118	1033	□	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	９Ｃ前	
804	118	1034	□	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	８Ｃ中	
805	118	1035	□	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	８Ｃ後	
806	118	1036	□□	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	８Ｃ後	

番号	図版	遺物番号	釈　文	種　別	材　質	器　種	部　位　・　方　向	遺　構	時　期	備　考
807	118	1037	□	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	8C後	
808	118	1038	□	墨書	須恵器	高台付坏	底部	SX 2	不明	
809	118	1039	□	墨書	須恵器	蓋	体部・不明	SX 2	8C前	
810	118	1040	□	墨書	須恵器	盤	底部	SX 2	不明	
811	118	1041	□	墨書	須恵器	甕	口縁部・右	SX 2	不明	
812	143	1058	嶋名	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	8C中	
813	143	1059	臣	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	8C中	
814	143	1060	臣	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	9C前	
815	143	1061	臣	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	9C前	
816	143	1062	臣	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	8C中	
817	143	1063	臣カ	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	8C中	
818	143	1064	臣カ	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
819	143	1065	臣	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
820	143	1066	臣カ	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
821	143	1067	臣	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
822	143	1068	臣	墨書	須恵器	坏	体部・右	遺構外	不明	
823	143	1069	臣	墨書	須恵器	高台付坏	底部	遺構外	8C後	
824	143	1070	川	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	8C後	
825	143	1071	川	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
826	143	1072	川	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
827	143	1073	川／川	墨書	土師器	坏	体部・正位／底部	遺構外	9C後半	
828	143	1074	川	墨書	須恵器	高台付坏	底部	遺構外	8C後	
829	143	1075	田□（前カ）	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	9C前	
830	143	1076	田前	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
831	143	1077	□□（多カ前カ）	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
832	143	1078	前	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
833	143	1079	前	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
834	144	1080	宅	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	8C後	
835	144	1081	宅	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	8C中	
836	144	1082	□□（新カ殿カ）	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
837	144	1083	山人・山人	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	8C中	
838	144	1084	止田カ裏麻新家	墨書	須恵器	高台付坏	底部	遺構外	8C中	
839	144	1085	杢	墨書	土師器	高台付皿	体部・正位	遺構外	9C後	
840	144	1086	西	墨書	須恵器	坏	体部・右	遺構外	不明	
841	144	1087	禾	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
842	144	1088	中	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	8C後	
843	144	1089	○	墨書	須恵器	高台付坏	底部	遺構外	不明	
844	144	1090	□	朱墨	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
845	144	1091	□（川カ）	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	8C後	
846	144	1092	□	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	8C後	
847	144	1093	□	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
848	144	1094	□	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
849	144	1095	□	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
850	144	1096	□	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
851	144	1097	□	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
852	144	1098	□	墨書	須恵器	坏	底部	遺構外	不明	
853	144	1099	□	墨書	土師器	坏	体部・不明	遺構外	不明	
854	144	1100		墨痕	須恵器	高台付坏	底部	遺構外	不明	転用硯

付　　章

島名熊の山遺跡出土木製品の樹種調査結果

（株）吉田生物研究所

1　試料

試料は，工具２点，農具 11 点，紡織具１点，服飾具２点，容器 31 点，文房具１点，祭祀具４点，雑具１点，建築部材 38 点，土木具７点，用途不明品 11 点の合計 109 点である。

2　観察方法

剃刀で木口（横断面），柾目（放射断面），板目（接線断面）の各切片を採取し，永久プレパラートを作製した。このプレパラートを顕微鏡で観察して同定した。

3　結果

樹種同定結果（針葉樹５種，広葉樹 10 種）の表と顕微鏡写真を示し，以下に各種の主な解剖学的特徴を記す。

⑴　イヌガヤ科イヌガヤ属イヌガヤ（Cephalotaxus Harringtonia K. Koch f. drupacea Kitamura）

（W24・W115・W142　　写真１：W 142）

木口では仮道管を持ち，早材から晩材への移行は漸進的で，晩材の幅は非常に狭く，年輪界がやや不明瞭で均質な材である。樹脂細胞はほぼ平等に散在し数も多い。柾目では放射組織の分野壁孔はトウヒ型で１分野に１～２個ある。仮道管内部には螺旋肥厚が見られる。短冊形をした樹脂細胞が早材部，晩材部の別なく軸方向に連続（ストランド）して存在する。板目では放射組織はほぼ単列であった。イヌガヤは本州（岩手以南），四国，九州に分布する。

⑵　マツ科モミ属（Abies sp.）

（W ４・W ８・W12・W13・W28・W145　写真２：W 12）

木口では仮道管を持ち，早材から晩材への移行は比較的ゆるやかで晩材部の幅は狭い。柾目では放射組織の上下縁辺部に不規則な形状の放射柔細胞がみられる。放射柔細胞の壁は厚く，数珠状末端壁になっている。放射組織の分野壁孔はスギ゛型で１分野に１～４個ある。板目では放射組織は単列であった。モミ属はトドマツ，モミ，シラベがあり，北海道，本州，四国，九州に分布する。

⑶　スギ科スギ属スギ（Cryptomeria japonica D.Don）

（W32・W 38・W 121・W 150　写真３：W 38）

木口では仮道管を持ち，早材から晩材への移行はやや急であった。樹脂細胞は晩材部で接線方向に並んでいた。柾目では放射組織の分野壁孔は典型的なスギ型で１分野に１～３個ある。板目では放射組織はすべて単列であった。樹脂細胞の末端壁はおおむね偏平である。スギは本州，四国，九州の主として太平洋側に分布する。

⑷　ヒノキ科ヒノキ属（Chamaecyparis sp.）

（W 25・W 26・W 33・W 39・W 94・W 96・W 98 ～W 100・W 117・W 123・W 124・W 126・W 127・

W 128・W 131・W 133 ～W 140・W 143・W 146・W 147・W 149　写真４：W 128）

木口では仮道管を持ち，早材から晩材への移行が急であった。樹脂細胞は晩材部に偏在している。柾目では放射組織の分野壁孔はヒノキ型で１分野に１～２個ある。板目では放射組織はすべて単列であった。数珠状末端壁を持つ樹脂細胞がある。ヒノキ属はヒノキ，サワラがあり，本州（福島以南），四国，九州に分布する。

(5)　ヒノキ科アスナロ属（Thujopsis sp.）

（W３・W 27・W 36・W 37・W 125　写真５：W 37）

木口では仮道管を持ち，早材から晩材への移行は緩やかであった。樹脂細胞は晩材部に散在または接線配列である。柾目では放射組織の分野壁孔はヒノキ型からややスギ型で１分野に２～４個ある。板目では放射組織はすべて単列であった。数珠状末端壁を持つ樹脂細胞がある。アスナロ属にはアスナロ（ヒバ，アテ）とヒノキアスナロ（ヒバ）があるが顕微鏡下では識別困難である。アスナロ属は本州，四国，九州に分布する。

(6)　ブナ科コナラ属アカガシ亜属（Quercus subgen. Cyclobalanopsis）

（W 101・W 103・W 109　写真６：W 109）

放射孔材である。木口では年輪に関係なくまちまちな大きさの道管（～200 μ m）が放射方向に配列する。軸方向柔細胞は接線方向に１～３細胞幅の独立帯状柔細胞をつくっている。放射組織は単列放射組織と非常に列数の広い放射組織がある。柾目では道管は単穿孔と多数の壁孔を有する。放射組織はおおむね平伏細胞からなり，時々上下縁辺に方形細胞が見られる。道管放射組織間壁孔は大型で柵状の壁孔が存在する。板目では多数の単列放射組織と放射柔細胞の塊の間に道管以外の軸方向要素が挟まれている集合型と複合型の中間となる型の広放射組織が見られる。アカガシ亜属はイチイガシ，アカガシ，シラカシ等があり，本州（宮城，新潟以南），四国，九州，琉球に分布する。

(7)　ブナ科コナラ属コナラ亜属クヌギ節（Quercus subgen. Lepidobalanus Endlicher sect. Cerris）

（W１・W５・W６・W７・W９・W 10・W 11・W 51・W 58・W 61・W 62・W 65 ～W 69・W 71・W 72・W 73・W 102・W 108・W 110・W 112・W 113・W 144　写真７：W 6）

環孔材である。木口では大道管（～430 μ m）が年輪界にそって１～数列並んで孔圏部を形成している。孔圏外では急に大きさを減じ，厚壁で円形の小道管が単独に放射方向に配列している。放射組織は単列放射組織と非常に幅の広い放射組織がある。柾目では道管は単穿孔と対列壁孔を有する。放射組織はすべて平伏細胞からなり同性である。道管放射組織間壁孔には柵状の壁孔が存在する。板目では多数の単列放射組織と肉眼でも見られる典型的な複合型の広放射組織が見られる。クヌギ節はクヌギ，アベマキがあり，本州（岩手，山形以南），四国，九州，琉球に分布する。

(8)　ブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節（Sect. Prinus Loudon syn. Diversipilosae，Dentatae）

（W 79・W 105　写真８：W 105）

環孔材である。木口では大道管（～380 μ m）が年輪界にそって１～３列並んで孔圏部を形成している。孔圏外では急に大きさを減じ，薄壁で角張っている小道管が単独あるいは２～３個複合して火炎状に配列している。放射組織は単列放射組織と非常に列数の広い放射組織がある。柾目では道管は単穿孔と対列壁孔を有する。放射組織は全て平伏細胞からなり同性である。道管放射組織間壁孔には大型の壁孔が存在する。板目では多数の単列放射組織と肉眼でも見られる典型的な複合型の広放射組織が見られる。コナラ節にはコナラ，ミズナラ，カシワ等があり，北海道，本州，四国，九州に分布する。

⑼　ブナ科クリ属クリ（Castanea crenata Sieb. et Zucc.）

（W 14・W 19・W 30・W 41 ～W 50・W 52・W 53・W 55 ～W 57・W 59・W 63・W 64・W 70・W 74・W 78・W 148　写真９：W 55）

環孔材である。木口では円形ないし楕円形で大体単独の大道管（～ 500 μ m）が年輪にそって幅のかなり広い孔圏部を形成している。孔圏外は急に大きさを減じ薄壁で角張った小道管が単独あるいは２～３個集まって火炎状に配列している。柾目では道管は単穿孔と多数の有縁壁孔を有する。放射組織は大体において平伏細胞からなり同性である。板目では多数の単列放射組織が見られ，軸方向要素として道管，それを取り囲む短冊型柔細胞の連なり（ストランド），軸方向要素の大部分を占める木繊維が見られる。クリは北海道（西南部），本州，四国，九州に分布する。

⑽　ニレ科ニレ属（Ulmus sp.）

（W 77　写真 10：W 77）

環孔材である。木口では大道管（～ 300 μ m）が２～３列で孔圏部を形成している。孔圏外では小道管が多数接合して複合管孔を形成し，花束状，斜線状，接線状に比較的規則的に配列する。軸方向柔細胞は周囲状が顕著である。柾目では大道管は単穿孔と側壁に交互壁孔を持つ。小道管はさらに螺旋肥厚も持つ。放射組織はすべて平伏細胞からなり同性である。道管放射組織間壁孔は柵状の壁孔が存在する。板目では放射組織は１～６細胞列，高さ～ 740 μ m である。ニレ属はハルニレ，アキニレ，オヒョウがあり，北海道，本州，四国，九州に分布する。

⑾　ニレ科ケヤキ属ケヤキ（Zelkova serrata Makino）

（W 116・W 119　写真 11：W 116）

環孔材である。木口ではおおむね円形で単独の大道管（～ 270 μ m）が１列で孔圏部を形成している。孔圏外では急に大きさを減じ，多角形の小道管が多数集まって円形，接線状あるいは斜線状の集団管孔を形成している。軸方向柔細胞は孔圏部では道管を鞘状に取り囲み，さらに接線方向に連続している（イニシアル柔組織）。放射組織は１～数列で多数の筋として見られる。柾目では大道管は単穿孔と側壁に交互壁孔を有する。小道管はさらに螺旋肥厚も持つ。放射組織は平伏細胞と上下縁辺の方形細胞からなり異性である。方形細胞はしばしば大型のものがある。板目では放射組織は少数の１～３列のものと大部分を占める６～７細胞列のほぼ大きさの一様な紡錘形放射組織がある。紡錘形放射組織の上下端の細胞は，他の部分に比べ大型である。ケヤキは本州，四国，九州に分布する。

⑿　マンサク科イスノキ属イスノキ（Distylium racemosum Sieb. et Zucc.）

（W 114　写真 12：W 114）

散孔材である。木口ではやや小さい道管（～ 50 μ m）がおおむね単独で，大きさ数とも年輪全体を通じて変化なく平等に分布する。軸方向柔細胞は黒く接線方向に並び，ほぼ一定の間隔で規則的に配列している。放射組織は１～２列のものが多数走っているのが見られる。柾目では道管は階段穿孔と内部に充填物（チロース）がある。軸方向には黒いすじの柔細胞ストランドが多数走っており，一部は提灯状の細胞になっている。放射組織は平伏と直立細胞からなり異性である。板目では放射組織は１～２細胞列，高さ～１㎜で多数分布している。イスノキは本州（関東以西），四国，九州，琉球に分布する。

⒀　バラ科サクラ属（Prunus sp.）

（W 118　写真 13：W 118）

散孔材である。木口ではやや小さい道管（～ 100 μ m）がほぼ一定の大きさで，単独あるいは放射方

向ないし斜方向に連なり分布している。柾目では道管は単穿孔と側壁に交互壁孔及び螺旋肥厚を有する。道管内には着色物質が見られる。放射組織は同性ないし異性で中央部の平伏細胞と上下縁辺の方形細胞からなる。板目では放射組織は１～４細胞列，高さ～１㎜からなる。サクラ属はサクラ，ヤマナシなどがあり，本州，四国，九州，琉球に分布する。

⒁　ムクロジ科ムクロジ属ムクロジ（Sapindus Mukorossi Gaertn.）

（W 34　写真 14：W 34）

環孔材である。木口ではやや大きい道管（～ 300 μ m）が数列で孔圏部を形成している。孔圏外では小道管が団塊状に集合している。軸方向柔細胞は幅の広い帯状をなして接線方向に連続している（帯状柔組織）。柾目では大道管は単穿孔と多数の壁孔を有する。道管はさらに螺旋肥厚も持つ。放射組織はすべて平伏細胞からなり同性である。板目では放射組織は１～３細胞列，高さ～ 400 μ m からなる。ムクロジは本州（中南部），四国，九州，琉球に分布する。

⒂　ツバキ科ヒサカキ属（Eurya sp.）

（W２　写真 15：W２）

散孔材である。木口では極めて小さい道管（～ 50 μ m）が単独ないし２～４個複合して平等に分布する。柾目では道管は階段穿孔と側壁に対列ないし階段壁孔と螺旋肥厚を有する。放射組織は平伏，方形，直立細胞からなり異性である。道管放射組織間壁孔は対列状ないし階段状壁孔が存在する。板目では放射組織は１～４細胞列で，高さ～５㎜からなる。木繊維の壁には有縁壁孔が一列に多数並んでいるのが全体で見られる。ヒサカキ属はヒサカキ，ハマヒサカキがあり，本州（岩手，秋田以南），四国，九州，琉球に分布する。

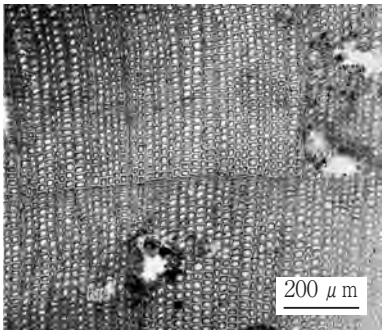
参考文献

林昭三『日本産木材顕微鏡写真集』　京都大学木質科学研究所　1991 年
伊東隆夫『日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ～Ⅴ』　京都大学木質科学研究所　1999 年
島地 謙・伊東隆夫『日本の遺跡出土木製品総覧』　雄山閣出版　1988 年
北村四郎・村田源『原色日本植物図鑑木本編Ⅰ・Ⅱ』　保育社　1979 年
奈良国立文化財研究所『奈良国立文化財研究所史料第 27 冊　木器集成図録　近畿古代篇』　1985 年
奈良国立文化財研究所『奈良国立文化財研究所史料第 36 冊　木器集成図録　近畿原始篇』　1993 年

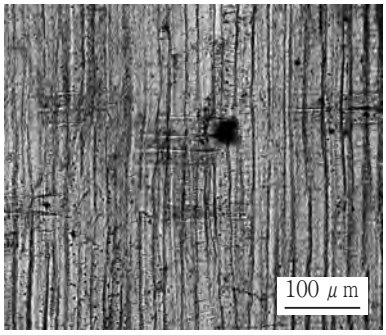
使用顕微鏡

Nikon DS-Fi1

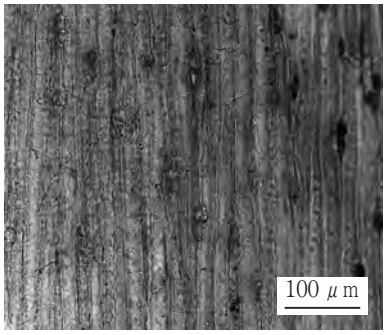
写真１　イヌガヤ科イヌガヤ属イヌガヤ



木口

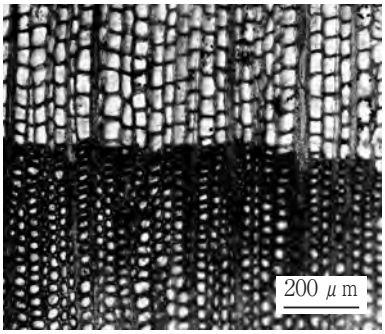


柾目

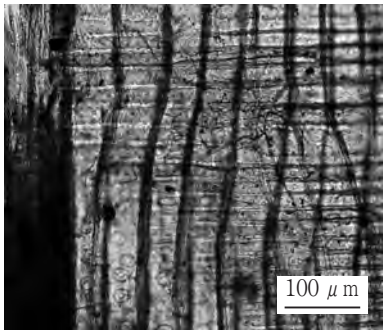


板目

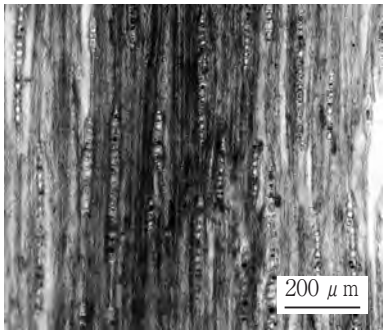
写真２　マツ科モミ属



木口

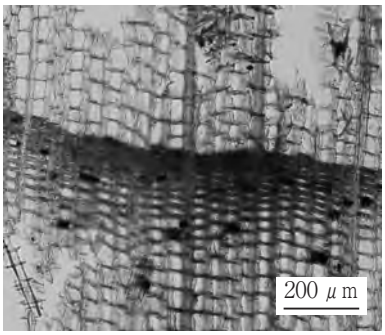


柾目

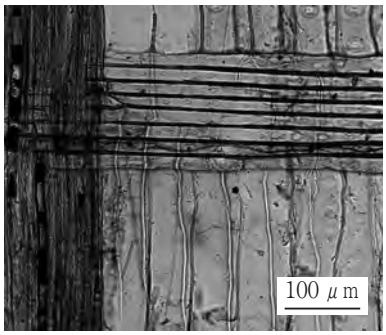


板目

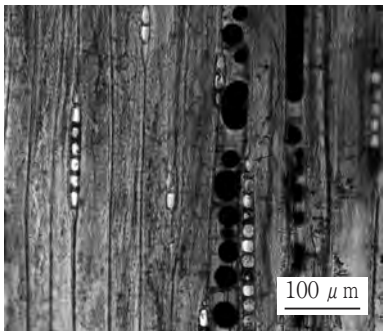
写真３　スギ科スギ属スギ



木口

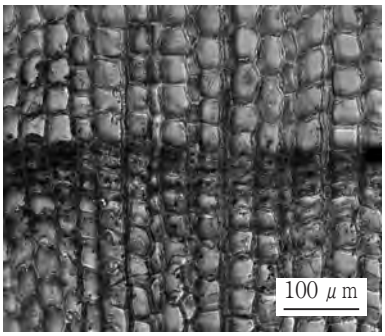


柾目

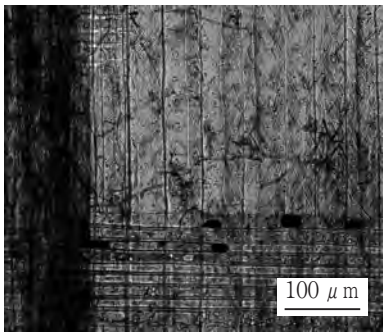


板目

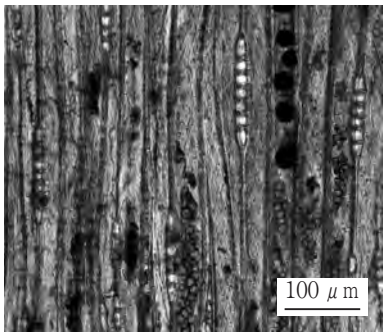
写真４　ヒノキ科ヒノキ属



木口

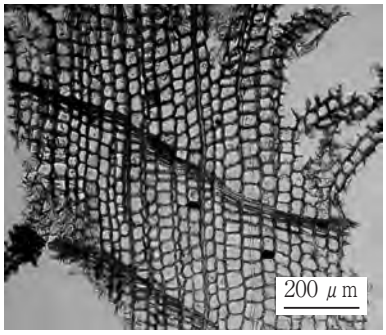


柾目

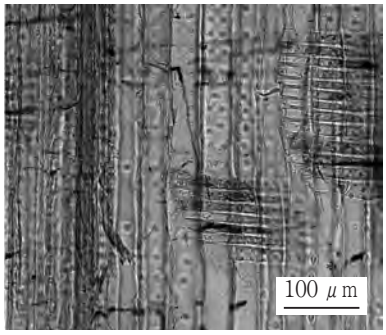


板目

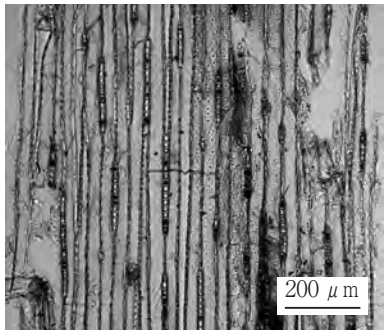
写真５　ヒノキ科アスナロ属



木口

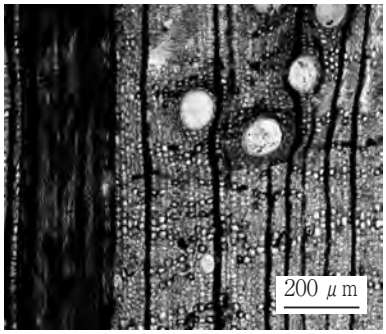


柾目

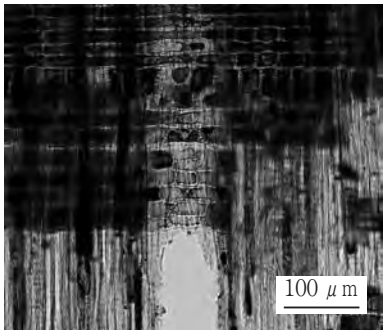


板目

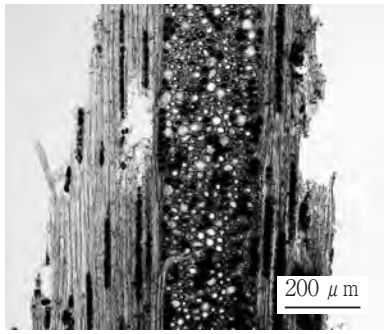
写真６　ブナ科コナラ属アカガシ亜属



木口

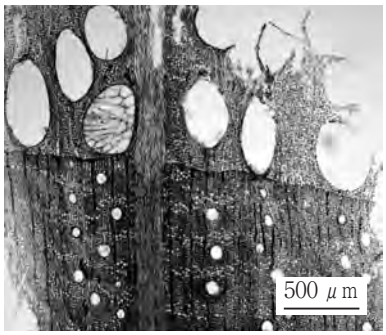


柾目

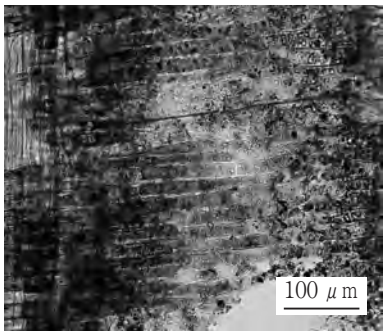


板目

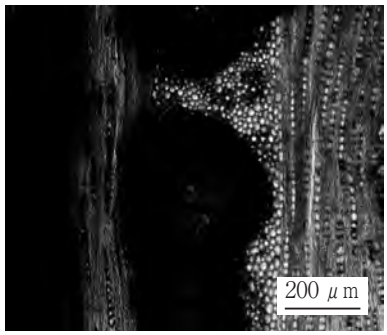
写真７　ブナ科コナラ属コナラ亜属クヌギ節



木口

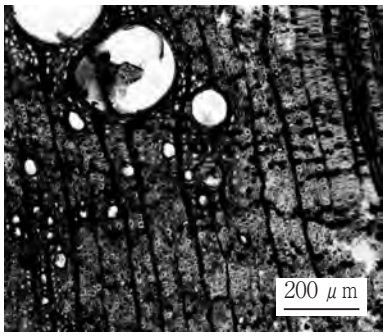


柾目

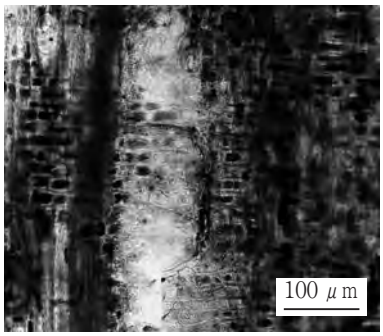


板目

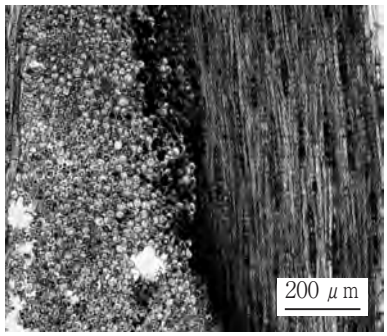
写真８　ブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節



木口

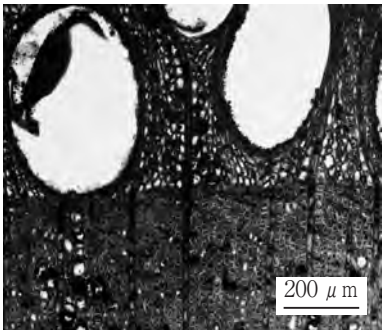


柾目

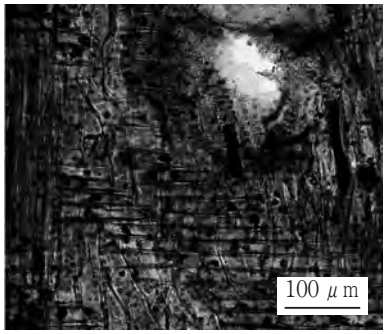


板目

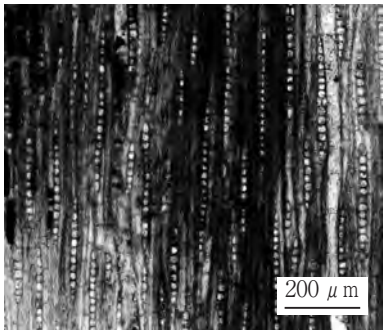
写真９　ブナ科クリ属クリ



木口

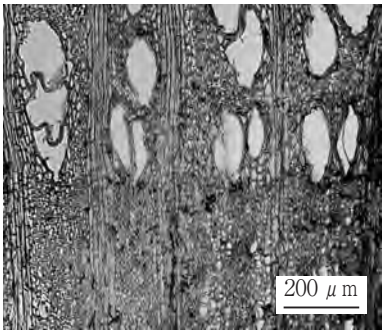


柾目

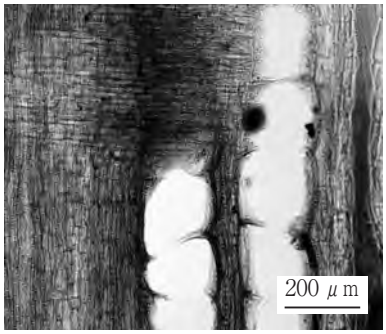


板目

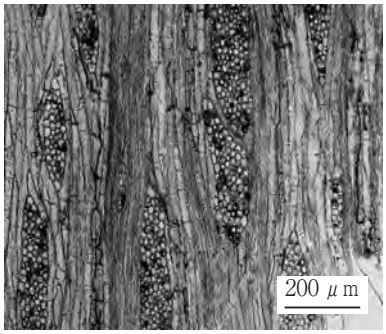
写真 10　ニレ科ニレ属



木口

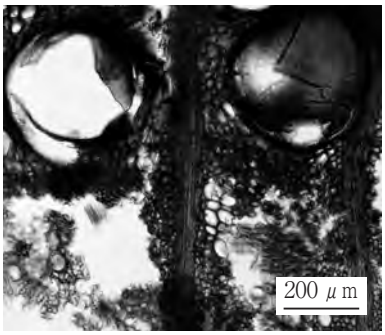


柾目

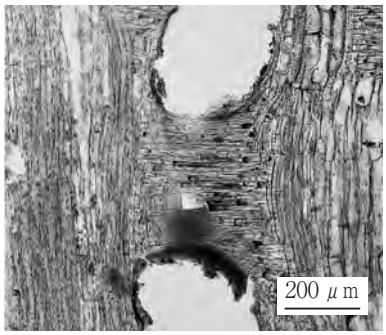


板目

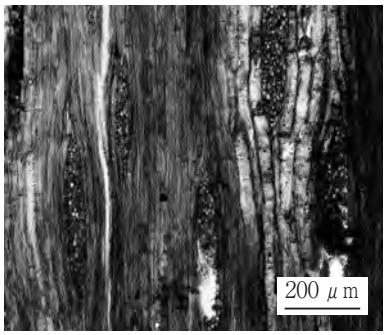
写真 11　ニレ科ケヤキ属ケヤキ



木口

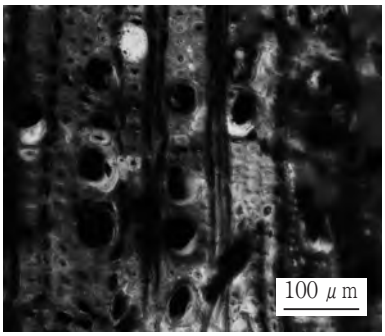


柾目

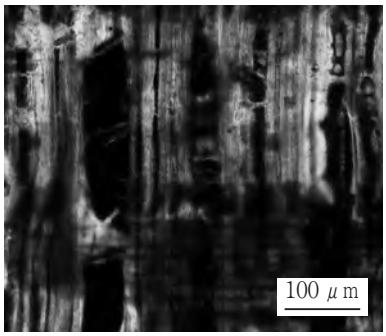


板目

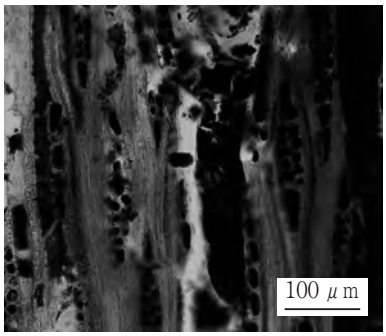
写真 12　マンサク科イスノキ属イスノキ



木口

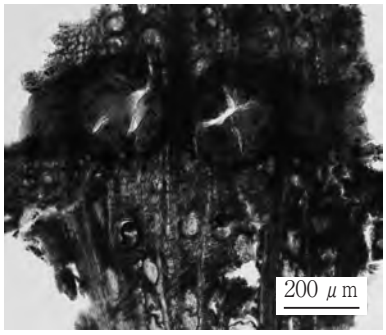


柾目

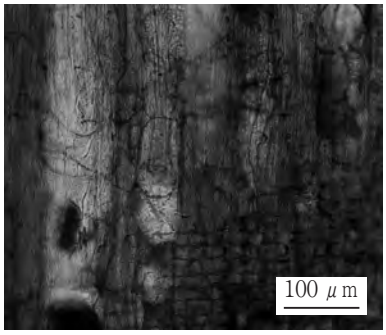


板目

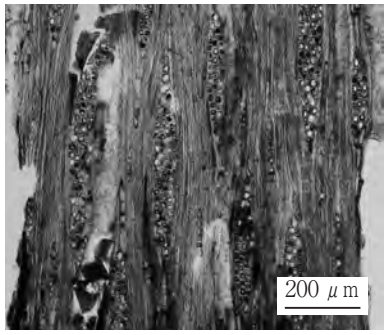
写真 13　バラ科サクラ属



木口

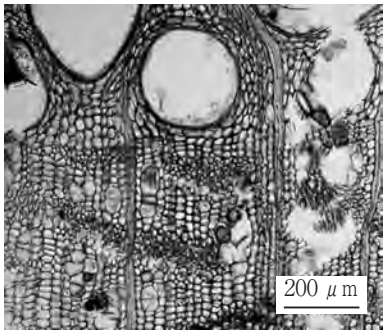


柾目

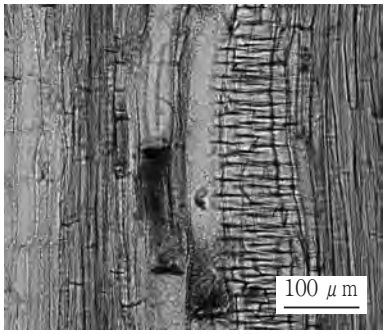


板目

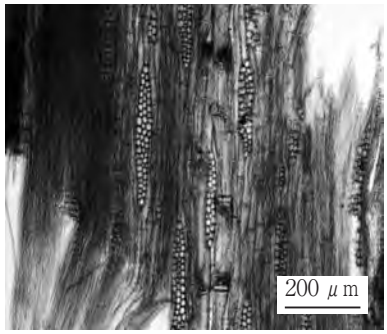
写真 14　ムクロジ科ムクロジ属ムクロジ



木口

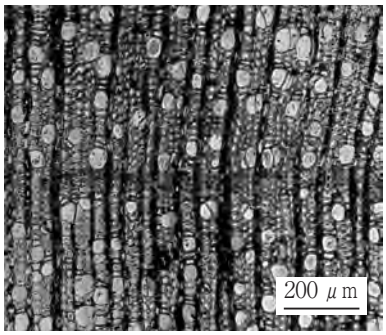


柾目

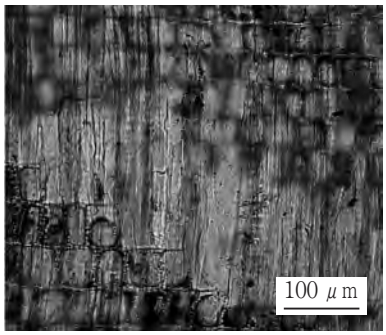


板目

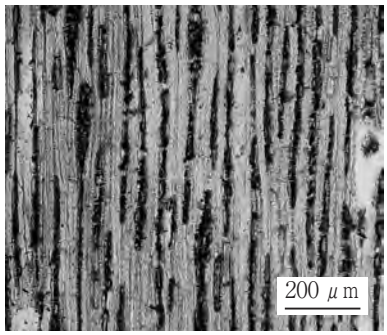
写真 15　ツバキ科ヒサカキ属



木口



柾目



板目

写　真　図　版

第204号井戸跡　遺物出土状況

調査区北部　全景（南から）

調査区北部　全景（北から）

調査区南部　全景（南から）

調査区南部　全景（北から）

調査区南部第１次面　完掘状況（西から）

調査区南部第２次面　完掘状況（西から）

第１号遺物集中地点　完掘状況

第１号遺物集中地点　遺物出土状況

第204号井戸跡　完掘状況①

第204号井戸跡　完掘状況②

第204号井戸跡　完掘状況③

第204号井戸跡　遺物出土状況

第２号遺物集中地点　遺物出土状況①

第２号遺物集中地点　遺物出土状況②

第２号遺物集中地点　遺物出土状況③

第２号遺物集中地点　遺物出土状況④

第２号遺物集中地点　遺物出土状況⑤

第２号遺物集中地点　遺物出土状況⑥

第２号遺物集中地点
鍬 先 出 土 状 況

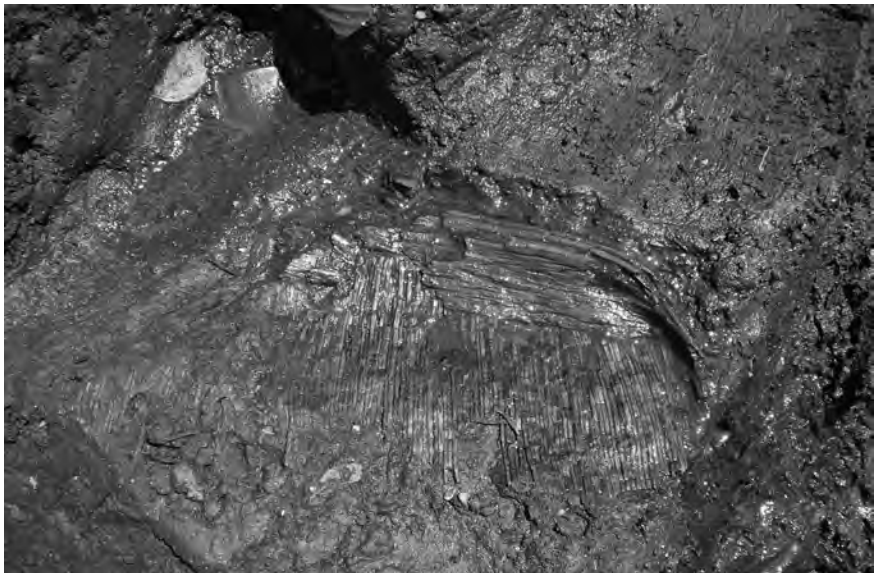
第２号遺物集中地点
横 槌 出 土 状 況

第２号遺物集中地点
竪 杵 出 土 状 況

第２号遺物集中地点
櫛　出　土　状　況

第２号遺物集中地点
挽物高台付坏出土状況

第２号遺物集中地点
曲物・弓ヵ出土状況



第２号遺物集中地点
曲 物 出 土 状 況

第２号遺物集中地点
刀 形 出 土 状 況

第２号遺物集中地点
荷札状木製品出土状況

第203号井戸跡
遺物出土状況

第203号井戸跡
完掘状況

第211号井戸跡
遺物出土状況

第206号井戸跡
完掘状況

第207号井戸跡
完掘状況

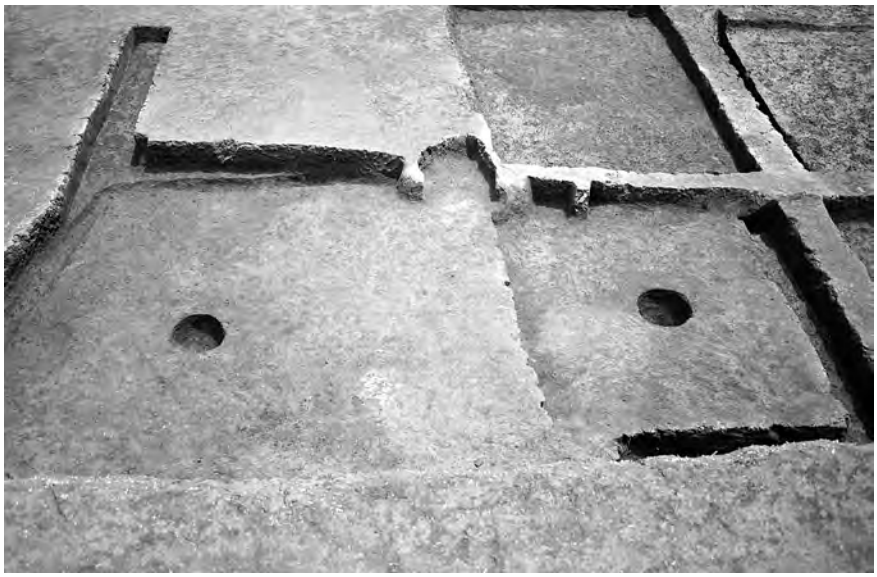
第210号井戸跡
遺物出土状況

第210・211号井戸跡
完　掘　状　況

第212号井戸跡
完　掘　状　況　①

第212号井戸跡
完　掘　状　況　②

第3110号住居跡
竈遺物出土状況



第3110号住居跡
完　掘　状　況

第583号掘立柱建物跡
掘方完掘状況

第 6903 号 土 坑
遺 物 出 土 状 況

第 556 号 溝 跡
遺 物 出 土 状 況

第 556 号 溝 跡
完 掘 状 況

第203号井戸跡出土遺物

SE203-W１

SE211-W２

SE211-15

SE211-16

SE209-W３

HG３-22

HG３-20

HG３-23

HG３-21

第203・209・211号井戸跡，第３号遺物包含層出土遺物

SE210-35

SE210-37

SE210-W 4

SE210-W 5

SE212-45

SE212-47

SD562-W24

SD562-W25

第210・212号井戸跡，第562号溝跡出土遺物

W8・W10

W11・W12・W13・W14

第212号井戸跡出土遺物

SD562-W26

SD562-W27

SI 3110-57

SI 3110-58

SI 3110-59

SI 3110-60

SI 3110-61

SE204-70

SE204-71

第562号溝跡，第3110号住居跡，第204号井戸跡出土遺物

63

64

65

66

67

68

69

79

88

第204号井戸跡出土遺物

167

169

170

227

271

89

91

92

94

80

第204号井戸跡出土遺物

263

86

96

213

224

260

99

98

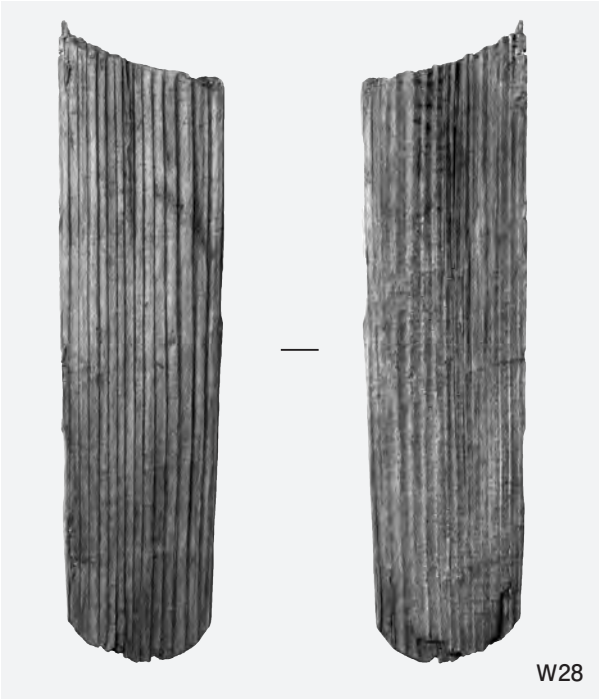
104

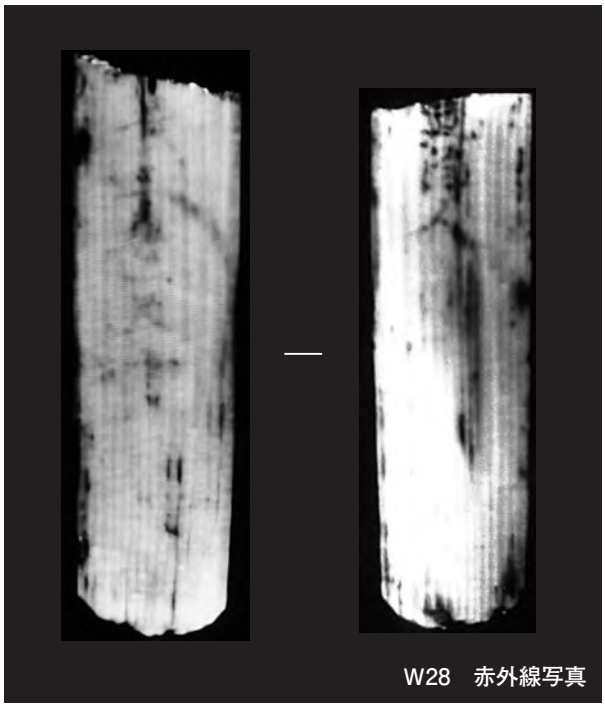
105

97

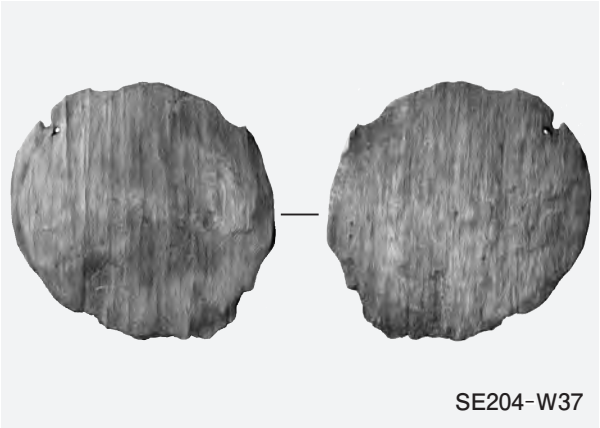
87

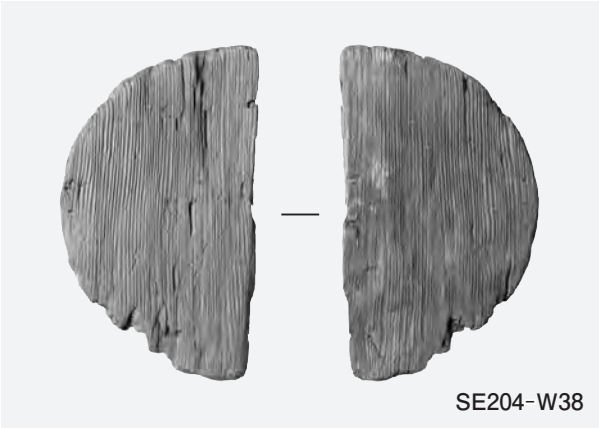
第204号井戸跡出土遺物





第204号井戸跡出土遺物


SE204-W37


SE204-W38

SE204-W41

SE204-W30

SE204-W32

SE204-W56

SX２-W60

SX２-W65

第204号井戸跡・第２号遺物集中地点出土遺物

W42・W74

W43・W44

第204号井戸跡出土遺物

W45・W46・W55・W70

W47・W48・W49

第204号井戸跡出土遺物

SX２-W53・W58・W68・W69

SE204-W50・W51・W52, SX２-W57

第204号井戸跡・第２号遺物集中地点出土遺物

SE204-W72・W73，SX２-W63・W64

SE204-W61・W71，SX２-W62

第204号井戸跡・第２号遺物集中地点出土遺物

SX２-W59・W66・W67

SE204-W79, SX２-W77・W78

第204号井戸跡・第２号遺物集中地点出土遺物

402

406

410

412

458

504

470

477

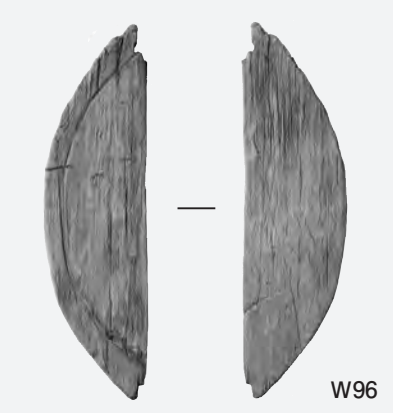
478

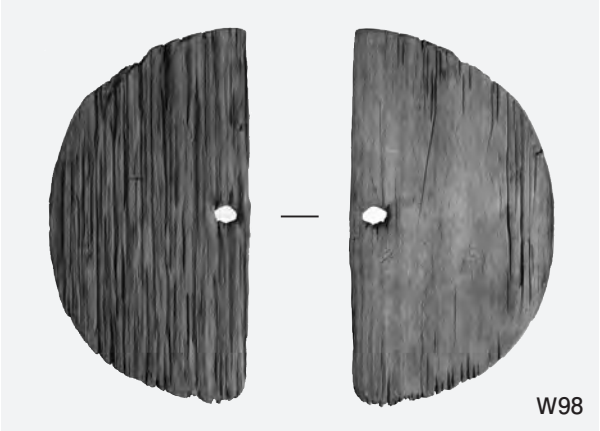
479

423

426

第 1 号遺物集中地点出土遺物





第１号遺物集中地点出土遺物

579

580

584

586

591

593

594

597

602

603

第２号遺物集中地点出土遺物

604

608

609

613

614

615

617

619

620

621

第２号遺物集中地点出土遺物

625

713

601

627

726

789

795

647

635

770

第２号遺物集中地点出土遺物

第２号遺物集中地点出土遺物

第２号遺物集中地点出土遺物

W103

W105

W106

W107

W108

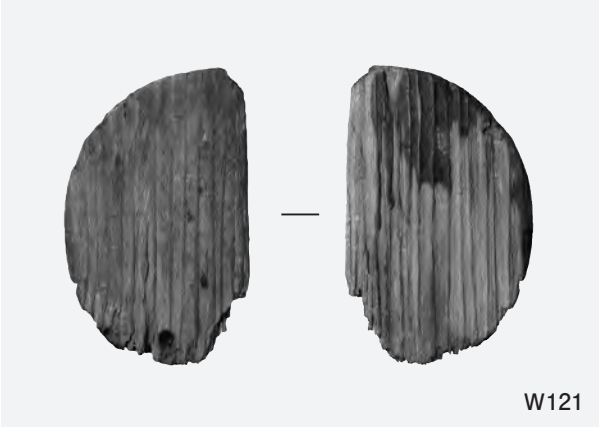
W110

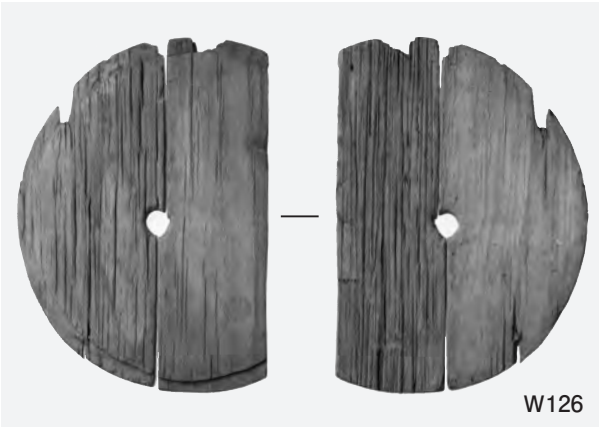
W112

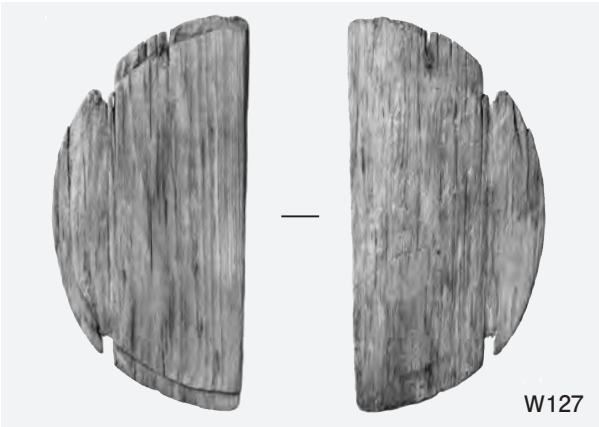
W113

W109

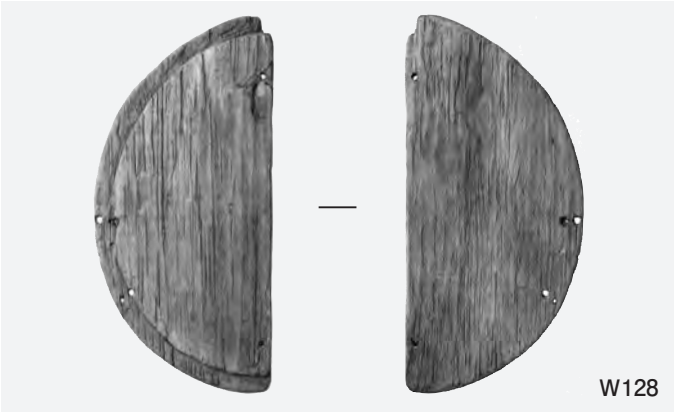
第２号遺物集中地点出土遺物

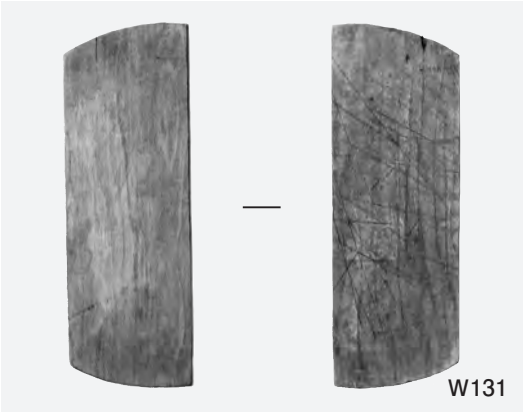


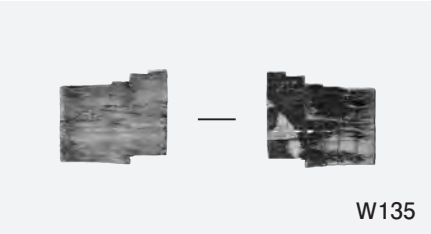


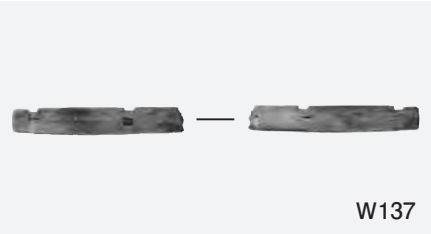


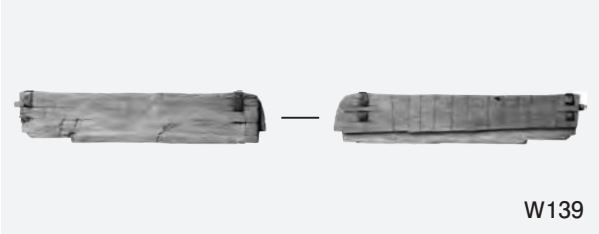
第２号遺物集中地点出土遺物

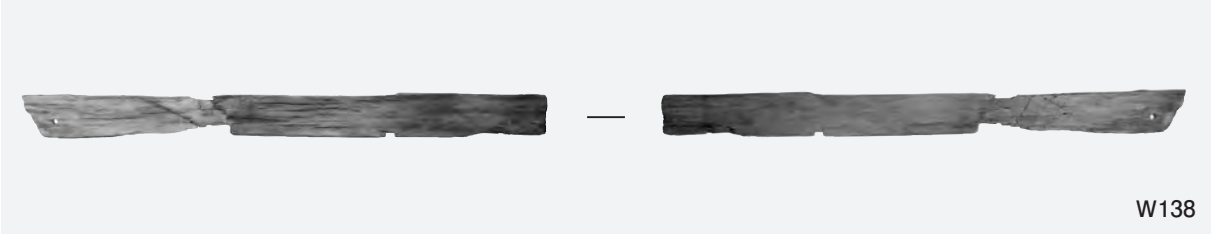












第２号遺物集中地点出土遺物

SD556-Q３

SD556-Q４

SD556-Q５

SD556-M３

SD556-W148

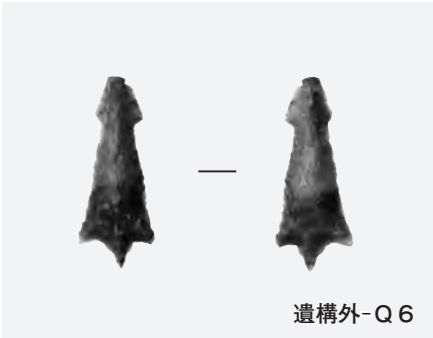
SD556-W149

PG61-1044

遺構外-1047

遺構外-1053

遺構外-DP５


遺構外-Q６

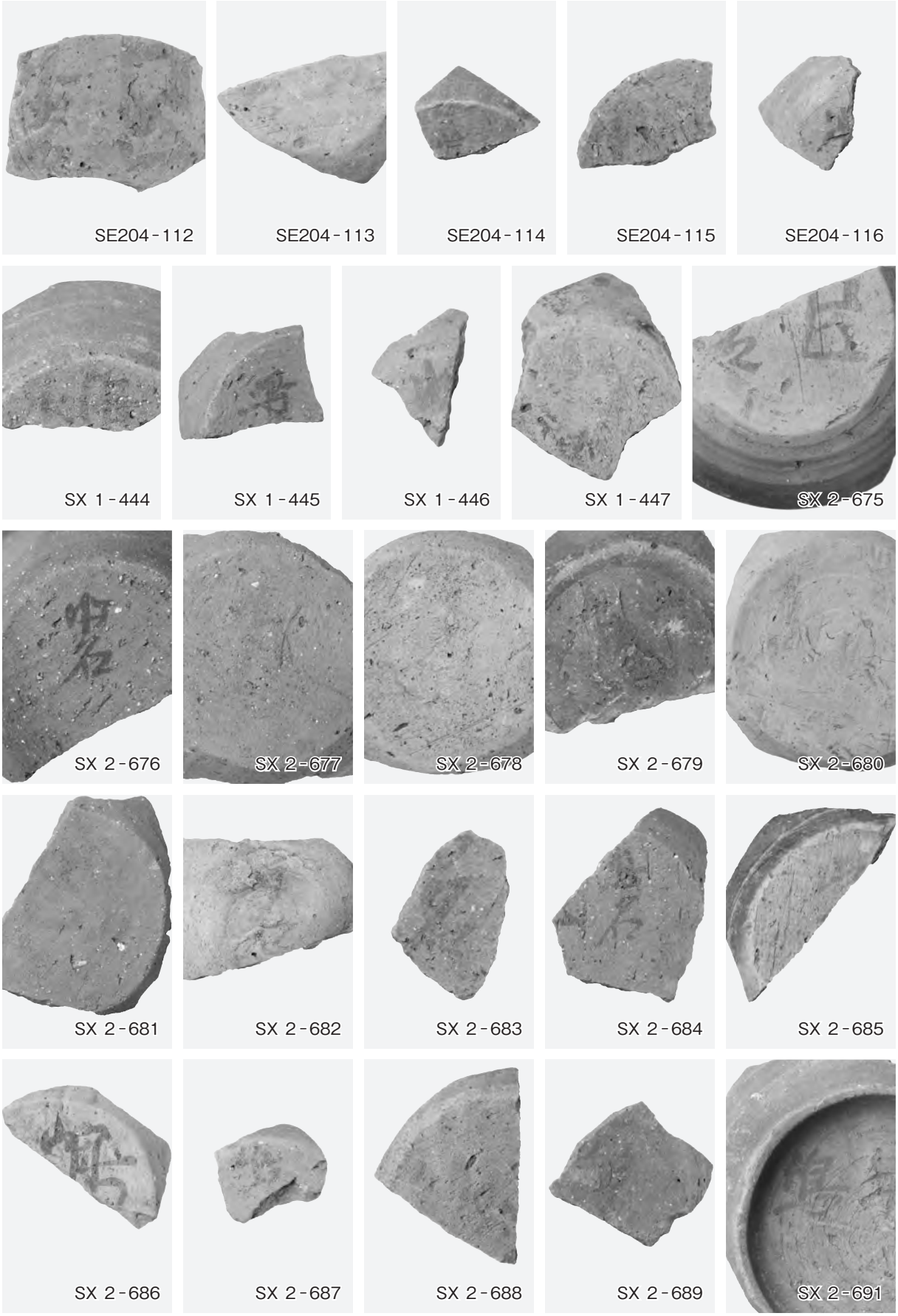
遺構外-Q７

遺構外-Q８

遺構外-Q９

遺構外-M４

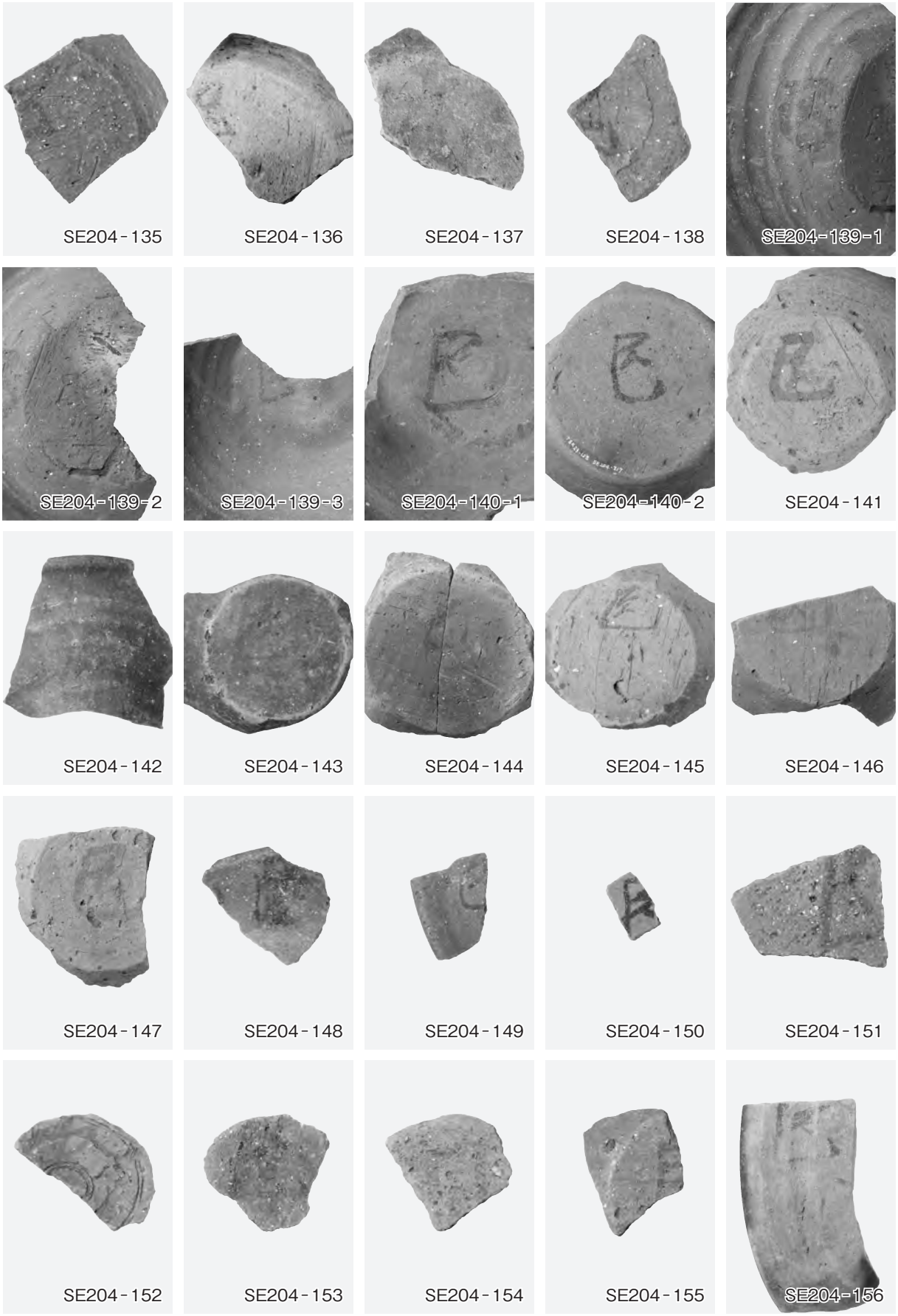
第556号溝跡，第61号ピット群，遺構外出土遺物



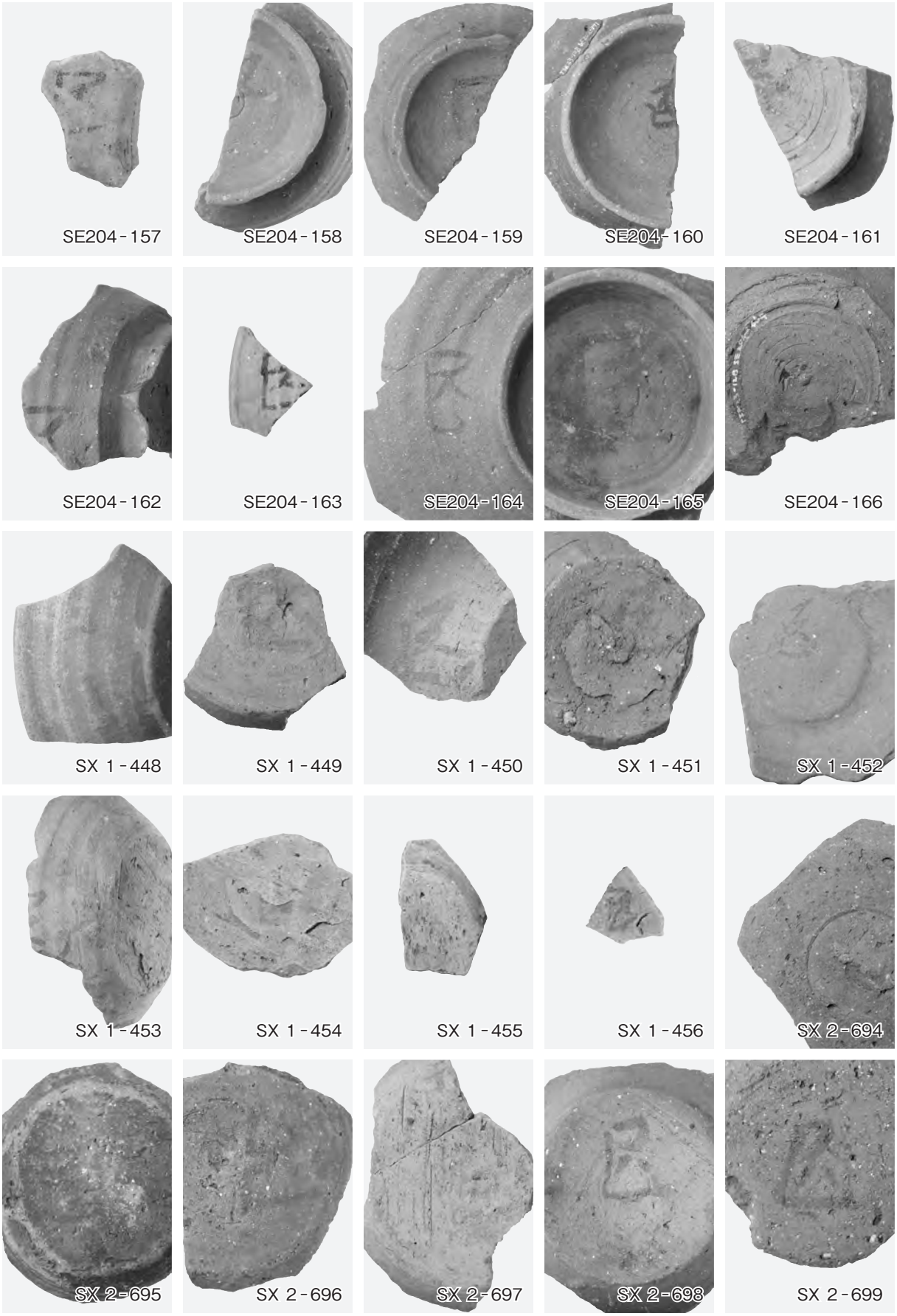
「嶋，嶋名，臣・名，嶋名・臣」墨書土器

SX 2-692
SX 2-693
遺構外-1058
SE209-33
SE204-72
SE204-74
SE204-117
SE204-118
SE204-119-1
SE204-119-2
SE204-120
SE204-121
SE204-122
SE204-123
SE204-124
SE204-125
SE204-126
SE204-127
SE204-128
SE204-129
SE204-130
SE204-131
SE204-132
SE204-133
SE204-134

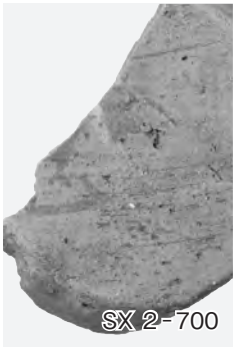
「新・嶋，嶋名・臣，臣」墨書土器


SE204-135
SE204-136
SE204-137
SE204-138
SE204-139-1
SE204-139-2
SE204-139-3
SE204-140-1
SE204-140-2
SE204-141
SE204-142
SE204-143
SE204-144
SE204-145
SE204-146
SE204-147
SE204-148
SE204-149
SE204-150
SE204-151
SE204-152
SE204-153
SE204-154
SE204-155
SE204-156

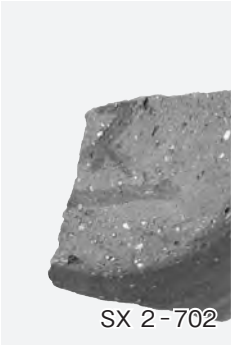
「臥，臥／中家／臥」墨書土器


SE204-157
SE204-158
SE204-159
SE204-160
SE204-161
SE204-162
SE204-163
SE204-164
SE204-165
SE204-166
SX 1-448
SX 1-449
SX 1-450
SX 1-451
SX 1-452
SX 1-453
SX 1-454
SX 1-455
SX 1-456
SX 2-694
SX 2-695
SX 2-696
SX 2-697
SX 2-698
SX 2-699

「囚」墨書土器


SX 2-700

SX 2-701


SX 2-702

SX 2-703

SX 2-704

SX 2-705

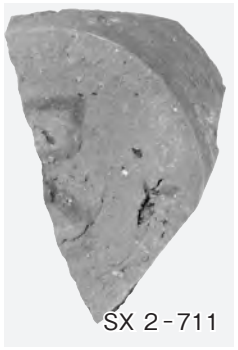
SX 2-706

SX 2-707

SX 2-708

SX 2-709

SX 2-710

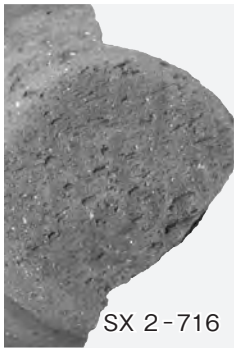

SX 2-711

SX 2-712

SX 2-713

SX 2-714

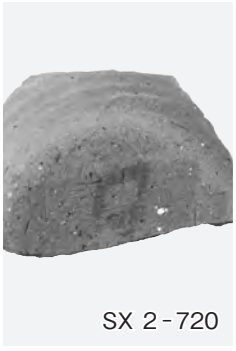
SX 2-715

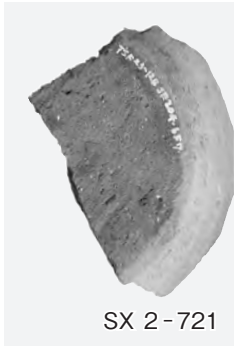

SX 2-716

SX 2-717

SX 2-718

SX 2-719


SX 2-720

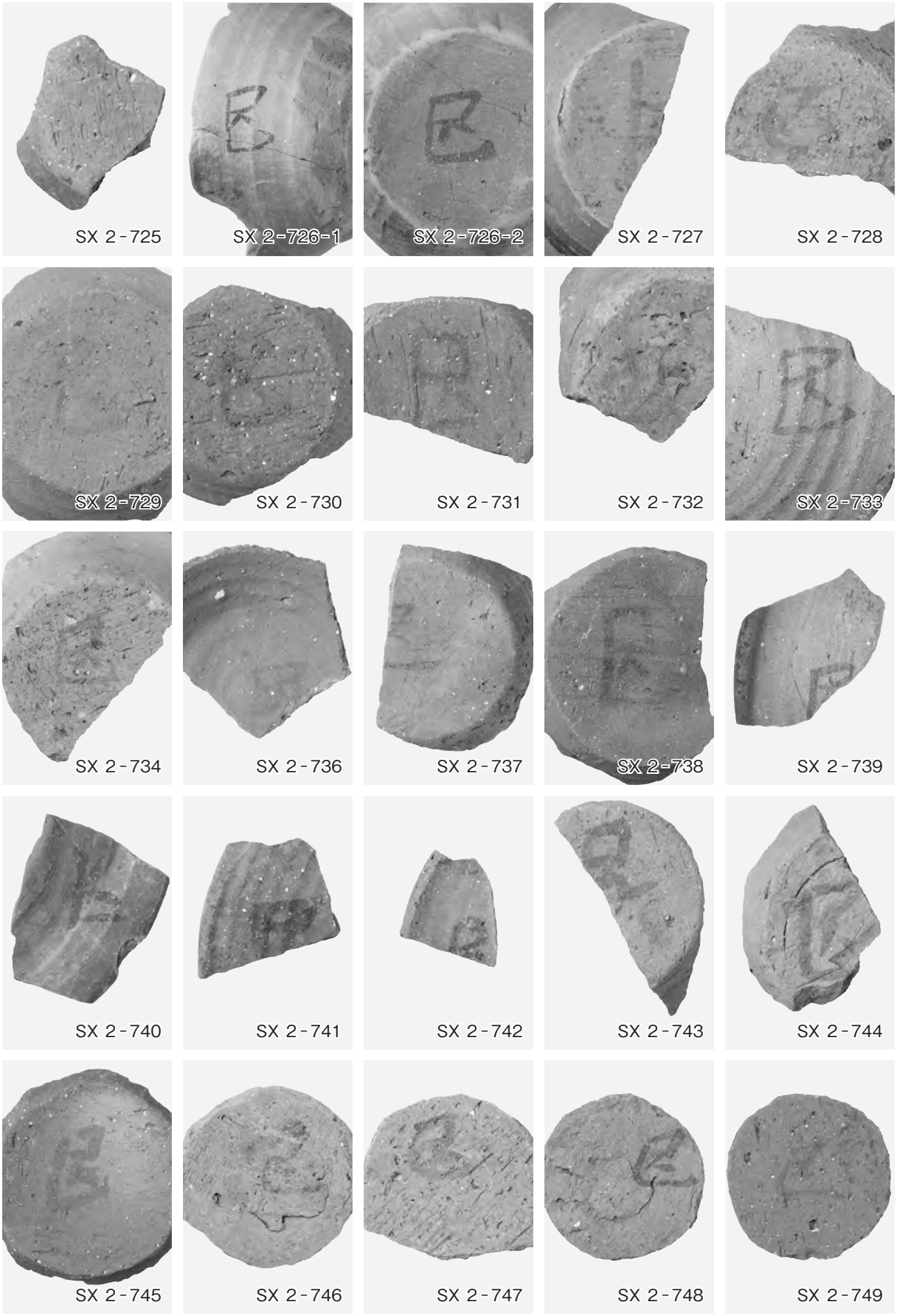

SX 2-721

SX 2-722

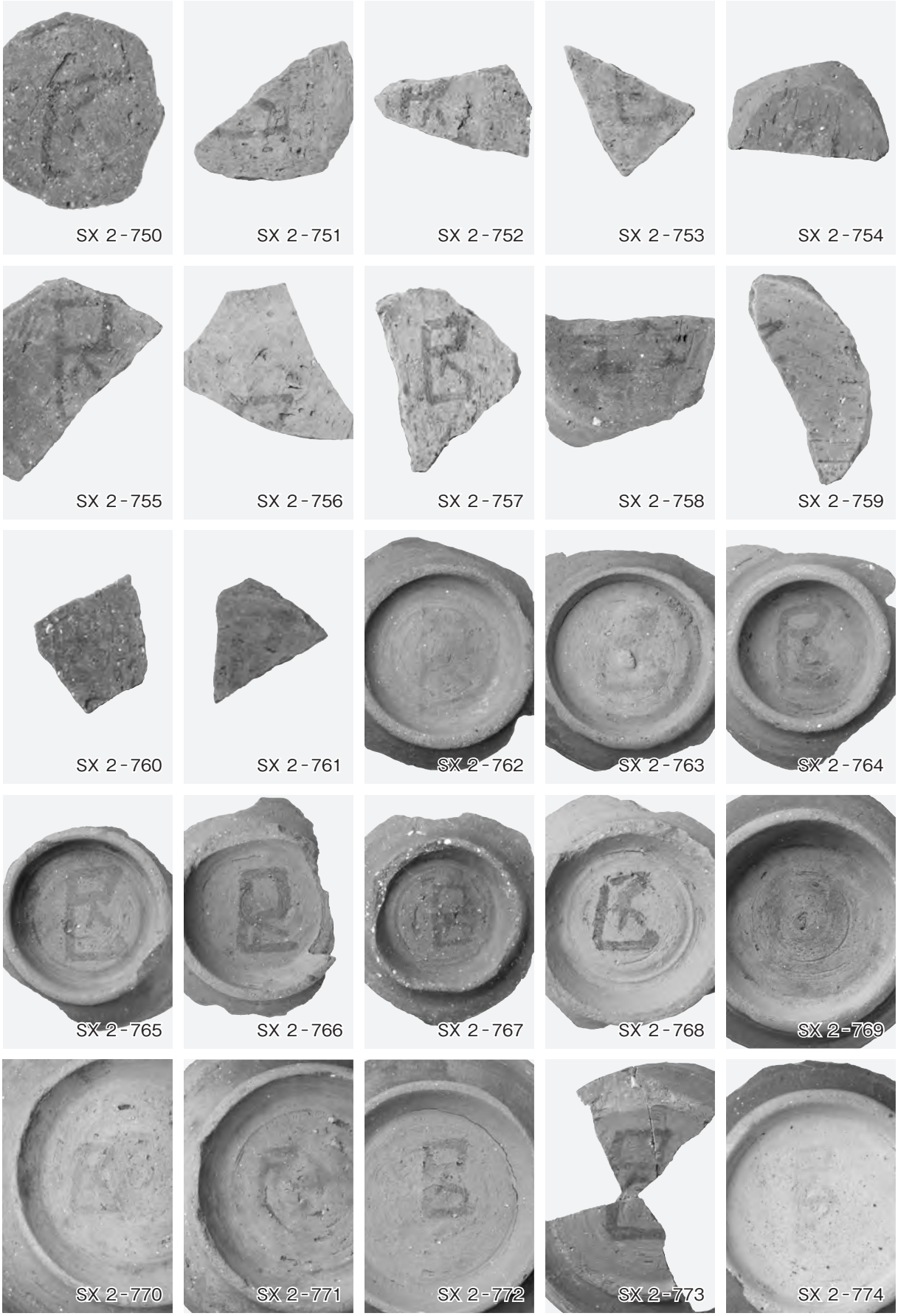
SX 2-723

SX 2-724

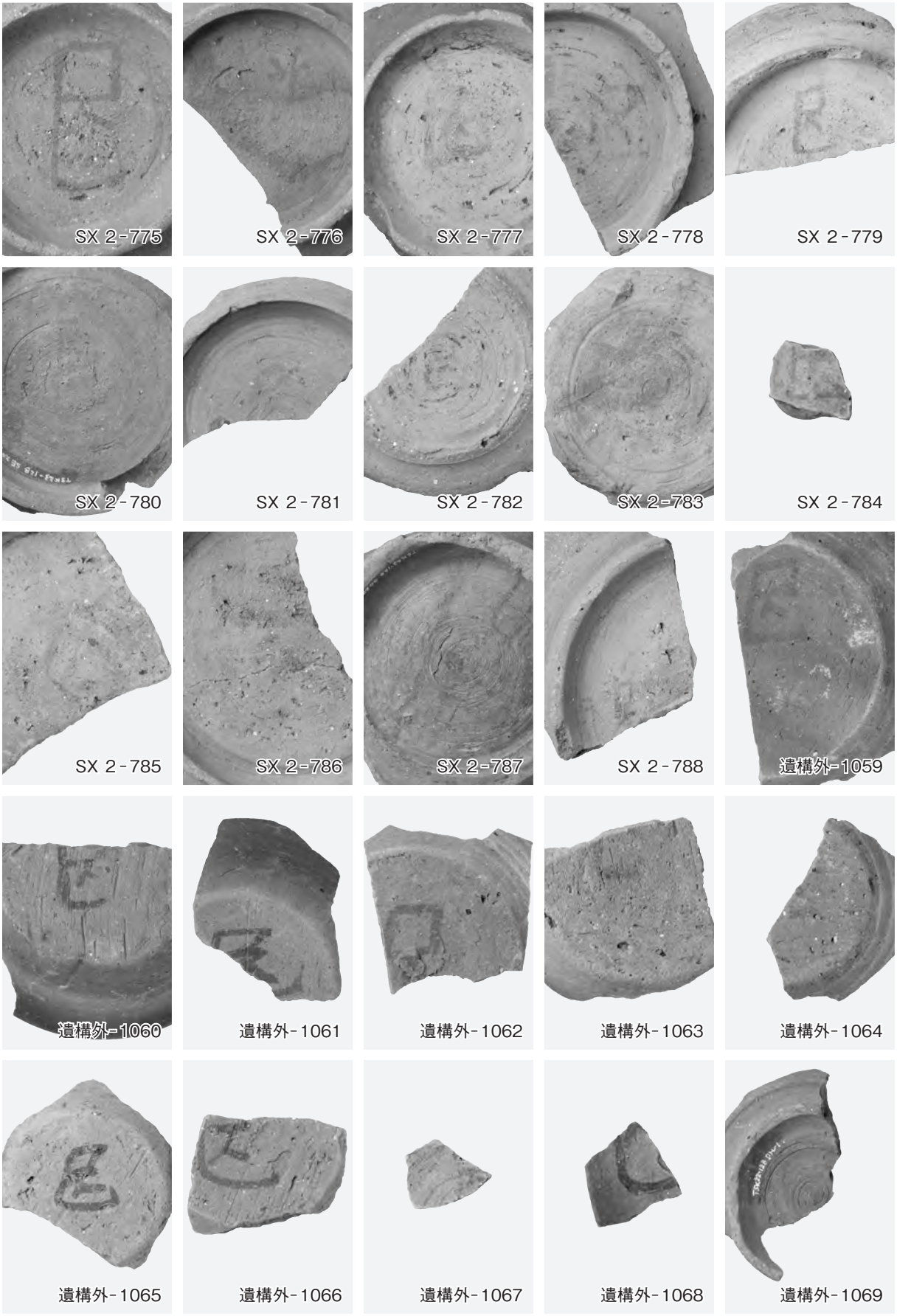
「囚」墨書土器


SX 2-725
SX 2-726-1
SX 2-726-2
SX 2-727
SX 2-728
SX 2-729
SX 2-730
SX 2-731
SX 2-732
SX 2-733
SX 2-734
SX 2-736
SX 2-737
SX 2-738
SX 2-739
SX 2-740
SX 2-741
SX 2-742
SX 2-743
SX 2-744
SX 2-745
SX 2-746
SX 2-747
SX 2-748
SX 2-749

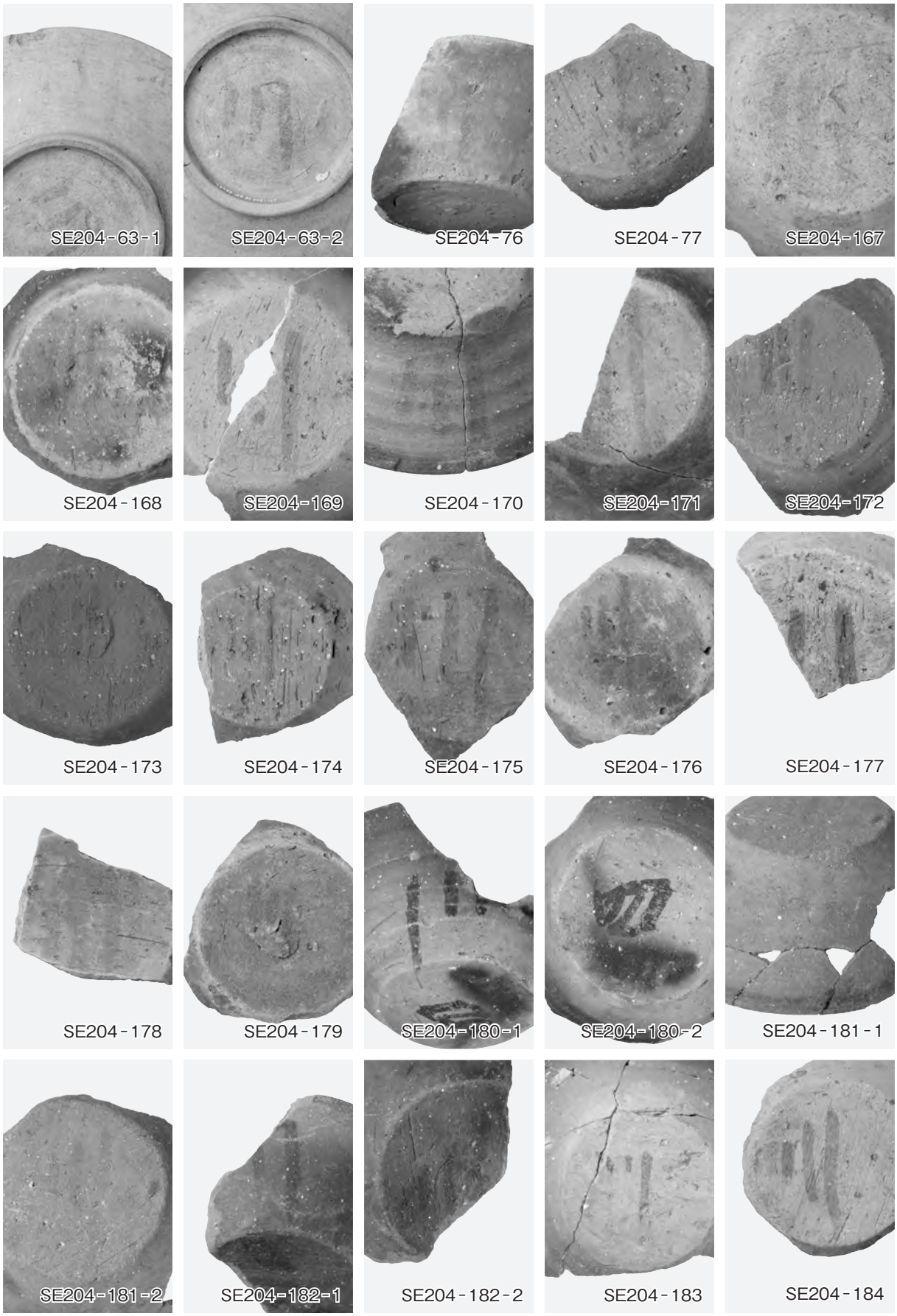
「囚」墨書土器


SX 2-750
SX 2-751
SX 2-752
SX 2-753
SX 2-754
SX 2-755
SX 2-756
SX 2-757
SX 2-758
SX 2-759
SX 2-760
SX 2-761
SX 2-762
SX 2-763
SX 2-764
SX 2-765
SX 2-766
SX 2-767
SX 2-768
SX 2-769
SX 2-770
SX 2-771
SX 2-772
SX 2-773
SX 2-774

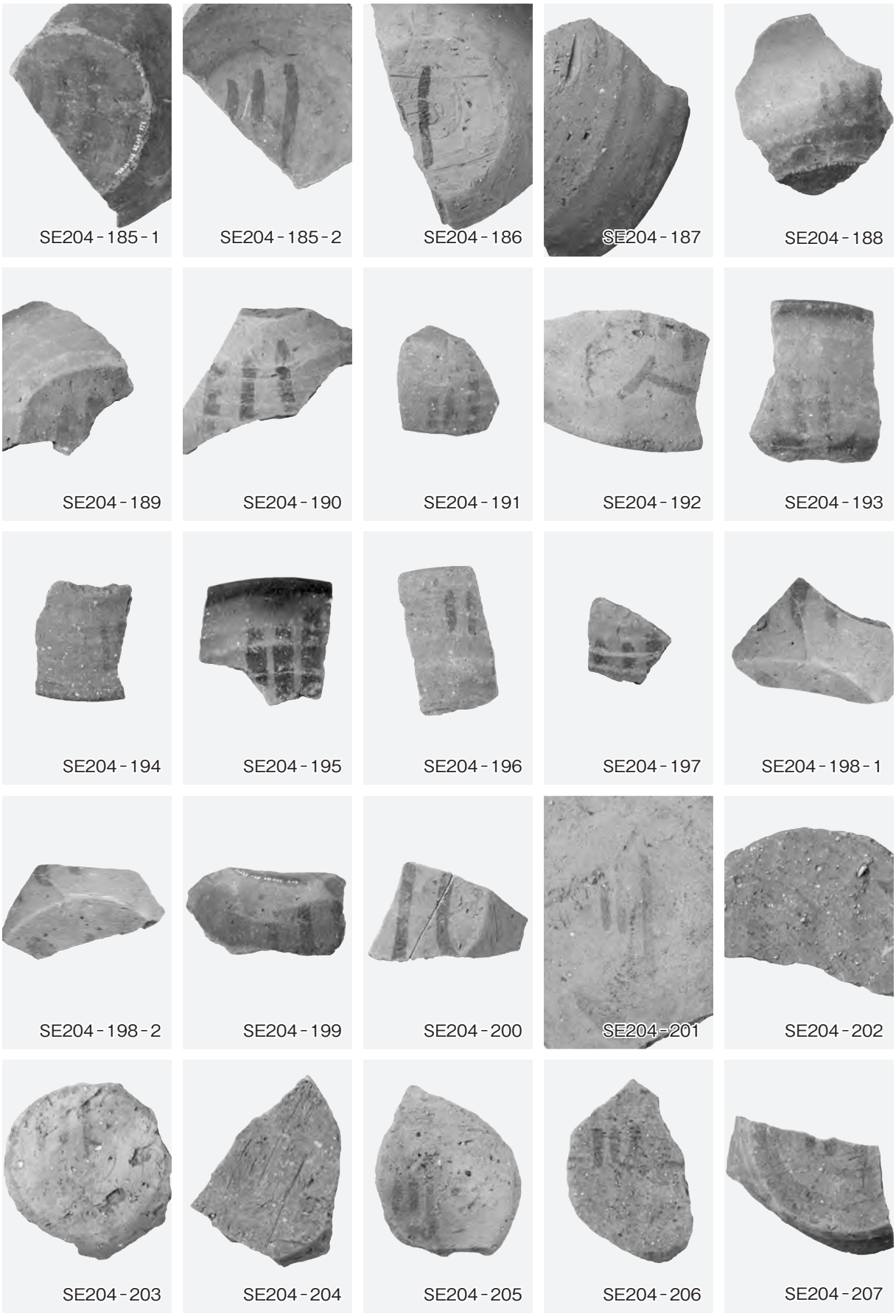
「囚」墨書土器


SX 2-775
SX 2-776
SX 2-777
SX 2-778
SX 2-779
SX 2-780
SX 2-781
SX 2-782
SX 2-783
SX 2-784
SX 2-785
SX 2-786
SX 2-787
SX 2-788
遺構外-1059
遺構外-1060
遺構外-1061
遺構外-1062
遺構外-1063
遺構外-1064
遺構外-1065
遺構外-1066
遺構外-1067
遺構外-1068
遺構外-1069

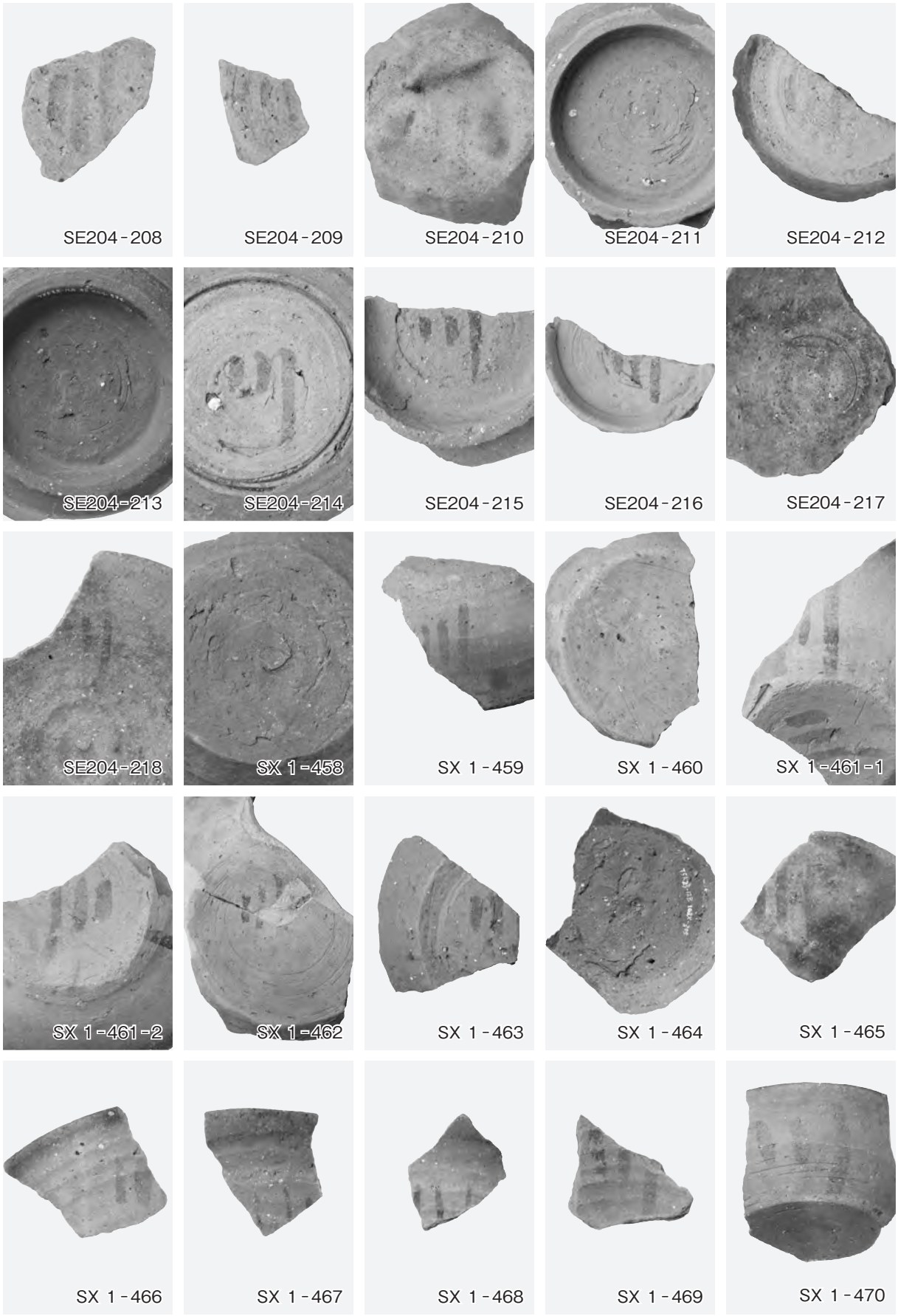
「囚，□・水・囚・囚」墨書土器


SE204-63-1
SE204-63-2
SE204-76
SE204-77
SE204-167
SE204-168
SE204-169
SE204-170
SE204-171
SE204-172
SE204-173
SE204-174
SE204-175
SE204-176
SE204-177
SE204-178
SE204-179
SE204-180-1
SE204-180-2
SE204-181-1
SE204-181-2
SE204-182-1
SE204-182-2
SE204-183
SE204-184

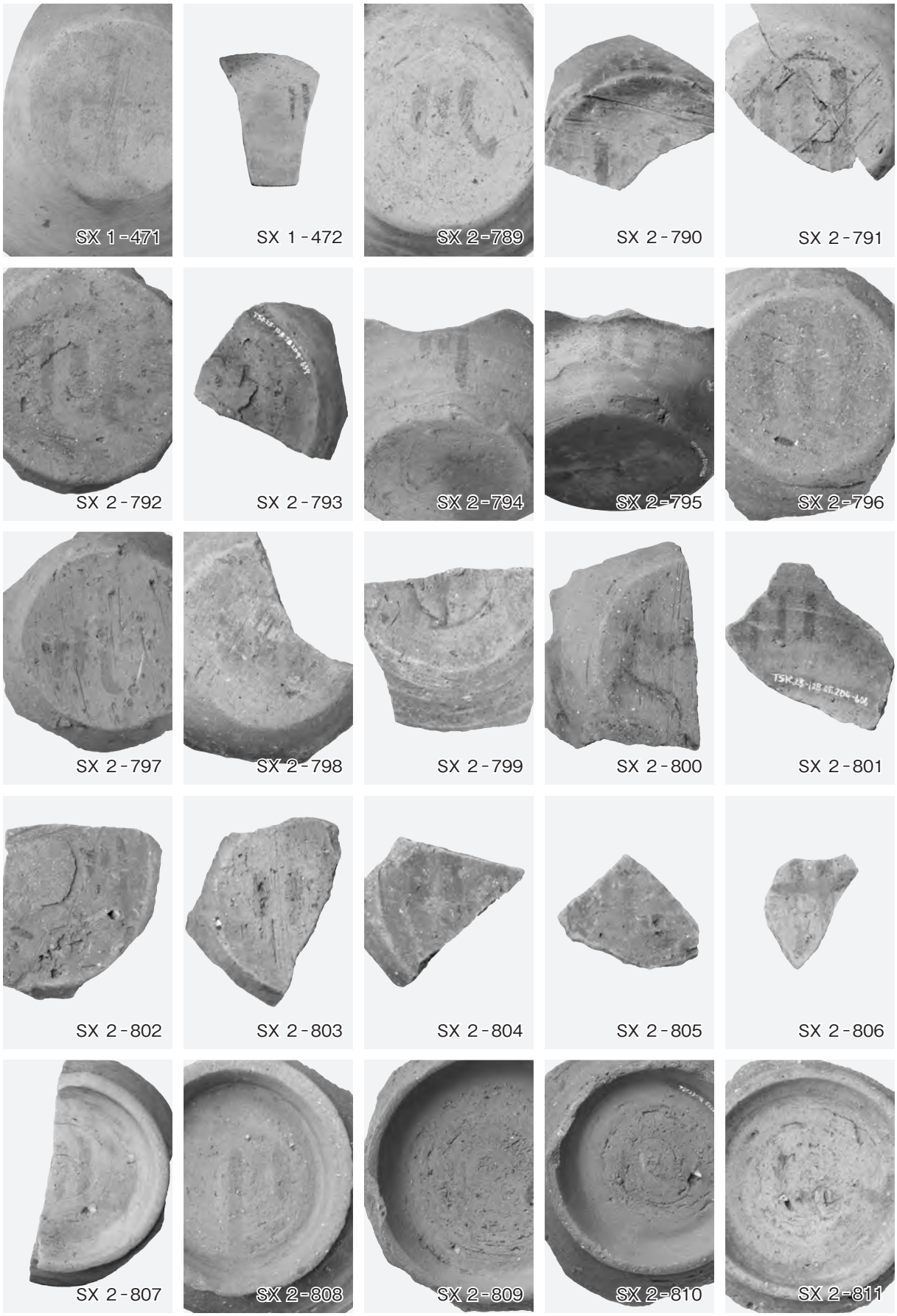
「川／川，川，川／四」墨書土器


SE204-185-1
SE204-185-2
SE204-186
SE204-187
SE204-188
SE204-189
SE204-190
SE204-191
SE204-192
SE204-193
SE204-194
SE204-195
SE204-196
SE204-197
SE204-198-1
SE204-198-2
SE204-199
SE204-200
SE204-201
SE204-202
SE204-203
SE204-204
SE204-205
SE204-206
SE204-207

「川，川／川，川人」墨書土器

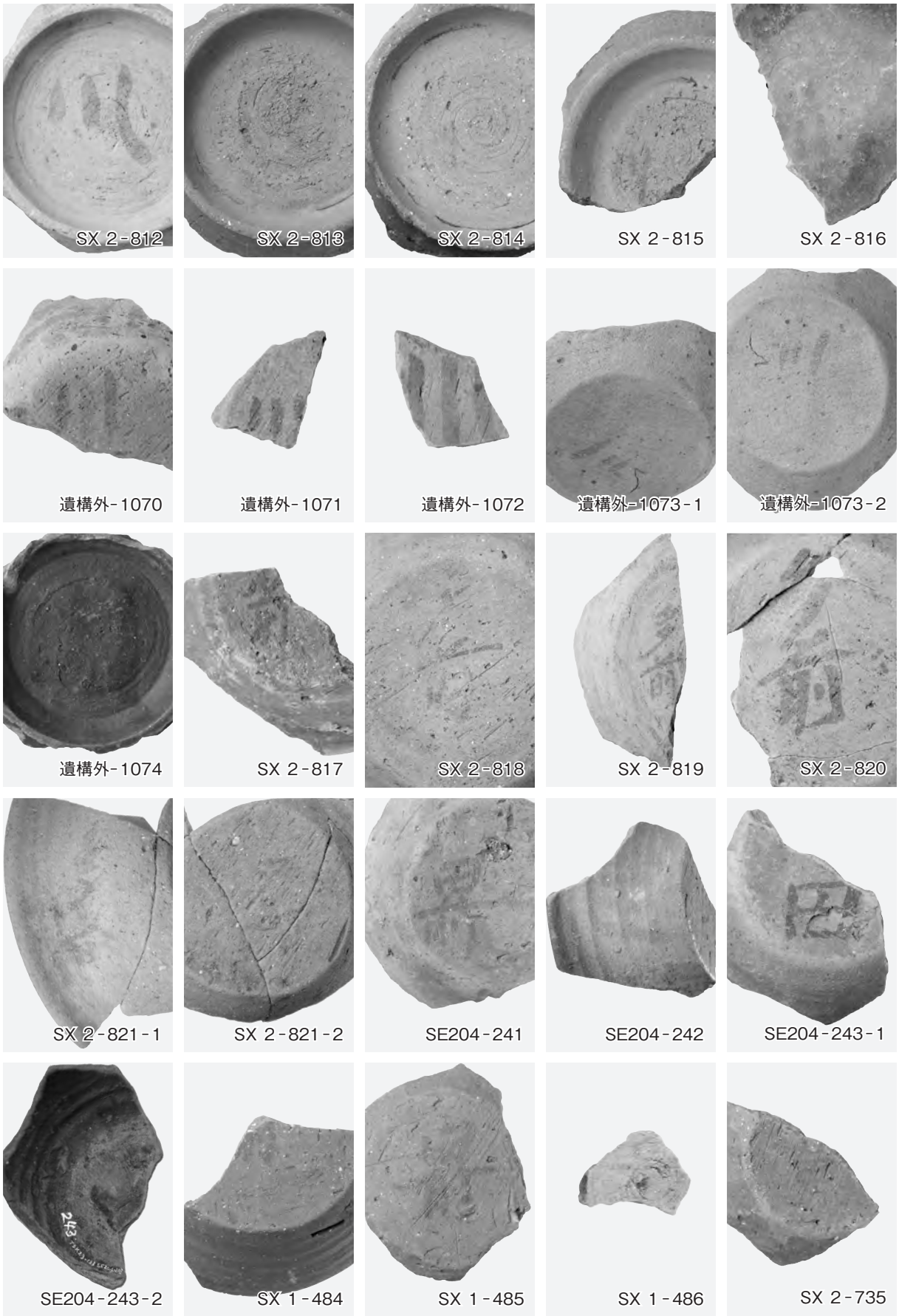

SE204-208
SE204-209
SE204-210
SE204-211
SE204-212
SE204-213
SE204-214
SE204-215
SE204-216
SE204-217
SE204-218
SX 1-458
SX 1-459
SX 1-460
SX 1-461-1
SX 1-461-2
SX 1-462
SX 1-463
SX 1-464
SX 1-465
SX 1-466
SX 1-467
SX 1-468
SX 1-469
SX 1-470

「川，川／川」墨書土器

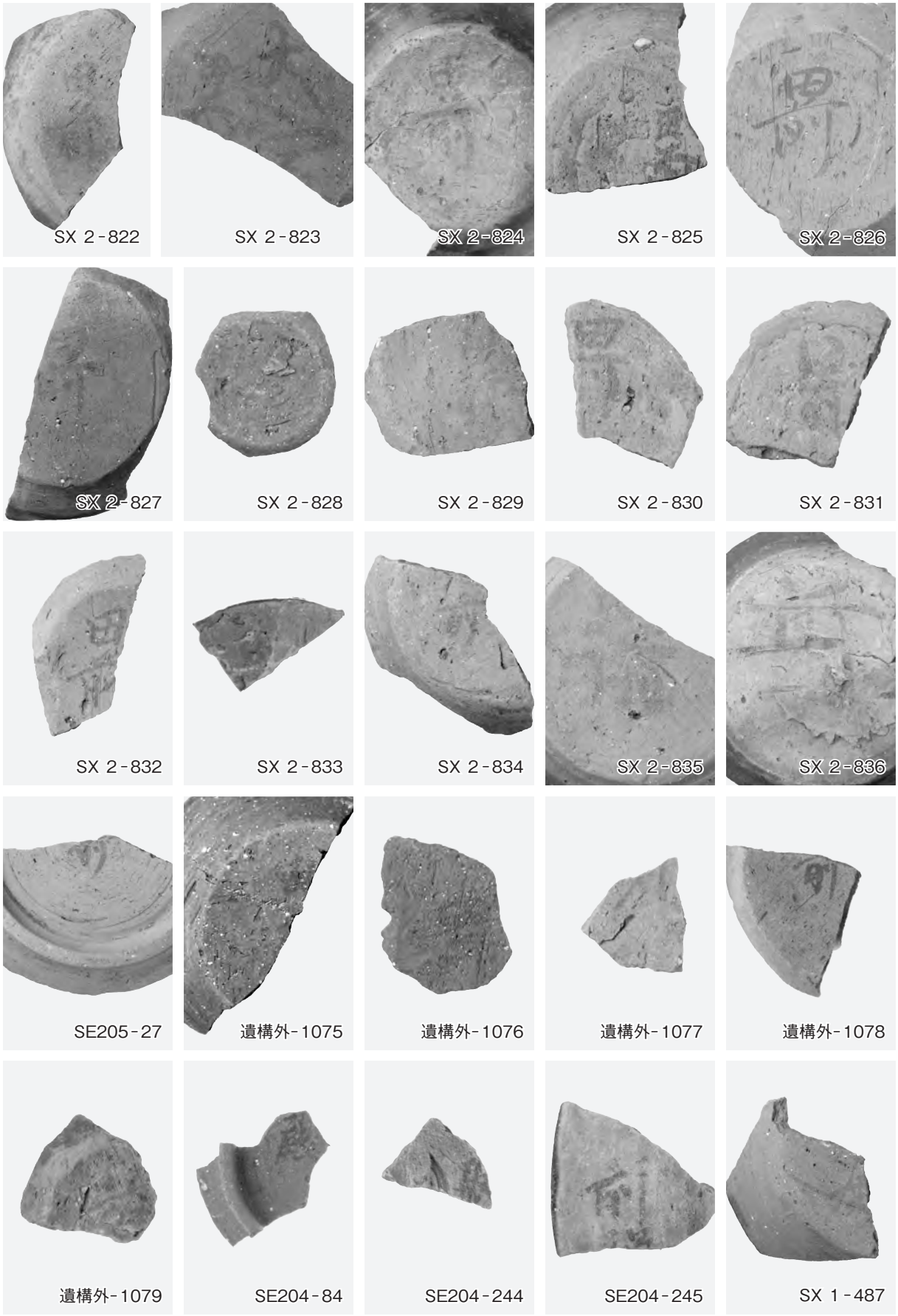

SX 1-471
SX 1-472
SX 2-789
SX 2-790
SX 2-791
SX 2-792
SX 2-793
SX 2-794
SX 2-795
SX 2-796
SX 2-797
SX 2-798
SX 2-799
SX 2-800
SX 2-801
SX 2-802
SX 2-803
SX 2-804
SX 2-805
SX 2-806
SX 2-807
SX 2-808
SX 2-809
SX 2-810
SX 2-811

「川」墨書土器

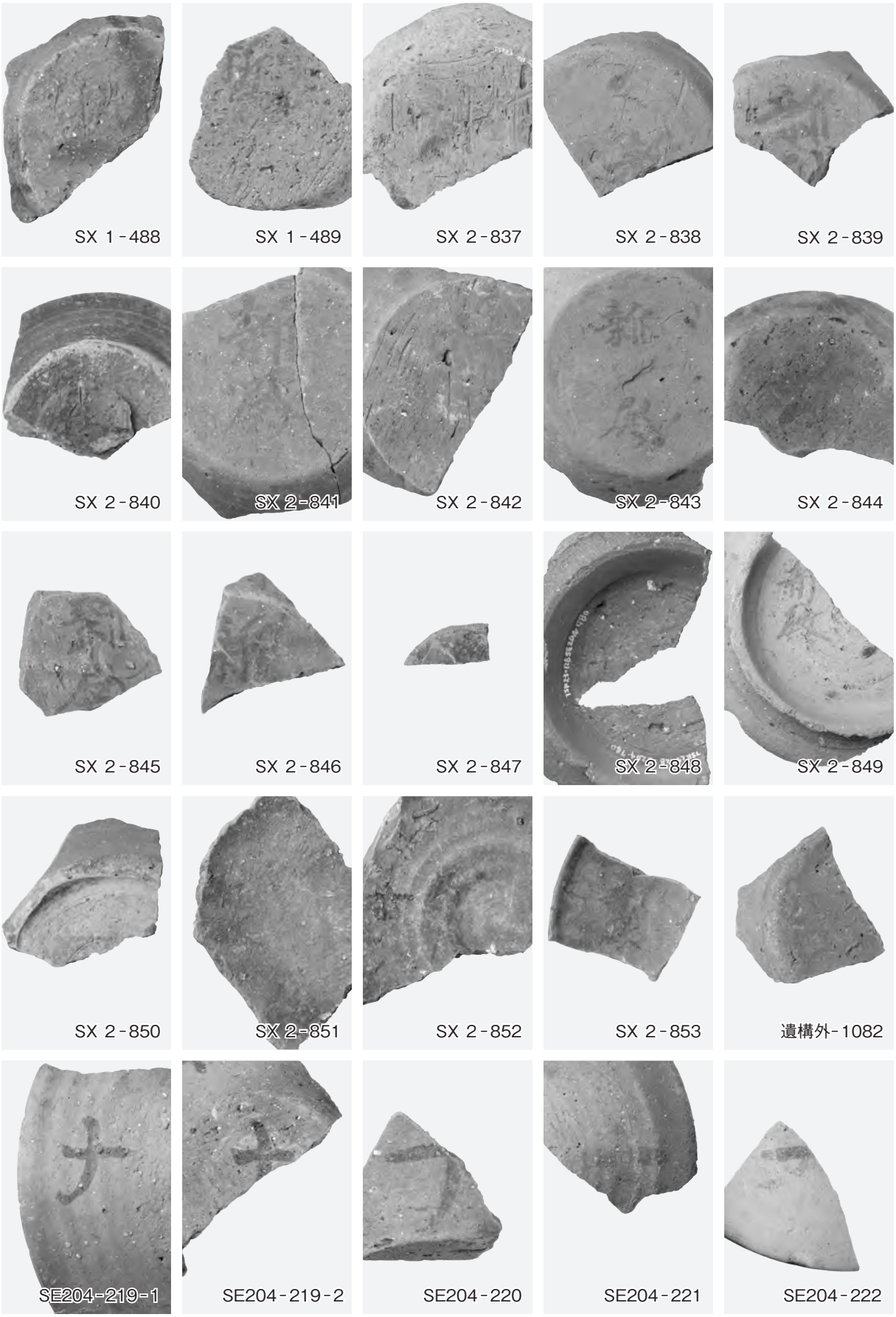
PL56



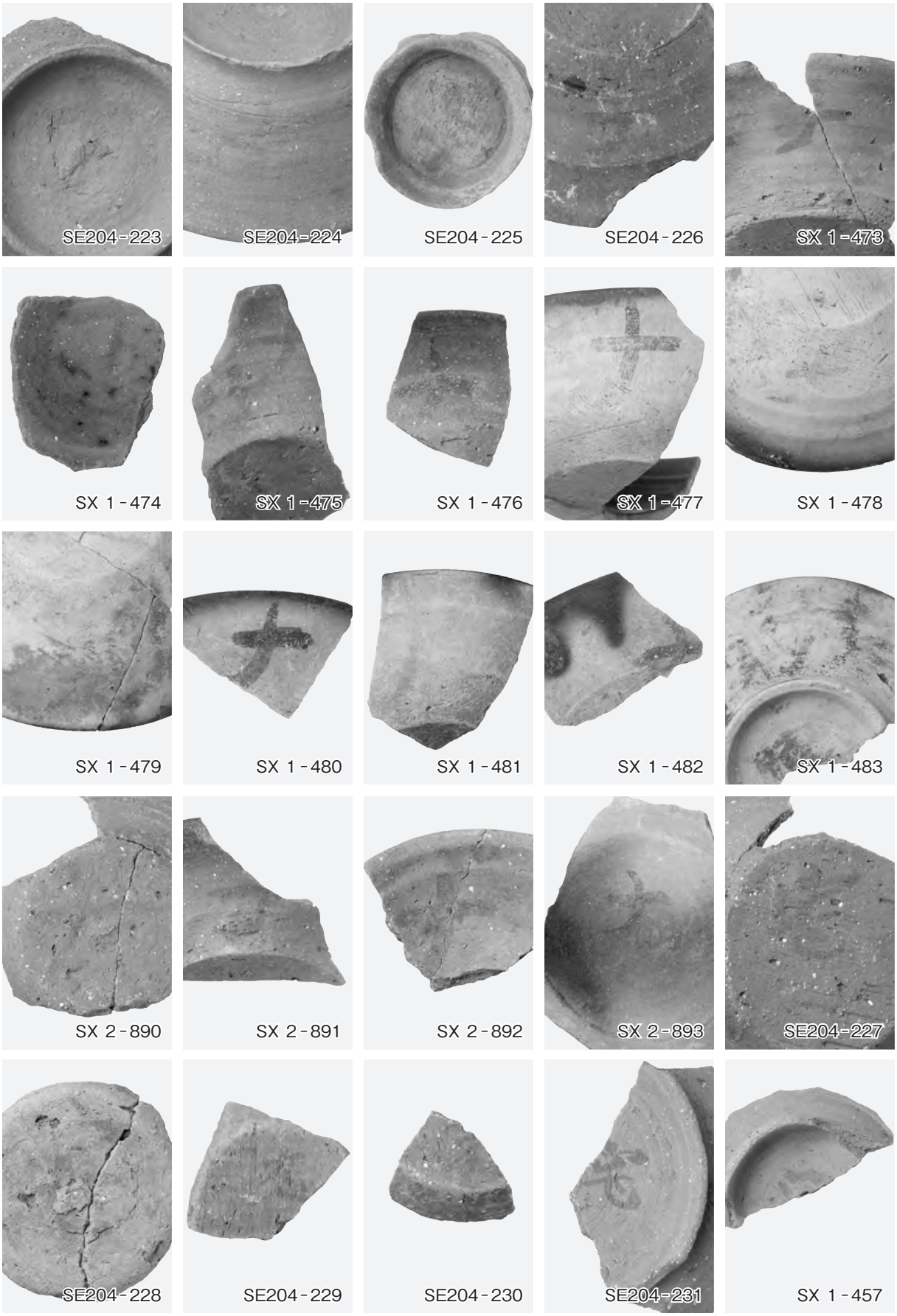
「川，多前，田前，田，前」墨書土器



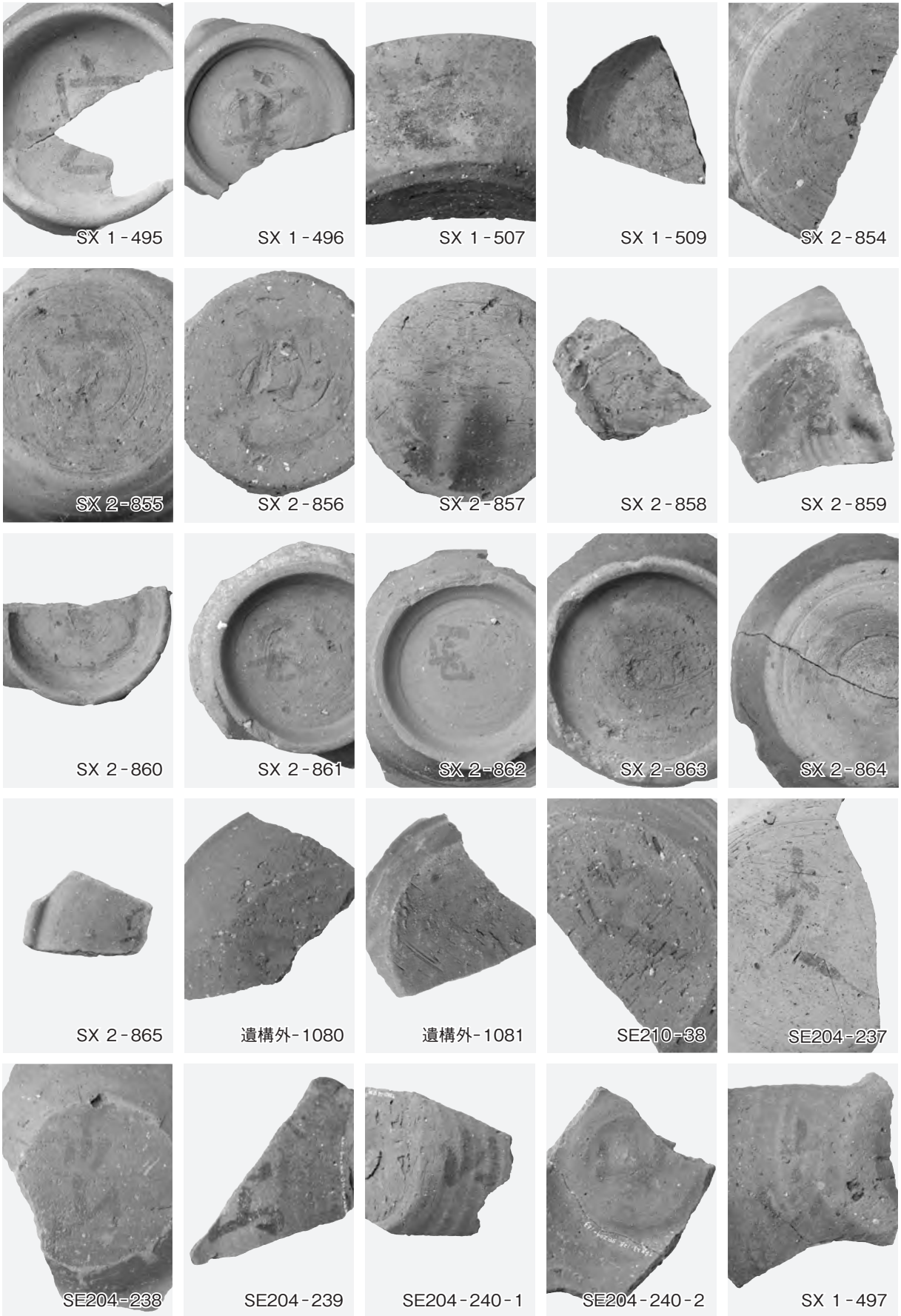
「田前，大家・田前，前，殿」墨書土器


SX 1-488
SX 1-489
SX 2-837
SX 2-838
SX 2-839
SX 2-840
SX 2-841
SX 2-842
SX 2-843
SX 2-844
SX 2-845
SX 2-846
SX 2-847
SX 2-848
SX 2-849
SX 2-850
SX 2-851
SX 2-852
SX 2-853
遺構外-1082
SE204-219-1
SE204-219-2
SE204-220
SE204-221
SE204-222

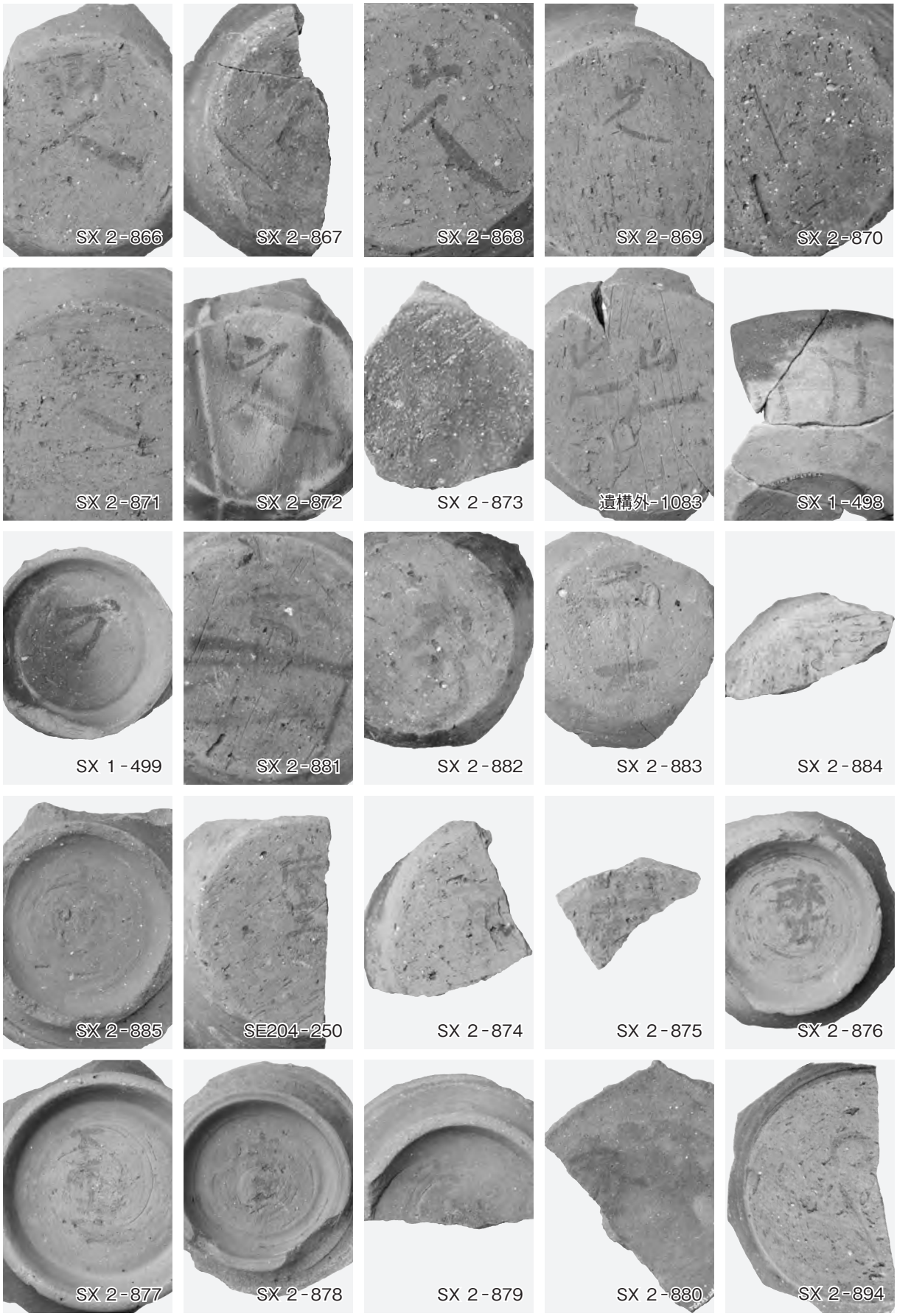
「殿，新，新殿，ナ」墨書土器


SE204-223
SE204-224
SE204-225
SE204-226
SX 1-473
SX 1-474
SX 1-475
SX 1-476
SX 1-477
SX 1-478
SX 1-479
SX 1-480
SX 1-481
SX 1-482
SX 1-483
SX 2-890
SX 2-891
SX 2-892
SX 2-893
SE204-227
SE204-228
SE204-229
SE204-230
SE204-231
SX 1-457

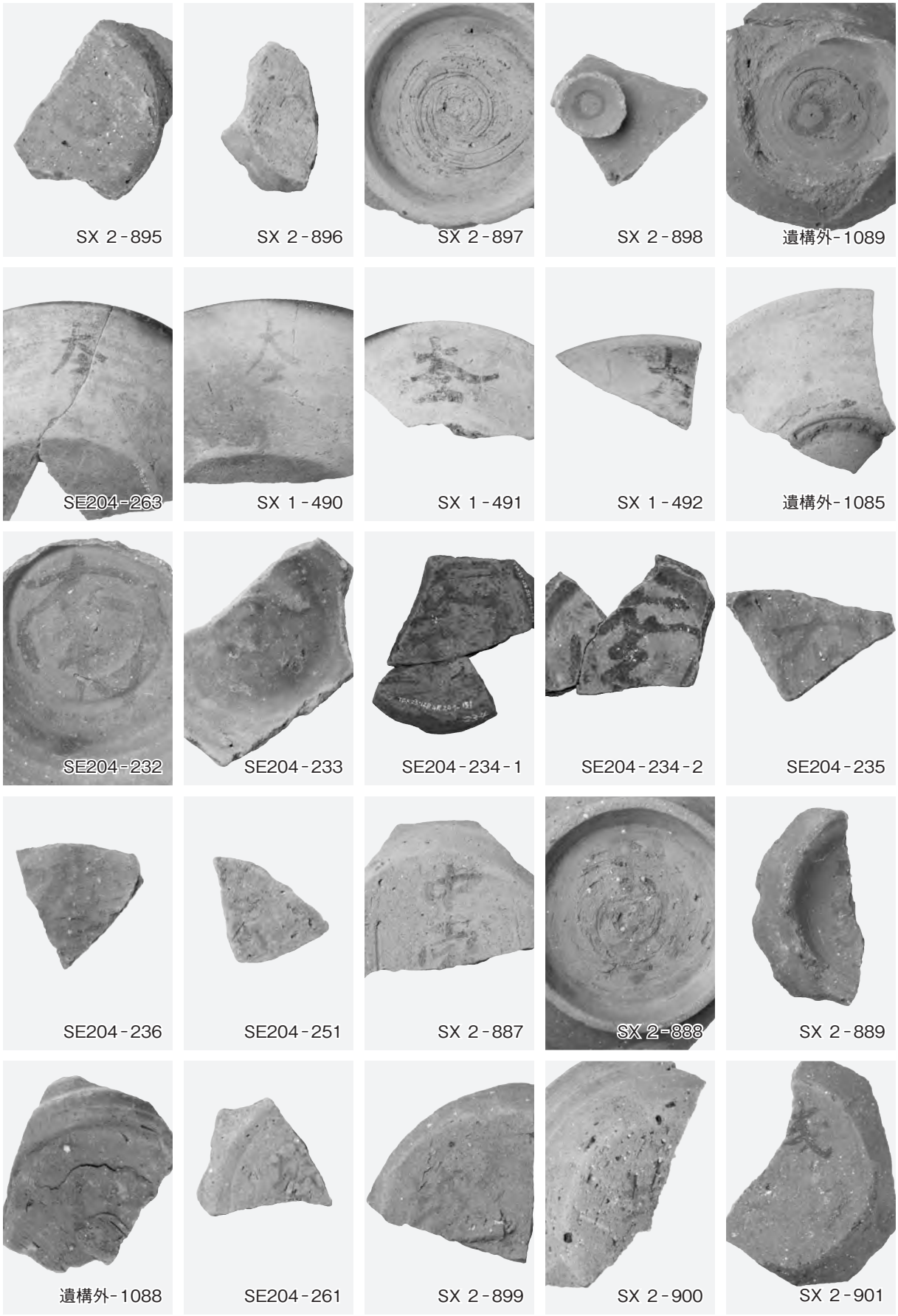
「ナ，宅」墨書土器



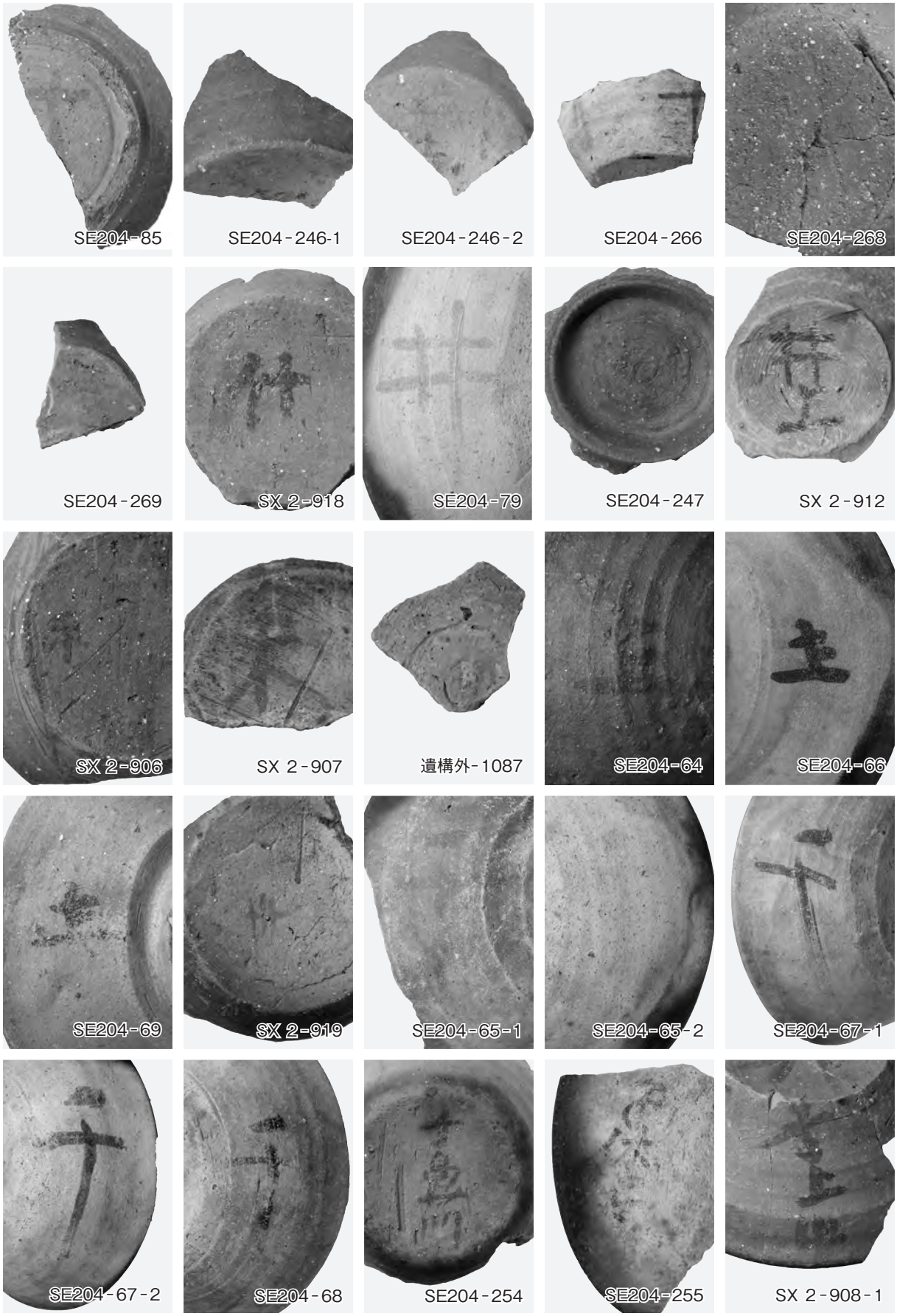
「宅，山人，山山，山／山」墨書土器



「山人，山人・山人，万，大万，千万，麻生，麻，下麻主，○」墨書土器

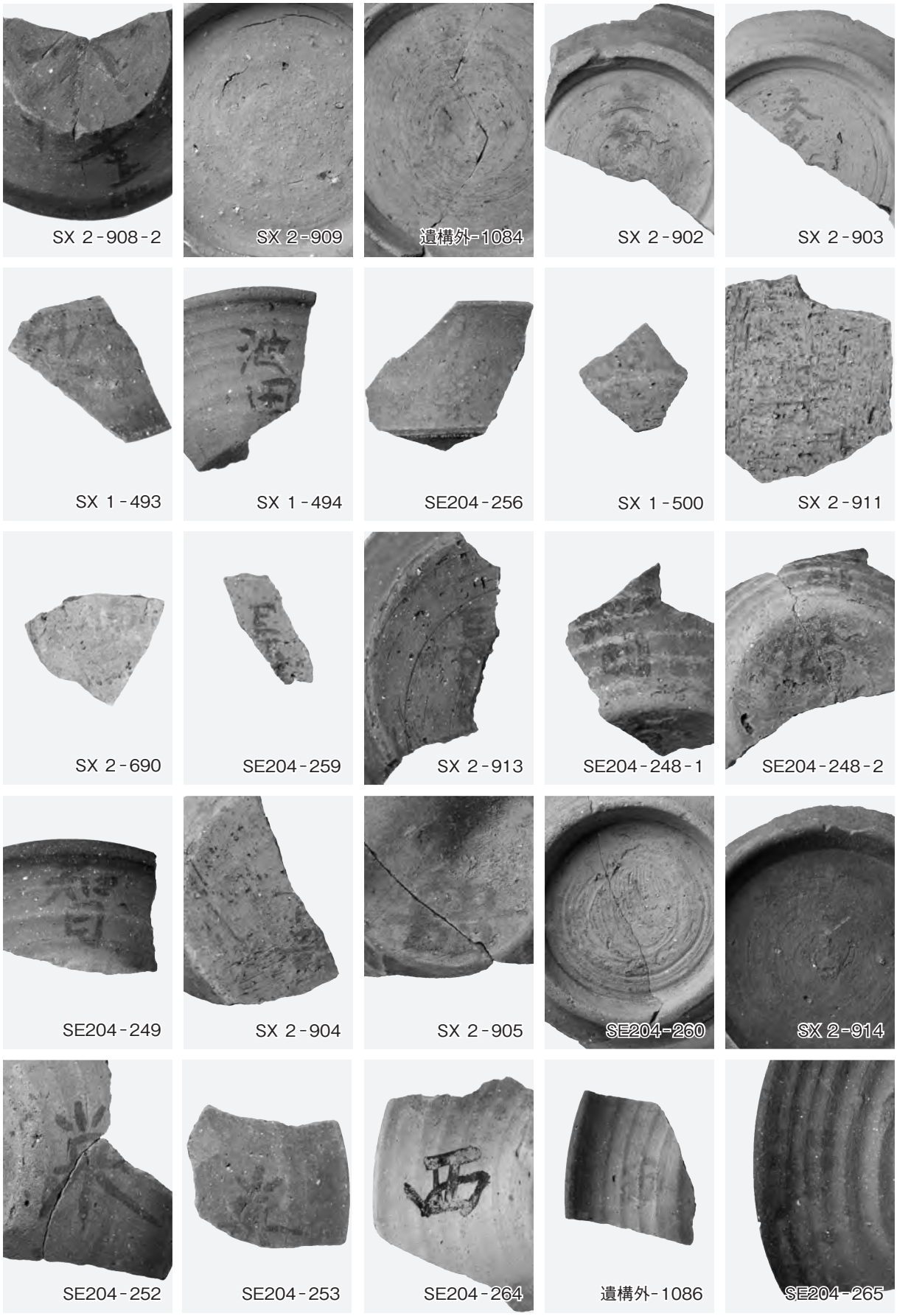


「○，杢，南，南／南，中家，家，中，城」墨書土器



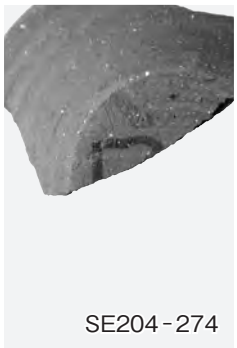
「十，什，井，井上，禾，土，卅，千，子鼻門，子佐古，子上山／□」墨書土器

PL64



「子上山／□，□山□□水，止田ヵ裏麻新殿，大多，池田，栗，小栗，□部，長□，智／福，智，器，槻，巣，西，夫」墨書土器

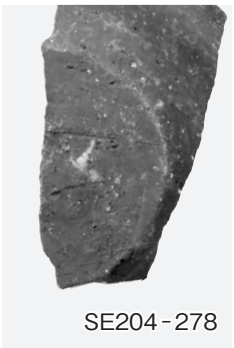
「夫，成／成，野ヵ邊，坊家，淡水，秋ヵ□，香，寺，月，伍，佐，止，大，ノ，不明」墨書土器

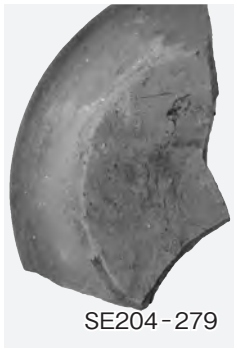

SE204-274

SE204-275

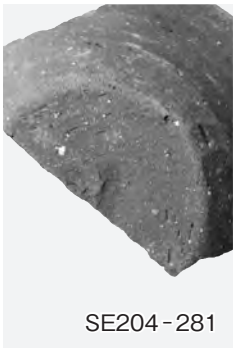
SE204-276

SE204-277


SE204-278


SE204-279

SE204-280


SE204-281

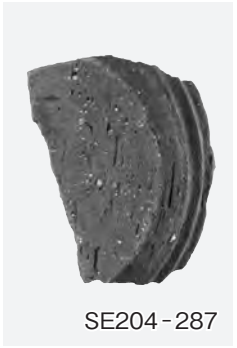
SE204-282

SE204-283

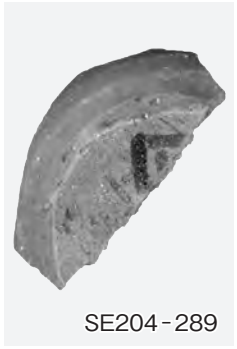
SE204-284

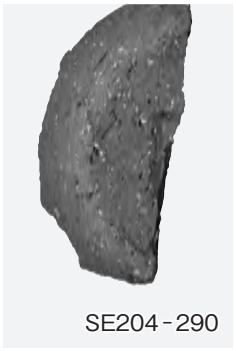
SE204-285

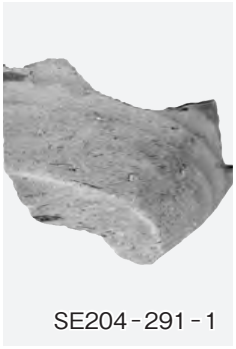
SE204-286

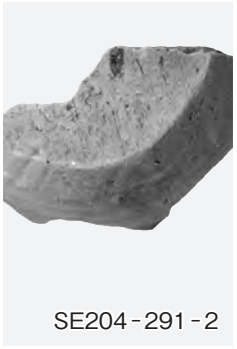

SE204-287

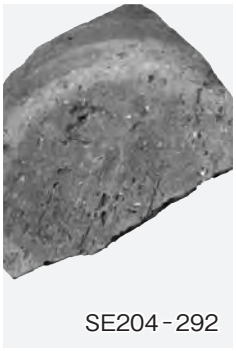
SE204-288


SE204-289

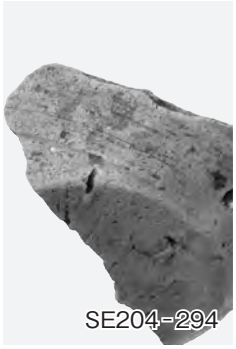

SE204-290


SE204-291-1


SE204-291-2


SE204-292

SE204-293

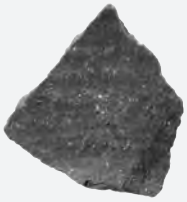

SE204-294

SE204-295

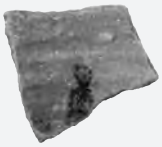
SE204-296

SE204-297

「不明」墨書土器


SE204-298

SE204-299


SE204-300

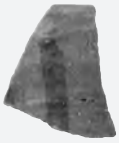
SE204-301

SE204-302

SE204-303

SE204-304

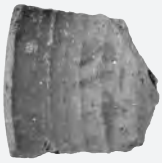
SE204-305


SE204-306

SE204-307

SE204-308

SE204-309


SE204-310

SE204-311

SE204-312

SE204-313

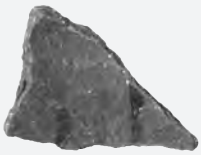
SE204-314

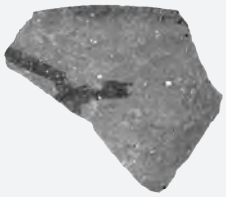
SE204-315

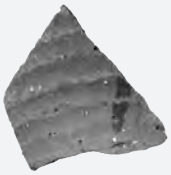
SE204-316

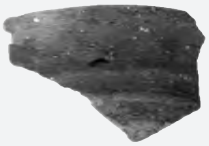
SE204-317

SE204-318

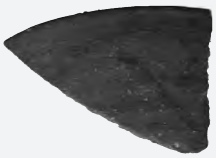

SE204-319


SE204-320


SE204-321


SE204-322

「不明」墨書土器


SE204-323

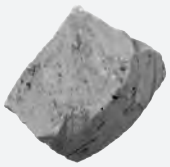
SE204-324

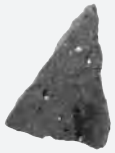
SE204-325

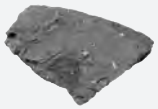
SE204-326

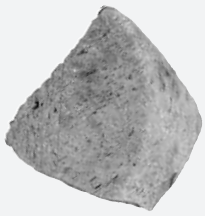
SE204-327

SE204-328


SE204-329


SE204-330

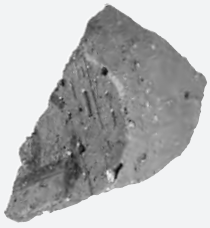

SE204-331

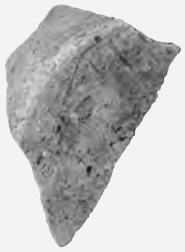

SE204-332

SE204-333

SE204--334

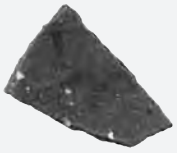
SE204-335


SE204-336

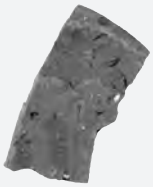

SE204-337

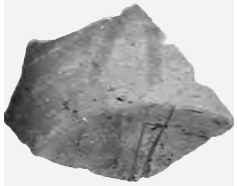
SE204-338

SE204-339

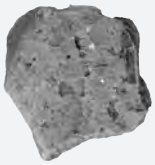

SE204-340

SE204-341


SE204-342


SE204-343-1

SE204-343-2


SE204-344

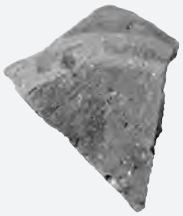
SE204-345

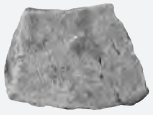
SE204-346

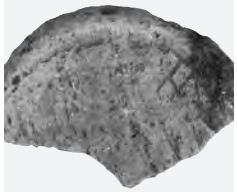
「不明」墨書土器

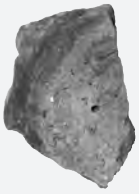
SE204-347

SE204-348

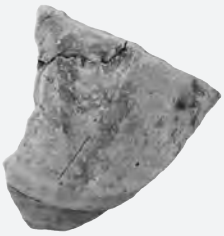

SE204-349

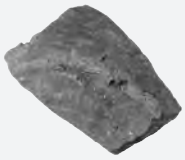

SE204-350


SE204-351


SE204-352

SE204-353

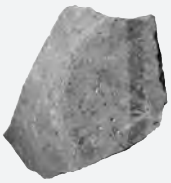

SE204-354


SE204-355

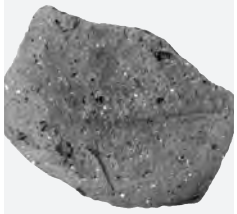
SE204-356

SE204-357

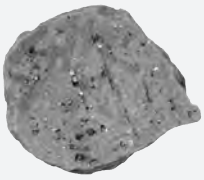
SE204-358


SE204-359

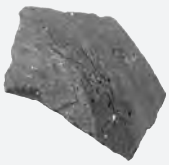
SE204-360

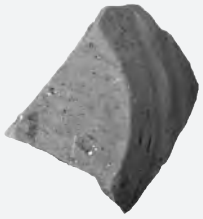

SE204-361

SE204-362


SE204-363

SE204-364

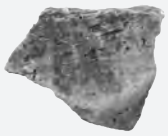

SE204-365


SE204-366

SE204-367

SE204-368

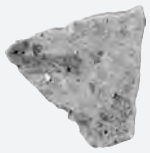
SE204-369


SE204-370

SE204-371

「不明」墨書土器

SE204-372


SE204-373

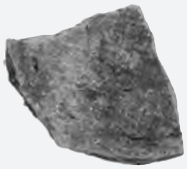
SE204-374

SE204-375

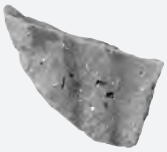
SE204-376

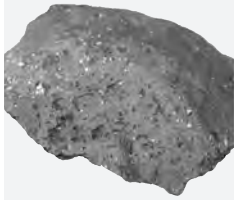
SE204-377

SE204-378

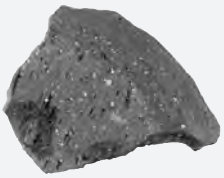

SE204-379

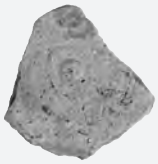
SE204-380


SE204-381


SE204-382

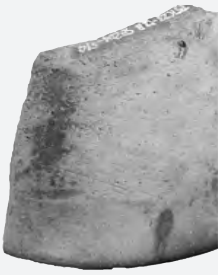
SE204-383


SE204-384


SE204-385

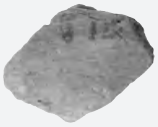
SE204-386

SE204-387


SE204-388

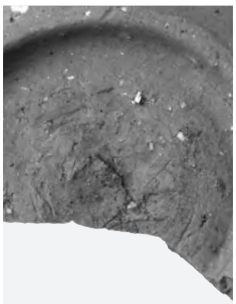
SE204-389

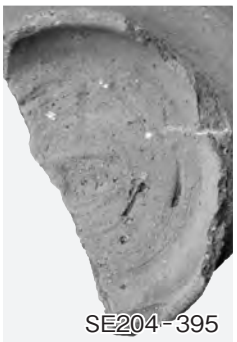
SE204-390

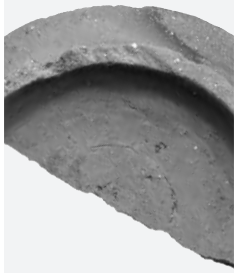

SE204-391

SE204-392

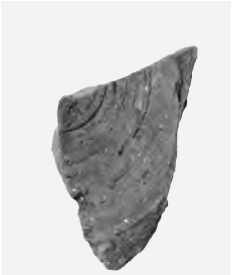
SE204-393


SE204-394

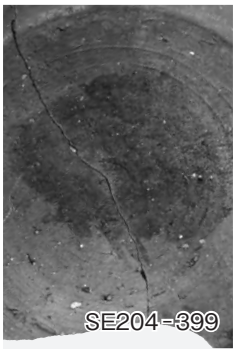

SE204-395

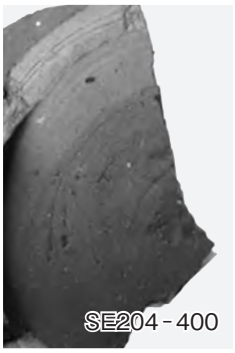

SE204-396

「不明」墨書土器


SE204-397

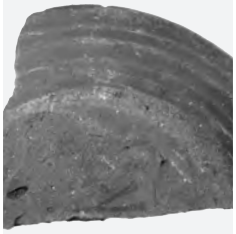
SE204-398

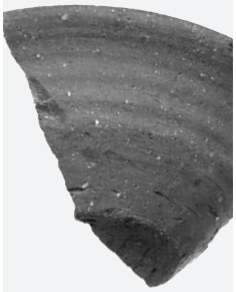

SE204-399

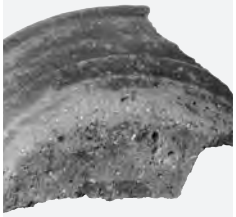

SE204-400

SE204-401

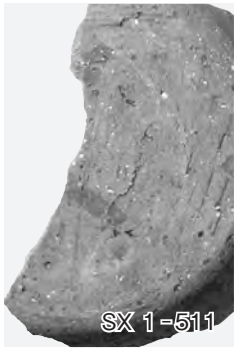
SX 1-504


SX 1-505


SX 1-506


SX 1-508

SX 1-510


SX 1-511

SX 1-512

SX 1-513

SX 1-514

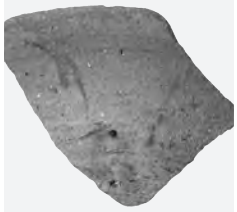
SX 1-515

SX 1-516

SX 1-517

SX 1-518

SX 1-519


SX 1-520

SX 1-521

SX 1-522

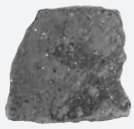
SX 1-523

SX 1-524

SX 1-525

「不明」墨書土器

SX 1-526


SX 1-527

SX 1-528

SX 1-529

SX 1-530

SX 1-531

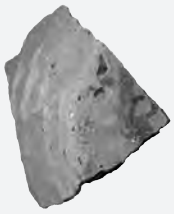
SX 1-532

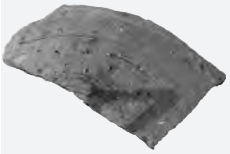
SX 1-533

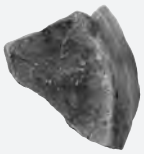
SX 1-534

SX 1-535

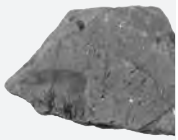
SX 1-536

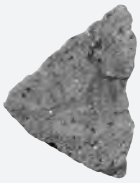

SX 1-537

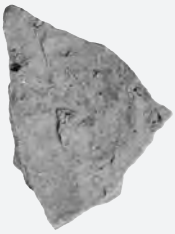

SX 1-538

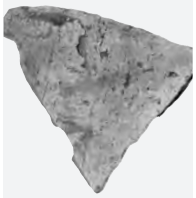

SX 1-539

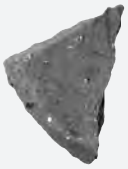
SX 1-540


SX 1-541


SX 1-542


SX 1-543

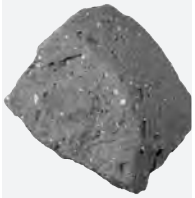

SX 1-544

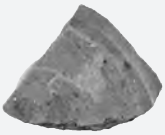

SX 1-545

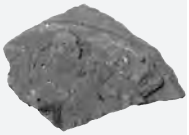
SX 1-546

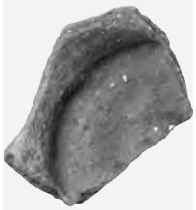
SX 1-547

SX 1-548


SX 1-549


SX 1-550

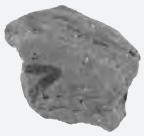

SX 1-551

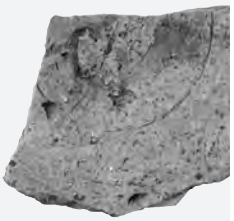

SX 1-552

「不明」墨書土器

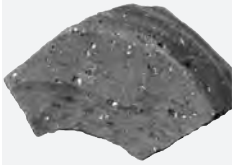
SX 1-553

SX 1-554


SX 1-555

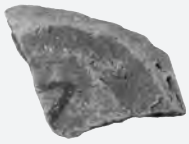

SX 1-556

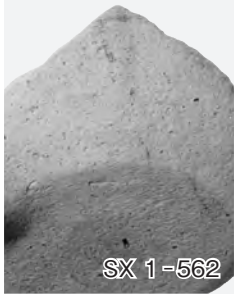
SX 1-557

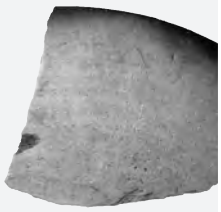

SX 1-558

SX 1-559

SX 1-560


SX 1-561


SX 1-562


SX 1-563

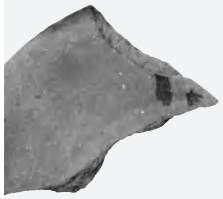
SX 1-564

SX 1-565

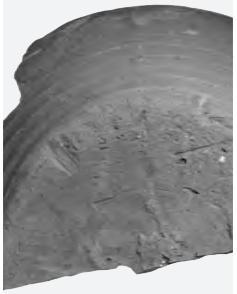
SX 1-566

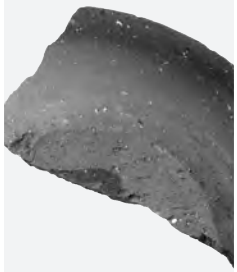
SX 1-567

SX 1-568

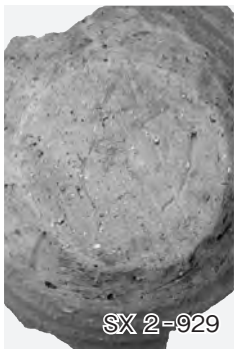

SX 1-569

SX 2-925


SX 2-926


SX 2-927

SX 2-928

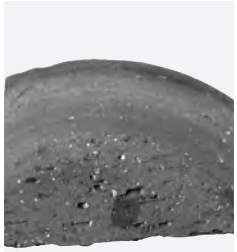

SX 2-929

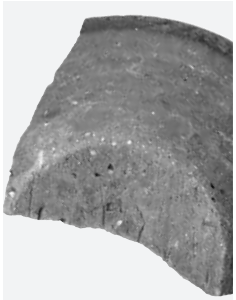
SX 2-930-1

SX 2-930-2

SX 2-931

「不明」墨書土器


SX 2-932


SX 2-933

SX 2-934

SX 2-935

SX 2-936

SX 2-937

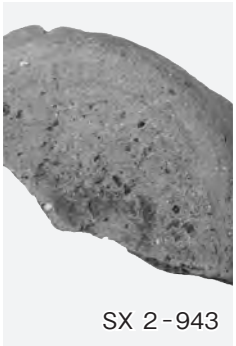
SX 2-938

SX 2-939

SX 2-940

SX 2-941

SX 2-942


SX 2-943

SX 2-944

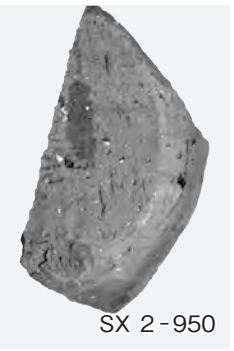
SX 2-945

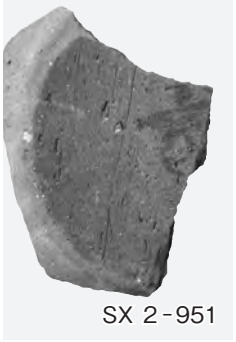
SX 2-946

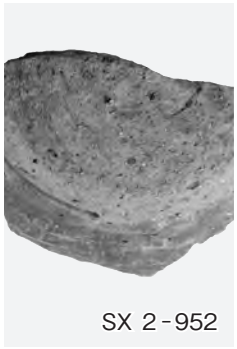
SX 2-947

SX 2-948

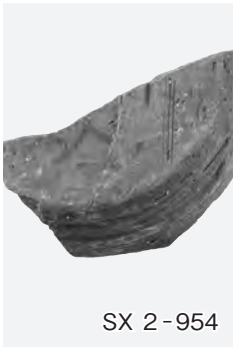
SX 2-949

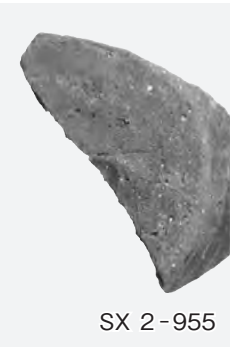

SX 2-950


SX 2-951


SX 2-952

SX 2-953


SX 2-954


SX 2-955

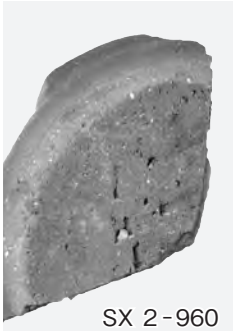
SX 2-956

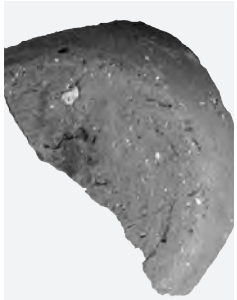
「不明」墨書土器

SX 2-957

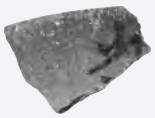
SX 2-958

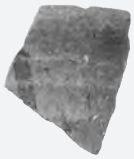
SX 2-959


SX 2-960

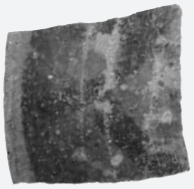

SX 2-961

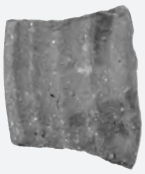
SX 2-962


SX 2-963

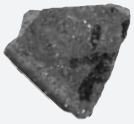

SX 2-964

SX 2-965

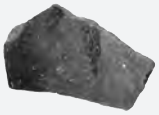

SX 2-966


SX 2-967

SX 2-968

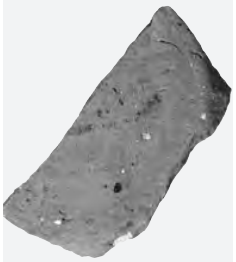

SX 2-969

SX 2-970


SX 2-971

SX 2-972

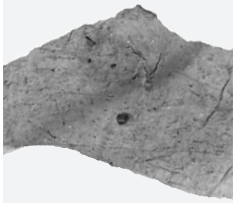
SX 2-973

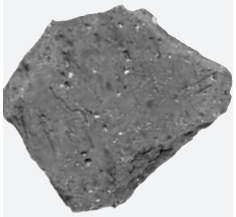

SX 2-974

SX 2-975

SX 2-976

SX 2-977

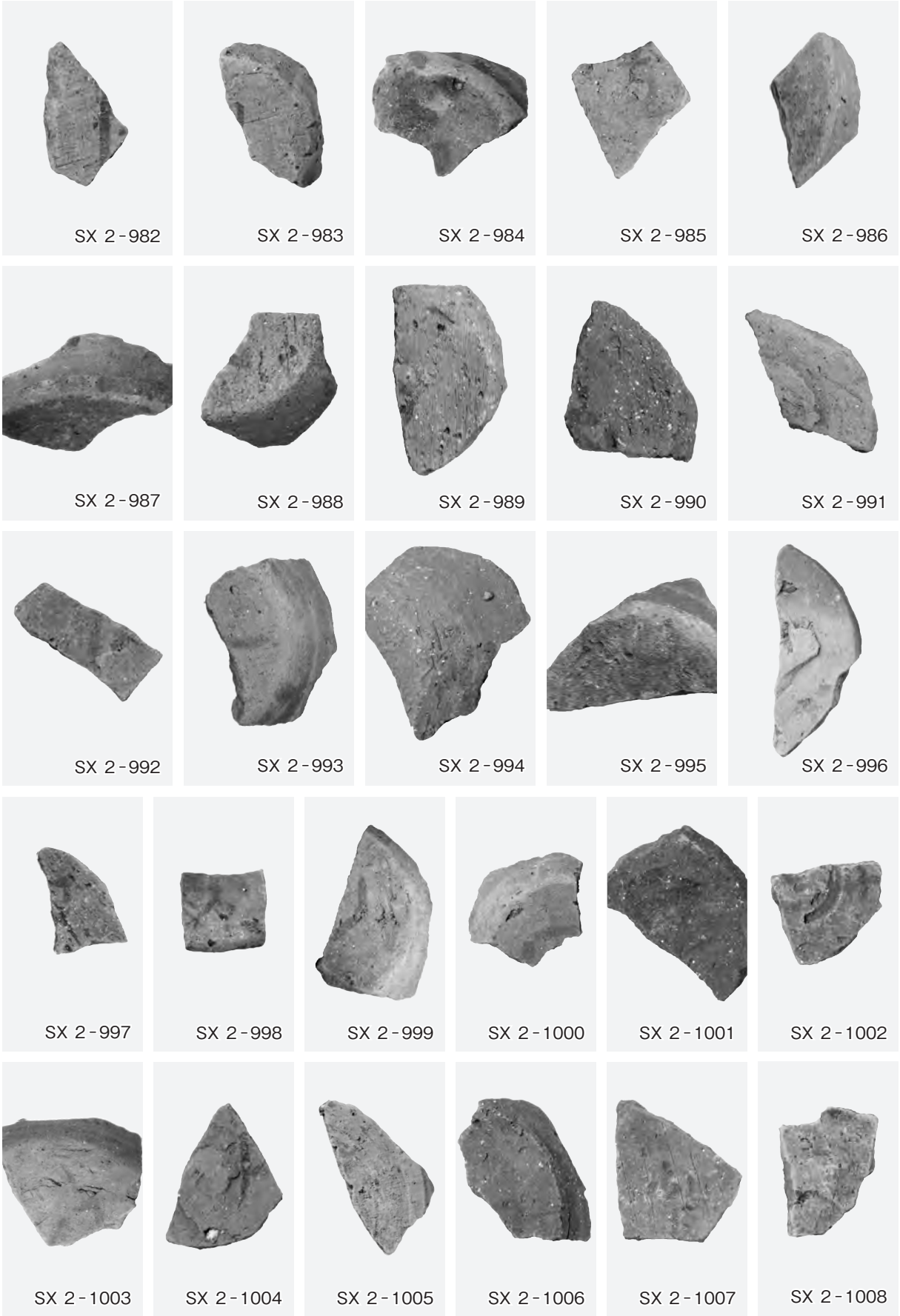

SX 2-978


SX 2-979

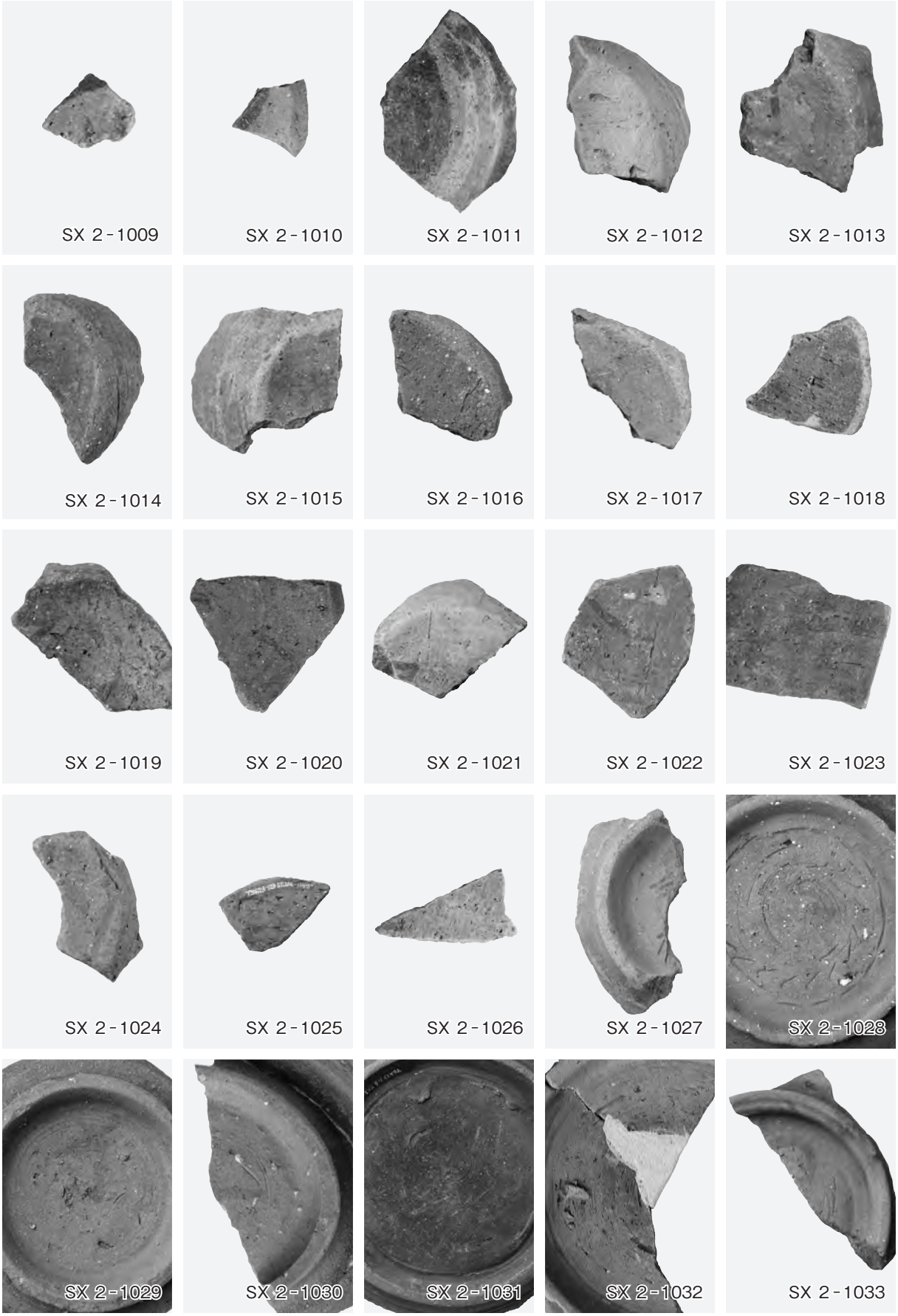
SX 2-980

SX 2-981

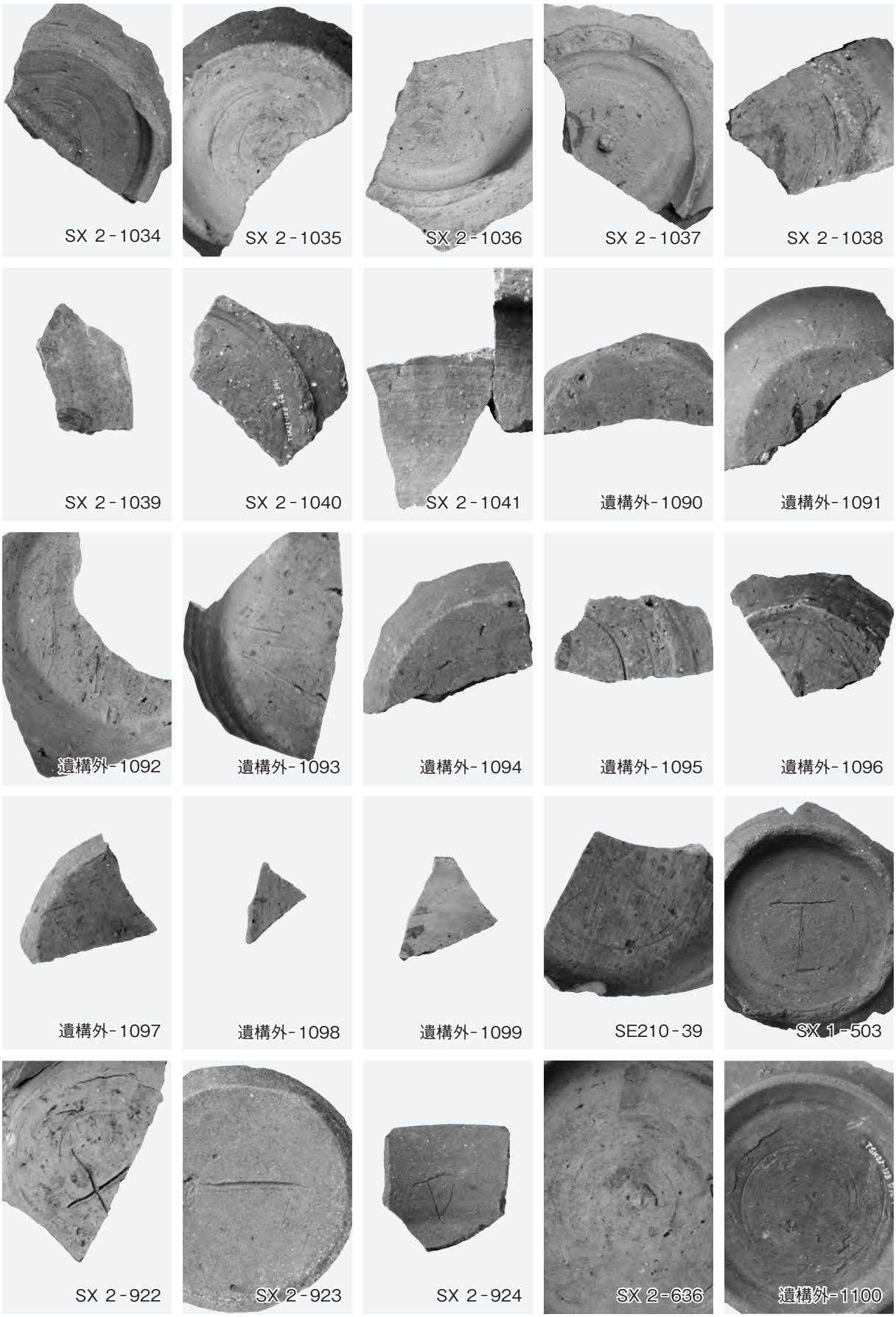
「不明」墨書土器


SX 2-982
SX 2-983
SX 2-984
SX 2-985
SX 2-986
SX 2-987
SX 2-988
SX 2-989
SX 2-990
SX 2-991
SX 2-992
SX 2-993
SX 2-994
SX 2-995
SX 2-996
SX 2-997
SX 2-998
SX 2-999
SX 2-1000
SX 2-1001
SX 2-1002
SX 2-1003
SX 2-1004
SX 2-1005
SX 2-1006
SX 2-1007
SX 2-1008

「不明」墨書土器


SX 2-1009
SX 2-1010
SX 2-1011
SX 2-1012
SX 2-1013
SX 2-1014
SX 2-1015
SX 2-1016
SX 2-1017
SX 2-1018
SX 2-1019
SX 2-1020
SX 2-1021
SX 2-1022
SX 2-1023
SX 2-1024
SX 2-1025
SX 2-1026
SX 2-1027
SX 2-1028
SX 2-1029
SX 2-1030
SX 2-1031
SX 2-1032
SX 2-1033

「不明」墨書土器



「不明」墨書土器，篦書土器，墨痕

抄　　録

ふりがな	しまなくまのやまいせき
書　　名	島名熊の山遺跡
副　書　名	島名・福田坪一体型特定土地区画整理地内埋蔵文化財調査報告書XIX
シリーズ名	茨城県教育財団文化財調査報告第380集
著　者　名	清水哲
編集機関	公益財団法人茨城県教育財団
所　在　地	〒310－0911　茨城県水戸市見和1丁目356番地の2　　TEL 029－225－6587
発　行　日	2013（平成25）年3月15日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード	北緯	東経	標高	調査期間	調査面積	調査原因
島名熊の山遺跡	茨城県つくば市 島名字香取前1894番地の1ほか	08220 － 214	36度 3分 44秒 (36度 3分 32秒)	140度 3分 31秒 (140度 3分 43秒)	13 ～ 15m	20100401 ～ 20100630 20110101 ～ 20110831	922㎡ 1,232㎡	島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
島名熊の山遺跡	集落跡	古墳	井戸跡　5基 遺物包含層　1か所	土師器片，木製品（横槌・竪杵），自然遺物（桃核・クリ・サルノコシカケ）	第204号井戸跡，第1・2号遺物集中地点を中心に850点にのぼる墨書土器や木簡・農工具・容器・祭祀具などの多量の木製品が出土した。 墨書土器は，当地域の郷名である「嶋名」や集団の標識文字とみられる「臣」「川」などが書かれている。 木簡は表に「・長三尋一尺七□（寸ヵ）」裏に「・道ヵ浄人」と書かれている。
		奈良	掘立柱建物跡　2棟 井戸跡　4基 溝跡　1条	土師器，須恵器，木器・木製品（田舟転用材・下駄・甑底板・火鑽臼・荷札状木製品・板材・杭），自然遺物（桃核・ヒョウタン・ハマグリ）	
		平安	竪穴住居跡　1軒 井戸跡　1基 遺物集中地点　2か所 土坑　1基	土師器片，須恵器片，土製品（土玉・管状土錘・羽口・紡錘車），石器（砥石・紡錘車），鉄滓，木器・木製品（木簡・鍬先・柄・横槌・竪杵・馬鍬歯・糸巻枠木・弓ヵ・檜扇ヵ・横櫛・箸ヵ・甑底板・挽物高台付坏・挽物皿・刳物皿・曲物・刀形・荷札状木製品・斎串ヵ・井戸枠材・建築用材・杭），自然遺物（桃核・クリ・ヒョウタン・ヤマトシジミ・ハマグリ・鹿骨・鹿角）	
		室町	堀跡　1条 溝跡　1条	土師質土器片，陶器片，石器（石臼・砥石），金属製品（刀子・銭貨），木製品（円板状木製品）	
	その他	時期不明	井戸跡　2基 土坑　21基 道路跡　4条 溝跡　16条 ピット群　2か所	縄文土器片，土師器片，須恵器片，土製品（土玉），石器（鏃・磨石），金属製品（耳環），木器（荷札状木製品）	

要　　約

遺跡南東部の低地において，古墳時代から平安時代にかけての井戸跡と遺物集中地点を確認した。多量の墨書土器や木製品が出土していることから，湧水を利用した祭祀の場と考えられる。

印　刷　仕　様

編　　集　　ＯＳ　　Microsoft Windows XP
Professional Version2002 Survice Pack ３
レイアウト　Adobe InDesign CS３
図版作成　Adobe Illustrator CS３
写真調整　Adobe Photoshop CS４
Scanning　6×７film　Nikon SUPER COOLSCAN9000
組　　版　　OpenType13級リュウミンPro・Ｌ基本
Adobe InDesign CS３
印　　刷　　オフセット印刷
写真製版　　スクリーン線数　モノクロ175線　カラー210線
・印刷所へは，Adobe InDesign CS３でレイアウトしたものを入稿

茨城県教育財団文化財調査報告第380集

島名熊の山遺跡

島名・福田坪一体型特定土地区画
事業地内埋蔵文化財調査報告書XX

平成25（2013）年　3月12日　印刷
平成25（2013）年　3月15日　発行

発行　公益財団法人茨城県教育財団
〒310－0911　水戸市見和１丁目356番地の２
茨城県水戸生涯学習センター分館内
TEL　029－225－6587
Ｈ Ｐ　http：//www.ibaraki-maibun.org

印刷　いばらき印刷株式会社
〒319－1112　那珂郡東海村村松3115－３
TEL　029－282－0370